F-07C

ISSUE DATE: '11.5

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

NTT docomo

はじめに

「F-07C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- F-07Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

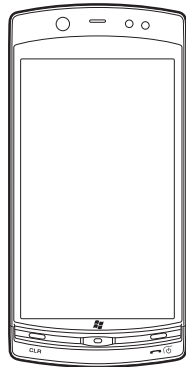
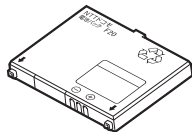
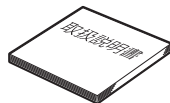
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

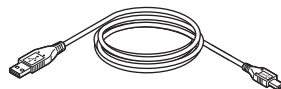
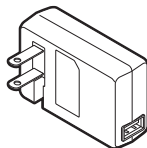
本体付属品および主なオプション品

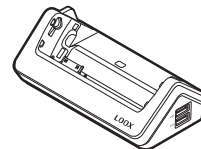
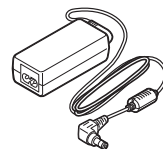
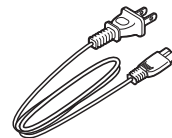
〈本体付属品〉

F-07C
（リアカバー F58、保証書含む）

電池パック F20

イヤホン変換アダプタ F01

取扱説明書

USB ケーブル F01

AC アダプタ F04

Microsoft® Office Personal 2010
2年間ライセンス版のCD-ROM

〈主なオプション品〉

クレードルセット F01
（取扱説明書付き）

クレードル

クレードル用 AC アダプタ F01

クレードル用 AC アダプタ
電源ケーブル F01

その他のオプション品→P418

本書の見かた

- この『F-07C取扱説明書』の本文中においては、「F-07C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書では、microSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要です。
  microSDカードについて→P288
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は、きせかえツールの設定が「White」、待受画面選択のイメージ設定が「NavyBlack1」（縦画面）／「NavyBlack2」（横画面）の場合で説明しています。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作を表しています。→P102
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
  「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
  ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

―「ケータイモード」と「Windows 7モード」―

F-07Cは、従来のFOMA端末と同様携帯電話として使用する「ケータイモード」と、パソコンとして使用する「Windows 7モード」の2つのモードを備えています。
本書はケータイモードの機能を中心に説明しています。Windows 7モードの機能説明は、各部名称などケータイモードとの共通部分を除き、「Windows 7」章にまとめて記載しています。Windows 7モードで使用中のケータイモードの機能については「Windows 7」章をご覧ください。また、Windows 7モードでのデータのバックアップ方法やソフトウェアの更新方法などは、ケータイモードと大きく異なりますのでご注意ください。

■ 基本的な操作手順とキーの表記

- 本書の操作の説明では、主にベーシックスタイル（P23）で画面に表示されるメニュー項目やガイド行などをタッチする操作で記載しています。また、キーを押す操作はイラストで表現しています。→P20「各部の名称と機能」
- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
MENU 8 7 3 1 ▶各項目を設定▶「登録」	待受画面でMENUをタッチした後、8 7 3 1を順番にタッチする。続けて各項目を設定し、最後に「登録」をタッチする。 ※MENUやメニュー項目の選択はタッチ操作、キー操作のいずれでも可能です。 ※「　」内の表記はタッチ操作の場合のメニュー項目やガイド行表示を表します。 ※操作開始のMENU は、待受タッチボタン（→P33）を示しています。
（2秒以上）	を2秒以上押し続ける。 ※「2秒以上」のようにキーを押し続ける操作は、タッチ操作では無効です。

- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください（→P396）。なお、本書内のメッセージはマチキャラを設定しない場合で記載しています。フレンドリーメッセージに対応しているマチキャラを設定している場合は、マチキャラ独特の表現になります。

目　次

F-07Cの主な機能

Windows 7モード

[Windowsキー]を押すとWindows 7モードに切り替わり、FOMA端末をパソコンとして使用することができます。Windows 7モードでは、フルブラウザによるインターネットやEメール、Office Personal 2010、電子辞書などが利用できます。また、[カメラキー]を押して画面を拡大表示させることも可能です（ズーム表示）。また、本FOMA端末はWindows 7モードでのみWi-Fiに対応した無線LANを利用することができます。→P380
※ Windows 7モードで使用中のケータイモードの機能については「Windows 7」章をご覧ください。

ｉコンシェル

待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれるサービスです。
FOMA端末でスケジュールを作ったり、トルカを取得したり、サイトからｉスケジュールをダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。
FOMA端末に保存されたスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店や会社の住所情報などを自動で追加したりできます。→P187

オートGPS

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。また、お客様の居場所や移動した距離などを利用するゲームもご利用いただけます。→P267

国際ローミング

本FOMA端末は、電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。また、海外でも3G・GPRSエリアにいるときはｉモードを利用したり、GPS機能を利用して現在地を確認したり、対応ｉアプリを利用することができます。→P362

ecoモード

ディスプレイの明るさなどを調整することにより、電池の消費を抑えることができる機能です。→P93

使いかたガイド

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。キーワードを入力したり、機能一覧から検索することにより、機能の説明や操作方法を確認することができ、さらにその機能を呼び出すこともできます。→P38

高機能カメラ

最適な撮影モードに自動で切り替える自動シーン認識、人物の顔と笑顔度を検出する顔検出、被写体を追尾するトラッキングフォーカス、ホワイトボードの文字などをはっきり撮影できるホワイトボードモードなどを備えた約510万画素（有効画素数）のカメラを搭載しています。→P190

ｉウィジェット

ｉウィジェットは、電卓や時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）に、簡単にアクセスできるようにする機能です。また、ｉウィジェット画面を起動するだけで、最新情報を一目で確認することができます。→P245

ｉモード

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになったほか、Flash® VideoやWindows Media® Videoにも対応し、さらに多彩な動画コンテンツをお楽しみいただけます。→P164、184

多彩なロック機能

（鍵キー）を押してディスプレイの表示を消し（画面オフ）、タッチ操作をロックします。また、画面オフの状態から設定時間内に無操作だった場合にタッチ操作やキー操作をロックする画面オフロックや、FOMA端末を閉じたときに誤操作を防ぐ、誤操作防止ロックも備えています。→P112、113

親子モード

使える機能を制限することで、安心して本FOMA端末をお子さまにご利用いただくことができます。→P114

ウォーキングチェッカー（歩数計）／エクササイズカウンター（活動量計）

歩数や歩行距離、消費カロリーや脂肪燃焼量をFOMA端末で確認できます。また、身体活動の実施時間と運動強度から算出される「活動量」や有酸素運動の目安となる「いきいき歩行」「いきいき活動量」も計測できます。→P327
エクササイズカウンターやウォーキングチェッカーと連動する楽しい待受画面（Flash画像）の「ウォーキング×フラワー」をプリインストールしています。

※ 本文中では、FOMA端末のメニュー名に合わせて「ウォーキング／Exカウンター」と記載しています。

クイック検索

（キー）を押して「クイック検索」をタッチすると、ｉモード、フルブラウザ、地図、使いかたガイド、サーチミーガイド、辞典、メールの検索機能を利用することができます。→P308

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続し、FOMA端末をかばんなどに入れたままハンズフリーで通話したり、音楽を再生したりすることができます。→P329

その他の機能

- テレビ電話→P53
- きせかえツール→P94
- あんしん設定→P101
- ｉモードメール／デコメール®／デコメ絵文字®→P126
- 着うたフル®※1／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル※2／ミュージックプレーヤー→P209
- ｉアプリ／メガｉアプリ／直感ゲーム→P226
- おサイフケータイ／トルカ→P250
- 地図・GPS機能→P259
- 各種ネットワークサービス→P349
- 高速通信対応→P390

※1 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、ACアダプタ（USBケーブル含む）、ドコモUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびACアダプタ（USBケーブル含む）は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

microUSB接続端子やクレードル接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をACアダプタ（USBケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・ACアダプタ（USBケーブル含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

FOMA端末をWindows 7モードで使用される場合にはご注意ください。

Windows 7モードの使用によってFOMA端末の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーショントラッキングやモーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧(P14)」

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆ ACアダプタ（USBケーブル含む）の取り扱い

⚠警告

禁止

USBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタやクレードルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタ（USBケーブル含む）には触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態でmicroUSB接続端子をショートさせないでください。また、microUSB接続端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

USBケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ（USBケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USBケーブルのコードを無理に引っ張らず、ACアダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	可動部 ディスプレイ部	PA-GF樹脂	UVハードコート
	可動部 ディスプレイ下部	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	可動部 背面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	固定部 操作キー面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	固定部 電池面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC+ABS樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
カメラレンズ部、カメラパネル		高耐熱透明材料（PMMA）	UVハードコート
ライトパネル部		PC樹脂	なし
フロントキー		PC樹脂	UVハードコート
サイドキー（Windows 7切替キー）		PC樹脂	UVハードコート
サイドキー（マルチタスクキー、ロックキー、カメラ／ズームキー）		エラストマー樹脂（TPE）	なし
操作キー		PC樹脂	UVハードコート
外部接続端子キャップ	本体	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂（TPE）	なし
静電端子	接点部	ステンレス鋼	Niメッキ
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
操作キー周囲の化粧シート		PET樹脂	UVハードコート

使用箇所		材質	表面処理
本体背面パーツ	スライドモジュール	ステンレス鋼	摺動塗装
	ネジキャップ	シリコーンゴム（VMQ）	なし
	RFキャップ	シリコーンゴム（VMQ）	なし
	スライドパッド	超高分子ポリエチレンフィルム	なし
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池端子	電池端子コネクター本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ（下地 Ni-Pdメッキ）
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
ドコモUIMカードトレイ		POM樹脂	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  - FOMA端末、電池パック、ACアダプタ（USBケーブル含む）、クレードル、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、付属のUSBケーブル F01などをmicroUSB接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **電池パック、ACアダプタ、USBケーブル、クレードルに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子にUSBケーブル F01などを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はmicroUSB接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **キーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- **FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。**
  - FOMA端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

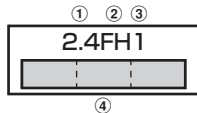
◆ ACアダプタ（USBケーブル含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタ（USBケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、microUSB接続端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

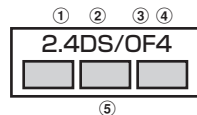
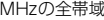
- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ FeliCaリーダー／ライターについて

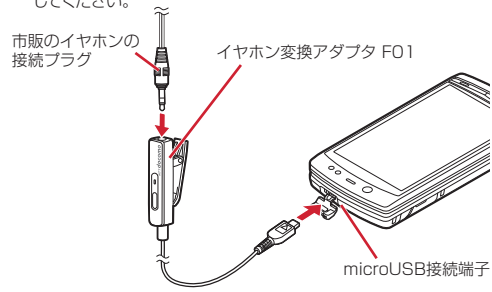
- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

◆ 注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

イヤホン変換アダプタ F01と市販のイヤホンの接続例
※ 付属のイヤホン変換アダプタ F01をmicroUSB接続端子に接続してください。
市販のイヤホンの接続プラグ
イヤホン変換アダプタ F01
microUSB接続端子

〈各部の機能〉

❶ **ディスプレイ（タッチパネル）→P24、30**

❷ **ランプ**
不在着信お知らせやイルミネーション設定の設定に従って動作するほか、充電中、静止画や動画の撮影時、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤーの操作中、目覚まし（スヌーズ中）、スケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中など、さまざまな状態を点灯・点滅でお知らせ

❸ **GPSアンテナ**
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

❹ **光センサー**
周囲の明るさの感知（画面の明るさの自動調整）
※ 光センサーをふさぐと、正しく自動調整されない場合があります。

❺ **受話口**
相手の声をここから聞く

❻ **インカメラ**
自分の映像の撮影、テレビ電話で自分の映像の送信

❼ **Windows 7ランプ**
Windows 7の状態を点灯・点滅でお知らせ
※ 起動中は青色点灯、起動準備中は青色交互点灯、スリープ中は青色点滅、休止準備中は青色片方点滅、休止・電源OFF中は消灯します。

❽ **送話口／マイク**
自分の声をここから送る
※ 通話中や録音中にふさがないでください。

❾ **FOMAアンテナ**
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

❿ **リアカバー**
※ リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。→P39、42
※ リアカバー裏面のシールははがさないでください。FOMA端末の性能を低下させる原因となります。

⓫ **アウトカメラ**
静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

⓬ **赤外線ポート→P301**
赤外線通信

⓭ **撮影お知らせランプ／ライト→P67、202、320**
静止画や動画の撮影時に点灯・点滅、テレビ電話で映像の送信時や静止画や動画の撮影時などのカメラのライト、簡易ライト

⓮ **スピーカー**
着信音や、ハンズフリー ONで通話中の相手の声などをここから聞く

⓯ **マーク→P251、302**
ICカードの搭載
※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⓰ **microUSB接続端子**
充電時やイヤホン使用時に、付属のUSBケーブル F01やイヤホン変換アダプタ F01を接続する統合端子

⓱ **ストラップ取付口**

⓲ **クレードル接続端子**
キャップを開いてクレードルと接続する

〈キーの機能〉

キーを押して動作する機能は次のとおりです。
●：押す、■：1秒以上押す（ケータイモード）
●：押す、■：1秒以上押す（Windows 7モード）

1 **電源／終了キー**
● 応答保留、通話／操作中の機能の終了（待受画面に戻る）、待受カスタマイズの表示／非表示
■ 2秒以上押す：電源を入れる／切る

2 **CLR 電話／クリアキー**
● 音声電話を受ける、文字の消去、1つ前の画面に戻す、ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え

3 **QWERTYキー→P22**

4 **トラックボール→P23**
※ Windows 7モードでは、他のキーとの組み合わせでできる操作があります。→P379

5 **マルチタスクキー**
● 通話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）
■ マナーモードの起動／解除※1、ワンタッチアラームの起動※2
※1 マルチタスクキー長押し設定がお買い上げ時の状態での動作です。
※2 ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定した場合の動作です。

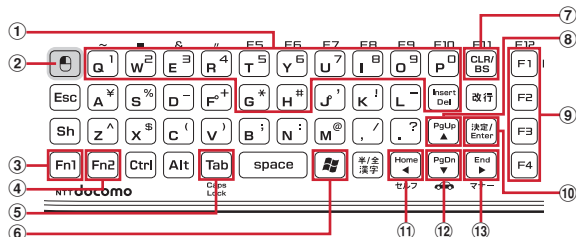
6 **ロックキー**
● ディスプレイの表示を消す（画面オフ）、通話中のタッチロックの起動／解除
■ マナーモードの起動／解除

7 **Windows 7切替キー→P49、376**
● Windows 7モードへの切り替え
● ケータイモードへの切り替え
■ 4秒以上押す：Windows 7の強制終了

8 **カメラ／ズームキー**
● カメラ起動中操作、着信時の着信音の停止、アラーム音やバイブレータの停止
● 画面（ホーム画面や起動中のソフトウェア）の表示を拡大
■ 静止画撮影の起動、着信時のクイック伝言メモの起動、通話中の音声メモや動画メモの起動／停止、ブラウザ画面のスクロール※
■ 画面（ホーム画面や起動中のソフトウェア）の表示を縮小
※ 押しながら端末を傾けると、ブラウザ画面がスクロールします。

❖QWERTYキー

スライドスタイルでは、キーを使って機能の起動などの操作ができます。ここでは、ケータイモードでの基本的な操作について説明します。

- 英字キーや文字入力時のキー操作→P344
- Windows 7モードでは、パソコンのキーボードと同様にQWERTYキーで操作できます。

① **数字（1～9、0）、*、#、Delキー：電話番号（1～9、0）や記号入力、メニュー・項目選択、文字の消去、1つ前の画面に戻す、各ショートカット操作の実行**

Q（1秒以上）：現在地確認
W（1秒以上）：2in1モード切替
E（1秒以上）：電卓の起動
R（1秒以上）：赤外線受信の起動
T（1秒以上）：ecoモードの設定／解除
Y（1秒以上）：バーコードリーダーの起動
U（1秒以上）：プライバシーモード起動設定の起動
I（1秒以上）：自動返信ON／OFF設定の起動
G（1秒以上）：公共モード（ドライブモード）の起動／解除
H（1秒以上）：マナーモードの起動／解除
Del：ｉチャネル一覧の表示

- メニュー操作などでは、Fn1を押さずにキーの上段に表示されている数字（1～9、0）、*、#による操作ができます。

② **［マウス］：項目の選択など、マウスの左クリックと同じ**

- Windows 7モード中のみ操作できます。

③ **Fn1：同時に英字キーや記号キーを押して、キーに刻印されている青色の記号・数字の入力や、機能の利用**

④ **Fn2：同時に特定のキーを押して、キーの上下に刻印されている黄緑色の記号の入力や、機能の利用**

Fn2＋◀：セルフモードの起動／解除
Fn2＋▼：公共モード（ドライブモード）の起動／解除
Fn2＋▶：マナーモードの起動／解除

⑤ **Tab：通話中や通信中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）**

⑥ **［Windows］：Windows 7モード中のみ、Windows 7のスタートメニューの表示**

⑦ **クリア／BSキー**

CLR：文字の消去、1つ前の画面に戻す、ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え

⑧ **上矢印キー**

▲：スケジュール帳の表示、音量調節、上方向へのカーソル移動
▲（1秒以上）：目覚まし一覧の表示

⑨ **ガイド表示対応キー**

F1：メニューの表示、ガイド表示領域の左上に表示される操作の実行
F2：電話発信画面の表示、ガイド表示領域右上に表示される操作の実行
F3：メールメニューの表示、ガイド表示領域左下に表示される操作の実行
F3（1秒以上）：ｉモード問い合わせ
F4：ｉモード接続し、ｉMenuを表示
F4（1秒以上）：ｉアプリフォルダ一覧を表示

⑩ **決定／Enterキー**

決定：操作の実行、フォーカスモードの実行
決定（1秒以上）：ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリの起動

⑪ **左矢印キー**

◀：着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
◀（1秒以上）：プライバシーモード起動設定で「起動／解除操作」が「標準」の場合にプライバシーモードの起動／解除

⑫ **下矢印キー**

▼：電話帳の表示、音量調節、下方向へのカーソル移動
▼（1秒以上）：電話帳の登録

⑬ **右矢印キー**

▶：リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
▶（1秒以上）：ICカードロックの起動／解除

✔お知らせ

- 複数のキーを押す操作を行う際、Ctrl、Sh、Fn1、Fn2を同時に押した場合、次の優先順位でキーが認識されます。
①Ctrl※　②Sh　③Fn1　④Fn2
※ Windows 7モードの場合は同時押しが可能です。

❖ トラックボール

▲▼◀▶でカーソルを移動し、決定を押して項目を選択できる画面では、トラックボールでも同様の操作ができます。カーソルを移動するにはトラックボールを回転し、項目を選択するにはトラックボールを押します。

- Windows 7モードのときは、トラックボールを押すとマウスの左クリック、1秒以上押すとマウスの右クリックと同じ操作になります。

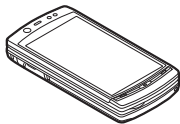
FOMA端末の利用スタイル

本FOMA端末は、キー操作とタッチ操作に対応しています。ベーシックスタイル、スライドスタイルの2つのスタイルで利用できます。

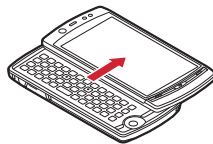
- 本書では、主にベーシックスタイルでの操作方法を説明しています。
- QWERTYキーのみで実行できる操作、またはQWERTYキーで実行できる便利な操作については、キーでの操作方法を説明しています。QWERTYキーでの操作については、スライドスタイルにしてから操作してください。

■ ベーシックスタイル

FOMA端末を閉じた状態で、タッチ操作に対応しているスタイルです。

- モーションセンサーを使ったオートローテーション機能で、FOMA端末の傾きに合わせて縦画面と横画面が切り替わります（画面によっては切り替わらない場合があります）。

■ スライドスタイル

FOMA端末を開いた状態で、キー操作とタッチ操作に対応しているスタイルです。

- スライドスタイルにすると、自動的に横画面に切り替わります（画面によっては切り替わらない場合があります）。

✔お知らせ

- FOMA端末の開閉時に、無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの破損の原因となります。
- ストラップを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。故障や破損の原因となります。
- FOMA端末の開閉時は、誤操作防止のためタッチパネルに指を触れないようにしてください。
- 磁石など磁気のあるものをFOMA端末に近づけないようにしてください。故障や誤動作の原因となります。
- FOMA端末を持ち運ぶ際はベーシックスタイルにし、誤操作防止や電池の消費節約のため、誤操作防止ロックをかけてください。
- ディスプレイ面を下向きにしたまま机の上などに置かないでください。ディスプレイの表面に傷がつく恐れがあります。
- かばんなどに入れる際は、ディスプレイに硬い物がぶつからないようにしてください。傷がついたり、故障や破損の原因となります。

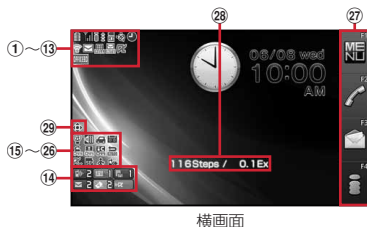
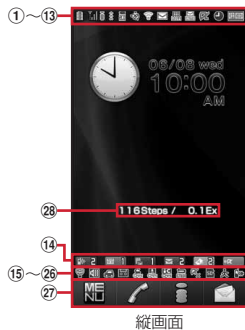
ディスプレイの見かた

ディスプレイや画面の見かたを説明します。

◆ステータス表示などの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で新着情報や現在の状態（ステータス）を確認できます。

縦画面

横画面

① ：電池アイコン→P45

② ：アンテナアイコン→P46

圏外：圏外表示→P46

SELF：セルフモード中→P106

TML：使用できないドコモUIMカードを挿入中→P39

：データ転送モード中※1→P112、288、301

③ ／ ：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）→P164

※2

④ ：赤外線通信中→P302

（青）／（グレー）：Bluetoothオン／省電力中→P332

：積算通話料金が上限を超過→P324

※2

⑤ ：Bluetooth接続処理中→P331

：ハンズフリー対応機器で通信中→P60

：Bluetoothハンズフリー通信中→P332

：Bluetoothヘッドセット通信中→P332

：ハンズフリーON→P60

（青）／（黄）／（赤）／（青）／（黄）／：利用中のネットワーク→P363

：フェムトセル利用可能→P334

：ecoモード設定中→P93

※2

⑥ ：GPS測位中→P193、261

（青）：位置提供設定中→P265

（青）：位置提供設定中かつオートGPS機能起動中

（グレー）：位置提供設定中（許可期間外）→P265

（グレー）：位置提供設定中（許可期間外）かつオートGPS機能起動中

：オートGPS機能起動中→P267

※2

⑦ ：画面オフロック中→P113

：電話帳、スケジュールがシークレット属性→P78、317

：ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中→P311

：親子モード設定中→P114

※2
⑧ 未読のエリアメール、メール、ｉコンシェルのインフォメーション、メッセージR/F状態表示→P136、154、156、159、188
: 未読エリアメール
: 未読ｉモードメール、SMS満杯かつドコモUIMカードにSMS満杯
: 未読ｉモードメール、SMS満杯
: ドコモUIMカードにSMS満杯
: 未読ｉモードメールとSMSあり
: 未読ｉモードメールあり
: 未読SMSあり
※3（赤）／※3（青）: 未読メッセージR満杯／あり
※3（赤）／※3（緑）: 未読メッセージF満杯／あり
※3：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
※2
⑨ ｉモードセンター蓄積状態表示、ブラウザ画面表示→P136、154、167、176
: センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
／／: センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
: センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／／: センターに未受信のｉモードメール、メッセージR/Fのいずれかがあり
: FOMA端末を傾けてブラウザ画面スクロール中
: ブラウザ画面表示中（ケータイレイアウトモード）
: ブラウザ画面表示中（PCレイアウトモード）
⑩ : SSL／TLSページ表示中／ｉアプリでSSL／TLS通信中、SSL／TLSページからダウンロードしたｉアプリを使用中→P165
／: SSL／TLSページのフレーム拡大表示中／同時に他のフレーム通信中→P168
: 圏内自動送信失敗メールあり→P134
: 圏内自動送信メールあり→P134
／: フレーム拡大表示中／同時に他のフレーム通信中→P168
: Music＆Videoチャネル番組取得予約あり→P211

⑪ ｉアプリ／ｉアプリDX、ｉアプリコールの状態表示→P227、241、242
: ｉアプリ動作中
(グレー)：ｉアプリ待受画面表示中
(オレンジ)：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
: ｉアプリDX動作中
(グレー)：ｉアプリDX待受画面表示中
(オレンジ)：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中
: ｉアプリ動作中でｉアプリコール受信あり
(グレー)：ｉアプリ待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
(オレンジ)：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
: ｉアプリDX動作中でｉアプリコール受信あり
(グレー)：ｉアプリDX待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
(オレンジ)：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
: ｉアプリコール受信あり
※4
⑫ : 目覚まし設定中→P310
: スケジュールアラーム設定中→P314
: スケジュールアラームと目覚ましを同時に設定中→P310、314
※4
⑬ : OFFICEEDエリア内→P359
⑭ : 新着情報→P29
⑮ : マナーモード中→P86
: オリジナルマナーモード中→P87
⑯ : 電話着信音量消音設定中→P84
: 音声電話着信のバイブレータ設定中→P84
: 電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P84
⑰ : 公共モード（ドライブモード）中→P64
⑱ ／: 伝言メモ設定中／満杯→P65
※2
⑲ : ダイヤル発信制限中→P108
※2
⑳ ／／: GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→P264
: パーソナルデータロック中→P107
／: Music&Videoチャネル番組取得失敗／成功→P211
※2
㉑ : ドコモUIMカード読み込み中→P39、46
(鍵が黄色)：ICカードロック中→P252
: 個別ICカードロック→P252
㉒ : メール自動返信設定中→P151
㉓ : ｉアプリ自動起動失敗→P241

㉔ USBモード設定とmicroSDカードの状態表示→P42、295
 ：通信モード中にmicroSDカードあり
 （青）／ （グレー）：microSDモード中にmicroSDカードあり／なし
 （青）／ （グレー）：MTPモード中にmicroSDカードあり／なし
㉕※2 ：USBケーブル F01で外部機器と接続中、Windows 7モードの起動中→P70、296、376
 ：ウォーキング／Exカウンター設定中→P327
㉖※2 ：ソフトウェア更新書き換え予告→P431
 ：ソフトウェア更新予約中→P433
 ：更新お知らせアイコン→P432
 ／ ：最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P434
㉗ 待受タッチボタン→P33
㉘ ウォーキング／Exカウンター→P327
㉙ ／ ：フォーカスモード時の有効矢印キーの表示→P29

※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になり、さらにマルチタスクの利用もできなくなります。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 未読のｉモードメールやSMSなどがある場合は、小さいアイコンで表示されます。
※4 待受画面以外のときなどは時刻が表示されます。

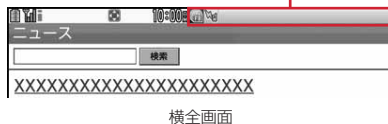
✔お知らせ
• 表示中の機能によっては、アイコンの表示位置が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

◆ タスク表示領域の見かた

タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

縦画面

横画面

横全画面

❖ タスク表示領域に表示されるアイコン一覧

：使いかたガイド
：音声電話
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：電話帳
：プライバシーモードのシークレット反映
：きせかえツール
：メール／メッセージR/F

: エリアメール
: ｉモードメール受信中
: ｉモード／SMS問い合わせ中
／: メール送信履歴／受信履歴
: SMS受信中
: ｉモード（ラストURLや画面メモの一覧表示中を含む）／PDFデータ表示中
: フルブラウザ
: ｉモードやフルブラウザのBookmark／ツータッチサイト表示
: ｉコンシェル
: 静止画撮影
: 動画撮影
: バーコードリーダー
: Music&Videoチャネル起動中
: Music&Videoチャネル番組取得中
: ミュージックプレーヤー
: ｉアプリ
: トルカ
: GPSの現在地確認
: GPSの位置提供
: GPSの現在地通知
: GPSの位置履歴／オートGPS履歴
: オートGPS機能
: マイピクチャ
: 動画／ｉモーション
: キャラ電
: メロディ
: マチキャラ
（青）／（グレー）：microSDカードへアクセス中／アクセス待機中
: サウンドレコーダー
: マイドキュメント（PDFデータ）のフォルダ、データ一覧表示中
: マルチタスクで音量設定中
: お知らせタイマー
: 目覚まし
: ワンタッチアラーム
: スケジュール帳／スケジュールアラーム鳴動中
: イミテーションコール
: プロフィール情報
: 電卓
: ウォーキング／Exカウンター
: 検索サービス
: テキストメモ
: 辞典
: Bluetooth機能
: お預かりセンターに接続中
: ケータイデータお預かりサービスの通信履歴表示中
: ネットワークサービス設定中
／: USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
: 64Kデータ通信中
: 外部データ連携中
／: ソフトウェア更新／更新の通知あり
: パターンデータ更新／バージョン表示中
／（グレー）：各機能の設定中／保留中
: ケータイモード／Windows 7モード切り替え

✔お知らせ

- 表示するデータによってはアイコンの表示が異なったり、上記以外のアイコンが表示されたりする場合があります。

◆ ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、画面をタッチするか、F1、F2、決定、F3、F4を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。各操作の右上または左上には対応するキーが表示され、F1、F2、F3、F4を押して実行できます。また、中央に表示される操作は決定を押して実行できます。

ガイド表示領域

- ガイド表示領域のは、▲、▼、◀、▶に対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆一覧画面の見かた

①一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

②数字や記号が表示されている項目は、対応するキー（1～9、0、*、#）を押しても選択できます。数字や記号が表示されていない項目は、カーソルを移動して決定を押して選択してください。

③▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。画面を上下にスライドして項目をタッチするか、▲、▼を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で▼を押すと次ページが、先頭の項目で▲を押すと前ページが表示されます。

◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。画面を左右にスライドするか、◀、▶を押してページを切り替えます。アイコンの選択画面など、画面によっては切り替えできません。

◆ｉウィジェット画面の見かた

ｉウィジェット縦画面

ｉウィジェット横画面

- ｉウィジェット起動中の画面では、ガイド表示領域と同様に、画面をタッチして、またはF1、F2、決定、F3、F4を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
  バーチャルキーでも同様の操作ができます。
- ｉウィジェットの利用→P246

◆待受画面のアイコンを利用する

待受画面に新着情報アイコンやｉコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズを設定しているときなどは、待受画面で決定を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

- タッチ操作ではフォーカスモードにできません。スライドスタイルにして操作してください。タッチ操作で情報を確認する場合は、待受ランチャーから確認する情報のボタンをタッチしてください。→P33
- フォーカスモード中は、MENUをタッチしても、F1を押してもメニューを表示できません。

1 決定▶アイコンにカーソル▶決定

矢印キーで移動可能な方向を示します。

カーソル位置のアイコンが赤い枠で囲まれます。

解除：アイコンにカーソルがある状態でCLR／／CLR

■ 新着情報のアイコン

- 新着情報アイコンを選択した場合の動作は次のようになります。
  (不在着信)：着信履歴一覧が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの不在着信のみがある場合は、AナンバーとBナンバーの不在着信がある場合はが表示されます。
  (伝言メモ)：伝言メモ一覧が表示されます。
  (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの伝言メッセージのみがある場合は、AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがある場合はが表示されます。
  (未読メール)：受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
  (未読トルカ)：最新の未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。
  (ｉアプリコール)：ｉアプリコール履歴が表示されます。
- 新着情報アイコンにカーソルを合わせてCLR／CLRを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示消去の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると表示されなくなります。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。

■ ディスプレイ下段のアイコン

- ディスプレイ下段のアイコンを選択すると対応する機能が起動します。
  - : USBケーブル F01で外部機器と接続、Windows 7モードの起動中
  - ／: ソフトウェア更新書き換え予告／お知らせ
  - ／: 最新パターンデータの自動更新失敗／成功
  - ／／: GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
  - ／: Music&Videoチャネル番組取得の失敗／成功
  - : ウォーキング／Exカウンター

■ ｉコンシェルのインフォメーション

ｉコンシェルのインフォメーションを選択するとインフォメーション一覧が表示されます。→P188

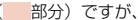
■ カレンダー／待受カスタマイズ

カレンダー／待受カスタマイズで設定した項目を選択すると、各情報が表示されます。

- ｉコンシェルのインフォメーションが表示されると、カレンダー／待受カスタマイズにカーソルを移動できません。

タッチパネル

ディスプレイをタッチパネルとして利用できます。

❖タッチパネル利用上のご注意

- FOMA端末の開閉に無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの故障や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイの周囲の枠部分を強く押さないでください。タッチパネルが誤動作することがあります。

◆タッチパネルの使いかた

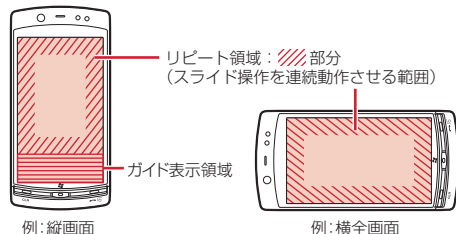
タッチパネルは指で直接ディスプレイに触れて操作します。

- ディスプレイの表示が消えているとき（画面オフ）は、タッチパネルは動作しません。

■ タッチパネルの有効範囲

タッチパネルの有効範囲はディスプレイ面全体（　部分）ですが、操作場面や機能によってタッチ操作の有効範囲が異なります。

- 操作画面によってはメニューや選択項目以外のタッチ操作は無効になります。また、機能によって画面の一部のタッチ操作が無効になる場合があります。

例：縦画面　　例：横全画面

❖タッチの基本操作

■ タッチ（クリック）

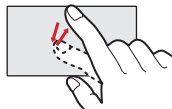
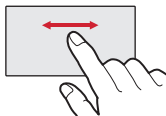
画面を軽く1回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主にメニューや項目の選択などで使用します。
Windows 7モードで右クリックをするには、アイコンなどに1本の指でタッチしたまま別の指で他の場所をタッチします。タッチ後しばらくそのままにしても、右クリックの動作になります。

■ ダブルタッチ（ダブルクリック）

画面を軽く2回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。ケータイモードでは、主に画面表示の拡大／縮小や切り替えなどで使用します。

■ スライド（ドラッグ）
画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に指を動かし、任意の位置で離します。
ケータイモードでは、ミュージックプレーヤーなどの巻き戻し／早送り、手書き文字入力、電話帳一覧画面のタブ移動やページ切り替えなどに使用します。
Windows 7モードでは、文字列の選択範囲を指定する場合などに使用します。

■ すばやくスライド（フリック）
画面に軽く触れた後、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。
ケータイモードでは、ページや表示画像の切り替え、チャプターや曲の移動などで使用します。Windows 7モードでは、写真や画像ファイルの表示切り替えなどで使用できるほか、Internet Explorerでは右へフリックして「戻る」、左へフリックして「進む」の動作になります。

■ ピンチ
2本の指で画面に触れたまま、2本の指の間隔を広げたり、狭くしたりします。
Webサイト閲覧時やPDF表示時の拡大／縮小で使用します。
※ ケータイモードでは使用できません。

例：タッチ

例：スライド

メニュー操作

タッチ操作では、画面上のメニューや項目、ガイド表示領域を直接タッチすることでキー操作と同様の操作ができます。さらに、機能によってはタッチ用メニューボタンでも操作できます。

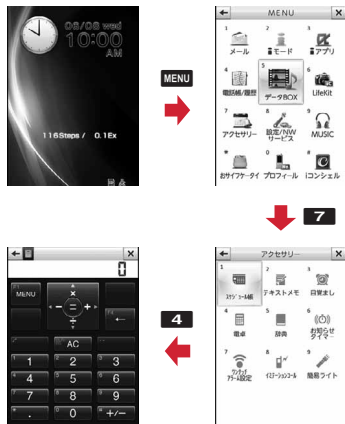
- 小さいメニューや項目、ボタンなどは、指がタッチ範囲の中心に当たるように触れてください。
- 次の操作は、タッチ操作に対応していません（次の操作以外でも、各機能の一部操作でタッチ操作できない場合があります）。
  - 待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションの再生／停止
  - 電源を切る操作、プライバシーモードの起動／解除
  - マルチタスクメニューの起動
  - ワンタッチｉアプリ／ツータッチｉアプリ起動
  - フォーカスモードによる情報表示
- 各種ロック機能やドコモUIMカード未挿入などの理由で、機能が実行できない場合などは操作できません。

◆ メニューから機能を選択する

待受画面でMENUをタッチし、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- 本書では、主にきせかえツールの設定が「White」の場合で説明しています。
- メニューは機能ごとに分類されています。→P396
- 各種ロック機能やドコモUIMカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字の色が変わったりして選択できません。ただし、きせかえメニューの場合、表示は変わりません。機能を選択すると、実行できない理由などが表示されます。
- メニューの種類やメニュー階層によっては、カーソル位置のメニュー項目の機能説明文が表示される場合があります。メニュー項目によっては現在の設定値も表示されます。機能説明文表示のON／OFFを切り替えることもできます。→P96
- 操作手順の番号が表示されたメニュー項目をタッチしてください。
- きせかえツールで「Simple Menu」を設定した場合は、項目番号が異なります。→P409
- メニューの項目番号→P396

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU 7 4

✔お知らせ

- 次の操作を行っても、同様の操作ができます。
  - 目的のメニュー項目の番号に対応した数字キーを押す
  - ▲、▼、◀、▶を押して目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し、決定を押す

❖メニュー画面の種類と切り替え

次のメニュー画面が利用できます。

■ きせかえメニュー

きせかえツールを利用して、デザインを変更できるメニューです。→P94

動画に対応したメニューのほかに、文字が大きくて見やすい「拡大メニュー」や、「Simple Menu」も利用できます。

- きせかえメニューによっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。お買い上げ時に登録されているきせかえツールでは、「プリインストール」フォルダの「切替メニュー」がこの機能に対応しています。
- きせかえメニューによってはSelect languageを「English」に設定したときの英語表示に対応していないものがあります。

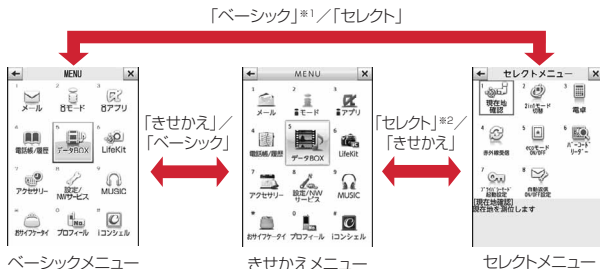
■ ベーシックメニュー

メニュー構成とメニュー番号が固定のメニューです。

- きせかえツールやメニューのカスタマイズによって、メニューアイコンや背景のデザインは変更することができます。→P96
- メニューの文字の大きさは、きせかえツールに連動して変わります。

■ セレクトメニュー

メニュー項目を自由に登録できるメニューです。→P319

各メニュー画面では、次の操作で一時的に別のメニュー画面に切り替えることができます。待受画面でMENUをタッチしたときにどのメニュー画面を表示するかを設定することもできます。→P93

※1 表示メニュー設定で、きせかえメニューまたはセレクトメニューが設定されているときは切り替えられません。

※2 表示メニュー設定で、ベーシックメニューが設定されているときは切り替えられません。

✔お知らせ

- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

❖サブメニューの選択

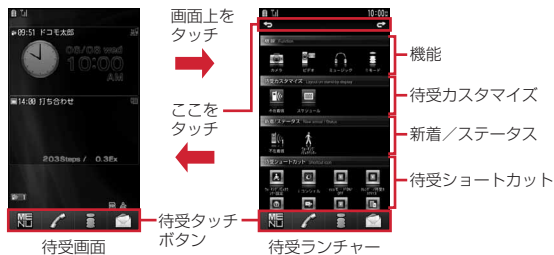
ガイド表示領域の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを選択する

1 リダイヤル一覧画面で「MENU」▶項目をタッチする

- 項目番号に対応するキーを押すか、項目にカーソルを合わせて[決定]または[▶]を押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面によって異なる場合があります。
- 「閉じる」または[←]をタッチするか、[CLR]を押すと、サブメニューが閉じます。

❖待受画面から機能を選択する

待受画面では、待受タッチボタンと待受ランチャーのボタンをタッチして機能を選択できます。

■ 待受タッチボタン

次の4つのボタンを利用できます。

- ボタン以外をタッチすると、待受ランチャーに切り替わります。

[MENU]：メニュー（第1階層）を表示する（[F1]を押しても実行できます）
[発信]：電話発信画面を表示する（[F2]を押しても実行できます）
[iMenu]：ｉMenuを表示する（[F4]を押しても実行できます）
[メール]：メールメニューを表示する（[F3]を押しても実行できます）

- FOMA端末の利用スタイルにより、ボタンの表示順が異なります。

■ 待受ランチャー

次の4つの分類の中から、各ボタンを利用できます。「機能」以外は利用できるタッチボタンが存在する場合にのみ表示されます。

機能

機能の実行や、設定の変更ができます。

待受カスタマイズ

カレンダー／待受カスタマイズを設定し、設定した情報が待受画面に表示されているときに利用できます。→P89

新着／ステータス

新着情報の確認や、設定の変更などができます。→P29

待受ショートカット

待受ショートカットを設定しているときに利用できます。→P317

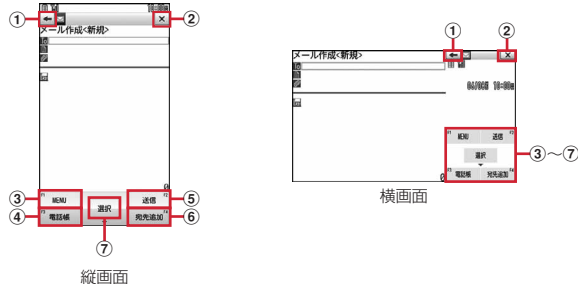
- タイトル部分をタッチすると、その中のすべてのボタンを表示できます。
- 画面上部のバーの部分をタッチすると、待受画面に切り替わります。
- 「機能」と「待受ショートカット」では、ボタンに指を触れたままにし、カーソルの表示が消えてからボタンをスライドすると、位置を移動できます。

❖ガイダンスボタンとタッチ用メニューボタン

■ ガイダンスボタン

ガイダンスボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻る操作や機能を終了する操作、ガイド表示領域に表示されている機能の操作ができます。

- ガイド表示領域の◆の部分はタッチできません。

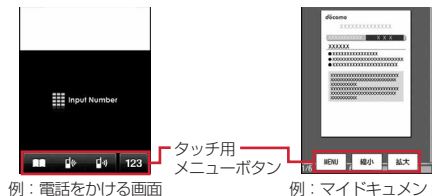
縦画面　横画面

① 1つ前の画面に戻る（CLR／CLRと同じ）
② 機能を終了する（終話と同じ）
③ 表示されている機能を実行する（F1と同じ）
④ 表示されている機能を実行する（F3と同じ）
⑤ 表示されている機能を実行する（F2と同じ）
⑥ 表示されている機能を実行する（F4と同じ）
⑦ 表示されている機能を実行する（決定と同じ）

※ キーを1秒以上押して実行できる操作は、タッチ操作では実行できません。

■ タッチ用メニューボタン

次の機能を利用するときは、タッチ用メニューボタンやその他のタッチ操作ができます。利用できるボタンは機能ごとに異なります。

- 電話、伝言メモ、音声メモ
- 静止画撮影、動画撮影
- ｉモードサイト表示、フルブラウザ画面
- ｉウィジェット画面
- 動画／ｉモーション再生、Music&Videoチャネルプレーヤー、メロディ再生
- マイドキュメント（PDFデータ）

例：電話をかける画面　例：マイドキュメント

■ ガイダンスボタンやタッチ用メニューボタンの表示／非表示の切り替え

静止画撮影の待機中は、ガイダンスボタンが表示されていない場合に「MENU」をタッチすると表示されます。約10秒経過するとガイダンスボタンは消えます。また、ｉモードブラウザの横画面やガイド表示なしの縦画面では、画面上でメニューや項目、方向・決定ボタン以外の部分をタッチするとガイダンスボタンの表示／非表示が切り替わります。

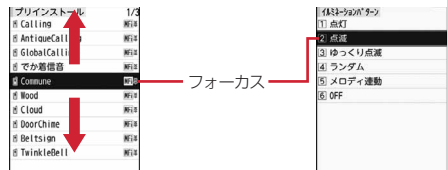
タッチ用メニューボタンが使用できる機能では、画面上でメニューや項目以外の部分をタッチすると、タッチ用メニューボタン、←や×の表示／非表示が切り替わります。

- 電話をかける画面のメニューボタンは、固定表示のため表示の切り替えはできません。
- 画面によっては、ボタンが表示されてから一定時間何も操作しないと自動的に消えます。
- 画面によっては、ボタンをタッチするとボタンの表示が消えます。

❖メニュー／項目選択と画面操作

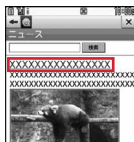
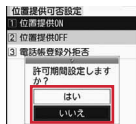
キー操作で▲、▼、◀、▶でカーソルを移動し、決定を押して項目を選択できる画面では、タッチ操作でも同様の操作ができます。

■ フォーカス移動とメニュー／項目選択

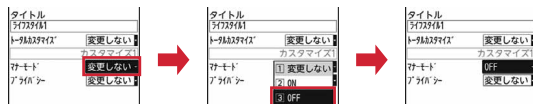
選択するメニューや項目をタッチし、フォーカスを移動してから、もう一度タッチすると選択できます（メニュー／項目によっては、一度タッチすると選択できます）。

一覧でスライド　　項目を直接タッチ

- メニュー／項目に数字や✱ ＃が表示されている場合は、対応するキーを押しても選択できます。
- 項目にカーソルを合わせて決定を押しても選択できます。
- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーションの色や点灯パターン、スクリーン設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。

■ リンク項目や確認画面の操作

リンク項目や確認画面などでは、その項目を直接タッチします。

例：リンク項目

例：確認画面

- リンク項目や、確認画面の「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて決定を押しても選択できます。
- 確認画面は、機能によっては「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

■ プルダウンメニュー

項目を選択（1回タッチ）　項目を選択（2回タッチ）

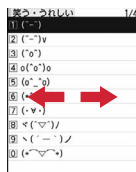
- 設定する項目にカーソルを合わせて決定を押し、項目番号に対応するキーを押しても操作できます。プルダウンメニューの項目は、カーソルを合わせて決定を押しても選択できます。

■ チェックボックスの操作

項目をタッチして選択します。

- 項目番号に対応するキーを押すか、項目にカーソルを合わせて決定を押しても選択できます。
- 項目を選択するたびに、チェックボックスが☑（選択）と□（解除）に切り替わります。
- 機能によってはMENUをタッチすると、すべての項目を選択または解除できます。

■ ページ切り替えとスクロール

リスト一覧が複数ページあるときは左右にスライド、アイコンや絵文字などが複数ページあるときは上下にスライドして、ページ切り替えやページスクロールができます。

ページ切り替え

スクロール

- ◀、▶を押すか、先頭や最後のメニューの位置で▲、▼を押しても操作できます。

■ タブ画面の切り替えとスクロール

タブ画面では、左右にスライドするか、タブを直接タッチすると画面が切り替わります。画面内に表示されている一覧は、上下にスライドしてスクロールできます。

- 電話帳一覧の画面では、左右にスライド（またはすばやくスライド）した方向のタブに連続して移動、上下にスライド（またはすばやくスライド）した方向のページに連続して切り替わります。

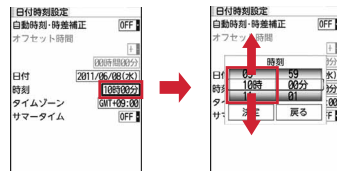
タブを直接タッチ

スクロール

■ 文字のカーソル移動

文字入力画面、文字列のコピーや切り取りの範囲選択時は、文字をタッチするとその位置にカーソルが移動します。

❖数値設定ローラー

日付や時刻など、数値を設定する項目を選択した場合は、スライド操作で数値を回転しながら設定できます。

項目をタッチ　　上または下にスライドして数値を決め、「決定」をタッチ

- 各数値項目は、上方向にスライドで上方向に回転、下方向にスライドで下方向に回転します。スライドしながら、指をローラー部分の外側に移動しても、指を離すまで連続して回転し続けます。回転速度はスライド操作の速さに比例して変わります。回転している部分をタッチすると回転は止まります。
- 「決定」をタッチすると数値を確定し、「戻る」をタッチすると操作を取り消して元の画面に戻ります。

❖方向・決定ボタン

ｉモードブラウザを利用する場合は、方向・決定ボタンで表示画面内のメニューや項目を操作できます。

① 上方向の項目にカーソルを移動する（▲と同じ）
② 下方向の項目にカーソルを移動する（▼と同じ）
③ 左方向の項目にカーソルを移動する（◀と同じ）
④ 右方向の項目にカーソルを移動する（▶と同じ）

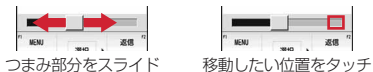
⑤ カーソル位置の項目を選択する（決定と同じ）

❖スライダ

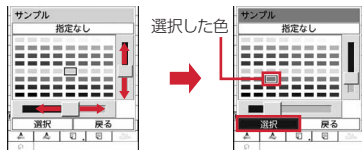
スライダ（横または縦）が表示された場合は、タッチまたはスライドで値（拡大／縮小など）を調節できます。

- 調節できる値は機能によって異なります。

つまみ部分をスライド

移動したい位置をタッチ

❖色選択パネル

メール作成画面の装飾で文字色または背景色で「その他の色」から設定する場合に利用できます。

- 縦と横のスライダで色の位置を選択し、「選択」をタッチします。「戻る」をタッチすると操作を取り消します。

❖音量調整／ズーム調整パネル

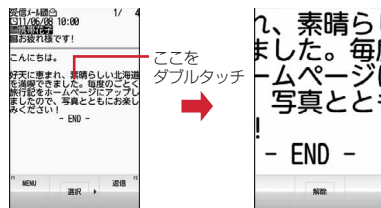
- 音量調整ができる機能では、画面上で上または下にスライド、またはタッチ用メニューボタンで音量調整用のボタンをタッチすると音量調整パネルが表示されます。
  音量調整パネルが表示されているときに、パネル上で上または下にスライドすると音量が変更されます。
- 画面のタッチやキー操作、パネルを表示してから一定時間何も操作しない場合には表示が消えます。
- ズーム調整パネルはカメラで利用します。→P201

音量調整パネル

❖ダブルタッチによる一時拡大と解除

メール作成画面、メール詳細画面、メッセージR/F詳細画面、フルブラウザ画面、トルカ（詳細）表示中などでは、画面上をダブルタッチすると、タッチした部分が一時的に拡大表示されます。画面によっては、拡大表示中もスクロール操作やリンク項目の選択ができます。

- 画面上をダブルタッチ（フルブラウザ画面ではタッチ）するか、画面によってはガイダンスボタンの「解除」をタッチすると解除されます。

〈例〉メール詳細画面

❖タッチ操作での文字入力と認証操作

タッチキー入力と手書き文字入力で、タッチ操作による文字入力ができます。
ユーザ名やパスワードなどの認証画面、端末暗証番号入力画面、PINコード入力画面などで、タッチキー入力ができます。

- 手書き文字入力→P346
- タッチキー入力→P337
- タッチ操作での暗証番号入力→P339

モーションセンサー

モーションセンサーを利用すると、FOMA端末をダブルタップ（2回叩く）したり、傾けることでさまざまな操作ができます。

■ ダブルタップでアラームを停止する

目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中にFOMA端末をダブルタップすると、鳴動が停止します。目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。

- 画面上をダブルタップすると、タッチ操作として動作することがありますのでご注意ください。

■ オートローテーション

ベーシックスタイルでは、FOMA端末の傾きに合わせて、縦画面と横画面が切り替わります。ただし、縦画面の天地は切り替わりません。また、機能によっては対応していないものがあります。

- 画像（JPEG形式）表示中はFOMA端末の傾きに合わせて、縦横や表示サイズが自動的に切り替わります。

■ 静止画撮影時の縦長／横長および天地を自動で切り替える

静止画撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります（自動縦横判定）。

■ 端末を傾けてブラウザ画面をスクロールする

ブラウザ画面で[カメラ]を押しながら、FOMA端末を傾けると、上下左右斜めにスクロールできます。傾ける角度が大きいほどスクロールの速度が速くなります。

- 画面がスクロールしてもポインターは移動しません。

■ Flash画像が変化する

モーションセンサーに対応したFlash画像を待受画面に設定しているときは、FOMA端末を動かすと画像が変化します。

■ ｉアプリを直感的に操作する

FOMA端末を動かすことで直感的なｉアプリ操作ができます。

✔お知らせ

- 歩行中や振動の多い場所では、FOMA端末を傾けてのブラウザ画面のスクロールは正しく動作しません。また、画面を見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。

◆ モーションセンサー設定

モーションセンサーやオートローテーションの有効／無効を設定します。

1 **[MENU][8][7][7]▶各項目を設定▶「登録」**

モーションセンサー：モーションセンサーを有効にするかを設定します。

- 「OFF」に設定してもダブルタップによるアラーム鳴動の停止はできます。

オートローテーション：「OFF」に変更すると、すべての機能のオートローテーションが無効になります。「設定項目のみ有効」に変更すると、機能ごとに有効にするかを設定できます。「操作説明」をタッチするとカーソル位置の機能のオートローテーションの説明が表示されます。

✔お知らせ

- FOMA端末をクレードルに取り付けている場合は、モーションセンサーの設定ができません。

使いかたガイドを見る

知りたい機能や困ったときの対処などを、一覧やキーワードから調べることができます。機能によっては、説明画面から機能を起動することもできます。また、ブックマークに登録したものから選択することもできます。

- 使いかたガイドでの操作手順は、お買い上げ時の設定をもとに説明しています。また、表記と意味は本書での表記ルールに従っています。

1 **[MENU][6][✂]▶検索方法を選択**

目次：機能の一覧から選択して調べる
索引：50音順の用語一覧から選択して調べる
フリーワード検索：探したいキーワードを入力して調べる
ブックマーク：ブックマークに登録した一覧から調べる
困ったときには：トラブルの現象やエラーメッセージから調べる

- 説明画面では、「この機能を使う」や「お知らせ」を選択すると、機能を実行したり、お知らせを表示できます。また「関連機能」内の各リンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する説明画面が表示されます。
- 説明画面のサブメニューから、ズーム（文字サイズの変更）や、ブックマーク（最大20件）の登録ができます。
- Windows 7モードについては調べることができません。

ドコモUIMカードを使う

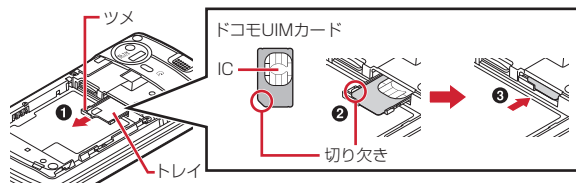
ドコモUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- ドコモUIMカードを正しく取り付けていない場合や、ドコモUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- ドコモUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ 取り付け／取り外し

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P41

■ 取り付けかた

① トレイのツメ部分を引き、「カチッ」と音がするところまで引き出す（❶）
② IC面を上にして、切り欠きの向きを合わせてドコモUIMカードをトレイにセットし（❷）、トレイを奥まで押し込む（❸）

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行う
② ドコモUIMカードを取り出す

✔お知らせ

- ドコモUIMカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、ドコモUIMカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、ドコモUIMカードは取り外した状態で、トレイをドコモUIMカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

◆ 暗証番号

ドコモUIMカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。

- 暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P104

◆ ドコモUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のドコモUIMカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはドコモUIMカードのセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ、画面メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメール®や署名に挿入されている画像、デコメアニメ®テンプレート、メッセージR/F、ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）、トルカ（詳細）の画像
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、PDFデータ、キャラ電、マチキャラ
  - きせかえツール、着うた®・着うたフル®、うた文字、Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えた場合やドコモUIMカードを差し込んでいない場合、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。

✔お知らせ

- ドコモUIMカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるドコモUIMカードに差し替えて使用したり、ドコモUIMカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したドコモUIMカードを差し込むと、データのドコモUIMカードのセキュリティ機能は解除され、設定は元の状態に戻ります（データを待受画面のランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、ドコモUIMカードのセキュリティ機能は設定されません。
- 次の設定はドコモUIMカードに保存されます。
  - 自局電話番号
  - SMS設定（「送達通知」以外）
  - 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
  - Select language、UIMカード（FOMAカード）設定、優先ネットワーク設定

◆ ドコモUIMカード差し替え時の設定

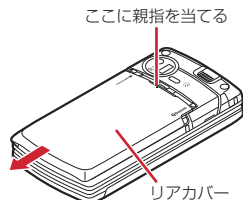
FOMA端末に取り付けられているドコモUIMカードを別のドコモUIMカードに差し替えた場合、次の設定は変更されます。

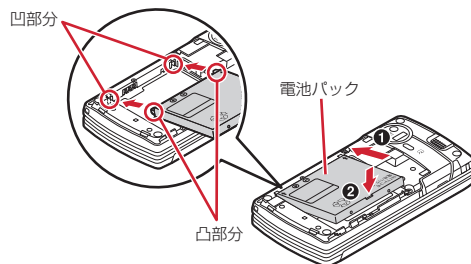
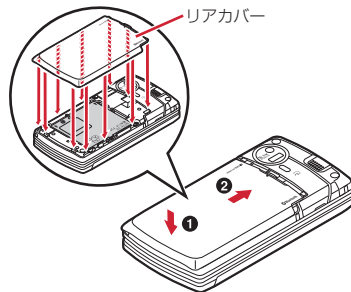
設　定	変更内容
自局電話番号、Select language、SMS設定（「送達通知」以外）、証明書管理の「ドコモ証明書」と「ユーザ証明書」、UIMカード（FOMAカード）設定のPIN1コードとPIN2コード、PIN1コードON／OFF、優先ネットワーク設定	差し替えたドコモUIMカードに保存されている内容に変更されます。
ｉチャネル設定、通話料金自動リセット設定、ｉウィジェットローミング設定、オートGPSサービス情報の設定	お買い上げ時の設定に戻ります。 • ｉチャネル設定は「テロップ表示」のみお買い上げ時の設定に戻ります。
フルブラウザ利用設定	差し替え前の設定に関わらず「利用しない」に設定されます。
Cookie設定	差し替え前の設定に関わらず「無効」に設定されます。Cookie情報は保持されますが、再度、有効に設定すると、Cookie情報を削除する確認画面が表示されます。
Music&Videoチャネルの番組設定	差し替え前の設定は解除されます。必要な場合は再度番組を設定してください。

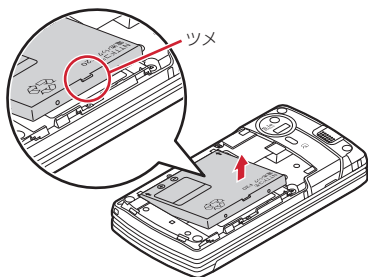
電池パックの取り付け／取り外し

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

① 親指でリアカバーを押しながら、矢印の方向に約3mmスライドさせて外す

※ リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む

③ リアカバーのツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行う
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す

✔お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損する恐れがあります。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタやクレードルから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion 00

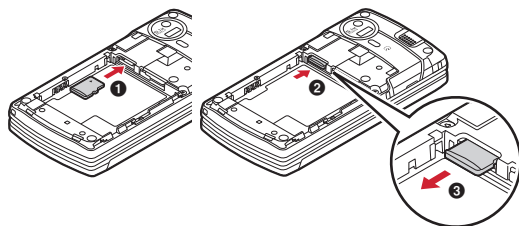
microSDカードの取り付け／取り外し

- 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。→P41
- microSDカードスロットには、microSDカード以外は挿入しないでください。また、傷や変形、ゴミの付着などがあるmicroSDカードは取り付けないでください。故障の原因となります。
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。また、正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSDカードの金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

■ 取り付けかた

microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（❶）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込みます。

■ 取り外しかた

microSDカードの中央を❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを❸の方向にまっすぐ引き出します。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタで充電してからお使いください。

- F-07Cの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F20をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F-07Cの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約170分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約600時間 移動時（自動）：約420時間 移動時（3G固定）：約460時間
	GSM	静止時（自動）：約400時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約370分 テレビ電話時：約170分
	GSM	約440分

- 連続待受時間とは、F-07Cを閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、メールやアプリ、Windows 7モードなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

❖充電について

- 充電には付属のACアダプタ F04とUSBケーブル F01をお使いください。
- 付属のACアダプタ F04はAC100Vから240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

✔お知らせ

- ｉアプリによっては、FOMA端末を閉じても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、動画／ｉモーション再生中、Music&Videoチャネル番組取得中、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤー起動中、ｉアプリの動作中、Windows 7モード中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定で通常時を「常時点灯」に設定した状態で充電するなど、照明／キーバックライト設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。
- 充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

❖ACアダプタやクレードルで充電する

別売りのクレードルセット F01の取扱説明書もご覧ください。

- FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

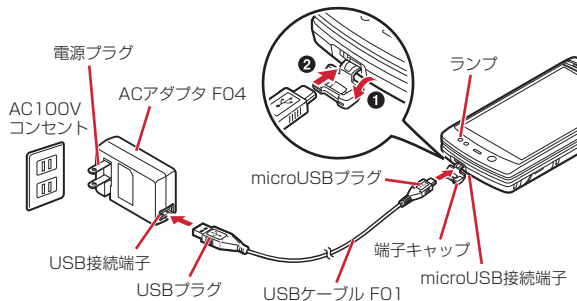
■ ACアダプタ F04とUSBケーブル F01で充電する

① USBケーブル F01のUSBプラグの表記面を上にして、ACアダプタ F04のUSB接続端子に水平に差し込む

② FOMA端末のmicroUSB接続端子の端子キャップを開き（❶）、USBケーブル F01のmicroUSBプラグの表記面を上にして差し込む（❷）

③ ACアダプタ F04の電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む

※ 充電中はFOMA端末のランプの点灯を確認してください（電源OFF時は点灯まで時間がかかります）。

④ 充電が終わったら、ACアダプタ F04の電源プラグをコンセントから抜き、USBケーブル F01のUSBプラグをACアダプタ F04から水平に引き抜き、USBケーブル F01のmicroUSBプラグをFOMA端末から水平に引き抜く

■ クレードルと組み合わせて充電する

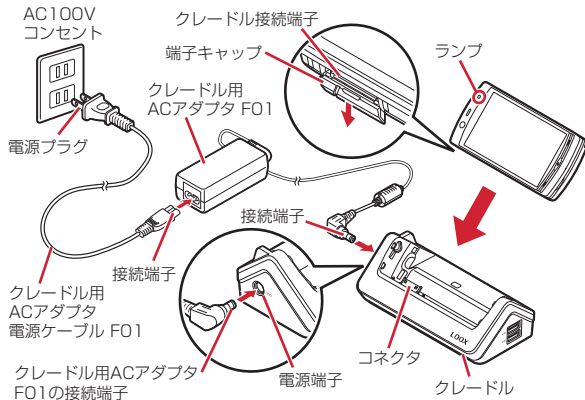
① クレードル用ACアダプタ F01の接続端子をクレードルの電源端子へ差し込む

② クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の接続端子をクレードル用ACアダプタ F01へ水平に差し込む

③ クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む

④ FOMA端末を閉じた状態でクレードル接続端子の端子キャップを開き、クレードルに差し込む

※ 充電中はランプの点灯を確認してください（電源OFF時は点灯まで時間がかかります）。

⑤ 充電が終わったら、FOMA端末をクレードルから取り外し、クレードル接続端子のキャップを閉じる

✔お知らせ

- ACアダプタ F04のコネクタやUSBケーブル F01のプラグを抜き差しする際は、コネクタ部分やプラグに無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。また、USBケーブル F01のプラグを引き抜くときは、必ず水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- USBケーブル F01のUSBプラグを、パソコンのUSBポートに接続しても充電ができます（Windows 7起動中の場合は充電できません）。

❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプは消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタやクレードルから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。
- 充電中にメールを受信したり、撮影をしたりするとランプは一時的に異なる色で点灯しますが、故障ではありません。しばらくたつと赤色に点灯します。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタやクレードルに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、充電確認音が「OFF」の場合、電源が切れている場合、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。
- 充電中はiC送信ができません。

電池残量

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

（電池レベル3）：十分残っています。
（電池レベル2）：少なくなっています。
（電池レベル1）：ほとんどありません。充電してください。

- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

◆電池残量を音と表示で確認

電池残量を音と表示で確認できます。

1 MENU 8 7 5 3

電池残量が表示され、キー／タッチ確認音（→P85）に設定した音が音量設定の電話着信音量で、残量に応じた回数分鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。
電池残量3：3回鳴ります。
電池残量2：2回鳴ります。
電池残量1：1回鳴ります。

❖電池が切れそうになると

電池がない旨のメッセージが表示されます。しばらくたつとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合は を押します。

- 通話中は、メッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。約20秒後に通話が切れ、スピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 （2秒以上）

おサイフケータイご利用時の注意画面→ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ドコモUIMカードの読み込み中はディスプレイ下部にが表示されます。

- ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

アンテナアイコン

待受画面

アイコン		圏外
受信レベル	強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- 電源が入っている状態で電池パックを取り外し、すぐに取り付け直すと、自動的に電源が入り、その旨のメッセージが表示されます。

❖電源を切る

1 （2秒以上）

- 誤操作防止ロック中は、で電源を切ることはできません。

✔お知らせ

- Windows 7がバックグラウンドで起動中にを2秒以上押した場合はWindows 7が休止状態になってFOMA端末の電源が切れます。再度電源を入れてWindows 7モードに切り替えると、Windows 7は通常通り起動します。ただし、何らかの理由でWindows 7が正常に終了しなかった場合は、Windows 7モードに切り替えるとリカバリ画面が表示され、を押すとWindows 7を起動できます。
- Windows 7がフリーズ状態などで動作していない場合は、を2秒以上押しても電源を切ることができません。その場合は、を4秒以上押してWindows 7を強制終了できます。

◆ 初めて電源を入れたとき

初めて電源を入れたときは、「拡大メニューの設定」→「初期設定」の順に操作してください。設定した内容は後から変更できます。

- 初期設定が終了すると、ソフトウェア更新機能の確認画面が表示されます。「OK」をタッチすると待受画面が表示されます。

❖拡大メニューの設定

1 **確認画面で「はい」または「いいえ」**

- 「はい」をタッチすると、きせかえツールの「拡大メニュー」が設定されます。
  やをタッチして確認画面を消した場合は、次に電源を入れても拡大メニューの確認画面は表示されません。拡大メニューは、きせかえツールから設定ができます。

❖初期設定

- 端末暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。端末暗証番号設定と位置提供可否設定を設定せずに←、×、または「終了」をタッチすると、終了の確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。
- 待受画面でMENU 8 7 5 6をタッチしても初期設定画面を表示できます。

1 初期設定画面で各項目を設定▶「終了」

日付時刻設定：日付・時刻を設定します。→P47
端末暗証番号設定：認証操作を行った後、端末暗証番号を変更します。→P103
キー／タッチ確認音設定：キーを押したときやタッチ操作をしたときの確認音を設定します。→P85
文字サイズ設定：文字の大きさを設定します。→P98
位置提供可否設定：認証操作を行った後、位置情報を提供するかを設定します。指定した期間だけ位置提供を許可したい場合は、位置提供可否設定で許可期間を設定してください。→P265

✔お知らせ

- ドコモUIMカードを差し替えたときは、電源を入れた後認証操作を行う必要があります。正しく認証されると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし、再び電源を入れることは可能です）。
- ディスプレイが表示されている状態で何も操作しないでいると、画面オフ時間設定やecoモード設定に従って自動的に消灯します。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。

- 自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。

1 MENU 8 7 2 1▶各項目を設定▶「登録」

自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかを設定します。
- 「ON」に設定すると、オフセット時間が設定できます。
- 「OFF」に設定したときは、日付と時刻を設定します。タイムゾーン、サマータイムも設定できます。

オフセット時間：「＋」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間進めて表示されます。「－」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間遅らせて表示されます。
日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。
時刻：24時間制で時刻を入力します。
タイムゾーン：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。
- 日付・時刻を設定したときのタイムゾーンから時差が計算され、表示されます。
- 国内では「GMT＋09:00」に設定します。

サマータイム：「ON」に設定すると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✔お知らせ

〈自動時刻・時差補正を「ON」に設定したとき〉
- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、ドコモUIMカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正されません。
- 時差補正が行われた場合にはその旨のメッセージが表示されます。
- 海外で時刻や時差の補正が行われた後は、発着信やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 時刻や時差の補正には、数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したとき〉
- 電池パックの取り外しや電池が切れたまま長い間充電しなかったことによって日付・時刻が消去された場合は、充電後にもう一度日付・時刻を設定してください。

発信者番号通知設定

音声電話やテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- 圏外では設定の操作はできません。

1 MENU 8 8 3 1 1 ▶ 1 または 2

設定内容の確認：MENU 8 8 3 1 2 ▶「はい」

❖発信者番号通知の優先順位

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P56
② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P56
③ 電話帳の発番号設定→P76
④ 発信者番号通知設定→P48

✔お知らせ
- 電話をかけたとき、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてからおかけ直しください。

プロフィール情報の確認

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。

1 MENU 0

通話中などに確認：✉ 4 6

✔お知らせ
- 待受画面で F1 ▶ P を押しても、プロフィール情報を表示できます。
- ｉモードのメールアドレスの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 2in1がデュアルモード時は、「Aナンバー」／「Bナンバー」をタッチしてAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。
- 2in1がONのときにドコモUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィール情報からBナンバーを取得してください。→P355
  また、ドコモUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。→P359

Windows 7モードへの切り替え

Windows 7モードに切り替えて、FOMA端末をパソコンとして使用します。

- Windows 7モードでの操作については、「Windows 7」章をご覧ください。→P369

1 [キー]

ケータイモードへの切り替え：[キー]

✔**お知らせ**

- 次のような場合、Windows 7モードへの切り替えはできません。
  - 音声電話やテレビ電話の通話中／発着信中
  - おまかせロック中、オールロック中
  - 画面オフのとき
  - PIN1コード／PIN2コードのロック中
  - ドコモUIMカードのロック中
  - ソフトウェア更新中
  - 外部機器と接続して通信中
  - パソコンとUSBケーブルで接続中
  - 各機能の処理中画面を表示中
  - 電池残量がないとき
  - 親子モードで制限中
  - エリアメール表示中
  - パターンデータ更新中、スキャン機能自動更新中、自動更新設定中
  - 通話時間／通話料金の確認中
  - ネットワークサービス設定中
  - 再生回数が設定されているｉモーション・ムービー、音楽データの再生中
  - 位置提供の実施中、緊急通報位置通知の実施中
  - Music&Videoチャネルの再生プレーヤー起動中（microSDカードに保存した番組選択時）
  - イミテーションコール着信待ち中／着信中／通話中
  - ネットワークサービス通信中
  - 静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダの起動中
  - Windows 7が休止準備中
  - Windows 7が電源OFF・休止状態で電池残量が1のとき（充電中は切り替えができます）
  - Windows 7モードでmicroSDカード使用中のメッセージ画面表示中
- Windows 7初期設定中は、ケータイモードへの切り替えはできません。
- Windows 7モード中にFOMA端末が急に高温になったり、比較的低温でもその状態が長時間続いたりした場合、自動的にケータイモードに切り替わります。これはやけどの危険性を避けるための機能で、故障ではありません。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したりして発信します。電話帳に電話番号を登録していれば、メールなどの各種履歴からも発信できます。

- タッチロックの起動／解除→P114

1 ▶123▶電話番号を入力（80桁以内）

- 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 訂正する場合はCLRを押す、またはCLRをタッチします。
- 番号入力画面を非表示にするときはをタッチします。

2 発信方法を選択

音声電話の発信：

テレビ電話の発信：「テレビ電話」

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら

❖電話番号を入力してから発信する

次の方法でも電話／テレビ電話をかけることができます。

1 電話番号をキー入力（80桁以内）▶

電話番号に続けて「テレビ電話」をタッチすると、テレビ電話をかけることができます。

- の代わりにCtrlを押しながらEscを押しても電話をかけることができます。

✔お知らせ

- 登録済みフェムトセル圏内から発信した場合、発信中／呼出中／通話中画面にフェムトセル利用を示す文字が表示されます。
- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

◆緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報：（局番なし）110

消防・救急への通報：（局番なし）119

海上での通報：（局番なし）118

✔お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のとき、FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

◆ テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

✔お知らせ

- テレビ電話中画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。
- テレビ電話のカメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話が接続できなかった場合は、その理由がメッセージで表示され待受画面に戻ります。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。
  主なメッセージは次のとおりです。
  - **お話中です**：相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがある）
  - **音声電話でおかけ直しください／接続できませんでした**：相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
  - **発信者番号通知をONにしてください**：発信者番号が非通知（ビジュアルネットなどへの発信時）
  - **パケット通信中です**：相手がパケット通信中
  - **積算料金が既定の上限に達しているため発信できません**：リミット機能付料金プランの上限額を超過している
- ハンズフリー ON／OFFの切り替えはテレビ電話動作設定のハンズフリー設定に従います。

❖テレビ電話中画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  ×1～×16: ズーム
  : カメラ映像送信中 : カメラオフ画像送信中 : キャラ電中
  : 静止画送信中 : 通話保留中 : 応答保留中
  : 伝言メモ録画中 : 動画メモ録画中
  Action／Parts: アクションモード（全体アクション／パーツアクション）
  STD／／／: 撮影モード（標準／逆光／モノトーン／セピア）
  : ライトON
  ／HQ: 送信画質（動き優先／画質優先）
  A: 音声送受信中 V: 映像送受信中 AV: 音声・映像送受信中
  1～6: 受話音量調整中
  : 接写撮影ON
  : テレビ電話切り替え可

リダイヤル／着信履歴

電話の発信と着信の履歴を記録しておく機能です。電話をかけ直したり、電話帳に登録したりします。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

◆ リダイヤルの表示

1 [発信キー]▶[リダイヤル]

- [▶]を押してもリダイヤルを表示できます。

◆ 着信履歴の表示

1 [発信キー]▶[着信履歴]

- [◀]を押しても着信履歴を表示できます。

✔お知らせ

〈リダイヤル／着信履歴共通〉

- 通話中に電話／テレビ電話が切り替わっても、発着信時の種別が記録されます。
- 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。「010」を付けて発信した場合は表示されません。
- 音声電話中に「MENU」▶ 2 ／ 1 をタッチ、または[▶]／[◀]を押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。
- 電話帳に画像登録時は、詳細画面の表示は画像／名前表示切替に従います。
- 2in1利用時は、リダイヤルと着信履歴はAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件まで記録されます。
- 2in1利用時、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではSMSは作成できません。

〈リダイヤル〉

- 同じ電話番号に発信した場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」ごとに最新の1件がリダイヤルに記録されます。
- マルチナンバー契約時、サブメニューからマルチナンバーを指定して発信した場合は、その名称が詳細画面に表示されます。

〈着信履歴〉

- 電話番号が通知されなかった場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 呼出動作開始時間設定の呼出開始時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は着信履歴一覧で「MENU」▶ 8 1 をタッチします。元の着信履歴に戻す場合は、「MENU」▶ 8 2 をタッチします。
- 着信履歴一覧で「MENU」▶ 9 をタッチすると、未確認の不在着信の件数を表示できます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。
- マルチナンバー契約時は着信したマルチナンバーの名称が詳細画面に表示されます。
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

❖ 不在着信

待受画面に[不在着信 2]（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

❖リダイヤル／着信履歴のマークの意味

リダイヤル／着信履歴の一覧／詳細画面にはマークが表示されます。マークの意味は次のとおりです。

／：音声電話／国際音声電話の発着信※1
／：テレビ電話／国際テレビ電話の発着信※1
／：64Kデータ通信／国際64Kデータ通信の着信
／：不在着信／未確認不在着信
／：伝言メモ／未確認伝言メモ※2
／：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で設定した番号通知／非通知の発信
：海外滞在時（GMT+09:00を除く）の発着信※3
：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
：不在着信の呼出時間
／：フェムトセル在圏中の音声電話／国際音声電話の発着信
／：フェムトセル在圏中のテレビ電話／国際テレビ電話の発着信

※1 「010」を直接入力または「010」を電話帳に登録して発信した場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。
※2 伝言メモを削除すると不在着信のマークに変わります。
※3 発着信日時が記録されていないときなどは表示されない場合があります。

◆リダイヤル／着信履歴の操作

1 ▶ または

2 目的の操作を行う

詳細画面の表示：相手を選択
削除：相手をタッチ▶「MENU」▶5▶1～3▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたリダイヤル／着信履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

電話の発信：相手をタッチ▶「発信」または「テレビ電話」
- 「MENU」▶1をタッチすると、発信オプションを利用できます。
→P56

相手の居場所を確認：相手をタッチ▶「MENU」▶3▶「はい」
電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。
- イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

電話帳に登録：相手をタッチ▶「MENU」▶4▶1または2▶1または2
電話帳登録→P72
- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

iモードメールの作成：相手をタッチ▶「作成」
SMSの作成：相手をタッチ▶F3（1秒以上）
一覧画面の切り替え：「MENU」▶6
メール送信履歴／受信履歴の表示：「送履歴」／「受履歴」
詳細画面表示の切り替え：リダイヤル／着信履歴詳細画面で「MENU」▶8▶1～3

番号通知（186）／非通知（184）

発信者番号の通知／非通知を設定して発信します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 番号通知方法の優先順位→P48

■ **通知で発信**

1 ▶123▶1 8 6▶電話番号を入力▶または「テレビ電話」

■ **非通知で発信**

1 ▶123▶1 8 4▶電話番号を入力▶または「テレビ電話」

✔**お知らせ**

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

発信オプション

発信方法や番号通知などの発信条件を発信ごとに設定します。

- 番号通知方法の優先順位→P48

1 ▶123▶電話番号を入力▶「MENU」▶2

- 各種履歴から操作するときは、相手をタッチ▶「MENU」▶「発信オプション」をタッチします。
  電話帳から操作するときは、相手をタッチ▶「MENU」▶「発信オプション／メール」▶「発信オプション」をタッチします。

2 **各項目を設定**

マルチナンバー／自局番号：発信番号を選択
マルチナンバーの発信方法→P355
- 「自局番号」は2in1がデュアルモードまたはBモード時に表示されます。

発信方法：発信方法を選択

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定
- 「指定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

プレフィックス：先頭に付加する番号（プレフィックス）を選択→P58

国際電話発信：国際電話発信を設定

国際プレフィックス：日本から国際電話発信時の国際アクセス番号を選択

国番号：国際電話発信時の国番号を選択

3 **「発信」**

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合は、「キャラ電」をタッチすると通話中に表示するキャラ電を選択できます。
- 受信／送信メール詳細画面から操作するとき、またはPhone To（AV Phone To）機能を利用するときは、発信確認画面が表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択すると、発信方法以外の設定が解除された状態で発信されます。

✔**お知らせ**

- 発信方法の「SMS」は、SMS To機能を利用する場合などで選択できます。
- 発信者番号通知を設定して発着信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合、着信履歴から発信できません。
- プレフィックスと国際電話発信は同時に設定できません。
- 発信オプションを利用した国際電話のかけかた
  - 日本から国際電話発信→P57
  - 海外から国際電話発信→P364

国際電話（WORLD CALL）

「WORLD CALL」は国内でドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話（音声電話・テレビ電話）サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
海外利用→P362

- 音声電話は世界約240の国・地域にかけられます。海外の一般電話や携帯電話と音声電話がご利用できます。
- 国際テレビ電話は世界約50の国・地域にかけられます。テレビ電話に対応した海外通信事業者の携帯電話や一般電話と国際テレビ電話をご利用できます。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求させていただきます。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 国際テレビ電話は接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 [発信]▶[123]▶[0][1][0]▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶[発信]

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 上記の電話番号を電話帳に登録できます。
- [発信]▶[123]▶009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号▶[発信]でもかけられます。

携帯電話へかける：[発信]▶[123]▶[0][1][0]▶国番号▶先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力▶[発信]

❖「+」で国際電話を発信

「+」の入力だけで、国際アクセス番号を入力しなくても国際電話をかけられます。

- QWERTYキーで操作する場合は[P]を1秒以上押すか、[F]を押しても「+」を入力できます。

1 [発信]▶[123]▶[+]▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶[発信]▶「はい」

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

❖国際アクセス番号／国番号を指定して国際電話を発信

発信オプションで国際アクセス番号や国番号を選択して発信します。→P56

1 [発信]▶[123]▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶「MENU」▶[2]▶国際電話発信欄を選択▶[2]▶国際プレフィックス欄を選択▶国際アクセス番号の名称を選択▶国番号欄を選択▶国番号を選択▶「発信」▶「はい」

- 「元の番号で発信」を選択すると発信されません。

国際ダイヤルアシスト設定

国際電話発信時に利用する国番号と国際プレフィックスを簡単に呼び出せるように設定します。

❖自動変換機能設定

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかを設定します。

1 [MENU][8][8][9][5][1]▶各項目を設定▶「登録」

国番号変換：「ON」を選択して国番号を選択

- 海外で電話をかけるときに有効です。

国際プレフィックス変換：「ON」を選択して国際アクセス番号を選択

❖国番号設定

国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 MENU 8 8 9 5 2

2 目的の操作を行う

登録：国番号をタッチ▶各項目を設定▶「登録」

- 国名称を全角8（半角16）文字以内で、国番号を5桁以内で入力します。

修正：国番号をタッチ▶各項目を設定▶「登録」

自動変換を設定：国番号をタッチ▶「自動設定」

設定すると✔が表示されます。

削除：国番号をタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶「はい」

❖国際プレフィックス設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 MENU 8 8 9 5 3

2 目的の操作を行う

登録：「〈未登録〉」▶各項目を設定▶「登録」

- 名称を全角8（半角16）文字以内で、国際アクセス番号を10桁以内で入力します。

修正：国際アクセス番号をタッチ▶各項目を設定▶「登録」

自動変換を設定：国際アクセス番号をタッチ▶「自動設定」

設定すると✔が表示されます。

削除：国際アクセス番号をタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶「はい」

プレフィックス設定

「184」「186」など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。

- プレフィックスは最大3件登録できます。

1 MENU 8 5 6 2 ▶入力欄に番号を入力（10桁以内）▶「登録」

- プレフィックスにポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めて登録すると、そのプレフィックスを付加して電話発信できません。

❖プレフィックスをつけて発信

発信オプションでプレフィックスを選択して発信します。→P56

1 📞 ▶ 123 ▶電話番号を入力▶「MENU」▶ 2

- 各種履歴から操作するときは、相手をタッチ▶「MENU」▶「発信オプション」をタッチします。
  電話帳から操作するときは、相手をタッチ▶「MENU」▶「発信オプション／メール」▶「発信オプション」をタッチします。

2 プレフィックス欄を選択▶プレフィックスを選択▶「発信」または「テレビ電話」▶「はい」

サブアドレス設定

電話番号に含まれる「＊」以降の番号をサブアドレスとして認識し、サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかを設定します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 MENU 8 5 6 3 ▶ 1 または 2

❖サブアドレスをつけて発信

1 [発信] ▶ 123 ▶ 電話番号を入力 ▶ [✂] ▶ サブアドレスを入力 ▶ [発信]または「テレビ電話」

✔お知らせ

- サブアドレス設定が「ON」でも、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号として送出されます。

プッシュ信号（DTMF）

プッシュ信号を送って対応する各種サービスを操作します。ネットワークサービスの操作も行えます。

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

✔お知らせ

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

❖ポーズ「P」送出

ご自宅の留守番電話の操作、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 [発信] ▶ 123 ▶ 電話番号を入力 ▶ P ▶ 番号を入力 ▶ [発信]

2 電話がつながったら「実行」

ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

- G を1秒以上押してもポーズ（「P」）を入力できます。

❖タイマー「T」送出

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。

1 [発信] ▶ 123 ▶ 電話番号を入力 ▶ T ▶ 内線番号を入力 ▶ [発信]

外線番号に続いて、タイマー（「T」）1つにつき約1秒間の間隔をとって内線番号が送信されます。

- H を1秒以上押してもタイマー（「T」）を入力できます。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

❖テレビ電話中DTMF送信

テレビ電話中にプッシュ信号を送信します。

1 通話中に「MENU」▶「DTMF送信」▶ 番号を入力

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

送出解除：CLR

- カメラ映像送信中やカメラオフ画像送信中は「MENU」▶「DTMF送信」をタッチしなくても、番号を入力するだけでプッシュ信号が送出できます。
- 送信中の静止画は解除されます。
- キャラ電中はキーによるアクション操作はできません。

ノイズキャンセラ設定

ノイズを抑えて通話を明瞭にします。

- 通常は、「ON」にした状態で使用することをおすすめします。

1 MENU 8 5 7 1 ▶ 1 または 2

ハンズフリー対応機器の利用

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器とBluetooth接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth通信対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末で機器登録や接続が必要です。→P329

✔お知らせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、マナーモードや着信音の設定に左右されません。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

通話中保留

1 通話中に「保留」

通話が保留になり、ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

通話中保留の解除：「解除」

テレビ電話通話中保留の解除：次のいずれかをタッチ

「解除」：保留前に送信していた画像に戻る

「自画像」：カメラ映像が送信される

「代替画像」：代替画像が送信される

✔お知らせ

- 保留中も発信側に通話料金がかかります。
- 保留中は、3分経過するごとに5回までFOMA端末が振動します。ただし、公共モード（ドライブモード）中またはオリジナルマナーモード中でオリジナルマナーモードのバイブレータ設定が「OFF」の場合は振動しません。

ハンズフリーの利用

FOMA端末を持たずに、スピーカーから相手の声が聞こえる状態で通話します。

- ハンズフリー ONにすると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーから相手の声が聞き取りにくい場合は、ハンズフリー OFFにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。

1 通話中に画面をタッチ▶[ハンズフリー]

ディスプレイ上部に[スピーカー]が表示されます。

解除：ハンズフリー ONで通話中に画面をタッチ▶[ハンズフリー]

ハンズフリー ONで発信：

① 電話番号を入力

② Ctrl＋Esc（1秒以上）

- 電話帳、各種履歴から操作するときは、相手をタッチ▶Ctrl＋Esc（1秒以上）を押します。
- 発信中または呼出中は、Ctrl＋Escを押すたびに切り替えられます。

✔お知らせ

- テレビ電話動作設定のハンズフリー設定が「OFF」のとき、ハンズフリー ONで発信する場合は、F2、F4のいずれかを1秒以上押します。

通話中の受話音量調整

通話中に受話音量を変更して、聞き取りやすくします。

- 本設定は音量設定の受話音量に反映されます。→P84
- ハンズフリー ONで通話中の音量は通話終了後も保持されますが、受話音量には反映されません。

1 通話中に画面をタッチ▶[音量]▶音量調整パネル上を上下にスライド

- 通話中に▲または▼を押しても変更できます。

はっきりボイス

音声電話中に、周囲の騒音に応じて最適な方法で調整し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- 通話終了後も設定は保持されます。
- 本機能は受話音量を調整するためのものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調整してください。→P84

1 音声電話中に「MENU」▶ 6

ONにすると、自動はっきりボイスが表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

解除：**はっきりボイスON中に「MENU」▶ 6**

ゆっくりボイス

音声電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。

- 相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。
- 海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後、設定は解除されます。

1 音声電話中に「ゆっくり」／「元の速さ」

ONにすると、ゆっくりボイスが表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

✔お知らせ

- ゆっくりボイスをONにすると、相手の声質、音楽や時報などが変化する場合があります。その場合はOFFにしてください。

電話／テレビ電話切替

音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしであれば、通話中に発信側からの操作で、音声電話をテレビ電話に、テレビ電話を音声電話に切り替えられます。

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 切り替え操作を行う／切り替えに応じるには、着信側がテレビ電話切替機能通知を開始にしている必要があります。→P68

✔お知らせ

- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、さらに時間がかかったり、切り替えができずに電話が切れたりする場合があります。切り替え中は通話時間に含まれず、料金は加算されません。
- 音声電話に切り替わるとハンズフリー OFFの、テレビ電話に切り替わるとハンズフリー ONの通話になります。
- キャッチホンでの音声電話中または相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- カメラ映像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P67

❖発信側での切替

■ **音声電話→テレビ電話切替**

1 音声電話中に「テレビ電話」▶「はい」

■ **テレビ電話→音声電話切替**

1 テレビ電話中に「MENU」▶ 1 ▶「はい」

❖着信側での対応

テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受けると、電話を切り替える旨のガイダンスが流れて自動的に通話が切り替わります。
音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受けると、電話を切り替える旨のガイダンスが流れ、カメラ映像送信確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると相手にはカメラ映像が、「いいえ」を選択するとテレビ電話画像選択の代替画像の標準画像が送信されます。

通話中音声メモ／動画メモ

通話中に相手の声や画像を録音／録画します。

- 通話中音声メモは、1件につき最大30秒、待受中音声メモと合わせて最大4件録音できます。→P322
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。iモーション／ムービーの「カメラ」に保存され、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは録画できません。
- 通話中音声メモの操作→P66
- 動画メモの再生（→P281）、削除（→P300）

1 通話中に［カメラ］（1秒以上）

録音／録画が開始されます。

- 録音／録画時間残り約5秒になると終了予告音（ピピッ）が、終了時には終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音／録画中は画面の下に時間の経過が表示されます。
- 動画メモ録画中に「切替」をタッチすると、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。

停止：**録音／録画中に［カメラ］（1秒以上）**

✔お知らせ

- ガイダンスによっては録音できないものがあります。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。

電話を受ける

- タッチロックの起動／解除→P114

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。

着信音量調整：**画面をタッチ▶［音量］▶音量調整パネル上を上下にスライド**

［カメラ］：着信音、バイブレータの動作を止める

- ［▲］／［▼］を押しても着信音量を調整することができます。

2 応答方法を選択

音声電話に応答：**「通話」**

テレビ電話に応答：**「テレビ電話」**

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

- 「テレビ電話」の代わりに「代替画像」をタッチすると、代替画像でテレビ電話を受けます。
- ［CLR］を押しても応答できます。

3 通話が終わったら［終話］

■ 着信中の表示

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは登録している名前が表示されます。→P72

- 電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
  - **非通知設定**：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
  - **公衆電話**：公衆電話などから発信した場合
  - **通知不可能**：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

✔お知らせ

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合、音声電話中に別の音声電話が着信すると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス開始中は各サービスが動作します。
- FOMA端末からの転送電話着信時、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「＊」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話の場合は、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。

❖着信中のサブメニューからの操作

着信中にサブメニューから次の操作ができます。

- **着信拒否**：電話を受けずに切断
- **留守番電話**：留守番電話サービスセンターに接続
- **転送でんわ**：転送先に転送

応答保留

着信時にすぐに電話に出られないときは応答保留にします。

- 応答保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 **着信中に[電源/終話]**

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 **電話に出られる状態になったら[CLR]または「テレビ電話」**

- テレビ電話の場合、「代替画像」をタッチすると代替画像が送信されます。
- 応答保留中に[電源/終話]を押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

❖応答保留ガイダンス設定

応答保留中に相手に流れるガイダンスには、内蔵音だけでなく録音した自分の声を設定できます。1件約10秒間録音できます。

1 **[MENU] [8] [1] [1] [8] [1] ▶保留音欄を選択▶ [2]**

内蔵音を設定：[1]▶操作3に進む

2 **ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音の後に録音**

メッセージ表示後に録音が開始され、約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。

停止：**録音中に「停止」**

- ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

3 **「登録」**

✔お知らせ

- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音に戻ります。

エニーキーアンサー設定

「通話」、[CLR]以外のキーを押しても電話を受けられるかを設定します。

- 音声電話で有効です。ただし、通話中の着信には無効です。
- 次のキーを押してもエニーキーアンサーはできません。
[メール]、[iモード]、[アプリ]、[カメラ]、[電源/終話]、[Sh]、[F1]〜[F4]、[▲]、[▼]、[◀]、[▶]、[Ctrl]、[Alt]、[Tab]、[Windows]、[CLR]、[Fn1]、[Fn2]、[Del]、[マウス]

1 **[MENU] [8] [5] [3] ▶ [1]または[2]**

マルチアクセス中表示

音声電話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったときや、iモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 **[MENU] [8] [5] [6] [1] ▶ [1]〜[3]**

- 「設定なし」にすると、後から着信した画面が表示されます。ただし、音声電話中のパケット通信着信時は音声電話中の画面が表示されます。

- 「パケット通信表示優先」にすると、音声電話中はパケット通信着信画面が、ｉモード中はｉモード中の画面が表示されます。[key]を押し、タスク切替メニューで電話に切り替えることもできます。

✔お知らせ

- 音声電話中にｉモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、音声電話中の画面が優先して表示されます。

公共モードの利用

公共モード（ドライブモード／電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1 呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。
  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

◆公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控えるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 待受画面でG（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）が設定され、待受画面に[icon]が表示されます。

解除：**待受画面でG（1秒以上）**

公共モード（ドライブモード）が解除され、[icon]が消えます。

- Fn2を押しながら▼を押しても、公共モード（ドライブモード）の設定／解除ができます。

■ 公共モード（ドライブモード）を起動すると

お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。画面には[icon 2]（数字は件数）が表示され、「着信履歴」に記憶されます。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。ただし、電源が入っていないときや電波が届かないところにいるときは、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- メールを受信したときには着信音は鳴らずに[icon 2]（数字は件数）が待受画面に表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールアラームの音
  - ｉアプリのサウンド、ｉウィジェットの効果音
  - 通話料金上限通知（通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）
  - 充電開始／完了音、電池アラーム音、GPS測位中の音

✔お知らせ

- 公共モードの設定／解除ができるのは待受中のみです。「圏外」表示のときも、設定／解除はできます。
- 公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
- 緊急通報110番、119番、118番に電話をかけると公共モードは解除されます。
- 公共モードとマナーモードや伝言メモを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
- エリアメール設定で公共モード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時にブザー警報音やエリアメール着信音が鳴ります。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。
- ケータイデータお預かりサービスからデータ復元を実行しても、復元されません。公共モードを解除してください。

◆ 公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 [発信] ▶ [123] ▶ [＊] [2] [5] [2] [5] [1] ▶ [発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面にアイコンなどは表示されません。

解除：[発信] ▶ [123] ▶ [＊] [2] [5] [2] [5] [0] ▶ [発信]

設定の確認：[発信] ▶ [123] ▶ [＊] [2] [5] [2] [5] [9] ▶ [発信]

■ 公共モード（電源OFF）を起動すると

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。

1 [MENU] [4] [7] [1] ▶ [1] または [2]

「ON」にすると、待受画面に[アイコン]が表示されます。

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも[CLR]を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は「カメラ画像」で自分側の映像が、「代替画像」で代替画像が送信されます。このとき、電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。
- 圏外では、伝言メモは動作しません。留守番電話サービス開始中は留守番電話サービスが動作します。
- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面に[アイコン]が表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービス開始中は各サービスが動作します。
- オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの伝言メモに従います。
- 2in1利用時、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。表示はモードによって異なります。

❖伝言メモ応答時間設定

着信してから伝言メモが応答するまでの時間を設定します。

1 [MENU] [4] [7] [1] [3] ▶ 時間を入力

❖伝言メモ応答ガイダンス設定

伝言メモ応答中に相手に流れるガイダンスには、内蔵音だけでなく録音した自分の声を設定できます。1件約10秒間録音できます。

1 [MENU] [4] [7] [1] [4] ▶ 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択 ▶ [2]

内蔵音を設定：[1] ▶ 操作3に進む

2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音の後に録音

メッセージ表示後に録音が開始され、約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。

停止：**録音中に「停止」**

- ガイダンスを確認するときは「再生」をタッチします。

3 「登録」

✔お知らせ

- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音に戻ります。

◆クイック伝言メモ

伝言メモを起動していなくても、その着信に限り1回だけ相手の用件を録音／録画できます。

- 伝言メモを起動する操作ではありません。

1 着信中に［カメラ］（1秒以上）

伝言メモ／音声メモの操作

伝言メモ、通話中音声メモ、待受中音声メモを再生／削除します。また、メモから電話をかけたり電話帳に登録したりします。

1 MENU 4 7

2 目的の操作を行う

伝言メモの再生：**2▶メモを選択▶削除するかを選択**

〈例〉伝言メモ一覧画面

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：伝言メモ／再生済み伝言メモ
  ／：テレビ電話伝言メモ／再生済み伝言メモ
  ／表示なし：通話中音声メモ／待受中音声メモ※1
  ：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
  ：海外滞在時（GMT+9:00を除く）※2
  ：国際電話の伝言メモまたは通話中音声メモ

※1　待受中音声メモの名前欄には「音声メモ」と表示されます。

※2　着信または録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

- 再生中は画面の下に再生時間の経過が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  画面をタッチ▶▶音量調整パネル上を上下にスライド：音量調整
  ▲／▼を押しても音量調整ができます。
  「停止」：停止
  画面をタッチ▶：ハンズフリーON／OFFの切り替え
- テレビ電話伝言メモ再生中はハンズフリーONで再生されます。ハンズフリーON／OFFの切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」をタッチすると消音で再生されます。

音声メモの再生：**4▶メモをタッチ▶削除するかを選択**

伝言メモの削除：**2▶メモをタッチ▶「MENU」▶2▶1または2▶「はい」**

音声メモの削除：**4▶メモをタッチ▶「MENU」▶2▶1または2▶「はい」**

- 1件削除ではタッチしたメモが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

電話の発信※：**2または4▶メモをタッチ▶「発信」または「テレビ電話」**

- 「MENU」▶3をタッチすると、発信オプションを利用できます。→P56

電話帳に登録※：**2または4▶メモをタッチ▶「MENU」▶4または5▶1または2**

電話帳登録→P72

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

※ 待受中音声メモでは利用できません。

キャラ電の設定

テレビ電話中に、自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。

• キャラ電の表示→P287

1 通話中に「MENU」▶ 3 1 1 ▶フォルダを選択▶キャラ電を選択

• キャラ電送信中に「アクション」をタッチで、次の操作ができます。
Q～O、H：アクション
P：アクションの中止
F4：アクション一覧の表示
F4（1秒以上）：全体アクションとパーツアクションの切り替え

テレビ電話中の表示設定

テレビ電話で会話しながら、送信する映像／画像を変更したり、画面表示を変更したりできます。

◆ 通話中送信映像の設定

1 通話中に目的の操作を行う

カメラ映像／代替画像の切り替え：「自画像／代替画像」

インカメラ／アウトカメラの切り替え※1：「カメラ切替」

• カメラを切り替えても、撮影モード、画像の明るさ、ちらつき調整の設定は保持されます。

表示倍率の切り替え〈ズーム〉※1：画面をタッチ▶ ZOOM ▶ W◀または▶T

• ▶Tをタッチすると次の順で、W◀をタッチすると逆の順で切り替わります。カメラを切り替えると解除されます。
インカメラ：標準→2倍
アウトカメラ：標準→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍→16倍

映像の明るさ調整※1、3：「MENU」▶ 2 1 ▶ 1～5

ちらつき調整※1、3：「MENU」▶ 2 2 ▶ 1～3

お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。

• カメラ、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

映像の特殊な効果〈撮影モード〉※1：「MENU」▶ 2 3 ▶ 1～4

逆光になる被写体を撮影したり、映像を白黒やセピア調にしたりできます。

ライト点灯／消灯※1：「MENU」▶ 2 4

• 通話中の設定操作などで一時的にライトが消える場合があります。

接写撮影の切り替え※2：「MENU」▶ 2 5

• 約8～10cmのごく近い距離の映像を送信するときにピントを合わせられます。

カメラオフ画像の送信：「MENU」▶ 3 2

テレビ電話画像選択の代替画像で設定した代替画像が送信されます。

• 代替画像にキャラ電を設定していると標準画像が送信されます。

静止画の送信：「MENU」▶ 3 3 ▶フォルダを選択▶静止画を選択

• 解除するときは「解除」をタッチします。

送信／受信画像品質の設定：「MENU」▶ 5 ▶ 1 または 2 ▶ 1 ～ 3
- 「動き優先」では動きが滑らかになりますが画質がやや粗くなり、「画質優先」では画質は細やかになりますが動きがやや鈍くなります。
- 受信画質を変更すると、相手の送信画質に反映されます。

※1 カメラ映像送信中のみ設定できます。
※2 アウトカメラ使用時のみ設定できます。
※3 通話終了後も設定は保持されます。

◆通話中画面表示の設定

- 通話終了後も設定は保持されます。

1 通話中に目的の操作を行う

親子画面の表示切り替え：「画面切替」
親画面のサイズ変更：F2（1秒以上）
- 押すたびに大→中→小→大の順に切り替わります。

画面表示の設定：「MENU」▶ 6 ▶各項目を設定▶「登録」
各項目設定→P69「テレビ電話動作設定」

テレビ電話切替機能通知

本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えに対応していることをネットワークに通知しておきます。
- 圏外では設定できません。待受中に、電波状態のよい所で操作します。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU 8 6 7

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」
停止：2 ▶「はい」
設定の確認：3 ▶「はい」

テレビ電話画像選択

テレビ電話中に相手に送信する各種画像を設定します。
- 次の画像は送信する静止画や代替画像などに設定できません。
  - サイズがQCIF（176×144）を超える静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P299「詳細情報の表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

1 MENU 8 6 5 ▶ 1 ～ 5 ▶各項目を設定▶「登録」

イメージ表示：画像の種類を設定
イメージ一覧：イメージ表示が「選択キャラ電」（代替画像設定のみ）または「イメージ」のときに選択

✔**お知らせ**
- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話動作設定

テレビ電話が接続できなかったときの動作やテレビ電話中の画面などを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2011年5月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 **MENU 8 6 3 ▶各項目を設定▶「登録」**

音声自動再発信：接続不可の場合の音声電話による再発信を設定
テレビ電話画面設定：画面表示を設定
子画面表示：子画面表示を設定
- テレビ電話画面設定を「両方」にすると設定できます。

画面サイズ設定：親画面表示サイズを設定
受信画質設定：相手からの受信画質を設定
明るさ調整：「端末設定に従う」選択時は照明／キーバックライト設定の明るさ調整に従う
ハンズフリー設定：接続時のハンズフリー ON／OFFを設定

✔お知らせ

- 音声自動再発信が「ON」でも、音声電話中または64Kデータ通信中はテレビ電話を発信できません。ただし、パソコンとつないだパケット通信中はテレビ電話を発信すると音声電話で再発信されます。
- 音声自動再発信が「ON」で、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

パケット通信中着信設定

ｉモード中、Music&Videoチャネルの番組取得中にテレビ電話がかかってきたときの対応方法を設定します。

1 **MENU 8 6 4 ▶ 1 ～ 4**

- 「テレビ電話優先」にすると着信画面表示が優先され、テレビ電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話着信時がｉモード中の場合は、通話終了後ｉモードの画面に戻ります。Music&Videoチャネルの番組取得中の場合は番組取得が再開されます。
- 「パケット通信優先」にすると着信画面は表示されずに切断され、着信履歴に記録されます。
- 「留守番電話」「転送でんわ」にすると、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが停止中でも各サービスが動作します。

✔お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービス未契約時は、「留守番電話」または「転送でんわ」にしても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作し、着信履歴には記録されません。

テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末を付属のUSBケーブル F01で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

1 MENU 8 6 6 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン契約中は、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴に不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

電話帳の種類

F-07Cでは、FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳が使用できます。

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	ドコモUIMカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	No.000～999	×
	名前	全角16（半角32）文字	全角10（半角21）文字※2
	フリガナ	半角32文字	全角12（半角25）文字※3
	画像・動画	○	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話番号	1件につき5番号、電話帳全体で最大3005番号※1	1件につき1番号
	電話番号アイコン	○	×
	メールアドレス	1件につき5アドレス、電話帳全体で最大3005アドレス※1	1件につき1アドレス
	メールアドレスアイコン	○	×
	その他の設定※4	○	×

※1 実際に登録できる件数は、登録内容により少なくなる場合があります。
※2 全角と半角が混在や半角カタカナを含む場合は10文字以内で入力します。
※3 全角と半角が混在の場合は12文字以内で入力します。
※4 設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、会社名、役職名、URLです。
ｉコンシェルのインフォメーション（メモ、住所、URL）は、自動的に更新されます（ｉコンシェル契約の場合）。

- お客様のドコモUIMカードを他のFOMA端末に挿入しても、ドコモUIMカード電話帳を利用できます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、FOMA端末電話帳を保存できます。保存した電話帳は、お預かりセンターに接続してFOMA端末に更新・復元できます。→P119

◆ 名前の表示

電話帳の名前は、電話帳を利用する他の機能でも表示されます。

■ 音声電話・テレビ電話

電話帳に登録した名前と電話番号が発着信中、呼出中、音声電話中の画面に表示されます。

■ ｉモードメール・SMS

電話帳に登録した名前が受信／送信／未送信メール一覧画面、メール詳細画面に表示されます。
メールを受信した際、発信元と電話帳のメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録しても、電話帳の名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最初に登録した名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳の名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳に登録します。

- ドコモショップなど窓口での機種変更時など、新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数→P72

◆ FOMA端末電話帳に登録

1 MENU 4 2

2 名前を入力

3 **各項目を設定▶「登録」**

メモリ番号：000〜999までの任意の番号を設定します。10〜999までのうち、最も小さい空きメモリ番号が割り当てられています。空きがないときは、0〜9が割り当てられます。
- メモリ番号が重複した場合は上書き確認画面が表示されます。上書きしない場合は「新規登録」を選択し、他の番号を入力してください。
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

フリガナ：フリガナ検索やロケットサーチで利用するフリガナを入力します。入力した名前のフリガナが入力されています。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：発着信時や電話帳確認時に表示するデータを登録します。

グループ：「グループなし」に設定されています。
- FOMA端末電話帳では「追加」をタッチするとグループを追加できます。→P77

電話番号：26桁以内で入力します。
- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
- 電話番号には、ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を登録できます。
- 「186」または「184」を付けた電話番号では、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力します。
- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
  シークレットコード設定→P76

誕生日：誕生日設定を「ON」にして誕生日を入力します。
- 入力した誕生日はスケジュール帳に表示されます。→P312

テキストメモ：全角100（半角200）文字以内で入力します。

郵便番号／住所：郵便番号は7桁、住所は全角100（半角200）文字以内で入力します。

位置情報：現在地や位置履歴などから位置情報を付加します。
- 位置情報利用メニュー→P262

会社名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

役職名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

URL：半角256文字以内で入力します。

■ 電話帳への画像登録

電話帳登録時に「画像選択・撮影」で画像や動画／iモーションを登録します。
- 登録後に「画像表示」をタッチしても画像を確認できます。「戻る」をタッチすると元の画面に戻ります。

画像の設定：1▶フォルダを選択▶画像を選択

画像のフォルダや一覧の見かた→P276
- 縦横（横縦）のサイズが1024×600より大きい画像を選択すると、画像の縮小確認画面が表示されます。
- パラパラマンガは動作しません。

静止画を撮影して設定：2▶静止画を撮影▶「保存」
- 撮影する静止画のサイズはQCIF（176×144）固定です。

動画／iモーションの設定：3▶フォルダを選択▶動画／iモーションを選択

動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P281
- 映像のみの動画／iモーションが設定できます。→P284
- 電話発信時は動作しません。

動画を撮影して設定：4▶動画を撮影▶「保存」
- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）、QVGA（320×240）から選択できます。
- 動画撮影時、音声は録音されません。→P196

初期画像：5

✔お知らせ
- 着信画像（→P91）、発信画像（→P91）には優先順位があります。
- 2in1がデュアルモード時、「登録」をタッチすると電話帳2in1設定変更確認画面が表示されます。「はい」をタッチするとモード選択画面が表示され、電話帳2in1設定を設定できます。「いいえ」をタッチしたり、モード選択画面で[終話]を押したりすると、電話帳2in1設定は「A」になります。電話帳修正で「新規登録」を選択したときも同様です。→P358

◆ ドコモUIMカード電話帳に登録

1 **MENU 4 4▶名前を入力▶各項目を設定▶「登録」**
- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレスを登録します。電話番号／メールアドレスは1件のみ登録できます。
- グループを選択できます。
- ドコモUIMカード電話帳にはタイマー（「T」）は登録できません。

電話帳検索

電話帳一覧を表示する際の検索方法を指定します。

- [発信]▶[電話帳]で電話帳検索時は、前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳）を検索します。
- FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳の一覧は「▮▸◘」／「◘▸▮」で切り替えられます。
- 電話帳一覧が複数ページあるときは、左右にスライドするとページを切り替えられます。全件表示（50音）では行を切り替えられます。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している電話帳またはグループは検索できません。また、クイックダイヤル、クイックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索でも同様です。

1 [MENU][4][1]

2 **検索方法を指定する**

全件表示（50音）：[1]▶**左右にスライドまたはタブをタッチ**

- フリガナを1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が検索されます（フリガナ検索）。

グループ検索：[2]▶**グループをタッチ**

- 同じグループ内ではフリガナ順（50音→アルファベット→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし）で表示されます。
- [0]～[9]を選択すると、各キーに割り当てられている行が表示されます。
- フリガナがアルファベット、数字、記号のいずれかで始まる電話帳がある場合、[#]や[*]を選択すると、その先頭の電話帳が表示されます。ただし、アルファベット、数字、記号ごとに表示させることはできません。

会社名検索※：[3]▶**会社名を選択**

同じ会社名の電話帳が50音順に表示されます。

ランキング検索※：[4]▶[1]**または**[2]

通話回数またはｉモードメール送受信回数が多い順に表示されます。

- 最大9999回カウントされます。
- カウントをリセットするときは、相手をタッチ▶「MENU」▶[9][3]▶「はい」

メモリ番号検索※：[5]▶**メモリ番号を入力**▶**「検索」**

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 何も入力せずに「検索」をタッチすると、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話番号検索：[6]▶**電話番号の一部を入力**▶**「検索」**

入力した数字を含む電話番号を検索し、FOMA端末電話帳はメモリ番号順に、ドコモUIMカード電話帳はフリガナ順に電話帳一覧が表示されます。

- 何も入力せずに「検索」をタッチすると、メモリ番号順またはフリガナ順の電話帳一覧が表示されます。

シークレット検索※：[7]

シークレット属性を設定した電話帳がメモリ番号順に表示されます。

※ ドコモUIMカード電話帳では利用できません。[1]～[3]を選択して操作します。

◆ 電話帳検索優先設定

待受画面で[発信]▶[電話帳]をタッチして表示される検索方法を設定します。

1 [MENU][4][1]▶**検索方法をタッチ**▶**「優先設定」**

- 設定した検索方法に✔が表示されます。

✔お知らせ

- 会社名検索、ランキング検索、メモリ番号検索を優先設定していても、前回ドコモUIMカード電話帳を使用した場合には、ドコモUIMカード電話帳の全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆ 電話帳の利用

電話帳を検索して電話をかけたりメールを送ったりします。

1 [発信]▶[電話帳]▶**電話帳検索**

電話帳一覧（全件表示（50音））

- 2in1がデュアルモード時は次のマークが表示されます。
  - A：Aモードの電話帳
  - B：Bモードの電話帳
  - AB：A／B両モードの電話帳
- ｉコンシェルのインフォメーション登録時は[i]が表示されます。

2 目的の操作を行う

電話を発信：相手をタッチ▶「発信」または「テレビ電話」
- 「MENU」▶ 1 1 をタッチすると、発信オプションを利用できます。→P56

ｉモードメールの作成：相手をタッチ▶「作成」
SMSの作成：相手をタッチ▶ F3（1秒以上）
- 電話番号のみ登録時は、「SMS」をタッチしてもSMSを作成できます。

電話帳をｉモードメールに添付：相手をタッチ▶「MENU」▶ 1 3
送受信したメールの検索：相手をタッチ▶「MENU」▶ 1 6 ▶ 1 または 2
ドコモUIMカード電話帳の送受信メールを検索：「」▶相手をタッチ▶「MENU」▶ 1 5 ▶ 1 または 2
サイトの表示：相手をタッチ▶「MENU」▶ 1 5 ▶「はい」または「フルブラウザ」
住所または位置情報から地図を表示：相手をタッチ▶「MENU」▶ 1 7
住所または位置情報を基にして、地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。→P269
- 住所と位置情報が両方登録されている場合は、住所を基に地図を表示します。

位置情報の利用：相手をタッチ▶「MENU」▶ 0 1 ▶位置情報利用メニューから機能を選択
位置情報利用メニュー→P262
相手の居場所の確認：相手をタッチ▶「MENU」▶ 0 2 ▶「はい」
電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。
- イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

❖ロケットサーチ

QWERTYキーの Q ～ O 、 P に割り当てられている文字から、電話帳を検索します。
キーには以下の文字が割り当てられています。
Q ：あ行、 W ：か行、 E ：さ行、 R ：た行、 T ：な行、 Y ：は行、 U ：ま行、 I ：や行、 O ：ら行、 P ：わ行

〈例〉「携帯花子」を検索する

1 待受画面で W （か行）▶ ▼

全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆電話帳の詳細確認

詳細画面で登録内容を確認します。

1 ▶ ▶電話帳検索▶電話帳を選択

FOMA端末電話帳の詳細画面（電話番号）

① メモリ番号
② 名前、フリガナ
③ グループマーク、グループ名
④ 電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がデュアルモード時）
A：Aモードの電話帳
B：Bモードの電話帳
AB：A／B両モードの電話帳
⑤ 着信許可／拒否設定、発番号設定、シークレットコードの設定状態
⑥ 個別着信設定での設定状態（電話／メール）
／：着信音
／：着信バイブレータ
／：着信音と着信バイブレータ
／：着信イルミネーションパターン
／：着信イルミネーションカラー
／：着信イルミネーションパターンとカラー
：テレビ電話代替画像（電話のみ）
⑦ 画像（画像／名前表示切替の設定に従って表示）
⑧ 登録したアイコン、アイコン種別
上下にスライド：前後の電話帳の表示
左右にスライド：登録した各項目の表示

累積情報の確認：電話番号またはメールアドレスの詳細画面で「累積通話／累積メール」
累積情報のリセット：電話番号またはメールアドレスの詳細画面で「累積通話」または「累積メール」▶「累積リセット」▶「はい」
- 通話とメールの累積がまとめてリセットされます。

基本情報の確認：「MENU」▶[9][1]
名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号／メールアドレスが省略されずに表示されます。
登録した画像の確認：「MENU」▶[9][2]
- 「戻る」をタッチすると元の画面に戻ります。

◆画像／名前表示切替

電話帳詳細画面の表示方法を設定します。
- 本設定は、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴、プロフィール情報にも反映されます。

1 [✎]▶[📖]▶電話帳検索▶電話帳を選択▶「MENU」▶[9][5]▶[1]～[3]

ドコモUIMカード電話帳の表示の切り替え：[✎]▶[📖]▶電話帳検索▶「▯▸▫」▶電話帳を選択▶「MENU」▶[9][3]▶[1]～[3]

電話帳修正

電話帳の内容やグループを修正したり、個別着信設定をしたりします。

1 [✎]▶[📖]▶電話帳検索▶電話帳をタッチ

2 目的の操作を行う

内容の修正：「MENU」▶[3][1]▶各項目を設定▶「登録」▶「上書き登録」または「新規登録」
- 各設定項目→P72「電話帳登録」操作2～3
- ドコモUIMカード電話帳から操作する場合は「MENU」▶[3]をタッチします。

電話番号の入れ替え：「MENU」▶[3][3][1]▶1件目にする電話番号を選択
メールアドレスの入れ替え：「MENU」▶[3][3][2]▶1件目にするメールアドレスを選択
メモリ番号の入れ替え：「MENU」▶[3][3][3]▶入れ替え先の電話帳を選択
電話番号ごとに発信者番号通知を設定〈発番号設定〉：「MENU」▶[3][4][2]▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]
- 「設定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

メールアドレスにシークレットコードを設定〈シークレットコード設定〉：「MENU」▶[3][4][4]▶認証操作▶メールアドレスを選択▶4桁のシークレットコードを入力▶「確定」
- 解除する場合は、入力されているシークレットコードをすべて削除して「確定」をタッチします。
- 設定したシークレットコードは本画面にのみ表示されます。
- 「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している相手にはメールを送信できません。

電話帳2in1設定の変更：「MENU」▶[3][4][5]▶認証操作▶モードを選択▶電話帳検索▶電話帳を選択▶「確定」▶「はい」
- 2in1がOFFのときは、認証操作▶「はい」で2in1をONにして電話帳2in1設定を変更します。2in1はONのままになります。→P358
- 電話帳詳細画面から操作する場合は、「MENU」▶[4][4][5]▶認証操作▶モードを選択します。

✔お知らせ
- ドコモUIMカード電話帳では、電話番号に「＊」が含まれていると上書き登録ができないことがあります。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

◆個別着信設定

FOMA端末電話帳の電話番号やメールアドレスごとに、着信時の動作を設定できます。
- 「グループ／会社なし」の場合はすべて「端末設定に従う」が、グループ／会社名を設定した場合は「グループ／会社名設定に従う」（テレビ電話代替画像のみ「端末設定に従う」）が表示されます。→P77、77
- グループと会社名が両方設定されている場合は、グループ設定が優先されます。

1 [✎]▶[📖]▶電話帳検索▶電話帳をタッチ▶「MENU」▶[3][2]▶各項目を設定▶「登録」

左右にスライド：電話／メールの画面の切り替え
♪／♫**着信音**：「端末設定に従う」にすると、音設定に従います。
- 動画／ｉモーションとミュージックは詳細情報の着信音設定が「可」の場合のみ着信音に設定できます。
ミュージックの設定→P83

着信バイブレータ：「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従います。

／着信イルミネーションパターン：「端末設定に従う」にすると、イルミネーション設定に従います。
- 「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。また、メロディによっては連動しない場合があります。

／着信イルミネーションカラー：「端末設定に従う」にすると、イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（電話のみ）：「端末設定に従う」にすると、テレビ電話画像選択の代替画像の設定に従います。

✔お知らせ
- 着信動作の優先順位は次のとおりです。
  - 着信音→P83
  - バイブレータ→P85
  - 着信画像→P91
  - 着信イルミネーション→P97

グループ設定

グループを追加したり、グループごとの発着信動作を設定したりします。
- 「グループなし」は、グループ名の変更や発着信動作の設定はできません。削除するとグループ内の電話帳のみ削除されます。
- グループ削除では、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。
- ドコモUIMカード電話帳ではグループ名の変更のみできます。

1 MENU 4 1 ▶ 2

2 目的の操作を行う

追加：「MENU」▶ 2 ▶グループ名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」

削除：グループをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶認証操作▶「はい」
作成したグループとそのグループ内の電話帳が削除されます。

グループ名変更：グループをタッチ▶「MENU」▶ 4 ▶グループ名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」

ドコモUIMカード電話帳のグループ名変更：「 」▶グループをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶グループ名を入力（全角10（半角21）文字以内）▶「登録」
- ドコモUIMカード電話帳では、全角と半角が混在または半角カタカナを含む場合は10文字以内でグループ名を入力します。

グループ別発着信設定：グループをタッチ▶「MENU」▶ 5 ▶各項目を設定▶「登録」
発着信画像の設定操作→P73「電話帳への画像登録」
その他の項目の設定操作→P76「個別着信設定」

並び順の変更：グループをタッチ▶「MENU」▶ 6 または 7

会社名別設定

会社名ごとに発着信動作を設定したり、同じ会社名の電話帳を一括で削除したりします。
- 「会社名なし」は、名称の変更や発着信動作の設定はできません。削除すると、「会社名なし」内の電話帳のみ削除されます。
- 会社名削除では、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。

1 MENU 4 1 ▶ 3

2 目的の操作を行う

会社名削除：会社名をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶認証操作▶「はい」
- 会社名とその会社名が登録されているすべての電話帳が削除されます。

会社名別発着信設定：会社名をタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶各項目を設定▶「登録」
発着信画像の設定操作→P73「電話帳への画像登録」
その他の項目の設定操作→P76「個別着信設定」

並び順の変更：会社名をタッチ▶「MENU」▶ 4 または 5

電話帳のコピー

FOMA端末電話帳をドコモUIMカード電話帳にコピーしたり、電話帳の項目をコピーして別の場所に貼り付けたりします。

◆ FOMA端末⇔ドコモUIMカード電話帳のコピー

FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳を相互にコピーします。
- コピー先に同じグループがある場合はそのグループにコピーされます。
- FOMA端末電話帳からドコモUIMカード電話帳へコピーすると、保存できる最大文字数を超えた部分と電話番号のタイマー（「T」）は削除されます。
- 電話番号とメールアドレスのアイコンは置き換えられます。
- FOMA端末電話帳をmicroSDカードへコピーすることもできます。→P290

1 ▶ ▶ 電話帳検索 ▶ 「MENU」 ▶ 7 1 ▶ 電話帳を選択 ▶ 「確定」

ドコモUIMカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピー： ▶ ▶ 電話帳検索 ▶ 「 」 ▶ 「MENU」 ▶ 7 ▶ 電話帳を選択 ▶ 「確定」

◆ 電話帳項目のコピー

電話帳に登録した項目の内容をコピーします。
- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 ▶ ▶ 電話帳検索

2 コピー元の電話帳をタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 6 ▶ 1 ～ 8

- 電話番号とメールアドレスは、1件目の内容がコピーされます。

複数ある電話番号／メールアドレスのコピー：電話帳を選択 ▶ コピー元の電話番号／メールアドレスを表示 ▶ 「MENU」 ▶ 6 ▶ 2 または 3

ドコモUIMカード電話帳からコピー：「 」 ▶ コピー元の電話帳をタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 6 ▶ 1 ～ 3

3 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P342

電話帳削除

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳を削除します。
- FOMA端末電話帳を全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
- ドコモUIMカード電話帳は「全件削除」できません。

1 ▶ ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳をタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 4 ▶ 1 または 2 ▶ 「はい」

- 全件削除では認証操作が必要です。

ドコモUIMカード電話帳の削除： ▶ ▶ 電話帳検索 ▶ 「 」 ▶ 電話帳をタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 4 ▶ 「はい」

シークレット属性（電話帳）

他人に見られたくない電話帳にシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定した電話帳またはグループは表示されません。
- ドコモUIMカード電話帳には設定できません。
- シークレット属性を変更すると、電話帳を終了し待受画面に戻ったときに、シークレット反映の実行確認画面が表示されます。
- プライバシーモードの利用の流れ→P108

❖ 電話帳へのシークレット属性設定

1 ▶ ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳をタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 3 4 1

- 設定中は が点滅します。
- 解除する場合も同様の操作です。

❖グループへのシークレット属性設定

- グループ内の各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
- 「グループなし」には設定できません。

1 MENU ▶ 4 1 ▶ 2 ▶ グループをタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 8

- 設定中は🔑が点滅します。
- 解除する場合も同様の操作です。

❖会社名へのシークレット属性設定

- 会社名ごとの各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
- 「会社名なし」には設定できません。

1 MENU ▶ 4 1 ▶ 3 ▶ 会社名をタッチ ▶ 「MENU」 ▶ 6

- 解除する場合も同様の動作です。

電話帳の登録件数確認

電話帳の登録件数やシークレット属性設定の件数を確認します。

- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している件数は表示されません。

1 📞 ▶ 📖 ▶ 電話帳検索 ▶ 「MENU」 ▶ 9 2

クイックダイヤル

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話を発信できます。

- 1件目の電話番号が発信対象になります。
- 海外でのクイックダイヤル発信について→P364

1 📞 ▶ 123 ▶ メモリ番号を入力 ▶ 📞 または「テレビ電話」

音／画面／照明設定

着信時の動作設定

電話、テレビ電話、メール・メッセージの着信時の動作を設定します。

- 着信音、2in1設定の着信設定、電話発着信画像設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定にも反映されます。
- 着信音に設定できるミュージックや動画／ｉモーション、イメージ表示に設定できる動画／ｉモーションについて→P220、284
- 2in1利用時、電話／テレビ電話／メールは、モードごとのナンバーまたはアドレスの着信音が設定できます（デュアルモード時は選択）。Bナンバーは着信音のみ設定できます。Bアドレスの着信音以外の設定はAアドレスと共通です。

◆ 電話着信設定

電話着信時の動作を設定します。

1 MENU 8 5 1 2 ▶各項目を設定▶「登録」

着信音：着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック（→P83）」のいずれかを選択したときは着信音を選択します。

イメージ表示：着信画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときはイメージ一覧欄を選択して画像を、「ｉモーション／ムービー」を選択したときは動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

バイブレータ：バイブレータの動作パターンを設定します。
- 「メロディ連動」にしてもメロディによっては連動しない場合があります。

イルミネーション：ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」に設定してもメロディによっては連動しない場合があります。
- イルミネーションパターンによってはイルミネーションカラーを設定できない場合があります。

◆ テレビ電話着信設定

テレビ電話着信時の動作を設定します。

1 MENU 8 6 2 ▶各項目を設定▶「登録」
- 設定項目は電話着信設定と同じです。

◆ メール・メッセージ着信設定

メール・メッセージ着信時の動作を設定します。

1 ✉ 9 1

2 目的の操作を行う

メール着信設定：1 ▶各項目を設定▶「登録」
メッセージR着信設定：2 ▶各項目を設定▶「登録」
メッセージF着信設定：3 ▶各項目を設定▶「登録」
- 各設定の鳴動時間は、1～30秒の範囲で設定します。着信音選択、着信イルミネーション設定、バイブレータ設定の設定内容は電話着信設定と同じです。

❖ 電話／テレビ電話／メールの着信音と着信画像について

- 着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。
- 次のような場合、イメージ表示は「標準画像」になります。ただし、設定は変更できます。
  - イメージ表示にFlash画像または映像のみの動画／ｉモーションを設定している状態で、着信音に音声のみの動画／ｉモーションやミュージックを設定したとき
  - 着信音を音声と映像のある動画／ｉモーションからメロディ、音声のみの動画／ｉモーション、ミュージックのいずれかに変更したとき
- 次のような場合、着信音はお買い上げ時の設定になります。ただし、設定は変更できます。
  - 着信音に音声のみの動画／ｉモーションまたはミュージックを設定している状態で、イメージ表示にFlash画像や映像のみの動画／ｉモーションを設定したとき
  - イメージ表示を「着信音連動」から「着信音連動」以外に変更したとき

※ メールのイメージ表示はメール着信結果画像設定で設定できます。

着信音

電話、テレビ電話、メール・メッセージ、ｉコンシェルの着信音を設定します。

- 動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 電話、テレビ電話、メール・メッセージ着信設定、2in1設定の着信設定にも反映されます。
- 着信音に設定できるミュージック、動画／ｉモーションについて→P220、284
- 着信音と着信画像について→P82
- お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P409
- 2in1利用時、電話／テレビ電話／メールは、モードごとのナンバーまたはアドレスの着信音が設定できます（デュアルモード時は選択）。
- 着信音に動画／ｉモーションを設定している場合、カメラ起動中に着信があるとお買い上げ時の設定で動作することがあります。

1 MENU 8 1 1

2 **目的の操作を行う**

電話着信音：1 1 ▶各項目を設定▶「登録」
テレビ電話着信音：1 2 ▶各項目を設定▶「登録」
メール着信音：2 1 ▶各項目を設定▶「登録」
メッセージR着信音：2 2 ▶各項目を設定▶「登録」
メッセージF着信音：2 3 ▶各項目を設定▶「登録」
ｉコンシェル着信音：3 ▶各項目を設定▶「登録」

- 各設定で「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を選択します。
- メール・メッセージ、ｉコンシェルの着信音の鳴動時間は、1～30秒の範囲で設定します。

❖ミュージックの着信音設定

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部分を着信音にする「オススメ着信音」があります。

〈例〉まるごと着信音を設定する

1 **各設定で「ミュージック」▶フォルダを選択**

2 **設定するミュージックを選択**

- microSDカードのミュージックを選択すると、本体への移動確認画面が表示されます。「はい」を選択するとミュージックが本体に移動され、着信音に設定されます。

オススメ着信音を設定：**ミュージックを選択▶「オススメ設定」▶項目を選択**

- オススメ着信音にmicroSDカードの会員制以外の着うたフル®を選択すると、ｉモードフォルダへの保存確認画面が表示されます。「はい」▶表示名を入力▶「保存」をタッチすると、切り出されたミュージックがコンテンツ移行対応のｉモーションとしてｉモーション／ムービーの「ｉモード」フォルダに保存され、着信音に設定されます。
最大保存件数／領域を超えたとき→P301

❖着信音の優先順位

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。

① FOMA端末電話帳の個別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ 電話着信音／テレビ電話着信音／メール着信音／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定／マルチナンバーの着信設定／2in1設定の着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかったときは、音声電話は発番号なし動作設定に、テレビ電話はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定に従って着信音が鳴ります。

音量設定

着信音、GPS測位鳴動音、アラーム音、ｉアプリ音、トルカ取得音、操作確認音、メロディの音量を設定します。

- トルカ取得確認設定、メロディの動作設定にも反映されます。
- 通話中の受話音量の変更について→P60
- 受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。ｉアプリ、トルカ取得、操作確認、メロディの各音量には「Steptone」を設定できません。

1 MENU 8 1 2

2 目的の操作を行う

電話着信音量：1 1 ▶上下にスライド▶「選択」

- 「Silent」にすると待受画面にが表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときはが表示されます。

受話音量：1 2 ▶上下にスライド▶「選択」

メール・メッセージ着信音量：2 ▶上下にスライド▶「選択」

GPS測位鳴動音量：3 ▶上下にスライド▶「選択」

ｉコンシェル着信音量：4 ▶上下にスライド▶「選択」

- インフォメーション受信時の音量を設定します。

目覚まし音量：5 1 ▶上下にスライド▶「選択」

スケジュール音量：5 2 ▶上下にスライド▶「選択」

ｉアプリ音量：6 ▶上下にスライド▶「選択」

トルカ取得音量：7 ▶上下にスライド▶「選択」

操作確認音量：8 ▶上下にスライド▶「選択」

- キー／タッチ確認音、スライド操作音の音量を設定します。

メロディ音量：9 ▶上下にスライド▶「選択」

✔お知らせ

- 電池レベル表示時の音量、通話料金上限通知のアラーム音量は、本設定の電話着信音量に従います。
- 伝言メモ、音声メモの再生音、画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音の音量は、本設定の受話音量に従います。
- お知らせタイマーの音量は、本設定の目覚まし音量に従います。
- メールやメッセージR/Fに添付されたメロディの再生音量は、本設定のメロディ音量に従います。

バイブレータ設定

着信時、GPS測位時、アラーム鳴動時、ｉアプリ利用時の振動を設定します。

- 電話、テレビ電話、メール・メッセージ着信設定、GPSの測位動作設定、ｉアプリ設定のバイブレータ設定にも反映されます。

1 MENU 8 1 3

2 目的の操作を行う

電話着信時：1 1 ▶ 1 ～ 5

- 音声電話、64Kデータ通信着信時の振動を設定します。
- 「OFF」以外にすると、電話着信音量が「Level 1」以上のときは待受画面にが表示されます。電話着信音量が「Silent」のときはが表示されます。

テレビ電話着信時：1 2 ▶ 1 ～ 5

メール着信時：2 1 ▶ 1 ～ 5

メッセージR着信時：2 2 ▶ 1 ～ 5

メッセージF着信時：2 3 ▶ 1 ～ 5

GPSの現在地確認時：3 1 ▶ 1 ～ 5

GPSの現在地通知時：3 2 ▶ 1 ～ 5

GPSの位置提供／許可時：3 3 ▶ 1 ～ 5

GPSの位置提供／毎回確認時：3 4 ▶ 1 ～ 5

ｉコンシェル着信時：4 ▶ 1 ～ 5

- インフォメーション受信時の振動を設定します。

目覚まし鳴動時：5 1 ▶ 1 ～ 5

スケジュール鳴動時：5 2 ▶ 1 ～ 5

ｉアプリ利用時：6 ▶ 1 または 2

- 各設定で「パターンA」「パターンB」「パターンC」をタッチすると、そのパターンで振動します。
- 各設定で「メロディ連動」に設定すると、着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては連動しない場合があります。

✔お知らせ

- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信があったときは振動しません。
- 「OFF」のときでも、Flash画像の動作時に振動する場合があります。

❖バイブレータの優先順位

複数の機能で着信時のバイブレータを設定している場合は、次の優先順位で振動します。
① FOMA端末電話帳の個別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ バイブレータ設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

メロディコール設定

メロディコールは、FOMA端末に音声電話をかけてきた相手に聞こえる呼出音をメロディに変更できるサービスです。

- 設定サイトはパケット通信料がかかりません。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

1 MENU 8 1 1 9 ▶「はい」

メロディコール設定サイトに接続されます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

操作確認音

キー操作時やタッチ操作時、FOMA端末の開閉時の音、静止画／動画撮影時（サウンドレコーダー録音時含む）のシャッター音を設定します。

- 静止画詳細設定、動画／録音詳細設定のシャッター音にも反映されます。

1 MENU 8 1 1 6

2 目的の操作を行う

キー／タッチ確認音：1 ▶ 1～5
スライド操作音：2 ▶ 1～4
静止画撮影シャッター音：3 ▶ 1～5
動画撮影シャッター音：4 ▶ 1～5

✔お知らせ
- キー／タッチ確認音を鳴るように設定しても、通話中やｉアプリの起動中は音が鳴りません。
- キー／タッチ確認音を「OFF」にすると、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音は鳴りません。
- キー／タッチ確認音を「ドレミ」にすると、タッチ操作をしたときは「キー／タッチ音2」が鳴ります。
- 電池レベル表示時の音と、データ送受信設定の通信終了音を「ON」に設定中の通信終了音も、キー／タッチ確認音の設定に従って動作します。

GPS測位鳴動音

GPS測位時に鳴る音を設定します。

- GPSの測位動作設定にも反映されます。

1 MENU 8 1 1 4

2 目的の操作を行う

現在地確認：1 ▶各項目を設定▶「登録」
現在地通知：2 ▶各項目を設定▶「登録」
位置提供／許可：3 ▶各項目を設定▶「登録」
位置提供／毎回確認：4 ▶各項目を設定▶「登録」
- 各設定で「メロディ」を選択したときは、鳴動音を選択します。

アラーム音

目覚まし音、スケジュール音を設定します。

1 MENU 8 1 1 5

2 目的の操作を行う

目覚まし音：1 ▶各項目を設定▶「登録」
スケジュール音：2 ▶各項目を設定▶「登録」
- 「メロディ」「ｉモーション／ムービー」「ミュージック（→P83）」のいずれかを選択したときは、目覚まし音またはアラーム音を選択します。「ｉモーション／ムービー」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。

充電確認音

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU 8 1 1 7 ▶ 1 または 2

✓お知らせ

- 「ON」にしても、通話中や通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は充電確認音は鳴りません。

通話保留音

通話保留中に流すメロディを設定します。

1 MENU 8 1 1 8 2 ▶ 1 〜 3

警告音

通話中の電波状態をお知らせするアラームや、電池が切れるときに鳴るアラームを設定します。

◆ 通話品質アラーム音

電波状態により通話が途切れそうなときに鳴らすアラームを設定します。

- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。
- アラームが鳴るように設定しても、テレビ電話中は動作しません。

1 MENU 8 1 1 8 3 ▶ 1 〜 3

- 音声電話中に「MENU」▶ 5 をタッチしても設定できます。

◆ 再接続アラーム音

電波状態により途切れた通話を再接続するまでに鳴らすアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

1 MENU 8 1 1 8 4 ▶ 1 〜 3

- 音声電話中に「MENU」▶ 4 をタッチしても設定できます。

◆ 電池アラーム音

電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU 8 1 1 8 5 ▶ 1 または 2

- 「OFF」にしても、通話中に電池が切れそうになると受話口からアラームが鳴ります。

マナーモード

着信を振動でお知らせしたり、画面をタッチしたときやキーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

◆ マナーモードの起動／解除

1 **（1秒以上）／Fn2を押しながら▶**

マナーモードが起動／解除されます。起動すると、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- 待受画面をタッチして、待受ランチャーの「機能」からも起動／解除できます。

❖通常マナーモードを起動すると

- 着信音、キー／タッチ確認音、スライド操作音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。
- マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。
- 次の場合は、バイブレータの動作は「パターンA」になります。
  - 音声電話着信時、テレビ電話着信時、メール受信時、64Kデータ通信着信時、ｉコンシェル着信時
  - GPS測位中（鳴動音がメロディ、バイブレータ設定が「OFF」の場合）
  - お知らせタイマーで設定した時間が経過したとき
  - スケジュールで指定した日時になったとき
- エリアメール受信時のバイブレータの動作は「メロディ連動」になります。
- 目覚ましで指定した時刻になると、バイブレータは目覚ましの設定に従って動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- メロディ、Music&Videoチャネルの番組、ミュージックの再生時には、再生確認画面が表示され、「はい」を選択すると再生されます。
- 音声のある動画／ｉモーションを再生したときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。
- ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中に[キー]を操作しても、ワンタッチアラームは鳴動しません。マルチタスクキー長押し設定に従い動作します。

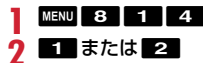
✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。
- エリアメール設定でマナーモード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時にブザー警報音やエリアメール着信音が鳴ります。

◆マナーモード選択

マナーモード起動時に、通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらを動作させるかを選択します。オリジナルマナーモードの場合は、項目ごとにマナーモード中の動作を設定します。

1 MENU 8 1 4

2 1 または 2

- 通常マナーモードを選択した場合は、操作3は不要です。

3 各項目を設定▶「登録」

- バイブレータを「個別設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従って動作します。
- バイブレータを「ON」にすると、バイブレータ設定で「OFF」に設定されている項目は「パターンA」で、それ以外はバイブレータ設定に従って動作します。
- バイブレータの設定に関わらず、エリアメール受信時は「メロディ連動」で振動します。
- 電話着信音量を「消音」以外にすると、通話料金上限通知のアラームも鳴ります。
- メール着信音量を「消音」にしても、他の設定項目のいずれかで音を鳴らすように設定しているときは、エリアメール受信時にブザー警報音が鳴ります。また、エリアメール設定でマナーモード中に音が鳴るように設定している場合は、ブザー警報音やエリアメール着信音が鳴ります。
- 目覚まし音を「ON」にすると、お知らせタイマーの音も鳴ります。
- 伝言メモは、伝言メモの設定に関わらず本設定に従って動作します。

ライフスタイル設定

指定した時刻に待受画面を切り替えたり、マナーモードなどを起動したりするように設定します。
- ライフスタイルは最大18件登録できます。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面は変更されません。

1 MENU 8 3 3 ▶タイトルを選択▶各項目を設定▶「登録」

時刻：切り替えを行う時刻を24時間制で入力します。
繰り返し：繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して「確定」をタッチします。

タイトル：全角10（半角20）文字以内で入力します。
トータルカスタマイズ：コーディネイトを変更するかどうかを設定します。
- 「変更する」を選択したときは、トータルカスタマイズの選択欄を選択し、カスタマイズにタッチし「設定」をタッチします。

マナーモード：「ON」にすると、マナーモード選択で設定したマナーモードが起動します。
プライバシー：「ON」にするとプライバシーモードが起動します。
設定／解除：タイトルをタッチ▶「設定」／「解除」
- 設定中のライフスタイル設定には、タイトルの左に🕘が表示されます。

✔お知らせ
- ｉアプリ待受画面を設定している間は動作しません。
- 繰り返しを「曜日指定」に設定したときは、指定した曜日を過ぎても元の設定に戻りません。切り替えたいときは、複数のライフスタイルを登録してください。
- ライフスタイル設定とアラームを同じ時刻に設定したときは、アラームが動作した後にライフスタイル設定が動作します。
- 指定した時刻に電源が切れているときや、オールロック中、おまかせロック中、他の機能が起動しているときは動作しません。電源を入れる、ロック解除、待受画面を表示などすると、指定した時刻を過ぎたライフスタイル設定が順に動作します。
- 設定されている項目が複数あり、動作時刻が同じときは、ライフスタイル設定一覧で最も上にあるものが動作します。

待受画面選択

待受画面に表示する画像、動画／ｉモーション、ｉアプリを選択します。
- 横画面には画像（イメージ設定、きせかえツール）のみ設定できます。
- 2in1利用時は、現在のモードの待受画面が設定されます。Bモードまたはデュアルモード時は、画像（イメージ設定）のみ設定できます。
- 各種ロックの状態によっては、設定した待受画面が表示されない場合があります。
- 画像や動画／ｉモーション、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じドコモUIMカードを挿入していないと待受画面設定が無効になります（ドコモUIMカードのセキュリティ機能）。

◆ 画像の待受画面設定

待受画面に表示する画像を選択します。ランダムイメージ設定を利用して、指定したフォルダに保存されている静止画を切り替えて表示するようにも設定できます。

〈例〉イメージ設定を行う

1 MENU 8 2 1 1 ▶ 1 または 2

2 1 ▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」
- 2in1がBモードまたはデュアルモード時は 1 の選択は不要です。
- 画像サイズによっては、「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。

ランダムイメージ設定：2 ▶各項目を設定▶「登録」▶「はい」
- 切替設定を「30分ごと」にすると毎時0分と30分に、「60分ごと」にすると毎時0分に画像が切り替わります。

きせかえツールに従う：5（横画面設定時は 2）
- きせかえツールで待受画面を設定中のみ選択できます。

✔お知らせ
- 待受画面に設定したアニメーションやパラパラマンガは、電源を入れたときやFOMA端末を開いたとき、待受画面に戻ったときに再生されます。また、⌐と Esc で一時停止／再生ができます。待受カスタマイズを設定している場合は、項目の表示／非表示の切り替えが優先して動作します。
- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まったときは、Flash画像の再生を行うと再開できます。

- 待受画面に表示されているマチキャラによっては、Flash画像の再生速度が遅くなる場合があります。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定すると表示が乱れることがあります。
- ウォーキング／Exカウンター設定が「利用する」のときは、待受画面に歩数などの値が表示されます。「ウォーキング×フラワー」の場合は値に応じて画像も変化します。
- 以下の場合のように表示できる静止画がないときは、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、パラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。
  - ランダムイメージ設定で選択したフォルダを削除した場合や、そのフォルダ内の静止画をすべて削除したり、microSDカードに移動した場合
  - パラパラマンガを作成した場合

◆ 動画／ｉモーションの待受画面設定

待受画面に表示する動画／ｉモーションを選択します。

- 待受画面に設定できる動画／ｉモーションについて→P284

1 MENU 8 2 1 1 ▶ 1

2 3 ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／ｉモーションを選択 ▶「はい」

- 画像サイズによっては、「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。

✔お知らせ

- 待受画面に設定した動画／ｉモーションは、[メール]で停止／再生、CLRで停止できます。
- ｉチャネル設定のテロップ表示とインフォメーション表示設定は「表示しない」に設定されます。ｉアプリ待受画面が設定されていないときに待受画面の動画／ｉモーションを解除すると、テロップ表示は「表示する」に、インフォメーション表示設定は元の設定に戻ります。

◆ ｉアプリ待受画面を設定

待受画面に表示するｉアプリを選択します。

- ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリのみ設定できます。
- 他の待受画面設定よりも、ｉアプリ待受画面が優先されます。
- ｉアプリ待受画面の操作→P242

1 MENU 8 2 1 1 ▶ 1

2 4 ▶ ｉアプリを選択 ▶「はい」

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に[アイコン]または[アイコン]が表示されます。

✔お知らせ

- ｉチャネル設定のテロップ表示とインフォメーション表示設定は「表示しない」に設定されます。動画／ｉモーションが設定されていないときにｉアプリ待受画面を解除すると、テロップ表示は「表示する」に、インフォメーション表示設定は元の設定に戻ります。

カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ、歩数・活動量情報を表示します。

1 MENU 8 2 1 5

2 1 または 2

- 「解除」を選択した場合は、以降の操作は不要です。

3 左右にスライドまたはタブをタッチしてパターンを切り替え

リセット：「リセット」▶「はい」

4 エリアを選択 ▶ 表示する情報を選択

- 新着情報を選択したときは、表示する情報を選択して「登録」をタッチします。
- 小さいエリアにはカレンダーや歩数・活動量情報を設定できません。また、エリアの大きさにより、カレンダーや歩数・活動量情報で選択できる項目は異なります。
- パーソナルデータロック中は、新着情報の不在着信一覧とカレンダー以外の情報は選択できません。

5 「登録」▶「はい」

◆ 待受画面で情報を確認

カレンダー／待受カスタマイズの情報を確認します。

1 決定▶▲▼でエリアを選択▶決定

- 情報が表示されていないときは、（キー）を押してエリアを表示させてから操作します。

✔お知らせ

- 待受画面に動画／ｉモーション、ｉアプリが設定されているときは表示されません。
- 待受画面で（キー）またはEscを押すたびに、情報の表示と非表示を切り替えられます。
- 待受画面にアニメーションやパラパラマンガを設定しているときは、再生が停止または一時停止した後に（キー）を押すと情報が表示されます。
- インフォメーション表示中は、カレンダー／待受カスタマイズで設定したエリアは選択できません。

❖各情報の表示内容

- 表示される情報の件数や行数はエリアのサイズによって異なるため、情報の一部が表示されない場合があります。
- 各情報の日時は、当日は時刻が、当日以外では日付が表示されます。

■ 新着情報

情報が新しいものから順に表示されます。エリアを選択すると先頭の情報が確認できます。

✉：未読メール　R／F：メッセージR/F　（アイコン）：不在着信　（アイコン）：伝言メモ

■ スケジュール

開始日時になっていないスケジュールの早いものから順に、アイコン、開始日時、内容が表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールが確認できます。

- 開始日時と終了日時が同じ日でないスケジュールには⇔が表示されます。
- 終日をONにしたスケジュールが当日の場合は、「終日」と表示されます。
- ｉスケジュール内の予定は表示されません。

■ カレンダー

1ヶ月／2ヶ月／4ヶ月／6ヶ月分のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

- 当日は黄、休日と祝日は赤、土曜日は青で表示されます。色はスケジュール帳の休日設定、曜日休日設定、祝日設定で変わります。
- スケジュールが設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。

■ メモ一覧

テキストメモに登録しているメモの一覧が表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。

■ メモ内容

メモ内容に設定したメモの先頭部分が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。

■ 歩数・活動量情報

ウォーキング／Exカウンターで計測した今日の歩数や活動量、今週の活動量が表示されます。デザインが「ノーマル」の場合は一週間の目標活動量（23Ex）に対する達成状況が、「フル」の場合は消費カロリーや脂肪燃焼量、一週間の目標活動量（23Ex）に対する達成状況も表示されます。エリアを選択すると歩数／活動量／カロリー情報が表示されます。

電話発着信画像設定

電話の発着信時に表示する画像を設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定にも反映されます。
- 着信設定のイメージ表示に設定できる動画／ｉモーションについて→P284
- 着信音と着信画像について→P82

1 MENU 8 2 3 2

2 目的の操作を行う

電話発信設定：1 ▶各項目を設定▶「登録」
電話着信設定：2 ▶各項目を設定▶「登録」
テレビ電話発信設定：3 ▶各項目を設定▶「登録」
テレビ電話着信設定：4 ▶各項目を設定▶「登録」

- 各設定で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 着信設定で「ｉモーション」を選択したときは動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

❖発信画像の優先順位

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
① FOMA端末電話帳に登録した画像（人物画像表示設定が「ON」の場合）
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ 電話発信設定／テレビ電話発信設定

❖着信画像の優先順位

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
① FOMA端末電話帳に登録した画像（人物画像表示設定が「ON」の場合）
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ 電話着信音※／テレビ電話着信音※／電話着信設定／テレビ電話着信設定／マルチナンバーの着信設定／2in1設定の着信設定※
※「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定したときに有効です。

- 相手が発信者番号を通知してこなかったときは、音声電話は発番号なし動作設定に、テレビ電話はテレビ電話着信設定に従って画像が表示されます。
- 着信音が動画／ｉモーションの場合、動画／ｉモーションの映像が着信画像として表示されます。
- 着信音が音声のみの動画／ｉモーションの場合、着信画像に静止画を設定している機能が有効になります。静止画を設定している機能が複数ある場合は、着信画像の優先順位に従います。静止画を設定している機能がないときは、お買い上げ時の画像が表示されます。

発着信番号表示設定

電話の発着信・通話時に、タイトルに表示する記号を設定します。

- 2in1の発着信番号表示設定のAナンバーにも反映されます。
- マルチナンバーの利用時は、記号は表示されません。

1 MENU 8 5 1 3 ▶各項目を設定▶「登録」

- 識別表示を「ON」にすると識別記号を設定できます。

発着信の人物画像表示設定

電話の発着信時に、FOMA端末電話帳に登録した画像などを表示するかどうかを設定します。

- 電話帳に登録した画像は、相手が電話番号を通知してきたときに表示されます。

1 MENU 8 2 3 6 ▶ 1 または 2

メール送受信画像設定

メールの送信、メール（メッセージR/F含む）の受信や着信結果、ｉモード問い合わせ時に表示する画像を設定します。

- メール着信結果画像設定のイメージ表示に設定できる動画／ｉモーションについて→P284
- メール着信設定の着信音とメール着信結果画像設定の着信画像について→P82

1 MENU 8 2 3 3

2 目的の操作を行う

メール送信画像設定：1 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」
メール受信画像設定：2 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」
メール着信結果画像設定：3 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」
問い合わせ画像設定：4 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

- 各設定で「イメージ」を選択したときはイメージ一覧欄を選択して画像を選択します。
- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- メール着信結果画像設定で「ｉモーション／ムービー」を選択したときは動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

照明／キーバックライト設定

ディスプレイの照明やキーバックライトの動作を設定します。

◆ 照明点灯時間設定

照明を点灯して、ディスプレイを明るくする時間を設定します。

- ｉモード設定（共通設定）、ｉアプリ設定の照明点灯時間設定、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定、ｉモーション／ムービーの動作設定の照明点灯時間にも反映されます。また、ｉモーション／ムービーの設定はMusic&Videoチャネルの照明点灯時間にも反映されます。

1 MENU 8 2 4 1 ▶ 1 ～ 7

2 1 または 2 （通常時では 1 ～ 7 ）

- 「常時点灯」にすると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯します。
- ACアダプタ接続時を「常時点灯」にすると、充電中は「明るさ5」で常に照明が点灯します。
- 「端末設定に従う」にすると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- ｉアプリを「ソフトに従う」にすると、ｉアプリの設定に従って点灯します。常時点灯のｉアプリの場合、照明は消灯しません。
- 照明点灯時間設定を変更しても、通話中のディスプレイの照明は「5秒」で消灯します。

◆ 画面オフ時間設定

ディスプレイの表示を消すまでの時間を設定します。

- 照明点灯時間設定で「常時点灯」に設定している機能では無効です。
- 着信中や受信中、テレビ電話中、カメラ操作中、アラーム鳴動中などは表示は消えません。動作終了後に設定時間が経過すると表示が消えます。
- ディスプレイに何も表示されていないときに操作をしたり、着信があったりすると、ディスプレイの照明が点灯します。

1 MENU 8 2 4 2 ▶ 1 ～ 8

◆明るさ調整

ディスプレイの照明の明るさを設定します。

1 MENU 8 2 4 3 ▶ 1 ～ 3 ▶ 1 ～ 7 （通常時では 1 ～ 6 ）

- 「自動調整」にすると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されます。

◆キーバックライト設定

FOMA端末を開いたときやキーを押したときなどにキーバックライトを点灯させるかどうかを設定します。

1 MENU 8 2 4 4 ▶各項目を設定▶「登録」

- ONにすると「イルミネーション設定」の「着信イルミネーション」で設定したパターンに連動して光ります。
  イルミネーション設定→P97

ecoモード設定

一時的にディスプレイの照明を暗くしたりして、電池の消費を少なくします。

◆ecoモードON／OFF

1 MENU 8 2 8 1

- ONにすると、待受画面に[eco]が表示されます。
- 操作するたびにecoモードのON／OFFが切り替わります。
- セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のときは、T を1秒以上押してもecoモードのON／OFFを切り替えられます。

✔お知らせ

- 次の場合、ecoモードはOFFに設定され、ecoモード設定で変更された設定は元の状態に戻ります。
  - ecoモード設定で設定される項目を個別に変更したとき
  - きせかえツールをリセットしたり、「明るさ1」以外の明るさを含むきせかえツールを設定したりしたとき
  - トータルカスタマイズを設定したり、トータルカスタマイズを「変更する」に設定したライフスタイル設定が動作したりしたとき

◆ecoモード動作設定

ecoモードをONにしたときに、標準省電力かフル省電力のどちらを動作させるかを選択します。

1 MENU 8 2 8 2 ▶ 1 または 2

❖ecoモードにすると

- 標準省電力にすると、次のように動作します。
  - 操作確認音（シャッター音を除く）、照明／キーバックライト設定のキーバックライト設定、不在着信お知らせ、イルミネーション設定の通話中イルミネーション、GPS測位イルミネーションの現在地確認と現在地通知、ICカードアクセスイルミネーション、スライドイルミネーションは「OFF」になります。
  - 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定の通常時は「0秒」、通常時以外は「端末設定に従う」に、画面オフ時間設定は「15秒」、明るさ調整は「明るさ1」になります。
- フル省電力にすると、標準省電力の動作に加えて次のように動作します。
  - モーションセンサー設定、マチキャラ設定の表示設定、画面オフロックの置き忘れセンサー、オートGPS動作設定は「OFF」になります。
  - 照明／キーバックライト設定の画面オフ時間設定は「10秒」、ウォーキング／Exカウンター設定は、「利用しない」になります。
  - カメラの自動縦横判定機能は利用できません。

画面配色（スクリーン）設定

画面の配色を変更します。

1 MENU 8 2 3 1 ▶配色を選択

表示メニュー設定

待受画面で MENU をタッチすると表示されるメニュー画面を設定します。

- メニュー画面の種類→P32

1 MENU 8 2 2 1 ▶ 1 ～ 3

マチキャラ設定

待受画面やメニュー画面などにキャラクタを表示します。

1 MENU 8 2 7 ▶各項目を設定▶「登録」
- 表示設定を「ON」にするとマチキャラを選択できます。

✔お知らせ
- 待受画面に動画／iモーションやiアプリが設定されているときは、マチキャラは表示されません。
- マチキャラによっては、時刻や新着情報、通話時間などによりマチキャラの動作が変化するものがあります。

きせかえツールの利用

きせかえツールを利用すると、待受画像、メニュー、発着信画像などを一括で設定できます。
- 「プリインストール」フォルダのきせかえツールは移動や削除できません。また、ファイル名は変更できません。
- きせかえツールでは、次の項目が設定できます（きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります）。
  - 待受画面、きせかえメニュー、ベーシックメニュー（背景）、メールメニュー（背景）、iモードメニュー（背景）、電池アイコン、アンテナアイコン、音声電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話発信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信中画面、メール着信結果画面、センター問い合わせ画面、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、目覚まし音、iコンシェル着信音、カラーテーマ、フォント、明るさ、待受時計デザイン、待受時計形式、待受時計表示位置、待受時計曜日、スライドイルミネーションカラー
- きせかえメニューによっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、ショートカット操作や、Select languageを「English」にしたときの英語表示に対応していないものがあります。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面、Bナンバーの着信音にはきせかえツールの項目は設定されません。

1 MENU 5 7

iモード：サイトからダウンロードしたきせかえツール
プリインストール：プリインストールされているきせかえツール
マイフォルダ：他のフォルダから移動したきせかえツール
- フォルダを追加すると表示されます。→P296

iモードで探す：iモードサイトからきせかえツールを探す→P174

2 **フォルダを選択▶きせかえツールをタッチ**

ファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

① **取得元**
- ：iモード
- ／：iモード（標準フォント対応）／（大きめフォント対応）
- ／：プリインストール（標準フォント対応）／（大きめフォント対応）
- ：iモードサイトからきせかえツールを探す→P174

② **ファイルの種類**
- ：設定中
- ：以前の設定のうち、設定中のきせかえツールにない項目が有効
- (後ろのカードがグレー)：未設定
- (上半分がグレー)：部分的に保存済
- ：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

③ **ファイル制限**
- ：ファイル制限あり

- サムネイル表示のときは、ディスプレイ上部に選択されたきせかえツールの表示名、ディスプレイ下部にファイルサイズが表示されます。また、サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  - (後ろのカードがピンク)：プレビュー画像なし
  - ：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  - (上半分がグレー)：部分的にダウンロード済

設定リセット：「MENU」▶6▶認証操作▶「すべてリセット」または「メニュー画面のみ」

- 「すべてリセット」を選択すると、きせかえツールで設定できる項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
- 「メニュー画面のみ」を選択すると、きせかえメニュー、ベーシックメニュー、ベーシックメニュー（背景）、メールメニュー（背景）、iモードメニュー（背景）の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

3 「設定」▶「はい」

きせかえツールのデータが一括で設定されます。

- きせかえツールと文字サイズ設定との組み合わせによっては、文字サイズ変更の確認画面が表示されます。文字サイズを大きくすると、リスト幅設定の設定に関わらず、リスト幅が「拡大」で表示されます。
- 部分的にダウンロードしたきせかえツールをタッチ▶「選択」、「設定」、「内容」をタッチしたときは、残りのデータのダウンロード確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロードできないときは、部分保存したきせかえツールは削除される場合があります。

イメージの表示：きせかえツールを選択

項目の表示：「内容」

- 項目を選択すると、イメージや設定内容が表示できます。
- 設定中の項目には、項目名の左のマークに赤いチェックが付きます。
- 項目名の右に表示されるマークの意味は次のとおりです。
  JPG：JPEG形式の画像　GIF：GIF形式の画像　SWF：SWF（Flash画像）
  VUI：きせかえメニュー　MP4：MP4形式の動画　MFI：MFi形式のメロディ
  SMF：SMF形式のメロディ

詳細情報の参照／変更：「MENU」▶2▶1または2

設定解除：「MENU」▶3▶1～3▶「はい」

- 選択解除では選択操作▶「設定解除」が必要です。

移動／戻し：「MENU」▶4▶1または2▶1～3

削除：「MENU」▶5▶1～3

ソート：「MENU」▶6▶各項目を設定▶「登録」

メモリ確認：「MENU」▶7

動作設定：「MENU」▶8▶1または2

- 「あり」にするとサムネイル表示になります。

✔お知らせ

- 「Simple Menu」を設定するとSelect languageは設定できません。
- 各設定画面で「きせかえツールに従う」に設定されている項目は、「きせかえツールに従う」以外を選択するときせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、該当項目のみ解除されます。きせかえツールの設定に戻すには、再度きせかえツールを設定してください。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。
- 着信音または着信画像のいずれかが含まれるきせかえツールを設定した場合、設定中の着信画像または着信音との組み合わせによっては、そのデータのみ設定されません。また、「きせかえツールに従う」に設定されても、お買い上げ時の設定で着信音が鳴ったり「標準画像」が表示されたりする場合があります。
- 移動／戻し、詳細情報、削除、ソート、メモリ確認→P297、299、300、301

メニューのカスタマイズ

きせかえメニューのメニュー項目を変更したり、ベーシックメニューのデザインを変更したりします。

◆ きせかえメニューのカスタマイズ

きせかえメニューのメニュー項目を変更します。

- メニュー項目の変更や入れ替えに対応したきせかえツールをダウンロードして設定するか、きせかえメニューの「切替メニュー」を設定している場合のみ操作できます。「切替メニュー」の場合、メニュー画面で左右にスライドして「お気に入り」メニューにします。

1 MENU▶メニュー項目をタッチ

2 目的の操作を行う

メニュー項目の上書き登録：「MENU」▶2▶登録する機能をタッチ▶「登録」

- 2階層目のメニューからも登録できます。

メニュー項目の入れ替え：「MENU」▶3▶入れ替え先の項目を選択

◆ ベーシックメニューのカスタマイズ

ベーシックメニューのデザインを変更します。

1 MENU ▶「ベーシック」

- 表示メニューがベーシックメニューのときは、「ベーシック」をタッチする必要はありません。

2「MENU」▶ 2

3 機能を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択

- 続けて他の機能のメニューアイコンも同様に設定できます。

1件解除：アイコンをタッチ ▶「MENU」▶ 1 ▶「はい」
全件解除：「MENU」▶ 2 ▶「はい」

4「背景」▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択

背景解除：「MENU」▶ 4 ▶「はい」

5「確定」▶「はい」

- 表示メニューがベーシックメニューのときは、「はい」を選択する必要はありません。

✔お知らせ

- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、GIFアニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- 「ベーシックメニュー」「ベーシックメニュー（背景）」を含むきせかえツールの使用中、パーソナルデータロック中は、ベーシックメニューのアイコンと背景を変更できません。

◆ 機能説明文表示

メニュー項目の機能説明文を表示するかどうかを設定します。

- 文字サイズ設定の全体を「大」「最大」「極大」に設定中、リスト幅設定を「拡大」に設定中、大きめフォント対応のきせかえメニュー利用中に設定できます。ただし、セレクトメニュー画面では設定できません。

1 メニュー画面で「MENU」▶ 6

- 操作するたびに機能説明文表示のON／OFFが切り替わります。

✔お知らせ

- 「機能説明文表示OFF」にしても、きせかえメニューの「Simple Menu」利用中の2階層目までのメニュー画面や、セレクトメニュー画面では機能説明文が表示されます。

◆ メニューのリセット

メニュー操作履歴リセットを選択すると、メニューの使用回数や使用日時の情報が削除されます。メニュー設定オールリセットを選択すると、メニュー（セレクトメニューを含む）がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 MENU 8 2 2 3

2 目的の操作を行う

メニュー操作履歴リセット：1 ▶「はい」
メニュー設定オールリセット：2 ▶ 認証操作 ▶「はい」

画面のトータルカスタマイズ

画面のデザインなどを変更して、3種類のオリジナルコーディネイトを作成できます。

- トータルカスタマイズを設定すると、照明／キーバックライト設定の明るさ調整、文字サイズ設定のｉモード、メール閲覧、メール編集／文字入力、フォント選択、ecoモードがお買い上げ時の設定に戻ります。また、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間の通常時を「0秒」に設定していたときは、それ以前の設定値に変更されます。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面は変更されません。

1 MENU 8 3 2 ▶ タイトルを選択 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

タイトル：全角10（半角20）文字以内で入力します。
メニューデザイン：プリインストールされているきせかえツールを選択します。
スクリーン設定：画面のカラー配色を選択します。
待受画像設定：待受画面に表示する画像を、静止画、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像から選択します。
待受時計／形式／表示位置／曜日：待受画面に時計を表示するか、表示する時計のデザイン、形式、表示位置、曜日の表示の種類を選択します。
時計表示設定の項目→P98
電池アイコン：電池アイコンの種類を選択します。
アンテナアイコン：アンテナアイコンの種類を選択します。
スライドイルミネーション：スライドイルミネーションを設定するかを選択します。
- 「ON」にするとイルミネーションカラーを選択できます。

2 タイトルをタッチ ▶「設定」

電池アイコン設定

電池アイコンを変更します。

1 MENU 8 2 1 3 ▶アイコンを選択

アンテナアイコン設定

アンテナアイコンを変更します。

1 MENU 8 2 1 4 ▶アイコンを選択

イルミネーション設定

着信時、通話中、GPS測位時、ICカードアクセス時、FOMA端末の開閉時に点灯するイルミネーションを設定します。

- 電話、テレビ電話、メール・メッセージ着信設定、トルカ取得確認設定、GPSの測位動作設定にも反映されます。
- ランプの点灯色や明るさについて→P422

1 MENU 8 2 5

2 目的の操作を行う

着信イルミネーション：1 ▶各項目を設定▶「登録」

- イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。また、メロディによっては連動しない場合があります。
- イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、不在着信お知らせのランプの点灯色はイルミネーションカラーに従います。

通話中イルミネーション：2 ▶各項目を設定▶「登録」

GPS測位イルミネーション：3 ▶各項目を設定▶「登録」

- イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「OFF」も設定できません。

ICカードアクセスイルミネーション：4 ▶各項目を設定▶「登録」

スライドイルミネーション：5 ▶各項目を設定▶「登録」

- 通話中イルミネーション、ICカードアクセスイルミネーション、スライドイルミネーションを設定するときは、各イルミネーションを「ON」にしてイルミネーションカラーを選択します。

❖着信イルミネーションの優先順位

複数の機能で着信イルミネーションのイルミネーションパターン、イルミネーションカラーを設定している場合は、次の優先順位でランプが点灯します。

① FOMA端末電話帳の個別着信設定
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
④ 着信イルミネーション／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

不在着信お知らせ（ランプ）

不在着信や未読メール（SMS含む）があることをランプの点滅でお知らせします。

1 MENU 8 2 3 5 2 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- エリアメール、メッセージR/F受信時は動作しません。
- 電話着信やメール受信があると、ランプは着信・受信時の点灯色で約10秒間隔で点滅します。
- 次の場合は、ランプはイルミネーション設定のイルミネーションカラーで、約30分間隔で点滅します。複数の着信情報がある場合、電話着信、メール着信の順に優先されます。
  - インフォメーション受信があった場合
  - FOMA端末の電源を入れ直した場合
  - 新着情報の件数が変化してから情報を確認せずに約6時間経過した場合
- 新着情報の件数が変化してから約12時間（インフォメーションは約6時間）経過するか、新着情報アイコンを消去するとランプは消灯します。

フォント選択

文字の種類を変更します。
- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなどの機能の一部には反映されません。

1 MENU 8 2 6 2 ▶漢字／英数字欄を選択▶ 1 ～ 3

2 ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントを選択

ダウンロードしたフォントの削除：ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントをタッチ▶「削除」▶「はい」
- お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

3「登録」

文字サイズ設定

文字の大きさを設定します。
- ｉモードとフルブラウザ（画面メニュー）の文字サイズ変更、受信／送信メール（サブメニュー）の文字サイズにも反映されます。

1 MENU 8 2 6 1 ▶ 1 ～ 5 ▶文字サイズを選択

✔お知らせ
- 項目により選択できる文字サイズは異なります。全体で選択した文字サイズが対応していない項目には、最も近い文字サイズが設定されます。
- 全体で選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズ変更の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。
- 全体の文字サイズを「大」「最大」「極大」にすると、リスト幅設定の設定に関わらず、リスト幅が「拡大」で表示されます。

リスト幅設定

FOMA端末の利用スタイルごとに、リスト幅（行間）を拡大するかどうかを設定します。

1 MENU 8 2 9 ▶各項目を設定▶「登録」

時計表示設定

待受画面の時計表示の有無や時計のデザイン、表示位置を設定します。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式も設定できます。

1 MENU 8 7 2 4 ▶各項目を設定▶「登録」

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。「ON」にしたときは時計のデザインを選択します。
- 「世界時計」にすると、左側に日本国内の時刻が、右側に設定したタイムゾーンの時刻と名称が表示されます。

形式：時計の表示形式を「24時間表示」または「12時間表示」のどちらかに設定します。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。
- オールロック中、おまかせロック中は、本設定に関わらず時計の表示位置は「上」になります。

曜日：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」にすると、Select languageの設定に従って表示されます。

世界時計：デザインで「世界時計」を選択したときに表示するタイムゾーンや、サマータイムを設定します。
- サマータイムを「ON」にすると、設定したタイムゾーンの時刻が1時間進められて表示されます。

✔お知らせ
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式の設定（「24時間表示」または「12時間表示」）に従います。
- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリが設定されているときは、本設定に関わらずデザインが「デジタル4」、表示位置が「上」で表示されます。
- 海外で利用中は、デュアル時計設定に従います。

Select language

メニューなどに表示される言語を英語に変更できます。

1 MENU 8 2 6 3 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 本設定は、ドコモUIMカードにも保存されます。
- 「English」に設定しても、きせかえツールによっては表示メニューが英語に切り替わらないものがあります。ただし、「プリインストール」フォルダのきせかえツールを設定しているときは「English」専用のメニューが表示されます。
- 待受ショートカットのタイトルはショートカットを貼り付けたときの言語から切り替わりません。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

親子モードを使う

着信を制限する

その他のあんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P103

- 誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

❖パスワード（子供用）

親子モード中に認証操作が必要な場合に、端末暗証番号の代わりに使用する暗証番号です。パスワード（子供用）ではセキュリティ機能などの設定は変更できません。お子様用としてご利用ください。お買い上げ時には「1111」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。万が一パスワードをお忘れになっても、パスワード変更で端末暗証番号を入力することで再設定できます。→P116

- パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号入力をしても認証されます。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、ｉモードからは、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

❖ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P165

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

❖PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P104

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力すると、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセット、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。→P295

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

❖PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力 → 連続3回間違い → PINロック解除コード入力 → OK → 新PIN1／PIN2コード設定可能

PINロック解除コード入力 → 連続10回間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

✔お知らせ

- タッチ操作での暗証番号入力→P339
- パスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
  ※ 万が一、第三者の不正な使用による不利益があっても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更します。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

- パスワード（子供用）と同じ番号は設定できません。また、親子モード中は端末暗証番号の変更はできません。

1 MENU 8 4 6 ▶認証操作▶新しい端末暗証番号を入力

2 新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶「登録」

PINコードの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定したり、PIN1／PIN2コードを変更したりします。

◆PIN1コードON／OFF

電源を入れたときにPIN1コードを入力するかを設定します。

- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

1 MENU 8 4 5 3 ▶ 1 または 2 ▶PIN1コードを入力

- PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。「OK」を選択してPINロック解除コードを入力してください。
- 「ON」にしたときは、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

✔**お知らせ**

- 本設定は、ドコモUIMカードに保存されます。
- アラーム自動電源ON設定によって自動的に電源が入った場合、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作し、[電源キー]を押してアラームを止めた後にPIN1コード入力画面が表示されます。

◆PIN1／PIN2コードの変更

PIN1／PIN2コードを変更します。ご契約時はどちらも「0000」に設定されています。

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 **MENU 8 4 5 ▶ 1 または 2 ▶ 認証操作**

2 **現在のPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶「登録」**

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証の失敗を示す画面が表示されます。「OK」を選択して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。「OK」を選択してPINロック解除コードを入力してください。

✔**お知らせ**

- 本設定は、ドコモUIMカードに保存されます。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの入力を連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックの解除

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 **PINロック解除コード入力画面で、PINロック解除コードを入力**

2 **新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶「登録」**

オールロック

オールロックを起動すると、各種メニューの操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、FOMA端末を開き、QWERTYキーで緊急通報番号を入力し、Ctrl＋Escを押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- オールロックを起動しても、ICカードロックは起動されません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してからオールロックを起動してください。→P252
- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

1 **MENU 8 4 1 3 ▶ 認証操作**

待受画面に「オールロック中」と表示されます。

解除：**FOMA端末を開き、QWERTYキーで端末暗証番号を入力▶「確定」**

✔お知らせ

- メモリ別着信拒否／許可、メモリ登録外着信拒否の設定に関わらず着信します。
- 待受画面はお買い上げ時の設定になり、マチキャラなどは表示されません。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。また、受信結果テロップを表示するように設定していても、表示されません。
- 画面オフロックを「ON」に設定していても、オールロックが優先されます。
- 目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。
- 指定した時刻になっても、ライフスタイル設定は切り替わりません。オールロックを解除すると、動作していないライフスタイルが順に動作します。
- Bluetoothオン／オフが「オン」の場合でも「オフ」になります。オールロックを解除すると元の設定に戻ります。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - エリアメールの受信、おまかせロックの起動
  - ｉアプリコールの受信※3
  - おサイフケータイ（トルカを含む）の読み取り機にかざしての利用※4
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※5
  - ワンタッチアラーム
  - ソフトウェア更新、パターンデータの自動更新

※1 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。
※2 受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
※3 自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
※4 トルカの取得が完了したときの音は鳴動しません。
※5 位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。

おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約・電話番号保管・電話番号変更を行った場合や紛失時などで新しいドコモUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）おまかせロック中も位置提供可否設定を「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」に設定している場合は、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

■ おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

❖おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作以外のタッチ操作やキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。
- ｉアプリコールは自動受信できますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。おまかせロックを解除すると、ｉアプリコール履歴に表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- Bluetoothオン／オフが「オン」の場合でも「オフ」になります。おまかせロックを解除すると元の設定に戻ります。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能を設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末に電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中、海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックおよびロック解除ができない場合があります。
- 電源を入れ直してもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様がmovaサービスをご利用中の場合は、おまかせロックがかかりません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード設定

通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

- 緊急通報（110番、119番、118番）すると、セルフモードは解除されます。

◆セルフモードの起動／解除

1 **Fn2を押しながら◀▶「はい」**

起動するとディスプレイ上部にSELFが表示されます。

✔お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - 電話の発着信
  - ｉモード／フルブラウザの利用、メールの送受信
  - ｉアプリコールの受信
  - おサイフケータイ（トルカを含む）の読み取り機にかざしての利用
  - GPS（現在地通知一覧への通知先の登録や編集、削除含む）
  - 赤外線通信／iC通信、Bluetooth機能、フェムトセル
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信
- 電話着信時は、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中に電話の着信があっても、セルフモード解除後、ディスプレイに（不在着信）は表示されず、着信履歴にも記録されません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、セルフモードを解除しても、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR/FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管され、セルフモード解除後のｉモード問い合わせ、SMS問い合わせによって受信します。

パーソナルデータロック

ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限します。

- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合は、本機能は起動できません。
- パーソナルデータロック中でも発着信は記録され、リダイヤルや着信履歴からの発信ができます。

1 MENU 8 4 1 4 ▶認証操作▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面に が表示されます。

❖パーソナルデータロックを起動すると

- 次の操作（すべて、または一部の操作や設定）が制限されます。
  - メール※1、ｉモード問い合わせ、SMS※1
  - ｉモード、メッセージR/F※1、ｉチャネル、フルブラウザ
  - ｉアプリ、ｉアプリコールの受信※2、ｉウィジェット
  - 電話帳、伝言メモ／音声メモ（動画メモ）、メール送受信履歴※3
  - データBOX（すべての機能）
  - バーコードリーダー、赤外線・iC・PC連携※4、microSD、カメラ、サウンドレコーダー、ケータイデータお預かりサービス、地図・GPS※5、ウォーキング／Exカウンター
  - クイック検索※6、スケジュール帳※7、テキストメモ、目覚まし、イミテーションコール設定
  - 電話着信音、メール・メッセージ着信音、ｉコンシェル着信音、GPS測位鳴動音、アラーム音、待受画面選択、ｉチャネル設定、待受ショートカット、メニュー設定のリセット、電話発着信画像設定、メール送受信画像設定、きせかえツール、マチキャラ設定、きせかえ／ライフスタイル、電話発着信設定、発番号なし動作設定、イヤホンスイッチ発信設定（イヤホンスイッチ発信）、メモリ着信拒否／許可、テレビ電話発信設定、テレビ電話着信設定、テレビ電話画像選択※8、通話料金上限通知のアラーム音の設定、各種設定リセット、データ一括削除、件数増加鳴動設定、2in1設定、メロディコール設定、マルチナンバーの電話番号設定と着信設定、海外設定
  - ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネル※9
  - ICカード一覧※10、DCMX※10、トルカ※10、ｉモードで探す
  - プロフィール情報
  - ｉコンシェル

※1 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール送受信履歴からのメール作成はできません。
※2 自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
※3 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、メールアドレスのみ表示されます。
※4 赤外線通信／iC通信、USB接続によるデータの送受信はできません。
※5 位置提供の要求を受けたときの操作はできます。
※6 パーソナルデータロック中に、制限がかかる機能での検索はできません。
※7 待受画面に設定したカレンダーに、スケジュール帳の情報は表示されません。
※8 テレビ電話の代替画像は標準画像になります。
※9 番組の取得が始まると番組取得中画面が表示されますが、取得結果は表示されません。
※10 おサイフケータイ（トルカを含む）の読み取り機にかざしての利用はできます。

- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ

- 電話帳に登録している相手からの電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ起動中でも、待受画面に は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。また、受信結果テロップを表示するように設定していても、表示されません。
- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- 待受画面にマチキャラは表示されません。また、待受ショートカットは利用できません。
- メニューがお買い上げ時以外のきせかえメニューのときはベーシックメニューになります。制限されたメニュー項目を選択するとロック中の旨のメッセージが表示されたり、文字の色が変わったりアイコンが (人物名は「＊＊＊」）で表示され選択できなくなります。
- FOMA端末とBluetooth機器をヘッドセットで接続していても発信できません。

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 MENU 8 4 1 6 ▶認証操作▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

❖ダイヤル発信制限を起動すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 電話帳に登録のない相手とのリダイヤル・着信履歴を利用した発信、メール・SMS送信、パケット通信、64Kデータ通信
  - 電話帳またはグループの修正、登録・追加、削除、グループ設定
  - プロフィール情報の修正、リセット
  - Phone To（AV Phone To）、SMS To、Mail To機能
  - 外部機器との電話帳やプロフィール情報、現在地通知先の送受信
  - メール作成画面でのテンプレート読み込み、メールテンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成※1
  - GPSの現在地通知※2
  - microSDカードへのバックアップ／復元、microSDカードの電話帳の表示
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

※1 電話帳に登録しているメールアドレスが宛先に入力されているテンプレートからのメール作成はできます。

※2 登録した通知先への通知はできますが、通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

プライバシーモード

個人情報の利用時に認証操作が必要になるように設定したり、特定の電話帳やスケジュール、着信、送受信メールなどを非表示に設定したりできます。

◆プライバシーモードの利用の流れ（メール）

認証後に個人情報を表示する場合、次の手順で設定します。

〈例〉メール・履歴「認証後に表示」の場合

①プライバシーモードの設定内容を「認証後に表示」にする→P109
②プライバシーモードの起動方法を「標準」に設定する→P110
③プライバシーモードを起動する→P110
メールを利用するときには認証操作が必要になります。

◆プライバシーモードの利用の流れ（電話帳）

個人情報を非表示にする場合、次の手順で設定します。

〈例〉電話・履歴「指定電話帳非表示」の場合

①電話帳にシークレット属性を設定する→P78
非表示にしたい電話帳にシークレット属性を設定します。設定中はが点滅します。

- データごとにシークレット属性の設定が必要です。
  電話帳→P78、Bookmark→P171、メール→P143、マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント、その他→P296、スケジュール→P317

②プライバシーモードの設定内容を「指定電話帳非表示」にする→P109
③プライバシーモードの起動方法を「標準」に設定する→P110
④プライバシーモードを起動する→P110
電話帳を検索してもシークレット属性を設定した電話帳は表示されません。

✔お知らせ

- データBOXのシークレット属性を設定したフォルダの画像や動画／ｉモーションなどを、メールに添付した場合は、シークレット属性は引き継がれず、画像や動画／ｉモーションが表示されます。

◆ プライバシーモードの動作設定

電話帳やメール、その他の機能にプライバシーモードの動作設定を行います。

❖プライバシーモードの動作設定（電話、メール）

電話帳やメールのフォルダ一覧利用時に認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やメールフォルダを非表示にしたり、シークレット属性を設定した相手からの電話やメールの着信時の動作を設定したりします。

1 MENU 8 4 2 1 ▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」▶「OK」

電話・履歴：
- 「認証後に表示」にすると、電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモ、クイック検索でメール検索を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定電話帳非表示」にすると、シークレット属性を設定した電話帳やグループ（グループ内の電話帳を含む）、シークレット属性を設定した相手が対象の新着情報（待受カスタマイズの新着情報エリアを含む）、伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メールやSMS、メール送受信履歴などの表示をしません。また、着信動作はシークレット属性電話着信動作の設定に従います。

メール・履歴：
- 「認証後に表示」にすると、メールのフォルダ一覧やメール送受信履歴を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定フォルダを非表示」にすると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを受信した場合の着信動作はシークレット属性メール着信動作の設定に従います。

シークレット属性電話着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）にシークレット属性を設定した相手からの電話着信動作を設定します。
- 「未登録番号として扱う」にすると、電話帳に登録されていない相手からの着信として動作します。
- 「サイレント着信」にすると、着信音、バイブレータ、イルミネーションでの通知はしません。ディスプレイの表示はサイレント着信時応答方法の設定に従って動作します。
- 「表示・通知する」にすると、シークレット属性を設定していない相手からの着信として動作します。

サイレント着信時応答方法：シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定した場合の着信時のディスプレイの表示動作を設定します。
- 「着信継続」にすると、着信画面には電話番号のみ表示されます。
- 「伝言メモ起動」にすると、伝言メモ設定に関わらず、伝言メモが起動します。着信画面には電話番号のみ表示されます。ただし、伝言メモが起動できないときは、「着信継続」の設定で動作します。
- 「留守番電話に接続」にすると、留守番電話に接続されます。このとき、着信画面は表示されません。ただし、留守番電話が未契約のときは、「伝言メモ起動」の設定で動作します。

シークレット属性メール着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」またはメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信した場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメール着信時の表示や通知を設定します。
- 「表示・通知しない」にすると、メールは受信しますが着信動作は行われません。
- 「表示・通知する」にすると、テロップ表示や名前、題名が表示されます。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「表示する」でメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性メール着信動作を「表示・通知しない」に設定していても、シークレット属性を設定したフォルダの振り分け設定をしていない場合に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信するとメールの着信動作は行われます。

プライバシー新着通知：シークレット属性を設定した電話帳の相手からの電話を着信したり、メールを受信したりした場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信したときに、電池アイコンの種類を変えて新着情報があることをお知らせするかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

✔**お知らせ**
- シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定していても、オールロックを起動した場合は、オールロックの設定が優先され、着信音が鳴ります。

❖プライバシーモードの動作設定（その他）

マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント、スケジュール、テキストメモ、ｉアプリ、位置履歴（GPS）、Bookmark、画面メモを利用するとき、認証操作を行うかを設定します。

1 MENU 8 4 2 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」▶「OK」

- 「認証後に表示」にすると、設定した機能を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定アルバムを非表示」「指定フォルダを非表示」「指定スケジュール非表示」にすると、シークレット属性を設定したアルバムやフォルダ、スケジュールは表示されません。

✔お知らせ

- 待受ショートカットを起動した場合も、シークレット属性を設定したデータやフォルダは表示されません。
- ｉモーションを「指定アルバムを非表示」にした場合に、シークレット属性を設定したアルバムにある動画／ｉモーションをプレイリストに登録しているときは、プレイリスト内のタイトルも表示されません。

◆プライバシーモード起動／解除操作の設定

プライバシーモードの起動／解除操作、無操作の場合の自動起動の時間などを設定します。

1 MENU 8 4 2 3 ▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」

起動／解除操作：プライバシーモードの起動／解除操作を設定します。
- 「なし」にすると、キー操作での起動／解除操作ができなくなります。ただし、自動起動を設定した場合はプライバシーモードの起動のみできます。
- 「操作非表示」にすると、起動／解除時の認証画面の操作が表示されません。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードを自動起動させるまでの時間を設定します。

◆プライバシーモードの起動／解除

キー操作によるプライバシーモードの起動／解除を行います。

■ 起動／解除操作が「標準」の場合

1 ◀（1秒以上）

解除：◀（1秒以上）▶認証操作

■ 起動／解除操作が「操作非表示」の場合

1 Tab／ ▶F2▶認証操作

- F2以降の操作をしても画面は変わりません。
- 認証画面は表示されません。認証に失敗した場合、もう一度F2を押してから認証操作を行ってください。なお、認証操作を5回失敗しても電源は切れません。
- 解除する場合も同様の操作です。

✔お知らせ

- ライフスタイル設定で、プライバシーを「ON」に設定した場合、プライバシーモード起動設定の設定に関わらず、プライバシーモードが起動します。

❖プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードの設定によって、各機能は次のように動作します。

〈ｉアプリ以外：「認証後に表示」〉
- 認証が必要な項目へアクセスするｉアプリとｉアプリDXは利用できません。

〈電話・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉
- メールグループの表示やメール振り分けをするには、認証操作が必要です。

〈電話・履歴：「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」〉
- 通話中に撮影した静止画をメール送信するときに、通話相手のメールアドレスを電話帳に登録していても、相手のメールアドレスは宛先に入力されません。
- ｉアプリコールを受信した場合、電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。

〈電話・履歴：「認証後に表示」〉
- ダイヤル入力の電話発信、メールアドレスの直接入力でのメール送信、メール一覧やメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。

- 待受カスタマイズ新着情報エリアの不在着信一覧と伝言メモ一覧、GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致したときの要求者名（位置履歴詳細画面を含む）、スケジュール帳の誕生日や連絡先、セレクトメニューに登録した人物名は表示されません。
- イヤホンスイッチ発信またはBluetooth機器を利用して発信できません。

〈電話・履歴：「指定電話帳非表示」〉

- 発信する相手の電話帳やグループにシークレット属性を設定している場合、イヤホンスイッチ発信やBluetooth機器を利用して発信できません。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。
- 電話帳やスケジュール帳からメールを検索したり、クイック検索でのメール検索やメール送受信履歴の表示やメール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを送受信した場合、新着情報やメール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを未読メール一覧に表示しません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードしても、シークレット属性を設定したメール連動型ｉアプリ用のフォルダに自動的に振り分けられません。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「認証後に表示」〉

- 各機能の設定でマイピクチャまたはｉモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映されることを示す画面が表示されます。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉

- 静止画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
- メール作成中のデコメ®ピクチャ一覧やデコメ絵文字®一覧には、お買い上げ時に登録されている画像以外は表示されません。

〈スケジュール：「表示する」以外〉

- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていても赤いマークは表示されません。

〈スケジュール：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズのスケジュールエリアは表示されません。また、待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールの休日設定や曜日休日設定で休日を設定したことを示す色での表示はお買い上げ時の表示に戻ります。
- 設定した日時になってもスケジュールアラームは鳴りません。
- アラーム自動電源ON設定が「ON」で電源が入っていない場合は、指定した日時になっても電源は入りません。

〈スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉

- 設定した日時になっても、シークレット属性のスケジュールのアラームは鳴りません。
- 待受カスタマイズのスケジュールエリアに、シークレット属性のスケジュールは表示されず、登録件数確認の件数にも含まれません。

〈テキストメモ：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズのメモ一覧とメモ内容は表示されません。

〈ｉアプリ：「認証後に表示」〉

- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
- 待受画面設定でｉアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

〈画面メモ：「認証後に表示」〉

- 画面メモの上書き保存をする場合は、認証操作が必要です。

✔お知らせ

- ｉモードとフルブラウザのURL入力の表示内容は、プライバシーモード中以外に入力された内容は表示されず、プライバシーモード中に最後にURL入力した内容が表示されます。また、URL入力履歴とラストURLの場合、プライバシーモード中以外に接続したURL入力履歴とラストURLを表示しません。
- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」のとき、プライバシーモードは起動しません。既に起動していると解除されます。
- データ一括削除を行ったり、次の機能で「全件削除」したりした場合、プライバシーモード中で非表示になっているデータも削除されます。
  - リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、電話帳
  - メール※、メール送受信履歴、スケジュール、音声メモ

  ※「1件削除」「選択削除」以外の削除操作をした場合も非表示のメールは削除されます。
- プライバシーモード中に、電話・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映をうながす旨のメッセージが表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュールを利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。

◆ プライバシーモードの一時解除

一時的にプライバシーモードを解除して、表示されていないデータを表示できます。

1 非表示データがある画面でCLR（1秒以上）／CLR（1秒以上）▶認証操作

- 待受画面に戻るまで一時解除は有効です。ただし、画面によっては一時解除できない場合があります。

◆ シークレット反映

電話帳のシークレット属性を変更した場合に、その設定状態を送受信したメールやSMSに反映します。

- データ通信などで、外部からFOMA端末にメールを保存した場合で、電話帳のシークレット属性を適用したいときも実行してください。
- シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に非表示となります。

1 MENU 8 4 2 4 ▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- シークレット反映中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモード起動設定を確認する旨のメッセージが表示されます。
- 2in1利用時は、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。
- 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
  - 電話帳のシークレット属性の解除をしたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳を変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
  - シークレット属性を設定した電話帳を削除したとき（電話帳の電話番号またはメールアドレスの削除含む）

電話／メール着信時設定

電話帳に登録している相手から電話やメールを着信したときの表示内容（名前や電話番号など）について設定します。

- プライバシーモード中の着信時の表示内容は、本設定よりもプライバシーモードの設定が優先されます。

1 MENU 8 4 4 ▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」

誤操作防止ロック

ディスプレイの表示を消して（画面オフ）、タッチ操作をロックします。また、⊶以外のサイドキーと⏎と CLR をロックします。

- 静止画／動画撮影時、サウンドレコーダー利用中は誤操作防止ロックが起動しません。

◆ 誤操作防止ロックの起動／解除

1 ⊶

画面オフの状態になり誤操作防止ロックが起動します。解除するとディスプレイが点灯します。

- 誤操作防止ロック中に、FOMA端末を開いてもロックが解除されます。
- 画面オフ時間設定によって、画面オフの状態になった場合も誤操作防止ロック状態になります。

◆ スライドクローズ時設定

FOMA端末を閉じるたびに、画面オフして誤操作防止ロックを起動するかを設定します。

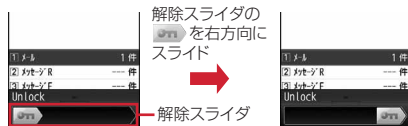
1 MENU 8 4 1 1 ▶項目を設定▶「登録」

- 「すぐに画面オフする」にすると、FOMA端末を閉じてすぐに誤操作防止ロックが起動します。
- 照明点灯時間設定が「常時点灯」に設定されている機能を利用中のときは、「すぐに画面オフする」にして、FOMA端末を閉じても誤操作防止ロックは起動しません。

✔お知らせ
- オールロック中、おまかせロック中、画面オフロック中でも、[キー]を押すと誤操作防止ロックが起動します。
- FOMA端末を開いているときに[キー]を押すと、ディスプレイの表示が消えます(画面オフ)が、キーはロックされません。
- 誤操作防止ロック中でも、ワンタッチアラームの起動はできます。

◆ 解除スライダの操作

誤操作防止ロック中で画面オフの状態のときに各機能が動作すると、ディスプレイに解除スライダが表示されます。

- 解除スライダが表示される各機能の動作は次のとおりです。
  - 音声電話やテレビ電話着信中
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - エリアメールの受信
  - メールやメッセージの受信
  - 留守番電話件数増加通知中
  - イマドコサーチの位置提供の要求を受けたとき
  - イミテーションコール着信中(「すぐに鳴らす」以外を設定した場合のみ)
  - スケジュールアラームやお知らせタイマー鳴動中
  - iアプリコールの受信
  - iコンシェルのインフォメーションの受信
- 解除スライダの[アイコン]を右方向にスライドすると、解除スライダが消えてタッチ操作が有効になります。

- 解除スライダ部分のみタッチ操作が有効です。横画面の場合は、[アイコン]を上方向にスライドしてください。
- 画面オフロックと誤操作防止ロックが同時に起動中で、メールやメッセージを受信した場合は、解除スライダの[アイコン]を右方向にスライドすると認証画面が表示されます。

画面オフロック

画面オフの状態になってから、設定時間内に無操作だった場合に、タッチ操作やキー操作を自動でロックします。解除するたびに認証操作が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

画面オフロック中に緊急通報(110番、119番、118番)を行うには、FOMA端末を開き、QWERTYキーで緊急通報番号を入力し[Ctrl]+[Esc]を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- iモーション再生中(再生画面表示中を含む)、ビデオ再生、メール受信結果画面表示中、メロディの再生、ミュージックやMusic&Videoチャネルの再生、赤外線通信、iC通信、USB接続によるデータの送受信などが動作している場合はロックがかかりません。
- 設定時間が経過する前に電話着信やメール受信、各種アラームの鳴動など、他の機能が起動した場合は、画面オフ状態が解除され、経過時間はリセットされます。
- 画面オフロック中でも、次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる/切る操作※1
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※2
  - 伝言メモの録音
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新(待受画面で画面オフロック中の場合のみ)
  - 待受カスタマイズの表示と非表示の切り替え操作
  - iモードメールやメッセージR/Fの受信、SMSの受信
  - エリアメールの受信(内容表示中を含む)、おまかせロックの起動
  - 目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマーの鳴動と停止
  - おサイフケータイ(トルカを含む)の読み取り機にかざしての利用
  - iアプリコールの受信、iアプリの自動起動
  - iコンシェルのインフォメーションの受信
  - Music&Videoチャネルの番組の自動配信
  - イヤホンスイッチ設定によるイヤホンスイッチ発信
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作
  - ソフトウェア更新、パターンデータの自動更新
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1　画面オフロック中の場合に電源を入れ直すと、端末暗証番号入力画面が表示されます。認証操作を行わなかった場合は、ロックの設定が保持されます。
※2　イヤホン変換アダプタ F01を接続している場合や、Bluetooth機器で電話を受ける操作も含まれます。

◆画面オフロックの設定

画面オフロックの起動やロック起動時間などを設定します。

1 MENU 8 4 1 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」

- 置き忘れセンサーを「ON」にすると、無操作のまま画面オフの状態が継続し、FOMA端末本体の動作がない（歩行していないときや瞬間的に大きな振動を与えていない）ことが画面オフロックの起動条件になります。

❖画面オフロックが起動すると

タッチ操作やキー操作がロックされます。ただし、ワンタッチアラーム設定中にを1秒以上押す操作、の利用はできます。

- ディスプレイ上部にが表示されます。
- 待受画面以外では、画面オフロック中画面が表示されます。

◆画面オフロックの一時解除

画面オフロック状態を一時的に解除します。

1 画面オフ状態で▶認証操作

- FOMA端末を開く操作でも認証画面が表示されます。
- 画面オフロック中画面では、「認証」をタッチしても認証画面が表示されます。
- メール受信結果画面やｉコンシェルのインフォメーション受信確認画面表示中に、とと以外のキーを押すか画面をタッチすると、認証画面が表示されます。

✔お知らせ

- 画面オフロックが「ON」の場合に電源を入れ直すと端末暗証番号入力画面が表示されます。認証操作をしなかった場合は、画面オフロックが起動します。また、おまかせロック中は、おまかせロックの解除後に画面オフロックが起動します。
- 画面オフロック中は、マチキャラを設定していても表示されません。
- オートGPS機能起動中の場合は、認証画面に「測位停止」が表示されます。→P268

タッチロック

発信中や通話中は、タッチ操作の誤操作を防止するため、自動的にタッチロックが起動します。タッチロック中にディスプレイをタッチすると、タッチロック中である旨のメッセージが表示されます。

◆タッチロックの起動／解除

1 発信中や通話中画面で（1秒以上）

- タッチロック中に画面オフの状態で、を押してもタッチロックが解除されます。

✔お知らせ

- テレビ電話の場合は、発着信中のタッチロックの状態を保持したまま通話中になります。

親子モード

親子モードを設定すると、一部の機能の利用を制限して、本FOMA端末をお子さま用として利用することができます。

- 親子モード中に認証操作が必要な場合は、パスワード（子供用）が利用できます。親子モード中でも、保護者用の認証操作（端末暗証番号）も利用できます。
- 親子モードで「ワンタッチアラーム設定」を選択すると、ワンタッチアラームの設定画面が表示されます。→P311

◆親子モード設定

親子モードを利用するかを設定します。

- 親子モード中に制限されるメニュー→P396
- 親子モードを「ON」にすると、PINコード設定のメニュー操作が制限されます。PIN1コードの入力を利用しないときは、あらかじめPIN1コードON／OFFを「OFF」に設定してください。

1 MENU 8 4 3 ▶認証操作▶ 1 ▶ 1 または 2

「ON」にするとディスプレイ上部にが表示されます。

❖親子モードを設定すると

親子モード中、端末暗証番号またはパスワード（子供用）の入力が必要な機能や操作・設定が制限される機能は次のとおりです。

〈端末暗証番号またはパスワード（子供用）の入力が必要〉

- Cookie削除（ｉモード／フルブラウザを含む）、ｉモード設定リセット、確認表示設定リセット、着信拒否設定、メモリ別着信拒否／許可、メモリ登録外着信拒否、通話料金自動リセット設定、通話料金上限通知、上限通知アイコン消去、2in1、電話／メール着信時設定、メニュー設定オールリセット、変換学習リセット、画面オフロック設定、オールロック、端末暗証番号設定、パスワードマネージャー、ICカードロック、ソフトウェア更新、ICカードロック解除予約、電源OFF時ICロック設定

〈端末暗証番号の入力が必要〉

- 親子モード

〈操作・設定不可〉

- 接続先設定、OFFICEED、パーソナルデータロック、ダイヤル発信制限、プライバシーモード、UIMカード（FOMAカード）設定、データ一括削除、各種設定リセット、位置提供可否設定、サービス利用設定、サービス利用／接続先設定、ICオーナー変更

✔お知らせ

- 親子モードを「ON」にすると、プライバシーモードの設定は無効になります。親子モードを「OFF」にすると設定は元の状態に戻ります。

◆各種利用制限

電話帳に登録されていない相手への電話発信やメール送信、メール、カメラ、ブラウザ、ｉアプリに利用制限を設定できます。

- 親子モード設定を「ON」にしてから操作を行ってください。

1 MENU 8 4 3 ▶認証操作▶ 2 ▶各項目を設定▶「登録」

電話発信／メール送信設定：「電話帳登録相手のみ」にすると、ダイヤル発信制限を設定した場合と同様になります。

ダイヤル発信制限→P108

メールロック：「ON」にすると、メール機能の利用ができません。ただし、エリアメール設定やエリアメールの受信（表示内容を含む）はできます。

カメラロック：「ON」にすると、静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダーが利用できません。

ブラウザロック：「ON」にすると、ｉモード／フルブラウザのすべての機能が利用できません。

PCロック：「ON」にすると、Windows 7モードのすべての機能が利用できません。

ｉアプリロック設定：「すべて不可」にすると、ｉアプリ、ｉアプリの自動起動（「自動起動する」に設定）が利用できません。「登録アプリのみ許可」にすると、FOMA端末内に保存されているｉアプリのみ利用できます。ただし、ｉアプリのダウンロード、ダウンロードが必要なｉアプリの起動はできません。

✔お知らせ

- メールロックまたはブラウザロックを「ON」にすると、メールまたはBookmarkの本体-microSDカード間の移動／コピー、赤外線通信／iC通信、USB接続による送受信はできません。また、microSDカードへの一括バックアップ／復元もできません。
- メールロックを「ON」に設定中でも、メールの自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、新着情報も表示されません。
- 電話発信／メール送信設定が「電話帳登録相手のみ」のときの電話帳や、ブラウザロックが「ON」のときのBookmarkは、ケータイデータお預かりサービスへの更新／復元ができません。

◆パスワード（子供用）変更

親子モード中に使用するパスワードを設定します。お買い上げ時のパスワードは「1111」に設定されています。
- 親子モード設定を「ON」にしてから操作を行ってください。パスワードに端末暗証番号と同じ番号は設定できません。

1 MENU 8 4 6 ▶認証操作▶新しいパスワードを入力

2 新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力▶「登録」

✔お知らせ
- パスワードは、お子さまが覚えやすい番号を設定してください。

指定電話番号からの着信許可／拒否

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。
- 設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設　定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

◆着信許可／拒否設定

1 MENU 4 1 ▶電話帳検索▶電話帳をタッチ▶「MENU」▶ 4 4 3 ▶認証操作▶電話番号を選択▶ 1 ～ 3
- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けてメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。
- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

◆メモリ別着信拒否／許可

指定した電話番号からの着信許可／拒否を有効にするかを設定します。
- 本設定は着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。

1 MENU 8 5 5 1 ▶認証操作▶ 1 ～ 3

✔お知らせ
- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳がない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない理由（発信者番号非通知理由→P62）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本設定が優先されます。

1 **MENU 8 5 2 ▶認証操作▶ 1 ～ 3 ▶各項目を設定▶「登録」**

〈着信動作〉：発信者番号が通知されない電話の着信があったときの動作を設定します。
- 「設定解除」にすると、各着信音の設定に従って着信音が鳴ります。
- 「着信音OFF」にすると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」にしたときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「着モーション」にしたときは、動画／ｉモーションを選択します。音声と映像のある動画／ｉモーションを選択すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。
- 「ミュージック」にしたときは、音楽データを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
  ミュージックの設定→P83

イメージ表示：発信者番号が通知されない着信時に表示する画像を設定します。
- 「ｉモーション／ムービー」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

イメージ一覧：イメージ表示で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択して画像を設定します。

✔お知らせ
- 「着信拒否」にすると、相手からの着信を拒否します。拒否された着信は不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、各着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 次のような場合、着信動作が「メロディ」の「着信音1」になったり、イメージ表示が「標準画像」になったりします。ただし、設定は変更できます。
  - イメージ表示にFlash画像または映像のみの動画／ｉモーションを設定している状態で、着信動作に音声のみの動画／ｉモーションやミュージックを設定したとき
  - 着信動作を音声と映像のある動画／ｉモーションからメロディ、ミュージック、音声のみの動画／ｉモーションのいずれかに変更したとき
  - 着信動作に音声のみの動画／ｉモーションまたはミュージックを設定している状態で、イメージ表示にFlash画像や映像のみの動画／ｉモーションを設定したとき
  - イメージ表示を「着信音連動」から「着信音連動」以外に変更したとき
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないように、呼び出し開始時間などを設定します。

- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合は設定できません。

1 **MENU 8 1 5 ▶各項目を設定▶「登録」**

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかを設定します。

呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかを設定します。

❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。

✔お知らせ

- 本設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード、伝言メモ
  - 留守番電話サービス、転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりもそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録されていない電話番号からの着信拒否を設定します。

- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は発番号なし動作設定に従って動作します。番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が「ON」の場合は設定できません。

1 MENU 8 5 5 2 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

❖メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録されていない相手からの着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。折り返し着信の場合も同様です。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳、画像、動画／ｉモーション、メール、Bookmark、テキストメモ、スケジュール、トルカ、現在地通知先、メロディ、メール振り分けなどの設定情報（以下「端末データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターにバックアップでき、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- WORLD WINGご契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください（お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります）。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

■ 自動更新機能について

電話帳、画像（「自動お預かり」フォルダ内）、Bookmark、スケジュール、トルカ、メール振り分けなどの設定情報は、自動更新機能により、定期的に自動でバックアップできます。

- 自動更新の初期設定状態（自動更新する／しない）は端末データにより異なります。次のメニュー操作よりご確認・変更ください。
  - メニュー操作から：MENU→「LifeKit」→「ケータイデータお預かりサービス」→「データ確認／更新方法等」
  - ｉモードサイトから：ｉMenu→マイページ→マイメニュー／マイボックス→ケータイデータお預かり※

  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますので、ｉモードパケット定額サービスへのご契約をおすすめします。

◆ データ確認／ダウンロード（復元）

お預かりサイトに接続して、データの確認、削除、ダウンロード（復元）などを行います。

1 MENU 6 6 1 ▶「はい」

これ以降の操作につきましては『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

❖ 電話帳内画像送信設定

お預かりセンターにデータを送信するときに、電話帳内の画像も送信するかを設定します。

1 MENU 6 6 3 ▶項目を設定▶「登録」

◆ お預かりセンターへのバックアップ（更新）

FOMA端末内に保存されている各データをお預かりセンターにバックアップします。

- 電話帳、Bookmark、トルカ、スケジュール、設定情報以外のデータはそれぞれ1回の操作で最大30件バックアップできます。ただし、GPSの現在地通知先は1回の操作で最大5件バックアップできます。
- 画像（静止画）、動画／ｉモーション、メロディ、トルカのデータは、著作権保護されていないデータのみお預かりセンターにバックアップできます。
- ｉモードメールにファイルが添付されている場合は、バックアップするときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ、デコメアニメ®本文のFlash画像（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く）は削除されません。
- 送達通知はバックアップできません。
- 画像を含むトルカ（詳細）は、詳細が含まれずにバックアップされる場合があります。

1 バックアップする各データを選択

電話帳の更新：MENU 4 1 ▶電話帳検索▶「MENU」▶ 7 4

メールのバックアップ：✉ ▶ 1 または 4 ～ 5 ▶フォルダを選択▶「MENU」▶ 4 5 ▶メールを選択▶「保存」

- 未送信メールをバックアップする場合は、フォルダを選択してから「MENU」▶ 4 3 をタッチし、バックアップするメールを選択します。

Bookmarkの更新：MENU 2 2 ▶フォルダにカーソル▶「MENU」▶ 7

- サムネイル表示中は、タッチ操作によるカーソルの移動はできません。「MENU」▶ 6 をタッチし、リスト表示に切り替えてから操作してください。

画像のバックアップ：MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶「MENU」▶ 5 8 ▶画像を選択▶「保存」▶「OK」

動画／ｉモーションのバックアップ：MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶「MENU」▶ 5 6 ▶動画／ｉモーションを選択▶「保存」▶「OK」

メロディのバックアップ：MENU 5 5 ▶フォルダを選択▶「MENU」▶ 4 5 ▶メロディを選択▶「保存」

トルカの更新：MENU ✱ 3 ▶「MENU」▶ 0

GPSの現在地通知先のバックアップ：MENU 6 7 9 3 1 ▶「MENU」▶ 9 ▶現在地通知先を選択▶「保存」

スケジュール帳の更新：MENU 7 1 ▶「MENU」▶ 0 2

テキストメモのバックアップ：MENU 7 2 ▶「MENU」▶ 0 ▶メモを選択▶「保存」

2 「はい」▶認証操作

- 「中断」：バックアップを中止

3 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。
- 復元や自動更新設定などは、ｉモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。→P119「■自動更新機能について」

✔お知らせ

- ドコモUIMカード電話帳はバックアップできません。
- FOMA端末電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。
- FOMA端末電話帳を削除した場合は、ｉモードのケータイデータお預かりサイトから電話帳を復元できます。
  ｉMenu→マイページ→マイメニュー／マイボックス→ケータイデータお預かり※→お預かりデータ確認→ｉモードパスワードを入力→「決定」→お預かりセンター→復元するデータを選択
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能が起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源を切ったときやFOMAサービスエリア外にいるとき、ドコモUIMカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新に失敗したときは、待受画面にマークなどは表示されません。通信履歴表示で確認できます。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。
- 1件あたりのファイルサイズが10240Kバイトを超える画像やメロディ、動画／ｉモーションはバックアップできません。
- Bookmarkを復元すると、すべてBookmarkフォルダに保存されます。ただし、Bookmarkのシークレット属性の設定やフォルダ名は復元されません。
- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の画像は選択できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。
- メールを復元する場合は次のようになります。
  - 受信（既読）／送信済／未送信メールは保護されて復元されます。
  - 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古いメール（未送信メールを除く）から上書きされる旨のメッセージが表示されます。
  - 受信（未読）メール、保護された受信／送信済／未送信メールは上書きされません。
- トルカをお預かりセンターから自動更新後、初めてトルカを参照した場合は、このトルカを保存するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとバックアップされますが、「いいえ」を選択した場合は参照しているトルカが削除されます。
- 既に保存されているGPSの現在地通知先の電話番号が同じ場合、データはバックアップされません。

◆ ｉコンシェルからお預かりセンターへのバックアップ（更新）

ｉコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、スケジュール、Bookmark、トルカをお預かりセンターにバックアップできます。お預かりセンターに接続することによって、それらのデータをFOMA端末に更新することができます。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

1 MENU ＃

2 「メニュー」▶「設定」▶「お預かりデータ確認／設定／更新」▶「電話帳やスケジュールなどの更新」▶データを選択▶「接続」

3 「はい」▶認証操作

- 「中断」：バックアップを中止

4 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆「自動お預かり」フォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップ

「自動お預かり」フォルダにある画像を手動でお預かりセンターに追加バックアップします。

- マイピクチャの「自動お預かり」フォルダに保存された画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップされます。自動更新設定はｉモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。→P119「■自動更新機能について」

1 MENU 6 6 6 ▶「追加」

2「はい」▶認証操作

- 「中断」：バックアップを中止

3 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

❖画像のお預かり済みアイコンのクリア

「自動お預かり」フォルダ内の画像をバックアップしていない状態に変更して、再度お預かりセンターへバックアップするかを設定します。

1 MENU 5 1 ▶「自動お預かり」フォルダを選択▶「MENU」▶ 5 7 ▶「はい」

- 画像がバックアップ済み状態（矢印がブルー）からバックアップしていない状態（矢印がグレー）に変更すると、次回自動更新時にお預かりセンターに画像がバックアップされます。

◆設定情報をお預かりセンターにバックアップ（更新）

FOMA端末内の設定情報をお預かりセンターにバックアップすることができます。

- バックアップされる内容は、一括バックアップの設定項目と同じです。→P293
- 設定情報は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップすることもできます。→P119「■自動更新機能について」

1 MENU 6 6 5 ▶ 1 または 2

2「はい」▶認証操作

- 「中断」：バックアップを中止

3 通信結果を確認する

- 「詳細」をタッチすると設定成功一覧が表示されます。設定成功一覧の表示は、約5秒後に消えます。操作を中断したり、更新やすべての復元に失敗したりした場合は表示できません。

◆最新の状態に更新

お預かりセンターとFOMA端末内のデータを最新の状態に更新します。

1 MENU 6 6 4 ▶更新するデータを選択▶「接続」

2「はい」▶認証操作

- 「中断」：バックアップを中止

3 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆通信履歴表示

お預かりセンターとの通信履歴を表示し、各機能でお預かりセンターにバックアップした履歴を確認できます。

- 通信履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 6 6 2 ▶履歴を選択

各種設定リセット

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- メニュー一覧の赤文字の機能をお買い上げ時の状態に戻します。→P396

1 **MENU 8 7 5 4 ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ 「リセット」 ▶ 「はい」**

✔お知らせ

- ｉモード設定をリセットすると、ｉチャネルのテロップが待受画面に表示されなくなります。待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- ウォーキング／Exカウンター設定をリセットすると、当日の歩数／活動量／カロリー情報がリセットされます。

データ一括削除

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 保護したデータも削除されます。
- 2in1のモードに関わらず設定やデータが削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
  - データが保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
  - ネットワークサーチ設定
  - 3G/GSM切替
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは次のようになります。
  - 「iD 設定アプリ」はICカード内データが保存されてない場合はお買い上げ時の状態に戻ります。
  - 「iD 設定アプリ」とダウンロードが必要なｉアプリ以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは、ICカード内データが保存されていない場合は削除されます。
  - おサイフケータイ対応ｉアプリ以外のｉアプリはお買い上げ時の状態に戻りますが、バージョンアップした場合は削除されます。
- ICカード内データが保存されている場合は、ICオーナーは初期化されません。

1 **MENU 8 7 5 5 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」**

再起動中にデータ一括削除されます。

✔お知らせ

- 本機能を実行して再起動すると、初めて電源を入れたときと同様の画面が表示（拡大メニューの設定は、設定を行わず確認画面を消していた場合のみ表示）されます。→P46
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- 本機能を実行すると、Music&Videoチャネルの番組は自動的に取得されなくなります。再び番組を自動的に取得するには、Music&Videoチャネルの番組設定を行ってください。

その他のあんしん設定

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

<table>
<tr><th>機能・サービス名称</th><th>目　的</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>ICカードロック</td><td>ICカード機能の不正使用を防止したい</td><td>P252</td></tr>
<tr><td>迷惑電話ストップサービス</td><td>いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない</td><td>P352</td></tr>
<tr><td>番号通知お願いサービス</td><td>発信者番号を通知してこない電話を着信したくない</td><td>P352</td></tr>
<tr><td>FirstPass</td><td>電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい
※ FirstPass対応サイトに限ります</td><td>P166
P180</td></tr>
<tr><td>ソフトウェア更新</td><td>必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい</td><td>P430</td></tr>
<tr><td>スキャン機能</td><td>障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい</td><td>P434</td></tr>
<tr><td>メール選択受信</td><td>大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい</td><td>P149</td></tr>
<tr><td>「災害用伝言板」サービス</td><td colspan="2" rowspan="7">『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>メールアドレス変更</td></tr>
<tr><td>迷惑メール対策
（URL付きメール拒否設定）
（受信／拒否設定）
（かんたん設定）
（ｉモード／spモードメール大量送信者からのメール受信制限）
（SMS拒否設定）
（未承諾広告※メール拒否）
（メール設定確認）</td></tr>
<tr><td>メール機能停止／再開</td></tr>
<tr><td>メールサイズ制限</td></tr>
<tr><td>ケータイお探しサービス</td></tr>
<tr><td>イマドコかんたんサーチ</td></tr>
</table>

メール

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード対応端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、デコメ絵文字®も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しています。

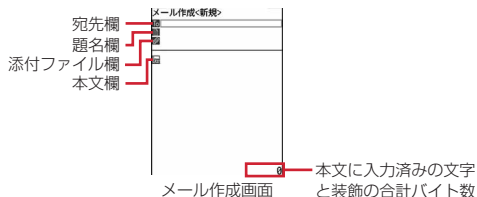
- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信します。

1 ✉ 2 ▶「OK」

- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

メール作成画面

- 2in1がデュアルモード時、ディスプレイ下部に送信者アドレスを示す次のマークが表示されます。
  A: 未指定　B: Bアドレス　表示なし：Aアドレス
- 2in1がデュアルモード時は、送信者アドレスを切り替えて送信できます。→P355

2 宛先欄を選択

3 1～6 ▶宛先を入力

メール送受信履歴からの入力：1または2 ▶履歴を選択
電話帳からの入力：3 ▶電話帳検索▶電話帳を選択
メールグループからの入力：4 ▶メールグループを選択
ブログ／SNS投稿先からの入力：5 ▶投稿先を選択
ブログ／SNS投稿先の設定について→P150

- 既に題名が入力されていた場合は、破棄して投稿先タイトルを読み込むかの確認画面が表示されます。

直接入力：6 ▶宛先を入力（半角50文字以内）

- ｉモード対応端末に送信する場合は、「@docomo.ne.jp」は省略できます。

4 題名欄を選択▶題名を入力（全角100（半角200）文字以内）

5 本文欄を選択▶本文を入力（全角5000（半角10000）文字以内）

署名の挿入：本文欄を選択▶「MENU」▶ 4 7
位置情報のURLを貼り付け：本文欄を選択▶「MENU」▶ 4 6 ▶ 1～6
位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P262

- 位置情報URLの前に付与される と位置情報URLは本文の文字数に含まれます。
- 位置情報は受信側がｉモード対応端末の場合のみ利用できます。

参照メールの表示：本文欄を選択▶「MENU」▶ 7 1 ▶参照元を選択▶フォルダを選択▶参照するメールをタッチ▶「参照表示」▶「OK」

- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。
- 表示中の参照メールは次の操作ができます。
  - 上下にスライド：上下スクロール
  - 左右にスライド：前後のメール切り替え
  - 「MENU」▶ 7 4：参照メールの変更
  - 「MENU」▶ 7 1：参照メールの解除
- 参照メールに添付されたファイルは表示・再生されません。またFlash画像の効果音や本文中に貼付されたメロディも再生されません。
- フォルダ一覧、メール一覧で「受信メール」／「送信メール」をタッチするたびに受信／送信メールの表示が切り替わります。

6 「送信」

- ネットワーク接続中または送信中に「中断」：送信を中止
- 圏外の場合、その旨のメッセージが表示されます。圏内自動送信メールが5件未満の場合に[キー]以外のキーを押すと、圏内自動送信の設定確認画面が表示されます。
  「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして「未送信BOX」フォルダに保存されます。→P134

✔お知らせ

- 送信が正常に終了したｉモードメールは送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから順に削除されます。
- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- デコメ絵文字®（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信に失敗したｉモードメールは「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 送信を中止したｉモードメールは「未送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、操作のタイミングによっては「未送信BOX」フォルダに保存されなかったり、保存されても送信されていることがあります。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 送信／未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成または送信できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- メール作成中に[キー]を押して編集を終了した場合、自動保存されるように設定できます。→P153
- 他の機能が起動するなどして、10000バイトを超える作成中のｉモードメールが自動保存された場合、一部が保存されないことがあります。
- [キー]を押すと画面幅を切り替えられます。

◆ 宛先の追加

ｉモードメールは一度に最大5件の相手に送信（宛先追加）できます。

- 宛先種別には次の3種類があります。
  To：直接の送信相手の宛先
  Cc：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手の宛先
  Bcc：他の送信相手にメールアドレスを表示させずにメール内容を知らせる相手の宛先
- Toの宛先が1件も入力されていないときは、メールを送信できません。
- 受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、ToとCcのメールアドレスも表示されない場合があります。

1 メール作成画面で宛先欄をタッチ▶「宛先追加」▶1～6

- 「メールグループ」を選択した場合は、メールグループを選択します。

宛先種別の変更：メール作成画面で宛先欄をタッチ▶「MENU」▶7 3▶宛先種別を選択

追加した宛先の削除：メール作成画面で宛先欄をタッチ▶「MENU」▶7 2▶「はい」

2 宛先種別を選択▶宛先を入力

宛先の入力方法→P126「ｉモードメール作成・送信」操作3

デコメール®作成・送信

ｉモードメール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入などの装飾（デコレーション）をして送信できます。

- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に貼付できる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。ただし、Flash画像は最大2個です。
- デコメール®を非対応端末が受信すると、相手の端末によって閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

◆ 装飾選択後に文字入力

装飾方法を選択してから文字を入力してデコメール®を作成します。

1 メール作成画面で本文欄を選択

2 「デコレーション」▶装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の操作方法→P128「装飾アイコンの操作手順」

- 選択状態の点滅、テロップ、スウィングの装飾アイコンを再度選択すると選択状態が解除されます。
- 複数の装飾を設定するときは、連続して装飾アイコンを選択します。テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。

カーソル位置の装飾を解除して文字の入力：入力位置をタッチ▶「デコレーション」▶「デコなし」▶文字を入力

- 解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置です。

装飾の変更：「デコレーション」▶「範囲選択」▶開始位置を選択▶終了位置を選択▶装飾操作

装飾の確認：「MENU」▶ 0 ▶装飾を確認▶「戻る」

- 設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。
- 効果音付きのFlash画像を本文中に貼付している場合は、効果音が再生されます。メロディを添付している場合は、メロディのみ再生されます。

3 メールを編集▶「送信」

メール編集方法→P126

❖装飾アイコンの操作手順

装飾アイコン	装飾アイコン選択後の操作・補足
画像挿入	**①挿入元を選択** •「静止画を撮影」を選択すると、待受用（600×1024）以下のサイズで静止画を撮影して挿入できます。 • の代わりに「デコメピクチャ」をタッチすると、デコメ®ピクチャ一覧を表示できます。 • デコメ絵文字®は絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P340 **②フォルダを選択▶画像を選択▶「閉じる」**
文字色	**文字色を選択▶「閉じる」▶文字を入力** • 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。 • 絵文字（デコメ絵文字®（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。 • 範囲を指定して元の色に戻せます。→P129
文字サイズ	**文字サイズを選択▶「閉じる」▶文字を入力** • デコメ絵文字®（絵文字D）は変更できません。
背景色	**背景色を選択▶「閉じる」** • 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
点滅	**「閉じる」▶文字を入力** • デコメ絵文字®（絵文字D）は設定できません。
テロップ	**「閉じる」▶文字を入力** • との間に文字を入力します。
スウィング	**「閉じる」▶文字を入力** • との間に文字を入力します。
文字位置	**文字の位置を選択▶「閉じる」▶文字を入力** • カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されます。
ライン挿入	**「閉じる」** （文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。
ALL CLEAR 全解除	**「閉じる」** すべての装飾が解除されます。

装飾アイコン	装飾アイコン選択後の操作・補足
元に戻す	「閉じる」 直前に設定した装飾または文字入力が、最大10回取り消されます。

◆ 文字入力後に装飾

文字を入力してから装飾方法を選択してデコメール®を作成します。

- ライン挿入、画像挿入、背景色の操作方法や装飾の確認、解除方法→P128「装飾選択後に文字入力」

1 メール作成画面で本文欄を選択▶「デコレーション」▶「範囲選択」

2 開始位置をタッチ▶「始点」▶終了位置をタッチ▶「終点」

全文を選択：「全選択」
開始位置から文頭までを選択：「文頭」▶「終点」
開始位置から文末までを選択：「文末」▶「終点」

3 装飾を選択

文字色の変更：1▶文字色を選択
- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

文字サイズの変更：2▶文字サイズを選択
文字の点滅を設定／解除：3▶1または2
文字や画像のテロップ表示を設定／解除：4▶1または2
文字や画像のスウィング表示を設定／解除：5▶1または2
文字や画像の表示位置を変更：6▶1～3
選択範囲の装飾をすべて取り消す：7
コピー：8
切り取り：9
1つ前の状態に戻す：0

4 「確定」▶「閉じる」▶メールを編集▶「送信」

✔お知らせ

- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押すと、装飾データも含めてカーソル位置以降の文字を削除できます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- Flash画像を含む参照メール表示中に、装飾アイコン選択時に、「デコメピクチャ」をタッチしてデコメ®ピクチャ一覧を表示すると、参照メールのFlash画像は停止します。
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

デコメアニメ®作成・送信

デコメアニメ®は、Flash画像で作成されたデコメアニメ®テンプレートを利用することにより、デコメール®の表現力を向上させたメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートやIP（情報サービス提供者）サイトから購入したメールテンプレートが利用できます。

- 送信できるデコメアニメ®本文のサイズは90Kバイト以内です。
- デコメアニメ®を非対応端末が受信すると、相手の端末によっては閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

1 ✉ 3

デコメアニメ®作成画面

2 デコメアニメ®本文欄を選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：ファイル制限あり／なし
  上記以外のマークの意味→P131「メール作成中にデコメール®テンプレート読み込み」操作1
- 「切替」をタッチするたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 既にデコメアニメ®テンプレートを設定している場合は、操作4に進みます。

3 デコメアニメ®テンプレートをタッチ▶「読込み」

編集できるテキストや画像の要素リストが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  ：テキスト要素　：画像要素
- 「プレビュー」：プレビューを表示
  効果音付きのデコメアニメ®の場合は、効果音が再生されます。メロディを添付している場合は、メロディのみ再生されます。

4 テキスト要素を選択▶文字を入力

- 入力できる文字数や行数、位置はデコメアニメ®テンプレートによって異なります。
- デコメ絵文字®（絵文字D）の入力、文字のサイズや色の変更などの装飾、署名の挿入はできません。

画像要素の編集：

- 画像の挿入位置はデコメアニメ®テンプレートによって異なります。
- 本文に入力できる文字数（バイト数）より少ないサイズの画像でも、挿入できない場合があります。

① **画像要素を選択▶挿入元を選択**
- 「静止画を撮影」を選択すると、待受用（600×1024）以下のサイズで静止画を撮影して挿入できます。

② **フォルダを選択▶画像を選択**

他のデコメアニメ®テンプレートの読み込み：「MENU」▶1▶「はい」▶デコメアニメ®テンプレートをタッチ▶「読込み」

画像の削除：画像要素をタッチ▶「MENU」▶2▶「はい」

編集を元に戻す：要素をタッチ▶「MENU」▶3▶「はい」

参照メールの表示：「MENU」▶4 1▶参照元を選択▶フォルダを選択▶参照するメールをタッチ▶「参照表示」▶「OK」

- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。
- 表示中の参照メールは次の操作ができます。
  - 上下にスライド：上下スクロール
  - 左右にスライド：前後のメール切り替え
  - 「MENU」▶4 4：参照メールの変更
  - 「MENU」▶4 1：参照メールの解除
- 参照メールに添付されたファイルは表示・再生されません。また、Flash画像の効果音や本文中に貼付されたメロディも再生されません。
- Flash画像を含む参照メールを表示中に、Flash画像の画像要素をタッチすると、参照メールのFlash画像は停止します。

・フォルダ一覧、メール一覧で「受信メール」／「送信メール」をタッチするたびに受信／送信メールの表示が切り替わります。

5 「完了」▶メールを編集▶「送信」

メール編集方法→P126

✔お知らせ

- 画像やテキストを挿入する場合は、合成後に多少バイト数が増えます。そのため、サイズを超過して、プレビュー表示や送信ができない場合があります。
- 送信に失敗し、「未送信BOX」フォルダに保存されたデコメアニメ®の本文は再編集できません。

メールテンプレート

メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にデコメール®／デコメアニメ®が作成できます。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートのほか、自分で作成したものやサイトからダウンロードしたものが利用できます。

- メモリ確認→P301

◆メール作成中にデコメール®テンプレート読み込み

メール作成中にテンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。

1 メール作成画面で「MENU」▶6▶1または2

- 本文が既に10000バイトを超えている場合は「読込み」を選択できません。
- 「読込み（本文上書き）」を選択した場合は、入力済みの内容を破棄して読み込むかの確認画面が表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のメールテンプレート
  - ：不正な画像が使用されているメールテンプレート
  - ：ｉモードサイトからデコメール®テンプレートを探す→P132

  上記以外のマークの意味→P141「メール一覧画面の見かた」
- 「切替」をタッチするたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

2 メールテンプレートをタッチ▶「読込み」

- 操作1で「読込み」を選択したときに、本文に入力済みの文字などがあった場合は、挿入位置を選択し、「はい」を選択します。

3 メールを編集▶「送信」

✔お知らせ

- メール本文入力画面のサブメニューからの操作：「MENU」▶2
- [カメラ]を押すと画面幅を切り替えられます。

◆メールテンプレート選択後にメール作成・送信

メールテンプレートを表示してデコメール®やデコメアニメ®を作成できます。

1 [メール]▶[✂]▶1または2▶メールテンプレートを選択

2 「✉作成」▶メールを編集▶「送信」

デコメール®テンプレートの詳細情報を変更：
①「MENU」▶7 2▶各項目を設定
　表示名：全角10（半角20）文字以内で入力します。
　ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。
　　ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
②「登録」

デコメアニメ®テンプレートの詳細情報を変更：「MENU」▶4 2▶
　表示名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」

✔お知らせ

- メールテンプレート表示中に[カメラ]を押すと画面幅を切り替えられます。

◆メールテンプレートの作成／登録

作成または送受信したｉモードメールをデコメール®テンプレートとして登録します。

- 次の場合は、デコメール®テンプレートに登録できません。
  - 本文と装飾データで10000バイトを超えている場合
  - 本文と装飾、添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
- 送受信したｉモードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。
- デコメアニメ®は本機能を利用できません。

1 メール作成画面で「MENU」▶ 6 3 ▶「はい」

送受信したｉモードメールの登録：メール詳細画面で「MENU」▶ 4 4

2 各項目を設定

表示名：全角10（半角20）文字以内で入力します。
ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

3 「新規保存」または「上書保存」

テンプレートの「デコメール」に登録されます。
- 上書保存では選択操作▶「はい」が必要です。

✔**お知らせ**
- メール送信できない画像が含まれたデコメール®テンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。

◆ メールテンプレートのダウンロード

サイトからメールテンプレートをダウンロードして保存します。
- 1件あたりの保存可能な最大サイズは次のとおりです。
  - デコメール®テンプレート：200Kバイト
  - デコメアニメ®テンプレート：100Kバイト

1 サイトを表示▶メールテンプレートを選択
- ダウンロード中に「中断」：ダウンロードを中止

2 「保存」▶各項目を設定

表示名：全角10（半角20）文字以内で入力します。
ファイル名（デコメール®テンプレートのみ）：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
表示：「プレビュー」
保存の中止：「戻る」▶「いいえ」
詳細情報の表示（デコメアニメ®テンプレートのみ）：「情報表示」
詳細情報について→P299

3 「新規保存」または「上書保存」

デコメール®テンプレートはテンプレートの「デコメール」、デコメアニメ®テンプレートは「デコメアニメ」に保存されます。
- 上書保存では選択操作▶「はい」が必要です。
- 保存後に続けてメール作成の確認画面が表示されます。
- 利用できないファイルが添付されている場合は、添付ファイルを削除して保存するかの確認画面が表示されます。

◆ メールテンプレートの削除

保存されているメールテンプレートを削除します。

1 ✉ ✂ ▶ 1 または 2

2 メールテンプレートをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 〜 3 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたメールテンプレートが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

✔**お知らせ**
- お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P300

ファイルの添付

ｉモードメールにファイルを添付して送信します。
- 添付できるファイル（データ）は次のとおりです。
  - 静止画・画像 - メロディ - 動画／ｉモーション - トルカ - PDFデータ - 電話帳 - スケジュール - Bookmark
  - microSDカードのその他ファイル
- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- ファイル（データ）の設定や形式によっては添付できない場合があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定したファイル、「データ交換」フォルダのデータを除く）、ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のファイルは添付できません。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶ファイルを選択

メール作成画面の添付ファイル欄に選択したファイルのファイル名が表示されます。

- microSDカードを取り付けている場合は、添付元を「本体」「microSD」から選択する画面が表示されます。

画像（「1イメージ」）を選択したとき

- 横縦（縦横）のサイズが240×320より大きいJPEG形式の画像の場合は、サイズの変換確認画面が表示されます。
- 位置情報付きの画像の場合は、位置情報URLの本文貼り付け確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、画像のみが添付されます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG形式の画像は、メールに添付可能なサイズに変換されます。
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、静止画を撮影して添付できます。

動画／iモーション（「2iモーション」）を選択したとき

- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、動画を撮影して添付できます。

「3メロディ」を選択したとき

- お買い上げ時は、「メール添付メロディ」フォルダにメロディが保存されています。→P409

「4トルカ」を選択したとき

- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールへの貼り付け確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けするかの確認画面が表示されます。

「6スケジュール」を選択したとき

- iスケジュール内の予定を選択したときは、通常のスケジュールとして添付されます。

音声（「9ボイス録音」）を選択したとき

- 音声を録音して添付できます。
  音声の録音方法→P195「動画撮影」操作2以降

2 メールを編集▶「送信」

メール編集方法→P126、128、130

✔お知らせ

- 2Mバイト対応機種以外のｉモード対応端末に動画／ｉモーションを送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。→P205
- ｉスケジュール内の予定を選択したときは、通常のスケジュールのメモとして添付されます。
- movaサービスのｉモード対応端末へはJPEG形式の画像を1枚のみ送信できます。
- 受信側の端末が対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されたり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。また、送信後に送信メールのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

◆ 添付ファイルの変更／解除

ｉモードメールに添付したファイルを変更／解除します。

1 メール作成画面で添付ファイル名をタッチ

2 目的の操作を行う

解除：「添付解除」▶「はい」
変更：「変更」▶添付するファイルを選択

ｉモードメール保存／編集

作成中のｉモードメールやSMSを保存したり、保存したｉモードメールやSMSを編集したりします。

◆ ｉモードメールの保存

作成したｉモードメールを送信せずに保存します。

1 メール作成画面で「MENU」▶ 3

「未送信BOX」フォルダに保存され、待受ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます。ただし、既に待受ショートカットに貼り付けているメールを再編集して保存した場合は、確認画面は表示されません。

- 本文を編集したデコメアニメ®を保存する場合は、保存確認画面が表示されます。なお、保存すると本文を編集できなくなります。

◆ 送信／未送信メールの編集

送信したメールや未送信のメールを編集して送信します。

1 ✉ ▶ 4 または 5 ▶ フォルダを選択

2 目的の操作を行う

未送信メールの編集：メールを選択

- 圏内自動送信メールを選択した場合は、設定を解除する旨のメッセージが表示されます。
- 送信に失敗した日時指定送信メールを選択した場合は、送信失敗情報が破棄される旨の確認画面が表示されます。

送信メールの再編集：メールをタッチ ▶「編集」

3 メールを編集 ▶「送信」

メール編集方法→P126、128

送信予約

圏外で作成したｉモードメールの自動送信や、指定した日時にｉモードメールを自動送信するように設定することができます。

◆ 圏内自動送信

圏外で作成したｉモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定します。

- 最大5件設定できます。

1 メール作成画面で「MENU」▶ 2 1

「未送信BOX」フォルダに保存され、ディスプレイ上部に[AUTO]が表示されます。

◆ 日時指定送信

ｉモードメールの送信する日時をあらかじめ指定して、指定日時になったら自動的に送信するように設定します。

- 最大30件設定できます。

1 メール作成画面で「MENU」▶ 2 2 ▶ 各項目を設定 ▶「予約」

「未送信BOX」フォルダに保存されます。

日時：2050年12月31日までの日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

❖ 圏内／指定日時になると

ｉモードメールが自動送信されます。自動送信中は[AUTO]が点滅します。送信が正常に終了したｉモードメールは送信メールのフォルダに保存され、[AUTO]が消えます。

- 自動送信を中断したときや失敗したときは[AUTO]が[AUTO]に変わって点滅し、送信失敗として「未送信BOX」フォルダに残ります。
- すべての送信失敗メールが編集、解除、削除などによってなくなると[AUTO]は消えます。

圏内自動送信：

- 圏内自動送信中に圏外になり、送信に失敗した場合は、最大2回再送されます。
- 国際ローミング中は自動送信されません。帰国後、FOMAネットワークに接続されると自動送信されます。

日時指定送信：
- 指定した時刻から40秒の間に送信されます。
- 日時指定送信メールの指定日時に圏外の場合は、圏内自動送信メールに設定され、圏内になると自動送信されます。
- 次の場合は指定日時に送信されず、送信失敗として「未送信BOX」フォルダに残ります。
  - 電源が入ってないとき
  - ドコモUIMカード未挿入時
  - 電波状況により送信が失敗したとき
  - 国際ローミング中
  - 圏外によって日時指定送信メールが圏内自動送信メールに設定されるときに、既に圏内自動送信メールが5件を超えているとき
  - ダイヤル発信制限中に電話帳に登録されていない宛先の日時指定送信メールが送信されたとき
  - 日時指定送信メールの再編集中に指定日時になり日時を変更せずに再編集を終了したときや、日付時刻の変更指定日時が日付時刻よりも過去になったとき
  - 日付時刻設定の変更により、指定日時がFOMA端末の日付時刻よりも過去になったとき
  - 親子モード中（各種利用制限の電話発信／メール送信設定が「電話帳登録相手のみ」で電話帳に登録していない宛先に送信されたとき、またはメールロックが「ON」のとき）
- 同一日時の日時指定送信メールが複数件あった場合やメールのサイズが大きい場合は、指定した時間に送信できないことがあります。
- 送信開始待ちの日時指定送信メールと自動返信メールが合わせて30件あった場合は、31件以降のメールは送信失敗となります。

共通：
- 未送信メール一覧で自動送信に失敗したｉモードメールをタッチして「MENU」▶ 5 2 をタッチすると、未送信理由が表示されます。
- メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ中は自動送信されません。操作終了後に自動送信されます。
- 圏内自動送信と日時指定送信では、圏内自動送信が優先されて送信されます。送信状況によっては、日時指定送信の設定した日時より遅れる場合があります。

◆ 送信予約の解除／日時確認・変更

圏内自動送信や日時指定送信の設定を解除したり、日時指定送信の設定した日時を確認・変更したりします。

1 ✉ 4 ▶ フォルダを選択 ▶ ｉモードメールをタッチ

2 目的の操作を行う

圏内自動送信／自動送信失敗の解除：「解除」▶「はい」
日時指定送信の解除：「予約状況」▶「予約解除」
日時指定送信の日時確認：「予約状況」▶「OK」
日時指定送信の日時変更：「MENU」▶ 1 ▶「MENU」▶ 2 2 ▶ 各項目を設定 ▶「予約」

✔お知らせ
- 次の場合、送信予約の設定は解除されます。
  - 圏内自動送信メールを選択して、メール作成画面になった場合
  - 送信予約されたメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合
  - ドコモUIMカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で接続先番号または接続先アドレスを変更した場合
- 次の場合、送信失敗となります。
  - 親子モード（メールロックが「ON」）に設定した場合

クイックメール

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを送信できます。
- 電話帳に複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、ｉモードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

1 キー操作でメモリ番号を入力 ▶「✉作成」

入力したメモリ番号の電話帳に登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメール作成画面が表示されます。
SMSの作成：キー操作でメモリ番号を入力 ▶ F3（1秒以上）
入力したメモリ番号の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMS作成画面が表示されます。

ｉモードメール自動受信

ｉモードメールは自動的に受信します。

1 ｉモードメールを受信

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したｉモードメールは受信メールのフォルダに保存されます。

- 「中断」：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① マーク
　：未読ｉモードメールあり　：未読ｉモードメールとSMSあり
② 受信結果テロップ
③ 受信したｉモードメールの件数

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問い合わせを行ってください。

✔**お知らせ**

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P140
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるとき、また、添付ファイルのサイズによっては、未読または保護以外の古い受信メールから順に削除されます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に削除される場合があります。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないときや圏外のとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。受信する場合は、未読メールの内容表示、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。

◆ 新着ｉモードメールの表示

受信したｉモードメールをすぐに表示します。

1 受信結果画面で 1 ▶メールを選択

メロディや効果音付きのFlash画像の再生について→P152
受信メール詳細画面の見かた→P142

- 同時に複数のメールを受信したときやメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられたときは、フォルダ一覧が表示されます。

ｉモードメール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認して、受信するｉモードメールを選択したり、受信せずに削除したりできます。
ｉモードセンターにｉモードメールが届いたときは、ディスプレイに「センターに✉あり」とメッセージが表示されます。
- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。→P149

1 ✉ 8

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。
- ｉモードセンターの操作方法は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔**お知らせ**
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、画面オフロック中はメッセージが表示されません。
- ｉモード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、ｉモード問い合わせ設定で問い合わせ項目から「メール」を外してください。

ｉモード問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールやメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。
- 電波状態によってはｉモード問い合わせができない場合があります。
- 問い合わせする項目を設定できます。→P149

1 ✉ 6

- ｉモード問い合わせ中はランプが黄色で点滅します。ｉモード問い合わせ後、新着のｉモードメールがないときは、ランプが赤色で点滅します。ｉモード問い合わせに失敗したときは、ランプが黄色で点滅します。

ｉモードメール返信

受信したｉモードメールやSMSに返信します。
- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」の受信SMSには返信できません。

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択▶メールをタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶ 1 ～ 5

クイック返信本文選択画面が表示されます。
- 複数の宛先に送られたメールの場合は、返信先選択画面が表示されます。
- 次の場合は、クイック返信本文選択画面は表示されません。
  - クイック返信設定が「OFF」の場合（操作3に進む）
  - クイック返信本文が1件も登録されていない場合（操作3に進む）
  - 「デコメアニメ返信」「参照デコメアニメ返信」の場合（操作4に進む）
  - SMSに返信する場合（操作4に進む）
- 受信メール一覧で「返信」をタッチしても、返信メールを作成できます。

2 1

クイック返信の使用： 2 ～ 6
選択したクイック返信本文が挿入されます。

3 「OK」

- 「参照返信」の場合は、参照メールエリアの操作についての確認画面が表示されます。
- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

4 メールを編集▶「送信」

宛先欄には受信メールの発信元、題名欄には先頭に「REX:」(Xは「1」を除く返信回数）の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）が入力されます。
- 受信メールの状態マークが📩から↩、または📩から↩に変わります。

✔お知らせ

- 受信メール一覧、詳細画面で「返信」をタッチしたときの返信時の引用方法とクイック返信を設定できます。→P150
- デコメアニメ®は引用返信できません。
- 引用返信で引用されるのは、本文と装飾、本文中に貼付された画像（ファイル制限が設定されていないもの）のみです。
  引用時に本文中の画像が最大20種類で合計90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像の削除を示す画面が表示されます。
- 返信するときに題名の最大文字数を超えた場合は、題名の末尾から超えた文字を削除し、削除した旨のメッセージが表示されます。
- ｉモードメールや音声電話の応答ができないときに、自動的に返信するように設定できます。→P151

ｉモードメール転送

受信したｉモードメールやSMSを他の宛先に転送します。ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択▶メールをタッチ▶「MENU」▶ 1 6 ▶「OK」

題名欄には先頭に「FWX:」（Xは「1」を除く転送回数）の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、本文欄には受信メールの本文が入力されます。

- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。SMSの場合は「OK」の操作は不要です。

2 メールを編集▶「送信」

- 受信メールの状態マークが📩から➡、または📩から➡に変わります。

✔お知らせ

- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目があるときは転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 未取得、取得途中の選択受信添付ファイル、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。microSDカードの受信メールを転送する場合は、すべての添付ファイルが解除されます。
- デコメアニメ®を転送する場合は、本文を編集できません。また、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデコメアニメ®は、デコメアニメ®が解除され、メール作成画面が表示されます。
- 本文中に画像がある受信メールを転送するときに、本文中の画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像の削除を示す画面が表示されます。
- 転送するときに題名の最大文字数を超えた場合は、題名の末尾から超えた文字を削除し、削除した旨のメッセージが表示されます。

添付ファイルの操作

ｉモードメールに添付されているファイルを表示・保存します。

- 表示・保存できるファイルは次のとおりです。
  - 画像　-ｉモーション　-メロディ　-トルカ　-PDFデータ　-電話帳
  - スケジュール　-Bookmark
- 複数件の電話帳、スケジュール、Bookmarkはｉモードメールに添付されている状態では、内容を表示できません。保存後に内容の確認をしてください。
- メール本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。→P140

◆ 添付ファイルの表示・再生

添付されているファイルを表示・再生します。

- 本FOMA端末に対応していないファイルは表示・再生できません。

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名を選択

マークの意味→P142「メール詳細画面の見かた」

- 画像の場合は、表示／非表示が切り替わります。
- トルカに詳細情報がある場合は、「詳細」をタッチするとサイトからダウンロードできます（トルカ（詳細））。

✔お知らせ

- 横幅が画面サイズよりも大きい画像は、縮小されて表示されます。
- デコメール®に添付された画像を表示するときは、画像のファイル名を選択します。
- 送信側の端末や受信したファイルによっては、表示・再生できない場合があります。
- メロディや効果音を自動再生するか設定できます。→P152
- 本文の文字が誤ってメロディのデータとして認識された場合は、メロディをタッチして「MENU」▶ 7 5 をタッチすると文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭行で「選択」をタッチすると、メロディの表示に戻ります。
- 送信メール詳細画面からも同様に操作できます。

◆ 添付ファイルの保存

添付されているファイルを保存します。

- 添付ファイルはそれぞれに対応した保存先に保存されます。
- 本FOMA端末で対応していないファイルはmicroSDカードへの保存および転送のみできます。なお、保存の際にファイル名が書き換えられる場合があります。

1 [メール] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ i モードメールを選択

2 ファイルを選ぶ

本文中の画像：「MENU」▶ [6] ▶ [1] ～ [3]
- 1件保存では画像をタッチ、選択保存では選択操作 ▶「保存」、全件保存では「はい」をタッチします。

添付画像：ファイルをタッチ ▶「MENU」▶ [7] [3]
メロディ：「▼」「▲」でファイルを選び「MENU」▶ [7] [2]
動画／ｉモーション、PDF、その他ファイル：「▼」「▲」でファイルを選び「MENU」▶ [7] [3]
電話帳、スケジュール、Bookmark：ファイルをタッチ

3 保存操作を行う

画像やメロディなどの保存：「保存」／「SD保存」
- ガイド表示領域に「本体⇔SD」が表示されたときは、「本体⇔SD」をタッチすると保存場所（本体／microSDカード）を切り替えられます。
- 画像、メロディを本体に保存するときは、保存先が選択できます。
- 画像の場合、表示名（36文字以内）、ファイル名（半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内）、コメント（100文字以内）が編集できます。
- メロディの場合、表示名（全角25（半角50）文字以内）が編集できます。
- 動画／iモーションの場合、表示名（36文字以内）が編集できます。
- Bookmarkの場合、タイトル（全角12（半角24）文字以内）が編集できます。タイトルなしで保存すると、Bookmark一覧にはURLが表示されます。
- データによっては、編集できない項目があります。
- 電話帳、スケジュール、Bookmarkでは、複数件のデータの場合、保存先が選択できます。

トルカの保存：「保存」▶ [1] または [2]
- トルカによっては保存場所をどちらか一方しか選択できない場合があります。

その他ファイルの保存：「はい」

✔お知らせ
- 横縦（縦横）のサイズがGIF形式で600×1024、JPEG形式で3000×4000より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない画像もあります。
- トルカによっては一度しか保存できない場合があります。
- 送信メール詳細画面からも同様にファイルの保存ができます。

◆ 添付ファイル名の確認

添付されているファイルのファイル名を確認します。

1 [メール] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ i モードメールを選択

2 ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ [7] [2]

添付されたメロディのタイトルを確認：メロディをタッチ ▶「MENU」▶ [7] [5]
本文中に貼付されたメロディのタイトルを確認：メロディをタッチ ▶「MENU」▶ [7] [4]

✔お知らせ
- 送信メール詳細画面からファイル名を確認する操作：ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ [7] ▶「タイトル確認」または「ファイル名確認」

◆ 添付ファイルの削除

添付されているファイルを削除します。

- 本文中に貼付されている画像やメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

1 [メール] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ i モードメールを選択

2 ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ [7] ▶ [4] または [5] ▶「はい」

- 削除した添付ファイルはファイル名がグレーで表示されて選択できなくなります。

メロディまたは選択受信添付ファイルの削除：ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ [7] ▶ [3] または [4] ▶「はい」

✔お知らせ
- 送信メールに添付したファイルも同様に操作できます。

◆ 選択受信添付ファイルの取得

受信メールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードします。

- 未取得または取得途中の添付ファイルがあると、受信メール詳細画面にｉモードセンターでの保存期限が表示されます。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 **[✉] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ ファイルが添付されたｉモードメールを選択 ▶ ファイル名を選択**

マークの意味→P142「メール詳細画面の見かた」

- ダウンロード中に「中断」▶「いいえ」をタッチすると、ダウンロードを中止し、中止した部分まで保存されます。
- ダウンロード後の操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。→P138

✔お知らせ

- 選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのｉモードメールの添付ファイル削除、未読メールの内容表示、保護解除、不要メールの削除などを行ってからダウンロードし直してください。
- ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると中断した部分まで保存され、添付ファイルマークに✚が表示されます。

受信／送信／未送信メールBOXの表示

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSを確認します。

- FOMA端末を開く操作で編集画面などを表示できます。→P320

1 **[✉]**

2 **目的の操作を行う**

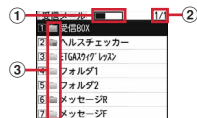
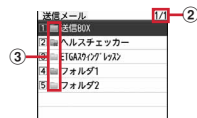
受信メールフォルダ一覧の表示：[1]
送信メールフォルダ一覧の表示：[5]
未送信メールフォルダ一覧の表示：[4]

3 **フォルダを選択**

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダをタッチして「MENU」▶ [1] をタッチすると、ｉアプリを起動せずにメール一覧を表示できます。

4 **表示するメールを選択**

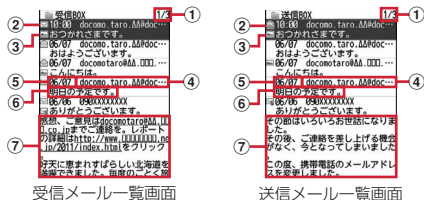
- メール一覧（本文お試し表示部）や詳細画面をタッチして表示されたスライダを操作すると、表示を拡大／縮小（15段階）できます（クイックズーム）。スライダを消すにはスライダ以外をタッチします。ただし、デコメアニメ®ではスライダは表示されません。

◆ フォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面

送信メールフォルダ一覧画面

① 保存領域の使用率
② ページ番号／総ページ数

③ フォルダ
受信メール
(グレー)：メールなし　(水色)：未読メールなし
：未読メールなし、メールなし（シークレット属性ON）
：未読メールなし、メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
：未読メールあり　：未読メールあり（シークレット属性ON）
：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）
送信／未送信メール
(グレー)：メールなし　(水色)：メールあり
：シークレット属性ON　：メール連動型ｉアプリ

◆ メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面　送信メール一覧画面

① **ページ番号／総ページ数**
② **状態マーク**
受信メール
：未読　：未読（返信不可）　：既読　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　：既読（転送済み）　：保護
：保護（返信不可）　：保護（返信済み）　：保護（転送済み）
：未読（自動返信済み）　：未読（自動返信失敗）
：既読（自動返信済み）　：既読（自動返信失敗）
：保護（自動返信済み）　：保護（自動返信失敗）
※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

送信／未送信メール
表示なし：未保護
：保護　：圏内自動送信設定中　：圏内自動送信失敗
：保護（圏内自動送信設定中）　：保護（圏内自動送信失敗）
：日時指定送信設定中　：保護（日時指定送信設定中）
：日時指定送信失敗　：保護（日時指定送信失敗）
：自動返信済み　：保護（自動返信済み）

③ **添付ファイルの種類／SMS／通知／メール連動型ｉアプリ／エリアメール**
：画像　：ｉモーション　：メロディ　：トルカ
：PDFデータ　：電話帳　：スケジュール
：Bookmark　：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数添付ファイルあり　：SMS　：送達通知、着信通知
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール　：ｉアプリToあり
：エリアメール　：メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール
：貼付データ不正
※ 送信／未送信メールの場合、②の位置にマークが表示されないときは③のマークが②の位置に表示されます。
※ 受信／送信メール一覧の場合、メール一覧表示設定の表示スタイルが「1行表示」のときは、日時の後ろに次のマークが表示されます。
：添付ファイルあり　：エリアメール
：メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール

④ **発信元／宛先**
電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
エリアメールの場合は、「エリアメール」と表示されます。

⑤ **受信／送信／保存日時**
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

⑥ **題名**
ｉモードメールによっては、表示されない場合があります。また、エリアメールとSMSの場合は本文の先頭が表示されます。

⑦ **本文**
タッチしたメールの本文が表示されます。

- 海外から送られてきたSMSは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に送受信、保存したｉモードメール、SMSは日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がデュアルモード時は、Bアドレス／Bナンバーのｉモードメール、SMSにはが表示されます。microSDカードの全件コピーやバックアップしたメール一覧にはが表示されます。

◆ メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面

送信メール詳細画面

① 宛先種別マーク

: 宛先（、はｉモードメールのみ）
ｉモードメールでは発信元からどの宛先種別で送られてきたのかを確認できます。

② 状態／通知マーク

受信メール

: 既読　: 既読（返信不可）　: 既読（返信済み）
: 既読（転送済み）　: 保護　: 保護（返信不可）
: 保護（返信済み）　: 保護（転送済み）
: 既読（自動返信済み）　: 既読（自動返信失敗）
: 保護（自動返信済み）　: 保護（自動返信失敗）
: 送達通知、着信通知
※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

送信メール

表示なし：未保護　: 保護　: 自動返信済み　: 保護（自動返信済み）

③ 添付ファイルの種類／SMS／エリアメール

: 画像　: ｉモーション　: メロディ　: トルカ
: PDFデータ　: 電話帳　: スケジュール
: Bookmark　: 本FOMA端末で表示できないファイル
: 複数添付ファイルあり　: SMS　: ｉアプリ（ｉアプリTo）
: エリアメール　: メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール
: 貼付データ不正
※ 添付ファイルの状態によって、本文の下に上記マークとともに次のマークが表示されます。
: 著作権あり（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
／: データ異常／データ超過　: 選択受信添付ファイル未取得
: 選択受信添付ファイル取得途中　: 選択受信添付ファイル取得不可

④ メール番号／件数

⑤ 送受信日時

⑥ 発信元／宛先／同報アドレスの宛先種別

: 発信元　: 発信元（返信不可）　: 宛先
: 宛先（返信不可）（ｉモードメールのみ）

⑦ 題名

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に送受信したｉモードメール、SMSは日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がデュアルモード時は、Bアドレス／Bナンバーのｉモードメール、SMSにはが表示されます。

デコメアニメ®を見る

受信／送信メール一覧からデコメアニメ®を選択すると、デコメアニメ®本文のFlash画像が再生されます。

- デコメアニメ®表示中は次の操作ができます。
  「リトライ」：最初から再生
  「停止」：停止
  「スキップ」：メール詳細画面に戻る／デコメアニメ®を表示する
- 効果音付きデコメアニメ®の場合は音量設定のメロディ音量で効果音が再生されます。

✔お知らせ

- 表示できない文字は「・」などに置き換わります。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- 受信メールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P132）より大きい場合やファイルによっては、ｉモードセンターで削除され、題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。
- メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。複数貼付されていると、貼付データは無効になり受信メール一覧画面や詳細画面にやが表示されます。
- ビデオデータが含まれたFlash画像が添付または本文中に貼付されたメールを表示しても、ビデオデータ部分は再生されません。
- 本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 受信したSMSの題名は「受信SMS」、発信元は電話番号または電話帳に登録されている名前が表示されます。なお、送信したSMSの題名には「送信SMS」と表示されます。
  発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
  「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
  「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
  「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

• ケータイデータお預かりサービスを利用して、メールを保存できます。→P118
• [カメラキー]を押すと画面幅を切り替えられます。

受信／送信／未送信メールの操作

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSを操作します。

◆ メールフォルダの管理

フォルダを作成／削除したり、設定を変更したりします。
• お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に、受信メールは最大40個、送信／未送信メールには、それぞれ最大20個作成できます。
• お買い上げ時に登録されているフォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。
• 次の場合はフォルダを削除できません。
- お買い上げ時に登録されているフォルダの場合
- フォルダ内に保護されているメールがある場合
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダで、そのフォルダに対応するｉアプリがある場合

1 [メール]▶[1]または[4]～[5]

2 目的の操作を行う

作成：「MENU」▶[1]
削除：フォルダをタッチ▶「MENU」▶[2]▶認証操作▶「はい」
フォルダ設定の変更：フォルダをタッチ▶「MENU」▶[3]
並び順の変更：フォルダをタッチ▶「MENU」▶[7]または[8]

3 各項目を設定▶「登録」

フォルダ名：全角8（半角16）文字以内で入力します。
シークレット属性：プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかを設定します。

◆ フォルダ内メール件数

受信／送信／未送信メールのフォルダごとに保存件数を確認します。

1 [メール]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダをタッチ▶「MENU」▶[5]

◆ メールアドレス表示

受信／送信／未送信メールの発信元や宛先のメールアドレスを表示します。

1 [メール]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択

2 目的の操作を行う

受信／送信メールのメールアドレスを表示：メールをタッチ▶「MENU」▶[7][3]
未送信メールのメールアドレスを表示：メールをタッチ▶「MENU」▶[5][3]

✔**お知らせ**
• 送受信メール詳細画面で確認する発信元または宛先を選択しても確認できます。なお、未送信メール詳細画面からは確認できません。
• デコメール®テンプレート詳細画面からの操作：「MENU」▶[4][2]

◆ メールの移動

保存されているメールを別のフォルダに移動します。

1 [メール]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択

2 メールをタッチ▶「MENU」▶[4][1]▶[1]～[3]

• 選択移動では選択操作▶「移動」が必要です。

3 「OK」▶移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ メールの検索

送受信したメールを検索します。

1 [メール]▶[1]または[5]

2 「MENU」▶[9]▶各項目を設定

• 初回起動時は、メール検索についての説明が表示されます。「閉じる」をタッチすると検索画面が表示されます。

題名／本文：全角35（半角70）文字以内で入力します。複数の単語で検索する場合は、単語と単語の間に空白を入力します。
• 題名／本文欄の下の項目を選択して、「全てを含む」または「いずれかを含む」を選択します。

差出人（受信メール）／宛先（送信メール）：メール送受信履歴、電話帳から選択します。

日付範囲：カレンダーから日付範囲を選択します。
- 「履歴」をタッチすると、検索履歴が表示されます（最大5件）。履歴を選択すると、履歴の条件が入力されて検索画面が表示されます。

3 「検索」

項目に該当するメールが一覧で表示されます。
- 検索中に「中断」：検索を中止
- 検索結果画面で「再検索」をタッチすると、再検索できます。
- 検索結果画面からは、通常のメール一覧と同様の操作ができます。

✔お知らせ
- 受信／送信メール一覧からの操作：「MENU」▶0
この場合は、フォルダ内のメールだけが検索されます。

◆ メールの表示種別

受信／送信メール一覧で指定した種別のメールだけを一時的に表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 未送信メール、ドコモUIMカードのSMSの表示種別は選択できません。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択▶「MENU」▶72▶1～4
- 送信メールの場合は「すべて表示」「保護のみ表示」のみ選択できます。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

◆ メールのソート

受信／送信メール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択

2 目的の操作を行う

受信メールのソート：「MENU」▶74
送信メールのソート：「MENU」▶5

3 1～4

✔お知らせ
- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスを電話帳に登録していても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- SMSやエリアメールが含まれていると、一覧画面ではメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

◆ 受信メールの既読／未読変更

受信メールの既読／未読を変更します。
- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

1 ✉1▶フォルダを選択▶メールをタッチ▶「MENU」▶5▶1～6
- 選択変更では選択操作▶「既読」／「未読」▶「はい」が、全件変更では「はい」が必要です。

◆ メールの保護

受信／送信／未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 未読メールは保護できません。
- エリアメールは選択保護／選択解除の操作はできません。

1 ✉▶1または4～5▶フォルダを選択

2 メールをタッチ▶「MENU」▶3▶1～6
- 選択保護／解除では選択操作▶「保護」／「保護解除」が必要です。
- 状態マークが次のいずれかに変わります。
受信メール：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
送信／未送信メール：

✔お知らせ
- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

◆ メールの削除

受信／送信／未送信メールから不要なメールを削除します。
- 保護されているメールは削除できません。

1 ✉ ▶ 1 または 4 ～ 5
- 受信メールを全件削除するときは、「MENU」▶ 4 6 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択します。
- 送信／未送信メールを全件削除するときは、「MENU」▶ 4 2 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択します。

2 フォルダを選択 ▶ メールをタッチ ▶「MENU」▶ 2

3 目的の操作を行う

受信メールの削除：1 ～ 7 ▶「はい」
送信／未送信メールの削除：1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたメールが削除されます。
- 選択削除では選択操作 ▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- 2in1利用時は、「1件削除」「選択削除」以外の削除操作を行うと、2in1のモードに関わらず、すべてのメールが削除されます。

◆ メール本文などのコピー

メール中の文字をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 ✉ ▶ 1 または 5 ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択 ▶「MENU」▶ 2

2 コピー方法を選択

本文コピー：1 ▶ 開始位置を選択 ▶ 終了位置を選択
題名コピー：2
選択項目コピー：3
貼り付け方法→P342

✔お知らせ
- デコメール®テンプレート詳細画面やドコモUIMカードのSMS詳細画面からの操作：「MENU」▶「コピー」または「移動／コピー」
- ドコモUIMカードのSMSの場合は、本文、宛先、発信元をコピーできます。
- デコメール®の場合は、装飾はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- デコメアニメ®の場合は、本文をコピーできません。
- Date To形式の本文は、いったんテキストメモに貼り付けるとスケジュール登録できます。

◆ メールからの電話発信

受信／送信／未送信メールの相手のメールアドレスと電話番号を電話帳に登録している場合は、電話発信できます。
- SMSやメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、登録なしで電話発信できます。

1 ✉ ▶ 1 または 4 ～ 5 ▶ フォルダを選択 ▶ メールをタッチ ▶「MENU」▶ 6
- 宛先が複数ある場合は、電話をかける相手のメールアドレスを選択します。
- 受信／送信メール詳細画面から操作する場合は発信元や宛先、電話番号をタッチ「MENU」▶ 8 をタッチします。

2 発信条件を設定 ▶「発信」

発信オプション→P56

◆ 電話番号、メールアドレス、URLの登録

メール中のカーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。URLはBookmarkにも登録できます。

1 ✉ ▶ 1 または 5 ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択

2 目的の操作を行う

電話番号を電話帳に登録：「▼」「▲」で電話番号を選択 ▶ 「MENU」 ▶ 4 ▶ 1 または 2 ▶ 1 または 2

電話帳登録→P72

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

URLを電話帳に登録：「▼」「▲」でURLを選び「MENU」 ▶ 4 ▶ 1 または 2

電話帳登録→P72

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

URLをBookmarkに登録：「▼」「▲」でURLを選び「MENU」 ▶ 4 3 ▶ タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内） ▶ 「登録」 ▶ 登録先フォルダを選択

- 同じURLが登録されていると上書きの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- メッセージR/F詳細画面からの操作：「MENU」 ▶ 3 ▶ 1 ～ 3
- ドコモUIMカードのSMS詳細画面からも同様に操作できます。
- microSDカードのメール詳細画面からの操作：「MENU」 ▶ 4
- デコメール®からは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

メール送受信履歴

送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。履歴を利用してメールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

◆ メール送受信履歴の表示

メール送受信履歴を表示します。

- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 同じ宛先にメールを送信した場合は、送信履歴には最新の1件のみが記録されます。
- 返信不可のｉモードメールやSMSの受信履歴は記録されません。

〈例〉メール送信履歴を表示する

1 MENU 4 8 1

- 表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。

  ：ｉモードメール送受信　：SMS送受信

  ：Bアドレス／Bナンバーの送受信（2in1がデュアルモード時）

  ：海外滞在時（GMT+09：00を除く）の送受信※

  ：フェムトセル在圏中のｉモードメール送受信

  ：フェムトセル在圏中のSMS送受信

  ※ 送受信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

メール受信履歴の表示：MENU 4 8 2

✔お知らせ

- 2in1利用時は、送信履歴と受信履歴それぞれAアドレス／Aナンバー最大30件、Bアドレス／Bナンバー最大30件まで記録されます。

❖ メール送受信履歴の操作

メール送受信履歴表示中に次の操作ができます。

iモードメールの作成：履歴をタッチ▶「✉作成」

- SMS履歴の場合は、相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しているとメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が、登録していないと電話番号を宛先にしたメール作成画面が表示されます。

SMSの作成：履歴をタッチ▶F3（1秒以上）

- iモードメール履歴の場合は、相手のメールアドレスと電話番号を電話帳に登録しているとSMSを作成できます。

電話帳に登録：履歴をタッチ▶「MENU」▶5または6▶1または2

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

音声電話をかける：「MENU」▶4▶発信条件を設定▶「発信」

発信オプション→P56

テレビ電話をかける：「テレビ電話」

- iモードメール履歴の場合は、相手のメールアドレスと電話番号を電話帳に登録していると電話をかけられます。

リダイヤル／着信履歴の表示：「リダイヤル」／「着信履歴」

iモードメールの受信／拒否設定：履歴をタッチ▶「MENU」▶3▶「はい」

詳細画面の表示を切り替え：詳細画面で「MENU」▶0▶1～3

- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、プロフィール情報にも反映されます。

◆ メール送受信履歴の削除

メール送受信履歴を削除します。

1 メール送受信履歴一覧で履歴をタッチ▶「MENU」▶7▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではタッチした履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

メール設定

メールに関連したさまざまな設定をします。

◆ メール振り分け設定

振り分け条件を設定し、受信または送信したメールを自動的にフォルダに振り分けます。

❖ メール自動振り分け設定

設定した条件に従って受信／送信メールを自動的に振り分けするかを設定します。

1 ✉92▶1▶各項目を設定▶「登録」

❖ メール振り分け条件設定

受信／送信メールの振り分け条件を設定します。

- 受信／送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型iアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール連動型iアプリの振り分け条件が優先されます。
- 送受信済みのメールは振り分けられません。

1 ✉92▶2または3

受信振り分け条件 1/1
01 電話帳登録なし
02 From docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.
03 連絡

登録済みの振り分け条件（優先順位順）

- マークの意味は次のとおりです。
  To：メールアドレス（送信振り分け設定）
  From：メールアドレス（受信振り分け設定）
  Sub：題名　No.：電話帳（メモリ番号）　：電話帳（グループ）
  ：電話帳登録なし　：条件なし
- 2in1がデュアルモード時は、次のマークが表示されます。
  A：Aアドレス　B：Bアドレス　AB：共通

2 「追加」▶振り分け条件を設定

メールアドレスの指定：1▶1～4

指定したメールアドレスのメールを振り分けます。@以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。

- 1～3では選択操作が、4ではメールアドレスを入力（半角50文字以内）▶「確定」が必要です。
- FOMA端末とドコモUIMカードの電話帳に同じメールアドレスを登録して指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 指定するメールアドレスがｉモード対応端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

題名の指定：2▶題名を入力（全角100（半角200）文字以内）▶「確定」

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます。

- SMSは題名では振り分けられません。

電話帳（メモリ番号）の指定：3▶メモリ番号を入力▶「検索」▶「選択」

指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

電話帳（グループ）の指定：4▶1または2▶グループを選択

指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

電話帳登録なしの指定：5

電話帳に登録していないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

条件なしの指定：6

条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

3 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、メールがｉアプリで利用されることを示す画面が表示されます。

4 優先順位を選択

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「[最後に追加する]」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「[最後に追加する]」は、「[最後に移動する]」と表示されます。
- 自動振り分け設定が「OFF」のときは、「ON」にするかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。
- 2in1利用時は、各モード共通の振り分け条件として受信／送信メールそれぞれ30件登録できます。デュアルモード時は共通の振り分け条件以外に、A／Bアドレスの振り分け条件を受信／送信メールそれぞれ30件登録できます。なお、2in1のモードに関わらず、登録した振り分け条件に該当するメールがすべて振り分けられます。
- 2in1利用時、エリアメールの題名は、モードごとに振り分けられません。

❖送受信メールからの振り分け条件設定

送受信メールから振り分け条件を設定します。

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択▶メールをタッチ▶「MENU」▶8 4▶1または2

2 登録内容を確認▶「確定」▶振り分け先フォルダを選択▶優先順位を選択

❖メール振り分け条件の確認・変更・削除

振り分け条件を確認・変更・削除します。

1 ✉ 9 2 ▶ 2 または 3

2 **目的の操作を行う**

条件の確認：**振り分け条件を選択**

条件の変更：

① **振り分け条件をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶振り分け条件を設定**

振り分け条件の設定の操作→P148「メール振り分け条件設定」操作2～4

② **「はい」**

優先順位の変更：**振り分け条件をタッチ▶「MENU」▶ 5 ▶移動する位置を選択**

- 一覧の最後に移動するときは、「[最後に移動する]」を選択します。

削除：**振り分け条件をタッチ▶「MENU」▶ 3 または 4 ▶「はい」**

- 1件削除ではタッチした条件が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

◆署名の設定

署名を登録して、iモードメールやSMSの本文に挿入することができます。

❖署名の自動挿入設定

新規、返信、転送メール作成時に署名を自動挿入するかを設定します。

1 ✉ 9 3 1 ▶ 1 または 2

❖署名の登録

iモードメールやSMSの本文に挿入する署名を登録します。

1 ✉ 9 3 2 ▶**「編集」▶署名を入力（全角5000（半角10000）文字以内）▶「登録」**

✔お知らせ

- 既にメール本文に装飾や文字などが入力されている場合や、受信メールを引用して返信、転送する場合は、署名に設定した背景色は反映されません。
- 署名もメール本文の文字数（バイト数）に含まれます。
- デコメアニメ®に署名は挿入できません。
- 次の場合は、SMSに署名を挿入できません。
  - 送信文字種が「英語」の場合
  - 装飾（デコレーション）した署名の場合
  - 署名を挿入すると本文の文字数が70文字を超える場合

◆ｉモード問い合わせの設定

iモード問い合わせの項目を設定します。

1 ✉ 9 0 ▶**問い合わせ項目を選択▶「登録」**

- いずれかを選択しないと登録できません。

◆メール選択受信設定

iモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するかを設定します。

- 海外設定のメール選択受信設定にも反映されます。
- エリアメール、SMS、メッセージR/Fは本設定に関わらず自動受信します。

1 ✉ 9 8 2 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると、メールを自動的に受信できないことを示す画面が表示されます。

◆ メールグループの登録

複数のメールアドレスをメールグループとして登録しておくと、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 ✉ 9 6

2 「追加」

メールの作成：メールグループをタッチ▶「✉作成」
メールグループ名の編集：メールグループをタッチ▶「MENU」▶ 2
メールグループのコピー：メールグループをタッチ▶「MENU」▶ 3
メールグループの削除：メールグループをタッチ▶「MENU」▶ 4 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたメールグループが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

メールグループ内の登録済みのメールアドレスを操作：メールグループを選択▶操作5に進む

3 メールグループ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶「登録」

- 続けて別のメールグループを登録する場合は、「追加」をタッチします。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択

5 「追加」▶各項目を設定

宛先種別：「TO」「CC」「BCC」を設定します。
アドレス：半角50文字以内で入力します。

- メール送受信履歴、電話帳から入力するときは「MENU」▶ 1 ～ 3 ▶宛先を選択します。

登録済みのメールアドレスを編集：メールアドレス（または名前）をタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶編集
登録済みのメールアドレスを1件削除：メールアドレス（または名前）をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶「はい」▶操作7に進む
登録済みのメールアドレスの詳細を表示：「MENU」▶ 3 ▶確認が終わったら「戻る」

6 「確定」

- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作5から繰り返します。

7 「登録」

◆ ブログ／SNS投稿先設定

ブログ／SNSの投稿先を登録します。登録した投稿先は、ｉモードメール作成画面で宛先に設定すると、ｉモードメールを利用して、簡単にブログ／SNSに投稿できます。

- 最大5件登録できます。
- ｉモードメール作成で宛先に投稿先を設定すると、「投稿先アドレス」が宛先に入力され、「投稿タイトル」が題名に入力されます。
- デコメアニメ®作成では、宛先に設定できません。

1 ✉ 9 7

2 目的の操作を行う

作成：「＊新しい投稿先」
編集：投稿先を選択
削除：投稿先をタッチ▶「削除」▶「はい」
参照：投稿先をタッチ▶「参照」

3 各項目を設定▶「登録」

投稿先名：全角16（半角32）文字以内で入力します。
投稿先アドレス：入力方法を選択して、半角英数字50文字以内で入力します。
投稿タイトル：全角100（半角200）文字以内で入力します。

◆ メール返信引用設定

受信メール／SMSの一覧や詳細画面で、「返信」をタッチして返信メールを作成するときに、受信メールを引用するかどうかと、引用する本文の先頭に付ける引用文字を設定します。

1 ✉ 9 4 1 ▶各項目を設定▶「登録」

引用：メール返信時に本文を引用するかを設定します。
引用文字：全角1（半角2）文字以内で入力します。

- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆ クイック返信の設定

ｉモードメールに返信する際にクイック返信を使用するかを設定します。

1 ✉ 9 4 2 ▶ 1 または 2

◆クイック返信の本文の登録

クイック返信で使用する本文を登録します。
- 最大5件登録できます。

1 ✉ 9 4 3

2 **本文を選択▶本文を入力（全角20（半角40）文字以内）▶「登録」▶「はい」**

本文の参照：本文をタッチ▶「参照」
本文の削除：本文をタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶「はい」
本文の全件リセット：「MENU」▶ 2 ▶認証操作▶「はい」
新たな本文の登録：「＊新しい返信本文」▶本文を入力▶「登録」

◆メール自動返信設定

運転中や就寝中などでｉモードメールや音声電話の応答ができないときに、ｉモードメールで自動的に返信します。
- あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておく必要があります。なお、自動返信契機設定が「メール受信時」または「メール受信／電話着信時」の場合は、メールアドレスのみの登録でも自動返信します。
- 自動返信したメールには「自動返信メールです」と題名が付きます。
- 音声電話着信時は、電話帳にメールアドレスが複数登録されている場合は、1件目のメールアドレスに自動返信されます。ｉモードメール受信時は、発信元のメールアドレスに自動返信されます。
- メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ中は自動返信されません。操作終了後に自動返信されます。
- 次の場合は、自動返信されません。
  - 自動返信する対象のｉモードメールを受信したときに、受信結果画面から新着ｉモードメールを表示した場合
  - 題名に「自動返信メールです」「Auto-reply message」が含まれたメールを受信した場合
  - 同じ発信元の受信メールに連続で3回自動返信した場合
- 国際ローミング中は自動返信ON／OFF設定が自動的に「OFF」に設定され、利用できません。帰国後に設定を変更してください。
- SMSには自動返信できません。
- 電波状況によっては、送信に失敗する場合があります。
- 送信開始待ちの日時指定送信メールと自動返信メールが合わせて30件あった場合は、31件以降のメールは送信失敗となります。

❖自動返信ON／OFF設定

音声電話着信やｉモードメールを受信した際、ｉモードメールで自動返信するかどうかと返信する本文を設定します。
- 「ON」にするには、あらかじめ自動返信先設定で自動返信先を登録しておく必要があります。

1 ✉ 9 5 1 ▶ 1 または 2
- 「OFF」にしたときは、以降の操作は不要です。

2 **返信本文を選択**

ディスプレイ下部に［AUTO］が表示されます。

❖自動返信契機設定

音声電話着信やｉモードメールを受信した際、ｉモードメールで自動返信するタイミングを設定します。

1 ✉ 9 5 2 ▶ 1 ～ 3

❖自動返信本文登録

音声電話着信やｉモードメールを受信した際、ｉモードメールで自動返信する本文（3件）の内容を編集します。

1 ✉ 9 5 3 **▶本文をタッチ▶「編集」▶本文を入力（全角100（半角200）文字以内）▶「登録」**

❖自動返信先設定

音声電話着信やｉモードメールを受信した際、ｉモードメールで自動返信する返信先を設定します。
- 最大20件登録できます。

1 ✉ 9 5 4
- マークの意味は次のとおりです。
  - ［アイコン］：FOMA端末電話帳の返信先　［アイコン］：ドコモUIMカード電話帳の返信先
  - ［アイコン］：FOMA端末電話帳グループの返信先
  - ［アイコン］：ドコモUIMカード電話帳グループの返信先
  - ［アイコン］：電話帳なし返信先※　［アイコン］：電話帳グループなし返信先※
  - ［アイコン］：すべての電話帳の返信先

※ ドコモUIMカード未挿入の場合に表示されます。

2「追加」

自動返信先の変更：返信先を選択
自動返信先の削除：返信先をタッチ▶「MENU」▶ 3 または 4 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチした自動返信先が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

3 目的の操作を行う

電話帳を指定： 1 ▶電話帳検索▶電話帳を選択
電話帳グループを指定： 2 ▶ 1 または 2 ▶グループを選択
すべての電話帳を指定： 3

❖返信対象の電話着信やｉモードメール受信があると

ｉモードメールが自動送信されます。送信中はが点滅します。送信が正常に終了した返信メールは送信メールのフォルダに保存され、が消えます。
- 自動返信送信を中断したときや失敗したときは、ｉモードメール受信の場合は、受信メール一覧にまたはが表示されます。音声電話着信の場合は、着信履歴一覧にが表示されます。

◆ メール一覧の表示形式の設定

受信／送信メール一覧の表示形式を設定します。

1 ✉ 9 8 5 ▶各項目を設定▶「登録」

表示スタイル：表示するスタイルを設定します。
本文お試し表示：メール一覧の下に本文を表示させるかを設定します。
自動既読設定：受信メール一覧の本文お試し表示で、本文がすべて表示されたときに、既読にするかを設定します。

✔お知らせ
- 未送信メール一覧、ドコモUIMカードのSMS一覧の表示形式は、本設定に関わらず2行表示で、本文お試し表示は表示されません。
- メール検索結果画面の表示形式は、本設定に関わらず本文お試し表示は表示されません。
- 自動既読設定を「ON」に設定して、表示種別で「未読のみ表示」を選択して、受信メール一覧を表示した場合は、受信メール一覧の下にメール本文がすべて表示されても既読になりません。

◆ メール受信添付ファイル設定

ｉモードメールを受信した際、添付されたファイルを同時に受信するかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定しておきます。
- 自動受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P140
- 本文中に貼付された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

1 ✉ 9 8 3 ▶受信するファイルの項目を選択▶「登録」

- 「ツールデータ」とは、電話帳、Bookmark、スケジュールです。
- 「その他」とは、本FOMA端末で対応していないファイルです。

◆ 添付ファイル自動再生設定

ｉモードメールやメッセージR/Fを表示した際、添付または本文中に貼付されたメロディやFlash画像の効果音を自動的に再生するかを設定します。

1 ✉ 9 8 4 ▶ 1 または 2

✔お知らせ
- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信／送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、音量設定のメロディ音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番に再生されます。停止するときは「選択」をタッチします。
- 「自動再生する」に設定した場合、効果音がついたデコメアニメ®を表示すると、音量設定のメロディ音量で再生されます。停止するときは「停止」をタッチします。そのメールにメロディが添付されていた場合は、メロディのみ再生されます。効果音付きのデコメアニメ®作成時のプレビュー画面や送受信したデコメアニメ®のリトライ画面、デコメアニメ®テンプレート詳細画面を表示すると、本設定に関わらず効果音が再生されます。
- メッセージR/Fが自動表示されたときは、本設定に関わらずメロディは自動再生されません。

◆ メール文字サイズの変更

メールを表示するときの文字サイズを5種類から変更します。
- デコメ絵文字®（絵文字D）の文字サイズは変更されません。

1 ✉ ▶ 1 または 5 ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択 ▶「MENU」▶ 3 1 ▶ 文字サイズを選択

✔お知らせ
- デコメール®テンプレート詳細画面やドコモUIMカードのSMS詳細画面からの操作：「MENU」▶「表示」▶「文字サイズ」
- microSDカードの受信／送信／未送信メールの詳細画面からの操作：「MENU」▶ 3
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。
- 本設定は文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。
- メール作成時や編集時の文字サイズは文字サイズ設定で変更できます。→P98

◆ 受信・自動送信表示設定

ｉモードメールやSMSなどの受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中の画面を、FOMA端末の操作中に優先して表示させるかを設定します。

1 ✉ 9 8 1 ▶ 1 または 2

操作優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示しません。
通知優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示します。

✔お知らせ
- 「操作優先」に設定しても、メニュー表示中は「通知優先」で動作します。
- 「操作優先」に設定しても、画面オフ状態や誤操作防止ロック中は「通知優先」で動作します。ただし、ミュージックプレーヤー再生中、Music&Videoチャネル再生中は「操作優先」で動作し、画面オフの状態のままとなります。
- 「通知優先」に設定しても、音声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中、エリアメール受信中などでは、「操作優先」で動作します。

◆ 受信／拒否設定（迷惑メール対策）

簡単な操作で、送受信メールから受信／拒否したい相手のドメインやアドレスをｉモードセンターに登録したり、法令に違反して送信された広告宣伝を目的とした迷惑メールや迷惑SMSをドコモに転送したりすることができます。
※ ドコモでは法令に違反した迷惑メール／SMSの送信者への措置などの対策を講じるため、お客様からの情報提供をお願いしております。
- 迷惑メール対策の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
  ｉモードセンターに接続後は、画面の指示に従って操作してください。

〈例〉送受信メール一覧から設定する

1 ✉ ▶ 1 または 5 ▶ フォルダを選択

2 ｉモードメールをタッチ ▶「MENU」▶ 8 5 ▶「はい」▶「OK」

ｉモードセンターに接続され、指定したメールアドレスの受信／拒否設定の画面が表示されます。
- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

✔お知らせ
- ｉMenuの「お客様サポート」内の「メール設定」に接続し、「受信／拒否設定」などの設定状況を確認する：✉ 9 8 7 ▶「はい」
- 迷惑メール／SMSの情報をドコモに転送いただく際、お客様による受信時には削除されている対象迷惑メール／SMSの送信経路情報などを、システムまたはFOMA端末の機能により自動的に付加させていただいたうえで情報提供いただく場合があります。

◆ 編集時自動保存設定

ｉモードメールやSMSの作成時に保存操作をせずに［終話キー］を押して編集を終了した場合に、自動的に未送信メールのフォルダに保存するかを設定できます。

1 ✉ 9 9 ▶ 1 または 2

✔お知らせ
- デコメアニメ®作成時は、本設定に関わらず自動保存されません。
- 「ON」の場合でも、保存領域の空きが足りないときは保存されません。また、10000バイトを超える場合は一部保存されないことがあります。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fは自動的に受信します。

1 メッセージR/Fを受信

とR(青)またはF(緑)が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。
メッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したメッセージRは「メッセージR」フォルダ、メッセージFは「メッセージF」フォルダに保存されます。

- 「中断」: 受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① **マーク**
R(青):未読のメッセージRあり　F(緑):未読のメッセージFあり

② **受信結果テロップ**

③ **受信したメッセージR/Fの件数**

- 受信結果画面が表示されてから未読メッセージR/Fの内容が表示され約15秒間何も操作しないと、受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき

受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、iモード問い合わせを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- メッセージR/Fを受信すると、iモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはiモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないときや圏外のとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない未読以外の古いメッセージR/Fから順に削除されます。
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR(赤)やF(赤)が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示、不要メッセージR/Fの削除、保護解除などを行う必要があります。
- iモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはやが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、iモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。

◆ 新着メッセージR/Fの表示

受信したメッセージR/Fをすぐに表示します。

1 受信結果画面で 2 または 3

- 1 をタッチするとiモードメールが表示されます。

2 メッセージR/Fを選択

メロディが添付されている場合の再生について→P152
メッセージR/Fの見かた→P155

◆ メッセージ自動表示設定

自動受信したメッセージR/Fの内容を自動的に（約15秒間）表示するかを設定します。

- 自動表示するように設定すると、次のタイミングで自動表示されます。
  - 待受画面表示中、メニュー表示中：受信結果画面から受信前に戻るとき
  - 音声電話中（マルチアクセス／マルチタスク利用時を除く）：通話終了後

1 ✉ 9 8 6 ▶ 1～5

✔**お知らせ**

- 自動表示中にタッチ操作／キー操作をしなかった場合は、未読の状態で保存されます。

メッセージR/Fの操作

メッセージR/Fの表示・削除・保護などの操作をします。

1 ✉ 1 ▶「メッセージR」または「メッセージF」

2 **目的の操作を行う**

表示：メッセージR/Fを選択

削除：メッセージR/Fをタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶ 1～4 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたメッセージR/Fが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

保護／保護解除：メッセージR/Fをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1～5

- 選択保護／解除では選択操作▶「保護」／「保護解除」が必要です。
- 保護／解除されたメッセージR/Fの状態マークがまたはに変わります。

表示種別：「MENU」▶ 3 ▶ 1～4

- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

ソート：「MENU」▶ 4 ▶ 1～3

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。

文字サイズの変更：メッセージR/Fを選択▶「MENU」▶ 6 ▶ 1～5

◆ メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージR一覧画面　　メッセージR詳細画面

① ページ番号／総ページ数（一覧画面）、メッセージR/F番号（詳細画面）

② 状態マーク

一覧画面

：未読　：既読　：保護

詳細画面

：既読　：保護

③ 添付ファイルの種類

一覧画面

：画像　：メロディ　：トルカ　：複数添付ファイルあり

詳細画面

：画像　：メロディ　：トルカ　：複数添付ファイルあり

④ 受信日時

- 一覧画面の場合は、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

⑤ タイトル

⑥ 添付ファイルの種類（詳細）

：画像　：画像（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
：画像（データ異常）　：メロディ
：メロディ（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
：メロディ（データ異常）　：トルカ　：トルカ（データ異常）

⑦ スクロールバー

- すべての行が表示されないメッセージR/Fの詳細画面を表示するとスクロールバーが一時的に表示されます。メッセージR/F詳細画面で「MENU」▶ 7 をタッチすると、表示／非表示の切り替えができます。

◆ 添付ファイルの表示・保存

メッセージR/Fの添付されているファイルを表示・保存します。

1 **メッセージR/F一覧を表示**

マークの意味→P155「メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた」

2 **ファイルが添付されているメッセージR/Fを選択**

3 **目的の操作を行う**

表示・再生：ファイル名を選択
- 添付された画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。
- 1Kバイトを超えるトルカは表示できません。

本文中の画像を保存：「MENU」▶ 4 ▶ 1 または 2 ▶ 画像を選択 ▶「保存」▶ 保存先を選択

画像の保存→P174

画像の保存：ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ 5 2 ▶「保存」▶ 保存先を選択

画像の保存→P174

メロディの保存：ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ 5 2 ▶「保存」▶ 保存先を選択

メロディの保存→P174

トルカの保存：ファイル名をタッチ ▶「MENU」▶ 5 2 ▶ 1 または 2
- トルカによっては一方しか選択できない場合があります。

タイトルの表示：ファイルをタッチ ▶「MENU」▶ 5 3
- 画像の場合は操作できません。

✔お知らせ
- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- 次のような場合は、受信できません。
  - 電源が入っていない場合や圏外の場合
  - 音声電話中やテレビ電話中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - 赤外線通信／iC通信／microSDカード使用中などのデータ転送モード中
  - 国際ローミング中
  - ソフトウェア更新中
- 次のような場合は、受信できないことがあります。
  - ｉモード通信中
  - パソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中
  - パターンデータ更新中
- ストリーミングタイプのｉモーション再生中は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールは自動的に受信します。

◆ 緊急地震速報のエリアメールを受信したとき

が点灯し、ランプが赤色で点滅し、専用のブザー警報音が鳴り、バイブレータが振動し、内容表示画面が表示されます。
- 内容表示画面は「閉じる」をタッチするか、CLR、 のいずれかを押すと消去されます。
- ブザー警報音の音量はメール・メッセージ着信音量の「Level 6」です。変更はできません。
- バイブレータの動作パターンは、「メロディ連動」で振動します。
- お買い上げ時は、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中でも、鳴動します。なお、各モードに従い、鳴動しないように設定できます。→P157

◆ 緊急地震速報以外のエリアメールを受信したとき

（アイコン）が点灯し、ランプが赤色で点滅し、専用のエリアメール着信音が鳴り、受信完了画面または内容表示画面が表示されます。

- エリアメール受信時に受信完了画面または内容表示画面のどちらが表示されるかは配信元の設定によります。
- 内容表示画面は「閉じる」をタッチするか、CLR、（終話キー）のいずれかを押すと、受信完了画面は任意のキーを押すか画面をタッチまたは約15秒間何も操作しないと消去されます。
- エリアメール着信音の音量は音量設定のメール・メッセージ着信音量に従い、鳴動時間は着信音設定のメール・メッセージ着信音のメール着信音の鳴動時間に従い、バイブレータはバイブレータ設定のメール・メッセージ着信時のメール着信時の設定に従います。なお、バイブレータの動作パターンは、「メロディ連動」で振動します。
- お買い上げ時は、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中でも、鳴動します。なお、各モードに従い、鳴動しないように設定できます。→P157

✔お知らせ

- 受信したエリアメールは受信メールのフォルダに保存されます。
  受信メール全体の空き容量に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超過すると保護以外の古いエリアメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールに関連したさまざまな設定をします。

◆ エリアメールの受信設定

緊急速報「エリアメール」を受信するかを設定します。

1 **✉ 7 2 1 ▶「ご注意」を確認▶利用するかどうかの欄を選択▶ 1 または 2 ▶「登録」**

◆ エリアメールのブザー鳴動時間

緊急情報を受信したときに鳴る専用のブザー警報音の鳴動時間を設定します。

1 **✉ 7 2 2 ▶時間を入力（1～30秒）▶「登録」**

◆ エリアメールのマナー／公共モード時設定

マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中にエリアメールを受信したときの鳴動方法を設定します。

1 **✉ 7 2 3 ▶ 1 または 2**

◆ エリアメールの着信音確認

専用のブザー警報音、エリアメール着信音を確認します。

1 **✉ 7 2 4 ▶ 1 または 2**

◆ エリアメールの受信登録

緊急情報以外に受信するエリアメールを登録します。

- 最大20件登録できます。
- 緊急情報（緊急地震速報、災害・避難情報）のみを受信する場合は、受信登録の必要はありません。

1 **✉ 7 2 5 1**

2 **目的の操作を行う**

登録：**「追加」▶認証操作▶各項目を設定▶「確定」**

- エリアメール名は任意の名称を全角15（半角30）文字以内で入力します。
- Message IDはサービス提供者から付与される4桁のIDを入力します。

編集：**エリアメール名を選択▶認証操作▶各項目を設定▶「確定」**

削除：**エリアメール名をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶認証操作**

- お買い上げ時に登録されている「緊急地震速報」「災害・避難情報」は、編集や削除はできません。

SMS作成・送信

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 受信／送信／未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P141

1 [✉] [7] [1] [1] ▶宛先欄を選択

2 [1]～[4] ▶宛先を入力

メール送受信履歴からの入力：[1]または[2] ▶履歴を選択
電話帳からの入力：[3] ▶電話帳検索▶電話帳を選択
直接入力：[4] ▶宛先を入力（半角数字20文字以内）

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

3 本文欄を選択▶本文を入力

- SMS設定で設定した送信文字種により入力できる文字数が異なります。

署名の挿入：本文欄を選択▶「MENU」▶[4] [6]
参照メールの表示：本文欄を選択▶「MENU」▶[7] [1] ▶参照元を選択▶フォルダを選択▶参照するメールをタッチ▶「参照表示」▶「OK」

- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。
- 表示中の参照メールは次の操作ができます。
  - 上下にスライド：上下スクロール
  - 左右にスライド：前後のメール切り替え
  - 「MENU」▶[7] [4]：参照メールの変更
  - 「MENU」▶[7] [1]：参照メールの解除
- 参照メールに添付されたファイルは表示・再生されません。また、Flash画像の効果音や本文中に貼付されたメロディも再生されません。
- フォルダ一覧、メール一覧で「受信メール」／「送信メール」をタッチするたびに受信／送信メールの表示が切り替わります。

4 「送信」

保存：「MENU」▶[2]

- 「未送信BOX」フォルダに保存され、待受ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます。ただし、既に待受ショートカットに貼り付けているメールを再編集して保存した場合は、確認画面は表示されません。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了したSMSは、送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから順に削除されます。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 本文入力中の改行は、相手の端末によっては空白に置き換わります。
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと💔は♥に、☎以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（ ` ）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 送信に失敗したSMSは「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことをお知らせする送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知設定が「通知しない」の場合でも、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1利用時は、BナンバーではSMSは送信できません。
- SMS作成中に[終話]を押して編集を終了した場合に、自動保存されるように設定できます。→P153
- [カメラ]を押すと画面幅を切り替えられます。

❖送信／未送信SMSの編集

送信したSMSや未送信のSMSを編集して送信します。→P134

SMS受信

SMSは自動的に受信します。

1 **SMSを受信**

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したSMSは受信メールのフォルダに保存されます。

- SMS受信中に［電源］：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① **マーク**
　: 未読SMSあり　: 未読ｉモードメールとSMSあり
② **受信結果テロップ**
③ **受信したSMSの件数**

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

新着SMSの表示：受信結果画面で［1］▶SMSを選択

- 同時に複数のSMSを受信したときやメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられたときは、フォルダ一覧が表示されます。
- 受信したSMSに返信したり、転送したりできます。→P137

受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問い合わせを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから順に削除されます。
- ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中はSMSを自動受信しません。SMS問い合わせを行ってください。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のときに、電話番号やURLが記載されているSMSを受信し、表示しようとすると、注意を示す画面が表示されます。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはやが表示されます。受信する場合は、未読メールの内容表示、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。

SMS問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。

- 受信するまでに時間がかかる場合や電波状態によってはSMS問い合わせができない場合があります。

1

SMS設定

SMSを送信するときの文字の種類や送達通知の要求などを設定します。

> SMS Center、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。

1 ✉ 7 1 4 ▶各項目を設定▶「登録」

送信文字種：送信するメッセージの文字種を選択します。「日本語」に設定すると、70文字以内で入力できます。「英語」に設定すると、半角英数字160文字以内で入力できます（｀。「」、・゛゜を除く）。
送達通知：送信するSMSの送達通知の配信を要求するかを設定します。
有効期間：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。
- 「0日」を設定すると一定時間再送が行われた後、SMSセンターから削除されます。

SMS Center：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
アドレス：SMS Centerを「その他」にしたときは、半角20文字以内でメールアドレスを入力します。
Type of Number：「International」「Unknown」から選択します。
- SMS Center欄で「その他」を選択し、かつアドレス欄に番号を設定した場合は、Type of Numberを「Unknown」に設定する必要があります。

✔お知らせ
- SMS作成画面からの操作：「MENU」▶ 3
  この場合、送達通知、有効期間のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMS Center、アドレス、Type of Numberの設定は、ドコモUIMカードに保存されます。

ドコモUIMカードのSMS管理

ドコモUIMカードにSMSを移動／コピーしたり、ドコモUIMカードのSMSを表示・削除・FOMA端末へ移動したりします。

◆ SMSをドコモUIMカードへ移動／コピー

送受信したSMSをFOMA端末からドコモUIMカードに移動／コピーします。
- 未送信SMSは、ドコモUIMカードに保存できません。
- 送信SMSを移動またはコピーする場合は、対応する送達通知があると同時に移動またはコピーされます。
- 保護したSMSをドコモUIMカードに移動／コピーすると、移動／コピー先で保護は解除されます。

1 ✉ ▶ 1 または 5 ▶フォルダを選択

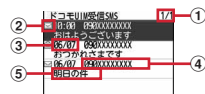
2 SMSをタッチ▶「MENU」▶ 4 ▶ 2 または 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- 選択移動／コピーでは選択操作▶「移動」／「コピー」が必要です。

◆ ドコモUIMカードのSMSの操作

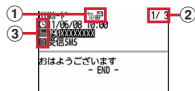
ドコモUIMカードのSMSを表示・削除・FOMA端末へ移動などの操作をします。

1 ✉ 7 1

2 目的の操作を行う

ドコモUIMカード受信SMSの表示：2
ドコモUIMカード送信SMSの表示：3

① ページ番号／総ページ数
② 状態マーク
✉: 未読（返信可） ✉: 未読（返信不可） ✉: 既読（返信可）
✉: 既読（返信不可） ✉: 送達通知、着信通知
✉: SMS違反

③ **送受信日時**
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
送信SMSの場合は、送達通知のある送信SMSを除き、送信日時のデータが消去されます。
④ **発信元／宛先**
電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
⑤ **本文の先頭**
- 一覧の既読、未読のマークは、ドコモUIMカードのSMSを表示したかを示します。移動またはコピー前の既読、未読の状態も引き継がれます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- データ異常のSMSにはやが表示されます。が表示されたSMSは、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になり、発信元や本文の先頭は表示されません。が表示されたSMSは、詳細表示が不可能なSMSです。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信日時の後ろにが表示される場合があります。

3 表示するSMSを選択

① **マーク**
: 受信（返信可）　: 受信（返信不可）　: 送信
: 送達通知、着信通知　: ドコモUIMカードのSMS
② **メール番号／件数**
③ **マーク**
: 日時　: 宛先　: 発信元　: 発信元（返信不可）
: 題名「受信SMS」「送信SMS」
- 送信SMSをドコモUIMカードに移動またはコピーした場合、ドコモUIMカードの送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、送信日時が表示されます。
- データ異常のSMSにはの代わりにが表示され、以外は表示されません。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信日時の後ろにが表示される場合があります。

ドコモUIMカードのSMSをFOMA端末に移動／コピー：
① **SMSをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 ～ 4**
- 選択移動／コピーでは選択操作▶「移動」／「コピー」が必要です。

② **「OK」▶移動／コピー先のフォルダを選択▶「はい」**
- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メールのフォルダに移動またはコピーされます。

ドコモUIMカードのSMSを削除：SMSをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 4 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたSMSが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除と送達通知の全件削除では認証操作が必要です。
- 送信SMSを削除した場合、対応するドコモUIMカードの送達通知も同時に削除されます。

✔お知らせ
- ドコモUIMカードのSMSからも、返信や転送、再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。
- ドコモUIMカードのSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信SMSは、FOMA端末の送信メールのフォルダに保存されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動またはコピーできません。保護されていないｉモードメールやSMSがあっても上書きされません。受信／送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

ｉモード／フルブラウザ

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからｉモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

ｉMenuの表示

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。ｉモード中はディスプレイ上部にｉが点滅します。

1 ｉ▶「OK」

- 「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

- 通信開始中に[電源]：接続を中止
- ページ読み込み中に[CLR]または「中断」：ページの読み込みを中止
- 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応するキーを押して選択できる場合があります。

2 表示する項目を選択

以降同様にして目的のページを表示します。

- 選択した項目によっては新しいタブでページが表示されます。→P167

3 サイトを見終わったら[電源]▶「はい」

✔お知らせ

- ｉモード設定の共通設定にあるｉモードボタン設定を「ｉモードメニュー表示」にすると[i][1]で接続できます。→P178
- サイトから、お客様の携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号を要求されたときは、送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、製造番号が送信されます。送信される製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかを判定したりするために使われます。
  送信する製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報を要求されたときは、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

◆ｉモードパスワード変更

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などを行うときはｉモードパスワードが必要です。

- ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁の数字に変更してください。
- ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップの窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 ｉMenuを表示▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」▶現在のパスワードの入力欄を選択▶現在のｉモードパスワードを入力

2 新パスワードの入力欄を選択▶新しいｉモードパスワードを入力

3 新パスワード確認の入力欄を選択▶操作2で入力したｉモードパスワードを入力▶「決定」

◆マイメニュー登録

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると次回から簡単に接続できます。

- ｉモードのサイトを最大45件登録できます。ただし、登録できないサイトもあります。
- 登録にはｉモードパスワードが必要です。→P165
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

1 サイトを表示▶「マイメニュー登録」▶ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「登録する」

- ご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されています。

マイメニューからのサイト表示：[i]▶「マイページ」▶「マイメニュー／マイボックス」▶サイトを選択

◆SSL／TLSページへの接続

ｉモード／フルブラウザでは、SSL／TLSに対応したサイトやホームページを表示できます。

- SSL／TLSとは、認証／暗号技術を使用して安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。
- 日付・時刻が設定されていない場合、SSL／TLSページによっては接続できないことがあります。
- SSL／TLS通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P179

1 対応するサイトやホームページを選択▶SSL／TLS通信の開始を示すメッセージが表示

- SSL／TLSページ表示中はディスプレイ上部に[SSL]が表示されます。
- SSL／TLSページ表示中に「MENU」▶[8][1][1]をタッチすると、証明書を表示できます。
- SSL／TLSページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。

◆ FirstPass対応ページへの接続

ｉモード／フルブラウザでは、FirstPassに対応したサイトやホームページを表示できます。

1 対応するサイトやホームページを表示▶送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。
- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL／TLS通信は切断されます。

✔お知らせ
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、ドコモUIMカードに保存する必要があります。
- SSL／TLSページに接続したときに、証明書の選択画面が表示される場合があります。そのときは、送信する証明書を選択します。
- FirstPass対応ページに接続した際のパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象となります。

ホームページの表示

インターネットに接続して、パソコン向けに作成されたホームページをフルブラウザで表示します。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の大きい通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 MENU 2 ✂

- 通信開始中に[終話]：接続を中止
- ページ読み込み中に[CLR]または「中断」：ページの読み込みを中止
- フルブラウザ利用設定が「利用しない」の場合、フルブラウザを利用するかの確認画面が表示されます。→P176

2 ホームページを見終わったら[終話]▶「はい」

✔お知らせ
- フルブラウザでの1ページあたりの読み込み容量は最大3Mバイトです。
- プラグインには対応していません。
- ホームページによっては表示に時間がかかる場合や、正常に表示されない場合があります。

ブラウザの切り替え

サイトやホームページ表示中にブラウザ種別を切り替えます。
- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスをご契約されることをおすすめします。
- ブラウザを切り替えるとサイトやホームページによっては正常に表示できない場合があります。

1 サイトやホームページを表示

2 目的の操作を行う

ｉモードからフルブラウザに切り替え：「MENU」▶ 5 2
フルブラウザからｉモードに切り替え：「MENU」▶ 7 2
- フルブラウザ接続の確認画面が表示された場合、「はい（以後非表示）」を選択すると確認画面は表示されなくなります。→P176

ブラウザ画面の見かたと操作

◆ ブラウザ画面の見かた

ブラウザ画面（縦画面）

① 状態表示／タイトルまたはURL
　：取得中
　：データ取得済の未読タブ
② ポインター→P168

✔お知らせ

- 画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
　：画像の取得中や、画像表示設定が「表示しない」のとき
　：画像を取得できなかったとき
　：画像のURLの誤りなどで表示できないとき

◆ ブラウザ画面の操作

サイトやホームページ表示中に次の操作ができます。

スクロール：上下左右にスライド

- ｉモードの場合、左右にスライドすると表示履歴が表示されます。

カーソル／ポインターの移動（ｉモードの場合）：▲、▼、◀、▶

ページの移動：「戻る」／「進む」

表示履歴の表示：「画面」▶5

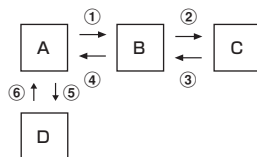
- 履歴のページ移動：左右にスライド
- 履歴のタブの切り替え：上下にスライド→P168

タブを閉じる／ブラウザの終了：CLR▶「はい」

リンク先や項目の選択：次の操作ができます。

- リンク先：タッチすると反転表示します。リンク先のページに進みます。
- 文字入力欄：文字を入力します。
- ラジオボタン：選択肢の中から1つ選択します。◉が選択された状態です。
- チェックボックス：選択肢の中から複数選択します。☑が選択された状態です。
- プルダウンメニュー：表示されるメニューから項目を選択します。
- ボタン：割り当てられた機能が実行されます。

✔お知らせ

- オートローテーション設定が「ON」の場合、FOMA端末を傾けて画面をスクロールできます。→P38
- フルブラウザ画面表示中にキーを押すと、割り当てられた機能が使用できます。各キーに割り当てられた機能は、ｉモード設定のフルブラウザ設定にあるショートカットで確認できます。→P176
- コンテンツによってはポインター表示中に▲、▼、◀、▶のいずれかを1秒以上押すと、PagePilot画面が表示されます。→P178
- コンテンツによってはポインターで操作できない場合があります。その場合は、ｉモード設定のｉモードブラウザ設定にあるポインター表示設定を「表示しない」にして操作してください。→P176
- ページ移動は表示履歴を利用しています。表示履歴は「キャッシュ」という端末内の場所に一時的に最大50件記録されます。記録された履歴を利用することで通信を行わずにページ間を移動できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- FirstPassセンター接続中（→P180）はページ移動を利用できません。
- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。

- 入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。選択した項目や入力した内容は、Bookmarkや画面メモなどには保存されません。
- ｉモード／フルブラウザを終了すると表示履歴はすべて消去されます。

❖ブラウザ画面の便利な操作

サイトやホームページ表示中に次の便利な操作ができます。

ｉMenu※1／フルブラウザホーム※2に接続：「MENU」▶4

情報の再読み込み：「MENU」▶6※1／5※2

URL表示：「MENU」▶7※1／6※2▶3

- 「コピー」をタッチするとURLをコピーできます。

表示中のホームページをホームに登録※2：「MENU」▶64▶「はい」

ガイド表示領域の表示／非表示：「MENU」▶88

表示モードの切り替え※2：「MENU」▶89▶1または2

URLをｉモードメールで送信：「MENU」▶9▶1または2

- URLがメール本文に貼り付けられます。

ページ移動、ズーム※2、ドラッグ、テキスト範囲選択／貼付など：「画面」▶2▶1～9※1／1～0※2

文字サイズの変更：「画面」▶3▶文字サイズを選択

表示履歴／タブ一覧の表示：「画面」▶5

PagePilot画面（ページ全体）の表示：「画面」▶6

縦／横画面の切り替え：「画面」▶ 7 ▶ 1 ～ 3
画面幅の切り替え※1（縦画面のみ）：[カメラ]
電話帳登録：電話番号やメールアドレスをタッチ▶「画面」▶ 8 ▶ 1 または 2
- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

ショートカット一覧の表示※2：「画面」▶ 0
※1　i モードの場合
※2　フルブラウザの場合

❖タブ操作

最大5つのタブにサイト／ホームページを表示できます。

1 サイトまたはホームページを表示

2 目的の操作を行う

Bookmarkなどを新しいタブで開く：「画面」▶ 1 1 ▶項目を選択
タブを閉じる：「画面」▶ 1 2 ▶タブを選択▶「はい」
- 「裏のタブを全て閉じる」を選択すると、閲覧中のタブ以外のタブは全て閉じます。

タブの切り替え：「画面」▶ 1 3 ▶タブを選択
- 複数のタブを表示中に閲覧中のタブのブラウザ種別を切り替えると他のタブは表示されなくなります。

❖ポインターの表示／非表示

サイトやホームページ表示中にポインターの表示／非表示を切り替えます。

1 サイトやホームページを表示

2 目的の操作を行う

ポインター表示／非表示の切り替え：「MENU」▶ 8 5 ▶ 1 または 2
- ポインター表示中は操作によって次のように表示されます。
  [矢印]：ポインター表示中　[指]：リンク選択
  [I]：テキスト範囲選択　[手]／[手]：ドラッグ開始待ち／ドラッグ中
- フレームを含むホームページの場合、移動範囲が限定されることがあります。

ドラッグモードへの切り替え：ポインター表示中に[決定]（1秒以上）▶[決定]
- [▲]、[▼]、[◀]、[▶]で操作します。解除するには[CLR]を押します。

❖フレーム対応ページの拡大表示

フレームを含むホームページに接続したとき、個別のフレームを拡大表示して操作できます。

1 フレームサムネイル画面で[▲]、[▼]、[◀]、[▶]▶フレームを選択

ディスプレイ上部に[虫眼鏡]が表示されます。
- フレーム拡大表示中は[CLR]でフレームサムネイル画面に戻ります。

❖サイト内の文字列コピー／貼り付け

選択した範囲の文字を一時的にコピーしたり、クイック検索で検索したりします。
- 文字を選択できないサイトやホームページもあります。
- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 サイトやホームページを表示▶「画面」▶ 2 ▶ 7 ※1または 8 ※2▶開始位置を選択▶終了位置を選択▶「コピー」

- クイック検索→P308
- GPS対応 i アプリ起動→P263

文字列を貼り付け：サイトやホームページを表示▶文字を貼り付ける位置をタッチ▶「画面」▶ 2 ▶ 9 ※1または 0 ※2
※1　i モードの場合
※2　フルブラウザの場合

❖サイト内の文字列検索

表示中のサイトやホームページ内の文字列を検索します。
- ホームページによってはページ内検索ができない場合があります。

1 サイトやホームページを表示▶「画面」▶ 4 ▶検索文字列の入力欄に文字を入力（全角25（半角50）文字以内）▶「検索」

- 大文字と小文字を区別する場合は大文字と小文字を区別欄を選択し、 1 をタッチします。
- 前後候補への移動は「前の候補」／「次の候補」をタッチします。検索を終了するには[CLR]を押します。

❖文字コード変換

サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

1 **サイトやホームページを表示▶「MENU」▶ 8 7**

- 操作するたびに、SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。
- サイトやホームページを表示した時点ではSJISに設定されています。

◆Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。

- Flash®Video（FLV）とは、Adobe Flash Playerで再生できる映像です。次の2種類が再生可能です。

種　類	説　明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを配信サーバーからダウンロードしながら再生するタイプ
埋め込み型再生	Flash画像の中に要素の1つとしてビデオデータを埋め込むタイプ

- サイトやホームページによっては再生できないことがあります。
- プログレッシブ型のFlash®Videoは1件あたり最大10Mバイト表示できます。大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- Flash®Videoは保存できません。
- ストリーミング型再生はできません。
- プログレッシブ型再生は画像や画面メモの保存ができません。
- Flash®Videoの再生仕様は次のとおりです。ただし、対応しているファイル形式であっても、ファイルによってはデータの取得や再生ができないことがあります。

項目	FLV
コーデック	ビデオ：Sorenson Spark／On2VP6 オーディオ：MP3
最大ビットレート※	ビデオ：400Kbps オーディオ：96Kbps
ビデオサイズ	QVGA（横320×縦240）
最大フレームレート	15fps

※ FOMAハイスピードエリアでの最大値であり、実際の転送量を保証するものではありません。

- Flash画像はFlash8（一部Flash9）相当のバージョンまで対応しています。ただし、該当するバージョンでも表示できない場合があります。
- Flash画像は、ｉモード設定のｉモードブラウザ／フルブラウザ設定にある画像表示設定が「表示しない」の場合、表示されません。
- Flash画像は5分以上操作をしないと再生は停止します。
- Flash画像が表示されているときは、サイトやホームページの操作や動作が通常と異なる場合があります。
- Flash画像によっては、効果音が鳴る場合があります。音量は音量設定のメロディ音量に従います。効果音を鳴らさない場合はｉモード設定のｉモードブラウザ／フルブラウザ設定にあるサウンド設定を「OFF」に設定してください。なお、待受画面や着信画面に設定した場合はFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定が「OFF」の場合でもFOMA端末を振動させることがありますのでご注意ください。
- Flash画像によっては、端末情報を利用する場合があります。端末情報の利用はｉモード設定のｉモードブラウザ／フルブラウザ設定にある端末情報利用設定で設定できます。
- Flash画像が正しく動作していない場合や再生中にエラーが発生した場合は、Flash画像を正しく保存できないことがあります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なることがあります。
- Flash画像を含むページを画面メモに保存する場合、自動取得型では追加されたデータも保存されますが、手動取得型では保存されません。
- Flash画像は、フルブラウザでは保存できません。
- Flash画像は、オートローテーションやFOMA端末の開閉などにより再表示されます。このときコンテンツによっては入力した文字などが消える場合があります。

ラストURL

サイトやホームページの表示履歴を利用して表示します。
- 最大10件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 2 4

2 URLを選択
- マークの意味は次のとおりです。
  ：ｉモードのURL　：フルブラウザのURL
- フルブラウザ接続の確認画面が表示された場合、「はい（以後非表示）」を選択すると確認画面は表示されなくなります。→P176

削除：URLをタッチ▶「MENU」▶3▶1～3▶「はい」▶「OK」
- 1件削除ではタッチしたURLが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「完了」が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- サイトやホームページ表示中からの操作：「MENU」▶3
- サイトやホームページ表示中に接続すると、履歴登録時のブラウザ種別で接続されます。
- URLによっては表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

URL入力

アドレス（URL）を入力して、サイトやホームページを表示します。
- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスをご契約されることをおすすめします。

1 MENU 2 5 1

2 URLを入力（半角2048文字以内）
- 2回目からは前回入力または接続したURLが表示されます。

3 ブラウザ種別欄を選択▶1または2▶「接続」
- フルブラウザ接続の確認画面が表示された場合、「はい（以後非表示）」を選択すると確認画面は表示されなくなります。→P176
- フルブラウザ利用設定が「利用しない」の場合、フルブラウザを利用するかの確認画面が表示されます。→P176

✔お知らせ
- サイト／ホームページ表示中からの操作：「MENU」▶7 1（ｉモードの場合）／「MENU」▶6 1（フルブラウザの場合）

◆ URL入力履歴

サイトやホームページのURL入力履歴を利用して表示します。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 2 5 2

2 URLを選択▶「接続」
- URLを選択後に表示される画面でブラウザ種別を変更すると、履歴と異なるブラウザ種別で接続できます。

削除：URLをタッチ▶「MENU」▶3▶1～3▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたURLが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「完了」が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- サイト／ホームページ表示中からの操作：「MENU」▶7 2（ｉモードの場合）／「MENU」▶6 2（フルブラウザの場合）
- サイトやホームページ表示中に接続すると、履歴登録時のブラウザ種別で接続されます。

Bookmark

よく見るサイトやホームページをBookmarkに登録しておくと、すばやく表示できます。

◆ Bookmarkに登録

サイトやホームページをBookmarkに登録します。
- Bookmarkに登録できるURLはｉモードが256文字以内、フルブラウザが512文字以内です。
- ｉモード／フルブラウザのBookmarkは同じ保存領域に登録されます。ただし、登録できないページもあります。

1 サイトやホームページを表示▶「MENU」▶1 2

2 タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」

- 同じURLが登録されていると上書きの確認画面が表示されます。
- タイトルを入力しないで登録すると、Bookmark一覧にはURLが表示されます。

3 登録先フォルダを選択

◆ Bookmarkからのサイト表示

Bookmarkからサイトやホームページを表示します。

1 MENU 2 2 ▶フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  (水色)：お買い上げ時に登録されているフォルダ
  (紺色)：作成したフォルダ
  (紺色)：作成したフォルダ（シークレット属性ON）
- サムネイル表示中は、登録されているBookmarkの件数がフォルダ名の末尾に表示されます。
- Bookmarkを全件削除するには、フォルダ一覧で「MENU」▶ 2 2 ▶認証操作▶「はい」をタッチします。

2 Bookmarkを選択

登録時のブラウザ種別で接続します。

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ｉモードのBookmark　：フルブラウザのBookmark

タイトルの変更：Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」

削除：Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたBookmarkが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「完了」が、全件削除では認証操作が必要です。
- ツータッチサイト登録されているBookmarkを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

URL表示：Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 3

- 「コピー」をタッチするとURLをコピーできます。

URLを電話帳に登録：Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 6 2 ▶ 1 または 2

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

登録件数確認：「MENU」▶ 7

メールに添付：Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 8

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：「MENU」▶ 1 1
- フォルダ一覧で「MENU」▶ 6 、Bookmark一覧で「MENU」▶ 6 1 をタッチするたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。サムネイル表示中、画像の代わりにアイコンが表示される場合があります。
- サムネイル表示中は、タッチ操作によるカーソルの移動はできません。Bookmark一覧で「MENU」▶ 6 1 をタッチし、リスト表示に切り替えてから操作してください。
- ケータイデータお預かりサービスを利用してBookmarkを保存できます。→P118

◆ Bookmarkフォルダの管理

Bookmarkのフォルダを作成／削除したり、設定を変更したりします。

- 最大20個作成できます。ただし、「Bookmark」フォルダは削除やフォルダ設定の変更、フォルダの並び替えができません。

1 MENU 2 2

2 目的の操作を行う

作成：「MENU」▶ 1 1

フォルダ設定の変更：フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 1 2

フォルダの並び替え：「MENU」▶ 1 3

削除：フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 または 2 ▶認証操作▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたフォルダが削除されます。

表示切替：「MENU」▶ 6

3 各項目を設定▶「登録」

フォルダ名：全角8（半角16）文字以内で入力します。

シークレット属性：プライバシーモード中（Bookmarkが「指定フォルダを非表示」のとき）にフォルダを表示させるかを設定します。

✔お知らせ

- ツータッチサイト登録したBookmarkがあるフォルダのシークレット属性を「ON」にすると、ツータッチサイト解除確認画面が表示されます。

◆ Bookmarkの移動

保存されているBookmarkを別のフォルダに移動します。

1 MENU 2 2 ▶フォルダを選択

2 Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 4 ▶ 1 ～ 3

- 選択移動では選択操作▶「完了」が必要です。

3 移動先のフォルダを選択

- ツータッチサイト登録したBookmarkをシークレット属性が「ON」のフォルダに移動しようとすると、ツータッチサイト解除確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- サムネイル表示中は、タッチ操作によるカーソルの移動はできません。Bookmark一覧で「MENU」▶ 6 1 をタッチし、リスト表示に切り替えてから操作してください。

◆ ツータッチサイト

Bookmarkをツータッチサイト登録すると、待受画面からすばやく表示できます。

❖ツータッチサイトに登録

ツータッチで表示するサイトやホームページのBookmarkを登録します。

- 1つのキーにつき1件、最大10件登録できます。ただし、シークレット属性が「ON」のフォルダ内のBookmarkは登録できません。

1 MENU 2 8

2 目的の操作を行う

登録：未登録をタッチ▶「登録」
マークの番号（0～9）は、ツータッチサイト表示に使用するキー（ 0 ～ 9 ）に対応しています。
サイトやホームページの表示：Bookmarkをタッチ
解除：Bookmarkをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶「はい」

3 フォルダを選択▶Bookmarkを選択

フルブラウザのBookmarkを登録すると、ツータッチサイト一覧でFBが表示されます。

✔お知らせ

- フルブラウザのBookmarkをツータッチ、またはツータッチサイト一覧から接続すると、フルブラウザを利用して表示されます。

❖ツータッチでのサイト表示

待受画面から少ないキー操作でサイトやホームページを表示します。

1 0 ～ 9 ▶「i／α」

キーに対応するサイトやホームページが表示されます。

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存できます。

◆ 画面メモの保存

サイトやホームページを画面メモに保存します。

- 1件につき、ｉモードは最大500Kバイト、フルブラウザは最大3Mバイトまで保存できます。ただし、サイトやホームページ側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは保存できないことがあります。

1 サイトやホームページを表示▶「MENU」▶ 2 2

2 「はい」

キャプチャのみ保存：「表示のみ保存」
画面メモやキャプチャを待受ショートカットに設定：「はい」または「表示のみ保存」にカーソル▶「待受貼付」

◆ 画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 MENU 2 3

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ｉモードの画面メモ
  - ：フルブラウザの画面メモ
  - ：ｉモードの画面メモ（保護）
  - ：フルブラウザの画面メモ（保護）

2 画面メモを選択

- 画面メモにあるリンク先を選択した場合、画面メモ登録時のブラウザ種別で接続します。

保護／保護解除：画面メモをタッチ▶「MENU」▶1▶1～4▶「はい」

- 選択保護／解除では選択操作▶「完了」が必要です。

削除：画面メモをタッチ▶「MENU」▶2▶1～3▶「はい」

- 1件削除ではタッチした画面メモが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「完了」が、全件削除では認証操作が必要です。

URL表示：画面メモをタッチ▶「MENU」▶3

- 「コピー」をタッチするとURLをコピーできます。

タイトルの変更：画面メモをタッチ▶「MENU」▶4▶タイトルを入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」

登録件数確認：「MENU」▶5

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：「MENU」▶2 1

RSSリーダー

ニュースサイトやブログなどが提供するRSSをRSSリーダーに登録しておくと、RSSを更新するだけで登録したホームページの最新情報を取得できます。

- チャンネルは最大20件登録できます。
- アイテムは1チャンネルあたり100件、最大1000件（2Mバイト）保存／保護できます。

◆RSS登録

ホームページのRSSをRSSリーダーに登録します。

- ｉモードでは利用できません。

1 ホームページを表示▶「MENU」▶0 2▶RSSを選択▶「はい」

- 更新するかの確認画面が表示される場合があります。
- 登録済みのRSSの場合は上書きの確認画面が表示されます。
- 2Mバイトを超えるRSSは登録できません。また、ホームページによっては登録できないことがあります。

◆RSS情報を表示

登録したRSSの情報を表示します。

1 MENU 2 9

- マークの意味は次のとおりです。
  NEW：新着アイテムあり　RSS：未読アイテムあり
- タイトルの横には未読アイテム数が表示されます。

2 チャンネルを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  RSS：未読アイテム　鍵：保護されているアイテム

RSSの更新：チャンネルをタッチ▶「MENU」▶1▶1～3▶「はい」

- 選択更新では選択操作▶「完了」が必要です。

タイトルの変更：チャンネルをタッチ▶「MENU」▶2▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」

削除：チャンネルをタッチ▶「MENU」▶3▶1～3▶認証操作▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたチャンネルが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「完了」が必要です。

チャンネル詳細の表示：チャンネルをタッチ▶「MENU」▶4

3 アイテムを選択

- アイテムが存在しない場合は「アイテムがありません」と表示されます。
- 概要画面では次の操作ができます。
  「接続」▶「はい」：ホームページに接続
  「MENU」▶1▶1～5：文字サイズの変更

削除：アイテムをタッチ▶「MENU」▶1▶1～4▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたアイテムが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「完了」が、既読全削除または全件削除では認証操作が必要です。

保護／保護解除：アイテムをタッチ▶「MENU」▶2▶1～4▶「はい」

- 選択保護／解除では選択操作▶「完了」が必要です。

全て既読に変更：「MENU」▶3▶「はい」

アイテム数確認：「MENU」▶4

✔お知らせ
- ホームページ表示中からの操作：「MENU」▶0 1

データのダウンロード

サイトやホームページからデータ（ファイル）をダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存可能なデータ（ファイル）と1件あたりの保存可能な最大サイズは次のとおりです。
  - 画像（ｉモード）：500Kバイト（JPEG、GIF、PNG、BMP、SWF）
  - 画像（フルブラウザ）：3Mバイト（JPEG、PNG、BMP）、2Mバイト（GIF）
  - メロディ、キャラ電、トルカ（詳細）、フォント：100Kバイト
  - PDFデータ、きせかえツール、マチキャラ：2Mバイト
  - 辞書：32Kバイト
  - トルカ：1Kバイト
  - スケジュール／ｉスケジュール：1Mバイト
- データ（ファイル）によってはmicroSDカードに保存できます。
- データ（ファイル）によっては正しく保存、表示、再生や設定ができない場合があります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P301
  データBOX内のデータ（ファイル）以外を保存する場合は、FOMA端末やmicroSDカードのデータ（ファイル）を削除してください。

◆ 画像のダウンロード

JPEG／GIF／PNG／BMP形式の画像、GIFアニメーションやFlash画像を保存できます。ただし、フルブラウザではFlash画像は保存できません。

- 横縦（縦横）のサイズがGIF形式で600×1024、JPEG形式で3000×4000より大きい画像はFOMA端末に保存できません。

1 サイトやホームページを表示▶「画面」▶9▶1～5

- 画像を保存するかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。
- 画像1件保存と背景画像保存では「OK」▶画像選択が、画像選択保存では選択操作▶「完了」が必要です。
- 選択中画像保存はポインターを合わせている画面が保存されます。
- 画像一括保存では保存可能な画像が一括で保存されます。

2 各項目を設定▶「保存」▶保存先を選択

複数画像を保存したとき：保存先を選択

- 画像によっては選択や変更できない項目があります。
- 表示名は36文字以内、ファイル名は半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内、コメントは100文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は、ファイル制限に「あり」と表示されます。また、サイトからダウンロードした画像はファイル制限を変更できません。
- PNG／BMP形式の画像はmicroSDカードの「その他」フォルダに保存されますが、表示することはできません。
- 画像サイズが20×20で90Kバイト以内の再配布可能なJPEG／GIF形式の画像は「デコメ絵文字」配下のフォルダに保存されます。
- 拡張子が「ifm」の画像は「アイテム」フォルダに保存されます。
- microSDカードに保存できるときはガイド表示領域に「📱↔SD」が表示されます。「📱↔SD」をタッチして保存先を切り替えます。
- FOMA端末に保存する場合は、「設定」▶1～7をタッチすると、待受画面などに設定できます。→P277

✔お知らせ
- 画面メモ表示画面からの操作：「MENU」▶3▶1～5

◆ 各データのダウンロード

画像以外の保存可能なデータを保存します。

- スケジュール／ｉスケジュールをダウンロードするにはｉコンシェルのご契約が必要です。
- 表示名はメロディが全角25（半角50）文字以内、PDFデータ・きせかえツール・マチキャラ・キャラ電が36文字以内で入力できます。また、キャラ電ではコメントを100文字以内で入力できます。

1 サイトやホームページを表示▶ダウンロードするデータを選択

- ダウンロード中にCLRや「中断」をタッチするとダウンロードを中止します（ファイルによってキーは異なります）。

2「保存」

メロディの保存：「保存」▶表示名を入力▶「保存」▶保存先を選択

PDFデータの保存：

①「MENU」▶ 2 ▶「はい」▶表示名を入力▶「保存」

- 部分的にダウンロードしたPDFデータの残りをダウンロードする場合は、「MENU」▶ 8 をタッチします。

② CLR

辞書、フォントの保存：「保存」▶「保存」

トルカの保存：「保存」▶ 1 または 2

- データの種別によっては、保存画面で表示名などが表示されます。各項目を入力して「保存」をタッチすると保存されます。microSDカードに保存できるときはガイド表示領域に「」が表示されます。「」をタッチして保存先を切り替えます。
- データの種別によっては、「表示」「再生」「プレビュー」を選択してデータを確認できます。
- 保存を中止する場合は「戻る」▶「いいえ」を選択します。

✔お知らせ

- ダウンロード再開の確認画面が表示された場合、「いいえ」を選択すると部分保存できるデータのときは部分保存の確認画面が表示されます。部分保存したデータは、各保存先から残りをダウンロードできます。
- メロディやきせかえツール、マチキャラをFOMA端末に保存する場合は、保存画面で「設定」をタッチすると電話着信音などに設定できます。なお、設定したデータはFOMA端末に保存されます。
- ｉスケジュールの保存を中止した場合は、一部保存される場合があります。再ダウンロードする際は、一部保存されたｉスケジュールを削除してください。
- マチキャラは日付・時刻が設定されていない場合、ダウンロードができないことがあります。
- PDFデータで500Kバイトより大きいデータをダウンロードしようとすると、ダウンロードの確認画面が表示されます。
- ｉモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズの不明なPDFデータ、本FOMA端末に対応していないPDFデータはダウンロードできません。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、ｉモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるｉモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、ｉモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数の超過を示す画面が表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでｉモードしおりやマークを削除してください。

データのアップロード

画像や動画／ｉモーションをサイトやホームページにアップロードします。

- JPEG／GIF形式の画像、MP4形式の動画／ｉモーションを最大2048Kバイト（複数の画像や文字列を含む場合：最大2128Kバイト）アップロードできます。

1 **サイトやホームページを表示▶「参照」**

- 「参照」は、画像や動画／ｉモーションがアップロードできる場合に表示されます。同じサイトやホームページをパソコンなどで閲覧すると、異なったアイコンで表示されます。

2 **ファイル種別を選択▶ファイルを選択**

- microSDカードを取り付けている場合は、「本体」または「microSD」を選択します。
- 選択した画像を変更または解除するには、もう一度「参照」をタッチし、「変更」または「解除」を選択します。

✔お知らせ

- アップロードの操作方法やアップロードできるファイルは、サイトやホームページによって異なります。
- 画像、動画／ｉモーションと文字列以外のデータは、アップロードできません。また、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／ｉモーションはアップロードできません。
- ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションはアップロードできません。

ブラウザの便利な機能

リンク機能や位置情報を利用してさまざまな機能を利用できます。

- サイトやホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

◆ リンク機能の利用

リンク項目を利用して、電話発信やメール送信などを行います。

1 **サイトやホームページを表示▶リンク項目（電話番号、メールアドレス、URL）をタッチ**

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

2 「選択」

Phone To（AV Phone To）：
条件を設定して電話をかけられます。→P56

Mail To：
選択したメールアドレスを宛先としてｉモードメールを作成し、送信できます。→P126

SMS To：**発信方法欄を選択▶ 3 ▶「発信」▶「はい」**
選択した電話番号を宛先としてSMSを作成し、送信できます。→P158

Web To：
サイトやホームページに接続されます。
- メール本文中などのURLを選択した場合はサイト接続の確認画面が表示されます。

✔**お知らせ**
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、正しくMail To機能を利用できないことがあります。

◆ 位置情報の利用

位置情報を利用して、地図表示や位置情報のメール貼り付けを行います。
- 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。→P262「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

1 **サイトやホームページを表示▶位置情報を選択**

2 **目的の操作を行う**

地図選択で設定したGPS対応ｉアプリの起動：**「地図を見る」**

GPS対応ｉアプリの起動：**「地図・GPSアプリ」▶ｉアプリを選択**
GPS対応ｉアプリを利用する→P263

位置情報をメールに貼り付け：**「メール貼り付け」▶「OK」**

ｉモード設定

ブラウザごとに項目を設定する「ｉモードブラウザ設定」／「フルブラウザ設定」と、ｉモードとフルブラウザ共通の項目を設定する「共通設定」があります。

❖ ｉモードブラウザ／フルブラウザ設定

ブラウザごとに画像表示や音などを設定します。

画像表示設定：JPEG／GIF／PNG／BMP形式の画像、GIFアニメーションやFlash画像の表示／非表示を設定します。
- 「表示しない」にすると画像の代わりに□が表示されます。

サウンド設定：表示中に音を鳴らすかを設定します。

動画自動再生設定※1：標準タイプのｉモーションを取得中／取得後に自動的に再生するか設定します。→P186

表示モード設定※2：パソコン用の画面サイズで表示する（PCレイアウトモード）か、FOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて表示する（ケータイレイアウトモード）かを設定します。

ページ内動画取得設定：Flash®Videoやムービーなどの動画を自動取得するかを設定します。
- 「毎回確認」にすると、通信要求があるたびに確認画面が表示されます。

Script動作設定：JavaScriptが含まれるページの動作を設定します。
- ホームページによってはScript動作設定を有効にしないと、正常に表示できない場合があります。
- JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡易なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、サイトやホームページの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、ホームページ全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるのはJavaScriptによるものです。
- JavaScriptを有効化することによって、お客様がサイトやホームページで入力した情報や訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますので、十分ご注意ください。

端末情報利用設定：Flash画像を表示するときにFOMA端末の端末情報を利用するかを設定します。
- 「利用する」にすると日付時刻情報、受信レベル、電池レベル、言語情報、機種情報、再生音量がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

文字サイズ設定：文字サイズを設定します。
- 文字サイズ設定のｉモード／フルブラウザにも反映されます。

Cookie設定／削除：Cookieの設定や削除を行います。
- Cookieとはホームページを表示した日時や回数など、ホームページが指定した情報をFOMA端末に保存しておく機能です。ホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieを有効にしないと、正常に表示したり利用したりできない場合があります。
- Cookieを有効にすると、ホームページを表示した日時や回数などの情報が送信されます。これにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

Referer設定：Refererを送信するかを設定します。
- Refererとは、リンクを選択して別のホームページに移動する場合の、元のホームページのURL情報です。Refererを送信することにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

タブ自動起動設定：新しいタブを自動的に開くかを設定します。
ポインター表示設定：ポインターの表示／非表示を設定します。
フルブラウザホーム設定※2：ホームにするホームページを設定します。
フルブラウザ利用設定※2：フルブラウザを利用するかを設定します。
- 「利用する」にする場合は、必ず「注意事項の詳細」をお読みください。

フルブラウザ確認表示※2：フルブラウザで接続する場合、接続の確認画面を表示するかを設定します。
画面倍率指定※2：ホームページを表示したときの画面倍率を設定します。
ショートカット※2：キーに割り当てる機能を設定します。
自動通信サイズ設定※2：ページ最大サイズを超える通信を許可するかを設定します。
- 「制限あり」にするとFlash画像が正しく表示されない場合があります。

※1　iモードブラウザ設定のみ
※2　フルブラウザ設定のみ

1 MENU 2 7 ▶ 1 または 2

2 **各項目を設定**

画像表示設定：1 ▶ 1 または 2
サウンド設定：2 ▶ 1 または 2
動画自動再生設定※1：3 ▶ 1 または 2
表示モード設定※2：3 ▶ 1 または 2
ページ内動画取得設定：4 ▶ 1 ～ 3
Script動作設定：5 ▶ 1 または 2
端末情報利用設定：6 ▶ 1 または 2
文字サイズ設定：7 ▶ 1 ～ 5
Cookie設定：8 ▶ 1 ～ 5
Cookie削除：9 ▶ 認証操作 ▶「はい」
Referer設定：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 1 ▶ 1 または 2
タブ自動起動設定：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 2 ▶ 1 または 2
ポインター表示設定：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 3 ▶ 1 または 2
フルブラウザホーム設定※2：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 4 ▶ URLを入力（全角1024（半角英数2048）文字以内）▶「登録」
フルブラウザ利用設定※2：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 5 ▶「利用する」または「利用しない」
フルブラウザ確認表示※2：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 6 ▶ 1 または 2
画面倍率設定※2：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 7 ▶ 1 ～ 8
ショートカット※2：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 8 ▶ ショートカットを選択 ▶ 項目を選択 ▶「完了」
- ショートカット一覧で「リセット」▶「はい」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻ります。→P408

自動通信サイズ設定※2：左右にスライドして2ページ目を表示 ▶ 9 ▶ 1 ～ 3
※1　iモードブラウザ設定のみ
※2　フルブラウザ設定のみ

✔お知らせ
- ホームページやサイト表示中に「MENU」▶ 8 ▶ 2 ～ 5、9 をタッチすると次の設定を変更できます。
  - 画像表示設定、サウンド設定、Script動作設定、ポインター表示設定、表示モード設定（フルブラウザ設定のみ）
- 画面の設定によっては、設定項目の表示順序や項目番号が異なる場合があります。

❖ブラウザの共通設定

ブラウザ共通でｉモードボタンやスクロールなどを設定します。

証明書設定／各社発行証明書：証明書の表示や設定をします。→P179

セキュア通信サービス設定：ユーザ証明書や証明書発行接続先の設定、暗証番号入力省略の設定などを行います。→P180、181

接続先設定：接続先を設定します。→P178

ｉモードボタン設定：待受画面で[F4]を押したときに、ｉMenuに接続するか、ｉモードメニュー画面を表示するかを設定します。

- 海外では設定に関わらずｉモードメニュー画面が表示されます。

スクロール設定：スクロールの行数を設定します。

PagePilot表示設定：ポインター表示中に、ページ全体と現在の表示位置を示すPagePilot画面を表示するかを設定します。

ポインター移動距離設定：ポインターの移動距離を設定します。

ポインター加速度設定：ポインターの速さを設定します。

Bookmark表示設定：Bookmarkの表示方法を設定します。

照明点灯時間設定：表示中の照明点灯時間を設定します。

- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

明るさ調整：ディスプレイの明るさを調整します。

- 照明／キーバックライト設定の明るさ調整（ｉモード）にも反映されます。

ガイド表示設定：ガイド表示領域の表示／非表示を設定します。

1 [MENU] [2] [7] [3]

2 **各項目を設定**

証明書設定：[1]
各社発行証明書：[2]
セキュア通信サービス設定：[3]▶[1]～[3]
接続先設定：[4]
ｉモードボタン設定：[5]▶[1]または[2]
スクロール設定：[6]▶[1]～[4]
PagePilot表示設定：[7]▶[1]または[2]
ポインター移動距離設定：[8]▶[1]～[3]
ポインター加速度設定：[9]▶[1]～[3]
Bookmark表示設定：左右にスライドして2ページ目を表示▶[1]▶[1]または[2]
照明点灯時間設定：左右にスライドして2ページ目を表示▶[2]▶[1]または[2]
明るさ調整：左右にスライドして2ページ目を表示▶[3]▶[1]～[7]
ガイド表示設定：左右にスライドして2ページ目を表示▶[4]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- ホームページやサイト表示中に「MENU」▶[8][6]をタッチするとポインター加速度設定、「MENU」▶[8][8]をタッチするとガイド表示設定を変更できます。
- 画面の設定によっては、設定項目の表示順序や項目番号が異なる場合があります。

◆ｉモード設定のリセット

設定をお買い上げ時の状態に戻します。→P408

1 [MENU] [2] [7] [5]▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- 設定状況を確認する：[MENU] [2] [7] [4]

◆接続先設定

ｉモード対応端末の接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのｉモード対応端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- 通信中は接続先を設定、変更できません。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 最大10件登録できます。

1 [MENU] [2] [7] [3] [4]

2 ユーザ設定をタッチ▶「編集」▶認証操作▶「はい」

iモードを利用する設定に戻す：「iモード」▶「登録」
以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶「登録」

3 認証操作▶各項目を設定▶「確定」

- 「削除」をタッチすると、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

接続先名称：全角8（半角16）文字以内で入力します。
接続先番号：半角英数字99文字以内で入力します。
接続先アドレス／接続先アドレス2：半角英数字30文字以内で入力します。

- 接続先アドレス2はiチャネルの接続先です。

4 編集した接続先を選択▶「登録」

✔お知らせ

- 接続先を変更すると、iチャネルの情報が初期化され、待受画面にiチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面でCLRをタッチしてiチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。
- 接続先を変更すると、Music&Videoチャネルの番組設定が初期化され、番組は自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面で「番組設定」を選択すると、設定の確認画面が表示され、「はい」を選択すると、番組設定情報を受信して番組を自動で取得できます。
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 2in1利用時に接続先を変更すると、各モードのテロップ表示設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

証明書の操作

SSL／TLS通信時に必要な証明書の操作を行います。

◆証明書管理

SSL／TLSページに接続するときに必要な証明書を設定します。

- SSL／TLSページに接続するには、次の証明書が必要です。

CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
ドコモ証明書：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、あらかじめドコモUIMカードに保存されています。
ユーザ証明書：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとドコモUIMカードに保存されます。
各社発行証明書（オリジナル証明書）：各企業・自治体などから発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。

1 MENU 2 7 3▶1または2▶証明書をタッチ

- マークの意味は次のとおりです。

：ドコモ証明書／ユーザ証明書　：各社発行証明書
：チェーン切れの各社発行証明書
：有効に設定されている証明書

2 目的の操作を行う

証明書表示：「MENU」▶1

- 証明書の所有者、発行者、有効期限、シリアル番号が表示されます。
- 各社発行証明書の場合は、選択すると証明書一覧が表示されます。選択すると証明書が表示されます。

証明書の有効／無効：「MENU」▶2

- ドコモ証明書2は設定できません。

◆FirstPassの操作

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をしてダウンロードを行います。

- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- 海外では本機能を利用できません。

1 MENU 2 7 3 3 1 ▶「次へ」

2 **「証明書発行」▶「実行」▶PIN2コードを入力**

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

発行されたユーザ証明書の失効：「その他」▶「証明書失効」▶送信する ユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力▶「実行」▶「次へ」▶「実行」

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

3 **「ダウンロード」▶「実行」**

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードしたユーザ証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P179

✔お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、FirstPass PCソフトが必要です。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、ドコモUIMカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- ドコモUIMカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

◆各社発行証明書のダウンロード

各社発行証明書をダウンロードします。

- 各社発行証明書は最大5件、合計500Kバイトまで保存できます。

1 サイトを表示▶証明書を選択▶「はい」

- ダウンロード中に「中断」：ダウンロードを中止
- パスワードの入力を要求されたときは、パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「OK」を選択します。
- ダウンロードした証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P179

✔お知らせ

- 各社発行証明書は各企業・自治体などから発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- 各社発行証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。

❖証明書の管理

ダウンロードした各社発行証明書の管理名変更や削除をします。

1 MENU 2 7 3 2 ▶証明書をタッチ

2 目的の操作を行う

管理名の変更：「MENU」▶ 3 ▶名称を入力（全角9（半角18）文字以内）▶「登録」

削除：「MENU」▶ 4 ▶「はい」▶認証操作

◆暗証番号入力省略設定

各社発行証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了した各社発行証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかを設定します。

1 MENU 2 7 3 3 3 ▶ 1 または 2

◆証明書発行接続先設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行のセンター接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 MENU 2 7 3 3 2

2 接続先欄を選択▶ 2

FirstPassへの接続に戻す：接続先欄を選択▶ 1 ▶「登録」

3 各項目を設定▶「登録」

ユーザ設定接続先：接続先を半角英数字99文字以内で入力します。
ユーザ設定初期画面URL：URLを半角英数字100文字以内で入力します。

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモーション・ムービーを利用する

ｉチャネルを利用する

ｉコンシェルを利用する

ｉモーション・ムービー

サイトやホームページからｉモーション・ムービーなど、映像や音を取得します。

❖ｉモーション

- 最大10MバイトのMP4（Mobile MP4）形式のｉモーションを再生・保存できます。ASF形式のｉモーションには対応していません。
- 再生できるｉモーションは次のとおりです。

種　類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生。取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作可能。
	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生。
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生。再生終了後、ｉモーションのデータは消去。

※ 保存できないｉモーションもあります。

❖ムービー

- ｉモードでは最大10Mバイト、フルブラウザでは無制限にWindows Media Video（WMV）およびWindows Media Audio（WMA）を再生できます。ただし、保存はできません。
- ムービーのダウンロードには大容量のデータを受信する可能性があります。データ量の大きい通信を行うとパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- サイトやホームページによっては動作環境（ブラウザ種別、OSなど）を確認することがあり、FOMA端末で再生できない場合があります。
- 再生できるムービーは次のとおりです。

種　類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信	リアルタイムに配信。一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信。

ファイル拡張子	Windows Mediaファイル メタファイル：wvx、wax、asx メディアデータ：wma、wmv、asf
コーデック	• Windows Media Video 9（Main Profileローレベル） • Windows Media Audio 2～9（Windows Media Audio Standardレベル3）
最大ビットレート※	ビデオ：2Mbps オーディオ：320kbps
最大フレームレート	30fps
最大画面サイズ	VGA（横640×縦480）

※ FOMAハイスピードエリアでの最大値であり、実際の転送量を保証するものではありません。

ｉモーション・ムービーの取得

ｉモーションは再生・保存が、ムービーは再生ができます。

1 サイトやホームページを表示▶ｉモーション・ムービーを選択

データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。
ｉモーションを保存する場合は操作2に進みます。ムービーは再生が終了すると自動的にサイト画面に戻ります。

- 取得を中止する場合は、「中断」をタッチするか、CLRまたは終話キーを押します。
- ストリーミングタイプのｉモーション・ムービーを選択した場合は、再生の確認画面が表示されます。
- 電池残量が少ない場合、再生開始時や再生中に再生するかの確認画面が表示されることがあります。

- 再生中の操作→P282「動画／ｉモーション再生中の操作」
  ただし、データ取得中に再生されるｉモーション・ムービーでは、次のように一部操作が異なります。
  -「PAUSE」：一時停止／再生（ｉモーションの標準タイプ、ムービーのオンデマンド配信の再生中のみ）
  -「中断」▶「はい」：中断（ｉモーションのストリーミングタイプ、ムービーの再生中のみ）
  -「STOP」：停止（ｉモーションの標準タイプのみ。停止中に「PLAY」をタッチすると先頭から再生）
  -「詳細」：詳細情報の表示

2「保存」

もう一度再生：「再生」
詳細情報を表示：「情報表示」
詳細情報について→P299
保存の中止：「戻る」▶「いいえ」
- ストリーミングタイプのｉモーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

3 表示名を入力（36文字以内）▶「保存」

本体のｉモーション／ムービーの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- microSDカードに保存できるときはガイド表示領域に「[本体⇔microSD]」が表示されます。「[本体⇔microSD]」をタッチして保存先を切り替えます。→P281
- 本体に保存する場合は、「MENU」▶ 1 〜 5 をタッチすると、待受画面などに設定できます。→P284

✔お知らせ

〈ｉモーション・ムービー共通〉
- 再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- データ取得中に再生期限、再生期間が過ぎた場合は再生および保存はできません。
- データが不正だった場合、取得が中止されることがあります。
- 情報表示では、ｉモーション・ムービーによって表示される項目が異なります。
- ストリーミングタイプのデータを取得しながら再生しているときに電話がかかってきたり、アラーム動作の指定日時になったりした場合は取得が中断され、再生が中止します。
- 電話発着信中は、ｉモーションを再生できません。
- イヤホンを挿入して通話中の場合、音声は再生できません。
- 再生中にデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- 再生中に電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。このような場合でも、データを正常に受信していた場合は取得後に再生できます。ただし、取得したデータを正しく再生できない場合もあります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P301

〈ｉモーション〉
- データの取得を中止した場合、ファイルサイズが500Kより大きく10Mバイトまでの部分保存できるｉモーションの場合は、再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると部分保存の確認画面が表示されます。部分保存するとｉモーション一覧から残りを取得できます。→P282「動画／ｉモーションの再生」のお知らせ
- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていてもテロップ（テキスト）は再生できません。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報（→P299）を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。

〈ムービー〉
- 再生中に着信、アラーム動作、他の機能の操作を行うと再生が停止されることがあります。
- ムービーによっては操作が異なる場合があります。
- ライセンスにより保護されたムービーを再生できます。ただし、ライセンスの設定によってFOMA端末で再生できないことがあります。
- ｉモードからの起動時は10Mバイトまで取得／再生し、再生後にサイズを超えた旨のメッセージが表示されます。
- 複数のムービーを含むサイトの場合、ｉモードでは先頭のみを、フルブラウザではすべてを連続して取得／再生します。

動画自動再生設定

サイトから標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかを設定します。

1 MENU 2 7 1 3 ▶ 1 または 2

✔お知らせ
- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了画面で「再生」を選択すると再生できます。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、CLRを押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→P186）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録して利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに詳細情報を閲覧する場合は、別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉチャネルの表示

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 待受画面で CLR ▶ チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。
- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリを設定しているときは、MENU 2 6 1 をタッチします。

✔お知らせ
- 情報受信中は が点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。
- 次の場合は、待受画面で CLR ▶「OK」をタッチしてｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、テロップが表示されるようになります。
  - FOMA端末の電源が切れていたり、圏外などで情報を受信できなかったとき
  - 他のｉチャネル対応端末にドコモUIMカードを差し替えたとき
  - 接続先を変更したとき→P178
  - ｉチャネルを初期化したとき→P187
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、CLRを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、CLRを押すと最後に受信した情報がｉチャネル一覧に表示される場合があります。
- 使用状況によりｉチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。
- 表示中の操作は「ブラウザ画面の見かたと操作」（→P166）をご覧ください。ただし、ｉチャネル一覧を表示中は、次のように一部操作が異なります。
  - 情報の再読み込み：「MENU」▶ 1
  - サウンド設定：「MENU」▶ 2
  - タブを新しく開く／閉じる／切り替え：「MENU」▶ 3
  - ポインター表示設定：「MENU」▶ 4 ▶ 1 または 2
- コンテンツによってはポインターで操作できない場合があります。その場合は、ｉチャネル一覧でポインター表示設定を「表示しない」にして操作してください。
- を押すと画面幅を切り替えられます（縦画面のみ）。

ｉチャネル設定

待受画面に表示されるｉチャネルのテロップを設定します。

1 MENU 2 6 2 ▶各項目を設定▶「登録」

✔お知らせ

- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリを設定している場合に「表示する」にすると、待受画面の解除確認画面が表示されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、「表示する」に設定されたままになっています。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルの情報を初期化し、ｉチャネル設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU 2 6 3 ▶「はい」

✔お知らせ

- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面でCLR▶「OK」をタッチしてｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカなどを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加します。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービス（→P118）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要となります。海外でご利用になる場合はMENU #▶「MENU」▶「設定」▶「基本設定」▶「プロフィール設定／海外利用設定」▶「海外利用設定」を選択して設定を変更してください。なお、国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- スケジュール／ｉスケジュールのダウンロード→P174

インフォメーション受信

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。
- 受信したインフォメーションは最大50件保存できます。超過すると古いものから上書きされます。

1 インフォメーションを受信

が点灯し、ランプが点灯または点滅し、ｉコンシェル着信音が鳴ってインフォメーションが表示されます。
- 複数のインフォメーションを受信した場合はが15秒間点滅します。
- インフォメーションを選択すると、インフォメーションによってｉコンシェルのインフォメーション一覧やリンク先のサイトが表示されたり、受信前の画面に戻ったりします。
- CLRまたはを押すと受信前の画面に戻ります。
- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合は、最新の1件が待受画面に表示されます。

✔お知らせ
- インフォメーション表示設定が「表示しない」の場合は、インフォメーションは表示されません。
- インフォメーションによっては、受信時にの点灯、ランプの点灯または点滅、ｉコンシェル着信音は鳴動しません。
- FOMA端末の操作中に受信した場合は、メールの受信・自動送信表示設定に従って動作します。「通知優先」の場合はインフォメーションを受信した旨のメッセージが表示されます。
- インフォメーション受信時は、ecoモードが一時的に解除されます。

ｉコンシェルの詳細表示

受信したインフォメーションの詳細を表示したり、ｉコンシェルメニューから簡単にFOMA端末のスケジュール帳やトルカを表示したりできます。

1 MENU #

2 目的の操作を行う

詳細情報の表示： インフォメーションを選択
- インフォメーションには、スケジュールやトルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンク項目があったりする場合があります。内容を確認するにはアイコンを選択します。

削除： インフォメーションをタッチ▶「削除」▶「はい」
- インフォメーションによっては削除できない場合があります。

FOMA端末のスケジュール帳／トルカを表示：「MENU」▶「スケジューラへ」／「トルカへ」を選択

ｉコンシェルでのオートGPS利用設定：「MENU」▶「オートGPSへ」を選択▶「ｉコンシェル オートGPS設定」を選択▶「利用する」または「利用しない」

✔お知らせ
- コンテンツによってはポインターで操作できない場合があります。その場合は、ｉモード設定のｉモードブラウザ設定にあるポインター表示設定を「表示しない」にして操作してください。→P176

インフォメーション表示設定

ｉコンシェルのインフォメーションを受信した際に、待受画面に表示するかを設定します。

1 MENU 8 2 1 8 ▶ 1 または 2

- 待受画面に動画／ｉモーションやｉアプリを設定している場合に「表示する」にすると、待受画面の解除画面が表示されます。

カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。
お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラをご使用になる前に

- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード、公共モードの設定に関わらずシャッター音は鳴ります。
- カメラの操作時、ランプの点灯・点滅に合わせて、撮影お知らせランプも赤色で点灯・点滅します。
- 撮影待機中に約3分間操作をしないと、カメラは終了します。
- 静止画撮影では、逆光での撮影時などに自動的にコントラストを補正します。
- 他の機能から起動したときやｉアプリが動作中のときは、利用できない機能や変更できない設定があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。シャッター音が鳴ってから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。
- ｉアプリからカメラ撮影した画像は、ｉアプリ内（ｉアプリによっては、「ｉモード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 撮影中や撮影後に電池が切れそうになるとカメラを終了し、その時点までに撮影した画像を自動的に保存します。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。

◆ カメラ利用にあたっての留意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- カメラの起動直後や設定変更直後には、画像の色合いや明るさが最適になるまで時間がかかる場合があります。また設定によっては撮影画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 至近距離で撮影すると、撮影お知らせランプの光が撮影画像に映りこむことがあります。
- 動画撮影およびサウンドレコーダーを利用するとき、音声は送話口から録音されます。指などでふさがないでください。

◆ 静止画ファイル／動画ファイル

静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※1対応）	jpg

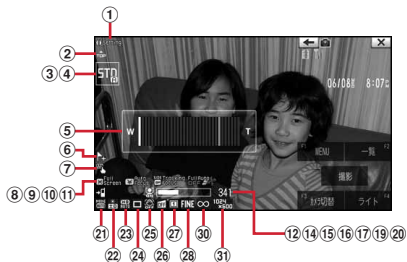
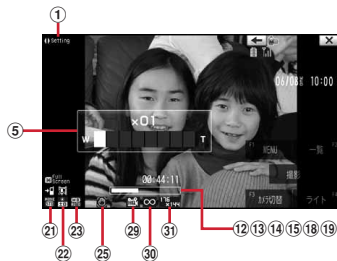
動画ファイル

ファイル形式	符号化方式	拡張子
MP4（MobileMP4）	映像：MPEG4、H.264※2　音声：AAC LC	3gp

※1 シーン・効果が「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」の場合には対応していません。

※2 画像サイズが「VGA（640×480）」のときの符号化方式です。

- 表示名／タイトル／ファイル名には撮影した日時が自動的に付けられますが、保存前や保存後に変更できます。→P194、196、299
- ファイル名に付く拡張子は、FOMA端末では表示されません。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

※ サウンドレコーダーの録音画面は動画撮影画面と同様ですが、表示されないアイコンがあります。

① 撮影時設定操作ガイド→P205

Setting：◀▶を押すと、マークを使って設定ができることを示します。

② 自動縦横判定→P202

TOP：△の頂点で上方向を示します。

③ **自動シーン認識→P196**
：標準（シーン認識中）　：標準（ロック中）　：人物（シーン認識中）　：人物（ロック中）　：風景（シーン認識中）　：風景（ロック中）　：夜景（シーン認識中）　：夜景（ロック中）　：接写（シーン認識中）　：接写（ロック中）

④ **美肌・ひとみ強調（シーン・効果）→P203**
：美肌　：ひとみ強調（弱）　：ひとみ強調（強）
：美肌＋ひとみ強調（弱）　：美肌＋ひとみ強調（強）

⑤ **ズーム→P201**
：拡大　：標準

⑥ **自動位置情報付加→P202**
：位置情報取得済み　：位置情報未取得

⑦ **タッチオートフォーカス→P197**
：タッチオートフォーカスON

⑧ **全画面／標準画面表示切替操作ガイド→P205**
／：Gで、画面表示を切り替えられることを示します。

⑨ **オートフォーカス→P197**
：Aで、オートフォーカスを起動できることを示します。
：検出中　：成功　：失敗

⑩ **トラッキングフォーカス→P197**
：トラッキングフォーカスONであることと、でトラッキングフォーカスを起動できることを示します。
：検出中　：成功　：失敗

⑪ **フルオート撮影→P198**
：フルオート撮影ON　：フルオート撮影OFF

⑫ **保存先→P202**
：FOMA端末　：microSDカード

⑬ **撮影種別→P202**
：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ

⑭ **ライト→P202**
：ライトON

⑮ **接写撮影→P202**
：接写撮影ON

⑯ **セルフタイマー→P199**
／／／：2秒／5秒／10秒／15秒

⑰ **顔検出・スマイルファインダー→P198**
：スマイルファインダーOFF（顔検出のみ）
／／：全員（笑顔度70％／50％／30％）
／／：1人（笑顔度70％／50％／30％）
：顔検出OFF

⑱ **共通再生モード→P205**
：共通再生モードON

⑲ **インジケータ**
撮影待機中：保存先の保存領域の使用率（microSDカードの使用領域は、静止画や動画を保存していなくても0にならない場合があります。）
セルフタイマーのカウントダウン中：シャッターが切れるまでの残り時間
動画撮影中：サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合

⑳ **カウンタ**
撮影待機中：現在の設定で保存できる静止画の枚数または動画の総撮影時間（目安）
セルフタイマーのカウントダウン中：シャッターが切れるまでの残り時間
連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影中：現在の撮影枚数／最大撮影枚数
動画撮影中：経過時間／残り撮影時間（目安）

㉑ **シーン・効果→P203**
- 静止画撮影

：自動シーン認識　：標準　：人物　：風景　：夜景　：逆光　：スポーツ　：文字　：ホワイトボード　：高感度　：モノトーン　：セピア　：モノクロスケッチ　：カラースケッチ　：美肌　：ひとみ強調（弱）　：ひとみ強調（強）　：美肌＋ひとみ強調（弱）　：美肌＋ひとみ強調（強）

- 動画撮影

：標準　：風景　：逆光　：スポーツ　：モノトーン　：セピア

㉒ **明るさ→P204**
／／／／：＋2／＋1／±0／－1／－2

㉓ **ホワイトバランス→P204**
：オート　：太陽光　：くもり　：蛍光灯　：電球

㉔ **フレーム→P201**
：設定中　：解除

㉕ **手ぶれ補正→P204**
：オート　：OFF

㉖ **歪み補正→P204**
：活字文書　：手書き文書　：OFF

㉗ **連続／パノラマ撮影→P199**
: 連続撮影自動　: 連続撮影手動　: 4コマ撮影自動
: 4コマ撮影手動　: 連続パノラマ撮影　: OFF（1枚撮影）
㉘ **画質→P202**
FINE: ファイン　ST: スタンダード　ECO: エコノミー
㉙ **品質→P202**
: XQ（最高品質）　: HQ（高品質）　: STD（標準）
: LP（長時間）
㉚ **サイズ制限→P202**
: 制限なし　: メール添付用（大）　: メール添付用（小）
㉛ **画像サイズ→P202**
- 静止画撮影（アウトカメラ）
  176×144: QCIF　320×240: QVGA　640×480: VGA　1024×600: 待受用
  1280×768: WXGA　1920×1080: フルHD　2592×1520: 3.9M　2592×1944: 5M
- 静止画撮影（インカメラ）
  176×144: QCIF　480×640: VGA
- 動画撮影（アウトカメラ）
  176×144: QCIF　320×240: QVGA　640×480: VGA
- 動画撮影（インカメラ）
  176×144: QCIF

静止画撮影

静止画を撮影できます。
- さまざまな撮影方法→P196
- 撮影時の設定変更→P201

1 （1秒以上）

撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。
- 自動位置情報付加（→P202）が「する」のとき、GPS測位中にが点滅します。

2 設定を確認してカメラを被写体に向ける

- 自動縦横判定が「ON」の場合、撮影するFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の天地が自動的に切り替わります。→P202

ガイダンスボタンの表示：[MENU]
- タッチオートフォーカスが「ON」またはガイダンスボタンが非表示のときに有効です。
- 約10秒経過するとガイダンスボタンは消えます。

保存した静止画の確認：[MENU] ▶「一覧」
静止画詳細設定で設定した保存先の静止画を確認できます。
画像の表示→P276、292

3 [シャッター] ／ ／ [MENU] ▶「撮影」

シャッター音が鳴り静止画が撮影され、ランプが赤色で点灯して静止画の保存確認画面が表示されます。連続撮影、4コマ撮影、パノラマ撮影のときは1枚撮影するごとにシャッター音が鳴り、ランプが赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に繰り返して点灯します。

4 撮影した静止画を確認

- 静止画に位置情報が付加されると、画面左上にが表示されます。

撮影し直す：CLR
実サイズで表示（拡大表示時）：▼
- 拡大表示に戻すときは、▲を押します。
- 拡大表示されるのは、画像サイズがQVGA（320×240）以下の場合です。

等倍表示切り替え（縮小表示時）：「等倍」
- 上下左右にスライドすると画面をスクロールできます。
- 縮小表示されるのは、画像サイズがWXGA（1280×768）以上の場合です。

サムネイル表示／1枚表示切り替え（連続撮影自動、連続撮影手動撮影時）：「切替」
- 1枚表示時に左右にスライドすると、前後の静止画に切り替わります。

自動スクロール（連続パノラマ撮影時）：「スクロール」

鏡像表示／正像表示の切り替え（インカメラ撮影時）：「MENU」▶6 2

保存先の切り替え：「MENU」▶0 1▶1～3
- 「本体（自動お預かり）」に設定すると、マイピクチャの「自動お預かり」フォルダに保存され、ケータイデータお預かりサービス（→P118）を利用してお預かりセンターに保存できます。

保存されている画像の一覧表示：「MENU」▶0 2▶1～3

5 「保存」／[カメラ]

撮影した静止画が静止画詳細設定で設定した保存先に保存されます。→P202

表示されている静止画1枚だけを保存（連続撮影自動、連続撮影手動撮影時）：[決定]（1秒以上）▶「はい」
- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。
- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
- 「MENU」▶7 1▶「はい」をタッチしても操作できます。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：

①「MENU」▶7 2▶保存しない静止画を「解除」で解除
- 「プレビュー」をタッチするとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。[CLR]または「戻る」をタッチするとサムネイル表示に戻ります。

②「保存」▶「はい」

選択した静止画が保存されます。
- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。

鏡像で保存（インカメラ撮影時）：「MENU」▶7 3
- フレームを設定している場合は、鏡像で保存できません。

✔お知らせ
- 次の場合は、自動縦横判定を利用できません。
  - 連続パノラマ撮影時
  - 4コマ撮影手動で2枚目以降を撮影中
  - モーションセンサー設定が「OFF」
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中に電話が着信すると着信画面に切り替わります。
- 撮影直後に、着信やアラームなどで画面が切り替わると、画像が破棄されることがあります。

◆ 撮影した静止画の利用・変更

撮影直後の保存確認画面で、撮影した静止画を利用したり情報を変更したりできます。

メールに添付：「✉作成」

保存の確認画面が表示されます。
- 新規メール作成→P126
- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以内のファイルサイズで保存されます。
- 画像サイズによってはQVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

待受画面に設定：「MENU」▶4 1▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 縦画面の設定で画像サイズがQVGA（320×240）以下のときと、横画面の設定で画像サイズがVGA（640×480）以下のときには、「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合は、待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録：「MENU」▶4▶2または3▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 画像サイズがQCIF（176×144）の場合のみ登録できます。
- 保存先がmicroSDカードの場合は、電話帳の画像に登録できません。

位置情報の付加：「MENU」▶ 3 ▶ 位置情報貼り付けメニューから機能を選択
- 位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P262
- GPS測位中は、操作できません。

タイトルの変更：「MENU」▶ 5 1 ▶ タイトルを入力 ▶「登録」
- 31文字以内で入力します（連続撮影した画像は30文字以内）。
- 表示名が変更されます。表示名は保存後にも変更できます。→P299

明るさや色のバランスを補正：「MENU」▶ 5 2

編集画面が表示されます。
- 静止画の補正→P281
- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズがQCIF（176×144）、QVGA（320×240）以外
  - 4コマ撮影でフレームを設定
  - 連続パノラマ撮影時
  - シーン・効果が「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」

ブログやSNSに投稿：

①「MENU」▶ 2 ▶「はい」

FOMA端末に静止画が保存されます。
- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以内のファイルサイズで保存されます。

② 投稿先を選択
- 投稿先の設定→P150
- メール作成→P126

動画撮影

音声付きの動画を撮影できます。
- 撮影時の設定変更→P201

1 MENU 6 4 2

撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 **設定を確認してカメラを被写体に向ける**

保存した動画の確認：「一覧」

動画／録音詳細設定で設定した保存先の動画を確認できます。

動画の表示方法→P281、292
- 動画またはフォルダの一覧画面で CLR ：撮影／録音待機状態に戻る

3 「撮影」／ 📷

シャッター音が鳴り、ディスプレイに●が表示され、撮影／録音が始まります。ランプが赤色で点滅します。

4 「停止」／ 📷

シャッター音が鳴り、撮影／録音が停止し、保存確認画面が表示されます。
- 制限サイズや制限時間に達すると、撮影／録音は自動的に停止します。制限時間は、動画撮影の場合は180分（品質が「XQ」で画像サイズが「VGA（640×480）」のときのみ80分）、サウンドレコーダーの場合は720分です。

5 **撮影した動画を確認**

再生：「再生」

撮り直す：CLR

保存先の切り替え：「MENU」▶ 5
- ファイルサイズが2Mバイト以下の場合のみ保存先を切り替えられます。

保存されている動画の一覧表示：「MENU」▶ 6 ▶ 1 または 2

6 「保存」／ 📷

撮影した動画が動画・録音詳細設定で設定した保存先に保存されます。→P202

✔お知らせ

- 動画／録音詳細設定の撮影種別が「画像＋音声」「画像のみ」のときは動画撮影として、「音声のみ」のときはサウンドレコーダーとして動作します。
- データによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影や録音ができない場合があります。
- 撮影中に次のことがあった場合、撮影が中断されて保存確認画面が表示されます。
  - 電話の着信
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
- 電池残量がなくなりそうになると、撮影や録音は中断されます。
- 撮影中にアラーム音が鳴った場合、アラーム音が録音されることがあります。

◆ 撮影した動画の利用・変更

撮影直後の保存確認画面で、撮影した動画を利用したり情報を変更したりできます。

メールに添付：「✉作成」

保存の確認画面が表示されます。

- 新規メール作成→P126
- 保存先がmicroSDカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 2Mバイトより大きいファイルは添付できません。

待受画面（待受ｉモーション）に設定：「MENU」▶ 2 1 ▶「はい」

動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 画像サイズがQVGA（320×240）以下の場合は「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 次の場合は待受画面に設定できません。
  - ファイルサイズが10Mバイトより大きい
  - 撮影種別が「音声のみ」
  - 保存先が「microSD」

電話帳の画像に登録：「MENU」▶ 2 ▶ 2 または 3 ▶「はい」

動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 撮影種別が「画像のみ」の場合のみ電話帳の画像に登録できます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 次の場合は電話帳の画像に登録できません。
  - ファイルサイズが10Mバイトより大きい
  - 画像サイズが「VGA（640×480）」
  - 保存先が「microSD」

タイトルの変更：「MENU」▶ 3 ▶ タイトルを入力（31文字以内）▶「登録」

- 表示名とタイトルが変更されます。表示名は保存後にも変更できます。→P299

サウンドレコーダー

動画撮影の録音機能を利用して、音声のみを記録できます。

- 動画撮影時に動画／録音詳細設定で撮影種別を「音声のみ」に設定してもサウンドレコーダーが起動します。
- 利用する際の注意事項→P196「動画撮影」のお知らせ

1 MENU 6 5

録音待機状態になり、ランプが青色で点滅します。
以降の操作→P195「動画撮影」操作2以降

さまざまな方法での撮影

静止画撮影では、自動シーン認識やオートフォーカス、顔検出・スマイルファインダー、セルフタイマー、連続撮影、フレームを利用して撮影できます。

◆ 自動シーン認識

静止画撮影では、シーン・効果（→P203）を「自動シーン認識」に設定すると、カメラが撮影対象を認識して自動的にピントを合わせ、最適なシーン（標準・人物・風景・夜景・接写）に切り替えます。
また、カメラを被写体に向けて静止させると、画面中央にオレンジ色のフォーカス枠が表示されオートフォーカスが起動します。シーンが「人物」のときは緑色の顔検出枠に、それ以外のときは画面中央に、自動的にピントを合わせ続けます。

- 認識中のシーンは自動シーン認識アイコン（→P191）で表示されます。
- 連続撮影自動、4コマ撮影自動に設定しているときは、シーンが「夜景」に切り替わりません。

❖認識中のシーンの固定

認識中のシーンが他のシーンに切り替わらないように固定できます。

1 静止画撮影画面で自動シーン認識アイコンをタッチ

アイコン内のⒶがなくなり、アイコンが緑色になります。
解除：**自動シーン認識アイコンをタッチ**

◆オートフォーカス

静止画撮影では、さまざまな方法で自動的にピントを合わせて撮影できます。

- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は30cm以上です。ただし、接写撮影を併用したときは約8～40cmになります。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - FOMA端末を動かしながら撮影する
  - 色の濃淡がない被写体や、動いている被写体を撮影する
  - 暗い場所や、撮影範囲内にライトなどがある場所で撮影する
- インカメラ撮影時やシーン・効果が「夜景」のときは利用できません。

❖タッチオートフォーカス

タッチした箇所または顔検出枠にピントを合わせます。

- フルオート撮影が「ON」のときは、ピント調節した後にそのまま撮影されます。

■ タッチオートフォーカスON／OFFの切り替え

- インカメラ撮影時やシーン・効果が「夜景」のときは切り替えられません。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 8 5

タッチオートフォーカスを「OFF」にすると静止画撮影画面でもガイダンスボタンが表示されます。

■ タッチ操作によるオートフォーカスの起動

1 静止画撮影画面でピントを合わせる箇所をタッチ

ピントが合うと、確認音が鳴ります。ただし、フルオート撮影が「ON」のときは確認音は鳴りません。

- 顔検出枠がないときはオレンジのフォーカス枠が表示され、ピント調節されると「+」に変わります。

解除：**撮影画面をタッチ**

❖キー操作によるオートフォーカスの起動

顔検出枠があるときは緑の顔検出枠に、顔検出枠がないときは画面中央にピントを合わせます。ピントを合わせた後に任意のタイミングで撮影してください。

- インカメラ撮影時やシーン・効果が「夜景」のときは操作できません。

1 静止画撮影画面で A

ピントが合うと、確認音が鳴ります。

- 顔検出枠がないときはオレンジのフォーカス枠が表示され、ピント調節されると「+」に変わります。

解除：A／CLR

❖トラッキングフォーカス

被写体を検出し、動きを追いかけてピントを合わせ続けます。
タッチオートフォーカスが「ON」のときは、タッチした被写体を追いかけます。
キー操作による起動では、画面中央から被写体を検出して追いかけます。
検出後、任意のタイミングで撮影してください。

- インカメラ撮影時やシーン・効果が「自動シーン認識」以外のとき、スマイルファインダー設定中は利用できません。
- フルオート撮影と同時には設定できません。
- 画面中央に白いフォーカス枠が表示されます。トラッキングフォーカスを起動すると、検出した被写体に緑色の検出枠が表示されます。

■ トラッキングフォーカスON／OFFの切り替え

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 8 6

■ トラッキングフォーカスの起動

- トラッキングフォーカスが「ON」のときに操作できます。

1 静止画撮影画面で O-

解除：O-／CLR／**撮影画面をタッチ**

✔お知らせ

- 次の場合は、被写体を見失ったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
  - 被写体が暗い、小さすぎる、大きすぎる
  - 被写体の動きが速い
  - よく似た被写体が複数ある

❖フルオート撮影

タッチオートフォーカス利用時、ピントを合わせた後に自動的にシャッターが切られます。また、[📷]を押すなど撮影動作を行ったとき、自動的にオートフォーカスが起動し、ピントを合わせてからシャッターが切られます。

- 次の場合は、フルオート撮影はOFFになり、切り替えられません。
  - インカメラ撮影時
  - シーン・効果が「自動シーン認識」でタッチオートフォーカスが「OFF」
  - シーン・効果が「夜景」
  - スマイルファインダー設定中

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 8 4

◆顔検出・スマイルファインダー

顔検出機能で人物の顔と笑顔度を検出できます。検出した顔に顔検出枠と笑顔度を表示し、顔の明るさを自動的に調整します。また、スマイルファインダーを利用すると、撮影対象の笑顔度が設定値に達したとき自動的に撮影することができます。

- 顔検出枠は最大10個表示されます。最も検出率の高い枠は緑色で、それ以外は白色で表示されます。
- 顔が検出されない場合、白いフォーカス枠が画面中央に表示されます。
- シーン・効果が「自動シーン認識」「標準」「人物」「風景」「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」のときのみ切り替えられます。
- インカメラ撮影時や歪み補正が「OFF」以外の場合は切り替えられません。
- セルフタイマーが設定されているときは、「スマイルファインダー OFF」「顔検出OFF」以外に設定できません。

■ 顔検出・スマイルファインダーの設定

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 3 2 ▶ 1 ～ 8

スマイルファインダー OFF：顔検出のみ動作します。オートフォーカスを利用して撮影してください。

全員（笑顔度70%、50%、30%）：スマイルファインダーを設定します。起動して、検出中の人物全員の笑顔度が設定値に達すると撮影されます。

1人（笑顔度70%、50%、30%）：スマイルファインダーを設定します。起動して、顔検出枠が緑色の人物の笑顔度が設定値に達すると撮影されます。

顔検出OFF：顔検出、スマイルファインダーは動作しません。

■ スマイルファインダーでの撮影方法

1 静止画撮影画面で［笑顔］／[📷]

ピントを合わせ、スマイルファインダーが起動します。
撮影対象の笑顔度が設定値に達すると、自動的に静止画が撮影されます。

- 起動中はスマイルファインダーアイコンが点滅し、撮影お知らせランプが点灯します。
- 起動中に［笑顔］▶［シャッター］／[📷]：そのまま撮影
- 起動中に[CLR]：中止

✔お知らせ

- 笑顔度の目安となる笑い方は、70%が満面の笑み、50%が普通の笑顔、30%が微笑み程度です。ただし検出される数値には個人差があります。
- 次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

❖サーチミーフォーカス

静止画撮影の顔検出時に、登録した顔が自動的に判別されて、顔検出枠の下に名前が表示されます。
登録した顔は、顔検出枠が緑色で表示され、優先的にピントや明るさが調整されます。

- 登録した顔が複数ある場合は、優先度の番号が若い人物のみ名前が表示され、顔検出枠が緑色になります。

■ 個人認識データの登録

人物の顔を撮影し、サーチミーフォーカスの個人認識データとして登録します。

- 撮影した静止画は、個人認識データでのみ利用されます。
- 個人認識データは最大10件登録できます。
- 顔を傾けず正面に向け、顔全体がはっきり見える状態で撮影してください。
- 顔の一部が隠れたり、極端に顔の変化がある表情をしたり、極端に画面がぶれたりすると、登録できない場合があります。
- 人物以外（ペットなど）は登録できません。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 3 1 ▶「新規」

静止画撮影画面が表示されます。

- 画像サイズなど、変更できない設定があります。

2 ガイド枠に対象人物の顔と肩を合わせて［シャッター］／[カメラ]

シャッター音が鳴り、個人認識用の静止画が撮影されます。

3 「登録」／[カメラ]

撮影した人物を個人認識データとして登録します。

- 登録できないデータの場合、撮影し直すかの確認画面が表示されます。

撮影し直す：[CLR]

4 データの名前を入力（全角6（半角12）文字以内）▶「登録」

■ 個人認識データの管理

登録した個人認識データの編集や並べ替え、削除ができます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶[3][1]

2 目的の操作を行う

名前の変更：データを選択▶データの名前を入力（全角6（半角12）文字以内）▶「登録」

削除：データをタッチ▶「MENU」▶[3]▶「はい」

優先度の並べ替え：データをタッチ▶「MENU」▶[4]▶入れ替え先を選択

✔お知らせ

- 登録した顔に近い顔を探します。人物の確実な判別を保証するものではありません。
- 顔の特徴が似ていると、正しく認識されない場合があります。
- 登録されている顔でも、次のときは個人認識や登録ができない、または正しく認識されない場合があります。
  - 年齢などの要因で顔の特徴が変化した
  - 極端な顔の変化がある表情になっている
  - 帽子やサングラスなどの装飾品の状況が異なる
  - 手ぶれや被写体の動きなどで、極端に撮影画像がぶれている
- 登録している顔を認識しなくなった場合は、登録し直してください。

◆ セルフタイマー

設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れるように設定します。

- 設定すると、撮影時にカウントダウンが始まり、カウントダウン音に合わせて、ランプが緑色で点滅します。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。
- キー操作でのオートフォーカスやタッチオートフォーカス利用時は、フルオート撮影の設定に関わらず、ピント調節された後にそのままカウントダウンが始まります。
- カウントダウンを中止するときは[CLR]を押します。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶[5]▶[1]～[5]

✔お知らせ

- 次のことがあるとカウントダウンが中断されます。
  - 電話の着信
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影時やスマイルファインダー設定時は、セルフタイマーを使用できません。

◆ 連続／4コマ／パノラマ撮影

静止画を複数枚連続して撮影する機能を利用できます。

- 利用できる画像サイズと、撮影できる枚数は次のとおりです。

画像サイズ	連続撮影自動 連続撮影手動	4コマ撮影自動 4コマ撮影手動	連続パノラマ
QCIF（176×144）	2～9	－	－
QVGA（320×240）	2～9	4	8
VGA（640×480）	2～6※	4	4
待受用（1024×600）	2～6※	4	3

※ 連続撮影枚数の設定に関わらず、撮影できるのは最大の枚数までです。

- インカメラでは、QCIF（176×144）で2～9枚までの連続撮影（自動／手動）が利用でき、VGA（480×640）では2～6枚までの連続撮影（自動／手動）または4枚までの4コマ撮影（自動／手動）が利用できます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 6 ▶ 1 ～ 6

■ 連続撮影自動／連続撮影手動

静止画を連続して撮影します。保存先が「本体」の場合はパラパラマンガ（→P278）として、「本体（自動お預かり）」「microSD」の場合は1枚ずつの静止画として保存します。

- 連続撮影自動では、撮影動作を行うと約0.4秒間隔で自動的に連続撮影されます。ただし、撮影間隔は撮影条件により変わることがあります。
- 連続撮影する枚数は、静止画詳細設定（→P202）で設定できます。

中断して保存：連続撮影手動中にCLR

静止画保存確認画面が表示されます。

- ガイダンスボタンが表示されているときは「中断」をタッチしても中断して保存できます。

■ 4コマ撮影自動／4コマ撮影手動

4枚分の静止画を連続で撮影し、組み合わされた1枚の静止画として保存します。

- 4コマ撮影自動では、撮影動作を行うと約0.4秒間隔で自動的に連続撮影されます。ただし、撮影間隔は撮影条件により変わることがあります。

中断して撮影し直す：4コマ撮影手動中にCLR

撮影した画像は破棄され、静止画撮影画面が表示されます。

- ガイダンスボタンが表示されているときは「中断」をタッチしても撮影を中断できます。

■ 連続パノラマ撮影

カメラの方向を少しずつずらして連続で撮影した2～8枚の静止画を合成し、1枚の静止画として保存します。撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。横に合成するときは右に、縦に合成するときは下に連続して撮影します。

透過部分を重ねる

- グリッドを表示していると、次の撮影時の透過部分を確認できます。

合成方向の切り替え：1枚目の撮影待機中に［MENU］▶「▭▸▯／▯▸▭」

- ガイダンスボタンのアイコンが▭▸▯のときは横に、▯▸▭のときは縦に合成されます。

中断して保存：連続パノラマ撮影中に複数枚撮影してCLR

静止画保存画面が表示されます。

- 1枚だけ撮影したときは、撮影した画像は破棄されて静止画撮影画面が表示されます。
- ガイダンスボタンが表示されているときは「合成」をタッチしても途中まで合成できます。

✔お知らせ

- シーン・効果が「ホワイトボード」「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」のときは連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影は設定できません。
- セルフタイマー設定中は、連続撮影手動、4コマ撮影手動は設定できません。
- 次の場合は連続パノラマ撮影は設定できません。
  - インカメラ撮影時
  - フレーム使用中
  - サイズ制限が「制限なし」以外
  - セルフタイマー設定中
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- パラパラマンガ形式の画像は解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、ファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。→P278
- 連続撮影、4コマ撮影中、連続パノラマ撮影中に電話が着信したり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりすると、それぞれ次のように動作します。
  - 連続撮影自動、4コマ撮影自動は続行され、通話やアラームの終了後に保存確認画面が表示されます。
  - 連続撮影手動は中断され、保存確認画面が表示されます。
  - 4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影は中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
  - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- 設定はアウトカメラ／インカメラで個別です。
- 連続パノラマ撮影で合成した場合の最大画像サイズは次のとおりです。ただし、撮影条件によって合成されるサイズは異なります。

画像サイズ	合成後の最大画像サイズ
QVGA（320×240）	1584×320／2112×240
VGA（640×480）	1632×640／2176×480
待受用（1024×600）	1560×1024／2662×600

◆ フレーム撮影

静止画撮影画面に、装飾枠を重ねて撮影できます。

- 画像サイズが待受用（1024×600）以下のときに利用できます。

1 **静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 7 3**

2 **1 ▶ フレームを選択**

解除：2

- 撮影画面で R を1秒以上押しても解除できます。

回転：3
更新：4

撮影時の設定変更

◆ ズーム

静止画／動画撮影時に、撮影倍率を変更し被写体を拡大して撮影します。

- 動画撮影時は、撮影中にも倍率を変更できます。
- 各画像サイズで変更できるアウトカメラの表示倍率は次のとおりです。

画像サイズ	最大倍率表示	
	静止画撮影時	動画撮影時
QCIF（176×144）	約16.0倍（32段階）	約16.0倍（8段階）
QVGA（320×240）	約8.0倍（32段階）	約8.0倍（5段階）
VGA（640×480）	約4.0倍（32段階）	約4.0倍（3段階）
待受用（1024×600）		―
WXGA（1280×768）	約4.0倍（6段階）	
フルHD（1920×1080）	約2.0倍（6段階）	
3.9M（2592×1520）		
5M（2592×1944）		

- インカメラの表示倍率は、静止画・動画とも画像サイズに関わらず約2.0倍（2段階）です。

1 **画面上をスライド▶ズーム調整パネルを左右にスライド**

拡大／縮小に合わせてズーム調整パネルの目盛りが増減します。

- 静止画撮影時、設定によってはズーム調整パネルにオレンジ色の目盛りが表示されます。オレンジ色の目盛りを超えてズームすると目盛りが黄色になり、ズーム時の画像が劣化します。
- ▲▼を押しても、ズーム調整パネルで目盛りを増減できます。

◆インカメラ切り替え

静止画／動画撮影時に、利用するカメラを切り替えます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「カメラ切替」

- F3を押しても切り替えられます。
- 動画撮影画面では「カメラ切替」をタッチします。
- 操作するたびにインカメラ／アウトカメラに切り替わります。
- インカメラで利用できるサイズは次のとおりです。
  静止画撮影中：QCIF（176×144）、VGA（480×640）
  動画撮影中：QCIF（176×144）
- 動画撮影中、品質が「XQ（最高品質）」のときは切り替えられません。
- インカメラで撮影した場合、鏡像表示されますが、正像で保存されます。

◆ライト

静止画／動画撮影時に、ライトを点灯します。

- インカメラ撮影時は、点灯できません。
- 動画撮影時は、撮影中にもライトを点灯／消灯できます。
- ライトの点灯中、撮影お知らせランプは動作しません。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「ライト」

- F4を押しても点灯／消灯できます。
- 動画撮影画面では「ライト」をタッチします。
- 操作するたびにライトが点灯／消灯します。
- 静止画撮影画面では［MENU］▶「MENU」▶ 7 1、動画撮影画面では「MENU」▶ 4 1 をタッチしても点灯／消灯できます。

◆接写撮影

静止画／動画撮影時に、ごく近い距離の被写体にピントを合わせます。

- 「ON」にすると、約8～10cm離れた被写体にピントを合わせます。
- オートフォーカスを併用すると、約8～40cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- インカメラ撮影時やシーン・効果が「自動シーン認識」のときは切り替えられません。

1 撮影画面で H

- 操作するたびに接写撮影のON／OFFが切り替わります。
- 静止画撮影画面では［MENU］▶「MENU」▶ 7 2、動画撮影画面では「MENU」▶ 4 2 をタッチしても切り替えられます。

◆撮影／録音の詳細設定

静止画／動画撮影時（サウンドレコーダー利用時）に、画像サイズ、サイズ制限、画質、品質、撮影種別、連続撮影枚数、自動保存、保存先、シャッター音、F3キーカスタマイズ、自動縦横判定、照明点灯時間を設定できます。

- 静止画と動画で、設定できる機能は異なります。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 9 または動画撮影画面で「MENU」▶ 7

- サウンドレコーダー利用時は録音画面で「MENU」▶ 1 をタッチします。

2 各項目を設定 ▶「登録」

画像サイズ：撮影時の画像の大きさを設定します。
- 静止画撮影の場合、設定画面が表示されます。画面の下に表示されるアイコンで、使用できる機能を確認できます。
- アウトカメラとインカメラで設定は個別ですが、インカメラでの動画撮影はQCIF（176×144）固定です。

サイズ制限：撮影時のファイルサイズ制限値を設定します。
- 「メール添付用（大）」はファイルサイズを2Mバイトに制限します。
- 「メール添付用（小）」は静止画撮影ではファイルサイズを90Kバイトに、動画撮影では500Kバイトに制限します。
- 静止画撮影の場合、アウトカメラとインカメラで設定は個別です。

画質：撮影する静止画の画質を設定します。

品質：撮影・録音する動画の品質を設定します。
- 動画撮影、サウンドレコーダーで設定は個別です。サウンドレコーダーでは「LP（長時間）」「XQ（最高品質）」は設定できません。

撮影種別：動画の撮影種別を設定します。

連続撮影枚数：連続撮影自動、連続撮影手動で撮影する枚数を設定します。→P199

自動保存：撮影や録音後に自動的に保存するかを設定します。「する」に設定すると、撮影や録音後の確認画面を表示せずにそのまま保存します。

保存先：撮影した画像や録音した音声の保存先を設定します。
- 静止画で「本体」「本体（自動お預かり）」に設定するとそれぞれマイピクチャの「カメラ」「自動お預かり」フォルダに、「microSD」に設定するとmicroSDカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。→P276、292

- 動画、サウンドレコーダーで「本体」に設定するとｉモーション／ムービーの「カメラ」フォルダに、「microSD」に設定するとそれぞれmicroSDカードの「動画」「その他の動画」フォルダに保存されます。→P281、292

シャッター音：撮影する際に鳴る音を選択します。
- 操作確認音の静止画撮影／動画撮影シャッター音の各設定にも反映されます。

F3キーカスタマイズ：F3に割り当てる機能を設定します。
自動縦横判定：自動で静止画保存時の天地を切り替えるかを設定します。
自動位置情報付加：自動的に位置情報の取得を行い、撮影した静止画に位置情報を付加するかを設定します。
- 静止画に付加された位置情報は、静止画を取得した人が簡単に見ることができます。位置情報が付加された静止画の取り扱いにはご注意ください。保存後、位置情報付きかどうかはデータBOXの画像一覧のアイコン（→P275）または詳細情報（→P299）の「位置情報」で確認できます。
- 「する」に設定して登録すると、確認のメッセージが表示されます。

照明点灯時間：照明の点灯時間を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ
- 静止画詳細設定画面または画像サイズの選択画面、動画／録音詳細設定画面で「撮影枚数」をタッチすると、撮影可能枚数または撮影／録音可能時間の目安が表示されます。
- 静止画撮影でWXGA（1280×768）以上の画像サイズとサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- シーン・効果が「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定されている場合は、WXGA（1280×768）以上のサイズには設定できません。
- 照明点灯時間を「常時点灯」に設定して、FOMA端末のディスプレイの明るさ調整（→P93）を「自動調整」に設定していると、画面は最も明るくなります。

◆シーン・効果

静止画／動画撮影時に、撮影シーンに合わせたカメラ設定にしたり特殊効果をかけたりできます。
- 「ホワイトボード」「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」の効果は撮影後に確認できます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 1 または動画撮影画面で「MENU」▶ 1

2 シーン・効果を選択
- 「自動シーン認識」に設定すると、撮影画面に自動シーン認識アイコンが表示されます。
  自動シーン認識→P196
- 「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」に設定すると、撮影画面に美肌・ひとみ強調アイコンが表示されます。

✔お知らせ
- インカメラ撮影時は「自動シーン認識」「ホワイトボード」に設定できません。
- 静止画撮影で連続撮影自動、4コマ撮影自動のときは「夜景」に設定できません。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定できるのは、待受用（1024×600）以下のサイズのみです。
- 静止画撮影で連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影のときは、「ホワイトボード」「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」に設定できません。
- 「自動シーン認識」「標準」以外に設定している場合、ホワイトバランスの設定を変更できません。また、明るさの設定は、「自動シーン認識」「標準」に切り替えるまで保持されます。
- 光の反射や文字のかすれの度合いによっては、「ホワイトボード」の効果が働かない場合があります。
- 「ホワイトボード」でホワイトボード以外のものを撮影すると、画像の色合いが不適切になったり、ノイズが発生したりすることがあります。
- 次の場合や、その他撮影条件により、「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」の効果が働かないことがあります。
  - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
  - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
  - 顔が画面の端にある

◆明るさ

静止画／動画撮影時に、画像の明るさを設定します。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 2 1 ▶ 1 ～ 5 または動画撮影画面で「MENU」▶ 2 1 ▶ 1 ～ 5

◆ホワイトバランス

静止画／動画撮影時に、カメラの色味を環境に合わせて設定します。

- シーン・効果が「自動シーン認識」「標準」のときに調整できます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 2 2 ▶ 1 ～ 5 または動画撮影画面で「MENU」▶ 2 2 ▶ 1 ～ 5

◆ちらつき調整

静止画／動画撮影時に、蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えるための調整をします。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 2 3 ▶ 1 ～ 3 または動画撮影画面で「MENU」▶ 2 3 ▶ 1 ～ 3

自動：ちらつきを消すよう自動的に調整
50Hz（東日本）：東日本の電源周波数に合わせて調整
60Hz（西日本）：西日本の電源周波数に合わせて調整

- 「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて設定してください。
- カメラを終了しても、設定は保持されます。また、テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

✔お知らせ

- 蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

◆明るさ調整に関する設定を初期値に戻す

静止画／動画撮影時に、シーン・効果、明るさ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定を初期値に戻します。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 2 4 ▶「はい」または動画撮影画面で「MENU」▶ 2 4 ▶「はい」

◆手ぶれ補正

静止画／動画撮影時に、手ぶれによる画像の乱れを補正します。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 4 1 または動画撮影画面で「MENU」▶ 3

- 操作するたびに手ぶれ補正のオート／OFFが切り替わります。

✔お知らせ

- 連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影時やインカメラ撮影時、設定は「OFF」になります。
- 被写体や撮影状況により手ぶれ補正の効果が得られないことがあります。

◆歪み補正

静止画撮影時に、画像の歪みを補正して文字を読み取りやすくできます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 4 2 ▶ 1 ～ 3

✔お知らせ

- 次の機能や設定とは、同時に利用できません。
  - 連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影
  - インカメラ撮影
  - 顔検出・スマイルファインダー
  - シーン・効果が「美肌」「ひとみ強調（弱／強）」「美肌＋ひとみ強調（弱／強）」
  - 画像サイズがQVGA（320×240）以下
- 歪み補正機能を使っても、完全に歪みを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。被写体によっては補正を行わない方が自然な場合があります。
- 歪み補正使用時はオートフォーカスを使用することをおすすめします。

◆ 撮影画面表示の切り替え

設定アイコンやガイダンスボタンの表示／非表示を切り替えます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 8 2 または動画撮影画面で「MENU」▶ 5 2

◆ 別のカメラ機能への切り替え

静止画／動画撮影時に、動画撮影／静止画撮影またはサウンドレコーダー、バーコードリーダーに切り替えます。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 0 ▶ 1 ～ 3 または動画撮影画面で「MENU」▶ 8 ▶ 1 ～ 3

- サウンドレコーダー利用時は録音画面で「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 3 をタッチします。「撮影」または「撮影」をタッチすると動画撮影／静止画撮影へ切り替えられます。

◆ グリッド表示

静止画撮影時に、撮影の目安になる格子状の直線を表示します。撮影された画面には表示されません。

- フレームを設定しているときは表示できません。

1 静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 8 3

- 操作するたびにグリッド表示のON／OFFが切り替わります。

◆ 共通再生モード

動画撮影時に、FOMA端末の機種に関わらず再生可能な設定に制限できます。

- 設定すると、サイズ制限が「メール添付用（小)」、品質が「HQ（高品質)」以下、画像サイズが「QCIF（176×144)」になります。

1 動画撮影画面で「MENU」▶ 6

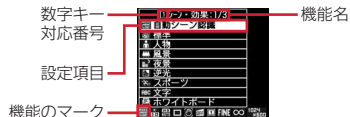
- 操作するたびに共通再生モードのON／OFFが切り替わります。

◆ 撮影画面のマークを使った設定

撮影画面（→P191）のマーク㉑～㉛を使って、設定を直接変更できます。

1 撮影画面で ◀ ▶

機能のリストが表示されます。

- 数字キーを押しても、各キーに対応する機能のリストが開きます。

2 ◀ ▶ で機能を選択 ▶ ▲ ▼ で設定項目を選択

3 決定

設定を変更せずに撮影画面に戻る：CLR

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードのデータを読み取り、利用できます。

- バーコードデータは最大5件保存できます。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 横幅の長いコードは全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面から起動して、読み取った情報を入力できます。→P341

■ JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

■ QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

■ NW7コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

■ CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

JANコードの一例

読み取れる情報
「4942857315721」

QRコードの一例

読み取れる情報
「株式会社NTTドコモ」

NW7コードの一例

読み取れる情報
「A123456789012A」

CODE39コードの一例

読み取れる情報
「*123456ABC*」

◆バーコードの読み取り

1 MENU 6 1

バーコードリーダーが起動して、自動的に接写撮影に切り替わり、ズームがONになります。

- コード読み取り中は次の操作ができます。
  ◀：2倍表示　▶：等倍表示
  「ライト」：ライトON（）／ライトOFFの切り替え
  H：接写撮影OFF／接写撮影ON（）の切り替え
  「AF」／「AF解除」／A：オートフォーカスの切り替え
- オートフォーカスのアイコンは状態によって次のように変化します。
  AF（黒）：検出中　AF（緑）／AF（赤）：検出成功／失敗
- 接写撮影時は、アウトカメラをコードから約8～10cm離して読み取ってください。
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。
- コード読み取り中に「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 3 をタッチするとちらつき調整ができます。
  ちらつき調整について→P204

2 アウトカメラをコードに合わせる

自動的にコードが読み取られます。読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取りデータ画面が表示されます。

：読み取り中
：待機中

分割QRコード読み取り状況※
グレー：未取得　青：取得済み
緑：最後に取得

残り読み取り数／総数※

※ 分割QRコード読み取り時に表示

- 読み取ったデータが、全角5500（半角11000）文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

分割されたQRコードを読み取るとき
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

- 読み取りを中止する：CLR ▶「はい」

静止画撮影または動画撮影への切り替え：「MENU」▶ 4 ▶ 1 または 2

- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

3 読み取りデータを確認する

データの保存：「MENU」▶ 4

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存済データ削除確認画面が表示されます。

コードを読み取り直す：「読取」

✔お知らせ

- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節やオートフォーカスの利用により、読み取れることがあります。
- 次の場合は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中
  - キー／タッチ確認音が「OFF」のとき（オリジナルマナーモードの設定を含む）
  - 音量設定の「操作確認音量」が「Silent」のとき
- ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。

❖バーコードデータの利用

バーコードデータ表示画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

文字情報のコピー：「MENU」▶ 1 ▶ コピーする範囲を選択
コピー／貼り付け→P342

情報を電話帳に登録：情報をタッチ ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶ 1 または 2

- 更新登録するときは登録する相手を選択します。

情報を電話帳に一括登録：「電話帳登録」▶ 1 または 2
情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

ｉモードメールの作成：メールアドレスまたは「メール作成」を選択

サイトまたはインターネットホームページに接続：URLを選択 ▶「はい」／「いいえ」／「フルブラウザ」

URLをブックマークに登録：
① URLをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 3
• 「ブックマーク登録」をタッチしても登録できます。
② タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」▶登録先フォルダを選択
ｉアプリの起動：「ｉアプリ起動」
電話をかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶「発信」
発信オプション→P56
SMSの作成：電話番号を選択▶発信方法欄を選択▶ 3 ▶「発信」▶「はい」
静止画ファイルの保存：静止画ファイルを選択▶「保存」▶各項目を設定▶「保存」／「SD保存」▶保存先を選択
• 画像の保存→P174
• 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。
メロディデータの保存：メロディデータを選択▶「保存」▶表示名を入力▶「保存」／「SD保存」▶保存先を選択
• メロディの保存→P174
トルカの保存：トルカを選択▶「MENU」▶ 4
• トルカの保存→P174

◆ 保存したバーコードデータの表示

1 MENU 6 1 ▶「一覧」

2 読み取りデータを選択

読み取りデータの利用→P207
読み取りデータの削除：読み取りデータをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
• 全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
• データのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子は「jan」（JANコード）、「qr」（QRコード）、「nw7」（NW7コード）、「c39」（CODE39コード）です。既に同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。

Music

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

さまざまな操作で音楽を楽しむ

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media® Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末およびmicroSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の音声番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

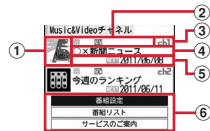
■ Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービス契約が必要です。
- 番組によっては、Music&Videoチャネルのサービス利用料の他に情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組ではできません。→P308
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

番組の設定／確認／解除

Music&Videoチャネルの配信する番組の設定や確認、解除をします。

- 2番組まで設定できます。設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要なものもあります。

1 MENU 9 2

Music&Videoチャネル画面

① **設定した番組の画像**
- 表示できない場合はが表示されます。

② **番組の状態と各種制限**
: すべて取得した番組　: 部分的に取得した番組
: 再生制限、操作制限あり
: 時刻連動番組
: 再生制限ありの時刻連動番組
: 未再生の番組　: 取得失敗

③ **チャネル番号**

④ **番組の表示名**
番組取得前は「番組がありません」、番組取得中は「番組更新中」と表示されます。

⑤ **次回番組更新予定日**

⑥ **サービスメニュー**

2 **「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定、確認、解除**

- お買い上げ時やドコモUIMカードを差し替えたときなどにサービスメニューを選択すると、番組設定情報確認の確認画面が表示されます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ
- 異なるドコモUIMカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。番組設定情報の確認を行うと、保存番組フォルダに移動していない番組は削除される場合があります。
- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

❖番組を設定すると

番組配信時間の12時間前になると、待受画面にが表示されます。番組の取得は、夜間に自動的に行われます。
- 成功すると待受画面にが、失敗するとが表示されます。アイコンを選択するとMusic&Videoチャネル画面を確認できます。

✔お知らせ
- 取得した番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの配信番組フォルダにチャネルごとに一時的に保存されます。その番組のあるチャネルが更新されると、配信番組フォルダの番組は上書きされ再生できなくなります。再生可能な期間中に更新前の番組を楽しみたい場合は、他のフォルダに移動します。→P213
- 電池残量が少ない場合、番組の取得はできません。また、番組取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況のよい環境でご利用ください。
- 番組取得中に通信が途切れたときは、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。
- FOMA端末の電源が入っていない、電池残量が少ない、圏外、電波状態が悪いなどで番組を取得できなかった場合は、翌日の夜間の同時間帯に再取得を行います。
- 次の場合は、番組を自動的に取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度番組を設定してください。
  - 番組を設定した後に他のドコモUIMカードに差し替えた、またはドコモUIMカードを別のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えたとき
  - FOMA端末のデータ一括削除を行ったとき
- Music&Videoチャネル、ｉモードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組が削除される場合があります。
- メモリ確認→P301

❖番組の手動取得

Music&Videoチャネルの番組の取得に失敗した場合は、手動で残りを取得できます。
- 取得できない時間帯のときはメッセージが表示されます。
- 取得が中断されても、取得されたチャプターまでは再生できます。

1 MENU 9 2 ▶番組を選択▶「はい」

番組の再生

配信されたMusic&Videoチャネルの番組を再生します。

1 MENU 9 2

2 番組を選択

Music&Videoチャネルプレーヤーが起動し、番組の最初、または前回再生を中止したチャプターの先頭から再生されます。時刻連動番組の場合は、連動する時間から再生されます。

データBOXのMusic&Videoチャネルフォルダ一覧の表示：「一覧」
- データBOXからのMusic&Videoチャネル操作→P213

❖Music&Videoチャネルプレーヤー画面の見かた

Music&Videoチャネルプレーヤー画面

① 番組タイトル
② チャプタータイトル
③ チャプターのアーティスト名または作成者名
④ チャプター画像／動画または番組画像
- 表示できない場合があります。

⑤ ：再生制限　：時刻連動　：操作制限
⑥ 再生位置インジケータ
⑦ 再生状態
PLAY：再生中　PAUSE：一時停止中
FF：早送り中　REW：巻き戻し中
⑧ 再生時間／トータル時間
⑨ 再生チャプター番号／全チャプター数
⑩ リピート再生※
⑪ 再生音量

※ 機能を「OFF」「ノーマル」に設定すると文字がグレーで表示されます。

❖番組再生中の操作

Music&Videoチャネルの番組再生中は次の操作ができます。

一時停止／再生：「PAUSE／PLAY」
音量調整：上下にスライド
巻き戻し／早送り：左右にスライドし、画面の端で指を止める（指を離すと通常の再生に戻る）
チャプターの先頭に移動：再生時間が3秒過ぎてから左にすばやくスライド
前のチャプターに移動：再生時間が3秒以内に左にすばやくスライド
次のチャプターに移動：右にすばやくスライド
ガイダンスボタンの表示／非表示（横画面のみ）：画面上をタッチ
再生中のチャプターまたは番組にURL情報があるときにサイト接続：「サイト接続」▶「はい」
チャプター一覧の確認：「MENU」▶1
チャプター情報の確認：「MENU」▶2
番組情報の確認：「MENU」▶3
リピートの設定：「MENU」▶4▶1または2
照明点灯時間の設定：「MENU」▶5▶1または2

- 「端末設定に従う」にすると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従って照明が点灯します。
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉモーション／ムービー）、ｉモーション／ムービーの動作設定の照明点灯時間にも反映されます。

Bluetooth機器接続：「MENU」▶71▶Bluetooth機器を選択▶サービスを選択▶「接続」
Bluetooth音声出力確認画面表示の設定：「MENU」▶72▶1または2
Music&Videoチャネルプレーヤー画面の終了：CLR

❖番組に再生制限が設定されているとき

番組によっては、再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると番組は再生できなくなります。

- 再生しようとすると、残り回数や期限が表示されます。再生期限と再生期間が両方設定されている場合は、現在の日付に近い方の日付が表示されます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。
- 海外で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

✔お知らせ

- 再生中は、操作によってランプが点灯、点滅します。
- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 電話の着信があったとき
  - メールやメッセージR/F、SMSを受信したとき（受信・自動送信表示設定が「通知優先」の場合）
  - ｉモード問い合わせを行ったとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 同時に使用できない機能が実行されたとき
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 番組の中には、時刻に連動して再生する番組（時刻連動番組）があり、再生できる時間が決まっています。時刻連動番組の再生には自動時刻・時差補正が必要です。→P47
- 時刻連動番組では、一時停止や巻き戻し、早送り、チャプター移動、リピートの設定はできません。
- 部分的に取得した番組を選択すると、不足分取得の確認画面が表示されます。「途中まで再生」を選択すると、取得したチャプターまで再生されます。時刻連動番組は、すべて取得しないと再生できません。
- 更新に失敗した番組を選択すると、再度取得の確認画面が表示されます。「そのまま再生」を選択すると、前回取得済みの番組が再生されます。
- 巻き戻し、早送り、チャプター戻し、チャプター送りの操作制限がある場合は、その制限のある操作ができません。また、再生中に再生制限を超えた場合は、巻き戻し、チャプター戻し、チャプター一覧からの再生ができません。
- 電池残量が少ない場合、再生の確認画面が表示されます。

◆ 番組チャプター一覧の確認

Music&Videoチャネルの番組のチャプター一覧を表示します。

- 番組によっては表示できません。

1 MENU 9 2 ▶ 番組をタッチ ▶「MENU」▶ 1

- チャプター一覧でチャプターをタッチして「詳細」をタッチすると、チャプターの詳細を確認できます。また、時刻連動番組以外は「PLAY」をタッチすると再生できます。

◆ 番組情報の確認

Music&Videoチャネルの番組の表示名や作成者、再生時間などさまざまな情報を確認します。

1 MENU 9 2 ▶ 番組をタッチ ▶「MENU」▶ 2

- 表示名が不明のときは「musicch」と表示されます。

◆ 番組の移動

Music&Videoチャネルの番組が更新されると、古い配信番組が上書きされます。上書きされたくないときは、番組をデータBOXのMusic&Videoチャネルの保存番組フォルダまたはmicroSDカードへ移動します。

- microSDカードへ移動できるかどうかは、番組情報の「microSDへの移動」で確認できます。

1 MENU 9 2 ▶ 番組をタッチ ▶「MENU」▶ 3 ▶ フォルダを選択 ▶「はい」

✔お知らせ

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P301
- 取得に失敗したり、移動が制限されていたり、再生制限に達していたりする番組、時刻連動番組は移動できません。

◆ 番組の削除

配信されたMusic&Videoチャネルの番組を削除します。

- 番組を削除しても番組設定は解除されません。

1 MENU 9 2 ▶ 番組をタッチ ▶「MENU」▶ 4 ▶「はい」

◆ 番組からのサイト接続

Music&Videoチャネルの番組にURL情報がある場合はサイトに接続できます。

- チャプターにあるURL情報に接続するには、そのチャプターを再生中に「サイト接続」をタッチして接続してください。

1 MENU 9 2 ▶ 番組をタッチ ▶「MENU」▶ 5 ▶「はい」

データBOXからのMusic&Videoチャネル操作

データBOXでは、配信された番組や保存した番組の再生、フォルダや番組の管理ができます。

◆ 番組一覧からの再生

データBOXからMusic&Videoチャネルの番組を再生します。

1 MENU 5 3

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **配信番組**：配信された番組
  - **保存番組**：他のフォルダから移動した番組
  - **microSD**：microSDカードに保存されている番組
  - **マイフォルダ**：他のフォルダから移動した番組
    - フォルダを追加すると表示されます。

2 フォルダを選択

① **各種制限**
: 再生制限、操作制限あり
: 時刻連動番組
: 再生制限ありの時刻連動番組

② **番組の表示名**

③ **番組の状態**
: すべて取得した番組　: 部分的に取得した番組
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
④ **ファイル制限**
: ファイル制限あり
⑤ **番組画像**
番組画像が表示できない場合は次のアイコンが表示されます。
: 画像なし　: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
- サムネイル表示のときは、カーソル位置の番組のファイルサイズがディスプレイ下部に表示されます。

3 **番組を選択**
Music&Videoチャネルプレーヤーが起動し、番組が再生されます。→P211

◆ 番組の管理

フォルダの管理や番組情報の確認、表示名の変更、番組の削除などができます。
- フォルダの追加や削除、番組の移動、削除、ソートはデータBOXの他のデータと同じように操作します。
  - フォルダ追加→P296
  - フォルダ削除（追加したフォルダ以外は削除不可）→P297
  - 番組の移動→P297
  - 番組の削除→P300
  - 番組のソート→P301
- 番組はコピーできません。
- メモリ確認→P301

1 **MENU 5 3 ▶フォルダを選択**
フォルダ一覧で追加したフォルダ名の変更：フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶フォルダ名を入力▶「登録」

2 **目的の操作を行う**
チャプター一覧の確認：番組をタッチ▶「MENU」▶ 1
- チャプター一覧について→P213

番組情報の確認：番組をタッチ▶「MENU」▶ 2
表示名の変更：番組をタッチ▶「MENU」▶ 5 ▶番組の表示名を入力▶「登録」
- FOMA端末内の番組は全角126（半角253）文字以内、microSDカード内の番組は全角31（半角63）文字以内で変更できます。
- 表示名変更画面で「初期化」をタッチすると、取得時の表示名に戻ります。

番組のURL情報がある場合にサイト接続：番組をタッチ▶「MENU」▶ 7（配信番組は「MENU」▶ 6）▶「はい」
- チャプターにあるURL情報に接続するには、そのチャプターを再生中に「サイト接続」をタッチして接続してください。

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®や、音楽CDやインターネットなどから取得したWindows Media® Audio（WMA）ファイルをパソコンから取り込んで再生します。また、サイトからダウンロードしたうた文字を歌詞設定することで、プレーヤー画面に表示することもできます。
- ｉモードから取得した音声のみのｉモーションは、データBOXから再生します（→P281）。microSDカードに保存すればmicroSDカードからも再生できます（→P292）。
- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P308
- Bluetooth機器やステレオイヤホンセット（またはステレオスピーカー）を利用して、ステレオサウンドで再生できます。
- microSDカードの取り扱いや使用時の留意事項→P288
- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

❖うた・ホーダイ

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル®です。
再生期限は、音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

音楽データやうた文字の保存

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P301
- メモリ確認→P301
- microSDカードの使用状況確認→P294

◆ 着うたフル®、うた文字のダウンロード

データをサイトからダウンロードして、FOMA端末またはmicroSDカードに保存します。

- 着うたフル®は1件あたり最大5Mバイトで、FOMA端末に最大100件、microSDカードに最大1000件保存できます。
- うた文字は1件あたり最大50Kバイトで、FOMA端末に最大100件保存できます。microSDカードには保存できません。
- ダウンロードしたうた文字は歌詞設定ができます。→P220
- うた文字が含まれている着うたフル®があります。
- ダウンロード中に再生期限、再生期間を過ぎた場合は、再生および保存はできません。ただし、うた・ホーダイの場合、再生はできませんが、保存はできます。

1 着うたフル®またはうた文字があるサイトを表示▶着うたフル®またはうた文字を選択

ダウンロードが開始されます。うた・ホーダイの場合は、再生期限情報が取得され、ダウンロードが開始されます。

着うたフル®のダウンロードを中断：「中断」▶「いいえ」
うた文字のダウンロードを中断：「中断」▶「はい」

2 「保存」

再生：「再生」
- うた文字では操作できません。

途中までダウンロードした着うたフル®の保存：「部分保存」
- ダウンロードが中断され、再開確認画面で「いいえ」を選択したときに操作できます。

詳細情報の表示：「情報表示」
保存の中止：「戻る」▶「いいえ」

3 「保存」／「SD保存」

- ガイド表示領域に「」が表示されたときは「」をタッチすると、保存場所（本体／microSDカード）を切り替えられます。
- 歌詞設定できる音楽データまたはうた文字があるときは、歌詞設定の確認画面が表示されます。「はい」を選択して音楽データまたはうた文字を選択すると歌詞設定されます。

◆ WMAファイルの保存

Windows Media Playerを利用して、パソコンに保存されているWMAファイルをmicroSDカードに保存します。

- **対応するパソコンのOSとWindows Media Playerのバージョンは、次のとおりです。**
  - **Windows XP Service Pack 2以降：Windows Media Player 10／11**
  - **Windows Vista：Windows Media Player 11**
  - **Windows 7：Windows Media Player 12**
- 操作方法については、Windows Media Player10／11／12のヘルプをご覧ください。
- 転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあるため、パソコンのOSやWindows Media Playerは常にアップデートしておくことをおすすめします。
- 最大1000件保存できます。FOMA端末には保存できません。
- パソコンからプレイリストを最大100件転送できます。ただし、転送できるプレイリスト内の音楽データは最大400件です。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存されたWMAファイルはF-07Cで表示・再生されない場合があります。また、他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。これらの場合には、WMA一括削除（→P222）を行うか、microSDカードを初期化（→P294）してください。microSDカードを初期化すると音楽ファイル以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

1 USBモード設定を「MTPモード」に設定する

- USBモード設定→P295

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末を付属のUSBケーブル F01で接続▶パソコンからWMAファイルを転送

- 接続方法→P296

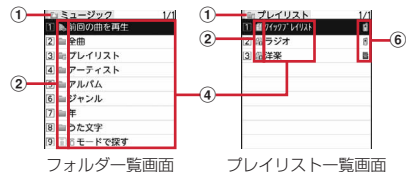
✔お知らせ

- データ転送中にUSBケーブル F01を外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードにアクセスしているときは、MTPモード以外に切り替えられません。
- FOMA端末内のmicroSDカードに保存されているWMAファイルは、パソコンとFOMA端末を接続中にWindows Media Playerから削除できます。
- パソコンから音楽データが転送できないときは「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」を使用して、お使いのパソコンでの最適な対処方法を確認できます。
ポータブルデバイス用パソコン環境診断については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→WMP環境診断ツール

ミュージックプレーヤーの画面の見かた

■ フォルダー覧画面・プレイリスト一覧画面・データ一覧画面

フォルダ一覧画面　プレイリスト一覧画面

データ一覧画面（ジャケット画像表示）　データ一覧画面（リスト表示）

① 現在開いているフォルダ／プレイリスト

② フォルダ／プレイリスト／機能の種類

：前回の曲を再生　：プレイリストフォルダ

：フォルダ

- 「全曲」フォルダ：すべてのデータ（歌詞設定中のうた文字を除く）を表示
- 「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」フォルダ：それぞれの情報別にフォルダを作成し、データ（歌詞設定中のうた文字を除く）を分類
- 「うた文字」フォルダ：すべてのうた文字（着うたフル®に含まれているうた文字を除く）を表示

：ｉモードサイトから曲を探す→P215

：クイックプレイリスト　：FOMA端末で作成したプレイリスト

：パソコンから転送したプレイリスト

③ **再生制限**

(オレンジ)：再生制限なし（音楽データ）
: 再生制限なし（部分的に保存した音楽データ）
: 再生制限なし（うた文字）
／／: 回数／期限／期間制限（着うたフル®のみ）
／: ライセンス期限内／期限切れ、期限情報なし、再生禁止（うた・ホーダイのみ）
(グレー)：再生不可

④ **フォルダ名／プレイリスト名／機能名／曲タイトル**

⑤ **ファイル形式と著作権管理**

: 着うたフル®、ドコモ
: 歌詞設定中の着うたフル®、ドコモ
: うた文字を含んだ着うたフル®、ドコモ
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可の着うたフル®、ドコモ
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可で歌詞設定中の着うたフル®、ドコモ
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可でうた文字を含んだ着うたフル®、ドコモ
: WMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）
: 歌詞設定中のWMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）
: WMAファイル、著作権管理なし
: 歌詞設定中のWMAファイル、著作権管理なし
: うた文字、ドコモ
: 歌詞設定中のうた文字、ドコモ
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のうた文字、ドコモ
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可で歌詞設定中のうた文字、ドコモ

⑥ **保存場所**

: FOMA端末　: microSDカード

⑦ **ファイル制限**

: ファイル制限あり

⑧ **ジャケット画像**

表示できない場合は次のアイコンが表示されます。
(音楽データ）／(うた文字)：ジャケット画像なし
: 部分的に保存した音楽データ
(音楽データ）／(うた文字)：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

- ジャケット画像表示では、タッチしたデータのファイルサイズ（実メモリサイズ）がディスプレイ下部に表示されます。

■ プレーヤー画面

プレーヤー画面

① **曲番号／フォルダやプレイリスト内の曲数**
② **曲タイトル／アーティスト名**
③ **曲のジャケット画像**
④ **うた文字**
⑤ **再生時間／トータル時間**
⑥ **再生位置インジケータ**
⑦ **再生状態**

PLAY: 再生中　FF: 早送り　REW: 巻き戻し
PAUSE: 一時停止中

⑧ **再生音量**
⑨ **リピート再生**※

REPEAT: 1曲リピート　REPEAT: 全曲リピート

⑩ **シャッフル**※

※ 機能を「OFF」に設定すると、文字がグレーで表示されます。

✔お知らせ

- FOMA端末のプレイリストに登録されている曲の元データが認識できなくなると、プレイリストで表示される曲名は「---」になり再生できなくなります。

音楽データの再生

FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。

- FOMA端末を開いて再生しているときは、プレーヤー画面の照明が常時点灯します。

1 MENU 9 1 ▶ 2 〜 7

プレイリストまたは音楽データフォルダのデータ一覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 音楽データを選択

再生が開始されます。操作によって、ランプが点灯、点滅します。

- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得した着うたフル®を選択すると、残りのデータの取得確認画面が表示されます。再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
- 再生期限の更新が必要なうた・ホーダイがある場合は、更新の確認画面が表示されます。→P219

前回の曲から再生：1

✔お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 電話の着信があったとき
  - メールやメッセージR/F、SMSを受信したとき（受信・自動送信表示設定が「通知優先」の場合）
  - ｉモード問い合わせを行ったとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 同時に使用できない機能が実行されたとき
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 電池残量が少ない場合、再生の確認画面が表示されます。

❖音楽データ再生中の操作

音楽データ再生中には、次の操作ができます。

一時停止／再開：**「PAUSE／PLAY」または📷**

音量調整：**上下にスライド**

巻き戻し／早送り：**左右にスライドし、画面の端で指を止める（指を離すと通常の再生に戻る）**

曲の先頭に移動：**再生時間が3秒過ぎてから左にすばやくスライド**

前の曲に移動：**再生時間が3秒以内に左にすばやくスライド**

次の曲に移動：**右にすばやくスライド**

うた文字の全文表示：**「歌詞表示」**

タイトル、アーティスト名、作詞者、歌詞が表示されます。

- うた文字が設定されている音楽データ再生中に操作できます。一時停止中は操作できません。

サイトに接続してうた文字を検索：**「歌詞検索」▶「はい」**

- うた文字が未設定の音楽データ再生中に操作できます。

再生しながらデータ一覧画面とプレーヤー画面を切り替える：**「一覧／再生画面」**

再生を停止してデータ一覧画面に戻る：**CLR**

リピート再生設定の変更：**Q**

シャッフル設定の切り替え：**W**

クイックプレイリスト登録：**画面をダブルタッチまたは📷をすばやく2回押す**

登録確認音が鳴り、再生中の曲がクイックプレイリストに登録されます。

- プレイリストから再生中の場合は登録できません。

詳細情報の表示：**「MENU」▶ 1**

- 詳細情報参照→P221

画像の表示：**「MENU」▶ 2 ▶ 1 〜 3**

- 画像の表示→P221

うた文字の解除：**「MENU」▶ 3 3 ▶「はい」**

- うた文字があらかじめ音楽データに含まれている場合は、解除できません。

うた文字のチューニング：**「MENU」▶ 3 4 ▶ 1 〜 3**

歌詞設定されたうた文字の表示されるタイミングを調整できます。最大約12秒（レベル24）早くまたは遅くできます。

- うた文字があらかじめ音楽データに含まれている場合は、調整できません。

Bluetooth機器接続：**「MENU」▶ 4 ▶Bluetooth機器を選択▶サービスを選択▶「接続」**

ミュージックプレーヤーの動作設定：**「MENU」▶ 5 ▶各項目を設定▶「登録」**

- 動作設定→P219

ミュージックプレーヤーの終了：**📷（1秒以上）**

❖音楽データに再生制限が設定されているとき

再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると音楽データは再生できなくなります。

- 着うたフル®の残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

■ うた・ホーダイの再生期限について

期限が過ぎると、再生期限更新の確認画面が表示されます。更新する場合は、「はい」をタッチします。

- 更新にはサイトへの接続が必要です。接続の際にはパケット通信料がかかります。

✔お知らせ

- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後に数日間の猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても利用できます。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたドコモUIMカードと異なるドコモUIMカードを挿入してミュージックプレーヤーを使用する場合は、データ一括削除をおすすめします。→P122
- ライセンスの有効期限が切れたサイトからうた・ホーダイをダウンロードすると、ダウンロード前に確認画面が表示されます。「はい」を選択してライセンスを更新するとダウンロードできます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生できなくなった場合は、お買い上げ時の音が鳴ります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの適用対象外です。
- 再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。→P215
- 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

◆ミュージックプレーヤーの動作設定

一覧の画像表示、音量、リピート再生、シャッフル、Bluetooth接続自動起動を設定できます。

1 MENU 9 1 ▶「MENU」▶ 4 ▶各項目を設定▶「登録」

- Bluetooth接続自動起動は、オーディオ機器からの接続時に、ミュージックプレーヤーを自動起動／終了するかを設定します。Bluetooth設定のMUSIC Player自動起動にも反映されます。

音楽データやうた文字の管理・利用

着うたフル®やWMAファイル、うた文字のデータ管理をしたり、データを利用して歌詞設定やプレイリスト登録、着信音設定、画像表示をしたりできます。

◆着うたフル®の保存先移動

FOMA端末とmicroSDカードの間で移動します。

- 詳細情報のmicroSDへの移動／本体への移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合のみ移動できます。

1 MENU 9 1 ▶ 2 、 4 ～ 7

音楽データフォルダのデータ一覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 着うたフル®をタッチ▶「MENU」▶ 5 ▶ 1 または 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

着うたフル®が移動され、と が切り替わります。

- 選択移動では選択操作▶「移動」が必要です。

✔お知らせ

- 部分的に保存、または再生制限に達している着うたフル®は移動できません。また、WMAファイルやうた文字も移動できません。
- 着信音に設定されている着うたフル®をFOMA端末からmicroSDカードへ移動すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆音楽データやうた文字の削除

保存先からデータを削除します。

1 MENU 9 1 ▶ 2 、 4 ～ 8

音楽データまたはうた文字フォルダのデータ一覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 データをタッチ▶「MENU」▶ 6 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ

- フォルダ内にあるすべてのデータを削除すると、そのフォルダも削除されます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。
- 着信音に設定されている音楽データを削除すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 歌詞設定中のデータを削除すると、歌詞設定も解除されます。

◆ 音楽データやうた文字のソート

フォルダ内のデータを一括して並べ替えます。

- ユーザ設定が「OFF」のときは、アルバム別に分類されたフォルダではトラック番号昇順で、それ以外のフォルダでは表示名昇順でソートされます。

1 MENU 9 1 ▶ 2、4～8

音楽データまたはうた文字フォルダのデーター覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 「MENU」▶ 7 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

◆ 歌詞設定

音楽データの再生中、プレーヤー画面にうた文字の歌詞が表示されるようにします。

- うた文字があらかじめ音楽データに含まれている場合は、設定または解除できません。

1 MENU 9 1 ▶ 2、4～8

音楽データまたはうた文字フォルダのデーター覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 うた文字または音楽データをタッチ ▶「MENU」▶ 4 2 ▶ フォルダを選択 ▶ 音楽データまたはうた文字を選択 ▶「はい」

歌詞設定先音楽データの確認：歌詞設定中のうた文字を選択

サイトに接続してうた文字を検索：音楽データをタッチ ▶「MENU」▶ 4 3 ▶「はい」

- 歌詞設定中の音楽データの場合は検索できません。

解除：うた文字または音楽データをタッチ ▶「MENU」▶ 4 3 ▶「はい」

◆ 音楽データのプレイリスト登録

音楽データフォルダからプレイリストに登録できます。

- プレイリストの利用→P222

1 MENU 9 1 ▶ 2、4～7

音楽データフォルダのデーター覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 目的の操作を行う

プレイリストを新規作成して登録：

① 音楽データをタッチ ▶「MENU」▶ 3 1 ▶ 1～3
- 選択登録では選択動作 ▶「登録」が必要です。

② プレイリスト名を入力（80文字以内）▶「登録」

プレイリストに追加登録：音楽データをタッチ ▶「MENU」▶ 3 2 ▶ 1～3 ▶ プレイリストを選択

- 選択登録では選択動作 ▶「登録」が必要です。

◆ 着うたフル®の着信音設定

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部を着信音にする「オススメ着信音」があります。

- WMAファイル、詳細情報のまるごと着信音設定およびオススメ着信音設定が「不可」になっている音楽データは着信音に設定できません。

1 MENU 9 1 ▶ 2～7

プレイリストまたは音楽データフォルダのデーター覧画面が表示されます。

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 着うたフル®をタッチ ▶「MENU」▶ 1 ▶ 1～8

3 目的の操作を行う

FOMA端末の着うたフル®を設定：1 または 2

- オススメ着信音は設定する部分を選択します。
- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するときは、メモリ指定着信音を設定する電話帳を選択して、「選択」をタッチします。

microSDカードの着うたフル®をまるごと着信音に設定：1 ▶「はい」

着うたフル®がFOMA端末に移動され、着信音に設定されます。

microSDカードの着うたフル®をオススメ着信音に設定：
① 2 ▶設定する部分を選択▶「はい」
- 着うたフル®が「ミュージック（会員制）」のときは、着うたフル®はFOMA端末に移動されます。これ以降の操作は不要です。

② 表示名を入力（36文字以内）▶「保存」
- 着うたフル®が「ミュージック」のときは、着うたフル®の選択した部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末のｉモーション／ムービーの「ｉモード」フォルダに保存されます。

◆ 音楽データやうた文字の詳細情報参照

曲情報、権利情報、ファイル情報、可否情報別に分類されたさまざまな情報を確認できます。また、変更可能な情報を変更できます。

1 MENU 9 1 ▶ 2 ～ 8

プレイリストまたは音楽データ、うた文字フォルダのデータ一覧画面が表示されます。
- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 **データをタッチ▶「MENU」▶ 2 1 ▶左右にスライドまたはタブをタッチして各情報を表示**

- データによって表示される情報の種類が異なります。
- 「トラック番号」はアルバム内の曲番号／アルバム内総曲数を表示します。
- 「ファイル名」に拡張子は表示されません。
- 「ファイル種別」の「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイのファイルであることを示します。
- 「音」は音楽データの形式とビットレートを表示します。WMAファイルではビットレートは表示されません。
- 詳細情報のファイル情報を表示中に「サイト接続」をタッチすると、「URL情報」に表示されているサイトへの接続確認画面が表示されます。

詳細情報の変更：データをタッチ▶「MENU」▶ 2 2 ▶項目を選択▶変更内容を入力▶「登録」
- 最後に再生した着うたフル®の詳細情報を変更すると「前回の曲を再生」からの再生ができない場合があります。
- 音楽データ再生中は詳細情報を変更できません。なお、microSDカードに保存されている着うたフル®は、その曲が一時停止中の場合にも変更できません。
- WMAファイルの詳細情報は変更できません。
- 変更できる項目と保存先別の最大入力文字数は次のとおりです。ただし、うた文字は、タイトルのみ変更できます。

項　目	F-07C	microSDカード
タイトル	全角127（半角254）文字	全角31（半角63）文字
アーティスト		全角126（半角253）文字
アルバム		
年	半角数字4桁	
ジャンル	全角127（半角254）文字	全角126（半角253）文字
コメント		
トラック番号	半角数字3桁	
総トラック数		

- 「オリジナルに戻す」を選択すると、ボタンの上の項目がダウンロード時の情報に戻ります。

◆ 音楽データ内の画像の表示

音楽データがJPEGまたはGIF形式の画像を含む場合、表示や保存ができます。
- 着うたフル®では、ジャケット画像は1枚、画像は2枚、歌詞画像は7枚まで表示できます。ただし、歌詞画像は、再生中の操作（→P218）でのみ表示でき、保存できません。
- WMAファイルでは、ジャケット画像のみ表示できます。

1 MENU 9 1 ▶ 2 ～ 7

プレイリストまたは音楽データフォルダのデータ一覧画面が表示されます。
- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 **音楽データをタッチ▶「MENU」▶ 2 3 ▶ 1 または 2**

- 画像表示中は次の操作ができます。
  「全画面」：全画面で表示
  上下にスライド：前後の画像を表示
  「保存」：マイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存
  - 保存可能な画像を表示中のときのみ操作できます。

  「戻る」：データ一覧画面に戻る

◆ WMA一括削除

microSDカードに保存されたWMAファイルを全て削除します。

- パソコンから転送したプレイリストも削除されます。

1 MENU 9 1 ▶「MENU」▶ 1 ▶ 認証操作 ▶「はい」

✔お知らせ

- WMA一括削除を行うと、microSDカードのWMフォルダ、WM_SYSTEMフォルダとフォルダ内に保存されているすべてのデータが削除されます。ミュージックプレーヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。

プレイリストの利用

プレイリストを利用して、任意の音楽データを好きな演奏順で管理できます。

- プレイリストはFOMA端末に最大20件作成できます。
- 1つのプレイリストに最大100件の音楽データを登録できます。
- パソコン上で作成したプレイリストを転送できます。→P215
- クイックプレイリストは、再生中の操作（→P218）で登録できるプレイリストです。

◆ プレイリストの作成

プレイリストを新規作成します。

- クイックプレイリストの新規作成はできません。

1 MENU 9 1 ▶ 3

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 「MENU」▶ 1 ▶ プレイリスト名を入力（80文字以内）▶「登録」

◆ プレイリスト内音楽データの管理

音楽データの登録や解除、並び順の変更ができます。

- パソコンから転送したプレイリストでは、操作できません。

1 MENU 9 1 ▶ 3 ▶ プレイリストを選択

プレイリストの音楽データ一覧画面が表示されます。

- 音楽データの登録されていないプレイリストを選択すると、音楽データを登録するかの確認画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

音楽データ未登録のプレイリストに登録：「はい」▶ フォルダを選択 ▶ 音楽データを選択 ▶「登録」

音楽データの追加登録：「MENU」▶ 3 1 ▶ 1 ～ 3 ▶ フォルダを選択 ▶ 音楽データを選択

- 選択登録では選択操作 ▶「登録」が、全件登録では「全選択」が必要です。
- 全件登録では全件が選択された状態で表示されます。

音楽データの解除：音楽データをタッチ ▶「MENU」▶ 3 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 選択解除では選択操作 ▶「登録解除」が必要です。
- 解除しても音楽データ自体は削除されません。

音楽データの並べ替え：「MENU」▶ 3 3 ▶ 音楽データをタッチ ▶「上に移動」または「下に移動」▶「登録」

◆ プレイリストの管理

プレイリストのコピーや削除、プレイリスト名の変更ができます。

1 MENU 9 1 ▶ 3

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 目的の操作を行う

コピーの作成：プレイリストをタッチ ▶「MENU」▶ 2

- パソコンから転送したプレイリストをコピーするときは、2 をタッチし「はい」を選択します。FOMA端末で作成されたプレイリストとしてFOMA端末に保存されます。

削除：プレイリストをタッチ ▶「MENU」▶ 3 ▶「はい」

- クイックプレイリストは削除できません。

名前の変更：プレイリストをタッチ ▶「MENU」▶ 4 ▶ プレイリスト名を入力（80文字以内）▶「登録」

- クイックプレイリストとパソコンから転送したプレイリストは名前を変更できません。

音楽再生音優先設定

ｉアプリを利用中にMusic&Videoチャネルの音楽番組やミュージックプレーヤーのバックグラウンド再生を可能にするかを設定します。

- 起動中のｉアプリの音量を0にしないとバックグラウンド再生はできません。ただし、音量を0にしても、バックグラウンド再生ができないｉアプリもあります。

1 MENU 8 1 6 ▶ 1 または 2

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリを使う

ｉウィジェットを使う

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応端末用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール（→P241）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、ｉアプリにはｉウィジェット（→P245）対応のものがあります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P362
- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- ｉアプリまたはｉアプリDXにより画像や動画、トルカ、着信音が保存される場合、ファイルはそれぞれに対応した保存先またはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリのダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- ダウンロードしたｉアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。

1 サイトを表示▶ｉアプリを選択

ｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロード中に「中断」→「はい」をタッチすると中止します。

ソフト情報表示設定が「表示する」のとき

ｉアプリの情報とダウンロードの確認画面が表示されます。

- 「詳細」をタッチすると、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を表示できます。

登録データや携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号、ICカード内データ（ICカード固有の番号を含む）、microSDカードを利用・送信するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードの確認画面が表示されます。

- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合は、「ガイド」をタッチするとそのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

ｉアプリ待受画面、通信設定、位置情報利用設定、ｉアプリコール設定、ソフトからのオートGPS設定の設定画面が表示されたとき

各項目を設定します。
各設定項目→P229「ソフト動作設定」

2 ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」

「はい」をタッチするとｉアプリが起動し、「いいえ」をタッチするとサイト表示に戻ります。

✔お知らせ

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P301
- メモリ確認→P301
- ｉアプリの保存領域に空きがあってもICカード内の保存領域の空きが足りないときや、保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリと同じサービスを利用するおサイフケータイ対応ｉアプリは、ダウンロードできない場合があります。その場合は画面の指示に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリによっては、削除対象として表示されなかったり、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除する必要があります。
- ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示される場合があります。「いいえ」をタッチすると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存したｉアプリは、ソフト一覧から残りをダウンロードできます。→P227「ｉアプリの起動」操作3
- 選択したｉアプリが既にダウンロードされている場合、ダウンロード済みを示す画面が表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップの確認画面が表示されます。既に異なるドコモUIMカードでダウンロードされているときは、上書きの確認画面が表示されます。

◆ メール連動型ｉアプリのダウンロード

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、受信／送信／未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダ利用の確認画面が表示されます。利用しない場合は、メールフォルダを削除してからダウンロードしてください。
- メール連動型ｉアプリに対応したメールが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードの際に自動的に作成されたフォルダへの移動確認画面が表示されます。
- 2in1がBモード時にメール連動型ｉアプリのダウンロードが完了するとサイト画面に戻ります。設定画面が表示されているときは「登録」をタッチするとサイト画面に戻ります。

◆ソフト情報表示設定

ｉアプリをダウンロードしたときに情報を表示するかを設定します。

1 MENU 3 3 3 ▶ 1 または 2

ｉアプリの起動

保存されているｉアプリを起動します。

1 MENU 3 1

おサイフケータイ対応ｉアプリのみを表示：MENU ✂ 1 ▶操作3に進む
GPS対応ｉアプリのみを表示：MENU 6 7 5 ▶操作3に進む

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：お買い上げ時に登録されているフォルダでｉアプリなし／あり
  ／：作成したフォルダでｉアプリなし／あり

ソフト件数確認：フォルダをタッチ▶「情報」
設定状況の確認：「情報」
保存件数やｉアプリ待受画面、ワンタッチｉアプリ、自動起動の設定状況が表示されます。
- マークの意味は操作3をご覧ください。

3 起動するｉアプリを選択

〈ソフト一覧〉

グラフィカル表示

- マークの意味は次のとおりです。
  ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  ：iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
  ：未設定状態のおサイフケータイ対応ｉアプリ
  ：メール連動型ｉアプリ　：ｉアプリDX
  （オレンジ）：ｉアプリ　：ダウンロードが必要なｉアプリ
  ／：ｉアプリ待受画面に設定可／設定中　：自動起動設定中
  （上半分グレー、下半分オレンジ）：部分保存したｉアプリ
  ：ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  ：IP（情報サービス提供者）によって停止状態
  ：SSL／TLSページからダウンロードしたｉアプリ
  ：2in1がBモードのため起動不可
  ：ワンタッチｉアプリ登録中　～：ツータッチｉアプリ登録中
  ：個別ICカードロックに指定中　：GPS対応ｉアプリ
  ／：地図を見るｉアプリに設定可／設定中
  ：周辺検索アプリ設定に設定中
  ：ソフトからのオートGPS設定に設定可
  ／／：ICカード一覧へ移動
  ／：ソフト一覧の「マイフォルダ」へ移動
  ／／：ｉモードサイトからｉアプリを探す→P226
- サムネイルの代わりにマークが表示される場合があります。
- 「切替」タッチするたびにグラフィカル表示→リスト表示→サムネイル表示の順に表示が切り替わります。

- DLが表示されているｉアプリは、初めて利用するときのみダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
- 部分保存したｉアプリを選択すると、残りをダウンロードするかの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択すると、ダウンロードまたはサイトに接続するかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
- 終了方法はｉアプリごとに異なります。▶「はい」をタッチしても終了できます。

✔お知らせ

- 全画面で表示されるｉアプリでは、CLRを押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→P230
- ｉアプリによっては、ｉアプリ起動中に指定された別のｉアプリを起動できます（指定されていない場合はｉアプリを選択します）。ただし、指定されたｉアプリがソフト一覧にない場合は、ダウンロードする必要があります。
- ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信／iC通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
- microSDカードを利用するｉアプリはｉアプリからmicroSDカードにデータを保存できますが、保存したデータは他機種で利用できない場合があります。microSDカードの「ｉアプリのデータ」を選択すると、microSDカードを利用するｉアプリを確認できます。→P292
- Windows 7モードがスリープまたは休止状態のとき、microSDカードを利用するｉアプリからmicroSDカードにアクセスできなくなる場合があります。
- 次のような場合、ｉアプリは中断されることがあります。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 電話着信時
  - 誤操作防止ロックが起動したとき
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリのソフトによって、ダウンロードをしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定をすることによって、接続を行わないようにすることもできます。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面でMENU 3 4 4をタッチすると表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
  トレース情報を削除するときは「削除」→「はい」をタッチします。

◆ バーチャルキー

タッチ操作に対応していないｉアプリでも、バーチャルキーに対応していればタッチ操作ができます。

- バーチャルキーを表示すると、通常のタッチ操作ができなくなる場合があります。
- 決済などが発生するｉアプリは、誤決済の恐れがあるため、FOMA端末のキー操作でのご利用をおすすめします。

■ バーチャルキーの起動

1　ｉアプリを起動中に画面をタッチ

■ ｉアプリの操作

方向パネル　数字パネル

① 矢印キー

[↖]／[↑]／[↗]：カーソルを左上／上／右上に移動
[←]／[→]：カーソルを左／右に移動
[↙]／[↓]／[↘]：カーソルを左下／下／右下に移動
[Select]：[決定]と同じ

② 1～9、0、＊、#キー

[1]／[2]／[3]：[1]／[2]／[3]と同じ
[4]／[5]／[6]：[4]／[5]／[6]と同じ
[7]／[8]／[9]：[7]／[8]／[9]と同じ
[0]：[0]と同じ
[＊]／[#]：[＊]／[#]と同じ

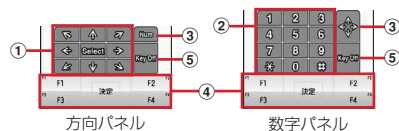
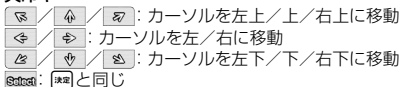
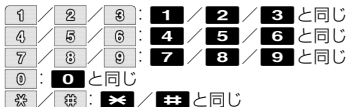
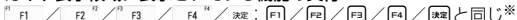
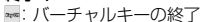
③ パネル切り替えキー

[Num]／[✥]：数字／方向パネルに切り替え

④ ガイド表示領域に表示されている機能の実行

[F1]／[F2]／[F3]／[F4]／[決定]：[F1]／[F2]／[F3]／[F4]／[決定]と同じ※

⑤ 終了キー

[Key Off]：バーチャルキーの終了

※ ｉアプリや状況によって表示が異なります。

■ ｉウィジェットの操作

- 左から順に[F1]、[F2]、[F3]、[F4]に対応するキーが表示されます。
- ウィジェットアプリ操作画面では、さらに[▲][▼][◀][▶]や[決定]に対応するキーも表示されます。表示する場合は画面をタッチした後に、ウィジェットアプリをタッチしてください。

◆ セキュリティエラー履歴

ｉアプリがエラーを発生して終了したときに、履歴からｉアプリ名や日時、セキュリティエラー理由を確認します。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [MENU][3][4][3]

- 履歴を削除するときは「削除」→「はい」をタッチします。

◆ ソフト詳細情報

ｉアプリの名前やソフトのサイズ、動作設定の設定状況などを確認します。

1 [MENU][3][1]▶フォルダを選択▶ｉアプリをタッチ▶「詳細」

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSL／TLSページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で「証明書」をタッチするとサイトの証明書を確認できます。

◆ ソフト動作設定

ｉアプリごとに詳細な動作を設定します。

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。
- 2in1がデュアルモードまたはBモード時は、「ｉアプリ待受画面」「ｉアプリ待受画面通信設定」は選択できません。

1 [MENU][3][1]▶フォルダを選択▶ｉアプリをタッチ▶「MENU」▶[6]▶各項目を設定▶「登録」

ｉアプリ待受画面：待受画面に設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。
ｉアプリ待受画面通信設定：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかを設定します。
通信設定：ｉアプリ動作中に自動的に通信するかを設定します。
アイコン情報：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかを設定します。
ブラウザからの起動：サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
トルカからの起動：トルカからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
メールからの起動：メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
住所リンク機能での起動：サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
外部機器からの起動：外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定します。
ソフトからの着信音／画像変更を※：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかを設定します。
変更ごとに確認画面を※：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかを設定します。
ソフトからの電話帳／履歴参照を※：ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかを設定します。FOMA端末に保存したトルカも対象です。
位置情報利用設定※：GPS対応ｉアプリが位置情報を自動的に利用するかを設定します。
ソフトからのオートGPS設定※：ｉアプリからのオートGPSサービス情報の登録や設定を許可するかを設定します。
地図設定※：地図を見る操作で利用するｉアプリに設定するかを設定します。設定できるｉアプリは1件のみです。

- 地図選択にも反映されます。→P269

- 本設定に対応しているGPS対応ｉアプリのみ設定できます。
ｉアプリコール設定※**：** ｉアプリコールから起動するかを設定します。
※ ｉアプリDXのみ設定できます。

✔お知らせ

- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリコール設定を「設定する」にしていても有効にならない場合があります。

◆ ｉアプリ動作中の各種動作設定

❖ ｉアプリの照明点灯時間設定

ｉアプリ動作中のディスプレイの照明を設定します。

1 MENU 3 3 4 ▶ 1 または 2

- 「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ

- 「ソフトに従う」にしても、公共モード（ドライブモード）中は照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）で設定した時間が経過すると照明は消灯します。
- 本設定は照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。

❖ ｉアプリの明るさ調整

ｉアプリ動作中のディスプレイの照明の明るさを設定します。

1 MENU 3 3 5 ▶ 1 ～ 7

- 「端末設定に従う」に設定すると、照明／キーバックライト設定の明るさ調整（通常設定）に従います。

✔お知らせ

- 本設定は照明／キーバックライト設定の明るさ調整（ｉアプリ）にも反映されます。

❖ ｉアプリのバイブレータ設定

ｉアプリのバイブレータを動作させるかを設定します。
- 本設定はバイブレータ設定のｉアプリ利用時にも反映されます。

1 MENU 3 3 6 ▶ 1 または 2

❖ ｉアプリの音量設定

ｉアプリの音量を設定します。
- 本設定は音量設定のｉアプリ音量にも反映されます。

1 MENU 3 3 7 ▶ 上下にスライド ▶「選択」

◆ 電子コンパス

本FOMA端末は、地球の磁場を感知する電子コンパスを使用したｉアプリに対応しています。
- FOMA端末のディスプレイを下向きにすると、正確な方位を表示できません。
- 方位を表示するｉアプリで利用する際は、ベーシックスタイルにてご利用ください。
- 電子コンパスは、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、次の環境下では磁場を感知できなかったり、正確な方位を表示できなかったりする場合があります。
  - 建物（地下街を含む）、乗り物、金属製の施設（エレベータなど）の中や近く
  - 金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤の近く
  - 金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の近く
- 次の場合は正しい方位を表示できないことがあります。
  - 電子コンパスの起動直後
  - FOMA端末の開閉時
  - 急激な温度変化を伴う場所に長時間置いたとき
  - ACアダプタやクレードルの接続時
- 正確な方位を表示できない場合は、磁場を感知しやすい場所に移動してから電子コンパスを調整してください。

- FOMA端末を永久磁石のような強い磁気を帯びたものに近付けないでください。FOMA端末そのものが磁気を帯びたときは、測定精度に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

✔お知らせ

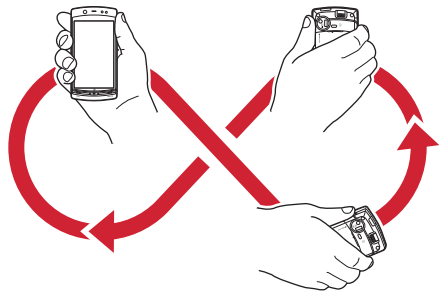
- 登山時などに、命の危険性に関わる場所での使用は避けてください。また、画面を見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。

❖電子コンパスを調整する

- 電子コンパスを調整するときは、FOMA端末をしっかりと握り、周囲の安全を確認して行ってください。

■ **操作方法**

電子コンパス機能使用中に、手首を返しながら大きく8の字を描くように10秒程度FOMA端末を動かします。

- ベーシックスタイルで行ってください。

◆ モーショントラッキング

本FOMA端末は、インカメラの認識技術を使用してｉアプリを操作（FOMA端末を傾けたり振ったり）するモーショントラッキングに対応しています。

- 次の場合はご利用になれないことがあります。
  - インカメラのレンズが汚れているとき
  - 着用している服が背景と似通っているとき
  - 移動中など、背景が一定していないとき
  - 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

警告

モーショントラッキング対応のアプリは、FOMA端末を振ったりして遊びます。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

◆ プリインストールｉアプリ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P300

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖TETRIS 1to3 for F

定番のTETRIS®モードや、1～3ピースで構成されるブロックを使うオリジナルモードが遊べるパズルゲームです。
Tetris（R）&（C）1985~2011 Tetris Holding. Tetris logos, Tetris theme song and Tetriminos are trademarks of Tetris Holding. The Tetris trade dress is owned by Tetris Holding. Licensed to The Tetris Company. Game Design by Alexey Pajitnov. Original Logo Design by Roger Dean. All Rights Reserved. Sub-licensed to Electronic Arts Inc. and G-mode, Inc.

❖フライハイトクラウディア

空の世界クラウディアと地上の世界エルディアを舞台に、友情と絆で結ばれた壮大なドラマを描く、本格RPG「フライハイトクラウディア」のシリーズ第1作目を遊べます。
©G-mode

❖タッチDEゲームパック

タッチ操作で直感的に遊べる「アーチェリー」「ボールジャンプ」「タッチシュート」の、3つのゲームをパックしたｉアプリです。

❖ロジックパズルF

ヒントの数字をもとにブロック（■）を配置して図形を作成するパズルゲームです。
- パズル問題のダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

©T-ENTAMEDIA Co.,LTD.

❖E★エブリスタアプリ

「E★エブリスタアプリ」は、ケータイ総合雑誌「E★エブリスタプレミアム」掲載作品の更新情報をリアルタイムにチェックできるｉアプリです。「E★エブリスタプレミアム」では、プロ作家や有名人が書き下ろしたコミックや小説、エッセイの新作を、有料にて読み放題でお楽しみいただけます。
- 本アプリは会員登録不要で無料にてお楽しみいただけますが、プレミアム作品本文を閲覧するには、ｉモードサイトの「E★エブリスタ」で有料会員登録を行ってください。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- 本アプリは最新情報を取得するため、ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外ではご利用になれません。
- 「E★エブリスタアプリ」に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→読み放題

❖VoiceShelf for F

オーディオブックを再生するためのアプリです。オーディオブック配信サイト「聴くベストセラー🔰耳ヨミ」に接続して、オーディオブックをダウンロードすることもできます。
- オーディオブックのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。本アプリはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。

❖ｉアバターメーカー

ｉアバターメーカーでできること

■ アバターをつくる

ｉアバターメーカーに用意されたさまざまなパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成したり、あらかじめ用意されたアバターの見本をもとに作成できます。

■ アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ絵文字®、デコメアニメ®の素材や、ｉコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。
また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムにきせかえたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。
- 初めてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリのバージョンをチェックする際、またｉアプリをバージョンアップする際には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- アバターをデコメ®素材（アニメ）やマチキャラに変換する際、また、ｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトできせかえを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。

❖iCタグリーダー

iCタグリーダーは、本アプリに対応したポスター・カード・シールなどにおサイフケータイをかざして、情報を読み取るためのｉアプリです。
読み取った情報から、URLを入力せずにサイトへアクセスしたり、電話帳にデータを保存したりできます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 本アプリを起動して、対応サービスにFOMA端末のマークをかざすと情報の読み取りができます。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iCタグリーダーの詳細については、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。
- iCタグリーダーで読み取った情報から、以下の機能を使用することができます。
  - ｉモードサイトへの接続、ｉモードメール作成、電話発信、電話帳登録、トルカ保存、画像保存、メロディ保存、テキスト表示

❖モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることもできます。さらに、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。本アプリはｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

❖おサイフケータイ Webプラグイン

「おサイフケータイ Webプラグイン」はおサイフケータイを便利にするｉアプリです。例えば、本アプリに対応したサイトから会員証やクーポン券を直接おサイフケータイに取り込んで、お店の読み取り機にかざして利用することができます。

- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- おサイフケータイ Webプラグインを利用したサービスは、おサイフケータイ対応サービス提供者により提供されます。

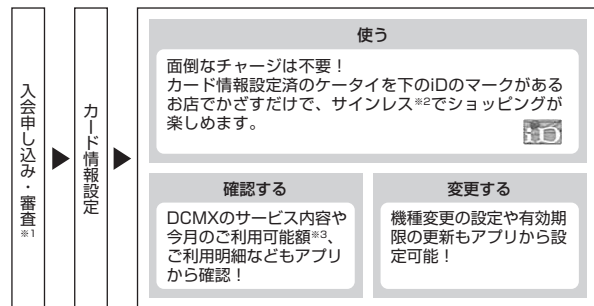
❖iD 設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD 設定アプリまたはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによってはiD 設定アプリで設定の上、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- iD 設定アプリは削除できません。ICオーナーを初期化する場合は、事前にiD 設定アプリの「設定メニュー」から「iDアプリ初期化」を行ってください。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→「iD」

サイトアクセス用
QRコード

❖DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々１万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがあります。DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用になれます。

※1　DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。

※2　暗証番号の入力が必要な場合があります。

※3　DCMX miniのみ可能です。

- DCMXの詳細については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→DCMX

サイトアクセス用QRコード

✔お知らせ

- カード情報設定が完了するまでは、ソフト一覧で「DCMX」または「CHECK!」と表示されます。
- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- ご利用時にはパケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

❖モバイルSuica登録用ｉアプリ

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用になる前に必要な初期設定を行うｉアプリです。本アプリにて初期設定を行った後、画面の指示に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

- 初めてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 本アプリは、初期設定が完了した後に削除できますが、モバイルSuicaサービスで利用していたICカード内エリアを他のサービスでご利用になるためには、ドコモショップへご来店いただきICカード内のデータを全て初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行った後にモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本アプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→モバイルSuica

❖ヘルスチェッカー

歩数、活動量、脈拍数、血圧、体組成のデータを管理するアプリです。グラフや指定日などでデータを表示したり、歩数や活動量のデータのメール自動送信や、「からだカルテ」による健康アドバイスなどが利用できます。

- 本アプリはウォーキングチェッカー／Exカウンターに対応しています。
- パルスチェッカーを利用して脈拍数を測定できます。
- ご利用になるには、まず初めにプロフィールを設定することをおすすめします。測定したデータの詳細を判定するために必要となります。また、設定していない場合は脈拍数や血圧、体重など体組成を手入力したり、からだカルテサービスを利用したりすることができません。また、次に該当する方は測定モードを「アスリート」に設定することをおすすめします。
  - 1週間に12時間以上の運動を行っている方
  - プロスポーツ選手、またはそれに準ずる方
  - 筋力トレーニングを行っている方
- ヘルスチェッカーは当日を含めて1098日分記録できます。1098日を越えると、古いものから順に消去されます。
- メールが自動送信される際は、ｉアプリが自動起動します。
- 自動起動の注意事項→P240
- からだカルテサービス、自動送信メールを利用するには別途パケット通信料がかかります。
- からだカルテサービスについての詳細は、「からだカルテ」サイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】健康/医学/病気→健康→TANITAからだカルテ

サイトアクセス用
QRコード

■ ウィジェットアプリ対応

ｉウィジェット画面で、歩行状況や活動量をすぐに確認できます。

✔お知らせ

- 本FOMA端末は医療機器ではありません。ヘルスチェッカーで表示される情報は、あくまでも目安としてご活用ください。
- からだカルテサービスをご利用の際、プロフィールに設定している身長や測定モードの情報がからだカルテサービスのサーバに送信されます。送信された情報は、からだカルテサービス以外の目的には利用いたしません。

〈パルスチェッカー使用時の注意事項〉

- 蛍光灯の下など、通常の明るさを確保できる場所で測定してください。明るすぎたり暗すぎたりすると、測定できない場合があります。
- 指の置きかたや触れる強さによっては、正しく測定できないことがあります。指を置く位置や触れる強さを変えるなど、調整を行ってください。
- 指の状態が次のような場合は、測定性能が低下することがあります。手を洗う、手を拭く、測定する指を変えるなど、指の状態に合わせて対処することで、測定性能が改善されることがあります。
  - 指が濡れていたり、汗をかいていたり、ふやけていたりする
  - 指が油や泥などで汚れている
  - 指が荒れていたり、損傷（切傷、ただれなど）を負っていたりする
- 測定するときは、歩いたり動いたりせず、静止した状態で行ってください。
- 測定後は、インカメラのレンズに付いた指紋や油脂などを、柔らかい布で拭いてください。

❖地図アプリ

「地図アプリ」について→P263

❖@Fケータイ応援団INFO

@Fケータイ応援団の最新情報や、無料で利用できる着信音や着うた®、動画などの多彩なコンテンツを提供する「millmo.jp for F」のおすすめ情報を定期的にお知らせします。

- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。本アプリはｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

❖ブックビューア　コミック体験!

「ブックビューア　コミック体験!」はセルシス、ボイジャーが提供するケータイコミックを体験できるｉアプリです。本アプリを起動後、メニュー画面からコンテンツ提供先、タイトル、話数を選択してください。さまざまなジャンルの人気コミックを簡単な操作でお楽しみいただけます。

- 体験できるコミックのタイトルについては変更される場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ご利用には、ｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

❖Start! iウィジェット

「Start! iウィジェット」は、iウィジェットの使いかたをムービーで見ることができるアプリです。また、iモードに接続して、新しいウィジェットアプリをダウンロードできるサイトへ簡単にアクセスすることもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、iモードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。

❖iWウォッチ

「iWウォッチ」は、iウィジェットにてグラフィカルな時計を楽しむことができるアプリです。時計のデザインや色を、お好みに応じて変更することができます。

❖楽オク☆アプリ

「楽オク☆アプリ」は、楽天オークションに簡単に出品できる便利なアプリです。写真撮影から説明文入力、出品設定まで、ステップを進めていくだけで簡単に出品ができ、オークションが初めてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や、写真編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 楽オク☆アプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：iMenu→オークション

サイトアクセス用
QRコード

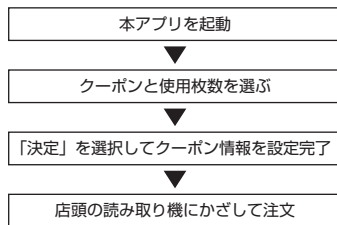
■ ウィジェットアプリ対応

楽オクのおすすめ商品や自分で出品・入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

❖マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできるほか、マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」や対象商品の購入などでスタンプがたまる「かざす会員証」としても利用できます。
「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報については、マクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  iモードサイト：iMenu→メニューリスト→【生活情報】グルメ/レシピ→マクドナルドトクする
- 「かざすクーポン」はご利用になれない店舗があります。
- 「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用になれます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

■ かざすクーポンのご利用方法

■ ウィジェットアプリ対応

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。
看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。おすすめ情報の「もっと詳しくボタン」を選択するとより詳しい情報を見ることができます。

❖今の為替と株価

「今の為替と株価」は、ｉウィジェットにて株価／指数／為替情報を簡単に見ることのできるウィジェットアプリです。
表示できる情報は、「日経平均、TOPIX、JASDAQ指数」の3指数、「アメリカドル／円、ユーロ／円、オーストラリアドル／円」などの5為替、最大13件の登録銘柄株価の約20分遅れの情報になります（表示する情報は、選択することができます）。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 初回起動時にはパケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります（本アプリはｉウィジェット画面を表示した時以降1分間毎に通信を行う為、ｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします）。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 本アプリの情報は、利用者ご本人のみに提供するもので、株式などの売買および売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

❖お天気アプリ

お天気アプリは、気象レーダーをはじめとした詳細な気象情報や目で見ることのできないスギ・ヒノキ花粉の飛散状況をキーやボタンの簡単な操作で確認できるアプリです。積算雨量やカミナリ危険度、風向風速など様々な情報を見比べることができますので、天気が気になった時から、防災目的まで、幅広くご利用になれます。

- 初めてご利用される際には、ｉアプリをダウンロードする必要があります。ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- ご利用には、ｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。

❖i Bodymo

i Bodymoは、「歩く」や「食べる」など、普段やっていることを気軽に楽しみながら続けることを応援するドコモの健康サービスです。

- お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ｉBodymoのサービス利用料のほかに、ご利用いただくコンテンツによっては別途情報料がかかる場合があります。
- 初めてご利用される際には、ｉアプリのダウンロードを行う必要があります。ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- プロフィール設定を行う際は、ｉモードパスワードが必要となります。
- i Bodymoを利用して歩数のカウントおよび歩数データの記録を行うには、ウォーキング／Exカウンター設定を「利用する」にする必要があります。→P327
- i Bodymoを利用して記録した歩数データを自動でサーバに送信するためには、ｉアプリの自動起動設定を「自動起動する」にする必要があります。→P240
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。本アプリは、ｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。
- i Bodymoでゲームを行なう際は、専用ｉアプリのダウンロードが必要です。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- i Bodymoを海外でご利用になるには、ｉモード海外利用設定が必要です。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- i Bodymoを海外でご利用の際は、i Bodymoの一部またはすべての機能がご利用になれない場合があります。
- i Bodymoを海外でご利用の際は、パケット通信料の発生を避けるため、FOMA端末でｉアプリの自動起動設定を「自動起動しない」にすることをおすすめします。
- 2in1のBモードではご利用になれません。
- i Bodymoの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

❖FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリは、測定した場所がFOMAハイスピードエリアであるかどうか、また、フェムトセルを利用できるかどうかを確認することができるアプリです。
※ フェムトセルの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。
- 初めてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。
- 海外でのご利用は有料となります。

❖ドコモ料金案内

ドコモ料金案内とは、通話料・パケット通信料など、簡易なご利用履歴が一覧やグラフで確認できるｉアプリです。

- 初めてご利用される際には、「ご利用にあたっての注意事項」を確認の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリを「自動起動」に設定することで、日々の料金データを自動で取得できます。
- 海外でのご利用は有料となります。
- ご利用履歴は概算であり、実際の請求金額とは異なる場合があります。
- ドコモ料金案内に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→お客様サポート→料金確認・診断→料金の確認・お支払い→請求内容のご確認

■ ウィジェットアプリ対応

ウィジェット対応アプリでは、通話料・パケット通信料などのご利用履歴をグラフで簡単に確認できます。

❖いつもNAVI[海外]

いつもNAVI[海外]とは、日本語で見やすい海外主要都市の地図を収録し、グルメ・イベント・ホテル検索などの豊富な観光コンテンツが検索できる海外ガイドマップアプリです。日本国内でmicroSDカードにデータをダウンロードしておけば、主な機能を通信不要で利用することができます。

- 初めてご利用される際には利用規約に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- 「いつもNAVI[海外]」に有料会員登録いただくと、海外主要都市の詳細な地図やスポット情報を見ることができるほか、トラベル会話フレーズといった便利な機能をご利用になれます。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

❖電子マネー「nanaco」

電子マネー「nanaco」はポイントが貯まるプリペイド型の電子マネーです。ｉアプリをダウンロードして入会すれば、FOMA端末でお支払いや残高・履歴確認が可能です。

- 初めてご利用される際には、会員登録を行う必要があります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 初めてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 電子マネー「nanaco」に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→電子マネー「nanaco」

❖かざす請求書

かざす請求書とは、毎月のご利用料金の情報をおサイフケータイに取得し、コンビニエンスストアでお支払いいただくためのｉアプリです。請求書が手元になくても、おサイフケータイがあればお支払いが可能です。また、支払料金の情報をｉアプリで確認ができます。

- 初めてご利用される際にはｉアプリをダウンロードする必要があります。ｉアプリの初期設定には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧画面で「」と表示されます。
- 支払料金の取得時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- かざす請求書に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→おサイフケータイ→クーポン＆会員証→かざす請求書

サイトアクセス用
QRコード

❖ビックポイント機能付きケータイ

「ビックポイント機能付きケータイ」は、おサイフケータイをビックポイントカードとしてご利用になれ、ビックカメラの店頭に設置されている読み取り機にかざすだけで、ポイントを貯めたり使ったりすることができるｉアプリです。また、現在のポイント残高をすぐに確認することもできます。

- 本アプリをご利用される前に、ｉモードサイトの「ビックカメラ.com」で会員登録を行ってください。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ビックポイント機能付きケータイに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→ビックカメラ

❖ゴールドポイントカード

「ゴールドポイントカード」は、おサイフケータイでヨドバシカメラのゴールドポイントを貯めたり、お買い物に利用したりすることができるアプリです。また、ポイント残高やゴールドポイントカード会員番号を確認することもできます。

- 本アプリをご利用になる前に、ｉモードサイトの「モバイルヨドバシ」で会員登録を行ってください。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 「ゴールドポイントカード」に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ→ヨドバシカメラ

❖モバイルAMCアプリ

「モバイルAMCアプリ」は、おサイフケータイを使ってANAの便利なサービスをご利用になるためのアプリです。搭乗口でおサイフケータイをタッチするだけでご搭乗いただける国内線「SKiPサービス」や、電子マネー「Edy」でのお支払いでマイルが貯まる「ケータイ de Edyマイル」サービスがご利用になれます。

- 「ケータイ de Edyマイル」の登録には、あらかじめ「Edy」アプリの登録が必要です。
- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意の上、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧で「」と表示されます。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 「モバイルAMCアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- 「モバイルAMCアプリ」に関する情報や「SKiPサービス」「ケータイ de Edyマイル」の詳細については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→【生活情報】乗換/地図/交通→✈飛行機/空港→ANA全日空✈

ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリ

ｉアプリをワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリに登録すると、待受画面からすばやく起動できます。

◆ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリ登録

ワンタッチ・ツータッチで起動するｉアプリを登録します。
- ワンタッチｉアプリは1件登録できます。
- ツータッチｉアプリは1つの数字キーにつき1件、最大10件登録できます。

1 MENU 3 1 ▶フォルダを選択

2 ｉアプリをタッチ▶「MENU」▶ 8 ▶ 1 または 2
- 解除する場合もそれぞれ同様の操作です。
- ワンタッチｉアプリを登録する場合は、以降の操作は不要です。

3 登録先を選択
- アイコンの番号（0～9）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用する数字キー（0～9）に対応します。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きの確認画面が表示されます。

✔お知らせ
- 待受画面で MENU 3 5 をタッチすると、ツータッチｉアプリ一覧を表示できます。一覧のサブメニューから、詳細情報の表示やツータッチｉアプリ解除ができます。

◆ワンタッチ・ツータッチでの起動

待受画面から少ないキー操作でｉアプリを起動します。

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動する

1 0 ～ 9 ▶ F4 （1秒以上）

ワンタッチでｉアプリを起動：決定（1秒以上）

ｉアプリの自動起動

指定した日時にｉアプリを自動的に起動できます。

◆自動起動設定

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリを自動起動するかを設定します。

1 MENU 3 3 2 ▶ 1 または 2

◆自動起動情報登録

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。
- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「自動起動しない」の場合は、設定できません。

1 MENU 3 1 ▶フォルダを選択▶ｉアプリをタッチ▶「MENU」▶ 5 ▶各項目を設定▶「登録」

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかを選択します。
時刻：自動起動する時刻を入力します。
繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
毎週：繰り返しを「毎週」に設定したときに曜日を設定します。
日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したときに日付を設定します。
ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかを設定します。
ｉアプリ設定1～4：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかを設定します。

✔お知らせ

- 自動起動を設定しても、次の場合は起動せず、待受画面にが表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のとき（プリインストールｉアプリを除く）やドコモUIMカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）
  - 2in1がBモード時（メール連動型ｉアプリのみ）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
  - Windows 7モードを使用中
- 「繰り返し」を変更して複数のｉアプリを同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面には表示されません。

◆ 自動起動失敗履歴

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、履歴からｉアプリ名や日時、起動失敗理由を確認します。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のが消えます。

1 MENU 3 4 1

- 履歴を削除するときは「削除」▶「はい」をタッチします。

ｉアプリコールの利用

ネットワークに接続して対戦ゲームをする際に対戦相手を招集するなど、第三者からｉアプリの起動を促すように通知する機能です。

- ｉアプリコールに対応したｉアプリで利用できます。
- ｉアプリコールの受信を一括拒否できます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

◆ ｉアプリコールの送信

ｉアプリ動作中にｉアプリコールを送信します。

1 **ｉアプリを操作してｉアプリコール送信確認画面で「はい」**

◆ ｉアプリコールの受信

ｉアプリコールを受信したときに、応答するかを操作します。

1 **ｉアプリコールを受信**

が点灯し、メール着信設定に従ってランプが点灯または点滅し、着信音が鳴って応答確認画面が表示されます。応答確認画面には、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）とｉアプリ名が表示されます。

- ｉアプリコール受信時の音量は、音量設定のメール・メッセージ着信音量に従います。
- メール着信音にｉモーションが設定されている場合は、メール着信設定のお買い上げ時の設定に従って動作します。

2 **「応答する」**

対象のｉアプリが起動します。

招集を拒否：**「拒否する」**

招集を保留：**「保留する」**

- 応答確認画面で保留にしたり、約15秒間何も操作しなかったｉアプリコールは、ｉアプリコール履歴から応答できます。ただし、有効期限が過ぎると応答できません。

✔お知らせ

- 次の場合は、応答確認画面は表示されません。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - 日付時刻を設定していないとき
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）
  - 対象のｉアプリのｉアプリコール設定が「設定しない」のとき
  - 対象のｉアプリが保存されていない、かつｉアプリコールダウンロード設定が「拒否する」のとき
  - Windows 7モードを使用中
- ｉアプリによっては、応答確認画面が表示されずに起動する場合があります。
- 対象のｉアプリが保存されていない場合は、ダウンロードまたはサイト接続の確認画面が表示されます。「はい」をタッチするとダウンロードできます。なお、別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリコールに応答すると、パケット通信料がかかる場合があります。

◆ｉアプリコール履歴

ｉアプリコールを受信したときに、履歴から応答状態や受信日時、有効期限、ｉアプリ名、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）を確認します。履歴を利用して保留中のｉアプリコールに応答できます。
- 最大30件記録されます。超過すると有効期限が切れた古いものから上書きされます。

1 MENU 3 2
- マークの意味は次のとおりです。
  保留中：保留中　確認：応答済
  拒否：拒否済　期限切れ：有効期限切れ

2 目的の操作を行う

保留中のｉアプリコールに応答：保留中の履歴を選択▶「確認する」
- 以降の操作については「ｉアプリコールの受信」操作2をご覧ください。→P241

削除：「MENU」▶1▶1または2▶「はい」
- 全件削除では認証操作が必要です。

◆ｉアプリコールダウンロード設定

ｉアプリコール受信の際、対象のｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合にダウンロードするかを設定します。

1 MENU 3 3 9▶1または2

オートGPS優先設定

ｉアプリを起動しているときに、他の機能で利用しているオートGPS機能を動作させるかを設定します。
- オートGPS機能を利用するには、あらかじめオートGPS動作設定を「ON」に設定しておく必要があります。

1 MENU 3 3 0▶1または2▶「OK」
- 「ON」に設定すると、ｉアプリによっては動作が遅くなる場合があります。

ｉアプリTo

サイトやｉモードメール、トルカのリンク項目を利用してｉアプリを起動できます。

1 サイトやｉモードメール、トルカを表示▶ｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」

✔お知らせ
- ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- メールからｉアプリToで起動する場合、部分保存したｉアプリは起動できません。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信の確認画面が表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToで起動しないように設定している場合は起動できません。→P229

ｉアプリ待受画面

待受画面に設定したｉアプリを操作できます。
- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に▣または▣がグレーで表示されます。
- ｉアプリ待受画面からのｉアプリ起動中は、ディスプレイ上部の▣または▣がオレンジで点滅します。
- ｉアプリ待受画面の設定→P89
- ソフト動作設定からのｉアプリ待受画面の設定→P229

1 ｉアプリ待受画面でCLR▶ｉアプリを操作

2 ｉアプリの操作が終わったら終話キー▶「終了する」
- ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。
- 「解除する」をタッチするとｉアプリ待受画面が解除されます。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「はい」をタッチするか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」をタッチするとｉアプリ待受画面を解除します。ただし、自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）中は、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。
- 親子モード設定（各種利用制限のｉアプリロック設定が「すべて不可」のとき）を「ON」に設定すると、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除の確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると解除され、異常終了履歴に記録されます。
- ソフト一覧からの終了操作：「MENU」▶ 7

ｉアプリの管理

ｉアプリやｉアプリのフォルダを管理します。

◆ ｉアプリのバージョンアップ

ｉアプリが更新されている場合はバージョンアップできます。

1 MENU 3 1 ▶フォルダを選択▶ｉアプリをタッチ▶「MENU」▶ 4 ▶「はい」

✔お知らせ

- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合はバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

◆ ｉアプリフォルダの管理

ｉアプリのフォルダを作成／削除したり、フォルダ名を変更したりします。

- 最大20個作成できます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除やフォルダ名の変更ができません。

1 MENU 3 1

2 目的の操作を行う

作成：「MENU」▶ 4
削除：
① フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 2 1
- フォルダ内にｉアプリが保存されている場合は、認証操作が必要です。

② 「はい」
- フォルダ内に保存されているｉアプリによっては、ｉアプリやメールフォルダなどの削除確認画面が表示されます。→P244「ｉアプリの削除」操作3

フォルダ名の変更：フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 1
並び順の変更：フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 5 または 6

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶「登録」

◆ ｉアプリの移動

保存されているｉアプリを別のフォルダに移動します。

1 MENU 3 1 ▶フォルダを選択

2 ｉアプリをタッチ▶ MENU 3 ▶ 1 ～ 3

- 選択移動では選択操作▶「移動」が必要です。

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ ｉアプリの削除

保存されているｉアプリを削除します。

- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ICカード内データも削除される場合があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除する前にｉアプリを起動または再ダウンロードして、ICカード内データを削除しておく必要があります。

1 MENU 3 1 ▶ フォルダを選択

2 ｉアプリをタッチ ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 3

- 1件削除ではタッチしたｉアプリが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

3「はい」

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダ削除の確認画面が表示されます。
  - -「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  - -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

  ただし、「はい」をタッチしても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「選択削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内データを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリの削除確認画面が表示されます。
- 地図設定、周辺検索アプリ設定で設定されたｉアプリを削除する場合は、削除の確認画面が表示されます。
- microSDカードのデータを使用するｉアプリを削除する場合は、microSDカードのデータ削除の確認画面が表示されることがあります。
  - -「はい」：microSDカードのデータも削除
  - -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

✔お知らせ

- メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P140
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

◆ ｉアプリの並べ替え

ソフト一覧の並び順を並べ替えます。

1 MENU 3 3 1 ▶ 1 ～ 5

✔お知らせ

- ソフト一覧からの操作：「MENU」▶ 9
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 使用回数にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。

◆ 異常終了履歴

エラーが発生してｉアプリ待受画面が解除されたり、ｉウィジェット画面でウィジェットアプリを続行できなくなったりしたときに、履歴からｉアプリ名と日時を確認します。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 3 4 2

- 履歴を削除するときは「削除」▶「はい」をタッチします。

ｉアプリからの機能利用

ｉアプリを利用してさまざまな機能を利用できます。

- 各機能に対応したｉアプリが必要です。
- ｉアプリによっては操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

◆ ｉアプリから電話をかける

ｉアプリから電話をかけられます。

1 電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定 ▶「発信」

発信オプション→P56

◆ ｉアプリからのカメラ機能利用

ｉアプリからカメラを利用できます。

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

◆ ｉアプリからのバーコードリーダー利用

ｉアプリからバーコードリーダーを利用できます。

1 ｉアプリを操作してバーコード（JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード）を読み取る

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存されます。

◆ ｉアプリからの赤外線通信利用

ｉアプリから赤外線通信を利用できます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信の確認画面で「はい」

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。

◆ ｉアプリからのトルカ利用

ｉアプリからトルカの保存やフォルダ内のトルカを使用／検索ができます。

〈例〉保存する

1 トルカ保存の確認画面で「はい（新規）」

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

上書き保存：**「はい（上書き）」▶フォルダを選択▶上書きするトルカを選択**

表示：**「プレビュー」**

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓・時計、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。ｉウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ（最大8個）を貼り付けることができ、ｉウィジェット画面を表示するだけで、複数のアプリを一度に楽しむことができます。さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することが可能です。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 次のｉアプリはｉウィジェット対応です。
  - ヘルスチェッカー→P235
  - @Fケータイ応援団INFO→P235
  - Start! iウィジェット→P236
  - iWウォッチ→P236
  - 地図アプリ→P263
  - 楽オク☆アプリ→P236
  - マクドナルド トクするアプリ→P236
  - 今の為替と株価→P237

ｉウィジェットの利用

◆ ｉウィジェットの起動

待受画面からｉウィジェットを起動します。
- 各画面の操作方法→P246

1 **待受画面をタッチ▶待受ランチャーの「機能」から「ｉウィジェット」**

ｉウィジェットが起動し、ｉウィジェット画面にウィジェットアプリを貼り付けている場合はｉウィジェット画面が、貼り付けていない場合はウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。
- ｉウィジェット画面を表示すると、貼り付けられているすべてのウィジェットアプリが起動します。
- 海外で利用する際、初回起動時はｉウィジェットローミング設定（→P247）の設定画面が表示されます。

2 **ウィジェットアプリを選択**

ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。
- ウィジェットアプリ一覧画面から選択すると、ウィジェットアプリが起動します。
- ウィジェットアプリをｉウィジェット画面に貼り付けるには、ウィジェットアプリ操作画面で「戻る」をタッチして、ウィジェットアプリを起動したままｉウィジェット画面を表示することで貼り付けられます。既に8つ貼り付けている場合は、他のウィジェットアプリを終了してから貼り付けてください。
- ソフト一覧からもｉウィジェットの起動やウィジェットアプリ操作画面の表示ができます。→P227

◆ ｉウィジェットの画面の見かたと操作

ｉウィジェット起動中の操作は次のとおりです。

ｉウィジェット画面

ウィジェットアプリ一覧画面

ウィジェットアプリ操作画面（例：ヘルスチェッカー）

■ ｉウィジェット画面の操作

ウィジェットアプリを選択：カーソル位置のウィジェットアプリ操作画面を表示

「アプリ一覧」：ウィジェットアプリ一覧画面を表示

「シャッフル」：シャッフルする（2つ以上貼り付けているとき）

「戻る」：待受画面に戻る

「アプリ終了」▶「YES」：カーソル位置のウィジェットアプリを終了（ｉウィジェット画面から削除）

■ ウィジェットアプリ一覧画面の操作

ウィジェットアプリを選択：ｉウィジェット画面と同様の操作

「戻る」：ウィジェットアプリを貼り付けている場合はｉウィジェット画面を表示、貼り付けていない場合は待受画面に戻る

- ウィジェットアプリ一覧画面で「全てのアプリ」をタッチすると、ｉアプリフォルダ一覧が表示されます。
  以降の操作→P227「ｉアプリの起動」操作2

■ ウィジェットアプリ操作画面の操作
• ウィジェットアプリによっては次のキー以外でも操作できる場合があります。
「戻る」※：ｉウィジェット画面を表示（ｉウィジェット画面に貼り付け）
「アプリ終了」▶「YES」：ウィジェットアプリを終了（ｉウィジェット画面に貼り付けている場合はｉウィジェット画面から削除）
※ 既に9つ起動している場合は、「戻る」▶「YES」でウィジェットアプリが終了します。

✔お知らせ
• ｉウィジェット画面やウィジェットアプリ一覧画面表示中に約3分間何も操作しないと自動的に待受画面に戻ります。
• データ一括削除を行った場合や異なるドコモUIMカードに差し替えた場合、ｉウィジェット画面の貼り付け状態はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、バージョンアップや削除、再ダウンロードしたウィジェットアプリは貼り付けられません。

◆ ｉウィジェット効果音設定

ｉウィジェットを起動するときに効果音を鳴らすかを設定します。
• 音量はｉアプリ音量に従います。

1 MENU 3 3 8 1 ▶ 1 または 2

◆ ｉウィジェットローミング設定

国際ローミング中にｉウィジェットを利用する際、通信を許可するかを設定します。

1 MENU 3 3 8 2 ▶「はい」または「いいえ」

ウィジェットアプリのダウンロード

サイトからウィジェットアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
• ダウンロードに関する注意事項は「ｉアプリのダウンロード」をご覧ください。→P226
• ダウンロードしたウィジェットアプリの利用→P246

1 **サイトを表示▶ウィジェットアプリを選択**

ウィジェットアプリがダウンロードされます。

2 **ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」**

「はい」をタッチするとウィジェットアプリが起動し、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。「いいえ」をタッチするとサイト表示に戻ります。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイを使う

トルカを使う

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※も充実しています。
おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※ おまかせロックを利用できます。→P105
※ ICカードロックを利用できます。→P252

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※よりおサイフケータイ対応iアプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応iアプリのダウンロードが不要なものもあります。
  ※ iMenu→メニューリスト→【生活情報】おサイフケータイ
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードするだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応iアプリを起動して、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認したりします。
おサイフケータイ Webプラグインに対応したおサイフケータイ対応サービスは、サイトからチャージや利用履歴の確認などのサービスを利用することができます。

- おサイフケータイ対応iアプリを初めて起動またはダウンロードすると、使用中のドコモUIMカードがICオーナーとして登録されます。それ以降はICオーナーとして登録されているドコモUIMカードを挿入していないとICカード機能を利用できません。なお、別のドコモUIMカードに差し替えて利用する場合は、ICオーナーを変更しないとICカード機能を利用できません。→P252

◆ おサイフケータイの利用手順

おサイフケータイは次の手順で利用できます。

■ ステップ1

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする→P226

お買い上げ時に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリ→P231

ダウンロードするサイトに接続：MENU ✂ 8 ▶「はい」

■ ステップ2

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してサービスの初期設定を行う

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して画面の指示に従って設定後、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を携帯電話で確認したりできます。

ICカード一覧から起動：MENU ✂ 1 ▶**おサイフケータイ対応ｉアプリを選択**

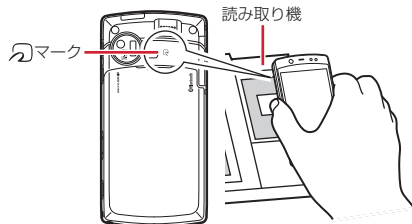
ICカード一覧（ソフト一覧）の見かた→P227

DCMXクレジットアプリの起動：MENU ✂ 2 ▶「はい」

■ ステップ3

マークを読み取り機にかざす

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したりできます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

※ パケット通信料はかかりません。

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、マークを読み取り機にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- 他の機能に切り替わった場合は、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリが中断されることがあります。動作中の機能が終了すると再開しますが、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合や、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
- 圏外にいる場合や登録データが利用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- おサイフケータイ Webプラグインに対応したサイトのチャージやクーポン書き込みページをBookmark登録しても、Bookmarkからアクセスするとご利用いただけない場合があります。
- イルミネーション設定のICカードアクセスイルミネーションが「ON」の場合は、マークを読み取り機の読み取り可能な範囲にかざすとランプが点滅します。
- FOMA端末のマークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。なお、マークはFOMA端末の中心部ではなくカメラ付近にあるため、かざす位置にご注意ください。
- 電源を切っているときや電池が切れてからも、マークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能を利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。また、電池パックを装着していても電池パックを長時間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、おサイフケータイの機能を利用できなくなる場合があります。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内データを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- マークを読み取り機にかざすとｉアプリが起動する場合があります。
- マークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

ICオーナー確認

使用しているドコモUIMカードがおサイフケータイ内のICカードのオーナー（ICオーナー）として登録されているかどうかを確認します。

1 MENU ✂ 6

- 登録されていない場合は、登録されているドコモUIMカードを取り付けるか、「ICオーナーを初期化するには」を選択してICオーナーを変更します。

❖ICオーナー変更

ICオーナーを初期化すると、ICオーナーを変更できます。初期化した後、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動またはダウンロードすると、ICオーナーとして登録されます。

- 初期化すると、iD 設定アプリはお買い上げ時の状態に戻り、iD 設定アプリ以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されます。ただし、ICカード内データが保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリは、初期化する前にｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除しておく必要があります。

1 MENU ✂ 7

2 「ICオーナー初期化」▶「はい」▶認証操作▶「はい」

ICカードロック

ICカードロックを起動して、ICカード機能を利用できないようにします。

- ICカードロックを起動すると、ICカードの利用、読み取り機からのトルカ取得、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや利用、ICオーナーの初期化、iC通信が利用できなくなります。
- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。

1 MENU ✂ 4 1 ▶認証操作▶ 1 または 2

ICカードロックを起動すると、待受画面にまたは（個別ICカードロックのとき）が表示されます。

- 待受画面でFOMA端末を開き、QWERTYキーで▶を1秒以上押して「はい」を選択しても、ICカードロックを起動できます。解除するときは、待受画面で▶を1秒以上押して認証操作を行います。

✔お知らせ

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

◆ICカードロック時動作設定

ICカードロックを起動したとき、あらかじめ指定したおサイフケータイ対応ｉアプリのICカード機能だけをロックするように設定します（個別ICカードロック）。

1 MENU ✂ 4 2

2 2 ▶おサイフケータイ対応ｉアプリを選択▶「登録」

- 選択したおサイフケータイ対応ｉアプリは、ICカード一覧（ソフト一覧）でが表示されます。→P227
- ICカード内にサービスを登録済みで、サービス利用可能なおサイフケータイ対応ｉアプリが選択対象となります。

すべてのICカード機能をロック：1

◆ICカードオートロック設定

指定した時間が経過すると、ICカードロックが自動的に起動するように設定します。

1 MENU ✂ 4 3 ▶各項目を設定▶「登録」

- 「ON」のときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れたりした場合は、指定した時間を待たずにICカードロックが起動します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にロックするまでの時間が経過した場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。

◆ 電源OFF時ICロック設定

電源を切ったとき、電源を切る前のICカードロックの状態を継続するか、すべてのICカード機能をロックするかを選択します。

1 MENU ✕ 4 5 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

◆ ICカードロック解除予約

ICカードロック中、指定した時間帯のみICカードが使えるようにします。

- 最大7件登録できます。
- 電源が入っている場合のみ動作します。

1 MENU ✕ 4 4 ▶ 認証操作

2 1 ～ 7

設定／解除：タイトルをタッチ ▶「設定」または「解除」

- 設定中は、タイトルの左に🕘が表示されます。

3 各項目を設定 ▶「登録」

時刻：ICカードロックを解除する開始時刻と終了時刻（24時を超えて翌日に設定できます）を入力します。

繰り返し：「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して「確定」をタッチします。

タイトル：全角9（半角18）文字以内で入力します。

✔お知らせ

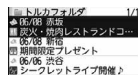
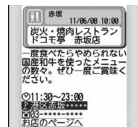
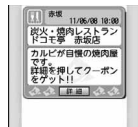
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にICカードロック解除の終了時刻になると、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。
- ICカードロック解除の時間帯はICカードロックを起動できますが、ICカードオートロック設定の自動起動はできません。

トルカ

トルカとは、FOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メール、赤外線通信／iC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。

- 取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。
- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

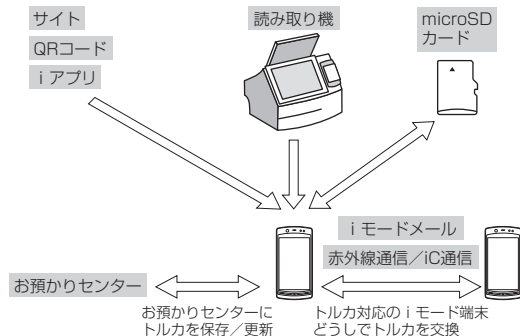
❖ トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカ一覧からトルカを選択

「詳細」をタッチして詳しい情報をダウンロード

トルカ（詳細）

トルカを取得する

- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。

❖トルカの取得手段

- 読み取り機からの取得方法は、「おサイフケータイの利用手順」のステップ3と同じです。→P251
- お預かりセンターに保存／更新→P119
- ｉモードメール添付・保存→P132、139
- サイトからダウンロード→P174
- QRコード読み取り→P206
- ｉアプリから保存→P245
- microSDカード移動／コピー→P290
- 赤外線通信／iC通信→P302、303

✔お知らせ

- 読み取り機からトルカを取得したときは、ICカードからトルカ取得、トルカ取得確認設定、自動読取機能設定、音量設定のトルカ取得音量、イルミネーション設定の着信イルミネーションのトルカ取得に従って動作します。
- 取得、ダウンロードしたトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。ただし、読み取り機から取得するとトルカ振り分け設定に従って保存されます。
- ICカードからトルカ取得の自動表示設定が「ON」のときは、読み取り機からトルカを取得すると、詳細をダウンロードするためのサイト接続確認画面が表示される場合があります。自動表示中に操作しなかった場合は、トルカは未読の状態で保存されます。
- ｉモードメール受信、サイトからダウンロード、QRコード読み取り、既読のトルカを赤外線通信／iC通信で受信して取得したトルカは既読のトルカとして保存されます。
- トルカ（詳細）はメール添付、microSDカードへ移動／コピー、赤外線送信／iC送信をすると、詳細は含まれない、または保存不可を示す画面が表示される場合があります。
- トルカによっては更新や移動／コピー、メールや赤外線などの送信ができない場合があります。
- メモリ確認→P301
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P301

トルカを表示する

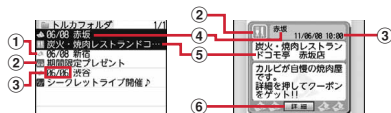
取得したトルカを表示します。トルカに詳細情報がある場合は「詳細」ボタンが表示されます。

1 MENU ✂ 3

(グレー)：トルカなし　(水色)：未読トルカなし
: 未読トルカあり　(グレー)：利用済みトルカなし
(水色)：利用済みトルカあり

2 **フォルダを選択**

すべてのトルカの表示：「全トルカ」

3 トルカを選択

① 状態マーク
　：未読　：既読
② カテゴリマーク
③ 取得日時
④ インデックス
⑤ タイトル
⑥「詳細」

トルカ（詳細）のダウンロード：トルカを選択▶「詳細」▶「はい」
- 詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。

削除：トルカをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたトルカが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」
- 全件（「利用済みトルカ」フォルダのトルカを除く）削除するときは、フォルダ一覧で「全トルカ」▶「MENU」▶ 2 3 ▶認証操作を行い、「はい」をタッチします。

「利用済みトルカ」フォルダのトルカの削除：トルカをタッチ▶「削除」▶「はい」

他のフォルダに移動：トルカをタッチ▶「MENU」▶ 4 1 ▶ 1 ～ 3 ▶移動先のフォルダを選択▶「はい」
- 選択移動では選択操作▶「移動」が必要です。
- 「利用済みトルカ」フォルダには移動できません。

ソート：「MENU」▶ 5 2 ▶ 1 ～ 5
- 一時的に並べ替えます。全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」「インデックス順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- 「かな順」を選択すると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

メールに添付：トルカをタッチ▶「✉作成」
- ファイル添付時の動作→P133「ファイルの添付」操作1

❖トルカ（詳細）表示中の操作

トルカ（詳細）表示中は、次の操作ができます。

表示の更新：「MENU」▶ 1 ▶「はい」

電話番号やメールアドレスの電話帳登録：電話番号やメールアドレスをタッチ▶「MENU」▶ 4 ▶ 1 または 2 ▶ 1 または 2
電話帳登録→P72
- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

URLのブックマーク登録：URLをタッチ▶「MENU」▶ 4 3 ▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」▶登録先フォルダを選択
ブックマーク登録→P170

画像の保存：「MENU」▶ 4 ▶ 4 または 5 ▶画像を選択▶各項目を設定▶「保存」▶保存先を選択
画像の保存→P174
- 背景画像を保存する場合は、画像の選択は不要です。

Flash画像やGIFアニメーションの再生：「MENU」▶ 7

✔お知らせ
- トルカによっては有効期限が設定されている場合があります。期限が過ぎると、トルカ一覧の背景色が異なる色で表示されます。
- トルカに電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- トルカ一覧とトルカ（詳細）に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります（検索やトルカ振り分け設定の条件「ジャンル」のカテゴリマークには含まれません）。
- Flash画像がトルカ（詳細）に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは表示できません。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

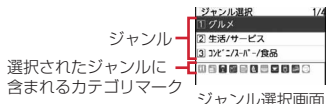
◆ トルカの検索

取得したトルカを検索します。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは検索できません。

〈例〉ジャンルで検索する

1 MENU ✂ 3 ▶「MENU」▶ 1 ▶ 検索条件欄を選択

2 1 ▶ ジャンル欄を選択 ▶ 1 ～ 5

ジャンル選択画面

タイトルで検索：2 ▶ 検索文字列欄にタイトルの一部を入力（全角10（半角21）文字以内）

インデックスで検索：3 ▶ 検索文字列欄にインデックスの一部を入力（全角7（半角15）文字以内）

3 「検索」
- フォルダ内を検索する場合は「MENU」▶ 2 をタッチします。

◆ トルカフォルダの作成／削除

トルカのフォルダを作成したり削除したりします。
- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。
- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダは、フォルダ名や並び順を変更、削除できません。

〈例〉フォルダを作成する

1 MENU ✂ 3

2 「MENU」▶ 2

フォルダ名の変更：フォルダをタッチ ▶「MENU」▶ 4 ▶ 操作3に進む
並び順の変更：フォルダをタッチ ▶「MENU」▶ 8 または 9
削除：フォルダをタッチ ▶「MENU」▶ 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶「登録」

◆ トルカの件数確認

取得したトルカの件数を確認します。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは、保存件数に含まれません。

1 MENU ✂ 3 ▶ トルカフォルダを選択 ▶「MENU」▶ 6
- フォルダ内の件数の確認をする場合は「MENU」▶ 5 1 をタッチします。

トルカの機能を設定する

トルカに関する機能を設定します。

◆ ICカードからトルカ取得

読み取り機でのトルカの取得や、読み取り機からトルカを取得したときの動作を設定します。

1 MENU ✂ 5 2 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

トルカ取得設定：「ON」にすると、トルカを読み取り機から取得します。
- 「OFF」にするとiC通信でのトルカ取得もできなくなります。

重複チェック設定：「ON」にすると、保存しているトルカと重複する場合は新たにトルカを取得しません。

自動振り分け設定：「ON」にすると、トルカ振り分け設定に従って振り分けます。

自動表示設定：「ON」にすると、待受画面表示中の場合のみ約15秒間自動的に表示されます。

◆ トルカ取得確認設定

読み取り機からトルカを取得したときの、取得完了をお知らせするランプや音量の設定を行います。
- 本設定は、音量設定のトルカ取得音量とイルミネーション設定の着信イルミネーションのトルカ取得にも反映されます。

1 MENU ✂ 5 1 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

イルミネーション設定：取得が完了したときにランプを点滅させるかどうかを設定します。

トルカ取得音量：取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。

◆ トルカの自動読取機能設定

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動的に読み取りさせるかどうかを設定します。

- 「ON」にすると、利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。トルカによっては、「ON」にしないと利用できない場合があります。
- 「利用済みトルカ」フォルダには、トルカが最大20件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU ✂ 5 3 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 本機能が「OFF」のときに読み取り機にFOMA端末をかざすと、自動読取機能利用の確認画面や自動読取機能無効を示す画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「ON」にしてください。

◆ トルカ振り分け設定

読み取り機から取得したトルカを、指定したフォルダに振り分ける条件を設定します。

- 最大20件登録できます。
- 本機能を実行するには、ICカードからトルカ取得の自動振り分け設定を「ON」にする必要があります。
- 「利用済みトルカ」フォルダは振り分け先フォルダに指定できません。

〈例〉ジャンルで振り分ける

1 MENU ✂ 5 4

トルカ振り分け一覧が表示されます。登録済みの振り分け条件は、優先順位の高い順に表示されます。

：ジャンル　TITLE：タイトル　INDEX：インデックス　表示なし：条件なし

2 「追加」▶振り分け条件欄を選択

登録済みの振り分け条件の確認：振り分け条件を選択
登録済みの振り分け条件の変更：振り分け条件をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶振り分け条件欄を選択▶操作3に進む
登録済みの振り分け条件の削除：振り分け条件をタッチ▶「MENU」▶ 3 または 4 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチした振り分け条件が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

優先順位の変更：振り分け条件をタッチ▶「MENU」▶ 5 ▶操作5に進む

3 1 ▶ジャンル欄を選択▶ 1 〜 5

ジャンル選択画面→P256

タイトルで振り分け：2 ▶振り分け条件文字列欄にタイトルの一部を入力（全角10（半角21）文字以内）
インデックスで振り分け：3 ▶振り分け条件文字列欄にインデックスの一部を入力（全角7（半角15）文字以内）
条件なしで振り分け：4

4 振り分け先フォルダ欄を選択▶フォルダを選択▶「次へ」

5 優先順位を選択

選択した行の上に振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は「最後に追加する」を選択します（登録済みの条件を変更するときは「最後に移動する」と表示されます）。

地図・GPS機能

地図・GPS機能のご利用について

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

◆ 海外での地図・GPS機能利用

- 海外では位置提供、現在地通知、オートGPS機能はご利用いただけません。
- 海外の3G/GPRSネットワーク圏内で現在地確認ができます。
- ｉモード海外利用設定が必要です。
  海外でのｉモード利用について→P367
- 日付・時刻を正しく設定しておいてください。
  日付時刻設定→P47
- 海外で位置提供設定のサービス利用設定サイトに接続した場合、接続はされますがエラー画面が表示され、利用できません。その場合でもパケット通信料がかかります。
- 各国・地域の法制度等により、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 地図を見る

- 操作方法→P261
- 地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。

■ 現在地確認

- 操作方法→P261
- 現在地確認の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。
- 海外では測位途中の位置情報を利用できません。
- 測位に失敗した場合、表示される画面から近隣の都市（地域、国、都市の順）を選択することで測位できる場合があります。
- 測位後の位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択すると地図が表示されます。ただし、場所によっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。→P262

■ 現在地確認後動作設定

- 操作方法→P263
- 「地図を見る」を設定した場合、現在地確認をすると地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択して地図を表示します。

■ GPS対応ｉアプリ
- 操作方法→P263
- 利用するアプリによっては地図が提供されていない場合や、正しく表示されない場合がありますが、パケット通信料がかかります。
- 「地図アプリ」は海外ではご利用いただけません。

■ 位置履歴／オートGPS履歴
- 操作方法→P268
- 海外で現在地確認をすると位置履歴にはのマークが表示されます。ただし、圏外で測位した場合はが表示されます。
- 位置履歴、オートGPS履歴からの位置情報利用メニューで「地図を見る」を選択すると、地図の閲覧方法を選択する画面が表示されます。「ｉモードサイト」または「ｉアプリ」を選択して地図を表示します。

地図

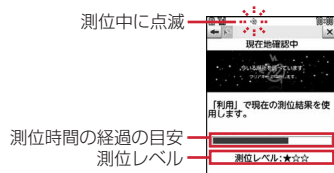
地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示します。
- お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されており、現在地や指定した場所の地図を見ることができます。→P263

1 MENU 6 7 1
- 地図設定の地図起動時動作設定が「測位する」の場合は、現在地を測位してから地図を表示します。
- GPS対応ｉアプリが設定されていない場合は、地図設定の画面が表示されます。

現在地確認

自分のいる場所を測位して確認します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、現在地情報をメールで送信したりすることもできます。
- 現在地確認の測位をした際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 位置提供または現在地通知での測位中は測位できません。
- 圏外でも見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。

1 MENU 6 7 6

測位が開始されます。

- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。
  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）
  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）
  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）
  測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 測位中にCLRまたはを押すと、測位を中断します。
- 測位中のガイド表示領域に「利用」と表示された場合は「利用」をタッチすると、その時点までの位置情報を利用できます。

2 **測位終了後の位置情報利用メニューから機能を選択**

位置情報利用メニュー→P262
- 「リトライ」をタッチすると、測位モードの設定に関わらず品質重視モードでもう一度測位します。

✔お知らせ

- 測位に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。「はい」を選択すると測位を続けますが、測位には時間がかかります。

◆ 位置情報の利用について

■ 位置情報利用メニュー

現在地確認を行った後や位置履歴、オートGPS履歴のサブメニューから「位置情報利用」を選択したとき、画像表示のサブメニューから「情報確認」→「位置情報」→「位置情報利用」を選択したとき、電話帳やプロフィール情報の詳細画面で位置情報を選択したときに表示されます。

1 メニュー画面で 1 ～ 7

地図を見る： 1

地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動し、位置情報を利用して地図を表示します。

GPS対応ｉアプリを利用： 2 ▶ｉアプリを選択

ｉアプリが起動します。

位置情報をメールに貼り付け： 3

メール本文にURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。

- 現在地確認や位置履歴、オートGPS履歴からメール作成画面を表示したときは、題名欄に「位置メール」と入力されます。
- メールに貼り付けた位置情報URLは、ｉモード対応端末でのみ表示できます。

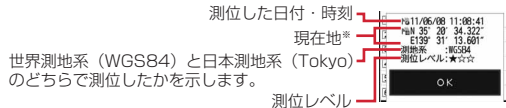
電話帳に登録： 4 または 5

電話帳登録→P72

- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

画像に付加： 6 ▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

位置情報を表示： 7

次の画面が表示されます。

※ 度（°）、分（′）、秒（″）で表示されます。「N」は北緯、「S」は南緯、「E」は東経、「W」は西経を示します。

■ 位置情報貼り付け／付加／送信メニュー

次の場合に表示され、各項目の位置情報を貼り付け／付加／送信します。

位置情報貼り付けメニュー：メール本文や署名編集の入力中に「MENU」→「定型文・パスワード引用」→「位置情報貼り付け」を選択したとき

位置情報付加メニュー：FOMA端末電話帳の新規登録画面や編集画面、プロフィール編集画面で「位置情報」を選択したとき、画像表示中に「MENU」→「情報確認」→「位置情報」→「位置情報付加」を選択したとき、静止画撮影後（自動保存をしない設定の場合）の画面で「MENU」→「位置情報付加」を選択したとき

位置情報送信メニュー：ｉモードやトルカなどで位置情報送信用のリンク項目を選択したとき

1 位置情報貼り付け／付加／送信メニューで 1 ～ 6

現在地確認の位置情報を利用： 1 ▶現在地確認を行った後の確認画面で「はい」

位置履歴の位置情報を利用： 2 ▶位置履歴を選択▶「はい」

オートGPS履歴の位置情報を利用： 3 ▶オートGPS履歴を選択▶「はい」

電話帳の位置情報を利用： 4 ▶位置情報が登録されたFOMA端末電話帳を選択▶「はい」

プロフィール情報の位置情報を利用： 5 ▶認証操作▶「はい」

画像に登録された位置情報を利用： 6 ▶フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

◆ 現在地確認後動作設定

待受画面でFOMA端末を開き、QWERTYキーの[Q]を1秒以上押す操作（セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態）を行って現在地確認を起動したとき、現在地確認後の動作を設定します。

- セレクトメニューの設定を変更し、別のキー（第1階層）に現在地確認を登録した場合にも有効です。

1 MENU 6 7 9 2 1 ▶ 1 ～ 6

地図を見る：地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動し、測位した位置情報を利用して地図を表示します。

地図・GPSアプリを利用：GPS対応ｉアプリの一覧を表示します。

メール貼り付け：題名欄に「位置メール」、メール本文にURL化した位置情報が入力されたメール作成画面を表示します。

電話帳登録：「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」を選択する画面を表示します。位置情報が設定された電話帳の新規登録か、登録済みの電話帳への位置情報の更新ができます。

画像に付加：画像フォルダ一覧を表示します。測位した位置情報を画像に付加できます。

測位ごとに確認：測位レベルと位置情報利用メニューを表示します。→P262

GPS対応ｉアプリ

地図・GPS機能に対応したｉアプリを起動します。

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの「位置情報利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。
- お買い上げ時には、GPS対応ｉアプリとして「地図アプリ」「モバイルGoogleマップ」が登録されています。

1 MENU 6 7 5 ▶ **起動するGPS対応ｉアプリを選択**

- GPS対応ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

◆ 地図アプリ

「地図アプリ」は、位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができるドコモ地図ナビサービスのｉアプリです。ドライブのときに便利な情報や、災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、オートGPS機能を利用すれば、自分の居場所に応じた便利な情報を受信することができます。

- 海外では本アプリはご利用になれません。ただし、アプリのダウンロードやバージョンアップは可能です。
- ご利用時には、別途パケット通信料がかかります。本アプリをご利用の場合は、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- 本アプリを削除した場合、ｉMenu→「地図」からダウンロードできます。
- 地図、周辺情報、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- 自動車、バイク、自転車などの運転中は、大変危険ですので、携帯電話の操作をしないでください。
- 走行中は、必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。
- オートGPS機能を利用する場合は、本アプリを起動していない場合でもパケット通信料がかかります。
- 本アプリは電子コンパスに対応しています。

❖サービス利用料金について

本アプリの提供サービスは、以下に分類されます。

■ **無料機能**

- 地図表示、周辺情報の検索ができます。グルメクーポンの検索もできます。
- 自動的にGPS機能で測位した現在地情報に応じて、観光情報やグルメ情報など便利な情報をメッセージRで受信することができます。

■ **有料機能**

ドコモ地図ナビの有料機能をお使いの場合は、お申し込みとドコモ地図ナビ月額使用料が必要です。
本サービスを初めてお申し込みいただいた方は初月無料でご利用いただけます。

- 車・電車・徒歩を含めた総合的なナビゲーションができます。渋滞情報を考慮したルート検索も可能です。
- 電車の乗換案内や、時刻表の表示が可能です。
- お気に入りの場所を登録することができます（5件までは無料）。また登録した地点は、ｉMenu地図、契約者向けサイト、PCサイトなどで共有することができます。
- 過去にGPS機能で測位した場所を、市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示する訪れた街機能が利用できます。
- 災害時に役立つ施設の検索が可能です。また、災害用地図アプリという、通信不要のｉアプリを利用できます。自宅周辺などのエリアの災害用地図をあらかじめダウンロードしておけば、いざという場合に役立ちます。

位置提供

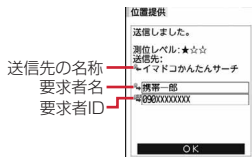
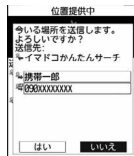
位置提供に対応したサービスで、設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置提供に対応したサービスを利用するには、位置提供可否設定を「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」に設定する必要があります。また、ｉモードから、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「その他サービス設定・確認」にて、位置情報利用設定が必要な場合があります。

◆位置提供の要求があると

〈例〉ｉモードからの位置情報利用設定を「許可」に設定しているとき

位置提供が開始されます。が点滅し、ランプが点灯し、測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 位置提供を中止する場合はCLRまたはを押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。

- 要求者名は、要求者IDが電話帳と一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、要求者IDとプロフィール情報が一致した場合、要求者名は表示されません。
- 要求者IDは表示されない場合があります。
- ｉモードからの位置情報利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、次の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると位置提供が開始されます。

✔お知らせ

- 位置情報の送信には利用料がかかりません。
- 現在地確認または現在地通知での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中、iアプリでパケット通信中、赤外線通信／iC通信中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。
- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったときに、iモードからの位置情報利用設定が「毎回確認」の場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、測位鳴動音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
- 2in1利用時は、2in1のモードに関わらずAナンバーに対する位置提供の要求があったときに利用できます。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  - 要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。測位終了後には、精度の高い測位結果が相手に通知されます。
  - 位置提供の確認画面で「はい」を選択した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

◆ 位置提供可否設定

相手から位置情報を提供するように要求があったときに、位置情報を提供するかを設定します。

- 本設定は、初期設定でも設定できます。→P47

1 MENU 6 7 9 4 1 ▶ 認証操作

2 1 または 3 ▶「いいえ」

- 「位置提供ON」に設定すると、位置提供を許可します。操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 「電話帳登録外拒否」に設定すると、位置提供を許可し、さらに電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求を自動的に拒否します。

位置提供や電話帳登録外拒否の解除： 2

許可期間の設定： 1 または 3 ▶「はい」▶ 各項目を設定 ▶「登録」

開始時間：位置提供を開始する時間を設定します。

終了時間：位置提供を終了する時間を設定します。

- 24時を超えて翌日に設定できます。

繰り返し：設定時間の繰り返しの動作を設定します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、位置提供を行う曜日を選択して「確定」をタッチします。

有効期間：位置提供を行う期間を設定します。「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定すると、次の項目を設定できます。

開始日：位置提供を開始する日を設定します。

終了日：位置提供を終了する日を設定します。

- 「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」を設定すると、ディスプレイ上部にGPS（青）が表示されます。許可期間が有効期間外の場合は、GPS（グレー）が表示されます。また、オートGPS機能起動中のときは、GPS（青）が、許可期間外の場合はGPS（グレー）が表示されます。

❖ 許可期間設定を設定したときの位置提供の動作について

許可期間設定を設定したときの、位置情報を提供する期間は次のようになります。

- 位置提供が行われる期間欄には、2011年6月8日の9時00分に許可期間設定を行った場合に位置情報を提供する期間を、西暦を省略して記載しています。
- 繰り返しを「曜日指定」にした場合は、位置提供が行われる期間欄に記載された期間のうち、指定した曜日のみ動作します。

■ 開始時間を現在時刻より後の時間に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「18：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	―	06/08 10：00-18：00
毎日または曜日指定	なし	06/08以降 10：00-18：00
	開始日：2011/06/01	06/08以降 10：00-18：00
	開始日：2011/07/01	07/01以降 10：00-18：00
	開始日：2011/06/01 終了日：2011/06/30	06/08-06/30 10：00-18：00
	開始日：2011/07/01 終了日：2011/07/31	07/01-07/31 10：00-18：00

■ 開始時間を現在時刻より前、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「02：00」

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
なし	－	06/08 09：00-06/09 02：00
毎日または曜日指定	なし	06/08 09：00-06/09 02：00 06/09以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2011/06/01	06/08 09：00-06/09 02：00 06/09以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2011/07/01	07/01以降 08：00-翌日02：00
	開始日：2011/06/01 終了日：2011/06/30	06/08 09：00-06/09 02：00 06/09-06/30 08：00-翌日02：00 (07/01 02：00まで)
	開始日：2011/07/01 終了日：2011/07/31	07/01-07/31 08：00-翌日02：00 (08/01 02：00まで)

◆ 位置提供のサービス利用設定

各GPSサービスの位置提供に必要な設定を行います。

1 MENU 6 7 9 4 3

- 以降の操作については、各サービス提供者にお問い合わせください。

◆ 位置提供のサービス利用／接続設定

GPSサービス利用設定サイトの接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 MENU 6 7 9 4 4 ▶各項目を設定▶「登録」

接続先：接続先を選択します。

- 「ユーザ設定」を選択すると、次の項目を設定できます。

ユーザ設定接続先：接続先を半角99文字以内で入力します。

ユーザ設定初期画面URL：表示するURLを半角100文字以内で入力します。

現在地通知

現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知は利用料がかかります。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先を入力しての通知はできません。

〈例〉通知先を入力して通知する

1 MENU 6 7 8

2 2 ▶通知先IDを入力（半角12文字以内）▶「確定」

測位中はが点滅し、ランプが点灯します。通知が完了すると測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 場所と電話番号を送信する旨のメッセージ表示中にを押すか、測位中にCLRまたはを押すと通知を中断します。
- 測位を中断しても、タイミングによっては位置情報が通知される場合があります。

登録した通知先への通知：1 ▶ 1 ～ 5 ▶「選択」

3 送信結果を確認▶「OK」

❖ 現在地通知先登録

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択できます。また、登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信したとき、現在地を通知するようにも設定できます。

- 通知先は最大5件登録できます。
- ドコモUIMカードを差し込んでいない場合は、通知先の登録、編集、削除はできません。

1 MENU 6 7 9 3 1 ▶「〈新しい通知先〉」

- 登録済みの通知先を確認するときは、確認する通知先を選択します。続けて「編集」をタッチすると編集できます。

削除：通知先をタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチした通知先が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。
- サブメニューから、電話帳登録や赤外線送信、iC送信、microSDカードへのコピーなどもできます。

2 各項目を設定▶「登録」

- サブメニューから「電話帳引用」を選択すると、電話帳から通知先名と電話番号を引用できます。

通知先名：相手の名前を全角16（半角32）文字以内で入力します。

通知先ID：契約したサービス提供者から付与される番号を半角12文字以内で入力します。

- 数字、「#」「＊」を入力できます。

電話番号：相手の電話番号を半角26文字以内で入力します。

- 数字、「P」「T」「+」「#」「＊」を入力できます。入力すると、発信時通知設定が設定できます。

発信時通知設定：登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかを設定します。

- 「する」に設定すると、発信時に現在地を通知します。
- 「発信時確認」に設定すると、発信時に現在地を通知するかの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 現在地通知先一覧で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。
  - 発信者番号を通知しないで発信したとき
  - 相手が話し中や圏外などのため通話できないとき
- 2in1利用時は、2in1のモードに関わらずAナンバーで通知します。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、通知先を保存できます。→P118

オートGPS

オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況をもとに定期的（おおむね5分に1回）に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報や、ウォーキング／Exカウンターで計測した情報を自動送信します。お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報をお知らせするサービスなど、さまざまなサービスをご利用いただけます。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を「利用する」に設定してください。
- オートGPSサービス情報は最大5つのｉアプリから設定できます。
- オートGPS動作設定が「ON」のときオートGPSサービス情報を設定すると、オートGPS機能起動中になり が点滅し現在地を測位します。測位が終了するとディスプレイ上部には が表示されます。位置提供設定中のときは、 （青）が、許可期間外の場合は （グレー）が表示されます。
- 次の場合、オートGPS機能を利用できません。
  - オールロック中、パーソナルデータロック中、セルフモード中、おまかせロック中
  - 日付・時刻が設定されていないとき
  - ドコモUIMカードを取り付けていないとき
  - ｉモード未契約のとき
  - 接続先設定でドコモのｉモード対応FOMA端末の接続先を変更したとき
  - 低電力時動作設定で「停止する」に設定していた場合で、電池残量が少なくなったとき

✔お知らせ

- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
- お客様のご利用状況によっては、定期的に通信を行うことにより、FOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

◆ ドコモ提供サービス設定

FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動送信するかを設定します。
- ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスと連動したオートGPSのサービスを受けることができます。
- 各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要です。

1 MENU 6 7 0 1

2 「利用する」▶「OK」

解除：「利用しない」▶「はい」

◆ オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかを設定します。

1 MENU 6 7 0 2 ▶ 1 または 2

- 「OFF」から「ON」にすると、フル省電力モードは解除されます。

✔お知らせ
- 本設定が「ON」でも、オートGPSサービス情報を設定していない場合は、オートGPS機能は動作せず、位置情報は送信されません。
- オートGPS機能起動中に、画面オフロックを解除するときの認証画面で「測位停止」▶「はい」をタッチするとオートGPS機能を一時停止することができます。また、画面オフロックを解除するときは、自動的にオートGPS機能を再開します。

◆ 設定サービス一覧

オートGPSサービス情報を設定しているｉアプリ名（サービス名）や利用状況を一覧で表示します。また、一覧からオートGPSサービス情報を解除することもできます。

1 MENU 6 7 0 3

設定サービス一覧が表示されます。
- ｉアプリ名（サービス名）の下には「動作中」または「停止中」と表示され、利用状況を確認できます。オートGPS機能を利用できない場合や、オートGPS動作設定で「OFF」に設定した場合は、「停止中」と表示されます。

解除：ｉアプリ名（サービス名）をタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件解除ではタッチしたオートGPSサービス情報が解除されます。
- 選択解除では選択操作▶「確定」が、全件削除では認証操作が必要です。

✔お知らせ
- オートGPSサービス情報が設定されているｉアプリを削除した場合、設定されているオートGPSサービス情報も解除されます。

◆ 低電力時動作設定

低電力時（電池残量が少なくなったとき）にオートGPS機能を停止し、電池の消費を抑えるかを設定します。

1 MENU 6 7 0 5 ▶ 1 または 2 ▶「OK」

位置履歴／オートGPS履歴

現在地確認、位置提供、現在地通知、オートGPSのいずれかの機能で測位した履歴を表示します。履歴の位置情報を利用して、位置情報を電話帳に登録したり、位置情報URLが入力されたメールを作成したりできます。
- 位置履歴は最大50件、オートGPS履歴は最大100件記録されます。超過すると、古いものから上書きされます。

〈例〉位置履歴を表示する

1 MENU 6 7

2 7

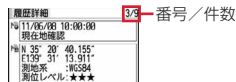
オートGPS履歴の表示：0 4
- マークの意味は次のとおりです。
  ：現在地確認　／（グレー）：位置提供／測位失敗
  ／（グレー）：現在地通知／測位失敗　：オートGPS

3 表示する履歴を選択

位置情報の利用：履歴をタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶位置情報利用メニューから機能を選択

位置情報利用メニュー→P262

削除：履歴をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチした履歴が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

❖履歴詳細画面の見かた

現在地確認の位置履歴詳細画面

: 測位した日時と機能
: 位置提供の送信先の名称／現在地通知の通知先名
: 現在地通知の通知先ID　: 位置情報　: 位置提供の要求者名
: 位置提供の要求者ID
: オートGPSの送信先サービス名／ｉアプリ名、送信日時

- サブメニューから、位置情報利用メニューを表示して位置情報を利用したり、履歴を削除したりできます。位置提供の履歴に要求者IDの電話番号またはメールアドレスの情報があるときは、電話帳登録ができます。

✔お知らせ

- 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴から、位置情報の利用はできません。
- 位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの位置情報は表示されません。
- 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状況によりサービス提供者に送信されていない場合があります。
- 位置提供の要求者名は、要求者IDが電話帳と一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。
- 位置履歴に記録された位置情報は、電波状況などにより位置提供先や現在地通知先に送信された位置情報とは異なる場合があります。

地図設定

地図の機能で利用するｉアプリと起動時の動作を設定します。

◆地図選択

地図の機能で利用するｉアプリを設定します。

1 MENU 6 7 9 1 1 ▶ｉアプリを選択▶「OK」

グラフィカル表示

- マークの意味は次のとおりです。
  ／: 地図を見るｉアプリに設定可／設定中
  : ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
  : 2in1がBモードのため起動不可
  : 個別ICカードロックに指定中
  : おサイフケータイ対応ｉアプリ
  : 未設定状態のおサイフケータイ対応ｉアプリ
  : GPS対応ｉアプリ
  : メール連動型ｉアプリ　: ｉアプリDX
  (オレンジ): ｉアプリ
  ／／: ｉモードサイトからｉアプリを探す→P226
- 「切替」をタッチするたびにグラフィカル表示→リスト表示→サムネイル表示の順に表示が切り替わります。

◆地図起動時動作設定

地図の機能で利用するｉアプリ起動時に、現在地を測位してから起動するかを設定します。

1 MENU 6 7 9 1 2 ▶ 1 または 2

GPSの設定

各GPS機能で測位する際のモードや動作を設定します。

◆測位モード設定

各GPS機能で測位する際のモードを設定します。
- 「標準モード」は短い時間で測位することを優先します。
- 「品質重視モード」は時間をかけて測位します。その結果、「標準モード」より精度が上がる場合があります。
- オートGPS機能で測位する際のモードは設定できません。

1 MENU 6 7 9

2 目的の操作を行う

現在地確認の測位モード設定：2 2 ▶ 1 または 2
現在地通知の測位モード設定：3 2 ▶ 1 または 2
位置提供の測位モード設定：4 2 ▶ 1 または 2

◆測位動作設定

各GPS機能で測位する際の動作を設定します。

1 MENU 6 7 9

2 目的の操作を行う

現在地確認の動作設定：2 3 ▶各項目を設定▶「登録」
現在地通知の動作設定：3 3 ▶各項目を設定▶「登録」
位置提供／許可の動作設定：4 5 1 ▶各項目を設定▶「登録」
位置提供／毎回確認の動作設定：4 5 2 ▶各項目を設定▶「登録」
- 次の各項目が設定できます。

鳴動音選択：メロディを鳴らすかを設定します。「メロディ」に設定したときは、メロディを選択します。
バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。
鳴動時間（秒）：0～30秒の範囲で設定します。位置提供／毎回確認の場合は0～20秒の範囲で設定します。
イルミネーション設定：ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認の場合は「OFF」を選択できません。

✔お知らせ
- 現在地確認で、電波の状態などにより測位し直したり、リトライしたりしたときには、ランプの点灯・点滅のみ動作します。

地図・GPSサービス

ドコモが提供する位置情報サービスのサイトに接続します。

- 各サービスについてはドコモのホームページをご覧ください。
- イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチのご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。

◆ イマドコサーチ

イマドコサーチのサイトに接続します。イマドコサーチを利用すると、事前に登録した相手の位置情報を地図で確認することができます。

1 MENU 6 7 2 ▶「はい」

◆ イマドコかんたんサーチ

イマドコかんたんサーチのサイトに接続します。イマドコかんたんサーチを利用すると、探したい相手の電話番号を入力し、相手の位置情報を地図で確認することができます。

1 MENU 6 7 3 ▶「はい」

◆ ｉエリアー周辺情報ー

「ｉエリアー周辺情報ー」のサイトに接続します。「ｉエリアー周辺情報ー」を利用すると、自分のいる場所の地図や周辺情報を確認することができます。

1 MENU 6 7 4 ▶「はい」

データ管理

データBOX

データは種類により次のフォルダに保存されます。

◆ フォルダについて

■ マイピクチャ

カメラ：カメラで撮影した画像、動画／ｉモーションやPDFデータから切り出した画像

ｉモード：サイトやホームページ、メール、ｉアプリから取得した画像、ミュージックプレーヤーで保存した画像

デコメピクチャ：お買い上げ時に登録されている画像、サイトやホームページ、メール、ｉアプリから取得した画像、バーコードリーダーで読み取った画像

デコメ絵文字：お買い上げ時に登録されている画像、サイトなどから取得したデコメ絵文字®

- 画像は種類別に分類されています。
- デコメ絵文字®の規格（画像サイズが20×20、ファイルサイズが90Kバイト以内、メール添付やFOMA端末外への出力可、JPEGまたはGIF形式）に該当する画像を取得すると、このフォルダに保存されます。規格に該当しない画像は保存できません。

アイテム：お買い上げ時に登録されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレームやスタンプ用の画像

プリインストール：お買い上げ時に登録されている画像

データ交換：バーコードリーダーで読み取った画像、microSDカードや外部機器から取り込んだ画像、赤外線通信／iC通信で取得した画像

自動お預かり：ケータイデータお預かりサービスを利用して、自動でお預かりセンターに保存する画像

- ケータイデータお預かりサービス→P118

マイアルバム：他のフォルダから移動した画像

- アルバムを追加すると表示されます。→P296
- シークレット属性を設定した場合は[icon]と表示されます。

ｉモードで探す：ｉモードサイトから画像を探す→P174

■ ミュージック

着うたフル®などの音楽データが保存されます。

→P216「ミュージックプレーヤーの画面の見かた」

■ Music&Videoチャネル

→P213「データBOXからのMusic&Videoチャネル操作」

■ ｉモーション／ムービー

プレイリスト：プレイリスト→P282

カメラ：カメラで撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声、動画メモ

ｉモード：サイトやメールから取得したｉモーション、ｉモーションや音楽データから切り出したｉモーション、microSDカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション

プリインストール：お買い上げ時に登録されている動画

データ交換：microSDカードや外部機器から取り込んだ動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーションを除く）

マイアルバム：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション

- アルバムを追加すると表示されます。→P296
- シークレット属性を設定した場合は[icon]と表示されます。

ｉモードで探す：ｉモードサイトからｉモーションを探す→P184

■ メロディ

ｉモード：サイトやメールから取得した、着信音に設定できるメロディ

プリインストール：お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P409

メール添付メロディ：お買い上げ時に登録されているメール添付用メロディ→P409

データ交換：バーコードリーダーで読み取ったメロディ、microSDカードや外部機器から取り込んだメロディ、赤外線通信／iC通信で取得したメロディ

マイアルバム：他のフォルダから移動したメロディ

- アルバムを追加すると表示されます。→P296

ｉモードで探す：ｉモードサイトからメロディを探す→P174

■ マイドキュメント

ｉモード：サイトやメールから取得したPDFデータ

プリインストール：お買い上げ時に登録されているPDFデータ

データ交換：microSDカードや外部機器から取り込んだPDFデータ

マイフォルダ：他のフォルダから移動したPDFデータ

- フォルダを追加すると表示されます。→P296
- シークレット属性を設定した場合は[icon]と表示されます。

■ きせかえツール

→P94「きせかえツールの利用」

■ マチキャラ
ｉモード：サイトからダウンロードしたマチキャラ
プリインストール：お買い上げ時に登録されているマチキャラ
マイフォルダ：他のフォルダから移動したマチキャラ
- フォルダを追加すると表示されます。→P296

ｉモードで探す：ｉモードサイトからマチキャラを探す→P174

■ キャラ電
ｉモード：サイトからダウンロードしたキャラ電
プリインストール：お買い上げ時に登録されているキャラ電
マイフォルダ：他のフォルダから移動したキャラ電
- フォルダを追加すると表示されます。→P296

◆ マーク（アイコン）について

■ マイピクチャ
取得元／保存状態／画像の種類
: プリインストール
: ｉモード、フルブラウザ、メール、ｉアプリ
: カメラ
: フレーム、スタンプ
: データ交換
(矢印がグレー)：自動お預かり（未保存）
(矢印がブルー)：自動お預かり（保存済）
: ｉモードサイトから画像を探す→P174
: パラパラマンガ
: GIFアニメーション、Flash画像
: 位置情報付きの画像
ファイルの種類
JPG: JPEG形式の画像
GIF: GIF形式の画像、GIFアニメーション
: SWF（Flash画像）
※ ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可の場合は、マークの右下にが表示されます。
ファイル制限
／: ファイル制限あり／なし
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  : プレビュー画像なし
  : ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

■ ｉモーション／ムービー
取得元
: プリインストール
: ｉモード、メール、ｉアプリ
: カメラ
: データ交換
: テレビ電話
: ｉモードサイトからｉモーションを探す→P184
再生制限
: 再生制限なし　／／: 回数／期限／期間制限あり
※1：再生制限なし　※1：再生制限あり
ファイルの種類
MP4(白)／MP4(黄)：MP4／しおり付きMP4
※2：再生制限により再生不可
: 部分的に保存したMP4
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
ASF(白)／ASF(黄)：ASF／しおり付きASF
ファイル制限
／: ファイル制限あり／なし
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  : 音声のみの動画／ｉモーション、録音した音声
  : サムネイル画像を取得できない動画／ｉモーション
  ※2：再生制限により再生不可
  ※2：管理用データの異常により再生不可
  : ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

※1 microSDカードのレコーダー番組の場合のみ表示されます。
※2 microSDカードのコンテンツ移行対応のｉモーションの場合のみ表示されます。

■ メロディ
取得元
: プリインストール、メール添付メロディ
: ｉモード、メール
: データ交換
: ｉモードサイトからメロディを探す→P174
ファイルの種類
MFi／: MFi／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
SMF／: SMF／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
ファイル制限
／: ファイル制限あり／なし

■ マイドキュメント
取得元
: プリインストール
: ｉモード、メール
: フルブラウザ
: データ交換（データ交換で取得したメールに添付のデータ含む）
ファイルの種類
／: PDFデータ／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
: 部分保存したPDFデータ
: ダウンロードに失敗したPDFデータ
ファイル制限
／: ファイル制限あり／なし
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
  : ダウンロード後に表示していないか、サムネイル画像を取得できないPDFデータ
  : 部分保存したサムネイルが表示できないPDFデータ
  : ダウンロードに失敗したPDFデータ
  : ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

■ マチキャラ
取得元
: プリインストール
: ｉモード
: ｉモードサイトからマチキャラを探す→P174
ファイルの種類
: マチキャラ
（上半分がグレー）: 部分保存したマチキャラ
: ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
ファイル制限
: ファイル制限あり
- サムネイル表示できない場合は「ファイルの種類」と同じデザインのアイコンが表示されます。

■ キャラ電
取得元
: プリインストール
: ｉモード
ファイルの種類
／: AFD／ドコモUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
ファイル制限
: ファイル制限あり

画像の表示

静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）、パラパラマンガを表示できます。
- 横縦（縦横）のサイズが600×1024より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、3000×4000より大きいJPEG形式の画像は表示できません。

1 MENU 5 1

2 **フォルダを選択**
- 「デコメ絵文字」を選択したときは、更にフォルダを選択します。

microSDカードの一覧に切り替え：「microSD」
画像の検索：「顔検索」
- 画像の検索→P277

3 **画像を選択**
- 上下にスライドすると、前後の画像に切り替わります。
- アニメーションやパラパラマンガの再生中は、「停止」／「再生」で一時停止／再生、「MENU」▶ 7 で先頭から再生できます（全画面表示中を除く）。また、パラパラマンガの停止中や停止した後の再生中に「スロー」をタッチするとスロー再生ができます。
- 「全画面」をタッチすると全画面表示になります。または CLR で元の画面に戻ります。

メールに添付：画像をタッチ▶「作成」
- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

サムネイル表示とリスト表示の切り替え：「切替」
ブログ／SNSに投稿：画像をタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶投稿先を選択
ブログ／SNS投稿先設定→P150

✔お知らせ

- 表示領域より大きな静止画は表示領域に合わせて表示されます。
- 横縦（縦横）のサイズが240×480以下の画像は2倍に拡大して表示されます。拡大すると表示領域を超える場合は表示領域に合わせて表示します。左にスライドすると等倍表示になります。2倍表示に戻すときは右にスライドします。
- 画面サイズより大きなJPEG形式の画像は、画像表示画面で「拡大」をタッチすると、拡大縮小などが可能な拡大表示を利用できます。拡大表示中は、上下左右のスライドでスクロール、「縮小」／「拡大」で20%ずつ縮小／拡大、「等倍」で等倍表示ができます。等倍表示から拡大表示に戻すには「縮小」をタッチします。
- 回転補正情報があるJPEG形式の画像は、画像を回転して表示します。ただし、サムネイル表示や待受画面に設定したときなどには回転しません。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して画像を保存できます。→P118

◆ 画像の検索

サーチミーフォーカスの個人認識データを登録して撮影した静止画の中から人物を指定して、FOMA端末とmicroSDカード内を検索します。検索後は画像をメールに添付したり、待受画面に設定したりできます。

- 撮影時に名前が表示された人物を検索します。
- 最大10人検索できます。
- サーチミーフォーカス→P198

1 MENU 5 1 ▶「顔検索」

2 検索する人物を選択▶「検索」

- データの更新をするかのメッセージが表示された場合は「はい」を選択します。

検索条件指定：「詳細検索」▶各項目を設定▶「検索」

- 直接入力欄には検索人物を全角6（半角12）文字以内で入力します。複数の人物を検索する場合は人物名の間に改行を入れます。

3 画像を選択

◆ 画像の動作設定

画像を表示するときの動作を設定します。

1 MENU 5 1 ▶「MENU」▶ 6 ▶各項目を設定▶「登録」

一覧の画像表示：画像一覧でサムネイル表示にするかを設定します。
タイトル表示／番号表示／コメント表示：画像表示画面で表示名／画像番号と件数／コメントを表示するかを設定します。
小さい画像の拡大：画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかを設定します。
大きい画像の縮小：画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかを設定します。
効果音再生：画像に設定されている効果音を再生するかを設定します（スライドショーを除く）。
全画面時の自動スクロール：全画面表示で静止画が画面サイズより大きい場合、自動的にスクロールするかを設定します。

- スクロール中は決定で一時停止／再生の切り替えができます。

スライドショーの切替え速度：画像の切り替え速度を設定します。
スライドショーのランダム表示：表示順をランダムにするかを設定します。
スライドショー効果：表示するときの効果を設定します。

◆ スライドショーの表示

フォルダ内の画像を順番に全画面で表示します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダをタッチ▶「MENU」▶ 7

- すべての画像の表示が終わるか、CLRを押すとフォルダ一覧に戻ります。

◆ 待受画面や電話帳などへの画像設定

画像を待受画面に設定したり、電話帳などに登録したりできます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶画像をタッチ▶「MENU」▶ 3

2 目的の操作を行う

待受画面に設定： 1 ▶「縦画面」または「横画面」▶「はい」

- 画面サイズより小さく、拡大表示可能な画像の場合は「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

電話帳に登録：2または3
電話帳登録→P72
- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

電話発着信画像に設定：4▶1または2
テレビ電話画像に設定：5▶1〜7
- アニメーション、画像サイズが176×144より大きい静止画、FOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像のみ設定できます。

メール送受信画像に設定：6▶1〜4
- メール送受信画像に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

ベーシックメニューのアイコンに設定：7▶機能または「背景」を選択▶「はい」
- Flash画像や「アイテム」フォルダの画像、パラパラマンガは設定できません。
- 表示メニュー設定がベーシックメニュー以外の場合は、ベーシックメニューに変更する旨の確認画面が表示されます。

◆パラパラマンガの作成

同じフォルダ内（「デコメ絵文字」「アイテム」「自動お預かり」を除く）の600×1024以下の静止画を9枚まで選択して、パラパラマンガを作成できます。
- 登録した静止画は個別に表示したり編集したりできなくなります。また、解除するまでmicroSDカードや外部機器に保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできません。

1 MENU 5 1▶フォルダを選択

2 「MENU」▶4 1

解除：パラパラマンガをタッチ▶「MENU」▶4 2

3 パラパラマンガに登録する画像を選択

選択順に画像に❶〜❾の番号が表示されます。
「解除」：選択を解除　「全解除」：すべての選択を解除

4 「登録」▶表示名を入力（36文字以内）▶「登録」

静止画の編集

画像のサイズを変更したり、画像を切り出したりして編集できます。

✔お知らせ
- 元の静止画と同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
  - 画像サイズが20×20でファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、「デコメ絵文字」の「顔文字・ｉ絵文字」フォルダに保存されます。
  - フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。
- 編集可能な画像サイズは次のとおりです。
  サイズ変更のサイズ指定、サイズ制限保存のメール添付用（大）：8×8〜3000×4000
  切出しのサイズ指定：16×16〜3000×4000
  切出しの範囲指定：16×16〜1224×1632
  上記以外の項目：8×8〜400×1024
- microSDカードに保存されている静止画、「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の静止画、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）は編集できません。
- 画像サイズが編集時の表示領域より大きい場合は縮小表示されます。ただし、サイズ変更の拡大／縮小やスタンプ貼付、テキスト貼付の場合は等倍で表示されます。
- 編集後、ファイルサイズが大きくなったり、画質が劣化したりする場合があります。また、パソコンなどで表示すると透過表示されていた部分は白く表示されます。
- フレームやスタンプの選択時、編集する画像のサイズによっては表示されないフレームやスタンプがあります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P301

◆ 静止画のサイズを指定して変更

画像のサイズを指定して変更します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 1 ▶ 1 ～ 8

- 元の画像と縦横比が異なる場合は青色の枠が表示されます。「ストレッチ」をタッチすると縦横比を保持せず指定サイズに変更され、「フィット」をタッチすると縦横比を保持して指定サイズ内に収めます。上下左右のスライドで枠を移動して「決定」をタッチすると、指定したサイズに切り出せます。

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画のサイズを拡大／縮小

画像を拡大または縮小します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 1 9 ▶◀▶を押して縮小または拡大▶「決定」

- [-20]／[+20]をタッチすると、20%ずつ縮小／拡大できます。画面右上の表示で、変更後のサイズと縮小／拡大率が確認できます。
- 拡大は1024×1024、縮小は8×8までできます。

3 「決定」▶「保存」

◆ 静止画のサイズを指定して切り出し

サイズを指定して画像を切り出します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 8 ▶上下左右にスライドして枠を移動▶「切出し」

- 「切替」をタッチすると枠のサイズ変更が、「縦⇔横」をタッチすると枠の縦横の切り替えができます。画面右上の表示で、切り出し後の表示サイズが確認できます。
- 「指定」をタッチすると、範囲を指定して切り出す画面に変更できます。

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画の範囲を指定して切り出し

範囲を指定して画像を切り出します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 2 9 ▶▲▼◀▶を押してから「左上」▶▲▼◀▶を押してから「右下」▶「確定」▶「切出し」

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画の明るさを調整

画像の明るさを調整します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 3 1 ▶左右にスライドして明るさを調整▶「決定」

- 「MIN」／「MAX」をタッチすると、最小／最大に明るさを調整できます。

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画をモノトーン／セピアにする

画像をモノトーンやセピアに変更します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 3 ▶ 2 または 3

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画に効果をかける

画像をぼかしたり、変形させたりして効果をかけます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 4 ▶ 1 ～ 6

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画にスケッチの効果をかける

画像にスケッチのような効果をかけます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 4 ▶ 7 または 8 ▶「決定」

- 左右にスライドで一段階ずつ、「MIN」／「MAX」で最小／最大に効果を調整できます。また、「太線」／「細線」をタッチすると線の太さを切り替えられます。

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画を反転

画像を反転します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 5 ▶上下左右にスライドして反転▶「決定」

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画を回転

画像を左右に90度または180度回転します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 5 ▶「左回転」または「右回転」▶「決定」

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画にフレームを重ねる

画像にお買い上げ時に登録されているフレーム（装飾枠）やサイトからダウンロードしたフレームを重ねます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 6 ▶フレームを選択▶「選択」

- フレームを重ねた状態で「回転」をタッチするとフレームの180度回転また、▲▼を押すとフレームの変更ができます。

3 「保存」▶「保存」

◆ 静止画にスタンプを貼り付け

画像にスタンプを貼り付けます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 7 ▶スタンプを選択▶上下左右にスライドして位置を指定して「貼付」

- 貼り付け時に効果音が鳴ります。
- 同じスタンプを複数の箇所に貼り付けられます。
- 「クリア」をタッチすると、位置の指定を解除できます。

3 「登録」

4 「保存」▶「保存」

◆ 静止画にテキストを貼り付け

画像に文字を貼り付けます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 8 ▶テキストを全角20（半角40）文字以内で入力▶各項目を設定▶「登録」

- 貼り方を「一字ごと」にすると、「貼付」をタッチするたびに1文字ずつ貼り付けられます。

3 上下左右にスライドし位置を指定して「貼付」

- 貼り付け時に効果音が鳴ります。
- 同じテキストを複数の箇所に貼り付けられます。
- 「クリア」をタッチすると、位置の指定を解除できます。

4 「登録」

5 「保存」▶「保存」

◆静止画の隣接した近似色を切り抜く

指定した位置とその周囲の同じ色の部分を白く切り抜きます。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 9 ▶上下左右にスライドし切り抜く色に✣を合わせて「切抜き」▶「登録」

3 「保存」▶「保存」

◆静止画のファイルサイズの制限

画像のファイルサイズを「メール添付用（小）」または「メール添付用（大）」に制限します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「MENU」▶ 0 ▶ 1 または 2

- 「メール添付用（小）」は90Kバイト以内、「メール添付用（大）」は2Mバイト以内にファイルサイズが変更され、元の静止画と同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

◆静止画を補正

静物、背景、風景、美肌、日焼け、青ざめ、酔っ払いの7種類に補正します。

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶静止画をタッチ▶「編集」

2 「補正」

3 「MENU」▶ 1 ～ 7

- 画面右上の表示で、選択中の補正の種類が確認できます。
- ▲▼を押して補正の種類を変更できます。
- 左右にスライドして一段階ずつ、「MIN」／「MAX」で最小／最大に効果を調整できます。

4 「決定」

5 「保存」▶「保存」

動画／ｉモーションの再生

画像サイズが48×48～640×480の動画／ｉモーションを再生できます。

- 次の形式に対応しています。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263※1、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4※2

※1 画像サイズが128×96、176×144、352×288のみ対応しています。
※2 画像サイズが176×144、320×240、640×480のみ対応しています。

1 MENU 5 4

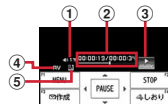
2 フォルダを選択

microSDカードの一覧に切り替え：「microSD」

3 動画／ｉモーションを選択

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりからの再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、先頭または再生停止位置から再生されます。

メールに添付：動画／ｉモーションをタッチ▶「✉作成」
サムネイル表示とリスト表示の切り替え：「切替」

❖動画／ｉモーションの画面の見かた

① 再生音量
② 再生時間／トータル時間と再生位置インジケータ
③ 再生状態
PLAY：再生中　STOP：停止中　PAUSE：一時停止中
④ ファイルの種類
A：音声　V：映像
⑤ 拡大／縮小表示
：拡大表示中　：縮小表示中

❖動画／ｉモーション再生中の操作

動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。
上下にスライド：音量調整
左にスライド：巻き戻し再生／右にスライド：早送り再生

- 一時停止中に左右にスライドすると再生位置インジケータ上に位置指定つまみが表示されます。左右にスライドして再生位置を変更し「PLAY」をタッチすると指定した位置から再生できます。

「PAUSE」：一時停止／「PLAY」：再生／先頭から再生（停止中）
「しおり」▶「はい」：しおりを設定

- 停止中に「しおり」を押すと解除できます。
- 再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

「STOP」：停止
CLR：一覧画面に戻る
「MENU」▶「右回転」：画面表示を右に90度回転（縦画面で再生中のときのみ）
「MENU」▶「左回転」：画面表示を左に90度回転（縦画面で再生中のときのみ）
「MENU」▶「チャプター一覧※」：チャプター選択による再生
「MENU」▶「Bluetooth 音声出力」：Bluetooth機器へ音声を出力

- Bluetooth機器で音声・音楽を再生する→P333
- FOMA端末を開いて横画面で再生中の場合は、以下のキー操作も行えます。

▲、▼：音量調整
◀／▶：巻き戻し／早送り（押し続けると連続巻き戻し／連続早送り）
Q：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
E：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了の約1秒前から再生）
R※／Y※：前のチャプター／次のチャプターの先頭から再生
H：押すたびに以下のように画面を切り替えられます。
横画面▶全画面▶フルワイド画面▶横画面▶…

- 全画面、フルワイド画面をタッチすると以下のボタンが操作できます。
［MENU］／［STOP］／［PLAY］／［PAUSE］／［音量］

※ チャプター情報を持つ動画／ｉモーションのみ有効です。

✔お知らせ

- 再生画面でトータル時間が「--:--:--」と表示されるｉモーションは、早送り／巻き戻し、しおりや再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、位置指定つまみの操作はできません。
- 再生制限が設定されているｉモーションを選択すると、再生制限の状態が表示されます。再生制限により再生できない場合は、削除の確認画面が表示されます（再生期間前の場合を除く）。なお、再生期間や期限が制限されている場合に、FOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得したｉモーションを選択すると、残りデータの取得確認画面が表示されます。ダウンロードしても再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
- 再生中にCLRや終話キーを押したり、他の機能の影響によって中断したりすると再生停止位置が保存され、次回再生時にその停止位置から再生されます。再生停止位置の情報はFOMA端末およびmicroSDカードでそれぞれ、最大5つ※の動画／ｉモーションについて保存されます。新しい情報が登録されると古い情報は順に削除されます。データを取得しながら再生しているときやプレビュー再生、再生制限が設定されているｉモーションの再生では、再生停止位置は保存されません。
※ レコーダー番組には件数の制限はありません。

◆動画／ｉモーションの動作設定

動画／ｉモーションを再生するときの動作を設定します。

1 MENU 5 4 ▶「MENU」▶ 6 ▶各項目を設定▶「登録」

一覧の画像表示：動画／ｉモーション一覧でサムネイル表示にするかを設定します。
表示画像の拡縮：画像の縦横比を保持したまま、表示領域いっぱいに拡大または縮小表示するかを設定します。
リピート再生：プレイリスト再生時にリピート再生するかを設定します。
照明点灯時間：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）の設定に従います。照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（ｉモーション／ムービー）、Music&Videoチャネルの照明点灯時間にも反映されます。
音量：再生時の音量を設定します。
Bluetooth音声出力確認：Bluetooth機器へ音声出力するか確認する画面を表示するかを設定します。

◆プレイリストの作成／再生

動画／ｉモーションのタイトルを登録して管理します。

- microSDカードに保存されている動画／ｉモーション、部分的に保存したｉモーション、回数制限が設定されたｉモーション、ドコモUIMカードのセキュリティ機能や再生制限により使用不可のｉモーションのタイトルは登録できません。

❖プレイリストの作成／削除

プレイリストを作成／削除します。

1 MENU 5 4 ▶「プレイリスト」フォルダを選択

2 「MENU」▶ 1

1件もプレイリストが作成されていないとき：「はい」
名前の変更：プレイリストをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶名前を入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」
削除：プレイリストをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたプレイリストが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

3 名前を入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」

- 「playlistYYYYMMDD（作成年月日）」が入力されています。

4 フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶「登録」▶「はい」

❖プレイリストへのタイトル追加／削除

プレイリストにタイトルを追加／削除します。

1 MENU 5 4 ▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択

2 「MENU」▶ 3 1

解除：タイトルをタッチ▶「MENU」▶ 3 2 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件解除ではタッチしたタイトルが解除されます。
- 選択解除では選択操作▶「確定」が、全件解除では認証操作が必要です。

3 1 ～ 3 ▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶「登録」▶「はい」

- 1件登録では選択操作後に「登録」をタッチする必要はありません。

✔お知らせ

- プレイリストから動画／ｉモーションのタイトルを解除しても、データ自体は削除されません。動画／ｉモーションを削除したり、microSDカードに移動した場合は、プレイリストから解除されます。

❖プレイリストの再生

選択したタイトル以降の動画／ｉモーションを連続で再生できます。

- 早送り／巻き戻し、しおりや再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、位置指定つまみの操作はできません。

1 MENU 5 4 ▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択

2 最初に再生するタイトルを選択

- 再生中の画面には通常表示されるアイコンのほかに、リピート再生の設定を示すアイコン（ON／OFF）が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  上下にスライド：音量調整
  「PAUSE」：一時停止／「PLAY」：再生／再生中のタイトルの先頭から再生（停止中）
  F3：データの先頭から再生（再生から3秒以内にタッチすると前のデータを再生）
  F2：停止
  F4：次のデータを再生
  CLR：一覧画面に戻る
  「MENU」▶「右回転」：画面表示を右に90度回転（縦画面で再生中のときのみ）
  「MENU」▶「左回転」：画面表示を左に90度回転（縦画面で再生中のときのみ）
  H：全画面とフルワイド画面を切り替えます。

再生順の並べ替え：「MENU」▶ 3 3 ▶タイトルをタッチ▶「上に移動」または「下に移動」▶「確定」

◆ 待受画面や電話帳などへの動画／ｉモーション設定

動画／ｉモーションを待受画面に設定したり、電話帳などに登録したりできます。
動画／ｉモーションの種類によって、次の設定に利用できます。

○：可　×：不可

種　類	待受画面	電話帳	着信音	着信画像
音声+映像	○	×	○※	×
映像のみ	○	○	×	○
音声のみ	×	×	○	×

※ ｉコンシェル着信音を除く

- 再生制限が設定されているｉモーションや、ファイルサイズが10Mバイトより大きい動画／ｉモーションは利用できません。
- 次の動画／ｉモーションは、電話帳、着信音、着信画像に利用できません。
  - 画像サイズが176×144、320×240以外
  - ASF形式
  - テロップ（テキスト）あり
  - 外部機器や他のFOMA端末に転送し、FOMA端末に戻したもの
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDカードから移動／コピーしたもの（FOMA端末からmicroSDカードに移動／コピーして戻したものを含む）
- 詳細情報の着信画面設定が「不可」の動画／ｉモーションは、電話帳や着信画像に利用できません。また、着信音設定が「不可」の動画／ｉモーションは、着信音に利用できません。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションをタッチ▶「MENU」▶ 2

2 目的の操作を行う

待受画面に設定：1 ▶「はい」

- 画像サイズによっては「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

電話帳に登録：2 または 3

電話帳登録→P72

- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

着信音に設定：4 ▶ 1 ～ 8

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶「選択」をタッチします。

着信画像に設定：5 ▶ 1 ～ 3

動画／ｉモーションの編集

動画／ｉモーションのサイズを変更したり、画像を切り出したりして編集できます。

- 次の動画／ｉモーションは編集できません。また、ダウンロードしたｉモーションの符号化形式によっては編集できないことがあります。
  - ファイル制限が「あり」に設定されている動画／ｉモーション（自端末で「あり」に設定した動画を除く）
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ASF形式の動画
- 編集した動画／ｉモーションは元のデータが保存されていたフォルダに新しいデータとして保存されます。ただし、静止画として切り出したデータはマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。編集後にメールに添付した場合も同様です。

◆ 静止画をキャプチャ

位置を指定し、静止画として切り出します。

- 切り出した静止画の画像サイズは、再生時の表示サイズになります。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択

2 切り出す位置で「MENU」▶ 5 ▶「保存」

- 「PLAY」をタッチすると、再生を再開します。

メールに添付：切り出す位置で「MENU」▶ 5 ▶「✉作成」

- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文内への貼り付け確認画面が表示されます。

◆ 動画／ｉモーションの選択切り出し

先頭から指定した位置まで切り出します。
- ファイルサイズが11K～2048Kバイトの動画／ｉモーションを編集できます。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションをタッチ▶「MENU」▶ 4 1

再生時間の下にが表示されます。
- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 「始点」▶切り出す位置で「終点」

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

CLR：やり直す
- 500Kバイトより大きいファイルのときは、「設定」をタッチして「メール添付用（小）」を選択すると500Kバイトで、「設定なし」を選択すると最大サイズより約1000バイト小さいファイルで切り出せます。2048Kバイトのファイルのときは、「設定」をタッチして「メール添付用（大）」を選択すると2047Kバイトで切り出せます。
- 「終点」をタッチせずに最後まで切り出したときは、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

3 表示名を入力（36文字以内）▶「保存」

再生：「再生」
メールに添付：「✉作成」

◆ サイズ切り出し

先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。
- ファイルサイズが11K～2048Kバイトの動画／ｉモーションを編集できます。

1 MENU 5 4 ▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションをタッチ▶「MENU」▶ 4 2

- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 切り出すサイズを入力▶「確定」

- 500Kバイトより大きいファイルのときは、「設定」をタッチして「メール添付用（小）」を選択すると500が、2048Kバイトのファイルのときは、「設定」をタッチして「メール添付用（大）」を選択すると2047が入力できます。

3 表示名を入力（36文字以内）▶「保存」

再生：「再生」
メールに添付：「✉作成」

コンテンツ移行対応のｉモーションの移動

サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションをmicroSDカードに移動します。コピーはできません。
- コンテンツ移行対応のｉモーションは、詳細情報のmicroSDへの移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合のみ移動できます。

1 MENU 5 4 ▶「ｉモード」フォルダを選択▶ｉモーションをタッチ▶「MENU」▶ 5 4 ▶ 1 ～ 3

- 選択移動では選択操作▶「移動」が必要です。

2 移動先のフォルダをタッチ▶「選択」▶「はい」

- サブフォルダに保存する場合は、フォルダを選択▶移動先のサブフォルダをタッチ▶「選択」をタッチします。サブフォルダのないフォルダを選択すると、現在の位置に移動するかフォルダを作成するかの選択画面が表示されます。
- 選択移動または全件移動のときにコンテンツ移行対応以外のｉモーションが含まれている場合は、暗号化コンテンツのみ指定先に移動する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択して移動すると、コンテンツ移行対応以外のｉモーションはmicroSDカードの「動画」または「その他の動画」フォルダに保存されます。

✔お知らせ
- 作成したフォルダに移動すると、他のFOMA端末で認識できないことがあります。
- データの移動中にmicroSDカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。microSDカード内のすべてのコンテンツ移行対応データが利用できなくなる場合があります。

❖FOMA端末または他のフォルダへの移動

microSDカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションを移動します。

- サイトから取得したり、microSDカードに移動したりしたときと同じドコモUIMカードを挿入している場合（ｉモーションによってはさらに同一機種である場合）のみ移動できます。

1 MENU 6 3 1 5 ▶フォルダを選択▶ｉモーションをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 または 2

2 1 ～ 3 ▶「はい」

- 選択移動では選択操作▶「移動」が、本体へ全件移動では認証操作が必要です。
- 他のフォルダへ移動では、フォルダをタッチ▶「移動」をタッチします。
- 本体へ移動した場合は、ｉモーション／ムービーの「ｉモード」フォルダに保存されます。

❖microSDカードのコンテンツ移行対応のｉモーションのフォルダについて

ルートフォルダ一覧画面

サブフォルダ一覧画面

① **フォルダ**

: フォルダ　: ホームフォルダ

- ピンクは初期フォルダです。データがないときは、淡いピンクで表示されます。水色は通常フォルダです。データがないときは、淡いグレーで表示されます。初期フォルダは、初めて「動画」フォルダを表示したときに作成されます。フォルダ名は変更できます。

② **フォルダ名**

- 「動画」はルートフォルダです。

本体のフォルダ一覧に切り替え：**ルートフォルダ一覧で「本体」**
ホームフォルダに設定：**フォルダをタッチ▶［ ］▶「はい」**
ホームフォルダに移動：**［ ジャンプ］**

ブルーレイディスクレコーダー連携

ブルーレイディスクレコーダー（以降BDレコーダー）に録画した番組を、FOMA端末内のmicroSDカードに保存します。

- FOMA端末とBDレコーダーを接続するには、付属のUSBケーブル F01が必要です。
- 保存した録画番組は、microSDカードのマルチメディアのレコーダー番組に保存され、動画として再生できます。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **USBモード設定を「microSDモード」に設定**

USBモード設定→P295

2 **BDレコーダーとFOMA端末をUSBケーブル F01で接続▶BDレコーダーから動画を転送**

- FOMA端末の接続方法については「USBケーブルの取り付けかた」（→P296）を、BDレコーダーの接続方法と転送方法についてはBDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

✔お知らせ

- USBケーブル F01を無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。また、データ転送中にUSBケーブル F01を外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- データ一覧でのサムネイル表示、FOMA端末への移動、メール送信、赤外線／iC送信などには対応していません。

マチキャラの表示

待受画面に設定するキャラクタを表示します。

- マチキャラを設定する→P94

1 MENU 5 8 ▶フォルダを選択

2 **マチキャラを選択**

- 部分保存したマチキャラを選択すると、ダウンロードの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロードできないときは、部分保存したマチキャラは削除される場合があります。

◆ マチキャラの動作設定

マチキャラを表示するときの動作を設定します。

1 MENU 5 8 ▶「MENU」▶ 5 ▶ 1 または 2

- 「あり」にするとマチキャラ一覧でサムネイル表示になります。

キャラ電の表示

テレビ電話中にカメラ映像の代わりとして利用するキャラクタを表示します。

- テレビ電話中にキャラ電を利用する→P67

1 MENU 5 9 ▶ フォルダを選択

2 キャラ電を選択

- 表示中は次の操作ができます。
  「アクション」：アクション一覧の表示
  ▲▼：拡大／等倍表示
  - アクションを実行するときは、1～9、#
  F4（1秒以上）：全体アクションとパーツアクションの切り替え
  - 現在のアクション種別は、画面の左下に次のアイコンで表示されます。
    Action：全体アクション　Parts：パーツアクション

テレビ電話をかける：**キャラ電をタッチ▶「番号入力」▶電話番号を入力するか「電話帳」をタッチして電話帳から選択▶「テレビ電話」**

- 電話番号を入力して「カスタム発信」をタッチすると、発信オプションを利用できます。→P56

テレビ電話代替画像に設定：**キャラ電をタッチ▶「テレビ代替」または F3（1秒以上）**

◆ キャラ電の動作設定

キャラ電を表示するときの動作を設定します。

1 MENU 5 9 ▶「MENU」▶ 5 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

表示サイズ：拡大表示するかを設定します。

照明点灯時間：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。

メロディの再生

SMF形式やMFi形式のメロディを再生できます。

1 MENU 5 5

2 フォルダを選択

microSDカードの一覧に切り替え：「microSD」

3 メロディを選択

- 再生中は次の操作ができます。
  画面をタッチして［音量小］／［音量大］：音量調整
  上下にスライド：前後のメロディ再生
  「戻る」／CLR：一覧画面に戻る

メール添付：**メロディをタッチ▶「✉作成」**

◆ メロディを着信音に設定

メロディを着信音に設定します。

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 MENU 5 5 ▶ フォルダを選択 ▶ メロディをタッチ ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1～8

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶「選択」をタッチします。

◆ メロディの動作設定

メロディを再生するときの動作を設定します。

1 MENU 5 5 ▶「MENU」▶ 7 ▶各項目を設定▶「登録」

- イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。また、メロディによっては連動しない場合があります。
- 再生位置を「ポイント再生」にすると、メロディの一部分が再生されます。ただし、メロディによっては対応していない場合があります。
- 再生画面背景を「選択」にすると、画像フォルダに保存されている画像を選択できます。

microSDカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをmicroSDカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。
また、外部機器で作成した動画をmicroSDカードに保存してFOMA端末で再生したり（→P418）、FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作したりできます（→P295）。

- 別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください（→P294）。なお、他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードや、初期化を中断したmicroSDカードの動作は保証できません。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカード内のデータは、コンテンツ移行対応のｉモーションを除き、待受画面や着信音、着信画像などに設定できません。
- F-07Cでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年5月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については、ｉモードから「@Fケータイ応援団」サイト（→P300）の「メモリーカード対応情報」をご覧いただくか、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況、microSDHC対応状況
掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

◆ microSDカード使用時の留意事項

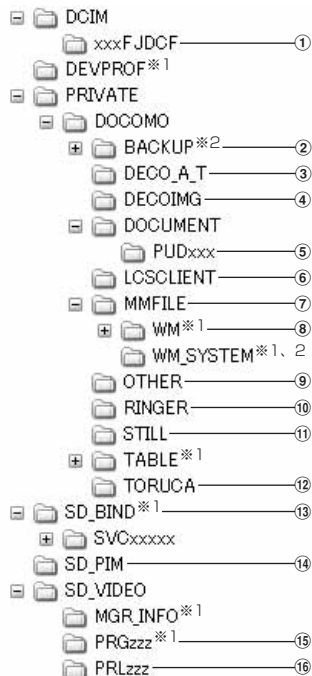
- microSDカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、バックアップ／復元中、削除中、microSDカードの初期化中、情報更新中、カードチェック中は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDカードは、データの保存や削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ファイルサイズが2Gバイトを超えるデータは利用できません。
- microSDカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- microSDカードに保存したデータは、パソコンなどにバックアップするなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◆ microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーしたり、撮影した静止画などを直接microSDカードに保存したりすると、ファイルに対応したフォルダが自動的に作成されます。パソコンなどで表示した場合のフォルダ構成とファイル名は次のとおりです。
パソコンなどからデータを保存するときは、このフォルダ構成とファイル名に従ってください。また、保存後にFOMA端末で情報更新する必要があります。
→P294

- パソコンなどでフォルダ名を変更したり、管理用データのファイル名を変更／削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。
- 最大保存件数はmicroSDカードの容量などにより少なくなります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字は「＊」を除きすべて半角、英字は大文字のみです。
「a」英数字、_（アンダーバー）

「xxx」001～999（「xxxFJDCF」のみ100～999）の3桁の数字
「xxxx」0001～9999の4桁の数字
「xxxxx」00001～65535の5桁の数字
「zzz」001～FFFの3文字の英数字（16進数）
「＊」任意の文字列

```
DCIM
  xxxFJDCF ―― ①
DEVPROF※1
PRIVATE
  DOCOMO
    BACKUP※2 ―― ②
    DECO_A_T ―― ③
    DECOIMG ―― ④
    DOCUMENT
      PUDxxx ―― ⑤
    LCSCLIENT ―― ⑥
    MMFILE ―― ⑦
      WM※1 ―― ⑧
      WM_SYSTEM※1、2
    OTHER ―― ⑨
    RINGER ―― ⑩
    STILL ―― ⑪
    TABLE※1
    TORUCA ―― ⑫
SD_BIND※1 ―― ⑬
  SVCxxxxx
SD_PIM ―― ⑭
SD_VIDEO
  MGR_INFO※1
  PRGzzz※1 ―― ⑮
  PRLzzz ―― ⑯
```

※1　管理用データが含まれています。変更／削除しないでください。
※2　隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

① マルチメディアのマイピクチャ（撮影した静止画、DCF規格のJPEG、GIF）
ファイル名：aaaaxxxx.JPG/GIF　最大保存件数：9999件

② バックアップ

③ デコメアニメ®テンプレート
ファイル名：DEATxxxx.VGT　最大保存件数：9999件

④ マルチメディアのデコメ絵文字®
ファイル名：DIMGxxxx.JPG/GIF　最大保存件数：9999件

⑤ マイドキュメント（PDFデータ）
ファイル名：＊.PDF　最大保存件数：999件
- 拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式に対応しています。ファイル名の重複などがあると、「PDFDCxxx.PDF」の形式に変更されることがあります。
- 拡張子が「PDF」以外のファイルも保存されます。拡張子の意味は次のとおりです。
  「$DF」：ダウンロードに失敗したPDFデータ
  「DDF」：ｉモードしおり情報やマーク情報などを管理するファイル
  「JPG」：サムネイル表示用のファイル

⑥ 現在地通知先
ファイル名：LSCDCxxx.LSC　最大保存件数：999件
- 全件コピーデータは1件のファイルとして保存されます。1ファイルで5件まで表示できます。

⑦ マルチメディアのその他の動画（音声のみの動画／ｉモーション）
ファイル名：MMFxxxx.3GP/ASF/MP4　最大保存件数：9999件
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。
- AAC形式の音楽データを保存できます。

⑧ マルチメディアのミュージック（WMA）
ファイル名：＊.WMA　最大保存件数：1000件
- ファイル名は最大94文字（拡張子を含む）です。
- Windows Media Playerを使用して保存してください。保存後の情報更新は必要ありません。

⑨ その他
ファイル名：aaaaaaaa.aaa　最大保存件数：999件
- ファイル名は8文字、拡張子は3文字（ファイルによっては4文字）です。

⑩ マルチメディアのメロディ
ファイル名：RINGxxxx.MID/MLD/SMF　最大保存件数：9999件

⑪ マルチメディアのその他の画像（DCF規格外のJPEG、GIFアニメーション、Flash画像）
ファイル名：STILxxxx.JPG/GIF/SWF　最大保存件数：9999件

⑫ **トルカ**
ファイル名：TORUCxxx.TRC　最大保存件数：999件

⑬ **コンテンツ移行対応のデータ（マルチメディアの動画🔑、マルチメディアのミュージック（着うたフル®）、マルチメディアのMusic&Videoチャネル、ｉアプリのデータ）**
ファイル名：aaaaaaaa.SB1/SB2/SB4/aaa
最大保存件数：ｉモーション、着うたフル®は各1000件、ｉアプリのデータは1200件、Music&Videoチャネルは99件
- ファイル名は1～8文字、拡張子は3文字以内です。
- Music&Videoチャネルのチャプターファイルの場合、ファイル名は「CHAPTnnn.SB4」。nnnはチャプター番号です。

⑭ **PIMの各フォルダ**
ファイル名：PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG/VNT
最大保存件数：合計で9999件
- PIMデータ（電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark）の管理用に、拡張子が「PIM」のファイルも保存されます。
- 全件コピーデータは1件のファイルとして保存されます。1ファイルで表示できる件数は、FOMA端末の最大保存件数（→P439）と同じです。

⑮ **マルチメディアのレコーダー番組（ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組）**
ファイル名：MOVzzz.MAI/MOI/SB1/SD1/SG1、PRGzzz.PGI
最大保存件数：99件

⑯ **マルチメディアの動画（動画／ｉモーション）**
ファイル名：MOLzzz.3GP/ASF/MP4　最大保存件数：4095件
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

FOMA端末⇔microSDカードでのデータやりとり

FOMA端末からmicroSDカード、microSDカードからFOMA端末にデータを移動／コピーします。
- コンテンツ移行対応のｉモーションの移動→P285
- ミュージックの音楽データの移動→P219
- Music&Videoチャネルの保存した番組のmicroSDカードへの移動は、番組情報のmicroSDへの移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合にできます。→P297「データのフォルダやアルバムへの移動」
- 次のデータは移動／コピーができます。
  - 画像（パラパラマンガを除く）、デコメ絵文字®、動画／ｉモーション、メロディ、PDFデータ（部分的にダウンロードしたものを除く）、トルカ（詳細含む）、デコメアニメ®テンプレート（microSDカードへの移動を除く）
- 次のデータはコピーができます。
  - 電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、GPSの現在地通知先

◆ FOMA端末⇒microSDカードへの移動／コピー

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーします。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダ内のデータを除く）は移動やコピーできません。

〈例〉画像を移動／コピーする

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択▶データをタッチ

2 「MENU」▶ 5 ▶ 4 または 5
- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」▶「microSDへ移動」または「microSDへコピー」を選択してください。

3 1 ～ 3 ▶「はい」
- 選択移動／コピーでは選択操作▶「移動」／「コピー」が必要です。

✔お知らせ
- マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、メロディ、デコメアニメ®テンプレートのデータを移動／コピーすると、ファイル名がパソコンでデータを保存するときの決まりに従って変更されます。また、PDFデータによってはファイル名が変更されることがあります。→P289
- 移動／コピーした静止画の実メモリサイズが、FOMA端末で表示されるサイズより大きくなることがあります。この場合、microSDカードで表示されるサイズが実際のサイズです。

◆ microSDカード⇒FOMA端末への移動／コピー

microSDカードからFOMA端末にデータを移動／コピーします。
- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P301

〈例〉マイドキュメントのデータを移動／コピーする

1 MENU 6 3 3

2 フォルダを選択▶データをタッチ
- 「マルチメディア」を選択したときは、データの種類を選択してからフォルダを選択します。

3 「MENU」▶ 3 ▶ 1 または 2
- 「トルカ」「デコメアニメテンプレート」を選択したときは、「MENU」▶ 2 をタッチします。

4 1 〜 3 ▶「はい」
- 選択移動／コピーでは選択操作▶「移動」／「コピー」が必要です。
- データはFOMA端末の次のフォルダに保存されます。
  マイドキュメント、マルチメディアデータ：各データの「データ交換」
  デコメ絵文字®：マイピクチャの「デコメ絵文字」の「顔文字・ｉ絵文字」
  トルカ：「トルカフォルダ」
  デコメアニメ®テンプレート：テンプレートの「デコメアニメ」
  その他：その他の最も上のフォルダ

◆ PIMデータや現在地通知先のコピー

PIMデータ（電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark）やGPSの現在地通知先をコピーします。

1 MENU 6 3 2 ▶ 1 〜 7 ▶データをタッチ▶「MENU」▶ 1 ▶ 1 〜 3

現在地通知先のコピー：「MENU」▶ 6 3 6 ▶フォルダを選択▶「MENU」▶ 1 ▶ 1 、2 、5 のいずれか
- microSDカードに1件も保存されていない場合は操作できません。FOMA端末の現在地通知先一覧から操作してください。

本体へ追加コピー：microSDカードのデータをFOMA端末にコピーします。
本体へ上書コピー：FOMA端末の現在のデータを消去して、microSDカードの全件コピーデータをFOMA端末にコピーします。
microSDへ全件コピー：選択した種類の全てのデータを、1つにまとめてmicroSDカードに保存します。

2 認証操作▶「はい」
- 1件データの「本体へ追加コピー」では、認証操作は不要です。
- 電話帳をmicroSDカードに全件コピーしたときは、プロフィール情報のコピー確認画面が表示されます。
- FOMA端末の各データの一覧画面で次のサブメニューを選択しても、microSDカードに全件コピーできます。一覧画面ではmicroSDカードへ1件コピーもできます。
  電話帳一覧、スケジュール帳：「データコピー／お預かり」
  メモ一覧：「赤外線／iC／microSD」
  メール一覧：「移動／コピー」▶「microSDへコピー」
  Bookmark一覧：「移動／microSD」▶「microSDへコピー」
  現在地通知先一覧：「microSDへコピー」

✔お知らせ
- 電話帳をコピーしても、登録した動画／ｉモーションはコピーされません。静止画はコピーされますがFOMA端末以外では表示できません。1件コピーの場合はシークレット属性は解除されます。
- メールをコピーすると、ｉモードメールの保護は解除されます。また、メール本文を含め100Kバイトを超えた分の添付ファイルはコピーされません。
- スケジュールをコピーしても、連絡先やイメージ（画像）はコピーされません。
- 現在地通知先を本体へ追加コピーする場合、FOMA端末の現在地通知先と同じ電話番号のデータは保存できません。

- 他のFOMA端末で保存した全件コピーデータに、本FOMA端末の最大保存件数を超えるデータが含まれている場合、超過したデータは本体へコピーできません。

microSDカードのデータ表示

microSDカードに保存されているデータを表示したり、利用したりします。

- Music&Videoチャネルの番組再生→P213
- ミュージックの音楽データの再生→P218
- バックアップデータの表示→P294
- 他の機器でmicroSDカードのデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときは、情報を更新してください。→P294

1 MENU 6 3

2 1～9

3 データの種類またはフォルダを選択

- 「動画」（コンテンツ移行対応のｉモーション）のフォルダについて→P286

FOMA端末のフォルダ一覧に切り替え：「本体」
- マルチメディア（レコーダー番組を除く）やマイドキュメント、トルカ、その他のフォルダのみ操作できます。

4 データを選択

PIM、現在地通知先の全件コピーデータを表示：全件コピーデータを選択▶データを選択
- 全件コピーデータのマークは、マークが後ろに重なったデザインで表示されます。

サムネイル表示とリスト表示の切り替え：「切替」
- マルチメディア（メロディ、レコーダー番組を除く）やマイドキュメントのデータのみ操作できます。

ページを指定してジャンプ：「ジャンプ」
- ページ番号を入力しないで「選択」をタッチすると1ページにジャンプします（コンテンツ移行対応のｉモーション、レコーダー番組、ｉアプリのデータを除く）。

メールに添付：「作成」
- マルチメディア（コンテンツ移行対応のｉモーション、レコーダー番組を除く）、電話帳、スケジュール、Bookmark、マイドキュメント、トルカ、その他のフォルダのみ操作できます。

マルチメディアのマイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字の画像をブログ／SNSに投稿：「MENU」▶2▶投稿先を選択
ブログ／SNS投稿先設定→P150

マルチメディア（コンテンツ移行対応のｉモーション、レコーダー番組を除く）のデータを検索：「MENU」▶6▶日付を入力▶「実行」

マイドキュメントのデータ検索：「MENU」▶5▶日付を入力▶「実行」

PIMデータの検索：「MENU」▶3▶日付を入力▶「実行」

デコメアニメ®テンプレートの検索：「MENU」▶4▶日付を入力▶「実行」

コンテンツ移行対応のｉモーションを待受画面に設定：データをタッチ▶「MENU」▶1 1▶「はい」
- 画像サイズによっては「等倍で設定」または「拡大で設定」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

コンテンツ移行対応のｉモーションを着信音に設定：データをタッチ▶「MENU」▶1 2▶1～8▶「はい」
- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳を選択▶「はい」を選択します。

コンテンツ移行対応のｉモーションを着信画像に設定：データをタッチ▶「MENU」▶1 3▶1～3▶「はい」

動画／ｉモーションの連続再生：「MENU」▶6
- 連続再生中は次の操作ができます。
  上下にスライド：音量調整
  「PAUSE」／「PLAY」：一時停止／再生
  ⏮／⏭：前後の動画再生
  「STOP」：連続再生停止

✔お知らせ

- microSDカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- microSDカードに保存されているトルカから詳細情報はダウンロードできません。
- コンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトから取得したり、microSDカードに移動したりしたときと同じドコモUIMカードを挿入している場合（ｉモーションによってはさらに同一機種である場合）のみ再生できます。ただし、待受画面にmicroSDカードを利用するｉアプリを設定している場合は、再生できないことがあります。
- 他の機種や異なるドコモUIMカードで利用していたｉアプリのデータを表示すると、利用できない理由が表示されます。ソフト動作制限のみが「あり」のときは、ｉアプリをダウンロードすると利用できる場合があります。

- 電話帳の詳細画面のサブメニューから、基本情報や画像／名前表示切替の確認ができます。
- メールの詳細画面のサブメニューから、文字サイズの変更、メールアドレスの電話帳新規登録や更新登録、添付ファイルの表示／非表示やタイトル確認ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
- Bookmarkの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や更新登録ができます。
- 他のFOMA端末で保存した全件コピーデータに、本FOMA端末の最大保存件数を超えるデータが含まれている場合は表示できません。

FOMA端末のデータを一括バックアップ

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、設定項目のデータを一括してmicroSDカードにバックアップし、必要なときにFOMA端末に復元できます。

- データ量によっては、バックアップ／復元に時間がかかる場合があります。電池残量が十分にあることを確認してから操作してください。
- バックアップ／復元をするデータがない場合は、バックアップ／復元はできません。
- 次の設定項目がバックアップ／復元されます。
  受信振り分け条件、送信振り分け条件、文字サイズ設定（メール閲覧）、署名設定（自動挿入、署名編集）、メール選択受信設定、受信・自動送信表示設定、メッセージ自動表示設定、メール受信添付ファイル設定、添付ファイル自動再生設定、エリアメール設定（受信設定、ブザー鳴動時間、マナー／公共モード時設定）、ｉモード問い合わせ設定、メモリ別着信拒否／許可、メモリ登録外着信拒否、発番号なし動作設定（非通知設定、公衆電話、通知不可能）、伝言メモ設定（ON／OFF、応答時間の変更）、リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、文字入力設定（単語登録、変換学習）、目覚まし
  - 発番号なし動作設定が「着信拒否」以外に設定されている場合は、「設定解除」としてバックアップ／復元されます。

◆ microSDカードへのバックアップ

- バックアップは、データの上書き保存を行います。前回保存したバックアップデータは消去され、最新のバックアップデータのみ保存されますのでご注意ください。

1 MENU 6 3 8 1

2 「はい」▶認証操作

- 電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。電話帳に登録がないとプロフィール情報はバックアップされません。

3 「はい」または「いいえ」

- 「中断」をタッチ、またはCLRを押して中断すると、前回バックアップしたデータは消去され、バックアップ途中のデータが保存されます。正しいバックアップデータを保存するにはもう一度バックアップ操作を行ってください。
- メモリ容量が足りない旨のメッセージが表示された場合は、不要なデータを削除するか、別の空き容量が多いmicroSDカードに取り付け直してから操作してください。

✔**お知らせ**

- 電話帳に登録した動画／ｉモーションはバックアップされません。静止画はバックアップされますが表示できません。
- ｉモードメールの保護は解除されます。また、メール本文を含め100Kバイトを超えた分の添付ファイルはバックアップされません。
- スケジュールの連絡先やイメージ（画像）はバックアップされません。

◆ FOMA端末に復元する

FOMA端末の電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、設定項目のデータを消去して、バックアップデータを復元します。

- 復元を行うとFOMA端末の最新データが消去されますのでご注意ください。
- バックアップの途中で電源が切れるなどしてバックアップが中断した場合、バックアップデータを使って復元しないでください。バックアップ途中のデータがFOMA端末に復元される可能性があります。
- 本FOMA端末以外に設定項目のデータを復元すると、すべての設定情報が復元されない場合があります。

1 MENU 6 3 8 2 ▶「はい」▶認証操作

- 「中断」をタッチ、またはCLRを押して中断すると、中断する前に処理されたデータがFOMA端末に復元されます。
- FOMA端末の空き容量が不足したり、バックアップデータに本FOMA端末では対応していないデータが含まれていたりすると、復元できないデータがあった旨のメッセージが表示されます。

◆バックアップデータの表示

microSDカードに保存されている電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、設定項目のバックアップデータを表示します。

1 MENU 6 3 8 3 ▶ 1 〜 8 ▶「選択」▶データを選択

- 設定項目はバックアップした日時のみ表示します。データは参照できません。

◆バックアップデータの削除

microSDカードに保存されている電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、設定項目のバックアップデータを削除します。

1 MENU 6 3 8 4 ▶「はい」▶認証操作

microSDカードの管理

microSDカードの使用状況を確認したり、初期化や情報更新をしたりして管理します。

◆microSDカードの使用状況確認

microSDカードの使用状況を確認します。

1 MENU 6 3 ▶「使用状況」

✔お知らせ

- 実際に使用できるmicroSDカードの容量は、表示される空き容量より少なくなります。
- 使用領域にはFOMA端末で認識できないデータの容量も含まれます。

◆microSDカードの初期化

新しく購入したmicroSDカードをFOMA端末で使用するときや、すべてのデータを削除するときに初期化します。

- microSDカードの状態によっては、初期化できない場合があります。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU 6 3 ▶「初期化」▶「簡易初期化」または「完全初期化」

簡易初期化：データ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDカードが一度初期化済みで、microSDカードに問題がない場合のみ実行してください。

完全初期化：データ管理領域とデータ領域の両方を初期化します。保存されているデータはすべて消去されます。新しく購入したmicroSDカードを初期化するときなどに実行してください。

2 認証操作▶「はい」

◆microSDカードの情報更新

他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく認識できなくなったときに実行します。

- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」「デコメアニメテンプレート」のデータは、ファイル名と同じ名称に変更されます。
  - 「メロディ」「動画」「その他の動画」「マイドキュメント」「トルカ」のデータは、タイトルと同じ名称に変更されます。タイトルが存在しないときはファイル名と同じ名称（トルカの場合は「無題」）に変更されます。
  - 「現在地通知先」の1件データは、通知先名と同じ名称に変更されます。通知先名が存在しないときは表示されません。
  - 「その他」のデータは、ファイル名に拡張子を追加した名称に変更されます。
- 「動画」フォルダ内に音声のみの動画／iモーションが保存されている場合に情報更新を行うと、音声のみの動画／iモーションは一覧に表示されなくなります。情報更新を行う前に「動画」内の音声のみの動画／iモーションをFOMA端末に移動するか、またはパソコンなどでmicroSDカードのPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILEの直下、あるいはMMFILE内のMUDxxx（xxxは001～999）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。

1 MENU 6 3 ▶「情報更新」▶データの種類を選択▶「情報更新」▶「はい」

✔お知らせ
- 「動画⊶」「ミュージック」「レコーダー番組」「Music&Videoチャネル」「ｉアプリのデータ」「バックアップ／復元」のデータは情報更新できません。
- microSDカードにデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

◆ microSDカードのチェック

microSDカードのデータをチェックして修復します。
- microSDカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

1 MENU 6 3 ▶「カードチェック」▶「はい」

◆ microSDパスワード設定

他人が不正にmicroSDカードを使用するのを防ぎます。
- microSDカードごとに1件、最大21件登録できます。
- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

1 MENU 8 4 9

2 1 ▶認証操作▶登録するパスワードを入力（半角16文字以内）▶（確認用）欄に登録するパスワードを入力▶「登録」▶「はい」▶「いいえ」

- パスワードマネージャーの登録→P343

パスワードの変更：2 ▶認証操作▶現在のパスワードを入力▶新しいパスワード欄に新しいパスワードを入力▶新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力▶「変更」▶「いいえ」
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付けている場合は、本FOMA端末でパスワードを登録した後に操作できます。

パスワードの削除：3 ▶認証操作▶「はい」▶「OK」
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付けている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。microSDカードに登録したパスワードを入力し、「削除」をタッチしてください。

microSDカードの強制初期化：4 ▶認証操作▶「はい」
- microSDパスワードを含むすべてのデータが削除されます。
- 本FOMA端末以外でパスワードを登録したmicroSDカードを取り付け、本FOMA端末でパスワードが未登録の場合のみ操作できます。

❖ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の携帯電話に取り付けた場合はパスワード設定が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。また、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、画面オフロック中に、パソコンからmicroSDカードを利用できません。

USBモード設定

モードを変更すると、パソコンでFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作したり、データを転送したりできます。
- FOMA端末とパソコンを接続するには、付属のUSBケーブル F01が必要です。
- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。

1 MENU 6 2 5

2 モードを選択

通信モード：1
- パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

microSDモード：2
- FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。

MTPモード：3
- Windows Media PlayerでmicroSDカードに音楽データを転送するときに設定します。→P215「WMAファイルの保存」

3 「はい」

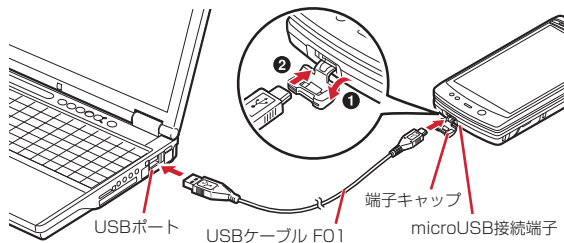
通信モード以外に設定すると、待受画面に次のアイコンが表示されます。microSDカードが挿入されていないときは、グレーで表示されます。
SD：microSDモード　MTP：MTPモード

◆ パソコンとの接続方法

FOMA端末とパソコンをUSBケーブル F01で接続します。
- パソコンの電源が入っている状態で接続してください。

■ USBケーブルの取り付けかた

1 FOMA端末のmicroUSB接続端子の端子キャップを開き、USBケーブル F01のmicroUSBプラグの表記面を上にして差し込む

2 USBケーブル F01のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

✔お知らせ
- パソコンとFOMA端末が接続されると、待受画面にが表示されます。をタッチすると、USBモード設定の画面を表示できます。このとき、パソコンでFOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、「通信モード」以外に設定できないことがあります。
- microSDモード中またはMTPモード中は、ランプが緑色で点滅します。
- 通信モード中にドコモケータイdatalinkを使ってデータ転送を行っている場合は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。

■ USBケーブルの取り外しかた

1 USBケーブル F01のmicroUSBプラグをFOMA端末から引き抜く

2 パソコンからUSBケーブル F01のUSBプラグを引き抜く

✔お知らせ
- USBケーブル F01を無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。また、データ転送中にUSBケーブル F01を外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- microSDモード中にパソコンからUSBケーブル F01を取り外すときは、パソコンの画面右下のタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します」または「F-07Cの取り出し」をクリックして、安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されることを確認してください。

フォルダやアルバムの利用

フォルダやアルバムを追加して、データを分類できます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダの削除やフォルダ名の変更はできません。ただし、その他のフォルダはフォルダ名の変更が、マイピクチャのデコメ絵文字の「顔文字・ｉ絵文字」以外のフォルダは削除やフォルダ名の変更ができます。

◆ フォルダやアルバムの追加

- 次の一覧にフォルダが追加できます。
  - データBOXのMusic&Videoチャネル、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、マイピクチャのデコメ絵文字
  - microSDカードのマルチメディア（ミュージック、Music&Videoチャネル、レコーダー番組を除く）、マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、デコメアニメテンプレート、その他
- データBOXのマイピクチャ、ｉモーション／ムービー、メロディの一覧にアルバムが追加できます。
- データBOXのマイピクチャは最大100個、それ以外はデータの種類ごとに最大10個ずつ追加できます。マイピクチャのデコメ絵文字フォルダは最大20個まで追加できます。microSDカードのマイピクチャは最大900個、動画は最大4095個、マイドキュメントは最大999個、それ以外はデータの種類ごとに最大1000個ずつ追加できます。

〈例〉マイピクチャのアルバムを追加する

1 MENU 5 1

2 「MENU」▶ 1 （メロディのフォルダ一覧では「MENU」▶ 2 ）

3 **各項目を設定▶「登録」**

アルバム名：全角10（半角20）文字以内（マチキャラとキャラ電では最大10文字）でアルバムの名称を設定します。
- microSDカードの「動画🔑」以外のフォルダでは、全角31（半角63）文字まで入力できます。

シークレット属性：プライバシーモード中（マイピクチャが「指定アルバムを非表示」のとき）に、アルバムを表示させるかを設定します。
- FOMA端末のマイピクチャ（デコメ絵文字を除く）、ｉモーション／ムービー、マイドキュメント、その他のみ設定できます。

❖フォルダやアルバムの削除

フォルダやアルバムを削除します。

〈例〉マイピクチャのアルバムを削除する

1 **MENU 5 1**

2 **アルバムをタッチ▶「MENU」▶ 2 （メロディのフォルダでは「MENU」▶ 3 ）▶「はい」**

- データが保存されているときは認証操作を行います。

❖アルバム名やシークレット属性の変更

アルバム名やシークレット属性を変更します。

〈例〉マイピクチャのアルバム名やシークレット属性を変更する

1 **MENU 5 1**

2 **アルバムをタッチ▶「MENU」▶ 3 （メロディのフォルダでは「MENU」▶ 4 ）**

3 **各項目を設定▶「登録」**

✔お知らせ

- microSDカードの「動画🔑」でフォルダを削除すると、次のように動作します。
  - 初期フォルダを削除すると、初期フォルダのサブフォルダとデータだけが削除されます。
  - ホームフォルダに設定されているフォルダを削除すると、初期フォルダがホームフォルダに設定されます。
  - 削除しようとしたフォルダ内に、コンテンツ移行対応のｉモーション以外の無効なファイル（一覧画面に表示されないファイル）が存在すると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されません。この場合、microSDカードをパソコンなどから操作して、無効なファイルが格納されていない状態にしてから、もう一度フォルダを削除してください。

◆データをフォルダやアルバムに移動／コピー

❖データのフォルダやアルバムへの移動

作成したフォルダやアルバムにデータを移動します。
- 「プリインストール」「アイテム」「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。
- 「デコメ絵文字」フォルダに保存されているデータは、「デコメ絵文字」配下のフォルダ以外に移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動する

1 **MENU 5 1 ▶フォルダを選択**

2 **データをタッチ▶「MENU」▶ 5 1**

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」（きせかえツールでは「移動」）▶「アルバムへ移動」または「フォルダへ移動」を選択してください。Music&Videoチャネルの番組一覧、マチキャラ一覧、キャラ電一覧では「移動」を選択します。microSDカードの一覧画面では「移動／コピー」または「移動」▶「他のフォルダへ移動」を選択します。

「自動お預かり」フォルダに移動：データをタッチ▶「MENU」▶ 5 6

「自動お預かり」フォルダに移動した画像を保存する。→P121

3 **1 ～ 3**

- 選択移動では選択操作▶「移動」が必要です。

4 **移動先のアルバムを選択▶「はい」**

- コンテンツ移行対応のデータをmicroSDカードの「動画🔑」に移動するときは、移動先のフォルダをタッチ▶「移動」をタッチします。サブフォルダに保存する場合は、フォルダを選択▶移動先のサブフォルダをタッチ▶「移動」をタッチします。サブフォルダのないフォルダを選択すると、フォルダ作成の確認画面が表示されます。
- 「自動お預かりへ移動」では、移動先のアルバムの選択は不要です。

❖データを固定フォルダに戻す

フォルダやアルバムに移動／コピーしたデータを元のフォルダやアルバムに戻します。

- Music&Videoチャネル、マチキャラ、キャラ電、マイピクチャのデコメ絵文字のデータ、microSDカードのデータは、固定フォルダに戻す操作はできません。

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻す

1 **MENU 5 1 ▶アルバムを選択**

2 **データをタッチ▶「MENU」▶ 5 2**

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」（きせかえツールでは「移動」）▶「フォルダへ戻す」を選択してください。

3 **1 ～ 3 ▶「はい」**

- 選択して戻す場合は選択操作▶「移動」が必要です。

✔お知らせ

- 「デコメピクチャ」フォルダ内のバーコードリーダーで読み取った画像は「データ交換」フォルダに、それ以外は「ｉモード」フォルダに移動します。
- アルバムまたはフォルダ内でコピーしたデータは、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

❖データのフォルダやアルバムへのコピー

マイピクチャ、ｉモーション／ムービー、マイドキュメントでは、データを同じアルバムまたはフォルダにコピーできます。microSDカードのデータの場合は他のフォルダにコピーできます。

- 次のデータはコピーできません。
  - 「プリインストール」フォルダのデータ
  - マイピクチャのパラパラマンガや「アイテム」フォルダの画像
  - 再生制限が設定されているｉモーションやコンテンツ移行対応のｉモーション
  - ファイル制限が「あり」に設定されているデータ（自端末で「あり」に設定したデータを除く）

〈例〉マイピクチャのデータをコピーする

1 **MENU 5 1 ▶フォルダを選択**

2 **データをタッチ▶「MENU」▶ 5 3**

コピー元のデータと同じアルバムまたはフォルダ内に保存されます。

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「移動／コピー」▶「コピー」を選択してください。microSDカードの一覧画面では「移動／コピー」▶「他のフォルダへコピー」▶ 1 ～ 3 ▶移動先のアルバムを選択▶「はい」を選択します。

◆アルバム再生

作成したアルバム内のメロディをまとめて再生できます。

1 **MENU 5 5 ▶アルバムをタッチ▶「MENU」▶ 1**

- アルバム再生時は次の操作ができます。
  上下にスライド：前後のデータ再生
  左右にスライド：音量調整
  「戻る」／CLR：停止

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を表示／変更します。

- Music&Videoチャネルのチャプターの詳細、番組情報→P213
- ミュージック（音楽データ、うた文字）の詳細情報→P221

◆ 詳細情報参照

データの詳細情報を表示します。

〈例〉画像の詳細情報を表示する

1 MENU 5 1 ▶ フォルダを選択

2 画像をタッチ ▶「MENU」▶ 8 1 1

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「詳細情報」▶「参照」を選択してください。

◆ 詳細情報変更

データの詳細情報を変更します。

〈例〉画像の詳細情報を変更する

1 MENU 5 1 ▶ フォルダを選択

2 画像をタッチ ▶「MENU」▶ 8 1 2 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「詳細情報」▶「変更」を選択してください。

◆ 詳細情報の表示項目と変更可否一覧

詳細情報で表示される項目は次のとおりです。microSDカードのデータの場合は、FOMA端末で表示する詳細情報と内容が異なる場合があります。

表示名：FOMA端末で表示するタイトル

- デコメアニメ®テンプレートは全角10（半角20）文字以内、メロディは全角25（半角50）文字以内、それ以外は36文字以内で変更できます。
- microSDカードのデータでは、動画🔑は36文字以内、レコーダー番組は全角50（半角100）文字以内、それ以外は全角31（半角63）文字以内で変更できます。ただし、FOMA端末に移動／コピーすると、FOMA端末で表示名を変更するときの文字数の制限を超過した文字は削除されます。

タイトル※：データのオリジナルタイトル

- 設定されていない場合はファイル名または「---」が表示されます。

ファイル名：メール添付時に表示されるファイル名

- 画像、動画／iモーション、メロディのみ、半角英数字と「.」「-」「_」で、36文字以内で変更できます。ただし、先頭に「.」は使用できません。

ファイル制限：メールに添付して送信した場合の、受信した相手の携帯電話から他の携帯電話への転送の制限

- 画像、動画／iモーション、メロディのみ変更できます。ただし、Flash画像、ダウンロードしたデータやファイルサイズが2Mバイトより大きい動画などは変更できません。

microSD／本体への移動※：FOMA端末とmicroSDカード間の移動の制限

ファイル種別※**／形式**：ファイルの種別

- Flash画像では「---」と表示されます。

表示サイズ※：データの表示サイズ

実メモリサイズ（バイト）、消費メモリサイズ（バイト）：データのファイルサイズ、保存に利用するメモリサイズ

- PDFデータの場合は、iモードしおりやマーク情報を管理するファイルを含みます。
- 同じデータでもFOMA端末とmicroSDカードでは、実メモリサイズが異なる場合があります。

保存日時／作成日時：データを保存／作成した日時

取得元：データの取得元

※ データの種類によっては表示されません。

■ きせかえツールで表示される項目

フォント情報：フォントの情報

■ 画像とキャラ電で表示される項目

コメント：データの説明など

- 100文字以内で変更できます。

■ 画像で表示される項目

種類：画像の種類

メール添付サイズ（バイト）：メール添付可能なデータの添付時のサイズ

フレーム候補、スタンプ候補：フレーム、スタンプとして貼り付け可能か

- JPEGまたはGIF形式の画像のみ変更できます。ただし、「アイテム」フォルダの画像と合成した画像は「する」に変更できません。また、フレーム候補は画像サイズが600×1024より大きい画像を、スタンプ候補は画像サイズが600×1024以上の画像を「する」に変更できません。
- 「する」にしても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

位置情報：位置情報が設定されているか

■ 動画／ｉモーションで表示される項目

作成者※1：作成者情報
コピーライト※1：著作者名／公表年月日など
説明※1：データの説明
音：音声データの種別
映像：映像種別（コーデック）
品質：データのビットレート
着信音設定※2：着信音に設定可能か

- 自端末で、撮影種別を「音声のみ」で撮影した動画や、撮影種別を「画像+音声」で撮影した画像サイズが320×240以下の動画、これらの動画から切り出した動画は「可」になります。

着信画面設定※2：着信画像に設定可能か

- 自端末で撮影種別を「画像のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は「可」になります。

再生制限：再生の制限

※1　256文字以内で変更できます。ただし、ASF形式の動画などデータによっては変更できません。
※2　コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDカードでは「不可」でも、本体へ移動すると「可」になることがあります。

■ きせかえツールとマチキャラで表示される項目

取得状態：取得完了／ダウンロード未完了

■ 動画／ｉモーションとメロディで表示される項目

再生時間：データの再生時間

■ その他で表示される項目

拡張子：ファイルの拡張子

- FOMA端末では表示されません。

データの削除

データを削除します。

- ミュージック（音楽データ、うた文字）の削除→P219
- マイピクチャ、メロディ、きせかえツールの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを削除する

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択

2 データをタッチ▶「MENU」▶ 6 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。
- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「削除」を選択して操作してください。microSDカードの一覧画面でも、サブメニューから「削除」を選択して操作できます。

✔お知らせ

- パラパラマンガを削除すると、構成している元の画像も削除されます。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、各設定はお買い上げ時または標準の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- 既に設定されているマチキャラを削除すると「OFF」に設定されます。
- 既に設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  「@Fケータイ応援団」（2011年5月現在）
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→@Fケータイ応援団
  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

データのソート

データを並べ替えます。
- ミュージック（音楽データ、うた文字）のソート→P220

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替える

1 MENU 5 1 ▶フォルダを選択

2 MENU 7 ▶各項目を設定▶「登録」

- 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「ソート」を選択してください。

対象：並べ替えの方法を選択します。項目はデータにより異なります。
- 「表示名」にすると、Unicode順でソートされます。50音順にならない場合があります。
- 「取得元」にすると、順序が「昇順」の場合はプリインストール→ｉモード→カメラ→データ交換の順でソートされます。

順序：並び順を選択します。

FOMA端末のメモリ確認

メモリの使用量を確認します。

1 MENU 8 7 5 2

2 データの種類をタッチ

「切替」：単位の切り替え
- 「全体」は、データ全体で利用する共有領域の容量を示しています。

✔お知らせ
- ｉアプリの使用領域には、保存されているｉアプリの容量と、削除できないプリインストールｉアプリ（約23.9Mバイト）の合計が表示されます。

最大保存件数や保存領域を超えたとき

ダウンロードやデータを保存する際、最大保存件数（→P439）または共有の保存領域のサイズを超えたときは、画面の指示に従って保存されている不要なデータを削除してください。
microSDカードにデータを1件保存する際に、最大保存件数（→P289）を超えたときや空き容量が不足したときも同様に操作できます。

1 削除の確認画面で「はい」または「削除」

削除コンテンツ選択画面が表示され、削除が必要な容量と、各データの種類ごとの使用容量が表示されます。microSDカードの場合は、削除が必要な容量または件数が表示されます。
- 本体の最大保存件数を超えたときは削除コンテンツ選択画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 データの種類を選択

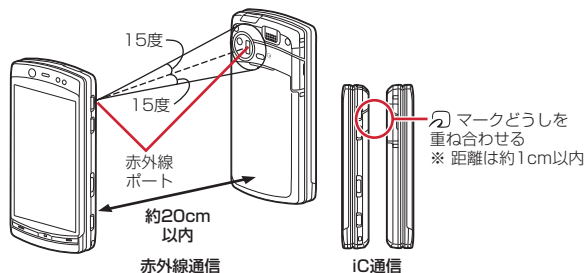
3 フォルダを選択▶ファイルを選択▶「はい」

- microSDカードの場合は選択操作▶「選択」が必要です。

赤外線通信／iC通信の利用

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信をしたり、iC通信機能が搭載された他のFOMA端末とマークを重ね合わせてデータの送受信をしたりします。また、赤外線通信やiC通信に対応したｉアプリを利用することもできます。
- パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送は同時に使用できません。
- 赤外線通信中やiC通信中は、データ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC™1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

◆ 赤外線通信／iC通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- iC通信時は、送信側と受信側のマークを約1cm以内に重ね合わせてください。また、データの送受信が終わるまで重ねたまま動かさないでください。

✔お知らせ

- iC通信でマークを重ね合わせるとき、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- iC通信でマークを重ね合わせても通信が開始されない場合は、重ねる位置を5～10mm程度ずらしてください。
- 充電中はiC通信によるデータの送信はできません。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信ができない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

赤外線送信／iC送信

データを1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとにまとめて送信する方法があります。

- 送信できるデータは次のとおりです。
  プロフィール情報、電話帳、スケジュール、受信／送信／未送信メール、テキストメモ、Bookmark、トルカ、現在地通知先、画像※、動画※、メロディ※、ドキュメント（PDFデータ）※、デコメアニメ®テンプレート※
  ※ iC全件送信には対応していません。

◆ 赤外線1件送信

赤外線通信でデータを1件送信します。

〈例〉電話帳を1件送信する

1 MENU 4 1 ▶電話帳検索▶電話帳をタッチ▶「MENU」▶ 8 1 ▶「はい」

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「赤外線送信」を選択して操作してください。画面によっては「赤外線／iC送信」「赤外線／iC／microSD」のいずれかを選択してから「赤外線送信」を選択します。現在地通知先一覧では「赤外線送信」▶「送信」を選択します。

プロフィール情報を送信：MENU 0 ▶「赤外線」▶「はい」

◆ iC1件送信

iC通信でデータを1件送信します。

〈例〉電話帳を1件送信する

1 MENU 4 1 ▶電話帳検索▶電話帳をタッチ▶「MENU」▶ 8 3 ▶「はい」

- 一覧画面によってサブメニューの名称や項目番号は異なります。「iC送信」を選択して操作してください。画面によっては「赤外線／iC送信」「赤外線／iC／microSD」のいずれかを選択してから「iC送信」を選択します。現在地通知先一覧では「iC送信」▶「送信」を選択します。

プロフィール情報を送信：MENU 0 ▶「iC送信」▶「はい」

◆ 赤外線全件送信

選択した項目のデータをまとめて赤外線送信します。受信側で保存していたデータは消去され、送信したデータが保存されます。

- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 **MENU 6 2 2 ▶送信する項目を選択▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」**

◆ iC全件送信

選択した項目のデータをまとめてiC送信します。受信側で保存していたデータは消去され、送信したデータが保存されます。

- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 **MENU 6 2 3 ▶送信する項目を選択▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」**

✔お知らせ

〈1件送信/全件送信共通〉

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダのデータを除く）。
- 受信側の端末によっては対応していないデータが受信できなかったり、登録できない項目が破棄されたりします。
- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 電話帳に登録した動画／ｉモーションは送信できません。
- スケジュールの誕生日やｉスケジュールは送信できません。ただし、ｉスケジュール内の予定をスケジュールデータとして1件送信できます。
- メールの送信時、メール本文中に貼付されたｉアプリが起動できるリンク項目は削除されます。また、受信側の端末によっては題名をすべて受信できない場合があります。
- トルカの送信時、IP（情報サービス提供者）の設定によっては、送信できない場合があります。また、受信側の端末によっては、トルカ（詳細）は受信できない場合があります。
- 画像、動画、PDFデータの表示名は全角9（半角18）文字以内で送信され、超過した文字は削除されます。
- PDFデータ送信時、部分保存したデータやダウンロードに失敗したデータは送信できません。

〈1件送信〉

- ファイルサイズが3Mバイトより大きい動画、ｉモードしおりやマーク情報を除いたファイルサイズが512Kバイトより大きいPDFデータは送信できません。

〈全件送信〉

- ファイルサイズが8Mバイトより大きい動画は送信できません。
- 電話帳送信時、プロフィール情報（自局電話番号を除く）も送信されます。また、電話帳グループのシークレット属性は解除され、各電話帳にシークレット属性が設定されて送信されます。
- 電話帳送信時、データ送受信設定の電話帳の画像送信が「なし」の場合、画像は送信されません。ただし、「あり」に設定していても、送信先の端末によっては画像が送信されない場合があります。

赤外線受信／iC受信

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法があります。

- 受信できるデータは次のとおりです。
  プロフィール情報、電話帳、スケジュール、受信／送信／未送信メール、テキストメモ、Bookmark、トルカ、現在地通知先、画像※、動画※、メロディ※、ドキュメント（PDFデータ）※、デコメアニメ®テンプレート※
  ※ iC全件受信には対応していません。
- 1件受信時、次のデータはお買い上げ時に登録されている以下のフォルダに保存されます。
  メール：「受信BOX」「未送信BOX」「送信BOX」（メールによってはメール連動型ｉアプリ用のフォルダ）
  Bookmark：「Bookmark」
  トルカ：「トルカフォルダ」
  画像：マイピクチャの「データ交換」（デコメ絵文字®は「デコメ絵文字」の「顔文字・ｉ絵文字」）
  動画：ｉモーション／ムービーの「データ交換」
  メロディ：メロディの「データ交換」
  PDFデータ：マイドキュメントの「データ交換」

◆ 赤外線1件受信

赤外線通信でデータを1件受信します。

1 MENU 6 2 1

2 1 ▶「はい」▶送信側でデータを1件送信▶データ受信後に「はい」

◆ iC1件受信

iC通信でデータを1件受信します。

1 送信側でデータを1件送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶データ受信後に「はい」

◆ 赤外線全件受信

データの種類ごとにまとめて赤外線受信します。受信側で保存していたデータは保護したデータも含めすべて削除され、受信したデータが保存されます。

- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 MENU 6 2 1

2 2 ▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」▶送信側でデータを全件送信▶データ受信後に「はい」

◆ iC全件受信

データの種類ごとにまとめてiC受信します。受信側で保存していたデータは保護したデータも含めすべて削除され、受信したデータが保存されます。

- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 送信側でデータを全件送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶再度マークを重ね合わせる▶データ受信後に「はい」

✔お知らせ

〈1件受信/全件受信共通〉

- iC受信では、他の機能が起動しているとデータを受信できません。必ず待受画面で受信してください。
- FOMA端末で表示・再生できないサイズのデータ、および次のデータは受信できません。
  - 1件受信時、ファイルサイズが3Mバイトより大きい動画
  - 全件受信時、ファイルサイズが8Mバイトより大きい動画
  - 1件受信時、iモードしおりやマーク情報を除いたファイルサイズが512Kバイトより大きいPDFデータ
- FOMA Fシリーズ以外の端末から画像、動画、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。

〈1件受信〉

- プロフィール情報は電話帳に保存されます。
- 電話帳受信時は、10番以降の最も小さい空きメモリ番号に割り当てられます。空きがないときは、0～9が割り当てられます。

〈全件受信〉

- 受信側の保存データ(追加したフォルダやアルバムを含む)は保護したデータも含めすべて削除され、受信したデータが保存されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータなど、データによっては削除されないものがあります。
- データはフォルダごと受信しますが、送信側の端末とは保存先フォルダが異なったり、フォルダ名やデータの並び順が変わったりする場合があります。また、送信側でデータが保存されていないフォルダは受信しません。
- 電話帳の全件受信時、プロフィール情報(自局電話番号を除く)も上書きされます。
- スケジュールとToDo(用件を管理するリスト機能)データの両方を全件受信した場合、スケジュールのみが保存されます。

データ送受信設定

赤外線通信やiC通信、パソコンと接続したデータ転送によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 MENU 6 2 4 ▶各項目を設定▶「登録」

- 自動認証を変更する場合は、認証操作が必要です。「あり」にしたときは、4〜8桁の携帯側認証コードとパソコン側認証コードを入力▶「確定」をタッチします。
- 自動認証を「あり」にすると、パソコンと接続したデータ転送時に認証コードを自動でやりとりします。
- 電話帳の画像送信を「なし」にすると、電話帳の全件送信時に電話帳に登録した画像を送信しません。

PDFデータの表示（マイドキュメント）

PDFデータを表示します。

1 MENU 5 6

2 フォルダを選択

microSDカードの一覧に切り替え：「microSD」

3 PDFデータを選択

- パスワードが設定されたPDFデータを選択したときは、パスワードの入力画面が表示されます。
- ダウンロードに失敗したPDFデータを選択したときは、ダウンロードの確認画面が表示されます。
- ディスプレイ下部にはページ番号／総ページ数と表示倍率が表示されます。

メールに添付：PDFデータをタッチ▶「✉作成」
サムネイル表示とリスト表示の切り替え：「切替」

✔お知らせ

- 画像が多い場合など、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。

❖PDFデータ表示中の操作

表示中の基本的な操作は次のとおりです。

スクロール：上下左右にスライド（▲、▼、◀、▶を押し続けると連続スクロール）
ツールバーで操作：# ▶アイコンを選択

機能説明
ツールバー
縮小

- ツールバーにはキーを押すと動作する機能がアイコン表示されます。機能説明には、カーソル位置のアイコンの機能とキーの数字が表示されます。
- CLR を押すとツールバーの操作が無効になります。

ページ移動：「MENU」▶ 1 ▶ 1 〜 5
- 「指定のページ」を選択したときは、移動するページを入力して「確定」をタッチします。

変更情報の保存：「MENU」▶ 2 ▶「はい」
画面切り出し：「MENU」▶ 3 ▶「はい」▶各項目を設定▶「保存」▶保存先を選択
- ガイド表示領域に「▯◆SD」が表示された場合は、「▯◆SD」をタッチして「SD保存」をタッチすると、microSDカードの「その他の画像」フォルダに保存されます。
- 切り出した画像の画像サイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさになります。また、メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、PDFデータの設定に従います。

しおりを使った移動：「MENU」▶ 4 1 ▶しおりを選択
ｉモードしおりの利用：「MENU」▶ 4 2 1
- ｉモードしおりを選択するとページが表示されます。
- サブメニューから情報の変更やｉモードしおりの削除ができます。

ｉモードしおりの追加：追加するページで「MENU」▶ 4 2 2 ▶情報を入力（全角64（半角128）文字以内）▶「登録」
- ページごとに表示倍率や回転方向、表示範囲を記録します。PDFデータごとに最大10件登録できます。

マークの利用：「MENU」▶ 4 2 3
- マークを選択するとページが表示されます。
- サブメニューからマークの削除ができます。

マークの追加：追加するページで「MENU」▶ 4 2 4
- マークを追加すると画面中央付近に🔖が登録されます。PDFデータごとに最大10件登録できます。

文字列検索：「MENU」▶ 5 ▶文字列を入力（全角8（半角16）文字以内）▶各項目を設定▶「検索」
- 一致した語が緑色で強調表示されます。「前の候補」／「次の候補」をタッチすると前後の候補に移動、CLRを押すと元の表示に戻ります。「編集」をタッチすると、再び検索できます。

ガイド表示領域の表示切り替え：「MENU」▶ 6 1
本体の傾きに合わせて表示：「MENU」▶ 6 2 ▶ 1 ～ 3
表示モードを選択して拡大／縮小：「MENU」▶ 6 3 ▶ 1 ～ 3
表示倍率を指定して拡大／縮小：「MENU」▶ 6 4 ▶倍率を入力
表示の回転：「MENU」▶ 6 5 ▶ 1 ～ 3
ページレイアウトの変更：「MENU」▶ 6 6 ▶ 1 ～ 3
リンク機能の利用：「MENU」▶ 6 7 ▶リンク項目をタッチ
- リンク項目は青枠（カーソル位置は赤枠）で囲まれます。CLRを押すと元の表示に戻ります。
- リンク機能→P175

スクロールバーなどの表示設定：「MENU」▶ 7 ▶各項目を設定▶「登録」
部分保存したPDFデータの全取得：「MENU」▶ 8 ▶「はい」
詳細情報の表示：「MENU」▶ 9
キー操作一覧の表示：「MENU」▶ 0
- CLRを押すと元の表示に戻ります。

iモード／フルブラウザの利用：「画面」▶ 1 ～ 3

✔お知らせ
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面を切り出す操作ができない場合があります。
- iモードしおりやマークを登録しても、パソコンなどでは表示できない場合があります。

◆ PDFデータの動作設定

PDFデータの一覧でサムネイル表示にするかどうかを設定します。

1 MENU 5 6 ▶「MENU」▶ 6 ▶ 1 または 2

便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、iモード通信、データ通信など複数の通信を同時に使用できる機能です。

- マルチアクセスの組み合わせ→P417
- マルチアクセス中は各通信について通信料金がかかります。

〈例〉音声電話中にiモードに接続する

1 音声電話中に[メニューキー]▶[2][1]

- サイト画面を表示したまま通話できます。
- [終話キー]を押すと、表示中の機能が終了します。

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、機能が2つ実行されていても起動できる場合があります。

〈例〉メール作成中にスケジュール帳を確認する

1 メール作成中に[メニューキー]▶[7][1]▶スケジュール帳を確認

- [終話キー]を押すと、表示中の機能が終了します。
- [メニューキー]▶「全終了」をタッチし「はい」を選択すると、実行中のすべての機能が終了します。

✔お知らせ

- 動画再生中、カメラ操作中、Flash画像再生中、Music&Videoチャネルの番組やミュージックプレーヤーでの曲の再生中などに他の機能を起動したり操作したりするなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

◆マルチタスク切り替え

同時に実行している機能の画面を切り替えます。

〈例〉メール作成中画面からスケジュール帳画面へ切り替える

1 メール作成中に[メニューキー]▶「スケジュール帳」

- タスク切替メニューは、メニュー項目の名称と異なる場合があります。
- タスク切替メニュー表示中に「新規」をタッチするとマルチタスクメニューが表示されます。マルチタスクメニュー表示中に「切替」をタッチすると、タスク切替メニューに切り替わります。

クイック検索

iモード、フルブラウザ、地図、使いかたガイド、サーチミーアルバム、辞典、メールの検索機能を利用できます。

- 実行中の機能によっては、検索結果を表示する機能と同時に起動できず、検索できない場合があります。
- 文字をコピー／切り取りする操作の途中でも検索できます。→P168、342
- 検索のしかたや検索機能の状態によっては、検索できない場合や正しく表示できない場合があります。

〈例〉フルブラウザ検索を利用する

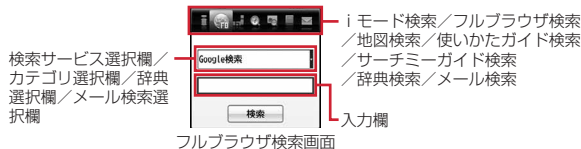
1 [メニューキー]▶「クイック検索」

- 入力したキーワードを検索していない場合は、キーワードが入力された状態で表示されます。

2 [アイコン]をタッチ▶検索サービス選択欄を選択▶検索サービスを選択▶入力欄にキーワードを入力（全角128（半角256）文字以内）▶「検索」▶「はい」

フルブラウザが起動し、選択した検索サービスの検索結果画面が表示されます。

- 「はい」の代わりに「はい（以降非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

フルブラウザ検索画面

iモード検索：[アイコン]をタッチ▶入力欄にキーワードを入力（全角35（半角70）文字以内）▶「検索」

iモードが起動し、iモード検索の検索結果画面が表示されます。

- 「iMenuに接続」を選択するとiMenuが表示されます。

地図検索：をタッチ▶入力欄にキーワードを入力（全角40（半角80）文字以内）▶「検索」
地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動し、検索結果画面が表示されます。
- GPS対応ｉアプリによっては、複数のキーワード（空白で区切って次を入力）で検索できます。
- 「地図を見る」を選択すると地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

使いかたガイド検索：をタッチ▶入力欄にキーワードを入力（全角35（半角70）文字以内）▶「検索」
使いかたガイドが起動し、フリーワード検索の検索結果画面が表示されます。

サーチミーガイド検索：をタッチ▶入力欄にキーワードを入力（全角6（半角12）文字以内）▶「検索」
FOMA端末内とmicroSDカード内に保存されているサーチミーフォーカスの個人認識データに登録した人物の画像を対象とした検索結果画面が表示されます。
- キーワードと名前が完全一致する画像のみを検索します。
- 「人物選択」を選択するとサーチミーフォーカスで登録した個人認識データから検索できます。→P277
- データの更新をするかのメッセージが表示された場合は「はい」を選択します。

辞典検索：をタッチ▶辞典選択欄を選択▶1～3▶入力欄にキーワードを入力（全角128（半角256）文字以内）▶「検索」
辞典が起動し、検索結果画面が表示されます。

メール検索（題名／本文）：をタッチ▶メール検索選択欄を選択▶1または2▶入力欄にキーワードを入力（全角128（半角256）文字以内）▶「検索」
条件に該当するメールが一覧で表示されます。
- 複数のキーワード（空白で区切って次を入力）で検索できます。
- 「高度な検索」を選択すると、より詳しい条件で検索できます。→P143

メール検索（電話帳フリガナ）：をタッチ▶メール検索選択欄を選択▶3または4▶入力欄にキーワードを入力（半角9文字以内）▶「検索」
条件に該当するメールが一覧で表示されます。

検索機能の切り替え：キーワード入力後に検索したい機能をタッチ▶「検索」
- ｉモード検索、フルブラウザ検索、地図検索、使いかたガイド検索、サーチミーアルバム検索、辞典検索が共通のキーワードとして、メール検索（半角文字の題名／本文と電話帳フリガナ）が共通のキーワードとして切り替えられます。

キーワード履歴の利用：検索したい機能をタッチ▶「履歴」▶1～5▶「検索」
- ｉモード検索、フルブラウザ検索、地図検索、使いかたガイド検索、サーチミーアルバム検索、辞典検索が共通の履歴として最大5件、メール検索（半角文字の題名／本文と電話帳フリガナ）が共通の履歴として最大5件（ただし、メール検索（題名／本文）は全角文字の履歴も含む）記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- キーワード履歴を削除する場合は「MENU」▶2をタッチし「はい」を選択します。フルブラウザ検索から削除する場合は「MENU」▶4、地図検索から削除する場合は「MENU」▶3をタッチします。

コピーした文字の貼り付け：検索したい機能をタッチ▶「貼付」▶「検索」
- メール検索は貼り付けられません。

◆ 検索サービスの管理

クイック検索（フルブラウザ検索）の検索サービスを管理します。
- 検索サービスは最大10件登録できます。

〈例〉検索サービスを追加する

1 ▶「クイック検索」▶をタッチ

2 「MENU」▶2▶「はい」▶検索サービスを選択

タイトル名の変更：「MENU」▶1▶検索サービスをタッチ▶「タイトル変更」▶タイトル名を入力（36文字以内）▶「登録」
元のタイトル名に戻す：「MENU」▶1▶検索サービスをタッチ▶「タイトル変更」▶「オリジナルに戻す」▶「登録」
削除：「MENU」▶1▶検索サービスをタッチ▶「MENU」▶2▶「はい」
並び順の変更：「MENU」▶1▶検索サービスをタッチ▶「MENU」▶3または4

3 「保存」▶タイトル名を入力（36文字以内）▶「保存」
- 最大登録件数を超える場合は上書きの確認画面が表示されます。

自動電源ON／OFF設定

指定した時刻に自動的に電源を入れたり切ったりします。

1 MENU 8 7 2

2 **目的の操作を行う**

自動電源ON設定：2 ▶各項目を設定▶「登録」
自動電源OFF設定：3 ▶各項目を設定▶「登録」

✔お知らせ

- 自動電源OFF設定が「ON」でも、他の機能を利用中は電源が切れません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ON設定を「OFF」にしてください。

お知らせタイマー

指定した時間が経過したことをタイマー音などでお知らせします。

1 MENU 7 6 ▶**時間を入力（1～60分）**▶「開始」

カウントダウンが始まります。

- 待受画面で時間をキー入力して▲を押しても開始できます。
- カウントダウン中にCLRまたは終話キーを押すと、終了の確認画面が表示されます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに「お知らせタイマー 時間です」と表示され、音量設定の目覚まし音量でタイマーが鳴ります。また、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時やイルミネーション設定の着信イルミネーションの電話着信に従って動作します。

- 終話キーを押すと、タイマーが終了します。
- 以下の場合、タイマーが停止します。
  - 約1分間何も操作しない
  - 「停止」または画面上をタッチ
  - 鍵キー マナーキー Sh Fn1 Fn2 Ctrl Alt space Windowsキー ＊/全 改行以外のキーを押す

✔お知らせ

- 通話中に指定した時間になると、警告音が鳴りタイマーの画面が表示されます。
- イミテーションコール通話中に指定した時間になると、タイマーは鳴らず、バイブレータが振動します。
- 電話の発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、ワンタッチアラーム鳴動中に指定した時間になると、操作や動作が終了した後、タイマーが動作します。

目覚まし

目覚ましを設定します。

- 最大9件登録できます。

1 MENU 7 3

2 **番号を選択**

設定／解除：**登録済みの目覚ましをタッチ▶「設定」または「解除」**

- 設定中は時刻の左に🕘が表示されます。

3 **各項目を設定**

時刻：目覚ましを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し：繰り返しを設定すると、目覚まし一覧のスヌーズの左に🔄が表示されます。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して「確定」をタッチします。

メッセージ：全角7（半角14）文字以内で入力します。
スヌーズ：約1分間鳴った後に停止して再び鳴り出す動作を選択した時間の間隔で約30分間繰り返すかどうかを設定します。

4 **左右にスライドまたはタブをタッチして音設定画面に切り替え▶各項目を設定**

目覚まし音：「端末設定に従う」にすると、アラーム音の目覚まし音に従います。→P85
ミュージックの設定→P83
音量：「端末設定に従う」にすると、音量設定の目覚まし音量に従います。

5 **左右にスライドまたはタブをタッチしてその他設定画面に切り替え▶各項目を設定**

バイブレータ：「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時に従います。

イルミネーションパターン：「メロディ連動」にすると、複数の色で点滅します。イルミネーションカラーは設定できません。また、メロディによっては連動しない場合があります。

- 「OFF」以外にすると、水色で点滅します。

イルミネーションカラー：ランプの点灯色を設定します。

6 **「登録」**

- 目覚ましを設定すると、待受画面にまたは(スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

❖指定した時刻になると

ディスプレイにメッセージと時刻が表示され、設定に従って動作します。

- を押すと目覚ましが終了します。
- 以下の場合、目覚ましが停止またはスヌーズします。
  - 約1分間何も操作しない
  - 「停止」または画面上をタッチ
  - 以外のキーを押す
- スヌーズ動作で停止しているときは、ディスプレイに「スヌーズ中 Snooze」と表示され、ランプが白色でゆっくり点滅します。
- 目覚まし停止中にまたはを押すと、目覚ましは終了します。スヌーズ動作で停止しているときはを押すと終了します。

✔お知らせ

- 目覚まし音に動画／ｉモーションを設定すると、目覚ましが動作するとき画面に動画／ｉモーションが表示されます。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中、イミテーションコール通話中、電話の発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、ワンタッチアラーム鳴動中に指定した時刻になった場合の動作は、お知らせタイマーと同じです。

アラーム自動電源ON設定

電源を切っていても目覚ましやスケジュール帳などで指定した時刻になると、自動的に電源が入りアラームが鳴るように設定できます。

1 **MENU 8 7 2 5 ▶ 1 または 2**

✔お知らせ

- 電池パックを外した場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、本機能を「OFF」にしてください。

ワンタッチアラーム

本機能を有効にすると、を1秒以上押して操作する機能が動作せず、大音量でアラームが鳴ります。

◆ワンタッチアラーム設定

ワンタッチアラームの動作を設定します。

1 **MENU 7 7 ▶各項目を設定▶「登録」**

ワンタッチアラーム設定：ワンタッチアラームを有効にするかどうかを設定します。

- ワンタッチアラーム設定を「OFF」にした場合は、操作2は不要です。

音量：「ステップトーン」にすると、音量が次第に大きくなり約5秒で最大になります。

アラーム鳴動中着信動作：「着信優先」にすると、電話がかかってきたときワンタッチアラームの鳴動を終了し、着信の動作を行います。「着信拒否(アラーム継続)」にすると、アラームが鳴り続け、不在着信として記録されます。

2 **「OK」**

ワンタッチアラームを設定すると、待受画面にが表示されます。

◆ ワンタッチアラームの起動

大音量アラームを鳴らします。

1 [キー]（1秒以上）

アラームが鳴り、ランプが赤色で点滅し、バイブレータが振動します。

- 以下の場合、ワンタッチアラームが終了します。
  - 約10分間何も操作しない
  - 画面上をタッチ
  - [キー]Sh Fn1 Fn2 Ctrl Alt [キー]以外のキーを押す

✔お知らせ

- 電源が入っていないとき、電池が切れそうなとき（→P45）、マナーモード中、おまかせロック中、データ転送モード中、ソフトウェア更新中は、ワンタッチアラームは鳴動しません。
- 通話中やパソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中は、ワンタッチアラームを起動できますが、パソコンとつないだパケット通信中以外は通話や通信が切断されます。
- 他の機能の処理が終了する前にワンタッチアラームを起動すると、鳴動開始が多少遅れる場合があります。
- ワンタッチアラーム鳴動中の各動作や各操作は次のとおりです。
  - 電池が切れそうになると、ワンタッチアラームは終了します。
  - 自動起動を設定したｉアプリは起動せず、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時間や日時になると、ワンタッチアラーム終了後にそれぞれ動作します。
  - ソフトウェア更新の書き換え時刻になっても、書き換えは始まりません。
  - イヤホン変換アダプタ F01で発信操作を行うと、ワンタッチアラームを終了して電話を発信できます。
  - おまかせロックが起動したり、エリアメールを受信したりすると、ワンタッチアラームは終了します。
  - 64Kデータ通信やパソコンとつないだパケット通信の着信があると、着信は拒否されます。このとき、64Kデータ通信のみ不在着信として記録されます。
- ワンタッチアラームは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保証するものではありません。本機能をご利用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

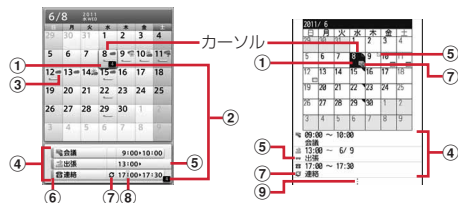
スケジュール帳

スケジュールを登録したり、ダウンロードしたｉスケジュールを確認したりできます。

- スケジュール帳の表示や一部の機能は、スケジュール帳表示設定のスケジュール帳タイプ「ノーマル」「クラシック」によって異なります。

◆ カレンダーを表示する

スケジュール帳のカレンダーを表示します。

1 MENU 7 1

カレンダー画面（ノーマル）　カレンダー画面（クラシック）

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **スケジュールあり**
  - 「ノーマル」では、通常スケジュール（誕生日含む）を登録している場合は━（水色）、ｉスケジュール内の予定が登録されている場合は━（オレンジ）が表示されます。
  - 「クラシック」では、最も早い時刻に登録したスケジュールの用件アイコンが表示されます。

② **スケジュール件数**

③ **週間天気予報**
  - ｉコンシェルを契約すると、当日から最大8日分が自動的に配信されます。

④ **カーソル位置の日付に登録したスケジュール一覧**
- 「ノーマル」では、登録したスケジュール以外にｉスケジュール内の予定や電話帳に登録した誕生日が表示されます。
- 「クラシック」では、横画面表示中や拡大モードで表示中は表示されません。

⑤ **長期間スケジュール**
⑥ **通常スケジュール（誕生日含む）（水色）／ｉスケジュール内の予定（オレンジ）**
⑦ **繰り返しスケジュール**
⑧ **スケジュールアラームあり**
⑨ **スケジュール4件以上あり**

❖カレンダー画面表示中の操作

カーソル移動：日付をタッチ
前月／翌月の切り替え：「前月」／「翌月」
日付を指定して移動：「MENU」▶ 4 2 ▶年月日を入力▶「確定」
当日に戻る：「MENU」▶ 4 1
スケジュールの登録件数確認：「MENU」▶ 7 1
ｉスケジュール一覧の表示（「ノーマル」のみ）：「ｉスケジュール」
ｉスケジュールの確認→P317
キー操作一覧の表示（「クラシック」のみ）：「MENU」▶ 7 2
横画面のとき、画面の上部を表示（「ノーマル」のみ）：Fn＋▲
横画面のとき、画面の下部を表示（「ノーマル」のみ）：Fn＋▼

✔お知らせ
- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2011年5月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。
- 誕生日は、編集、削除、コピー、シークレット属性設定などの操作ができません。また、登録件数確認で表示される件数に含まれません。
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→P118

◆スケジュール帳表示設定

本設定のスケジュール帳タイプを「ノーマル」にすると、ｉコンシェルからダウンロードしたｉスケジュールや、電話帳に登録した誕生日などを表示できます。「クラシック」にすると、カレンダー画面のスクロール動作や拡大表示を変更できます。

1 **MENU 7 1 ▶「MENU」▶ 6 1 ▶各項目を設定▶「登録」**

スケジュール帳タイプ：「クラシック」にすると、スクロール動作と拡大モードを設定できます。
週の先頭：1週間の始まり（左側に表示）を設定します。
スクロール動作：上下にスライドしたとき、画面を1か月ごとに切り替えるか1週間ごとにスクロールするかを設定します。
拡大モード：「ウイークリー拡大モード」にすると週を基準に4段階、「デイリー拡大モード」にすると日を基準に7段階で表示を拡大できます。「通常表示モード」にすると、縦画面では拡大できませんが、横画面ではウイークリー拡大モードで表示されます。
- 拡大するとスケジュールの登録内容（拡大モードや拡大率により異なる）が表示されます。

◆休日／曜日休日／祝日設定

カレンダーに休日や祝日を設定したり、週休を変更したりできます。
- 休日は最大30件設定できます。
- 祝日は最大5件新規登録できます。

1 **MENU 7 1 ▶「MENU」▶ 6**

2 **目的の操作を行う**

固定日／毎年繰り返しの休日の設定：2 ▶日付をタッチ▶「設定」または「毎年設定」
- 休日設定画面で休日をタッチすると、年月の右側に「休日」または「毎年繰り返し休日」と表示されます。

休日の解除：2 ▶休日をタッチ▶「解除」
休日の全件解除：2 ▶「全解除」▶「はい」
週休の設定：3 ▶各項目を設定▶「登録」
週休を元の設定に戻す：3 ▶「リセット」▶「登録」

祝日の設定：4▶「新規」▶各項目を設定▶「登録」
- 祝日名は全角11（半角22）文字以内で入力します。
- 表示を「ON」にすると、カレンダー画面やデイリービュー画面で祝日名が表示されます。

祝日の変更：4▶祝日を選択▶各項目を設定▶「登録」
- お買い上げ時に設定されている祝日名は変更できません。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、日付欄で「カスタマイズ」を選択し、日付を入力します。

祝日の削除：4▶祝日をタッチ▶「削除」▶「はい」
- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

◆スケジュール登録

スケジュールを登録します。
- FOMA端末を開く操作で新規登録画面を表示できます。→P320

1 MENU 7 1 ▶「MENU」▶ 1

2 各項目を設定

：用件アイコンを選択します。選択した用件アイコンに対応した予定が入力欄に表示されます。全角300（半角600）文字以内で変更できます。

終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは「ON」を選択します。

開始日時：開始日時を入力します。

終了日時：終了日時を入力します。開始日時よりも後の日付に設定すると、長期間スケジュールとして登録されます。

場所：全角25（半角50）文字以内で入力します。

詳細：全角300（半角600）文字以内で入力します。

3 左右にスライドまたはタブをタッチしてスケジュール連絡先画面に切り替え▶「〈スケジュール連絡先選択〉」▶電話帳から連絡先を選択

- 最大5名登録できます。
- 削除するときは、連絡先をタッチして「削除」をタッチします。

4 左右にスライドまたはタブをタッチしてアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム：アラームを設定するときは「あり」を選択し、アラーム音を選択します（スケジュールアラーム）。
- 「端末設定に従う」にすると、アラーム音のスケジュール音に従います。→P85
  ミュージックの設定→P83

アラーム時間（分前）：予定の何分前にアラームを鳴らすかを0～99分の範囲で設定します。

5 左右にスライドまたはタブをタッチしてその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：「なし」以外にすると、繰り返しスケジュールとして登録されます。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して「確定」をタッチします。
- 開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返しを「毎月」または「毎年」にした場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。

アラーム画像：スケジュールアラーム画面を変更するときは、「あり」を選択して「画像選択」を選択し、画像を選択します。

6 「登録」

- アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは(目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

❖クイックスケジュール

カレンダー画面を表示せず、簡単な操作でスケジュールを登録できます。

1 日時（8桁の数字）をキーで入力▶▲

スケジュールの新規作成画面が表示されます。
- 6月8日10時0分の場合、「06081000」と入力します。
- 当日に登録する場合は、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。
- 現在の日時以前を入力した場合は、翌年または翌日の新規作成画面が表示されます。

スケジュール登録→P314

❖指定した日時になると

ディスプレイにイメージ、日時、予定が表示され、音量設定のスケジュール音量でアラームが鳴ります。また、バイブレータ設定のスケジュール鳴動時やイルミネーション設定の着信イルミネーションの電話着信に従って動作します。

- [終話キー]を押すとアラームが終了します。
- 以下の場合、アラームが停止します。
  - 約1分間何も操作しない
  - 「停止」または画面上をタッチ
  - [キー][キー][Sh][Fn1][Fn2][Ctrl][Alt][キー]以外のキーを押す
- アラーム停止中に「詳細」をタッチすると、詳細画面が表示されます。

✔お知らせ

- 終日が「ON」のスケジュールは、指定した日の0時にスケジュールアラームが動作します。
- スケジュールアラームに動画／ｉモーションを設定すると、スケジュールアラームが動作するとき画面に動画／ｉモーションが表示されます。
- 同じ日時に複数のスケジュールアラームを設定している場合、アラームを停止した後左右にスライドすると他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームと目覚ましを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中、イミテーションコール通話中、電話の発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送モード中、ワンタッチアラーム鳴動中に指定した日時になった場合の動作は、お知らせタイマーと同じです。

◆アラーム初期値設定

スケジュール登録時のスケジュールアラームの初期値を設定できます。

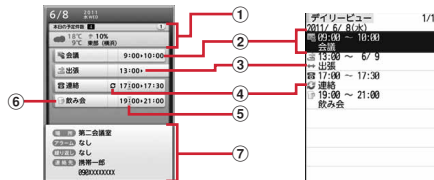
1 [MENU][7][1]▶「MENU」▶[6][5]▶各項目を設定▶「登録」

通常登録時：カレンダー画面から登録するときの初期値を設定します。
待受画面から登録時：クイックスケジュールで登録するときの初期値を設定します。

◆スケジュールの確認

スケジュールの確認や編集などを行います。

- ｉスケジュール内の予定も同様に表示できますが、サブメニューなどの操作が異なったり制限されたりします。→P317

1 [MENU][7][1]▶**スケジュールの登録日を選択**

デイリービュー画面（ノーマル）　デイリービュー画面（クラシック）

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **スケジュール件数、週間天気予報**
  - 用件別表示中は、「本日のフィルタリング後の予定件数」と表示されます。

  ② **用件アイコン、予定、開始時刻～終了時刻**
  ③ **長期間スケジュール**
  ④ **繰り返しスケジュール**
  ⑤ **スケジュールアラームあり**
  ⑥ **通常スケジュール（誕生日含む）（水色）／ｉスケジュール内の予定（オレンジ）**
  ⑦ **スケジュール詳細**

2 スケジュールを選択

詳細画面（ノーマル）

詳細画面（クラシック）

日付の切り替え：左右にスライド
編集：スケジュールをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶スケジュール編集
スケジュール登録→P314
- FOMA端末を開く操作で編集画面を表示できます。→P320

削除：スケジュールをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 ～ 5 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたスケジュールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。
- 選択した日付を含む長期間スケジュールを登録している場合は、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると、長期間スケジュール削除の確認画面が表示されます。

用件を指定して表示〈用件別表示〉：「MENU」▶ 4 2 ▶用件アイコンを選択
カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。
用件別表示の解除：「MENU」▶ 4 1
スケジュールのコピー／貼り付け：スケジュールをタッチ▶「MENU」▶ 6 1 ▶ CLR ▶貼り付ける日付をタッチ▶「MENU」▶ 5
- コピーしたスケジュールは最新の1件だけがスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けられます。

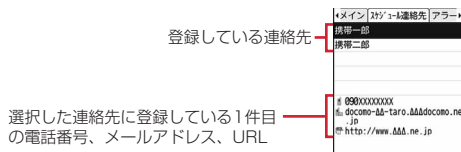
メールの作成：スケジュールをタッチ▶「MENU」▶ 7 1 ▶ 1 ～ 3
- メール本文にDate To形式で入力されます。入力されるスケジュールがメール本文の最大文字数を超えた場合は、超過分が削除されます。

メールに添付：スケジュールをタッチ▶「✉添付」
メールの検索：「MENU」▶ 7 2 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**
- 表示中のスケジュールの内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 「ノーマル」でアラーム画像を確認するには、詳細画面で「アラーム画像」をタッチします。
- 誕生日の詳細画面で相手に電話をかけたりメールを送信したりできます。
- 用件別表示中は、表示されている用件だけがメール作成や削除の対象となります。

◆ スケジュール連絡先の利用

スケジュール帳表示設定のスケジュール帳タイプが「クラシック」のとき、スケジュール連絡先を利用するには次の操作を行います。

1 MENU 7 1 ▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールを選択▶左右にスライドまたはタブをタッチしてスケジュール連絡先画面を表示▶連絡先をタッチ

2 目的の操作を行う

電話をかける：「MENU」▶ 4 ▶発信オプションを利用して発信（→P56）
- テレビ電話をかけるときは「テレビ電話」をタッチします。

メールに添付：「✉添付」または「MENU」▶ 7 2
サイトの表示：「MENU」▶ 6 ▶「iモード」または「フルブラウザ」

✔**お知らせ**
- 電話帳に登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、スケジュール連絡先画面から連絡先を選択して、電話帳の詳細画面から利用する電話番号またはメールアドレスを表示します。
- スケジュール帳表示設定のスケジュール帳タイプが「ノーマル」のときは、詳細画面の連絡先の項目から1件目の電話番号やメールアドレスなどを選択して利用します。

◆ シークレット属性（スケジュール帳）

スケジュールにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」のとき）は、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されません。

1 **MENU 7 1 ▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールをタッチ▶「MENU」▶ 0**

- 設定中は🔑が点滅します。
- 解除する場合も同様の操作です。

◆ ｉスケジュールの確認

1件のｉスケジュールには、複数の予定が含まれます（ｉスケジュール内の予定）。新しい予定をダウンロードしたり、ケータイデータお預かりサービスで保存したデータを更新・復元したりしたときに、ｉスケジュールが更新されます。
- ｉスケジュール内の予定は個別には削除できません。削除する場合はｉスケジュールを削除します。

1 **MENU 7 1 ▶「ｉスケジュール」**

ｉスケジュール一覧が表示されます。
- ｉスケジュールが1件も登録されていない場合はｉスケジュールの説明が表示されます。
- 「ｉスケジュールリストへ」を選択すると、ｉスケジュールのサイトに接続できます。

2 **ｉスケジュールをタッチ▶「一覧」**

ｉスケジュール内の予定一覧が表示されます。
ｉスケジュールの概要表示：**ｉスケジュールを選択**
ｉスケジュールの削除：**ｉスケジュールをタッチ▶「MENU」▶ 1 ～ 3 ▶「はい」**
- 1件削除ではタッチしたｉスケジュールが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「選択」が、全件削除では認証操作が必要です。

3 **ｉスケジュール内の予定を選択**

ｉスケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。
コピーして編集：**ｉスケジュール内の予定をタッチ▶「編集」▶「OK」▶スケジュール編集**
スケジュール登録→P314
- 通常のスケジュールとして登録されます。

メールに添付：**ｉスケジュール内の予定をタッチ▶「✉添付」**
- 通常のスケジュールとして添付されます。

メールの作成：**ｉスケジュール内の予定をタッチ▶「MENU」▶ 2 1**
- メール本文にDate To形式で入力されます。

✔お知らせ
- ｉスケジュールは、用件別表示、コピー、メール操作、シークレット属性設定などの操作はできません。また、ｉスケジュール内の予定は、シークレット属性設定などの操作はできません。
- ｉコンシェルからスケジュール帳を起動したときやｉスケジュールをダウンロードしたときに最大登録件数を超えた場合は、削除確認画面で「はい」を選択した後、次のいずれかの操作を行ってください。
  - デイリービュー画面で不要なスケジュールを選択（デイリービュー画面で「選択」をタッチすると、詳細画面を表示できます）
  - 「ｉスケジュール」をタッチしてｉスケジュール一覧で不要なｉスケジュールを選択（ｉスケジュール一覧で「一覧」をタッチすると、概要を表示できます）
  - 「クラシック」のときｉスケジュールを削除する場合は、カレンダー画面で「MENU」▶ 6 1 をタッチし「ノーマル」に切り替えた後、「ｉスケジュール」をタッチしてｉスケジュール一覧で不要なｉスケジュールを選択

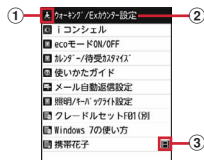
待受ショートカット

よく使う機能やフォルダ、ファイルなどをアイコンとして待受ランチャーに貼り付けます（ショートカット）。待受ランチャー内のショートカットを選択するとすぐに起動できます。

◆ ショートカットを貼り付ける

機能のショートカットを貼り付けるときは、機能選択画面から操作します。
フォルダやファイルなどのショートカットを貼り付けるときは、フォルダやファイルなどの一覧から操作します。
- 最大15件貼り付けられます。貼り付けると、待受ランチャーに追加されます。
- ｉモードメール（→P134）、SMS（→P158）、画面メモ（→P172）を保存するときも、ショートカットを貼り付けることができます。

〈例〉機能のショートカットを貼り付ける

1 MENU 8 2 1 7 ▶ショートカットをタッチ▶「MENU」

待受ショートカット一覧

① 待受画面に表示されるアイコン
② タイトル（機能名、フォルダ名、ファイル名、データ名など）
- 待受画面でショートカットをタッチしたとき、吹き出しで表示されます。

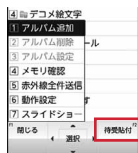
③ 電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がデュアルモード時）

2「追加」▶機能選択画面で機能をタッチ▶「待受貼付」

- 下の階層にメニューがない場合は、機能を選択しても貼り付けられます。

貼り付け方法の確認：「HELP」

〈例〉マイピクチャのフォルダのショートカットを貼り付ける

1 MENU 5 1 ▶フォルダをタッチ▶「MENU」

選択されているフォルダやファイル、データなどが貼り付け可能な場合は、「MENU」をタッチしてサブメニューを表示したとき、ガイド表示領域に「待受貼付」が表示されます。

- 電話番号、メールアドレスを貼り付ける場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面で電話番号、メールアドレスを表示して「MENU」をタッチすると、「待受貼付」が表示されます。
- 目覚ましを貼り付ける場合は、目覚まし一覧を表示すると「待受貼付」が表示されます。

2「待受貼付」

✔お知らせ

- 貼り付ける機能やデータの名称が全角11（半角22）文字を超える場合は、超過分が削除されてタイトルに登録されます。
- シークレット属性を設定した機能を含めて15件貼り付けているとき、プライバシーモード中に貼り付けを行うと、非表示になっているショートカットが削除され、新たにショートカットが貼り付けられます。

◆ショートカットから起動する

貼り付けたショートカットから機能を起動したり、フォルダやファイル、データなどを表示したりします。

1 待受画面をタッチ▶待受ランチャー内の「待受ショートカット」に含まれるアイコンを選択

◆ショートカットの管理

ショートカットの並び順やアイコンの変更などを行います。

1 MENU 8 2 1 7 ▶ショートカットをタッチ▶「MENU」▶項目をタッチ

2 目的の操作を行う

並び順の変更：「MENU」▶ 2 ▶上下にスライドして並べ替え先に移動▶「決定」

アイコンの変更：「MENU」▶ 3 1 ▶フォルダを選択▶アイコンを選択

- 20×20〜40×40ドット以内のJPEG形式またはGIF形式の画像をアイコンに設定できます。マイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダの画像を選択できます。

元のアイコンに戻す：「MENU」▶ 3 2

タイトルの編集：「MENU」▶ 4 ▶タイトルを入力（全角11（半角22）文字以内）▶「登録」

項目の削除：「削除」▶「はい」

✔お知らせ

- フォルダやファイルなどを削除した場合は、ショートカットも削除されます。
- 電話帳の電話番号やメールアドレスを変更、削除しても、ショートカットを登録したときの情報が残ります。ただし、電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりするとショートカットは削除されます。
- ショートカットを削除しても、機能やフォルダなどは削除されません。

- ショートカットに貼り付けている未送信メールを送信すると、ショートカットは削除されます。
- ファイルなどを移動してもショートカットから起動できますが、microSDカードやドコモUIMカードに移動すると起動できなくなり、ショートカットが削除されます。
- ショートカットのタイトルを変更しても、フォルダ、ファイルなどの名称は変更されません。また、ショートカットを貼り付けた後にフォルダやファイルなどの名称を変更しても、タイトルには反映されません。

セレクトメニュー

よく使う機能を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます。

- セレクトメニューの1階層目の機能は、タッチすることで起動できます。また、待受画面で、対応するQWERTYキー（Q～O）を1秒以上押すことでも起動できます。ただし、下の階層にメニューがある機能、人物、グループを登録した場合は起動できません。
- 1つの階層に最大9個のメニュー項目を登録できます。

1 MENU ▶「セレクト」

2 目的の操作を行う

機能の追加登録：「MENU」▶ 1 1 ▶ 機能をタッチ ▶「登録」
- 下の階層にメニューがない場合は、機能を選択しても登録できます。

人物の追加登録：「MENU」▶ 1 2 ▶ 電話帳から人物を選択
- 電話帳に登録した画像（Flash画像、動画／iモーションを除く）または人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

グループの追加登録：「MENU」▶ 1 3 ▶ グループ名を入力（全角9（半角18）文字以内）▶「登録」

グループ内への追加登録：

3階層目は、グループを登録できません。

① グループを選択

②「MENU」▶ 1 ▶ 1 ～ 3 ▶ 登録の操作を行う
- グループ内にメニュー項目を登録していないときは「登録（機能）」～「登録（メニューグループ）」のいずれかを選択します。

上書き登録：メニュー項目にカーソル ▶「MENU」▶ 2 ▶ 1 ～ 3 ▶ 登録の操作を行う
- グループに上書きするときは上書きの確認画面が表示されます。

◆ セレクトメニューの利用

セレクトメニューから機能を起動したり人物を利用したりします。

1 MENU ▶「セレクト」▶ メニュー項目を選択
- 機能を選択すると、機能が起動または下の階層のメニュー項目が表示されます。
- グループを選択すると、グループ内に登録したメニュー項目が表示されます。

❖ 人物を利用する

1 MENU ▶「セレクト」▶ 人物をタッチ

2 目的の操作を行う

電話をかける※：人物を選択 ▶ 1 ▶ 発信オプションを利用して発信（→P56）
- テレビ電話をかけるときは「テレビ電話」をタッチします。

メールの作成※：「✉作成」

SMSの作成※：F3（1秒以上）

サイトの表示：人物を選択 ▶ 4 ▶「はい」または「フルブラウザ」

詳細情報の表示：人物を選択 ▶ 5

※ 電話番号やメールアドレスを2件以上登録している場合は、操作の後に電話帳の詳細画面から利用する電話番号やメールアドレスを選択します。

◆ セレクトメニューの管理

メニュー項目の入れ替えやアイコンの変更などを行います。

- メニューのリセットでお買い上げ時の状態に戻すことができます。→P96

1 MENU ▶「セレクト」▶ メニュー項目をタッチ ▶「MENU」

2 目的の操作を行う

メニュー項目の入れ替え：3 ▶ 入れ替え先を選択 ▶「はい」

アイコンの変更：4 ▶ アイコンを選択

元のアイコンに戻す：4 ▶「リセット」

グループ名の変更：5 ▶ グループ名を変更 ▶「登録」

メニュー項目の削除：6 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- 1件削除ではタッチしたメニュー項目が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

スライド編集設定

本設定を「ON」にした機能を利用中にFOMA端末を開くと、編集画面などが表示されるように設定できます。

1 MENU 8 7 1 ▶各項目を設定▶「登録」

受信メール：一覧画面と詳細画面でFOMA端末を開くと、選択されているメールや表示中のメールのクイック返信本文選択画面（SMSの場合はSMS作成画面）が表示されます。宛先が複数ある場合は、クイック返信本文選択画面の前に返信先選択画面が表示されます。

送信メール：一覧画面と詳細画面でFOMA端末を開くと、選択されているメールや表示中のメールの編集画面が表示されます。

未送信メール：一覧画面でFOMA端末を開くと、選択されているメールの編集画面が表示されます。

スケジュール：カレンダー画面、デイリービュー画面でFOMA端末を開くと、新規作成画面が表示されます。詳細画面では、表示中のスケジュールの編集画面が表示されます。ｉスケジュール内の予定一覧、ｉスケジュール内の予定の詳細画面では、コピーして編集の確認画面が表示されます。

テキストメモ：一覧画面やテキストメモ参照画面でFOMA端末を開くと、選択されているメモや表示中のメモの編集画面が表示されます。1件も登録していない場合は、新規作成画面が表示されます。

マルチタスクキー長押し設定

待受画面で[マルチタスクキー]を1秒以上押したとき起動するように、機能を設定できます。

1 MENU 8 7 6 ▶項目を設定▶「登録」

✔お知らせ

- ワンタッチアラームの設定が「ON」の場合は、[マルチタスクキー]を1秒以上押しても本設定で設定した機能は動作せず、大音量でアラームが鳴ります。本設定を有効にする場合は、ワンタッチアラーム設定を「OFF」にしてください。

簡易ライト

FOMA端末を小型ライトとして利用できます。

1 MENU 7 9

ライトが約30秒間点灯します。

- 他の機能を実行したり、待受画面に戻ると、ライトは消灯します。
- マルチタスクキー長押し設定が「簡易ライト」の場合に[マルチタスクキー]を1秒以上押してライトを点灯したときは、点灯中に[マルチタスクキー]を1秒以上押すと、点灯時間が約30秒間延長します。

プロフィール登録

お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。

1 MENU 0

- 自局電話番号にはご契約の電話番号が表示されます。
- 2in1がデュアルモード時は、「Aナンバー」または「Bナンバー」をタッチすると、プロフィール情報を切り替えられます。

2 「編集」▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」

設定項目は電話帳と同じです（メモリ番号とグループを除く）。→P72

- 1件目の電話番号には自局電話番号が表示されます。変更できません。
- メールアドレスを選択すると、入力方法選択画面が表示されます。「メールアドレス自動取得」を選択すると、ｉモードセンターからご契約のメールアドレスを取得できます。ただし、2件目以降のメールアドレスやBナンバーのメールアドレスを登録するときは動作しません。

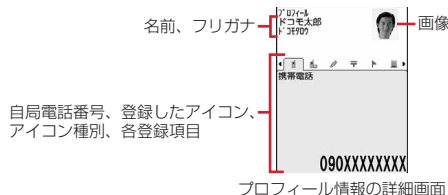
✔お知らせ

- 自局電話番号はドコモUIMカードに、それ以外の項目はFOMA端末に登録されます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、登録済みのプロフィール情報のメールアドレスは変更されません。
- Bナンバーの取得→P355

◆ プロフィール（詳細）の確認

プロフィール情報（詳細）の確認や編集などを行います。

1 MENU 0 ▶「詳細」▶認証操作

- 左右にスライドまたはタブをタッチするたびに詳細画面が切り替わります。
- 登録した電話番号に発番号設定を設定している場合は、詳細画面上部にが表示されます。

プロフィール情報の詳細画面

2 目的の操作を行う

基本情報の表示：「MENU」▶ 8 1
1件目の電話番号やメールアドレスなどが表示されます。

画像／名前表示切替：「MENU」▶ 8 2 ▶ 1 ～ 3

- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴の画像／名前表示切替にも反映されます。

登録内容の編集：「MENU」▶ 2 ▶各項目を設定▶「登録」

登録内容のリセット：「MENU」▶ 3 ▶「はい」

- 2in1利用時は、表示中のプロフィール情報のみリセットされます。

◆ プロフィールの利用

プロフィール情報から電話発信やメール作成などを行います。

1 MENU 0 ▶「詳細」▶認証操作

2 左右にスライドまたはタブをタッチして目的の詳細画面を表示

電話をかける：電話番号の詳細画面を表示▶「発信」または「テレビ電話」

- 自局電話番号には発信できません。
- 「MENU」▶ 4 をタッチすると、発信オプションを利用できます。→P56

発番号設定：電話番号の詳細画面を表示▶「MENU」▶ 7 1 ▶ 1 ～ 3

メールの作成：メールアドレスの詳細画面を表示▶「作成」

メールアドレスの入れ替え：「MENU」▶ 7 2 ▶1件目にするメールアドレスを選択

SMSの作成：電話番号の詳細画面を表示▶「SMS」

サイトの表示：URLの詳細画面を表示▶「接続」▶「はい」「いいえ」「フルブラウザ」のいずれかを選択

登録内容のコピー：「MENU」▶ 5 ▶ 1 ～ 8

- 2件目以降の電話番号とメールアドレスをコピーするときは、2件目以降の詳細画面を表示して「MENU」▶ 5 ▶ 2 または 3 をタッチします。

住所から地図を表示：郵便番号／住所の詳細画面を表示▶「地図」
地図設定の地図選択で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

位置情報の利用：位置情報の詳細画面を表示▶「利用」▶位置情報利用メニューから機能を選択
位置情報利用メニュー→P262

イミテーションコール

イミテーションコールとは、電話の着信や通話中を装うことができる機能です。
- 通信を伴わないため、電波状態に関わらず利用でき、通話料金もかかりません。

◆イミテーションコール設定

イミテーションコール鳴動開始時間や着信音などを設定します。

1 MENU 7 8 2 ▶各項目を設定▶「登録」
- 鳴動開始時間を「すぐに鳴らす」以外にすると、イミテーションコールを開始したときカウントダウン画面が表示されます。選択した時間が経過すると着信動作を行います。

◆イミテーションコール開始

電話着信音を鳴らし、通話の動作を装います。

1 MENU 7 8 1

イミテーションコール設定に従い着信音が動作し、イミテーションコール着信中画面が表示されます。また、イルミネーション設定の着信イルミネーションの電話着信に従って（ただし、「OFF」の場合はイルミパターン2）動作します。
- イミテーションコール着信中に📷を押すと、消音で動作します。

2 CLR または「通話」

イミテーションコール通話中画面が表示され、イミテーションコールのガイダンスが受話口から流れます。また、イルミネーション設定の通話中イルミネーションが「OFF」の場合でも、通話中イルミネーションのイルミネーションカラーに従ってランプがゆっくり点滅します。

✔お知らせ
- イミテーションコール設定の鳴動開始時間を「すぐに鳴らす」以外にすると、マルチタスクキー長押し設定が「イミテーションコール」のとき、マルチタスクキーを1秒以上押してイミテーションコールを開始すると、カウントダウンを始める前にバイブレータが振動します。
- マナーモード中は、着信音は鳴らずバイブレータが振動します。📷を押すとバイブレータが停止します。
- 公共モード（ドライブモード）中、イヤホンマイク（別売）を接続中でも着信音はスピーカーから鳴ります。
- Q～P、G、Hを押してイミテーションコール着信を受けられます。
- イミテーションコール通話中に次の動作があると、着信音やアラーム音は鳴らず、バイブレータが振動します。
  - 電話の着信
  - メールやメッセージR/Fの受信
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した日時になったとき

待受中音声メモ

待受中に自分の声などを音声メモとして録音できます。
- 待受中音声メモは、1件につき最大30秒、通話中音声メモと合わせて最大4件録音できます。
- 音声メモの再生・削除→P66

1 MENU 4 7 3

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音中は画面の下に録音時間の経過が表示されます。
- 録音を途中で停止するときは「停止」をタッチするか、CLR、終話キーのいずれかを押します。

通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間、テレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はドコモUIMカードに蓄積されるため、ドコモUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

◆ 通話時間の確認

通話時間の確認や積算通話時間のリセットを行います。

1 MENU 8 7 5 1 1

直前通話時間：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話時間または通信時間
積算通話時間（音声）：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：データ通信を行った積算時間
前回リセット日時（音声）：音声電話の積算時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（テレビ電話）：テレビ電話の積算時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（データ）：データ通信の積算時間を前回リセットした日時
積算通話時間のリセット：通話時間確認画面で「積算リセット」▶認証操作▶ 1 ～ 4 ▶「はい」

◆ 通話料金の確認

通話料金の確認や積算通話料金のリセットを行います。

1 MENU 8 7 5 1 2 1

直前通話料金（音声）：直前に通話した音声電話の料金
直前通話料金（テレビ電話）：直前に通話したテレビ電話の料金
直前通話料金（データ）：直前に行ったデータ通信の料金
積算通話料金：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金
前回リセット日時：積算通話料金を前回リセットした日時
積算通話料金のリセット：通話料金確認画面で「積算リセット」▶PIN2コードを入力▶「はい」

❖ 通話料金自動リセット設定

積算通話料金を毎月1日0時に自動的にリセットします。

1 **MENU 8 7 5 1 2 4 ▶認証操作▶ 1 または 2 ▶PIN2コードを入力**

✔お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- FOMA端末の電源を切った場合や、着信などがあって直前の通話料金の情報がない場合は、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話とテレビ電話の合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- 2in1をご契約いただいている場合は、積算通話時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

〈通話料金自動リセット設定が「ON」のとき〉

- 1日0時に電源が切れているときや通話中は、電源が入った後や通話終了後にリセットされます。
- 日付時刻設定で翌月以降の日時を設定すると、その時点でリセットされます。
- 電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。

◆ 通話料金上限通知

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アラームや上限通知アイコンの表示などでお知らせします。

1 MENU 8 7 5 1 2 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶「登録」

通話料金上限通知：「ON」にすると、上限金額を超えたとき通知します。
料金上限（円）：上限金額を10～100000円の範囲で、1円の位は省略して入力します。
通知方法：アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。
アラーム音：通知する音を選択します。
アラーム時間（秒）：アラームが鳴る時間を1～60秒の範囲で設定します。

❖通話料金が上限を超えると

- ディスプレイ上部に¥が表示されます。
- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」の場合は、通話や通信を終了して待受画面に戻ると、アラームが鳴りディスプレイに「通話料金が上限を超えました」と表示されます。
- アラームは、音量設定の電話着信音量に従います。

❖上限通知アイコン消去

1 MENU 8 7 5 1 2 3 ▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- 表示中は、¥は表示されません。
- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」でも、通話料金自動リセット設定が「ON」のときに通話料金の上限を超える通話を1日0時に行うと、アラームは鳴らずメッセージも表示されません。

電卓

電卓で四則計算します。

- 8桁以内で入力します。
- スケジュール帳やテキストメモの入力欄から電卓を利用できます。→P341

1 MENU 7 4 ▶計算する

電卓画面にはキーに割り当てられている操作が表示されます。
入力した数字の1桁削除：←または ←
数値のコピー／貼り付け：「MENU」▶ 1 または 2

- コピーした数値は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

✔お知らせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

テキストメモ

テキストを入力してメモ代わりに利用できます。

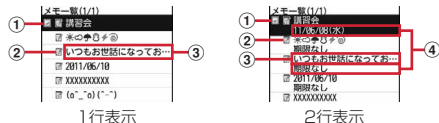
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→P118
- FOMA端末を開く操作で新規登録、編集画面を表示できます。→P320

1 MENU 7 2 ▶「新規」▶各項目を設定▶「登録」

種別アイコン：種別アイコンを選択します。
メモ内容：全角1000（半角2000）文字以内で入力します。
期限：期限を設定するときは「あり」を選択し、日付を入力します。

◆ テキストメモの確認

テキストメモの確認や編集などを行います。

1 MENU 7 2

1行表示

2行表示

① **状態マーク**
メモの期限の状態（完了／未完了）を表示
☑(上部が緑)：未完了（期限の2日以上前）
☑(上部が黄)：未完了（期限の1日前または当日）
☑(上部が赤)：未完了（期限超過）
☑(チェックが赤)：完了
表示なし：期限なし
② **種別アイコン**
③ **メモ内容**
④ **期限**

2 **メモを選択**

テキストメモ参照画面が表示されます。

- メモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。

1行表示／2行表示の切り替え：「切替」
編集：メモをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶各項目を設定▶「登録」
削除：メモをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 ～ 4 ▶「はい」

- 1件削除ではタッチしたメモが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。
- アイコン別表示中や完了状態別表示中は、表示されているメモだけが削除の対象となります。

種別アイコンを指定して表示〈アイコン別表示〉：「MENU」▶ 4 2 ▶種別アイコンを選択
メモ一覧の右上に選択した種別アイコンが表示され、種別アイコンのメモのみ表示されます。
アイコン別表示の解除：「MENU」▶ 4 1
完了／未完了の変更：期限を設定しているメモをタッチ▶「✓」
完了／未完了を指定して表示〈完了状態別表示〉：「MENU」▶ 5 ▶ 2 または 3
完了状態別表示の解除：「MENU」▶ 5 1
ソート：「MENU」▶ 6 ▶各項目を設定▶「登録」
メールの作成：メモをタッチ▶「MENU」▶ 7
スケジュール帳登録：メモをタッチ▶「MENU」▶ 8 ▶スケジュール登録
スケジュール帳の詳細欄にメモ内容が入力されます。開始日時と終了日時の日付は、メモの期限の設定によって異なります。
スケジュール登録→P314

❖Date To形式からのスケジュール登録

テキストメモ参照画面でメモ内容に入力したDate To形式の記述を選択すると、スケジュールの新規作成画面が表示されます。

■ Date To形式とは

「YYYY/MM/DD□hh:mm□～□YYYY/MM/DD□hh:mm□Schedule」の文字列で構成されます。

- YYYYは年、MMは月、DDは日、hhは時間、mmは分、□は半角空白を示します。
- 「～」と「Schedule」以外はすべて半角で入力します。
- YYYY/MM/DD□hh:mmは、前半は開始年月日と時刻、後半は終了年月日と時刻を入力します。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前に0を付ける必要はありません。たとえば、2011年6月8日10時0分の場合は「2011/6/8 10:0」と入力します。
- 「Schedule」を全角で入力してもDate To形式は有効です。
- 定型文を利用すると簡単にDate To形式を入力できます。→P340
- スケジュール登録→P314

辞典

国語／和英／英和辞典を利用します。「今日は何の日」「今日の歴史」も調べられます。

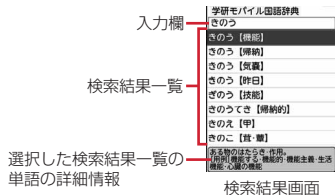
1 MENU 7 5

2 **辞典を選択**

国語辞典（学研モバイル国語辞典）：1
和英辞典（学研モバイル和英辞典）：2
英和辞典（学研モバイル英和辞典）：3

3 **単語を入力（全角20（半角40）文字以内）**

「決定」をタッチして文字入力画面から切り替わった時点で検索結果画面が表示されます。

検索結果画面

- 検索結果一覧にカーソルがあるとき単語を入力するには「入力」をタッチします。

4 **検索結果一覧から調べたい単語を選択**

詳細画面（単語の意味）が表示されます。
別の辞典で検索：「MENU」▶2▶1～3
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

内容のコピー：**詳細画面で「MENU」▶1▶コピーする範囲を選択**
文字のコピー／貼り付け→P342

❖今日は何の日／今日の歴史を調べる

記念日や誕生日の人物、出来事などを見ることができます。

1 MENU 7 5

2 **目的の操作を行う**

今日は何の日：4
今日の歴史：5
- 別の日を見る場合は、指定日欄に日付を入力して「指定日表示」を選択します。
- 「前日」または「翌日」をタッチすると前日／翌日を切り替えられます。

◆辞典の検索履歴の利用

辞典の検索履歴を表示します。

1 MENU 7 5▶1～3▶「MENU」▶1

検索履歴が表示されます。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

2 **単語を選択**

検索結果画面が表示されます。
削除：**単語をタッチ▶「MENU」▶1～3▶「はい」**
- 1件削除ではタッチした単語が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

ウォーキング／Exカウンター

ウォーキングチェッカー／エクササイズカウンターで、歩数、歩いた距離、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量、いきいき歩行、いきいき活動量などを確認できます。

※ 歩数／活動量／カロリー情報を表示中に「HELP」をタッチすると、いきいき歩行、活動量、いきいき活動量の詳細を表示できます。→P328

- 歩数／活動量／カロリー情報をｉアプリのヘルスチェッカーで利用できます。
- 次の場合は歩数のカウントや活動量の計測を行いません。
  - 電源が切れているとき
  - ecoモードが「ON」でフル省電力のとき
  - ウォーキング／Exカウンター設定が「利用しない」のとき
  - ソフトウェア更新中

■ **活動量とは**

日常生活での動作や歩行、運動など、身体活動の量を数値にして、「Ex（エクササイズ）」という単位で表したものです。身体活動の実施時間と運動強度※から算出されます。

※ 運動強度とは、身体活動の強さが安静時の何倍に相当するかを、METsという単位で表したものです。活動量は、3METs以上の運動強度が計測されたときに算出されます。

■ **いきいき歩行、いきいき活動量とは**

有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行や活動量を計測したものです。

- いきいき歩行は、毎分60歩以上のペースで連続して3分以上歩いたとき自動的に計測されます。
- いきいき活動量は、1分間あたり平均3METs以上の運動強度が3分以上続けて測定されたときに計測されます。
- 4分以内の休憩は継続したものとします。

❖ウォーキング／Exカウンターご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動がFOMA端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- FOMA端末の開閉やキー操作などを行ったとき、FOMA端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

◆ ウォーキング／Exカウンター設定

ウォーキング／Exカウンターの利用に必要な情報を設定します。

1 MENU 6 8 2 ▶ **各項目を設定** ▶ **「登録」**

ウォーキング／Exカウンターを「利用する」にすると、待受画面にが表示されます。また、お買い上げ時に登録されている待受画面（マイピクチャの「プリインストール」フォルダのFlash画像）によっては、待受画面に今日の歩数や活動量、今週の活動量、一週間の目標活動量（23Ex）に対する達成状況が表示されます。

- ヘルスチェッカーで身長を設定すると、その身長が反映されます。

✔お知らせ

- 歩き始めは、誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が一度に加算されます。
- 待受画面表示中にカウントした数値は、他の画面に切り替わり、再度待受画面が表示されたタイミングで反映されます。
- オールロック中、おまかせロック中は、待受画面の数値が変動しませんが、カウントは継続されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。

◆ 歩数／活動量／カロリー情報

FOMA端末の時刻で午前0時0分になると、1日分の歩数や活動量などの情報が履歴として自動的に保存されます。

- 当日を含めて1098日分記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 日付時刻を設定していないときは、履歴は保存されません。
- 表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

1 MENU 6 8 1

- 待受画面をタッチし、🚶をタッチしても情報を表示できます。

2 左右にスライドまたはタブをタッチして履歴を確認

歩数履歴：カウントした歩数（最大999999歩）
歩行距離：歩数と歩幅から算出した歩行距離（最大9999.9km）※1
消費カロリー：運動強度、活動時間、設定した体重などから算出した消費カロリー（最大65535kcal）※2
脂肪燃焼量：消費カロリーから算出した脂肪燃焼量（最大4681g）
いきいき歩数：いきいき歩行の歩数（最大999999歩）
いきいき歩行⏱：いきいき歩行の歩行時間（最大99時間59分）
活動量：計測した活動量（最大9999.9Ex）
いきいき活動量：計測したいきいき活動量（最大9999.9Ex）
※1　1分あたりの歩数により歩幅は補正されるため、歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。
※2　運動強度が計測されない場合は、カロリー計算は行われません。
履歴の削除：「MENU」▶ 1 ▶「はい」
カウント中の歩数や計測中の活動量も含め、履歴がすべて削除されます。

✔お知らせ

- 歩数、歩行距離、いきいき歩数、活動量、いきいき活動量は、最大値を超えると0に戻って表示されます。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数／活動量／カロリー情報が消失してしまう場合があります。また、歩数／活動量／カロリー情報は、電池パックを外した状態や空の状態でも約1か月は保持されますが、それ以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、歩数／活動量／カロリー情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

スイッチ付イヤホンマイク

FOMA端末に付属のイヤホン変換アダプタ F01とステレオイヤホンマイクなどを接続すると、スイッチを押して音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受けたりできます。

- ステレオイヤホンマイクなどのコードを、FOMA端末に巻き付けたりアンテナ部分に近づけたりしないでください。電波の受信レベルが低下したり雑音が入ったりする場合があります。
- イヤホン変換アダプタ F01などのプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。

◆ イヤホンスイッチ発信設定

イヤホン変換アダプタ F01のスイッチで、音声電話を発信できるように設定します。

1 MENU 8 5 4 3 ▶ **各項目を設定** ▶ **「登録」**

イヤホンスイッチ発信設定：「音声発信」にすると、音声電話を発信できます。
電話帳メモリ番号：イヤホンスイッチ発信で電話をかける相手をFOMA端末電話帳から検索して設定します。

◆ イヤホンスイッチ発信／応答

イヤホン変換アダプタ F01のスイッチで音声電話を発信したり、電話を受けたりします。

〈例〉音声電話をかける

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す ▶ 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

〈例〉電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す ▶ 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ
- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号の電話帳を削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳で上書きしたりすると、イヤホンスイッチ発信設定は解除されます。

〈通話中（キャッチホンが開始のとき）に着信があった場合〉
- 音声電話着信時にスイッチを1秒以上押すと、音声電話に応答できます。このとき、スイッチを1秒以上押して通話相手を切り替えられます。
- テレビ電話着信時にスイッチを1秒以上押すと、現在の通話が切断されテレビ電話着信画面が表示されます。

◆ オート着信設定

FOMA端末に付属のイヤホン変換アダプタ F01とステレオイヤホンマイクなどを接続しているときに電話の着信があった場合、自動的に応答できます。
- 通話中の着信に対しては動作しません。
- 公共モード中は動作しません。

1 MENU 8 5 4 2 ▶各項目を設定▶「登録」

自動着信機能：「オート着信あり」にすると、自動的に応答します。
自動着信機能時間（秒）：自動的に応答するまでの時間を0～120秒の範囲で設定します。

✔お知らせ
- テレビ電話をオート着信で受けた場合は、相手には代替画像を表示します。
- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内にすると、電話帳に登録していない相手からの電話着信時、本機能は動作しません。

◆ イヤホン切替設定

FOMA端末に付属のイヤホン変換アダプタ F01とステレオイヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。
- GPS測位鳴動音、アラーム音などの通知音も本設定に従って動作します。

1 MENU 8 5 4 1 ▶ 1 ～ 3

- 「イヤホン（20秒後通知有）」にすると、イヤホンからのみ着信音が鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HFP：Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）
HSP：Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）
A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）
AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

❖Bluetooth機能でできること

■ ハンズフリー／ヘッドセットで通話する（HFP／HSP）

カーナビなどのBluetooth機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリーで通話できます。また、Bluetoothヘッドセット（市販品）などとFOMA端末をBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。

■ オーディオ機器で再生する（A2DP／AVRCP）

ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth接続すると、音声や音楽などをワイヤレスで再生したり、リモコン操作したりできます。

■ Bluetooth機器から出力される音

- 次の動作以外については非対応です。また、Bluetooth機器によっては動作しない場合があります。

接続しているサービス		HFP	HSP	A2DP
出力される音	音声電話発信音	○	○	×
	電話の着信音、呼出音、相手の音声	○	○	×
	電話時の伝言メモの音声	○	○	×
	Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤー、動画／ｉモーション、ビデオ再生音	×	×	○

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。FOMA端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器によって接続可能距離が変わることがあります。

無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

◆ Bluetooth新規機器登録

新たに使用するBluetooth機器を登録します。

- 登録するBluetooth機器をあらかじめ登録待機状態にしてください。
- Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください（ワイヤレスイヤホンセット 02の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です）。FOMA端末どうしで登録する場合は、双方で同じBluetoothパスキーを入力します。あらかじめ数字4～16桁のBluetoothパスキーを決めておいてください。

1 MENU 6 9 3 ▶「OK」

FOMA端末周辺にある登録待機状態のBluetooth機器を検索（サーチ）します。見つかった件数が表示され、登録機器リストが表示されます。

登録機器リスト

① **機器種別**
　：電話　：オーディオ　：LANアクセスポイント
　：パソコン　：周辺機器　：画像処理　：その他

② **サーチ結果**
　：登録済み機器あり　：登録済み機器なし
　：未登録機器あり

③ **サービスの接続状態／Bluetoothアドレス（未登録機器の場合）**
　ミュージックプレーヤーを起動したとき自動で接続される機器は右側に が表示されます。

④ **機器名称／Bluetoothアドレス（機器名称がない場合）**
　保護されている場合は が表示されます。

2 **登録するBluetooth機器を選択▶Bluetoothパスキーを入力**

登録完了画面が表示され、約2秒後にサービス選択画面（→P331）が表示されます。続けてBluetooth接続する場合は、「Bluetooth機器接続」の操作3に進みます。

- 最大登録件数を超える場合は、上書きの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、保護されていない通信日時の古いBluetooth機器から上書きされます。
- Bluetooth機器の名称が全角16（半角32）文字を超える場合は、超過分が削除されて機器名称が登録されます。

◆ Bluetooth機器接続

登録済みのBluetooth機器を接続します。

1 MENU 6 9 2

2 **接続するBluetooth機器を選択**

サービス選択画面

：接続中　：接続待機中　：未接続（サービスあり）
表示なし：未接続（サービスなし）

- すべてのサービスが接続中以外または未接続以外の場合は、接続／停止画面が表示されます。1（停止するときは2）をタッチします。

Bluetooth機器のサーチ：「サーチ」▶「OK」

- 未登録のBluetooth機器を見つけた場合は、Bluetooth機器を選択すると登録できます。
- サーチ実施後に登録済みのBluetooth機器が見つかり選択した場合は、上書きの確認画面が表示されます。

保護／解除：Bluetooth機器をタッチ▶「MENU」▶1▶1または2

登録機器情報の表示：Bluetooth機器をタッチ▶「MENU」▶2

機器名称の変更：登録機器情報画面で「名称変更」▶機器名称を入力（全角16（半角32）文字以内）▶「登録」

登録機器の削除：Bluetooth機器をタッチ▶「MENU」▶3▶「はい」

接続の切断：Bluetooth機器をタッチ▶「MENU」▶4▶「はい」

3 **接続するサービスを選択▶「接続」**

が表示され、Bluetooth機器との接続が成功するとディスプレイ上部の（青）が点滅します。一定時間Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり、（グレー）に変わります。

接続の停止：サービスを選択▶「停止」

サービスの再取得：「再取得」

✔お知らせ

- Bluetooth機器は2台まで同時に接続できます。ただし、利用するサービスが同時に接続できない場合があります。
- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がなかったりした場合には、処理に時間がかかることがあります。
- 接続中にBluetooth機器から切断された場合は、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源を切った場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。
- 登録機器リストのサービスの接続状態に「再登録してください」と表示された場合は、Bluetooth機器を選択し、「はい」を選択して再登録を行ってください。
- 使用頻度の高いBluetooth機器は、保護設定することをおすすめします。

◆ 接続待機の開始／解除

登録済み（接続実績あり）のBluetooth機器からの接続を待っている状態にしたり、解除したりします。

1 MENU 6 9 4 ▶ 1 または 2 ▶ サービスを選択 ▶「待機開始」または「待機解除」

✔お知らせ

- Bluetooth機器が接続待機中の場合は接続が開始されません。FOMA端末から接続を行ってください。
- 複数のBluetooth機器を登録しているときに接続待機にすると、接続したいBluetooth機器以外にも接続されることがあります。接続された機器を必ず確認してください。

◆ Bluetoothオン／オフ

「オン」にすると(青)が表示され、登録済み（接続実績あり）のBluetooth機器のサービスが接続待機の状態になります。「オフ」にするとBluetooth機能が終了します。

1 MENU 6 9 1

◆ Bluetooth通信を利用する

- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機器で通話する

FOMA端末とBluetooth機器をハンズフリーサービス（HFP）やヘッドセットサービス（HSP）で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

- ヘッドセットサービスで発信する場合は、イヤホンスイッチ発信設定に従います。

1 Bluetooth機器をハンズフリーサービスまたはヘッドセットサービスで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P331

2 Bluetooth機器で電話をかける／受ける

- ハンズフリーサービスで通信中はが、ヘッドセットサービスで通信中はが表示されます。

Bluetooth機器／FOMA端末の通話の切り替え：通話中に「MENU」▶ 0

- ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。

✔お知らせ

- Bluetooth機器をハンズフリーサービスやヘッドセットサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや電話着信音量が「Silent」のときでも、Bluetooth機器から着信音が鳴ります。このとき、着信音はBluetooth設定の着信音送出設定に従います。
- Bluetooth機器で通話中は、Bluetooth機器で受話音量を調整してください。

〈Bluetooth機器で通話中の場合〉

- Bluetooth機器の接続を停止すると、通話は切断されます。

❖Bluetooth機器で音声・音楽を再生する

FOMA端末とBluetooth機器をオーディオサービス（A2DP）で接続すると、Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤーの音楽、動画／ｉモーション、ビデオなどの再生音をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器をオーディオサービスで接続する

Bluetooth機器の接続方法→P331

2 音楽などを再生する

- Bluetooth機器への音声出力確認画面が表示されたときは、「はい」または「はい（以後非表示）」を選択します。「はい（以後非表示）」にすると、Music&Videoチャネル（サブメニュー）と動画／ｉモーション（動作設定）のBluetooth音声出力確認が「表示しない」になります。「いいえ」にすると、FOMA端末のスピーカーから出力されます。
- Bluetooth設定のMUSIC Player自動起動を「自動起動／終了ON」にすると、Bluetooth機器からオーディオサービス（A2DP）で接続したときミュージックプレーヤーが自動的に起動し、Bluetooth機器から再生が行われます。このとき、前回終了時に選択されていた曲から再生されます。前回の情報がないときは、「全曲」フォルダ内の最初の曲から再生されます。

✔お知らせ

- ブルーレイディスクレコーダー連携で保存した動画は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器で再生中は、Bluetooth機器で音量を調整してください。
- バックグラウンド再生中でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- Bluetooth機器が接続されていない場合は、ミュージックプレーヤーを起動すると前回ミュージックプレーヤー使用時に接続していたBluetooth機器との接続を行います。
- Bluetooth機器で再生中に、音声や音楽が停止したりミュージックプレーヤーが終了したりした場合は、次のことが考えられます。
  - Bluetooth機器との接続が切断されたとき
  - 発着信や電話帳転送が行われたとき
  - メールやメッセージR/F、GPSの位置提供要求を受信したとき
  - 目覚まし、スケジュールなどのアラームが鳴ったとき

◆Bluetooth接続機器表示

現在接続しているBluetooth機器の名称と接続中のサービスを表示します。

1 MENU 6 9 6

◆Bluetooth設定

Bluetooth機能に関する設定を行います。

❖サーチ時間の設定

Bluetooth機器を検索する時間を設定します。

1 MENU 6 9 5 1 ▶サーチ時間を入力（1～20秒）▶「登録」

❖自局情報の表示

FOMA端末のBluetooth機能の情報を表示します。

1 MENU 6 9 5 2

機器名称の変更：自局情報画面で「名称変更」▶機器名称を入力（全角16（半角32）文字以内）▶「登録」

- 絵文字を入力すると、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

❖着信音送出設定

接続しているハンズフリー機器やヘッドセット機器に、電話の着信音を送るかどうかを設定します。

- 「送る」にすると、ハンズフリーサービスで接続中はBluetooth機器から、ヘッドセットサービスで接続中はイヤホン切替設定に従って、FOMA端末で設定した着信音が鳴ります。

1 MENU 6 9 5 3 ▶ 1 または 2

❖MUSIC Player自動起動

オーディオ機器からの接続時に、ミュージックプレーヤーを自動起動／終了するかどうかを設定します。

- ミュージックプレーヤーの動作設定のBluetooth接続自動起動にも反映されます。

1 MENU 6 9 5 4 ▶ 1 または 2

端末リフレッシュ設定

FOMA端末を快適に安心して利用するために、定期的に電源を入れ直し（リフレッシュ）、FOMA端末内部のトラブルを回避する機能です。

- 本機能を実行することで次の効果が期待できます。
  - 操作するときの動作速度が遅くなることを防ぎます。
  - 「起動中の機能が多いため実行できません」「メモリ不足です」など、メモリが不足したために表示されるメッセージの表示頻度が低くなります。
  - ごくまれに発生する操作中の強制終了（待受画面に戻る現象）の頻度が低くなります。

1 MENU 8 7 9

2 **目的の操作を行う**

リフレッシュ実行：1▶「はい」
すぐに再起動が行われます。

自動実施設定：2▶各項目を設定▶「登録」
- 自動実施を「ON」にすると、待受画面で画面オフの状態の場合のみ指定した時刻に再起動が行われます。

✔お知らせ
- 端末リフレッシュの実施時間は約1分間です。
- 端末リフレッシュ実行中は、他の機能を利用できません。
- Bluetooth通信中の場合など、待受画面で画面オフの状態でも他の機能が動作していれば、自動実施で設定した時間になっても端末リフレッシュは実行されません。
- お買い上げ時は、端末リフレッシュを自動的に行うよう設定されています。ご希望されない場合は、自動実施設定の自動実施を「OFF」に変更してください。
- 端末リフレッシュによって、FOMA端末に登録、保存されたデータに直接影響を及ぼすことはありません。

フェムトセル

「マイエリア」は、ご自宅にフェムトセル小型基地局を設置し、ご自宅専用FOMAエリアを作ることで、安定した通話と通信がご利用いただけるサービスです。

- 「マイエリア」はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 「マイエリア」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- フェムトセルを利用できるときは、ディスプレイ上部にが表示されます。
- 海外では、本機能を利用できません。

◆フェムトセル利用設定

フェムトセルを利用するかどうかを設定します。

1 MENU 8 7 8▶「フェムトセル利用設定」▶各項目を設定▶「登録」

- フェムトセル優先在圏設定を「ON」にすると、通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルを優先的に利用します。

◆フェムトセルサーチ

メニュー操作でフェムトセル圏内かを確認して在圏状態にします。

- フェムトセル利用設定が「OFF」のときは本機能を利用できません。

1 MENU 8 7 8▶「フェムトセルサーチ」▶「はい」

フェムトセルサーチ中の画面が表示されます。

文字入力

「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」をご覧ください。

文字の入力

文字を入力する方法を説明します。

- 文字の入力には、タッチ操作またはキー操作による方法があります。
- 文字の入力方式には、タッチ操作として「タッチキー入力」（→P337）と「手書き文字入力」（→P346）があります。キー操作による文字の入力方式は「ローマ字入力方式」（→P344）です。
- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号／絵文字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。

◆ 文字入力画面

文字の入力画面には、全画面入力とインライン入力の2種類があります。

全画面入力

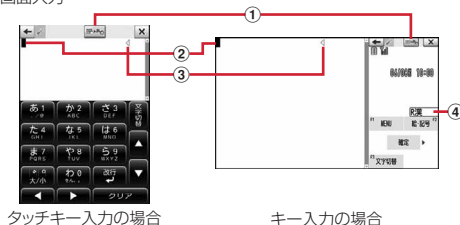
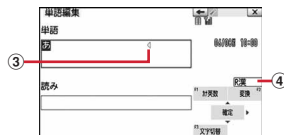
入力欄を選択したときに全画面で表示される入力エリアで、文字を入力します。

インライン入力

画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字をキーで直接入力します。日付・時刻の入力欄などでは、入力欄を選択し、上下にスライドしても数字が入力できる場合があります。

■ 画面の見かた

全画面入力

タッチキー入力の場合　　キー入力の場合

インライン入力

① **入力方法切り替えボタン**

② **カーソル（点滅）**
文字が入力または挿入される位置を示します。

③ **入力可能な範囲**
これ以上入力できないことを示すマークです。

④ **入力モード**
タッチ操作による入力方法では表示されません。

◆ 入力操作方法の切り替え

全画面入力での文字の入力方法（タッチ操作、キー操作）を切り替えます。

1 文字入力画面で［切替］／［切替］／［切替］

- タッチ操作の優先起動により、表示される入力方法切り替えボタンは異なります。
- タッチするたびに［切替］(手書き入力へ切り替え）▶［切替］(タッチキー入力へ切り替え）▶［切替］(キー操作へ切り替え）の順に切り替わります。
- 文字入力画面で「MENU」▶ 7 2 （メール本文の入力画面では「MENU」▶ 8 3 ）をタッチしても切り替えることができます。
- タッチ操作で入力中に A 〜 Z 、 , 、 space 、 . 、 改行 、 決定 のいずれかを押すと文字が確定し、キー操作による文字入力へ切り替わります。

■ **タッチ操作の優先起動について**

タッチキー入力または手書き入力中にキーを押してキー操作に切り替えた場合、次にタッチ操作で入力するときは、キー操作に切り替える直前に使用していたタッチ操作の入力方法で優先的に起動します。

キー操作で入力中にFOMA端末を閉じた場合も、同様にタッチ操作の入力方法で起動します。

- 同様の操作をするまで、設定は保持されます。

タッチキー入力

タッチ操作で文字を選択して入力します。

- タッチ操作について→P30
- インライン入力には対応していません。

〈例〉メール作成画面の本文欄に「六本木」と入力する

1 メール作成画面で本文欄をタッチ

- タッチキー入力画面が表示されない場合は、入力操作方法をタッチキー入力にしてください。→P337

入力モードの切り替え：

「文字切替」をタッチすると入力モード一覧が表示され、「かな英数」「英数」「数字」「カタカナ」「半角記号」「全角記号」のいずれかをタッチすると入力モードを切り替えられます。

2 文字ボタンをタッチ

- 文字ボタンはボタン内の上段文字のみ記載しています。

ろ：「ら9」▶「ろ」
っ：「た4」▶「っ」
ぽ：「は6」▶「゛゜」を2回▶「ぽ」
ん：「わ0」▶「ん」
ぎ：「か2」▶「゛゜」▶「ぎ」

- 入力中は次の操作ができます。
  「全角半角」：全角／半角の切り替え
  「大/小」：大文字／小文字の切り替え
  「⮌戻る」：各入力モードの1階層目の文字入力画面に戻す
  「前ページ⬅」／「次ページ➡」：前後の記号一覧を表示

3 「変換」

- 候補選択リストが表示されていないときは、「▲」または「▼」をタッチしても変換できます。
- 「クリア」または←をタッチすると、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、「変換」をタッチせずに操作4に進みます。

候補選択リストからの選択：
選択候補リスト内をタッチして、リストを拡大表示させ目的の単語をタッチします。

- 選択候補リストのタイトル欄をタッチすると元の表示に戻ります。

変換候補一覧の表示：
「変換」をタッチしても目的の文字が表示されないときは、もう一度「変換」をタッチするか、「▲」または「▼」をタッチすると変換候補一覧が表示されます。

カナ英数候補一覧の表示：
ひらがなを入力中に「カナ英数」をタッチすると、カタカナ、英字、数字、日付、時刻などが一覧で表示されます。

- 複数ページあるときは、リスト上または一覧上で左右（選択候補リスト拡大表示中のときは上下）にスライドするか、または「前ページ」／「次ページ」をタッチするとページが切り替わります。

4 「確定」▶「確定」

候補選択リストを閉じます。

- 「全確定」をタッチすると変換中の全文節を確定します。

絵文字・記号の入力：
「絵・記号」または「記号」をタッチします。

- 操作方法→P340
- ←をタッチすると一覧を閉じます。
- 複数ページあるときは、一覧上で上下にスライドするか、または「前ページ」／「次ページ」をタッチするとページが切り替わります。

デコメール®の作成：
「デコレーション」をタッチします。

- メール編集方法→P128

改行：
「改行↵」をタッチします。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、「▼」をタッチしても改行できます。

- 英数の場合は各文字ボタンの2階層目の「改行↵」をタッチします。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 「確定」

✔お知らせ

- 全角記号の場合、タッチキー入力ボタンからは一部のみ入力できます。また、絵文字の場合は、変換候補一覧、絵文字一覧に表示される絵文字のみ入力できます。
- 単語登録の読みを入力するときは、ひらがなのみの入力モードになります。
- タッチキー入力中の「絵文字・記号」「記号」「デコレーション」は入力できる画面でのみ表示されます。

❖タッチキー入力中の文字修正

文字入力確定後に文字の挿入や削除をします。

1 タッチキー入力画面で「▲」「▼」「◀」「▶」のいずれかをタッチして修正する文字にカーソル

- 修正する文字を直接タッチしてもカーソルを移動できます。

文字の挿入：
文字をタッチ入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字の削除：
「クリア」または←をタッチすると、カーソル位置の1文字が削除されます。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。

サブメニューの表示：
「MENU」をタッチします。

- 「全削除」が表示された場合、タッチすると入力した文字をすべて削除します。

❖複数文節の一括変換

- 全角24文字以内で変換します。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

※ 画面は「◀」の場合の例です。

◆ タッチ操作での暗証番号入力

端末暗証番号入力画面やPINコード入力画面、Bluetoothパスキー入力画面などのパスワード入力画面で数字ボタンが表示された場合は、ボタンをタッチして暗証番号を入力できます。

1 入力する暗証番号をタッチ

2 「確定」

- 縦画面では E をタッチしても同様の操作ができます。
- ← をタッチするとカーソルの左の1文字が削除されます。縦画面では ← をタッチしても同様の操作ができます。

入力予測機能を使った文字入力

入力予測機能とは、文字を入力したときに、読みや漢字などの先頭部分が一致する単語（絵文字、デコメ絵文字®、記号含む）を候補選択リストに表示させたり、選択した単語に続く候補を予測する機能です。一度入力した単語は自動的に変換学習データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

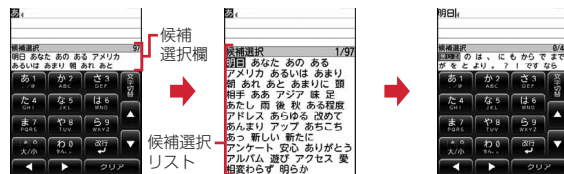
- 変換学習データの他に、次の単語が表示されます。
  - お買い上げ時に登録されている単語、単語登録した単語
  - ダウンロード辞書から選択した単語
- 入力予測機能は、以下の場合に利用できます。
  - タッチキー入力のかな英数モードのとき
  - 手書き文字入力時
  - キー入力のひらがな／漢字モード（全画面入力）のとき

〈例〉「明日」を選択して入力する

1 文字入力画面で「あ」を入力

- 候補選択リストが表示されます。入力文字が増えるたびに候補が変わります。

2 候補選択欄をタッチ▶候補選択リストから「明日」を選択▶「確定」

- キー入力時は、▼▶▲▼◀▶で「明日」にカーソル▶決定▶決定を押します。

- 複数ページあるときは、リスト上で上下にスライドまたは「前ページ」／「次ページ」をタッチするとページが切り替わります。キー入力時は F3／F4を押します。

❖変換学習リセット

変換学習データとして登録されたデータをお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU 8 7 3 3 ▶認証操作▶「はい」

便利な入力機能

文字入力画面のサブメニューから絵文字や記号、定型文などを入力したり、データを引用したりできます。

- 文字を確定する前やデコメール®の装飾アイコン表示中では、サブメニューは表示されません。インライン入力画面の場合は、入力を確定するとサブメニューが選択できます。

◆ 定型文の入力

あらかじめ登録されている定型文や、自分で登録した定型文を呼び出して入力します。

1 文字入力画面で「MENU」▶ 4 1 ▶ 1 〜 9 ▶ 定型文を選択

- 定型文を登録すると、9 をタッチして「ユーザ作成」が選択できます。

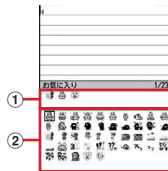
◆ 絵文字・記号の入力

文字入力画面に表示された絵文字一覧や記号一覧から選択して入力します。

- デコメ絵文字®（絵文字D）はメール本文または署名編集の入力画面で入力できます。
- 絵文字一覧→P411

〈例〉メール作成画面の本文欄に絵文字・記号を入力する

1 メール作成画面で本文欄を選択▶「絵・記号」

絵文字Dの絵文字一覧が表示されます。2回目からは、前回最後に入力した絵文字一覧が表示されます。

① **入力履歴欄**
最近入力したものから順に、絵文字または記号が最大20文字（横画面の場合は13文字）表示されます。各一覧の最初のページに表示されます。

② **絵文字・記号一覧**
記号は入力可能なもののみ表示されます。

2 「絵文字」／「絵文字D」または「半角記号」／「全角記号」をタッチして種類を選択

- 「絵文字」／「絵文字D」をタッチするたびに絵文字一覧が絵文字Dと絵文字に切り替わります。絵文字Dの絵文字一覧にはマイピクチャの「デコメ絵文字」配下のフォルダに保存されている画像がフォルダごとに表示されます。選択するとデコメ絵文字®が入力されます。
  デコメ絵文字®のダウンロード→P174
- 「半角記号」／「全角記号」をタッチするたびに記号一覧が全角記号と半角記号に切り替わります。
- 複数ページあるときは、「前ページ」または「次ページ」をタッチするとページが切り替わります。ただし、絵文字Dの場合は「デコメ絵文字」配下のフォルダが切り替わります。また、上下にスライドしてもページやフォルダへの移動ができます。

3 絵文字または記号を選択

絵文字・記号一覧を閉じるにはCLRを押します。

- 入力履歴欄からも文字を選択できます。

✔お知らせ

- 絵文字の読みを入力しても変換できます。→P411
- 赤外線通信などでデータ転送を行った絵文字や記号は、正しく表示されない場合があります。
- 文字入力画面で「MENU」▶「顔文字・引用・定型文」または「絵文字・記号・顔文字」▶「絵文字」または「記号」をタッチしても入力できます。このとき、「連続入力」をタッチすると入力履歴欄の上に連続入力欄が表示され、絵文字は10文字、記号は全角10（半角20）文字連続して選択できます。ただし、絵文字Dは連続入力欄の表示はされません。
- 「デコメ絵文字」配下のすべてのフォルダに画像が保存されていない場合のみ、メール本文または署名編集の入力画面で絵文字Dを表示したときは、絵文字一覧が空白で表示されます。「デコメ絵文字」配下のフォルダに画像が保存されていない場合、絵文字一覧には、そのフォルダは表示されません。

- メール本文または署名編集の入力画面で「MENU」▶「デコレーション」▶「画像挿入」▶「本体」または「microSD」をタッチしても、デコメ絵文字®が挿入できます。
- 文字入力画面で「MENU」▶「顔文字・引用・定型文」または「絵文字・記号・顔文字」▶「記号」を選択したときは、左側のカッコ（例：{）を選択すると、右側のカッコ（例：}）も自動的に入力されます。

◆顔文字の入力

種別ごとに分類された顔文字一覧から選択して入力します。

1 文字入力画面で「MENU」▶ 5 3 ▶ 1 ～ 9

- 顔文字種別一覧から入力した顔文字は、1 をタッチすると最近入力したものから順に最大18件まで入力履歴一覧で表示されます。

2 顔文字を選択

◆データ引用による文字入力

パスワードマネージャーに登録済みのパスワード、電話帳、プロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力できます。

- 文字入力画面と引用データが同じ機能のとき（電話帳の文字入力画面における電話帳など）には引用できません。

❖パスワードの引用

1 文字入力画面で「MENU」▶ 4 3 ▶ 認証操作

2 引用するパスワードデータを選択

❖電話帳の引用

1 文字入力画面で「MENU」▶ 4 4 ▶ 引用する電話帳を選択

2 引用する内容を選択

❖プロフィール情報の引用

1 文字入力画面で「MENU」▶ 4 5 ▶ 認証操作

2 引用する内容を選択

❖電卓（計算結果）の引用

1 テキストメモまたはスケジュール帳の文字入力画面で「MENU」▶ 4 6 ▶ 計算する ▶「挿入」

❖バーコードリーダー（読み取りデータ）の引用

1 URL入力画面で「MENU」▶ 4 6 ▶ コードを読み取る ▶「確定」

- ｉモードまたはフルブラウザの文字入力画面でも引用できます。

定型文登録

よく使う言葉や文章を定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を編集して登録できます。

- 最大50件登録できます。

1 MENU 8 7 3 4 9 ▶「〈新しい定型文〉」

登録した定型文の編集：定型文にカーソル ▶「選択」
登録した定型文の確認：定型文にカーソル ▶「参照」
- 続けて定型文を編集するときは「編集」をタッチします。

登録した定型文の削除：定型文にカーソル ▶「削除」▶「はい」

2 定型文を入力（全角64（半角128）文字以内）▶「登録」

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。
- 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

❖文字入力中の定型文登録

入力済みの文字を選択して定型文として登録できます。

1 文字入力画面で「MENU」▶ 6 2

2 開始位置を選択

全文選択：「全選択」▶「終点」▶ 操作4に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、「全選択」をタッチします。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

文頭／文末までの選択：「文頭」または「文末」▶「終点」

4 「登録」

✔お知らせ

- 選択した範囲の文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ：定型文として登録不可
  文字列の前後に空白：文字列のみ有効
  文字と文字の間に空白：空白も有効
- 定型文が既に50件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から登録データを削除するか登録済みの定型文を編集してください。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の文字入力画面に貼り付けます。

- コピーまたは切り取った文字は、最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

◆ 文字のコピー／切り取り

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行います。

1 文字入力画面で「MENU」▶ 1 または 2

- メール本文の入力画面では「MENU」▶ 3 1 をタッチするとコピーし、「MENU」▶ 3 2 をタッチすると切り取ります。

2 開始位置を選択

全文選択：「全選択」▶「終点」

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、「全選択」をタッチします。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取られます。

文頭／文末までの選択：「文頭」または「文末」▶「終点」

指定した文字でクイック検索：終了位置にカーソル▶「検索」

◆ 文字の貼り付け

コピーや切り取られた文字を、別の文字入力画面に貼り付けます。

- 入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」をタッチすると、入力可能な文字数以降が消去された文字列が貼り付けられます。ただし、メール本文の入力画面で、入力可能な文字数を超える場合、文字を貼り付けることができません。

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソル▶「MENU」▶ 3

文字がカーソル位置に挿入されます。

- メール本文の入力画面では「MENU」▶ 3 3 をタッチします。

✔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行は空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 「区点コード一覧」については、ドコモのホームページ上のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 文字入力画面で「MENU」▶ 4 2 ▶区点コード（2 3 4 0）を入力▶「確定」

単語登録

よく使う単語を好きな読みで登録し、登録した読みを入力して変換できるようにします。

- 最大200件登録できます。

1 MENU 8 7 3 1

2 **「〈新しい単語〉」▶各項目を設定▶「登録」**

単語：全角12（半角24）文字以内で入力します。
読み：ひらがな8文字以内で入力します。
- 読みに空白を入力すると、登録後に削除されます。

登録した単語の削除：単語にカーソル▶「削除」▶「削除」
- 登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」をタッチします。

登録した単語の確認：単語にカーソル▶「参照」
- 「編集」▶「選択」をタッチすると編集できます。
- 登録済みの単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」をタッチします。

❖文字入力中の単語登録

入力済みの文字を選択して好きな読みで単語登録できます。

1 **文字入力画面で「MENU」▶ 6 1**

2 **開始位置を選択**

全文選択：「全選択」▶「終点」▶操作4に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、「全選択」をタッチします。操作4に進みます。

3 **終了位置を選択**

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。
文頭／文末までの選択：「文頭」または「文末」▶「終点」

4 **読みを入力▶「登録」**

✔**お知らせ**
- 単語が既に200件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から単語を削除するか登録済みの単語を編集してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

パスワードマネージャー

ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録しておくと、これらの入力が必要なサイトやホームページで、登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。
- 登録したパスワードの引用方法→P341
- 最大50件登録できます。

1 **MENU 8 4 8 ▶認証操作**

2 **「新規」**

削除：タイトルにカーソル▶「MENU」▶ 2 ～ 4 ▶「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたタイトルのパスワードが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が必要です。

順番の変更：タイトルにカーソル▶「MENU」▶ 5 または 6

3 **各項目を設定▶「登録」**

タイトル：全角12（半角24）文字以内で入力します。
パスワード：全角64（半角128）文字以内で入力します。

❖文字入力中のパスワード登録

入力済みの文字を選択してパスワード登録できます。

1 **文字入力画面で「MENU」▶ 6 3**

2 **開始位置を選択**

全文選択：「全選択」▶「終点」▶操作4に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、「全選択」をタッチします。操作4に進みます。

3 **終了位置を選択**

文頭／文末までの選択：「文頭」または「文末」▶「終点」

4 認証操作

選択した範囲の文字がパスワード欄に表示されます。

5 タイトルを入力▶「登録」

ダウンロード辞書

ダウンロードした日本語変換用の辞書に登録されている単語を、変換候補として表示されるように設定します。

- 最大5件の辞書を同時に使用できます。
- 辞書のダウンロード→P174

1 MENU 8 7 3 2 ▶使用する辞書を選択▶「確定」

入力設定

文字入力の入力方式や、入力時の動作を設定します。

1 MENU 8 7 3 5 ▶各項目を設定▶「登録」

入力予測：候補選択リストを表示するかを設定します。
手書き自動確定：手書き文字を自動確定する速度を設定します。
手書き自動訂正：手書き文字を前後の文字認識結果から文脈を判断して、訂正するかを設定します。

❖文字入力中の入力設定変更

文字入力中に、入力方式や入力時の動作を設定できます。

- 文字が確定される前やデコメール®の装飾アイコン表示中では変更できません。
- インライン入力中は、入力モードの切り替えができます。

1 文字入力画面で「MENU」▶ 7 ▶ 1 ～ 4

- メール本文の入力画面では「MENU」▶ 8 をタッチします。
- 入力予測のON／OFFを切り替えるときは 1 をタッチします。
- 入力操作方法を切り替えるときは 2 ▶ 1 ～ 3 をタッチします。
- 手書き入力中は 3 ▶ 1 ～ 4 をタッチし、手書き文字の自動確定速度を設定します。
- 手書き入力中は 4 をタッチし、手書き自動訂正のON／OFFを切り替えられます。

ローマ字入力方式

QWERTYキーを利用して、ローマ字入力方式で文字を入力します。

- 入力方法切り替えボタンでキー操作に切り替えるか、QWERTYキーで文字を入力すると自動的にローマ字入力方式に切り替わります。
- QWERTYキーのローマ字入力表→P410

◆文字入力時のQWERTYキー操作

QWERTYキーによる文字入力では、ローマ字による入力のほか、Sh、Fn1、Fn2、Ctrlキーと組み合わせて文字を入力したり、コピーや貼り付けなどの機能を利用できます。

- QWERTYキーでもタッチキー入力と同様の操作ができ、絵文字や記号などの入力もできます。
  対応するキーについて→P22

■ A～Z、,、.キー（英字／記号キー）

- 半角／全角数字入力モードの場合、Fn1を押さずに数字（0～9）、+、＊、#が入力できます。

■ spaceキー

空白を入力します。

- 文字未確定時は文字を変換します（F2と同じ）。

■ ＊/全キー

入力モードの全角／半角を切り替えます。

■ Shキー

他のキーと組み合わせて使用します。

Sh＋英字キー：大文字を入力

- 入力モードにCapsが表示されているときは、大文字が入力されます。

Sh＋▲：範囲選択（上方向）
Sh＋▼：範囲選択（下方向）
Sh＋◀：範囲選択（左方向）
Sh＋▶：範囲選択（右方向）

■ Fn1キー
他のキーと組み合わせて使用します。
Fn1＋英字／記号キー：キーの上段文字を入力

■ Fn2キー
他のキーと組み合わせて使用します。
Fn2＋特定のキー：キーの上に刻印されている黄緑色の記号を入力
Fn2＋Tab：Shを押した状態を維持（CapsLock）／解除
- 入力モードにはCapsと表示されます。
  Ctrl＋Shでも同様の操作ができます。

■ Ctrlキー
他のキーと組み合わせて使用します。
Ctrl＋C：選択範囲のコピー
- メール本文の入力画面では、F3を押しても同様の操作ができます。

Ctrl＋X：選択範囲の切り取り
- メール本文の入力画面では、F4を押しても同様の操作ができます。

Ctrl＋V：コピーや切り取った文字の貼り付け
Ctrl＋Z：文字列を1つ前の状態に戻す
Ctrl＋▲※：上方向への1画面スクロール（PageUp）
Ctrl＋▼※：下方向への1画面スクロール（PageDown）
Ctrl＋◀※：行頭へカーソル移動（Home）
- メール本文の入力画面では文頭へカーソル移動

Ctrl＋▶※：行末へカーソル移動（End）
- メール本文の入力画面では文末へカーソル移動

Ctrl＋Fn1／Fn2：Fn1／Fn2を押した状態を維持／解除
- 入力モードにはFn1／Fn2と表示されます。

※ Ctrlの代わりに、Fn1と組み合わせても同様の操作ができます。

■ 改行キー
↵が入力され、改行します。

◆ひらがな／漢字でのローマ字入力

ローマ字による文字入力は、次の手順で入力します。
〈例〉メール作成画面の本文欄に「六本木」と入力する

1 メール作成画面で本文欄を選択▶「ろっぽんぎ」と入力

「ろっぽんぎ」：R O P P O N N G I
- 入力中はCLRを押して文字の取り消しができます。

2 space▶決定▶「閉じる」▶決定

✔お知らせ
- 全画面入力のひらがな／漢字モードで入力するときは、入力予測機能を利用できます。→P339

❖文字の修正

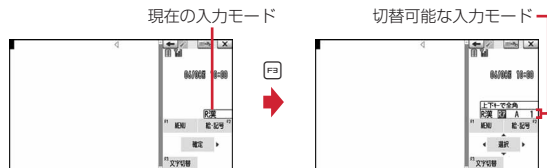
文字入力中や入力確定後に文字の挿入や削除をします。

1 文字入力画面で▲▼◀▶を押して修正する文字にカーソル

文字の挿入：
文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。
文字の削除：
文字入力中や入力確定後は次のように操作できます。
- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ太郎、ドコモ|太郎）
  - CLRを押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。また、カーソルが文字と文字の間にある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
  - CLRを1秒以上押すと、カーソル以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎█）
  - CLRを押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - CLRを1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

◆ 入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて入力モードを切り替えます。

1 **文字入力画面でF3**

- 現在の入力モードは以下のように表示されます。

入力モード	画面表示
ひらがな／漢字	R漢
半角カタカナ	R半ｱ
半角英字	半A
半角数字	半数
全角カタカナ	R全ア
全角英字	全A
全角数字	全数

- 単語登録の読みを入力するときはR全あが表示されます。
- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。

2 **F3、◀、▶のいずれかを押して切り替える入力モードにカーソル▶決定**

- 全角／半角を切り替えるときは▲、▼、*/全のいずれかを押します。

手書き文字入力

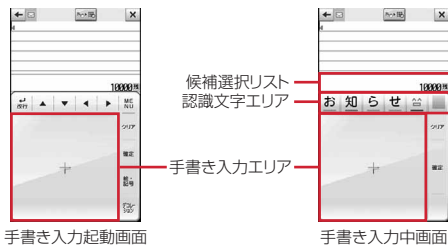
画面に表示される手書き入力エリアに、指で文字を1文字ずつ書いて入力します。

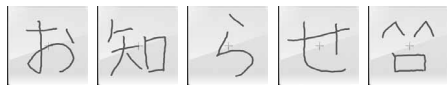
- 手書き入力できる文字の種類は、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／絵文字／記号）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）です。
- タッチ操作について→P30
- インライン入力には対応していません。→P336
- 手書き文字入力での文字修正の操作方法はタッチキー入力と同じです。→P338

〈例〉メール作成画面の本文欄に「お知らせ」と入力する

1 **メール作成画面で本文欄をタッチ**

- 手書き入力起動画面が表示されない場合は、入力操作方法を手書き入力にしてください。→P337

手書き入力起動画面　手書き入力中画面

- 手書き入力エリアには、認識可能な文字種を示すアイコンが表示されます。ただし、手書き入力で入力できるすべての文字種が認識可能な場合は、何も表示されません。→P347

2 手書き入力エリアに「お」「知」「ら」「せ」「㌔」と書く

（認識文字エリア）

- 「クリア」または←をタッチすると直前に書いた文字を削除し、書き直すことができます。
- 認識文字エリアには最大24文字入力できます。エリア上で左または右にスライドすると、表示されていない認識した文字を確認できます。
- 文字を書いて、一定時間何も操作しないと自動的に認識文字エリアに確定されます。確定される速度は入力設定で変更できます。→P344
- 入力予測機能を利用して文字を入力できます。→P339

文字種の確認：
認識された文字の下線の色により、文字の種類を確認することができます。→P347

別候補の入力：
認識文字エリアの文字をタッチし、別候補をタッチします。

別候補文字選択画面

- 「クリア」または←をタッチするとカーソル位置の認識文字を削除します。
- 「全角/半角」をタッチすると全角／半角の切り替えができます。
- 「閉じる」をタッチすると別候補文字選択画面を閉じます。
- 別候補は最大8件表示されます。目的の文字が別候補にも表示されない場合、「訂正」をタッチすると手書き入力エリアが表示され、書き直すことができます。

変換候補一覧の表示：
「変換」をタッチします。
- 複数ページあるときは、一覧上で左右にスライドするか、または「前ページ」／「次ページ」をタッチするとページが切り替わります。

3 「確定」▶「確定」

候補選択リストを閉じます。

絵文字・記号の入力：
「絵・記号」または「記号」をタッチします。
- 操作方法→P340
- ←をタッチすると一覧を閉じます。
- 複数ページあるときは、一覧上で上下にスライドするか、または「前ページ」／「次ページ」をタッチするとページが切り替わります。

デコメール®の作成：
「デコレーション」をタッチします。
- メール編集方法→P128

改行：
「↵改行」をタッチします。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、「▼」をタッチしても改行できます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

4 「確定」

✔お知らせ
- 手書き入力エリアでの文字種のアイコンや、認識文字エリアでの文字種の下線色は、次のように分類されます。また、下線の長さにより全角文字（長い）と半角文字（短い）の区別ができます。

文字種	ひらがな	漢字	カタカナ	英字	数字	絵文字	記号
アイコン	あ	漢※1	ア ｱ	A A※2	1 1※3	絵	全記 半記
下線色	水色	ピンク	黄	緑	赤	紫	青

※1 ひらがなも認識できます。
※2 A大（大文字のみ）、a小（小文字のみ）と表示される場合もあります。
※3 「P」「T」「+」「#」「＊」も認識できます。
- 手書き文字入力中の「絵文字・記号」「記号」「デコレーション」は入力できる画面でのみ表示されます。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
電源OFF・圏外時着信お知らせサービス	不要	無料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス→P48	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）→P64	不要	無料
公共モード（電源OFF）→P65	不要	無料
メロディコール→P85	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」の詳細についてはドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、音声電話／テレビ電話それぞれ20件まで録音／録画でき、最大72時間保存されます。
- 伝言メモ（→P65）を同時に設定時、留守番電話サービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数）が表示されます。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送出に切り替えて操作してください。→P59

■ **留守番電話サービスの基本的な流れ**

ステップ1：サービスを開始に設定する

ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する

急いでいる時など早く伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れている間に # をタッチすると、応答メッセージを省略してすぐに録音できるようになります。

ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 MENU 8 8 1 1

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力

呼出時間の設定：2 ▶「はい」▶呼出時間を入力

停止：3 ▶「はい」

設定の確認：4 ▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

伝言メッセージの再生：5 ▶ 1 または 2 ▶「はい」▶ガイダンスに従って操作

- 1には新しい伝言メッセージの再生時にガイダンスで案内する件数が表示されます。保存件数は含まれません。

ガイダンスを確認しながらサービスを設定：6 ▶ 1 または 2 ▶「はい」▶ガイダンスに従って操作

テレビ電話対応：7 ▶「ON」または「OFF」

伝言メッセージの問い合わせ：8 ▶「はい」

✔お知らせ

- 留守番電話サービスの呼出時間を0秒にすると着信履歴には記録されません。

❖件数増加鳴動設定

新しい伝言メッセージが増えたときなどに鳴らす通知音を設定します。

- 件数通知音を「ON」にすると、バイブレータ設定の電話着信時の設定に従って振動します。

1 MENU 8 8 1 2 ▶各項目を設定▶「登録」

- 件数通知音を「ON」にして通知メロディを設定します。

❖表示消去

待受画面から伝言メッセージのマークを消去します。

1 MENU 8 8 1 4 ▶「はい」

電源OFF・圏外時着信お知らせサービス

電源が入っていないときや圏外にいたときの着信を、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知します。

1 MENU 8 8 1 3

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」▶「はい」または「いいえ」

- 着信通知対象確認で「はい」にすると発信者番号通知の着信のみが、「いいえ」にするとすべての着信が通知されます。

停止：2 ▶「はい」

設定の確認：3 ▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択（→P353）を「通常着信」にしてください。他の設定では、キャッチホンを開始にしても音声電話中に着信した音声電話に応答できません。

1 MENU 8 8 2 1

2 目的の操作を行う

開始：1▶「はい」
停止：2▶「はい」
設定の確認：3▶「はい」

❖キャッチホン中の操作

- キャッチホン中、保留相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- キャッチホンが動作しない着信の場合でも通話中着信音が聞こえます。この場合、現在の通話を切断して応答します。

■ 音声電話中の着信応答

現在の通話を保留にしてかかってきた電話に応答します。

1 通話中着信音が聞こえたら

- CLRを押しても応答できます。

通話相手の切り替え：「切替」
現在の通話を切断して応答：通話中着信音が聞こえたら▶「通話」
応答方法の変更：通話中着信音が聞こえているうちに「MENU」▶1～4

■ 通話中の音声発信

音声電話中に別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に「MENU」▶8▶電話番号を入力▶

- リダイヤル／着信履歴からも発信相手を選択できます。

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（→P65）を同時に設定時、転送でんわサービスを優先させるには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2（数字は件数）が表示されます。

■ 転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 MENU 8 8 2 2

2 目的の操作を行う

開始：1▶「はい」▶「はい」▶電話番号を入力▶「確定」▶「はい」▶呼出時間を入力
停止：2▶「はい」
転送先の変更：3▶電話番号を入力▶「確定」▶1または2▶「はい」

- サービス開始中は転送先変更を、サービス停止中は転送先変更と転送サービス開始を設定できます。

転送先通話中に留守番電話サービスで対応：4▶「はい」
設定の確認：5▶「はい」

- サブメニューから設定を変更できます。

✔お知らせ

- 転送サービスの呼出時間を0秒にすると着信履歴には記録されません。
- 転送先の電話番号を入力時、「電話帳」をタッチすると電話帳から、「着信履歴」で着信履歴から、「リダイヤル」でリダイヤルから電話番号を選択できます。

❖ガイダンスの有無の設定

1 [電話] ▶ [123] ▶ [1][4][2][9] ▶ [通話] ▶ 音声ガイダンスに従って操作

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。また、迷惑電話ストップサービス設定サイトに接続し、着信拒否する電話番号の登録・確認・削除を行うこともできます。

- 着信拒否登録した電話番号からの着信時は、着信音は鳴らず着信履歴にも記録されません。
- 迷惑電話ストップサービス設定サイトは、ｉモード契約の有無にかかわらず利用できます。

1 [MENU][8][8][7][3]

2 目的の操作を行う

着信応答した最新の電話番号を登録：[1] ▶「はい」
- 通話していない不在着信などは登録対象になりません。

電話番号を指定して登録：[2] ▶「はい」▶電話番号を入力▶「確定」▶「はい」

全件削除：[3] ▶「はい」

1件削除：[4] ▶「はい」
- 最後に登録した電話番号が1件削除されます。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除できます。

登録件数の確認：[5] ▶「はい」

✔お知らせ
- 着信拒否登録する電話番号を入力時、「電話帳」をタッチすると電話帳から、「着信履歴」で着信履歴から、「リダイヤル」でリダイヤルから電話番号を選択できます。

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。ガイダンス応答後は自動的に電話を終了します。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった場合、着信履歴に記録されず、待受画面に[アイコン 2]（数字は件数）は表示されません。

1 [MENU][8][8][3][2]

2 目的の操作を行う

開始：[1] ▶「はい」

停止：[2] ▶「はい」

設定の確認：[3] ▶「はい」

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。切り替えにはネットワーク暗証番号が必要です。

1 [MENU][8][8][7][5]

2 目的の操作を行う

デュアルネットワーク切替：[1] ▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

FOMA端末で利用できるように切り替えます。

デュアルネットワーク状態確認：[2] ▶「はい」

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

- 発信側・受信側ともに本サービスを利用している場合、発信側の発信時設定が着信側の着信時設定より優先されます。

1 MENU 8 8 7 4

2 目的の操作を行う

ガイダンスの設定：1 ▶「はい」▶ 1 または 2 ▶「はい」▶ 1 ～ 3

- 発信側に流れるガイダンスの言語を選択後、着信側の言語を選択します。

ガイダンス設定の確認：2 ▶「はい」

ドコモへのお問い合わせ

ドコモ総合案内・受付や故障のお問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのドコモUIMカードによっては、メニューの表示や動作が異なる場合があります。

1 MENU 8 8 7 6

2 目的の操作を行う

ドコモ故障お問い合わせに発信：1 ▶「はい」
ドコモ総合案内・受付に発信：2 ▶「はい」
海外で紛失・盗難等お問い合わせに発信：3 ▶「はい」
海外で故障お問い合わせに発信：4 ▶「はい」

通話中着信設定

通話中の着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 MENU 8 8 7 8

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」
停止：2 ▶「はい」
設定の確認：3 ▶「はい」

通話中の着信動作選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中の着信に応答できません。
- 本機能を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。なお、キャッチホン開始中は通話中着信設定を開始にする必要はありません。

1 MENU 8 8 7 9 ▶ 1 ～ 4

- 「通常着信」では、キャッチホン開始中はキャッチホンが動作し、停止中は現在の通話を終了して着信に応答できます。また、通話中の着信はサブメニューから対応を選択できます。→P63
- 「留守番電話」では、音声電話／テレビ電話着信時は留守番電話サービスに接続されます。
- 「転送でんわ」では、通話中の着信は登録済みの転送先に転送されます。ただし、64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
- 「着信拒否」では、すべての着信は拒否されます。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

1 MENU 8 8 7 2

2 **目的の操作を行う**

開始：1▶「はい」
停止：2▶「はい」
設定の確認：3▶「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として、基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- ドコモUIMカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。この場合は再度登録を行ってください。
- 発着信画面やリダイヤル／着信履歴の詳細画面などに、基本契約番号または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤル／着信履歴から発信する場合、発着信時のマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 MENU 8 8 7 7

2 **目的の操作を行う**

通常発信番号設定：1▶1～3▶「はい」
通常発信番号の確認：2▶「はい」
マルチナンバーの電話番号設定：3▶各項目を設定▶「登録」

- 付加番号1または付加番号2の名称と電話番号を入力します。
- 基本契約番号の名称と電話番号にはプロフィール情報が表示されます。プロフィール情報未設定時は「基本契約番号」とご契約の電話番号が表示されます。
- マルチナンバー発信を「有効」にすると、マルチナンバー指定発信できます。

マルチナンバーごとの着信設定：4▶1または2▶各項目を設定▶「登録」

- 個別設定を「ON」にし、付加番号ごとの着信音と着信画像を設定します。設定操作は電話着信設定と同様です。→P82

❖マルチナンバー指定発信

- 電話番号設定のマルチナンバー発信が「無効」のときはマルチナンバーを選択できません。

1 [発信] ▶ [123] ▶ 電話番号を入力 ▶「MENU」▶ [3] ▶ [1] ～ [3] ▶「発信」または「テレビ電話」

- 各種履歴から操作するときは、相手をタッチ ▶「MENU」▶「マルチナンバー」▶ [1] ～ [3] を選択します。
- 発信オプションで操作するときは、電話帳、各種履歴で相手をタッチ ▶「MENU」▶「発信オプション」▶ マルチナンバーを選択します。→P56
- 発信オプションでマルチナンバーを「指定なし」にすると、通常発信番号設定に従います。

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1がONのときにドコモUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィール情報からBナンバーを取得してください。→P355
  また、ドコモUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィール情報に更新するために2in1をOFFにしてください。

◆2in1のモード

- 2in1のモードごとの動作→P356

Aモード：お客様電話番号（Aナンバー）での発信、ｉモードメール（Aアドレス）での送受信、関連データの閲覧などができます。
Bモード：2in1電話番号（Bナンバー）での発信、ｉモードメール（Bアドレス）での送受信、関連データの閲覧などができます。
デュアルモード：A／Bの両方の機能を備えたモードです。すべてのナンバー／アドレスが利用でき、すべてのデータの閲覧ができます。

- 各機能の利用、設定時には、2in1に関する確認画面や選択画面が表示される場合があります。

✔お知らせ

- Bモード時はSMS To機能を利用できません。
- 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
  - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳、メール送受信履歴、メール振り分け条件の全件削除
  - メールの「1件削除」または「選択削除」以外の削除操作
  - メールフォルダや電話帳のグループの削除
  - データ一括削除
- ｉチャネルでは次の動作になります。
  - テロップ表示設定はモードごとに設定できます。
  - ｉチャネル初期化を行うと、モードに関わらずテロップ表示設定やｉチャネル一覧のデータは初期化されます。ただし、ｉチャネル初期化はモードごとに操作が必要です。
- デュアルモード時に外部機器接続で発信する場合は、Aナンバー発信になります。

❖2in1ナンバー指定発信

2in1がデュアルモード時、発信番号を切り替えられます。

1 [発信] ▶ [123] ▶ 電話番号を入力 ▶ [発信] または「テレビ電話」

2「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択

❖送信者アドレス切替

2in1がデュアルモード時、ｉモードメールの送信者アドレスを切り替えられます。

1 メール作成画面で「MENU」▶ [8] ▶「Aアドレス」または「Bアドレス」▶ メールを編集 ▶「送信」

- メール編集方法→P126

❖Bナンバーの取得

2in1がデュアルモードまたはBモード時、Bナンバーのプロフィール情報表示中にBナンバーを取得します。

- プロフィール情報登録→P320

1 Bモード中に [MENU] [0] ▶「詳細」▶ 認証操作

- デュアルモード中は、[0] をタッチした後に「Bナンバー」をタッチしてBナンバーを表示します。

2「MENU」▶ [0] ▶「はい」

❖2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※1
	着信※2	着信回避設定に従う		
電話帳	表示※3	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	名前変換※4	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	新規登録時	「A」	「B」	登録時に選択
	赤外線／iC通信からの全件受信	送信側の電話帳2in1設定に従う※5		
	赤外線／iC通信からの1件受信	「A」	「B」	保存時に選択※6
	microSDカードからの全件コピー	コピー時の電話帳2in1設定に従う※5		
	microSDカードからの1件コピー	「A」	「B」	コピー時に選択※6
	ドコモUIMカード電話帳へコピー	「共通」（電話帳2in1設定は設定されない）		
	ドコモUIMカード電話帳からコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル／着信履歴	表示	Aナンバー発着信	Bナンバー発着信	すべて
メール送受信履歴	表示	Aアドレス／Aナンバー送受信	Bアドレス／Bナンバー送受信	すべて
メール／SMS	表示	Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS	Bアドレスで送受信したメール／Bナンバーに受信したSMS	すべて
	送信	Aアドレス／Aナンバー	Bアドレス※7	メール作成時に選択※8、9、10／Aナンバー※7
	受信※11	すべて		
	振り分け条件表示	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	振り分け条件新規登録時	「共通」	「共通」	登録時に選択
	署名登録	Aアドレス	Bアドレス	登録時に選択
	赤外線通信／iC通信からの全件受信	送信側の状態を引き継ぐ		
	赤外線通信／iC通信からの1件受信	Aアドレス／Aナンバー		
	microSDカードからの全件コピー	コピー時の状態を引き継ぐ		
	microSDカードからの1件コピー	Aアドレス／Aナンバー		
	ドコモUIMカードへ移動／コピー（SMSのみ）	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
	ドコモUIMカードから移動／コピー（SMSのみ）	すべてAナンバーとして移動／コピー	利用不可	すべてAナンバーとして移動／コピー
待受画面選択※12		Aモード待受	Bモード待受	デュアルモード待受
電話／テレビ電話着信設定※13		Aナンバー	Bナンバー	設定時に選択
メール着信設定※13		Aアドレス	Bアドレス	設定時に選択
iアプリ		利用可能	利用可能※14	利用可能※15
プロフィール情報表示		Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	すべて
留守番電話サービス※16	設定	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※17
転送でんわサービス※16	設定	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※17

※1　発信オプション、スケジュールの連絡先、セレクトメニューの人物からの発信時にも、発信番号を選択できます。
電話帳発信、クイックダイヤル発信、イヤホンスイッチ発信時は、電話帳2in1設定で「B」に設定した相手にはBナンバーで、それ以外はAナンバーで発信されます。
伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル／着信履歴、メール送受信履歴から発信時は、発着信時のナンバーで発信されます。

※2　メモリ別着信拒否／許可、呼出動作開始時間設定、メモリ登録外着信拒否は、電話帳2in1設定に影響されません。

※3　シークレット属性設定時は、プライバシーモードの動作が優先されます。

※4　電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発着信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、GPSの位置提供、位置履歴詳細画面の要求者名などに電話帳の名前が表示されます。

※5　送信側や全件コピー時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。

※6　本体電話帳保存時に、電話帳2in1設定変更画面で「いいえ」をタッチしたり、モード選択画面でを押したりすると、電話帳2in1設定は「A」になります。

※7　BナンバーではSMSを操作できません。

※8　送信者アドレスをAアドレス／Bアドレスに切り替えられます。→P355

※9　送信者アドレスは、ｉモードメール作成時は宛先の入力方法によって設定されます。電話帳から入力または直接入力時は、電話帳2in1設定が「B」の場合はBアドレス、それ以外ではAアドレスが設定されます。メールグループなど複数宛先の入力時は最後に入力した宛先の電話帳2in1設定に、宛先がすべて電話帳未登録の場合は未指定で設定されます。メール送受信履歴からの入力時は履歴の情報に従います。
メール返信、転送時の送信者アドレスは、受信メールのA／Bアドレスの情報に従います。
Mail Toの送信者アドレスは、選択したメールアドレスが電話帳に登録されているときは電話帳2in1設定に従い、登録されていないときは未指定で設定されます。

※10　署名の自動挿入は送信者アドレスに従って登録した署名が挿入されます。ただし、送信者アドレスが未指定の場合やSMS作成時の場合はAアドレスの署名が挿入されます。

※11　Aモード時にBアドレス／Bナンバーへ、Bモード時にAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。

※12　Bモード待受／デュアルモード待受には画像のみ設定できます。
データ一覧のサブメニューなどから設定する場合は、現在のモードに関わらずAモード待受の設定となります。

※13　Bナンバーは着信音のみ設定できます。Bアドレスの着信音以外の設定はAアドレスと共通です。
データ一覧のサブメニューなどから設定する場合は、現在のモードに関わらずAナンバー／Aアドレスの設定となります。

※14　メール連動型ｉアプリ、ｉアプリ待受画面は利用できません。

※15　ｉアプリ待受画面は利用できません。

※16　すべてのナンバーの着信に対してサービスが提供されます。

※17　留守番電話サービスの開始、停止、設定確認、メッセージ再生、留守番サービス設定はA／Bナンバーを選択して設定します。ただし、Bナンバーでは留守番電話サービス開始、停止、開始／停止の確認のみとなります。
転送サービスの開始、停止、設定確認はA／Bナンバーを選択して設定します。ただし、Bナンバーでは転送サービス開始、停止、開始／停止の確認のみとなり、サービス停止中は転送先変更のみ設定できます。

2in1設定

2in1を利用するには2in1機能をONにします。その後、各設定を行います。

- 2in1がONのときは、認証操作を行うと2in1設定のメニュー画面が表示されます。

❖2in1モード切替

利用するモードに切り替えます。

- 2in1がOFFでも、待受画面で[W]を1秒以上押し、認証操作▶「はい」で2in1モード切替が起動します。2in1がONのときも、待受画面で[W]を1秒以上押し認証操作を行うと、2in1モード切替が起動します。

1 [MENU] [8] [8] [5] ▶認証操作▶「はい」▶ [1] ▶ [1] ～ [3]

❖電話帳2in1設定

モードごとに表示される電話帳を設定します。

- 初めて2in1を契約したときは、その時点で登録済みの電話帳はすべて「A」に設定されます。再契約時には以前の電話帳2in1設定を引き継ぎます。
- ドコモUIMカード電話帳に新規登録した場合、2in1のモードに関わらず「共通」と同じ動作となります。

1 [MENU] [8] [8] [5] ▶認証操作▶「はい」▶ [2] ▶モードを選択▶電話帳検索▶電話帳を選択▶「確定」▶「はい」

- 「共通」にすると、A／B両方のモードで表示されます。
  [A]：Aモードの電話帳
  [B]：Bモードの電話帳
  [AB]：A／B両モードの電話帳

❖モード別待受画面設定

利用するモードごとに待受画面を設定します。

- Bモードまたはデュアルモード時は画像（イメージ設定）のみを、Aモード時はｉモーションやｉアプリなどを設定できます。→P88

1 [MENU] [8] [8] [5] ▶認証操作▶「はい」▶ [3]

2 目的の操作を行う

デュアルモード：[1] ▶ [1] または [2] ▶フォルダ選択▶画像を選択▶「はい」
Aモード：[2] ▶ [1] または [2] ▶ [1] ～ [5] ▶フォルダ選択▶データを選択▶「はい」
Bモード：[3] ▶ [1] または [2] ▶フォルダ選択▶画像を選択▶「はい」

❖着信設定

Aナンバー／Aアドレス、Bナンバー／Bアドレスの着信音を設定します。

1 [MENU] [8] [8] [5] ▶認証操作▶「はい」▶ [4] [1]

2 目的の操作を行う

Aナンバー：[1] ▶ [1] ～ [3] ▶各項目を設定▶「登録」
Bナンバー：[2] ▶ [1] ～ [3] ▶各項目を設定▶「登録」

❖発着信番号表示設定

発着信中／通話中画面の「発信中」などの文字列を、設定した識別記号で装飾するかを設定します。

1 [MENU] [8] [8] [5] ▶認証操作▶「はい」▶ [4] [2] ▶各項目を設定▶「登録」

- Aナンバーの設定は電話発着信設定の発着信番号表示設定にも反映されます。

❖2in1機能OFF

2in1をOFFにすると、Bナンバー／Bアドレスの履歴、電話帳2in1設定で「B」にした電話帳もすべて表示されます。各種履歴や電話帳から発信／送信する場合もAナンバー／Aアドレスとなります。

1 MENU 8 8 5 ▶認証操作▶「はい」▶ 5 ▶「はい」

❖着信回避設定

着信回避を設定すると、モードに関わらずそのナンバーへの着信が規制されます。

1 MENU 8 8 5 ▶認証操作▶「はい」▶ 6

2 目的の操作を行う

着信回避設定： 1 ▶各項目を設定▶「決定」
- モード切替連動設定を停止にする必要があります。

着信回避設定の確認： 2 ▶「はい」
- サブメニューから設定を変更できます。

モード切替連動設定： 3 ▶「はい」

Aモードでは Aナンバーのみ、BモードではBナンバーのみが着信します。
- 開始にしている場合、圏外では2in1モード切替はできません。

❖海外からの着信回避設定

海外から着信回避設定が行えます。
- 海外から操作した場合はご利用の国の日本向け通話料がかかります。→P362

1 MENU 8 8 5 ▶認証操作▶「はい」▶ 6 4 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作
- モード切替連動設定を停止にする必要があります。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。
詳細はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。

1 MENU 8 8 4

2 目的の操作を行う

エリア表示設定： 1 ▶ 1 または 2
- 「ON」にするとOFFICEEDエリア内では待受画面に[OFFICEED]が表示されます。

圏外転送開始： 2 ▶「はい」
圏外転送停止： 3 ▶「はい」
圏外転送設定確認： 4 ▶「はい」

ネットワークサービス追加

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 MENU 8 8 7 1

2 目的の操作を行う

USSD登録：1▶番号をタッチ▶「編集」▶USSDコードを入力▶名称を入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」
- USSDコードはドコモから通知されるサービスコードで、ネットワークサービスの設定などを行うために使用されます。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。
- 追加したサービスを利用するときは、サービスを選択します。
- 追加したサービスを削除するときは、サービスをタッチ▶「MENU」▶1または2▶「はい」をタッチします。

応答メッセージ登録：2▶番号を選択▶USSDコードを入力▶応答メッセージを入力（全角10（半角20）文字以内）▶「登録」
- 追加したサービスを実行時、サービスセンターから登録したコードが応答として返ってくるとこのメッセージが表示されます。
- 登録したメッセージを削除するときは、メッセージをタッチ▶「MENU」▶1または2▶「はい」をタッチします。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、ｉモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

- 本FOMA端末は、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用可能です。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - データBOXのマイドキュメントにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GSM／GPRS	GSM
	3G	GPRS	GSM
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
ｉモード※2	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS※3	○	○	○
ｉチャネル※2、4	○	○	×
ｉコンシェル※5	○	○	×
ｉウィジェット※6	○	○	×
GPSの現在地確認※7	○	○	×
パケット通信（パソコン接続）	○	○	×

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。
マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2 ｉモード海外利用設定が必要です。→P367
※3 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※4 ｉチャネル海外利用設定が必要です。
ベーシックチャネルの自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。
※5 ｉコンシェルの海外利用設定が必要です。→P187
インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。
※6 ｉウィジェットローミング設定が必要です。→P247
複数のウィジェットアプリが通信した場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。
※7 GPS測位は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

✔お知らせ
- 接続する海外通信事業者やネットワークサービスにより利用できないサービスがあります。

海外利用の準備と確認

海外での利用のために、出発前、滞在国、帰国後に確認／設定します。

◆出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について

海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタの取り扱い上の注意について→P16
- ACアダプタでの充電方法について→P43

■料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

◆出発前の設定

■ｉモードの設定

ｉモード海外利用設定を「利用する」に設定する必要があります。→P367

■ｉモードメールの受信設定

ｉモードメールを選択して受信するかを設定します。→P367

■ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。→P368
- 一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。→P354
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。→P365

■ディスプレイの見かた

待受画面には利用中のネットワークの種類が表示されます。「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者名が表示されます。→P366

3G／3G(黄)：パケット通信に対応している3Gネットワーク
3G(赤)：パケット通信に対応していない3Gネットワーク
GPRS／GPRS(黄)：GPRSネットワーク
GSM：GSMネットワーク

■接続について

ネットワークサーチ設定を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定し、定額サービスの対象事業者に接続すると、海外でのパケット通信料が定額（1日あたり）でご利用いただけます。なお、ご利用にはｉモードパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■日付・時刻

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。
- 補正されるタイミングは海外の通信事業者によって異なります。
- サマータイムがある国では、現地時間と待受画面の表示時間のずれがないかをご確認ください。接続した海外の通信事業者によっては利用できないことがあります。
- 日付時刻設定→P47

■お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

◆ 帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- 3G/GSM切替を「自動」に設定してください。→P366
- ネットワークサーチ設定を「オート」に設定してください。→P365

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。

- テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の映像が乱れたり、接続できない場合があります。
- よくかける相手の国名と国番号を国際ダイヤルアシスト設定で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。→P57

◆ 日本に発信

「+」と入力した国番号で国際電話をかけられます。日本の国番号を入力して発信します。

1 ▶123▶+▶81▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶ または「テレビ電話」

❖ 滞在国外（日本以外）に発信

「+」と入力した国番号で国際電話をかけられます。

1 ▶123▶+▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号を入力▶ または「テレビ電話」

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

❖ 国番号を選択して発信

発信オプションで、国際ダイヤルアシスト設定の国番号設定に登録している国番号を選択します。→P57

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合のみ有効です。

1 ▶123▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶「MENU」▶2▶発信方法欄を選択▶1または2▶国際電話発信欄を選択▶2▶国番号欄を選択▶国番号を選択▶「発信」または「テレビ電話」▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合には、「キャラ電」をタッチすると通話中に表示するキャラ電を選択できます。

❖ 電話帳を利用して発信

電話帳を利用して滞在国外に国際電話をかけます。

- 電話帳の電話番号が「0」で始まる場合にのみ有効です。
- あらかじめ国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定の国番号変換を「ON」に、国番号を電話をかける国に設定しておく必要があります。→P57

1 ▶ ▶電話帳検索▶相手をタッチ▶「発信」または「テレビ電話」▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。

◆ 滞在国内に発信

滞在国内へも日本国内と同様の操作で電話をかけられます。

- メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

1 ▶123▶電話番号を入力▶ または「テレビ電話」▶「元の番号で発信」

電話帳を利用： ▶ ▶電話帳検索▶相手をタッチ▶「発信」または「テレビ電話」▶「元の番号で発信」

◆ WORLD WING利用者に発信

同じ国に滞在している場合でも、日本からの国際転送となりますので、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

1 ▶123▶+▶81▶先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力▶または「テレビ電話」

滞在国で電話を受ける

日本国内で電話を受けるのと同様の操作で、電話を受けられます。

■ 日本から電話をかけてもらうときは

お客様が日本国内にいるときと同様に、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090-XXXX-XXXXまたは080-XXXX-XXXX

■ 日本以外から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本へ国際電話をかけるのと同様の操作で電話をかけてもらいます。

発信国の国際アクセス番号▶81（日本の国番号）▶先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力

✔お知らせ

- 滞在国に関わらず、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

ネットワークサーチ設定

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークに接続し直します。

- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 日本国内ではNTTドコモ以外の通信事業者は選択できません。

1 MENU 8 8 8 2 ▶ 1 ～ 3

- 「オート」にすると利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。「マニュアル」にすると、ネットワークを検索し直して接続ネットワーク一覧が表示されるので、接続するネットワークを選択します。
- 「ネットワーク再検索」選択時は各設定の動作が実行されます。

✔お知らせ

- 接続ネットワーク一覧では、3Gネットワークは「3G」、GSM/GPRSネットワークは「GSM」、利用できないネットワークは「✕」が表示されます。
- 次の場合は、オペレータ名表示欄に「select net」と表示され、利用可能なネットワークが選択されて圏内状態となるまでは、通話やメールなどが利用できません。再度ネットワークを検索し直して選択するか、「オート」にしてください。
  - 接続したネットワークの圏外に移動したとき
  - ネットワークの接続に失敗したとき

優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定が「オート」のときに接続するネットワークを管理します。

- 最大20件設定できます。
- 本設定は、ドコモUIMカードに保存されます。
- ネットワークを選択すると、詳細情報が表示されます。

■ 優先順位変更

1 MENU 8 8 8 3 ▶ネットワークをタッチ▶「MENU」▶ 2 ▶優先順位を選択▶「登録」

- 選択した優先順位の上に順位が変更されます。優先順位を最後にするときは「〈最後に指定〉」を選択します。

■ ネットワーク追加

1 MENU 8 8 8 3

2 目的の操作を行う

国番号／ネットワーク番号を入力して追加：「MENU」▶ 1 1 ▶国番号（MCC）を3桁で、ネットワーク番号（MNC）を2～3桁で入力▶「追加」▶ 1 ～ 3 のいずれかをタッチ▶「追加」

リストから追加：「MENU」▶ 1 2 ▶国名を選択▶ネットワークを選択▶ 1 ～ 3 のいずれかをタッチ▶「追加」

在圏ネットワークから登録：「MENU」▶ 1 3 ▶ネットワークをタッチ▶「追加」

3 優先順位を選択▶「登録」

■ ネットワーク削除

1 MENU 8 8 8 3 ▶ネットワークをタッチ▶「MENU」▶ 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」▶「登録」

- 1件削除ではタッチしたネットワークが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶「削除」が、全件削除では認証操作が必要です。

3G/GSM切替

利用するネットワークの種類を設定します。

- 「自動」にすると、異なるネットワークのサービスエリアに移動した場合でも、自動的に利用可能なネットワークに接続されます。

1 MENU 8 8 8 1 ▶ 1 ～ 3

✔お知らせ

- 「自動」の場合、3GおよびGSM/GPRSネットワークの両方を検出したときは3Gネットワークが優先されます。

在圏状態表示

接続しているネットワークで利用できるサービスが確認できます。

1 MENU 8 8 9 7

- CSでは音声電話やテレビ電話などが、PSではｉモードやｉモードメールなどが利用できます。

海外での待受画面設定

海外で利用すると便利な待受画面の表示を設定します。

◆オペレータ名表示設定

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。

- 「表示あり」にしても、FOMAネットワーク利用時や圏外のときは表示されません。

1 MENU 8 8 8 4 ▶ 1 または 2

◆デュアル時計設定

滞在国と日本の時刻を表示します。

1 MENU 8 7 2 7 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 右側に日本の時刻が表示されます。右側に他の国の時刻を表示させる場合は、本設定を「OFF」に、時計表示設定のデザインを「世界時計」にしてタイムゾーンを設定します。
- 待受画面に動画／ｉモーションまたはｉアプリ設定時、デュアル時計は表示されません。

ローミングガイダンス設定

発信者に国際ローミング中である旨のガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。
- 滞在国でのローミングガイダンス設定（海外）→P368

1 MENU 8 8 9 6

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」
停止：2 ▶「はい」
設定の確認：3 ▶「はい」

✔お知らせ

- 停止にしても通信事業者で設定している呼出音が流れます。
- 開始にしても通信事業者によっては外国語ガイダンスが流れる場合があります。

海外での着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定をしたりします。

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

◆ローミング時着信規制

- 海外では64Kデータ通信（パソコン接続）は利用できません。
- ｉモードサイト表示とメール送信は、本設定に関わらず操作できます。

1 MENU 8 8 9 3

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶ 1 または 2 ▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

- 「全着信規制」では音声、SMS、ｉモードメール自動受信を含むすべての着信が、「テレビ電話／64Kデータ規制」ではテレビ電話の着信のみが規制されます。
- 「全着信規制」に設定しても、発信、ｉモード接続、ｉチャネルの自動更新、留守番電話、転送でんわは規制されません。また、パケット通信を行うと、メールなどが受信される場合があります。

停止：2 ▶「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力
設定の確認：3 ▶「はい」

◆ローミング着信通知設定

国際ローミング中でも、電源が入っていないときや圏外にいたときの着信を、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知します（無料）。

1 MENU 8 8 9 4

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」
停止：2 ▶「はい」
設定の確認：3 ▶「はい」
海外で開始：4 ▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作

海外でのｉモードサービス利用設定

海外でｉモードサービスの設定操作をします。

◆ｉモード・メール設定

海外でのｉモードの利用を設定します。

- 日本国内では無料で設定できます。海外での設定にはパケット通信料がかかります。
- 圏外（赤）または圏外（SMS）のときは設定できません。

1 MENU 8 8 9 1 ▶「はい」

◆メール選択受信設定（海外）

海外滞在時に、ｉモードメールを選択して受信するかを設定します。

- 日本国内でも設定できます。

1 MENU 8 8 9 2 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると、メールを自動的に受信できないことを示す画面が表示されます。
- 帰国後も「ON」のままにすると、メールを自動受信できません。「OFF」に設定し直してください。
- 通常のメール選択受信設定にも反映されます。

メール選択受信時の操作→P137

ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの設定を操作します。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。→P354
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

◆ 海外留守番電話サービス（有料）

1 MENU 8 8 0 1

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作
停止：2 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作
メッセージの再生：3 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作
留守番サービスの設定：4 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作
呼出時間の設定：5 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外転送でんわサービス（有料）

1 MENU 8 8 0 2

2 目的の操作を行う

開始：1 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作
停止：2 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作
設定：3 ▶「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外遠隔操作設定（有料）

1 MENU 8 8 0 3

2 「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外番号通知お願いサービス（有料）

1 MENU 8 8 0 4

2 「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作

◆ 海外ローミングガイダンス設定（有料）

1 MENU 8 8 0 5

2 「はい」▶ 音声ガイダンスに従って操作

Windows 7

Windows 7モードをお使いになる上でのご注意

Windows 7モードをお使いになる前に、あらかじめご確認ください。

- Windows 7モードの使用中にFOMA端末の温度が高くなることがあります。また、急に高温になったり、比較的低温でもその状態が長時間続いたりした場合、自動的にケータイモードに切り替わります。これはやけどなどの危険性を避けるための機能で、故障ではありません。
- Windows 7モードにおいて電池残量1になると、Windows 7モードは終了し、自動的にケータイモードに切り替わります。
  次回Windows 7モードに切り替えると、「Windows Resume Loader」画面に「Continue with system resume」という項目名が表示されますので、Enterキーを押して、Windows 7を起動してください。
- 付属のACアダプタ F04とUSBケーブル F01、またはクレードルセット F01（別売）を使っての充電を推奨します。Windows 7モードの使用中に、USBケーブルを使いパソコンから充電を行うと、充電量が追いつかず電池切れとなる場合があります。
- ACアダプタ F04とUSBケーブル F01、またはクレードルセット F01を使って充電する際、「USBケーブルで接続中ですが、バッテリーは充電されませんのでご注意ください。」と表示された場合には、FOMA端末からUSBケーブル F01のmicroUSBプラグを、またはクレードルからFOMA端末を一旦取り外してから、再度まっすぐ差し直してください。
- Windows 7モードの使用中にCPUに高負荷がかかったり最大輝度での使用を行うなど、利用状況によってはACアダプタ接続中においても電池から放電する場合があります。
- Windows 7モードの使用中に、次の機能を実行するとWindowsが強制シャットダウンします。ご注意ください。
  - オールロック
  - おまかせロック
  - 親子モード（PCロックON）
- USBモードのmicroSDモードまたはMTPモードを利用するときには、Windows 7モードを終了してください。
- ご利用環境によっては、動画再生時においてコマ落ち、音楽・音声再生時に音飛びなどが生じる場合があります。
- 外部出力表示は解像度1280×720、60ヘルツでご使用ください。外部出力表示が乱れ続ける場合は、次の手順で60ヘルツに変更してください。
  ① 外部出力表示中に[Windowsキー]を押し、外部出力の表示が消えWindows 7ランプが点滅するのを確認（数分かかります）
  ② [Windowsキー]を押し、Windows 7モードの画面を表示
  ③ デスクトップの何もないところを右クリック▶表示されるメニューで「画面の解像度」▶「詳細設定」▶「モニター」▶「画面のリフレッシュレート」で「60ヘルツ」を選択し「OK」▶「OK」
- Windows 7モードの使用中は、お使いになる機能によってケータイモードの機能が制限される場合があります。

◆電話やｉモードメールの着信について

Windows 7モードの使用中は、電話やｉモードメールの着信は次のように動作します。なお、エリアメールには、緊急地震速報などがあります。

❖通信機能を使用していない場合

電話の着信	○
ｉモードメール	△
メッセージR/F	△
エリアメール	○
SMS	△
位置情報の要求	○
オートGPS	×
おまかせロック	○
ｉコンシェル	△
ｉチャネル	△
Music＆Videoチャネル	△

○：着信すると、ケータイモードに自動で切り替わります。
△：着信ランプが点灯します（ｉチャネル、Music＆Videoチャネルを除く）。Windows 7モードのまま、通信は維持されます。
×：着信できません。

❖mopera Uなどのダイヤルアップによるパケット通信中

音声電話の着信	○
テレビ電話の着信	×
ｉモードメール	×
メッセージR/F	×
エリアメール	○
SMS	△
位置情報の要求	○
オートGPS	×
おまかせロック	○
ｉコンシェル	×
ｉチャネル	×
Music＆Videoチャネル	×

○：着信すると通信が切断され、ケータイモードに自動で切り替わります。
△：着信ランプが点灯します。Windows 7モードのまま、通信は維持されます。
×：着信できません。

❖無線LANによる通信中

電話の着信	○
ｉモードメール	△
メッセージR/F	△
エリアメール	○
SMS	△
位置情報の要求	○
オートGPS	×
おまかせロック	○
ｉコンシェル	△
ｉチャネル	△
Music＆Videoチャネル	△

○：着信すると通信が切断され、ケータイモードに自動で切り替わります。
△：着信ランプが点灯します（ｉチャネル、Music＆Videoチャネルを除く）。Windows 7モードのまま、通信は維持されます。
×：着信できません。

◆おサイフケータイ／トルカ

- ケータイモードでおサイフケータイ対応ｉアプリを使用しているときにWindows 7モードへ切り替えた場合は、おサイフケータイの機能が使用できない場合があります。
- Windows 7モードでは、次の画面は表示されません。
  - 読み取り機能利用の確認画面
  - 読み取り機能無効を示す画面
  - トルカ取得で詳細ダウンロードするためのサイト接続確認画面
- Windows 7モードでは、トルカ取得確認音は鳴りません。

◆カメラ

Windows 7モードでは、アウトカメラを使用した静止画や動画の撮影はできません。

◆Bluetooth

Windows 7モードでは、Bluetooth機能は利用できません。

◆GPS

Windows 7モードでは、GPS機能は利用できません。

◆赤外線通信／iC通信

Windows 7モードでは、赤外線通信やiC通信は利用できません。

◆キーボード／文字入力

- Windows 7モードでの文字入力は「Microsoft® Office IME 2010」のヘルプをご覧ください。
  - デスクトップ画面でタスクバーの ▶「Microsoft® Office IME 2010」▶「目次とキーワード」
- QWERTYキーを使って入力できない文字は、スクリーンキーボードを利用してください。
  - デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「コンピューターの簡単操作」▶「スクリーン キーボード」

◆ソフトウェアの制限

Windows 7モードでは、一部のソフトウェアは利用できません。

〈例〉

- 1024×600を超える解像度が必要なソフトウェア
- ローテーション機能に対応していないソフトウェア
- Windows® Media Centerを最大化しての利用

✔お知らせ

- Windows® Media Centerを最大化してしまった場合は、Altを押しながら決定を押して最大化を解除してください。

◆使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

❖ソフトウェアの使用条件

1.本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2.バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3.本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4.複製

① 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

② 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5.第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6.改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7.壁紙の使用条件

本製品に「FMV」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。

8.保証の範囲

① 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

② 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

③ 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記①の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9.ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

◆ Windows 7モード プリインストールソフトウェア

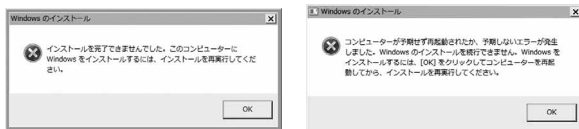
- 基本OS
  Windows® 7 Home Premium 32ビット正規版（SP1適用済み）※1
- Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス版 ※2
  Microsoft® Word 2010 ※2
  Microsoft® Excel® 2010 ※2
  Microsoft® Outlook® 2010 ※2
- インターネット・Eメール
  Windows® Internet Explorer® 9
  Microsoft® Silverlight™
  Adobe® Flash® Player ※3
  Adobe® Reader® ※3
  ノートン™ インターネットセキュリティ 2011 ※4
  i-フィルター® 6.0 ※4
  Windows Live™ メール
  Windows Live™ Writer
  Windows Live™ Messenger
- 便利ソフト
  タッチコンソール
  twifar
  メールチェックガジェット
  カレンダーガジェット
  MSN & Windows Live ガジェット
  ドコモ コネクションマネージャ
- AV機能
  Windows Media® Player12
  Windows Live™ フォト ギャラリー
  Windows Live™ ムービー メーカー
- 電子辞書
  明鏡国語辞典MX
  ジーニアス英和・和英辞典MX（2種）
  新漢語林MX
  三省堂デイリー 3か国語辞典（6種）
  三省堂デイリー 3か国語会話辞典（4種）
  学研パーソナル統合辞典（4種）
- ユーティリティ
  アップデートナビ
  マイリカバリ※5
  ソフトウェアディスク検索
  DVDドライブ共有機能設定
  テレビ出力ユーティリティ
  microSDカード制御ユーティリティ
  システム状態表示

※1 日本語版です。また、基本OSのみの再インストールはできません。
※2 「Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス版」は、Office Personal 2010 のすべての機能を、「ライセンス認証」の完了から2年間使用できる製品です。2年間のライセンス有効期間が経過すると、ファイルの閲覧と印刷のみ可能な機能制限モード（新規ファイルの作成、更新、保存などの機能が使用できないモード）となります。2年間のライセンス有効期間が経過後、通常のOffice機能をご利用になるには、別途「Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス専用永続ライセンス変換パッケージ」の購入をしていただくことで永続ライセンスに切り替えることができます。
※3 フリーソフトのため、サポートは行っておりません。
※4 無償サポートと無償アップデートの期間は、本ソフトウェア使用開始から90日間です。
※5 ご利用の際は、クレードルセット F01（別売）と外付けハードディスク（別売）などが必要となります。すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また、著作権保護された音楽などは保存／復元できない場合があります。

Windows 7モードのセットアップ

初めてWindows 7モードを使用する場合は、Windows 7のセットアップや通信の設定などの初期設定が必要です。

◆ セットアップ時のご注意

- セットアップには時間がかかります。時間に余裕をもって作業してください（所要時間の目安：約60分）。
- セットアップ中は、電話の着信やメールの受信など、通信を必要とするすべての機能が利用できません。
- Windows 7のセットアップでは、通信環境をあらかじめ用意しておく必要はありません。
- Windows 7のセットアップは、必ずアダプタを接続し、充電した状態で行ってください。
- Windows 7のセットアップが終わるまでは、絶対に電源を切らないでください。操作の途中で電源を切ると、Windowsが使えなくなる場合があります。
- Windowsのセットアップに失敗、もしくはWindowsのセットアップ中に電源が切れると、「Windowsのセットアップ」画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

この場合は、「お買い上げの状態に戻す」をご覧になり、リカバリを実行してください。→P385
- セットアップ中は[Windows]を押さないでください。
- セットアップ中に省電力状態（スリープ、休止状態）に移行した場合は、ケータイモードに切り替わります。その場合、[Windows]を押してWindows 7モードに切り替えると復帰します。

◆ Windows 7のセットアップ

1 **FOMA端末にアダプタを接続し、充電状態にする**

2 **[Windows]**

「初めてWindows 7モードを使うときにはセットアップが必要です。」画面が表示されます。

3 **[Ctrl]と[Alt]を押しながら[P]**

この後は画面が何度か変化して、暗くなったり再起動したりします。
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

4 **ユーザー名を入力▶「次へ」**

ユーザー名は12文字以内の半角英数字でお好きな名前を入力してください。ただし、@、%、/、-などの記号や空白は入力しないでください。また、数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。
コンピューター名は変更しないでください。

5 **パスワードを入力▶「次へ」**

パスワードは入力しなくても次の画面に進むことができます。
パスワードを入力した場合は、別にメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

6 **ライセンス条項を確認して2箇所にチェック▶「次へ」**

7 **「推奨設定を使用します」**

ここで「ワイヤレスネットワークへの接続」という画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。
自動的にWindows 7が再起動して「必ず実行してください」画面が表示されます。

8 **「必ず実行してください」画面で「実行する」**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。

9 **「設定完了」画面で「OK」**

自動的にWindows 7が再起動して、Windows 7のセットアップが完了します。

✔お知らせ

- Windows 7のセットアップが終わった後に[Windowsキー]を押しても動作しない場合があります。この場合は、Windows 7をいったんシャットダウンまたは再起動し、再度Windows 7モードに切り替えてください。

引き続き、セキュリティ対策ソフトの設定を行います。

◆ セキュリティ対策ソフトの設定

コンピュータウイルス感染防止や不正アクセス防止のために、セキュリティ対策ソフトを設定します。

- あらかじめ本FOMA端末にインストールされている「ノートンインターネットセキュリティ」は、初期設定が完了してから90日間アップデートしてお使いいただけます。
- お客様ご自身で用意したセキュリティ対策ソフトを使用する場合は、「ノートンインターネットセキュリティ」をアンインストールしてください。
- インターネットの接続が完了した後には「Live Update」を実行してください。
- 自動更新の設定を行った場合は更新情報の確認が自動で行われるため、お客様の意図しない間にインターネットへ接続する場合があります。パケット通信による接続を設定している場合は通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

1 [キー]または「デスクトップ」ボタン

2 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Norton Internet Security」▶「Norton Internet Security」

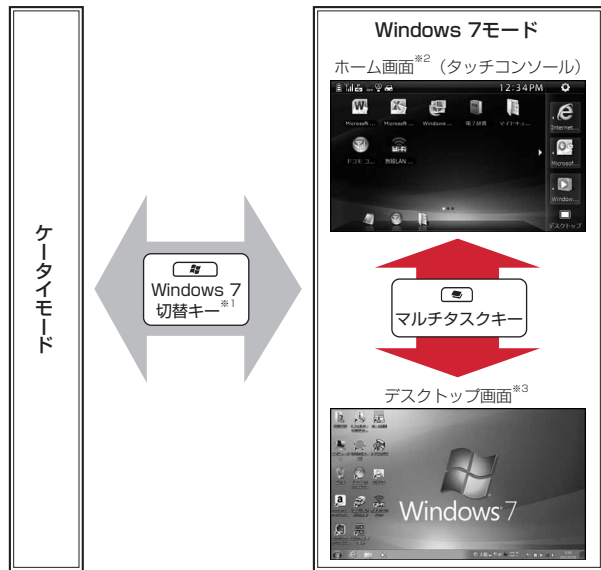
この後は画面上の指示に従って操作してください。

Windows 7モードの画面

◆ 画面の使い方

- 横画面で利用中に向きが切り替わってしまった場合は、次のいずれかの方法で向きを戻してください。
  - [Ctrl]と[Alt]を押しながら[▶]
  - デスクトップの何もないところを右クリックして表示されるメニューで「画面の解像度」を表示し「向き」を変更（「縦（回転）」）
- 次の画面は縦画面のまま操作します。横画面には切り替わりません。
  - 「トラブル解決ナビ」
  - BIOS起動メニュー
  - セーフモード、ブルースクリーン画面
- Windows 7モードでのトラックボールは、縦画面においても横画面時の操作になります。

◆ 画面の切り替え

画面の切り替え方法は次のとおりです。

※1 Windows 7モードへの切り替えは、切り替え前のWindowsの状態によって異なります。
シャットダウン状態→ホーム画面起動
スリープ／休止状態→スリープ／休止になった時の状態を復元

※2「デスクトップ」アイコンからも、ホーム画面からデスクトップ画面に切り替えできます。

※3「ホーム画面」アイコンからも、デスクトップ画面からホーム画面に切り替えできます。

◆ ホーム画面

ホーム画面（タッチコンソール）から、Windows 7モードのソフトウェアを簡単に起動することができます。ホーム画面からソフトウェアを起動すると、デスクトップ画面に切り替わります。なお、ソフトウェア終了後はデスクトップ画面となります。

① **電池残量**

(電池残量3) 十分残っています。
(電池残量2) 少なくなっています。
(電池残量1) 電池残量がほとんどありません。充電してください。
(充電状態では、 が追加されて表示)

② **受信レベル**

				圏外
強			弱	サービスエリア外や電波の届かない所

③ **mopera U通信中**

④ **無線LANの電波状況**

			なし	OFF
強		弱	無線LAN環境がない／接続していない	無線LAN機能がOFF

⑤ **ケータイモード表示**
- ｉモード中（パケット通信中）
- 圏外
- セルフモード中
- 使用できないドコモUIMカードを挿入中
- マナーモード中
- オリジナルマナーモード中
- 公共モード（ドライブモード）中

⑥ **時計表示**
ケータイモードと同じ時刻が表示されます。Windows 7モードの時計表示は、Windows 7を起動するごとにケータイモードと同じ時刻に調整されます。時差のある国へFOMA端末を持ち出した場合、ケータイモードで時刻や時差を自動で補正するように設定していれば、Windows 7のタイムゾーンの変更をしなくても、Windows 7を再起動することで現地の時刻に調整されます。

⑦ **設定ボタン**
タッチコンソールの設定画面を表示します。

⑧ **ランチャー領域**
ソフトウェアやショートカットのアイコンが表示されます。1ページに収まり切らないアイコンは、画面を左右にスクロールすることで表示できます。

⑨ **セレクト3ボタン**
よく使うソフトウェアを3つまで登録することができます。

⑩ **実行中タスク表示**
動作中のソフトウェアを示すアイコンが表示されます。

⑪ **デスクトップボタン**
デスクトップ画面に切り替わります。

❖ソフトウェア

お買い上げ時にホーム画面に表示されるソフトウェアは次のとおりです。

アイコン	ソフトウェア名	説明
	Microsoft® Word 2010	文書作成
	Microsoft® Excel® 2010	表計算、グラフ作成
	Microsoft® Outlook® 2010	Eメール・予定・住所録などを管理
	Windows Live™フォト ギャラリー	写真の閲覧
	電子辞書	電子辞書を起動
	ドコモ コネクションマネージャ	パケット通信を開始
	マイドキュメントフォルダ	データ保存フォルダ
	無線LAN ON/OFF	無線LANの電波の発信／停止
	Windows® Internet Explorer® 9	インターネットブラウザ
	Windows Media® Player	音声や映像の閲覧

◆ インターネット操作パネル

ホーム画面からInternet Explorer® 9を起動すると、タッチコンソールの「インターネット操作パネル」を表示します。

✔お知らせ

- デスクトップ画面から表示したい場合は次のように操作します。
  「スタート」メニュー ▶「すべてのプログラム」▶「タッチコンソール」▶「インターネット操作パネル（起動）」

① Internet Explorerの「戻る」の操作を行います。
② お気に入りメニューを表示します。
③ URL入力画面を表示します。
④ 保存メニューを表示します。
⑤ Internet Explorerの「新しいタブ」を表示します。
⑥ 表示中のInternet Explorerのタブを閉じます。Internet Explorerが起動していない場合は、インターネット操作パネルを終了します。

◆ ガジェット

お買い上げ時に用意されているオリジナルガジェットは次のとおりです。

twifar（Twitter/Facebook/RSSガジェット）	Twitter・Facebook・RSSリーダーの3つの機能を持ったガジェットです。※1
カレンダーガジェット	Googleカレンダーのデータを読み込むことができるスケジューラーです。※2
メールチェックガジェット	POP3サーバに対応し、新着メールの件数を表示するガジェットです。※3

※1 twifarはTwitter及びFacebookの連携インターフェースを利用しているため、連携インターフェースの使用制限、仕様変更などによりご利用になれなくなる可能性があります。
※2 カレンダーガジェットの一部の機能は、Google社の連携インターフェースを利用しているため、連携インターフェースの使用制限、仕様変更などによりご利用になれなくなる可能性があります。
※3 メールチェックガジェットは、メールサーバの連携インターフェースを利用しているため、メールサービスによってはご利用になれない場合もあります。

✔お知らせ

- ガジェットを選択し表示するには次のように操作します。
  デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」▶「デスクトップのカスタマイズ」▶「デスクトップガジェット」

◆ システム状態表示

Windows 7モードには、CPU使用率を表示する「システム状態表示」というソフトウェアが用意されています。デスクトップ画面のタスクバーに表示されるアイコンの状態で確認することができます。

(緑)：CPU使用率が60%未満
(黄)：CPU使用率が60%以上80%未満
(赤)：CPU使用率が80%以上
約3秒赤アイコンの状態が続くと赤アイコンは点滅し、さらに赤アイコンの状態が続く場合は約3秒ごとに点滅します。

✔お知らせ

- タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、タスクバーのをクリックすると隠れている分を表示することができます。

◆ トラックボールの操作

Windows 7モードでは、ソフトウェア（Microsoft® Word 2010、Microsoft® Excel® 2010、Windows® Internet Explorer® 9）を利用時に、他のキーと組み合わせることでできる操作があります。
Fn1またはFn2 ＋ トラックボール上下操作：ソフトウェア内で縦スクロール
Ctrl ＋ Fn1またはFn2 ＋ トラックボール上下操作：拡大／縮小

画面の調節

◆ ズーム表示

Windows® Internet Explorer® 9を利用時に[カメラキー]を押すと拡大し、長押しすると縮小します。反応までに時間がかかる場合があります。

◆ タッチ機能

Windows 7モードでもタッチ機能を使うことができます。

- ソフトウェアによっては、タッチ機能の反応が悪かったり、タッチ機能に対応していない場合があります。
- タッチパネル利用上の注意事項、操作方法は、「タッチパネルの使いかた」をご覧ください。→P30

◆ Windows 7モードでの明るさ調整

Windows 7モードでの明るさ調整は、次のいずれかの方法で行うことができます。

- 「光センサーを使って自動調整する」：お買い上げ時有効
- 「Windowsで明るさの調整を行う」：お買い上げ時無効

明るさ調整方法を切り替えたい場合は次のように操作します。

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」

2 「ハードウェアとサウンド」▶「明るさ調整」▶明るさ調整方法を選択

画面の解像度

◆ 解像度についてのご注意

解像度、「画面の解像度」画面の「向き」は、通常変更する必要はありません。画面の解像度（向き）を変更してしまった場合は、次の手順で変更し直してください。

1 デスクトップの何もないところを右クリック▶表示されるメニューで「画面の解像度」

2 「解像度」を「1024×600」に変更、「向き」を「縦（回転）」に変更▶「OK」

✔お知らせ

- 画面の解像度を変更するときは、起動中のソフトウェアや常駐しているプログラムを終了させ、変更後は必ずWindowsを再起動してください。なお、解像度を切り替えるときなどに、一時的に表示画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

通信の設定

Windows 7モードでは、パケット通信、無線LANによる通信を使用することができます。

- ドコモUIMカードを挿入していない場合やFOMAサービスを解約していたり、利用を休止していたりする場合は、本機能は利用できません。
- 無線LANを利用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

◆ パケット通信を利用する

パケット通信をご利用になるには、mopera Uへのお申し込みが必要になります。ドコモショップ、またはmopera Uのホームページをご覧ください。
http://www.mopera.net/

✔お知らせ

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の大きい通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
- パケット通信を利用して、Windowsのアップデートなどで自動更新の設定を行った場合は更新情報の確認が自動で行われるため、お客様の意図しない間にインターネットへ接続する場合があります。パケット通信による接続を設定している場合は通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

❖ ドコモ コネクションマネージャの設定

パケット通信には「ドコモ コネクションマネージャ」を使用します。

1 ホーム画面で「ドコモ コネクションマネージャ」アイコンをクリック▶契約内容に応じて設定

2 「ドコモ コネクションマネージャ」で回線に接続▶切断

「ドコモ コネクションマネージャ」で、いったん「接続する」をクリックし回線に接続したことを確認したら、「切断する」をクリックし回線を切断します。

3 デスクトップ画面で「回線設定」アイコンをクリック

「回線設定」アイコンが消えて、設定が完了します。

✔お知らせ

- 「ドコモ コネクションマネージャ」の詳しい使い方については、次の操作マニュアルをご覧ください。
  - デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」
- 上記手順を行う前に「回線設定」アイコンを消してしまった場合は、次のファイルを実行してください。
  C:￥Fujitsu￥DialUp￥FJ_replace_rasphone.cmd
- 「定額データプラン以外のパケット定額サービス（パケ・ホーダイ ダブルなど）」をご利用の場合、プリインストールされている「ドコモ コネクションマネージャ」の接続画面では、接続先に「＊＊＊（従量）」（＊＊＊は設定されたプロバイダ名）と表示されますが、通信料はご契約内容に従い「パソコンなどの外部機器を接続した通信」の上限額が適用されます。
  最新版のドコモ コネクションマネージャは、次のホームページからダウンロードできます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/index.html
- 次の場合は、パケット通信は切断されます。
  - 省電力機能を使う（スリープまたは休止状態）
  - ケータイモードへの切り替え
  - 無線LANによる通信への切り替え
  - Windowsの再起動を行う

  再度利用する場合は、「ドコモ コネクションマネージャ」で接続し直してください。

◆ 無線LANを利用する

Windows 7モードでは、無線LANを利用することができます。
無線LANの設定方法は、お使いになるアクセスポイントによって異なります。アクセスポイントに添付されている取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 本FOMA端末はIEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11nの無線LAN規格に準拠しています。親機と子機が同じ規格に対応していないと接続できませんので、使用するWi-Fi対応機器の規格をあらかじめご確認ください。

❖無線LANの設定

1 **ホーム画面で「無線LAN ON／OFF」アイコンをクリックし、無線LANの機能をオンにする**

Windows 7の起動時は、無線LANの機能はオフになっています。

2 **デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークの状態とタスクの表示」**

3 **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」**

4 **「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」▶「次へ」**

5 **無線LANアクセスポイントの設定情報を入力▶「次へ」**

「ネットワーク名（SSID）」や「セキュリティの種類」「セキュリティキー」などは、接続するアクセスポイントの取扱説明書、または説明に従って設定してください。

6 **「正常に～を追加しました」と表示されたら「閉じる」**

✔お知らせ

- 次の場合は、無線LANの機能はオフになります。
  - 省電力機能を使う（スリープまたは休止状態）
  - ケータイモードへの切り替え
  - パケット通信への切り替え
  - Windowsの再起動を行う

  無線LANを再度利用する場合は、ホーム画面で「無線LAN ON／OFF」アイコンをクリックし、無線LANの機能をオンにしてください。

❖無線LANによる通信をご利用になる上でのご注意

無線LANによる通信は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 悪意ある第三者によって電波が故意に傍受され、個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる。
- 悪意ある第三者によって無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、個人情報や機密情報が取り出される。
- コンピューターウイルスなどが流され、データやシステムが破壊される。

  本来無線LANによる通信は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。アクセスポイントなどの製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

  なお、無線LAN通信の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

  お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、電波干渉が発生して通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。このような場合は、Bluetooth機器の電源を切るか、Bluetooth機器をFOMA端末から10m以上離してください。

◆メールソフトの利用

プロバイダから提供される次の情報をメールソフトに設定してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダや通信サービス会社にお問い合わせください。

- 受信（POP）サーバ
- 送信（SMTP）サーバ
- メールアドレス
- メールアカウント名
- メールパスワード

設定方法についてはお使いのメールソフトにより異なります。メールソフトのヘルプをご覧ください。

❖Microsoft® Outlook® 2010

1 **デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Microsoft Office」▶「Microsoft Outlook 2010」**

詳しい使いかたについては、「Microsoft Outlook 2010」のヘルプでご確認ください。

❖Windows Live™ メール

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Windows Live メール」

詳しい使いかたについては、「Windows Live メール」のヘルプでご確認ください。

◆Windows Live™ Messenger

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Windows Live Messenger」

Windows Live Messengerが起動します。この後は画面の指示に従って操作してください。

- 「Windows Live Messenger」のご利用には、Windows Live ID の取得が必要です。
- 「Windows Live Messenger」をアンインストールした場合、再度インストールするには「Windows Live Messenger」のホームページ(http://messenger.live.jp/)よりプログラムをダウンロードする必要があります。

アップデート

日常的に次のアップデートを行ってください。

✔お知らせ

- アップデートには時間がかかる場合があります。必ずアダプタを接続し、充電した状態で操作してください。
- 自動更新の設定を行った場合は更新情報の確認が自動で行われるため、お客様の意図しない間にインターネットへ接続する場合があります。パケット通信による接続を設定している場合は通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

◆Windowsのアップデート

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」

この後は画面上の指示に従って操作してください。

◆アップデートナビ

「アップデートナビ」を実行すると、富士通株式会社が提供する本FOMA端末に関連するドライバーやソフトウェアの最新情報を確認し、更新することができます。

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アップデートナビ」▶「アップデートナビ」

この後は画面上の指示に従って操作してください。

音の設定

1 デスクトップ画面で画面右下の通知領域にある🔊をクリック

2 音量つまみを上下にドラッグ

音量を調節することができます。

- デスクトップの何もないところをクリックすると、音量を調節する画面が消えます。

✔お知らせ

- ケータイモードがマナーモードの場合、Windows 7モードでは音声が出力されません。

省電力機能

◆スリープまたは休止状態にする

1 デスクトップ画面で「スタート」

2 [休止状態]または[休止状態 ▷]の[▷]▶「スリープ」

ケータイモードに切り替わります。

[Windowsキー]を押すとWindows 7モードに切り替わり、省電力状態から復帰します。

◆ 省電力機能をお使いになる上でのご注意

- お使いの状況によっては、スリープや休止、復帰（レジューム）に時間がかかる場合があります。移行中は操作はできません。
- スリープまたは休止状態にした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。必ず、10秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。
- スリープや休止、復帰（レジューム）のときに、画面に一瞬ノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- ネットワーク（インターネットなど）に接続中は、スリープや休止状態にしないことをおすすめします。お使いの環境によっては、ネットワーク（インターネットなど）への接続が正常に行われない場合があります。なお、お買い上げ時の状態では、一定時間Windows 7モードで操作しないとスリープになるように設定されています。
- 次の場合は、スリープや休止状態にしないでください。
  - OSの起動処理中または終了処理中
  - ドライバやプログラムのインストール中
  - 何か処理をしている最中（プリンター出力中など）、および処理完了直後
  - 内蔵フラッシュメモリディスクにアクセス中
  - ゲームソフトなどのサウンドを再生中
  - 動画ファイルなどの動画再生中
  - オートランCD-ROM/DVD-ROM（セットすると自動で始まるCD-ROM/DVD-ROM）を使用中

❖クレードルセット F01をお使いになる上でのご注意

- 接続している周辺機器のドライバーが正しくインストールされていない場合、スリープや休止状態にならないことがあります。
- スリープ中は、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 周辺機器を接続した状態で休止状態にすると、復帰（レジューム）するときに周辺機器の情報が初期化されるため、休止状態にする前の作業状態に戻らないことがあります。
- 次の場合は、スリープや休止状態にしないでください。
  - デジタルテレビに映像を表示しているとき
  - 音楽CDのサウンドを再生中
  - オートランCD-ROMやDVD-ROM（セットすると自動で始まるCD-ROMやDVD-ROM）を使用中

◆ Windows 7モードでの電源管理

お買い上げ時に設定されている省電力設定は次のとおりです。

- ケータイモードに切り替えたときWindows 7モードをスリープするまでの時間：1分
- ケータイモードに切り替えたときWindows 7モードを休止状態にするまでの時間：5分

次の操作で変更できます。

1 **デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」**

2 **「ハードウェアとサウンド」▶「切替時 電源設定」▶変更したい時間を選択▶「設定」**

◆ microSDカード制御ユーティリティ

Windows 7モードには、microSDカードの消費電力を削減するため、microSDカードのオン/オフを切り替える「microSDカード制御ユーティリティ」というソフトウェアが用意されています。デスクトップ画面のタスクバーに表示されるアイコンの状態で確認することができます。

：microSDカードが「オフ」
（Windows 7モードから内蔵のmicroSDカードは使用できません）

：microSDカードが「オン」
（Windows 7モードから内蔵のmicroSDカードが使用できます）

- お買い上げ時には「オフ」に設定されています。
  microSDカードを利用する場合は、このソフトウェアを「オン」にしてください。
- 「オン」にしたあと、次の状態が3分間続く場合は自動的に「オフ」になります。
  - microSDカード内のファイルやフォルダをソフトウェアから参照していない
  - microSDカード内のファイルやフォルダを開いていない

オン／オフは次のよう切り替えます。

1 **デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「microSDカード制御ユーティリティ」▶「設定」▶オン／オフを選択**

✔お知らせ

- 「オフ」にする操作は、次の状態で実施することができます。
  - microSDカード内のファイルやフォルダをソフトウェアから参照していない
  - microSDカード内のファイルやフォルダを開いていない
- タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、タスクバーの▲をクリックすると隠れている分を表示することができます。
- Windows 7のReadyBoostには対応していません。

バックアップ

大切なデータはコピーを保存しておくこと（バックアップ）をお勧めします。

◆日々のバックアップ

大切なデータはmicroSDカードや別のパソコンなどの、本FOMA端末以外の場所に保存しておくことをお勧めします。
なお、クレードルセット F01（別売）を使用すると、外付けハードディスク（市販品）などにデータをバックアップすることができます。

◆マイリカバリ

本FOMA端末に用意されている「マイリカバリ」を使用すると、その時点での内蔵フラッシュメモリディスクの情報をまるごとバックアップして、クレードルセット F01を通しUSB接続した外付けハードディスクに保存することができます。

❖マイリカバリでできること

■内蔵フラッシュメモリディスクのディスクイメージを作成する／復元する

ディスクイメージとは、内蔵フラッシュメモリディスクに格納されたあらゆる情報を1つにまとめた、ファイルのことです。
「マイリカバリ」でディスクイメージを作成し、何か問題が発生したときにディスクイメージを復元すると、Windows 7をディスクイメージ作成時の状態に戻すことができます。
なお、マイリカバリでバックアップされるのはWindows 7モードのデータのみです。ケータイモードのデータはバックアップされません。

❖「マイリカバリ」をお使いになる上でのご注意

- クレードルセット F01と外付けハードディスクが必要です。
- 不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください。不具合が保存された場合は、復元時に不具合も復元してしまいます。
- すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。
- 著作権保護された映像や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。
- マイリカバリでのバックアップには時間がかかります。時間に余裕をもって作業してください（所要時間の目安：約3～7時間（作成するディスクイメージの容量や、保存先媒体の性能によって、所要時間は異なります））。

❖保存先の空き容量について

ディスクイメージの保存先として使用する媒体は、最低でも16Gバイトの容量が必要となります。必要な空き容量はご購入後の使用状況により異なります。

❖ディスクイメージを作成する／復元する

1. **クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の接続端子をクレードル用ACアダプタ F01へ差し込む**
2. **クレードル用ACアダプタ F01の接続端子をクレードルの電源端子に差し込む**
3. **F-07Cの[Windowsキー]を押して、Windows 7モードに切り替える**
4. **F-07Cのクレードル接続端子のキャップを開き、クレードルに差し込む**
5. **クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む**
6. **デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「マイリカバリ」(「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」)**
7. **「マイリカバリとは」ウィンドウで「次へ」**
8. **「マイリカバリ」の画面で「つくる」または「もどす」**

Windowsが再起動します。この後は画面上の指示に従って操作してください。
この後、外付けハードディスクを接続してください。

お買い上げ時の状態に戻す（リカバリ）

◆リカバリの準備

FOMA端末の「リカバリ領域」という場所に、お買い上げ時のWindows 7モードの中身が保存されています。このリカバリ領域からご購入時の状態に復元できます。

✔お知らせ

- リカバリ領域は削除できません。お客様ご自身でリカバリ領域を削除してしまった場合は、リカバリが実行できなくなります。お買い上げ時の状態に戻すためには修理が必要となりますのでご注意ください。

❖バックアップをする

リカバリを行うと、データがすべて削除されます。重要なデータは必ずバックアップをしてください。また、ネットワーク環境やメールの設定などはデータでバックアップすることができないので、メモなどを残しておくことをお勧めします。

❖リカバリを行う上でのご注意

- 時間に余裕をもって作業してください（所要時間の目安：85分以上）。
- タッチパネルでの操作はできません。トラックボールで操作してください。
- 必ずアダプタを接続し、充電した状態で操作してください。
- リカバリ中は[Windowsキー]を押さないでください。
- クレードルセット F01（別売）を使用している場合、外付けハードディスクなどの外部記憶装置はリカバリを行う前に必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- クレードルセット F01（別売）にマウスやキーボード、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどを接続している場合は取り外してください。
- microSDカードは取り出してください。microSDカードをセットしていると、本書に記載されている手順と異なってしまう場合があります。
- ファイルコピー中は他の操作をしないでください。
  むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

◆リカバリを実行する

1 デスクトップ画面で「トラブル解決ナビの起動」▶「再起動」

2 「Application Menu」の「Recovery and Utility」を選択し[決定]

Menuが異なる場合は[Tab]で切り替えてください。

3 「トラブル解決ナビ」の画面で「リカバリ」タブの「Cドライブをご購入時の状態に戻す」を選択▶実行

4 注意事項を下までスクロール▶「同意する」を選択▶「次へ」

5 警告画面で「OK」

復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。「リカバリが正常に完了しました。」と表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。

6 「リカバリが正常に完了しました。」と表示された画面で「OK」

ケータイモードに切り替わり、Windows 7モードが購入時の状態に戻ります。

この後は、ご購入後初めてWindows 7モードを使用したときと同じように、Windows 7のセットアップが必要です。「Windows 7モードのセットアップ」（→P374）をご覧になり、セットアップしてください。

✔お知らせ

- リカバリを実行する際、Windows 7モードが起動できない場合は、画面の右下に「<F12>:Boot Menu」が表示されている間に、[Fn2]を押しながら[F1]を押して「Application Menu」を表示し、手順2からの操作を続けてください。

Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス版を利用する

Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス版をご利用になるには、初回起動時にプロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。
詳しくは付属のCD-ROM内の「お使いになる前に」をご覧ください。

- プロダクトキーは付属のCD-ROMジャケット裏面に貼付されています。絶対に紛失しないように大切に保管してください。
- ライセンス認証を行うには、インターネットに接続する必要があります。電話でのライセンス認証はできません。
- 初回起動時にプロダクトキーの入力をする場合、途中でキャンセルし、再度プロダクトキーの入力をしようとするとFOMA端末が予期せず再起動する場合があります。プロダクトキーの入力を始めたら、使えるようになるまで操作を中断しないでください。
- ライセンス認証ができない場合には、日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
- 2年間のライセンス有効期間が経過後にも通常のOffice機能をご利用になる方法については、日本マイクロソフト株式会社へお問い合わせください。
- お買い上げ時の状態に戻すリカバリを行った後も、プロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。
- ライセンス期間中にFOMA端末を修理した場合は、再度ライセンス認証が必要になることがあります。

ソフトウェアのお問い合わせ先

「サポート対象外のソフトウェア」、「ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」以外のソフトウェアは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問い合わせください。

◆ サポート対象外のソフトウェア

次のソフトウェアは、各ソフトウェア提供会社により無料で提供されている製品のため、ユーザーサポートはありません。
Adobe® Reader® 、Adobe® Flash® Player、Java SE Runtime Environment 6

◆ ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア

お問い合わせ先についてお間違えのないよう、お確かめのうえお問い合わせください。

@niftyでブロードバンド	ニフティ株式会社　@niftyお申し込み受付デスク 電話：0120-50-2210 受付時間：9:00～22:00（年中無休） ※携帯電話・PHS 着信可
i-フィルター® 6.0	デジタルアーツ株式会社　サポートセンター 電話：月～金／03-3580-5678、土・日・祝祭日／0570-00-1334 受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く） URL：http://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/ 90日間の試用期間中、サポートいたします。

Microsoft® Office Personal® 2010 2年間ライセンス版 • Microsoft® Excel® 2010 • Microsoft® Outlook® 2010 • Microsoft® Word2010 • Microsoft® Officeナビ 2010	日本マイクロソフト株式会社 電話：0120-54-2244 セットアップ、インストールに関するお問い合わせ： 受付時間：月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、土・日／10:00～17:00（祝祭日・年末年始・指定休業日を除く） 基本操作に関するお問い合わせ： 受付時間：月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、土／10:00～17:00（日・祝祭日・年末年始・指定休業日を除く） • セットアップ、インストールに関するお問い合わせについては、有効期限はありません。 • 基本操作に関するお問い合わせについては、お客様が始めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間が有効期間です。（サポートライフサイクル期間内） URL：http://support.microsoft.com/
Microsoft® Silverlight™	日本マイクロソフト株式会社 次の手順でお問い合わせください。 1. Silverlight サポートページにアクセスします。 URL：http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=199242 2. ページ右側の「お問い合わせ」の下にある「マイクロソフトへ問い合わせる」をクリックします。 3. 画面の指示に従って、お問い合わせください。
Windows Live™ • Windows Live™ Messenger • Windows Live™ Writer • Windows Live™ フォトギャラリー • Windows Live™ ムービーメーカー • Windows Live™ メール • Windows Live™ Mesh	日本マイクロソフト株式会社 次の手順でお問い合わせください。 1. サポートページにアクセスします。 URL：http://www.windowslivehelp.com/ 2. 「Windows Live Solution Centerへようこそ」の表内から確認する製品を選択します。 3. 疑問点の解決方法を検索し、解決しないときは各ページの「質問する」リンクからお問い合わせください。

学研パーソナル現代国語辞典、 学研パーソナル英和辞典、 学研パーソナル和英辞典、 学研パーソナル版漢字辞典	株式会社学研教育出版　デジタルコンテンツ事業室 電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問い合わせください。
デイリー日中英・中日英辞典、 デイリー日韓英・韓日英辞典、 デイリー日独英・独日英辞典、 デイリー日仏英・仏日英辞典、 デイリー日西英・西日英辞典、 デイリー日伊英・伊日英辞典、 デイリー日独英会話辞典、 デイリー日仏英会話辞典、 デイリー日中英会話時典、 デイリー日韓英会話辞典	株式会社 三省堂　CD-ROM製品 ユーザーサポート係 電話：03-3230-9416（辞書データについてのお問い合わせ先） FAX：03-3230-9580 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・指定休業日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問い合わせください。

ノートン™ インターネットセキュリティ 2011	株式会社シマンテック　シマンテック・テクニカル・サポートセンター • 本センターは技術的なお問い合わせ用の窓口です。 • ご利用期間は更新期間（90日間）となります。（更新サービス延長を申し込みいただくと、引き続き本サポートをご利用いただけます。詳しくは、製品別サポートページ （URL：http://www.symss.jp）をご覧ください。） • バンドル版を使用のお客様から寄せられるよくある問い合わせに対する解決策を下記のページにて確認することができます。また、解決策が見つからない場合、バンドル版の問い合わせ窓口へお問い合わせいただくことも可能です。 URL：http://www.symss.jp/jpo-fujitsu-reg/ 電話：03-5642-2686 受付時間：月～金／10:00～19:00、土・日・祝祭日／10:00～16:00 • 更新サービス延長のお申し込みは、サポートセンターとは異なるお問い合わせ先になります。 シマンテック・ストア　URL：http://www.symantecstore.jp/users.asp 電話：0570-005557（ナビダイヤル） 営業時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）
明鏡国語辞典MX、 新漢語林MX、 ジーニアス英和辞典MX、 ジーニアス和英辞典MX	株式会社大修館書店　電子出版開発室 電話：03-3294-2352（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～16:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問い合わせください。

パソコン接続

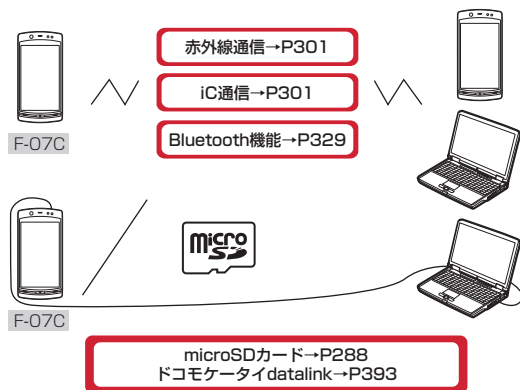
データ通信の詳細については、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、ドコモのホームページからソフトをダウンロードし、インストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信はできません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

◆ データ転送

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

✔**お知らせ**

- Windows 7の起動中／スリープ中は、接続したパソコンとデータの送受信ができません。

◆ パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の大きい通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。

※ 受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

◆ 64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の大きい送受信を行う場合に適しています。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。

長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆ 動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） ディスプレイ解像度1,024×600ドット以上、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆ 必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- 付属のUSBケーブル F01
- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）※
※ ドコモのホームページからダウンロードしてください。

✔お知らせ

- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること
※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送を行うには

USBケーブル F01をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイルをダウンロードし、インストールする

▼

データ転送

データ通信を行うには

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

ドコモ コネクションマネージャの紹介

「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。お客さまのご契約状況に応じた、パソコン設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

- 「定額データプラン以外のパケット定額サービス（パケ・ホーダイ ダブルなど）」をご利用の場合、プリインストールされている「ドコモ コネクションマネージャ」の接続画面では、接続先に「＊＊＊（従量）」（＊＊＊は設定されたプロバイダ名）と表示されますが、通信料はご契約内容に従い「パソコンなどの外部機器を接続した通信」の上限額が適用されます。

ドコモケータイdatalink

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、付属のUSBケーブルF01が必要となります。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。
- 赤文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。

■メール

メニュー	お買い上げ時	参照
11受信メール	―	140
12新規メール	―	126
13新規デコメアニメ	―	130
14未送信メール	―	140
15送信メール	―	140
16ｉモード問い合わせ	―	137
17SMS／エリアメール設定		
171SMS		
1711SMS作成	―	158
1712ドコモUIMカード（FOMAカード）受信SMS	―	160
1713ドコモUIMカード（FOMAカード）送信SMS	―	160
1714SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMS Center：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：International	160
1715SMS問い合わせ	―	159
172エリアメール設定		
1721受信設定	利用する	157
1722ブザー鳴動時間	ブザー鳴動時間（1～30秒）：10	157
1723マナー／公共モード時設定	マナー／公共モード時でも鳴動する	157
1724着信音確認	［緊急地震速報、災害・避難情報］―	157
1725その他		
17251受信登録	―	157
18メール選択受信	―	137
19メール設定		
191着信設定		
1911メール着信設定	着信音選択：メロディ／Commune 着信イルミネーション設定：点滅／カラー 8 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	82
1912メッセージR着信設定	着信音選択：メロディ／Commune 着信イルミネーション設定：点滅／カラー 8 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	82
1913メッセージF着信設定	着信音選択：メロディ／Commune 着信イルミネーション設定：点滅／カラー 8 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	82
192メール振り分け設定	［自動振り分け設定］ 受信時振り分け設定、送信時振り分け設定：ON ［受信振り分け条件、送信振り分け条件］―	147
193署名設定	［自動挿入］する ［署名編集］―	149
194メール返信設定		
1941メール返信引用設定	引用：しない 引用文字：〉	150
1942クイック返信設定	ON	150
1943クイック返信本文登録	了解です 後で連絡します ごめんなさいm(_ _)m ありがとう(^-^) OK	151
195メール自動返信設定		
1951自動返信ON／OFF設定	OFF	151
1952自動返信契機設定	メール受信時	151

メニュー	お買い上げ時	参照
1953自動返信本文登録	ただ今手が離せませんので、後で連絡いたします。 移動中のため、後で連絡します。 もう寝ていますので、明日連絡します。おやすみなさい。	151
1954自動返信先設定	—	151
196メールグループ	—	150
197ブログ／SNS投稿先設定	—	150
198受信・表示設定		
1981受信・自動送信表示設定	通知優先	153
1982メール選択受信設定	OFF	149
1983メール受信添付ファイル設定	すべて選択	152
1984添付ファイル自動再生設定	自動再生する	152
1985メール一覧表示設定	表示スタイル：2行表示 本文お試し表示：する 自動既読設定：ON	152
1986メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	155
1987アドレス・迷惑メール設定	—	153
199編集時自動保存設定	ON	153
190ｉモード問い合わせ設定	すべて選択	149
1*テンプレート		
1*1デコメール	—	131
1*2デコメアニメ	—	131

■ｉモード

メニュー	お買い上げ時	参照
21ｉMenu 検索	—	164
22Bookmark	—	171
23画面メモ	—	172
24ラストURL	—	170
25URL入力	［URL入力］http:// ブラウザ種別：ｉモードブラウザ ［URL入力履歴］—	170
26ｉチャネル	［ｉチャネル一覧］— ［ｉチャネル設定］ テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1 ［ｉチャネル初期化］—	186 187
27ｉモード設定	お買い上げ時→P408	176
28ツータッチサイト	—	172
29RSSリーダー	—	173
2*フルブラウザホーム	—	166
20検索サービス	Google検索、Googleニュース検索、Google画像検索	309

■ｉアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照
31ソフト一覧	—	227
32ｉアプリコール履歴	—	242
33ｉアプリ設定		
331ソフトの並べ替え	使用日時順	244
332自動起動設定	自動起動する	240
333ソフト情報表示設定	表示しない	227
334照明点灯時間設定	端末設定に従う	230
335明るさ調整	端末設定に従う	230
336バイブレータ設定	使用する	230
337ｉアプリ音量	Level 4	230
338ｉウィジェット設定		
3381ｉウィジェット効果音設定	ON	247
3382ｉウィジェットローミング設定	いいえ	247
339ｉアプリコールダウンロード設定	拒否しない	242
330オートGPS優先設定	OFF	242
34履歴表示	［自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴］—	229 241 244
35ツータッチｉアプリ表示	—	240

■電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照
41電話帳検索	全件表示（50音）	74
42電話帳登録	―	72
43電話帳グループ追加	―	77
44UIMカード（FOMAカード）操作	―	73
45着信履歴	―	54
46リダイヤル	―	54
47伝言メモ／音声メモ		
471伝言メモ設定	OFF	65
472伝言メモ一覧	―	66
473音声メモ録音	―	322
474音声メモ一覧	―	66
48メール送受信履歴		
481メール送信履歴	―	146
482メール受信履歴	―	146
49プロフィール情報	―	48 320

■データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照
51マイピクチャ	―	276
52ミュージック	―	218
53Music&Videoチャネル	―	213
54ｉモーション／ムービー	―	281
55メロディ	―	287
56マイドキュメント	―	305
57きせかえツール	―	94
58マチキャラ	―	286
59キャラ電	―	287

■LifeKit

メニュー	お買い上げ時	参照
61バーコードリーダー	―	206
62赤外線・iC・PC連携		
621赤外線受信	［受信、全件受信］―	303
622赤外線全件送信	―	303
623iC全件送信	―	303
624データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	305
625USBモード設定※1	通信モード	295
63microSD	―	292
64カメラ		
641静止画撮影	―	193
642動画撮影	―	195
65サウンドレコーダー	―	196
66ケータイデータお預かりサービス		
661データ確認／更新方法等	―	119
662通信履歴表示	―	121
663電話帳内画像送信設定	電話帳内画像送信：なし	119
664電話帳等のお預かり／更新	―	121
665設定のお預かり／更新	―	121
666画像のお預かり	―	121
67地図・GPS		
671地図	―	261
672イマドコサーチ	―	271
673イマドコかんたんサーチ	―	271
674ｉエリア一周辺情報一	―	271
675地図・GPSアプリ	―	263
676現在地確認	―	261
677位置履歴	―	268
678現在地通知	―	266
679地図・GPS設定		
6791地図設定		
67911地図選択	地図アプリ	269
67912地図起動時動作設定	測位する	270
6792現在地確認設定		
67921現在地確認後動作設定	地図を見る	263
67922測位モード設定	標準モード	270

メニュー	お買い上げ時	参照
67923測位動作設定	鳴動音選択、バイブレータ設定、イルミネーション設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	270
6793現在地通知設定		
67931現在地通知先一覧	－	266
67932測位モード設定	標準モード	270
67933測位動作設定	鳴動音選択：メロディ／DoorChime バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／カラー 13	270
6794位置提供設定		
67941位置提供可否設定	位置提供OFF	265
67942測位モード設定	標準モード	270
67943サービス利用設定	－	266
67944サービス利用／接続設定	接続先：ドコモ	266
67945測位動作設定		
679451位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／MorningLight バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：20 イルミネーション設定：点灯／カラー 10	270
679452位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／MorningLight バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：20 イルミネーション設定：点灯／カラー 10	270
670オートGPS		
6701ドコモ提供サービス設定	利用しない	268
6702オートGPS動作設定	ON	268
6703設定サービス一覧	－	268
6704オートGPS履歴	－	268
6705低電力時動作設定	停止する	268
68ウォーキング／Exカウンター		
681歩数／活動量／カロリー情報	－	328
682ウォーキング／Exカウンター設定	利用する 身長（100～220cm）：160cm 体重（30～120kg）：50kg	327
69Bluetooth		
691Bluetoothオン／オフ	－	332
692登録機器リスト	－	331

メニュー	お買い上げ時	参照
693新規機器登録	－	331
694接続待機	－	332
695Bluetooth設定		
6951サーチ時間	サーチ時間（秒）：5	333
6952自局情報	機器名称：F07C 機器種別：携帯電話 Bluetoothアドレス：端末により異なる 対応プロファイル： HFP,HSP,A2DP,AVRCP	333
6953着信音送出設定	送る	333
6954MUSIC Player自動起動	自動起動／終了ON	333
696接続機器表示	－	333
6*使いかたガイド	－	38

■アクセサリー

メニュー	お買い上げ時	参照
71スケジュール帳	－	312
72テキストメモ	－	324
73目覚まし	－	310
74電卓	－	324
75辞典		
751国語辞典（学研モバイル国語辞典）	－	326
752和英辞典（学研モバイル和英辞典）	－	326
753英和辞典（学研モバイル英和辞典）	－	326
754今日は何の日	－	326
755今日の歴史	－	326
76お知らせタイマー	03分	310
77ワンタッチアラーム設定	ワンタッチアラーム設定：OFF	311
78イミテーションコール		
781イミテーションコール開始	－	322
782イミテーションコール設定	鳴動開始時間：すぐに鳴らす 着信音：メロディ／Calling 着信音量：レベル4	322
79簡易ライト	－	320

■設定／NWサービス※2

メニュー	お買い上げ時	参照
81音／バイブ		
811音設定		
8111電話着信音		
81111電話着信音	電話：メロディ／Calling	83
81112テレビ電話着信音	テレビ電話：メロディ／Bossa nova	83
81113発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	117
8112メール・メッセージ着信音		
81121メール着信音	メール：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
81122メッセージR着信音	メッセージR：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
81123メッセージF着信音	メッセージF：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	83
8113ｉコンシェル着信音	ｉコンシェル：メロディ／Cloud 鳴動時間（秒）：10	83
8114GPS測位鳴動音		
81141現在地確認	鳴動音選択：OFF	85
81142現在地通知	鳴動音選択：メロディ／DoorChime	85
81143位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／MorningLight	85
81144位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／MorningLight	85
8115アラーム音		
81151目覚まし音	目覚まし音：メロディ／Wake Up	85
81152スケジュール音	アラーム：メロディ／時間になりました	85
8116操作確認音		
81161キー／タッチ確認音	キー／タッチ音1	85
81162スライド操作音	スライド音1	85
81163静止画撮影シャッター音	標準	85
81164動画撮影シャッター音	標準	85
8117充電確認音	ON	86
8118通話保留・警告音		
81181応答保留ガイダンス設定	保留音：内蔵音	63
81182通話保留音	ENTERTAINER	86
81183通話品質アラーム音	アラームOFF	86
81184再接続アラーム音	アラームOFF	86

メニュー	お買い上げ時	参照
81185電池アラーム音	ON	86
8119メロディコール設定	―	85
812音量設定		
8121電話着信・受話音量		
81211電話着信音量	Level 4	84
81212受話音量	Level 4	84
8122メール・メッセージ着信音量	Level 4	84
8123GPS測位鳴動音量	Level 4	84
8124ｉコンシェル着信音量	Level 4	84
8125アラーム音量		
81251目覚まし音量	Level 4	84
81252スケジュール音量	Level 4	84
8126ｉアプリ音量	Level 4	84
8127トルカ取得音量	Level 4	84
8128操作確認音量	Level 4	84
8129メロディ音量	Level 4	84
813バイブレータ設定		
8131電話着信時		
81311電話着信時	OFF	84
81312テレビ電話着信時	OFF	84
8132メール・メッセージ着信時		
81321メール着信時	OFF	84
81322メッセージR着信時	OFF	84
81323メッセージF着信時	OFF	84
8133GPS測位時		
81331現在地確認時	OFF	84
81332現在地通知時	パターンB	84
81333位置提供／許可時	パターンC	84
81334位置提供／毎回確認時	パターンC	84
8134ｉコンシェル着信時	OFF	84
8135アラーム鳴動時		
81351目覚まし鳴動時	OFF	84
81352スケジュール鳴動時	OFF	84
8136ｉアプリ利用時	ON	84

メニュー	お買い上げ時	参照
814マナーモード選択	通常マナーモード	87
815呼出動作開始時間設定	着信呼出動作：OFF	117
816音楽再生音優先設定	ON	223
82ディスプレイ		
821待受画面設定		
8211待受画面選択	［縦画面設定、横画面設定］ きせかえツールに従う	88
8212時計表示設定	デザイン：ON／デジタル2 形式：12時間表示 表示位置：上 曜日：英語	98
8213電池アイコン設定	きせかえツールに従う	97
8214アンテナアイコン設定	きせかえツールに従う	97
8215カレンダー／待受カスタマイズ	－	89
8216ｉチャネル設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	187
8217待受ショートカット	ウォーキング／Exカウンター設定、ｉコンシェル、ecoモードON／OFF、カレンダー／待受カスタマイズ、使いかたガイド、メール自動返信設定、照明／キーバックライト設定、クレードルセットF01（別売）のご紹介、Windows 7の使い方	317
8218インフォメーション表示設定	表示する	188
822メニュー設定		
8221表示メニュー設定	きせかえメニュー	93
8222セレクトメニュー登録	現在地確認、2in1モード切替、電卓、赤外線受信、ecoモードON／OFF、バーコードリーダー、プライバシーモード起動設定、自動返信ON／OFF設定	319
8223リセット		
82231メニュー操作履歴リセット	－	96
82232メニュー設定オールリセット	－	96
823各種画面設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
8231スクリーン設定	ネイビーブラック	93
8232電話発着信画像設定		
82321電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
82322電話着信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
82323テレビ電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
82324テレビ電話着信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
82325発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	117
8233メール送受信画像設定		
82331メール送信画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
82332メール受信画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
82333メール着信結果画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
82334問い合わせ画像設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	92
8234テレビ電話画像選択	［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	68
8235着信表示設定		
82351電話／メール着信時設定	電話着信時表示：名前＋電話番号 メール着信時テロップ表示：名前＋題名	112
82352不在着信お知らせ	ON	97
8236人物画像表示設定	ON	92
824照明／キーバックライト設定		
8241照明点灯時間設定	［通常時］10秒 ［ACアダプタ接続時、ｉモード中、ｉアプリ］端末設定に従う ［静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション／ムービー］ 常時点灯	92
8242画面オフ時間設定	30秒	92
8243明るさ調整	［通常設定］自動調整 ［ｉモード、ｉアプリ］端末設定に従う	93
8244キーバックライト設定	キーバックライト、着信イルミネーションパターン：ON	93
8245スライドクローズ時設定	スライドクローズ時設定：画面オフしない	112
825イルミネーション設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
8251着信イルミネーション	すべてのイルミネーションパターン：点滅 電話、テレビ電話着信のイルミネーションカラー：カラー６ メール、メッセージR/F、ｉコンシェル着信のイルミネーションカラー：カラー８ トルカ取得イルミネーション：ON	97
8252通話中イルミネーション	通話中イルミネーション：OFF イルミネーションカラー：マルチカラー35	97
8253GPS測位イルミネーション	現在地確認イルミネーションパターン：OFF 現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認イルミネーションパターン：点灯 現在地確認イルミネーションカラー：カラー７ 現在地通知イルミネーションカラー：カラー13 位置提供／許可、位置提供／毎回確認イルミネーションカラー：カラー10	97
8254ICカードアクセスイルミネーション	ICカードイルミネーション：ON イルミネーションカラー：カラー５	97
8255スライドイルミネーション	スライドイルミネーション：ON イルミネーションカラー：カラー８	97
826文字表示設定		
8261文字サイズ設定	すべて中（標準）	98
8262フォント選択	漢字／英数字：丸ゴシック ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ	98
8263Select language	日本語	99
827マチキャラ設定	表示設定：ON／ひつじのしつじくん（執事コース）	94
828ecoモード設定		
8281ecoモードON／OFF	OFF	93
8282ecoモード動作設定	標準省電力	93
829リスト幅設定	ベーシックスタイル：拡大 スライドスタイル：標準	98
83きせかえ／ライフスタイル		
831きせかえツール	NavyBlack	94
832トータルカスタマイズ	―	96
833ライフスタイル設定	―	88
84セキュリティ／ロック		
841ロック		

メニュー	お買い上げ時	参照
8411誤操作防止ロック	スライドクローズ時設定：画面オフしない	112
8412画面オフロック	画面オフロック：OFF	113
8413オールロック	―	104
8414パーソナルデータロック	OFF	107
8415ICカードロック		
84151ICカードロック	OFF	252
84152ICカードロック時動作設定	ICカード機能停止	252
84153ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	252
84154ICカードロック解除予約	―	253
84155電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	253
8416ダイヤル発信制限	OFF	108
842プライバシーモード		
8421電話／メールの設定	電話・履歴：指定電話帳非表示 メール・履歴：指定フォルダを非表示 シークレット属性電話着信動作：未登録番号として扱う シークレット属性メール着信動作：表示・通知しない プライバシー新着通知：OFF	109
8422その他の表示設定	マイピクチャ、ｉモーション：指定アルバムを非表示 マイドキュメント、Bookmark：指定フォルダを非表示 スケジュール：指定スケジュール非表示 テキストメモ、ｉアプリ、位置履歴（GPS）、画面メモ：表示する	110
8423プライバシーモード起動設定	起動／解除操作：なし 自動起動：OFF	110
8424シークレット反映	―	112
843親子モード	［親子モード設定］OFF ［ワンタッチアラーム設定］ ワンタッチアラーム設定：OFF	114
844電話／メール着信時設定	電話着信時表示：名前＋電話番号 メール着信時テロップ表示：名前＋題名	112
845UIMカード（FOMAカード）設定	［PIN1コード変更、PIN2コード変更、PIN1コードON／OFF］―	103

メニュー	お買い上げ時	参照
846端末暗証番号変更	［暗証番号］0000 ［パスワード］1111	103 116
847スキャン機能		
8471パターンデータ更新	―	434
8472自動更新設定	―	434
8473スキャン機能設定	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	434
8474バージョン表示	―	435
848パスワードマネージャー	―	343
849microSDパスワード設定		
8491パスワード登録	―	295
8492パスワード変更	―	295
8493パスワード削除	―	295
8494microSD強制初期化	―	295
85発着信・通話機能		
851電話発着信設定		
8511電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
8512電話着信設定	着信音：メロディ／Calling イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／カラー6	82
8513発着信番号表示設定	識別表示：OFF	91
852発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	117
853エニーキーアンサー設定	ON	63
854イヤホン機能設定		
8541イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	329
8542オート着信設定	自動着信機能：オート着信なし	329
8543イヤホンスイッチ発信設定	イヤホンスイッチ発信設定：OFF	328
855メモリ着信拒否／許可		
8551メモリ別着信拒否／許可	拒否設定	116
8552メモリ登録外着信拒否	OFF	118
856発着信詳細設定		
8561マルチアクセス中表示	設定なし	63
8562プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010	58
8563サブアドレス設定	ON	59
857通話詳細設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
8571ノイズキャンセラ設定	ON	59
858セルフモード設定	OFF	106
86テレビ電話		
861テレビ電話発信設定	イメージ表示：きせかえツールに従う	91
862テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／Bossa nova イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／カラー6	82
863テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 明るさ調整：自動調整 ハンズフリー設定：ON	69
864パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	69
865テレビ電話画像選択	［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	68
866テレビ電話使用機器設定	本体	70
867テレビ電話切替機能通知		
8671切替機能通知開始	―	68
8672切替機能通知停止	―	68
8673切替機能通知設定確認	―	68
87スライド／時計／入力／他		
871スライド編集設定	受信メール、送信メール、未送信メール、スケジュール、テキストメモ：ON	320
872時計		
8721日付時刻設定※3	自動時刻・時差補正：ON オフセット時間：＋／00時間00分	47
8722自動電源ON設定	自動電源ON：OFF	310
8723自動電源OFF設定	自動電源OFF：OFF	310
8724時計表示設定	デザイン：ON／デジタル2 形式：12時間表示 表示位置：上 曜日：英語	98
8725アラーム自動電源ON設定	OFF	311

メニュー	お買い上げ時	参照
8726ライフスタイル設定	―	88
8727デュアル時計設定	ON	366
873文字入力設定		
8731単語登録	―	343
8732ダウンロード辞書	―	344
8733変換学習リセット	―	339
8734定型文	―	341
8735入力設定	入力予測、手書き自動訂正：ON 手書き自動確定：普通	344
874ソフトウェア更新※4	［更新実行］ ― ［自動更新設定］ 自動更新設定：自動で更新 曜日：指定なし 時刻：03時00分	430
875情報表示／リセット		
8751通話料金・時間機能		
87511通話時間	―	323
87512通話料金		
875121通話料金表示	―	323
875122通話料金上限通知	通話料金上限通知：OFF	324
875123上限通知アイコン消去	―	324
875124通話料金自動リセット設定	OFF	323
8752メモリ確認	―	301
8753電池残量	―	45
8754各種設定リセット	―	122
8755データ一括削除	―	122
8756初期設定	［日付時刻設定］ 自動時刻・時差補正：ON ［端末暗証番号設定］ 0000 ［キー／タッチ確認音設定］ キー／タッチ音1 ［文字サイズ設定］ 中（標準） ［位置提供可否設定］ 位置提供OFF	47
876マルチタスクキー長押し設定	マルチタスクキー長押し：マナーモード設定／解除	320

メニュー	お買い上げ時	参照
877モーションセンサー設定	モーションセンサー：ON オートローテーション：設定項目のみ有効 ｉモード／PDFビューア、マイピクチャ、Music&Videoチャネル、ｉモーション／ムービー：ON	38
878フェムトセル設定	［フェムトセル利用設定］ フェムトセル利用設定：OFF	334
879端末リフレッシュ設定	［リフレッシュ実行］ ― ［自動実施設定］ 自動実施：ON 実施時刻：端末により異なる 繰り返し：端末により異なる	334
88NWサービス		
881留守番電話		
8811留守番電話サービス		
88111留守番電話サービス開始	―	350
88112留守番呼出時間設定	―	350
88113留守番サービス停止	―	350
88114留守番設定確認	―	350
88115留守番メッセージ再生	―	350
88116留守番サービス設定	―	350
88117留守番テレビ電話設定	―	350
88118メッセージ問い合わせ	―	350
8812件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：Calling	350
8813着信通知		
88131着信通知開始	―	350
88132着信通知停止	―	350
88133着信通知開始設定確認	―	350
8814表示消去	―	350
882キャッチホン／転送でんわ		
8821キャッチホン		
88211キャッチホンサービス開始	―	351
88212キャッチホンサービス停止	―	351
88213キャッチホンサービス設定確認	―	351

メニュー	お買い上げ時	参照
8822転送でんわ		
88221転送サービス開始	—	351
88222転送サービス停止	—	351
88223転送先変更	—	351
88224転送先通話中時設定	—	351
88225転送サービス設定確認	—	351
883番号通知		
8831発信者番号通知		
88311発信者番号通知設定	—	48
88312発信者番号通知確認	—	48
8832番号通知お願いサービス		
88321番号通知お願い開始	—	352
88322番号通知お願い停止	—	352
88323番号通知お願い確認	—	352
884OFFICEED		
8841エリア表示設定	OFF	359
8842圏外転送開始	—	359
8843圏外転送停止	—	359
8844圏外転送設定確認	—	359
8852in1設定		
88512in1モード切替	デュアルモード	358
8852電話帳2in1設定	—	358
8853モード別待受画面設定		
88531デュアルモード	［縦画面設定］Landscape1 ［横画面設定］Landscape2	358
88532Aモード	［縦画面設定、横画面設定］ きせかえツールに従う	358
88533Bモード	［縦画面設定］Nature1 ［横画面設定］Nature2	358
8854番号別発着信設定		
88541着信設定		

メニュー	お買い上げ時	参照
885411Aナンバー	［電話着信音］ 電話：メロディ／Calling ［テレビ電話着信音］ テレビ電話：メロディ／Bossa nova ［メール着信音］ メール：メロディ／Commune 鳴動時間（秒）：10	358
885412Bナンバー	［電話着信音］ 電話：メロディ／AntiqueCalling ［テレビ電話着信音］ テレビ電話：メロディ／SavannaWind ［メール着信音］ メール：メロディ／Wood 鳴動時間（秒）：10	358
88542発着信番号表示設定	Aナンバー識別表示：OFF Bナンバー識別表示：ON 識別記号：《》	358
88552in1機能OFF	—	359
8856着信回避設定		
88561着信回避設定変更	—	359
88562着信回避設定確認	—	359
88563モード切替連動設定	—	359
88564着信回避設定（海外）	—	359
886メロディコール設定	—	85
887その他のNWサービス		
8871追加サービス		
88711USSD登録	—	360
88712応答メッセージ登録	—	360
8872遠隔操作設定		
88721遠隔操作開始	—	354
88722遠隔操作停止	—	354
88723遠隔操作設定確認	—	354
8873迷惑電話ストップ		
88731迷惑電話着信拒否登録	—	352
88732電話番号指定拒否登録	—	352
88733迷惑電話全登録削除	—	352
88734迷惑電話1登録削除	—	352
88735拒否登録件数確認	—	352

メニュー	お買い上げ時	参照
8874英語ガイダンス		
88741ガイダンス設定	—	353
88742ガイダンス設定確認	—	353
8875デュアルネットワーク		
88751デュアルネットワーク切替	—	352
88752デュアルネットワーク状態確認	—	352
8876ドコモへのお問い合わせ		
88761ドコモ故障問合せ	—	353
88762ドコモ総合案内・受付	—	353
88763海外紛失・盗難等	—	353
88764海外故障	—	353
8877マルチナンバー		
88771通常発信番号設定	—	354
88772通常発信番号設定確認	—	354
88773電話番号設定	基本契約番号　名称：基本契約番号 電話番号：— 付加番号1　名称：付加番号1 付加番号2　名称：付加番号2 付加番号1、2　電話番号：未登録 マルチナンバー発信：無効	354
88774着信設定	［付加番号1、付加番号2］ 個別設定：OFF	354
8878通話中着信設定		
88781通話中着信設定開始	—	353
88782通話中着信設定停止	—	353
88783通話中着信設定確認	—	353
8879通話中の着信動作選択	通常着信	353
888海外ネットワークサーチ		
88813G/GSM切替	自動	366
8882ネットワークサーチ設定	オート	365
8883優先ネットワーク設定	—	365
8884オペレータ名表示設定	表示あり	366
889海外設定		
8891ｉモード・メール設定	—	367
8892メール選択受信設定	OFF	367

メニュー	お買い上げ時	参照
8893ローミング時着信規制		
88931ローミング時着信規制開始	—	367
88932ローミング時着信規制停止	—	367
88933ローミング時着信規制確認	—	367
8894ローミング着信通知設定		
88941ローミング着信通知開始	—	367
88942ローミング着信通知停止	—	367
88943ローミング着信通知設定確認	—	367
88944ローミング着信通知設定(海外)	—	367
8895国際ダイヤルアシスト設定		
88951自動変換機能設定	国番号変換：ON（国番号：81、国名称：日本） 国際プレフィックス変換：ON（名称：WORLD CALL、国際アクセス番号：009130010）	57
88952国番号設定	—	58
88953国際プレフィックス設定	—	58
8896ローミングガイダンス設定		
88961ローミングガイダンス開始	—	367
88962ローミングガイダンス停止	—	367
88963ローミングガイダンス設定確認	—	367
8897在圏状態表示	—	366
880海外用サービス		
8801留守番電話（海外）		
88011留守番サービス開始	—	368
88012留守番サービス停止	—	368
88013留守番メッセージ再生	—	368
88014留守番サービス設定	—	368
88015留守番呼出時間設定	—	368
8802転送でんわ（海外）		

メニュー	お買い上げ時	参照
88021転送サービス開始	—	368
88022転送サービス停止	—	368
88023転送サービス設定	—	368
8803遠隔操作設定（海外）	—	368
8804番号通知お願い（海外）	—	368
8805ローミングガイダンス（海外）	—	368

■MUSIC

メニュー	お買い上げ時	参照
91ミュージックプレーヤー	—	218
92Music&Videoチャネル	—	210 211

■おサイフケータイ

メニュー	お買い上げ時	参照
*1ICカード一覧	—	250
*2DCMX	—	250
*3トルカ	—	254
*4ICカードロック設定		
*41ICカードロック	OFF	252
*42ICカードロック時動作設定	ICカード機能停止	252
*43ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	252
*44ICカードロック解除予約	—	253
*45電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	253
*5トルカ設定		
*51トルカ取得確認設定	イルミネーション設定：ON トルカ取得音量：レベル4	256
*52ICカードからトルカ取得	トルカ取得設定、重複チェック設定、自動表示設定：ON 自動振り分け設定：OFF	256
*53自動読取機能設定	ON	257
*54トルカ振り分け設定	—	257
*6ICオーナー確認	—	252
*7ICオーナー変更	—	252
*8ｉモードで探す	—	251

■プロフィール

メニュー	お買い上げ時	参照
0プロフィール	—	48 320

■ｉコンシェル

メニュー	お買い上げ時	参照
#ｉコンシェル	—	188

※1 USBケーブル F01接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

※2 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

※3 各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイム含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。

※4 各種設定リセットを行うと、自動更新設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

ｉモード設定の一覧

メニュー		お買い上げ時
ｉモードブラウザ設定	画像表示設定	表示する
	サウンド設定	ON
	動画自動再生設定	自動再生する
	ページ内動画取得設定	毎回確認
	Script動作設定	有効
	端末情報利用設定	利用する
	文字サイズ設定	中（標準）
	Cookie設定	有効
	Cookie削除	―
	Referer設定	有効
	タブ自動起動設定	自動起動する
	ポインター表示設定	表示しない
フルブラウザ設定	画像表示設定	表示する
	サウンド設定	ON
	表示モード設定	PCレイアウトモード
	ページ内動画取得設定	毎回確認
	Script動作設定	有効
	端末情報利用設定	利用する
	文字サイズ設定	中（標準）
	Cookie設定	有効
	Cookie削除	―
	Referer設定	有効
	タブ自動起動設定	自動起動する
	ポインター表示設定	表示する
	フルブラウザホーム設定	http://www.google.co.jp
	フルブラウザ利用設定	利用しない
	フルブラウザ確認表示	毎回表示
	画面倍率指定	100%

メニュー			お買い上げ時
	ショートカット		1ズームアウト、2上ページスクロール、3ズームイン、4左ページスクロール、5PagePilot、6右ページスクロール、7新タブで開く、8下ページスクロール、9Bookmark一覧、0ページ内検索、*左タブに切替、#右タブに切替
	自動通信サイズ設定		毎回確認
共通設定	証明書設定※		すべて有効
	各社発行証明書		―
	セキュア通信サービス設定	ユーザ証明書操作	―
		センター接続先設定	接続先：ドコモ
		暗証番号入力省略設定	省略する
	接続先設定		ｉモード
	ｉモードボタン設定		ｉMenu・検索接続
	スクロール設定		1行
	PagePilot表示設定		移動中に表示する
	ポインター移動距離設定		普通
	ポインター加速度設定		普通
	Bookmark表示設定		サムネイル
	照明点灯時間設定		端末設定に従う
	明るさ調整		端末設定に従う
	ガイド表示設定		ガイド表示あり
ｉモード設定確認			―
ｉモード設定リセット			―

※ 各種設定リセットを行うと、ドコモUIMカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

きせかえツールの「Simple Menu」を設定した場合

1電話	1電話帳検索	5 i アプリ	1ソフト一覧
	2電話帳登録		2待受画面選択
	3リダイヤル		3 i アプリ設定
	4着信履歴	6データBOX	1マイピクチャ
	5伝言メモ設定		2ミュージック
	6伝言メモ一覧		3 i モーション／ムービー
	7プロフィール情報		4メロディ
2メール	1受信メール		5マイドキュメント
	2送信メール		6キャラ電
	3未送信メール	7設定／アクセサリー	1音／バイブ
	4新規メール		2ディスプレイ
	5 i モード問い合わせ		3目覚まし
3カメラ	1カメラ		4電卓
	2マイピクチャ		5赤外線受信
	3待受画面選択		6情報表示／リセット
4 i モード	1 i Menu 検索		7留守番電話
	2Bookmark	0プロフィール情報	
	3ラストURL		
	4画面メモ		
	5 i チャネル		

メロディ一覧

◆ 着信音用メロディ

メロディ一覧（[ ] 内は作曲者名）	
Calling	AntiqueCalling
GlobalCalling	でか着信音
Commune	Wood
Cloud	DoorChime
Beltsign	TwinkleBell
MorningLight	Lamp Shade
マリンバ	SavannaWind
Bossa nova	Healing Night
水上の音楽［George Frideric Handel］	水族館［Charles Camille Saint Saens］
A Foggy Day［George Gershwin］	ColorfulDishes
La Valse De Paris	Wake Up
もうすぐ予定の時間です	時間になりました
無音	

◆ メール添付用メロディ

メロディ一覧（[ ] 内は作曲者名）	
誕生日	祝婚歌［Wilhelm Richard Wagner］
ジングルベル［James Pierpont］	さくら［日本民謡］
おもちゃの兵隊のマーチ［Leon Jessel］	登場
トッカータとフーガ［Johann Sebastian Bach］	

QWERTYキーのローマ字入力表

行										
あ行	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	A	I YI	U WU WHU	E	O	LA XA	LI XI LYI XYI	LU XU	LE XE LYE XYE	LO XO
									いぇ	
									YE	
						うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
						WHA	WHI WI		WHE WE	WHO
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
	ヵ			ヶ		くゃ		くゅ		くょ
	LKA XKA			LKE XKE		QYA		QYU		QYO
						くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
						QWA QA KWA	QWI QI QYI	QWU	QWE QE QYE	QWO QO
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GA	GI	GU	GE	GO	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
						ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
						GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SA	SI CI SHI	SU	SE CE	SO	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
						すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
						SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
			っ			つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
			LTU XTU LTSU			TSA	TSI		TSE	TSO
						てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
						THA	THI	THU	THE	THO
						とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
						TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DA	DI	DU	DE	DO	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
						でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
						DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
						どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
						DWA	DWI	DWU	DWE	DWO
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NA	NI	NU	NE	NO	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HA	HI	HU FU	HE	HO	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
						ふゃ		ふゅ		ふょ
						FYA		FYU		FYO
						ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
						FWA FA	FWI FI FYI	FWU	FWE FE FYE	FWO FO
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BA	BI	BU	BE	BO	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
						ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
						VA	VI	VU	VE	VO
						ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ
						VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PA	PI	PU	PE	PO	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ま行	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MA	MI	MU	ME	MO	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
や行	や		ゆ		よ	ゃ		ゅ		ょ
	YA		YU		YO	LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RA	RI	RU	RE	RO	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
わ行	わ				を	ん				
	WA				WO	N NN N' XN				
	ゎ									
	LWA XWA									

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

絵文字	読　み
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	かお、かなしい、こまった、ごめん、がく
	かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ
	かお、だめ、ふら
	どうぶつ、いぬ
	どうぶつ、ねこ
	てんき、はれ、たいよう
	てんき、くもり、くも
	てんき、あめ、かさ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい
	てんき、きり、あめ
	てんき、こさめ、あめ、かさ
♪	おんぷ、おんがく、うた、るん
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	はな、かわいい

絵文字	読　み
	きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	きらきら、ぴかぴか
	でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき
	いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか
	がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう
	ばくだん、ばくはつ
zzz	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
!	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
!?	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
!!	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	しょっく、ぐらぐら、どん
	あせ、あせる、ひやあせ
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる
	のばす、ちょうおん、ちょーおん
	のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん
OK	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい
↗	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ
↘	やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした
↖	やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ

絵文字	読　み
	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした
	やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと
	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと
	かお、め、からだ
	かお、みみ、からだ
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
	とらんぷ、はーと、あい、こころ
	とらんぷ、すぺーど
	とらんぷ、だいや
	とらんぷ、くらぶ
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき
	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい
	のりもの、こうつう、ばす
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと
	つりー、くりすます、き
	いえ、うち、おうち、じたく

絵文字	読　み
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	びょういん、びょうき、けが
	ぎんこう、ばんく
	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう
	ほてる
	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど
	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ
	しんごう、しんごうき
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ
	かくてる、おさけ、さけ、ばー
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど
	はいひーる、ひーる、くつ、あし
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや
	まいく、からおけ、うた、うたう
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし
	いべんと、はた
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ

絵文字	読　み
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごるふ
	すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ
	ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう
	ほん、のーと、しょしんしゃ
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	めーる、てがみ
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	てれび、がめん、ばんぐみ
	げーむ、こんとろーら
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし
	めがね

絵文字	読　み
	くるまいす
	せいざ、おひつじざ、おひつじ
	せいざ、おうしざ、おうし
	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい
	せいざ、かにざ、かに
	せいざ、ししざ、しし
	せいざ、おとめざ、おとめ
	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち
	せいざ、さそりざ、さそり
	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ
	せいざ、やぎざ、やぎ
	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
	せいざ、うおざ、うお、さかな
	つき、しんげつ、まる
	つき
	つき、はんげつ
	つき、みかづき
	つき、まんげつ、まる
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん
	めーる、てがみ、じゅしん
	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	あいもーど、あい、どこも
	あいもーど、あい、どこも
	どこもていきょう、でい、でー、でぃー
	どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー
	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん
	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー

絵文字	読　み
ID	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき
CL	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち
NEW	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち
	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
#	しゃーぷ
	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
1	いち、すうじ、ばんごう
2	に、すうじ、ばんごう
3	さん、すうじ、ばんごう
4	よん、し、すうじ、ばんごう
5	ご、すうじ、ばんごう
6	ろく、すうじ、ばんごう
7	しち、なな、すうじ、ばんごう
8	はち、すうじ、ばんごう
9	きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう
0	ぜろ、れい、すうじ、ばんごう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ
	ふくろ、つぼ
	ぺんさき、ぺん
	はんこ、ひと、ひとかげ
	いす、ざせき、すわる
	よる、よなか、しんや、れいと
soon	すぐ、もうすぐ、すーん

絵文字	読　み
ON!	おん
end	おわり、えんど
	じかん、じこく、たいむ、とけい
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー
	えんぴつ、ぶんぼうぐ
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
	やじるし、さゆう
	やじるし、じょうげ
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる
NG	えぬじー、だめ
秘	ひみつ、まるひ
禁	きんし、げんきん、だめ
空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から
合	ごうかく
満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる
	けいこく、きけん、びっくり
©	こぴーらいと、しー、まるしー
TM	とれーどまーく、てぃーえむ
®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	どるぶくろ、どる、かね、おかね
	うでどけい、とけい、うぉっち
	すなどけい、とけい
	おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう

絵文字	読　み
	けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし
	ぱん、ぶれっど
	どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば
	ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ
	とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ
	わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ
	ばなな、くだもの
	りんご、あっぷる、くだもの
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの
	くろーばー、よつば、はっぱ
	ちゅーりっぷ、はな
	わかば、ふたば、はっぱ
	もみじ、こうよう、はっぱ
	さくら、はな
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし
	ひよこ、とり、どうぶつ
	ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さかな、おさかな、どうぶつ
	うま、どうぶつ
	ぶた、どうぶつ、ぶー
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ
	おうかん、かんむり、おうさま
	べる、ちゃぺる、かね
	どあ、とびら、と

絵文字	読　み
	がっこう、だいがく
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ
	ふじさん、やま
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、おこる、ぷー、ぶー
	かお、ぼけー、しらー、しらけ
	かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	かお、あっかんべー、べー、いたずら
	かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ
	かお、がまん
	かお、どうぶつ、ねこ
	かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお
	かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお
	かお、おいしい、うまい、まんぞく
	かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし
	かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく
	て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ
	がまぐち、さいふ、おかね、かね

顔文字一覧

<table>
<tr><td>挨拶・返事</td><td>(^-^)/~~ (^ ^)/ｼ (^_^)/~ ヾ(^_^) byebye!! (^^)/ (^-^)/ (^^)/~~~ (^_^)/ (〃⌒ー⌒〃)∫゛ ～('-'*)
(*^-^)/ ヾ(´ω｀=´ω｀)/ (o^-')b (≧ω≦)b (・∀・∩) ('-^*)ok (｀_´)ゞ了解! (｡･_･｡)/ (=ﾟωﾟ)/</td></tr>
<tr><td>笑う・うれしい</td><td>(^-^) (^-^)v (^o^) o(^o^)o (o^_^o) (*^_^*) (･∀･) ヾ(^▽^)/ ヽ(´ー｀)ノ (*⌒▽⌒*)
(☆▽☆) (^^)v (=⌒ー⌒=) (　´∀｀) (≧∀≦) :) V(^0^) (^ з ^)/ﾁｭｯ ((o(^-^)o)) (^^)
v(^o^) (^_^)v (^･^) (^0^) (^0^)/ (^0^)v)^o^(＼(^o^)／ :-) ヽ(≧▽≦)/
d=(^o^)=b ε=ヾ(*~▽~)ノ (@^0^@) (　´艸｀)</td></tr>
<tr><td>照れる・怒る</td><td>(^^ゞ f(^_^) (#^.^#) (*^.^*) (〃▽〃) (*'-') (=ﾟωﾟ=) (*´д｀*) :p ('∇')
ヽ(*｀Д´)ノ o-_-)=○☆ (ノ-"-)ノ~┻━┻ (-_-#) :-(Ψ(｀◇´)Ψ (ノ｀△´)ノ (●｀ε´●)</td></tr>
<tr><td>泣く・悲しい</td><td>(>_<) (T^T) (T_T) (/_;) (+_+) (x_x;) (/_・、) (つд｀) ○|￣|＿ (´･ω･｀)
(;0;) (>_<｡) (;_;) (T-T) (TOT) (/_･｡) :< (;´д⊂) ﾟ･(ノД`)･ﾟ･</td></tr>
<tr><td>驚き</td><td>(*_*) (･･? (･･;) (ﾟ-ﾟ) (@_@) (--;) (-_☆) (￣□￣;)! (ﾟoﾟ;) Σ(￣□￣)!
(￣◇￣;) ヽ(ﾟ□ﾟ;)ノ (;ﾟ□ﾟ) ((((ﾟдﾟ;)))) (=_=;) (･.･;) (ﾟoﾟ) (ﾟoﾟ; (@_@｡ (ﾟДﾟ)
(ﾟ_ﾟ) (･｡･; (･_･) (･_･; (･o･) (ﾟoﾟ)/ (ﾟoﾟ;; Σ(ﾟ□ﾟ;)</td></tr>
<tr><td>疑問・焦り</td><td>(^^;) (?_?) (-_-;) w=(ﾟoﾟ)=w σ(^_^;)? (;¬_¬)ｼﾞｰ 0(><;)(;><)0 (ﾟДﾟ;≡;ﾟДﾟ) ^^; (^^;;
(^_^;) (^-^; (~_~;) (¥_¥; (*_*; ^_^; (?_?; ε=┌(・_・)┘ (ﾟ∇ﾟ;) ((○(>_<)○))
(;ﾟ0ﾟ)</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>(~▽~@)♪♪♪ ('◇')ゞ m(_ _)m _(._.)_ <(_ _)> ≡≡≡ヘ(*--)ノ (^_^;))))))ｺｿｺｿ… p(^-^)q ;) (^_-)
(・∀・)イイ (^人^) !(^^)! ヽ(^^) (*≧m≦*) (σ･∀･)σ (￣ー￣) (・∀・)つ (^-^)_旦～ (ﾟ□ﾟ)ψ
♪～(￣ε￣) (￣｡￣)y-～～ (｀・ω・´) ⊂(・∀・)⊃ (-.-;)y-~~~ (-｡-)y-ﾟﾟﾟ (￣～￣) (￣人￣) (^-^)人(^-^)
(i_i)＼(^_^) (^▽^)σ)~0~) ～～(m´Д｀)m ～～(m｀∀´)m φ(. _.)ﾒﾓﾒﾓ (ﾟ∇^)] ﾓｼﾓｼ (´□`) ┐(￣∇￣;)┌<br>(´ヘ｀;) (;-_-)=3 (-"-;) (´ー`) (´¬`) (￣ー+￣)ﾌｯ (~_~) (~o~) (p_-) (-_-) (-.-) (-.-")凸
(..) [壁]_-) (+｡+) (-_-)zzz (_ _).oO (´_>｀) (UoU) (^(I)^) U^I^U ﾎﾟｲｯ(-__-)/⌒
ヽ(ﾟ▽、ﾟ)ノ >ﾟ))))彡</td></tr>
<tr><td>すべて</td><td>上記の顔文字がすべて表示されます。</td></tr>
</table>

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネルおよびｉコンシェル（情報の受信を除く）、フルブラウザでの通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルおよびｉコンシェルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できる　△：条件により新たに実行できる　×：新たに実行できない

現在の状態			音声電話中	テレビ電話中	ｉモード中	データ通信中（パケット）	データ通信中（64K）
発生・実行する処理	音声電話	発信	△※1	×	○	○	×
		着信	△※1、2、3	△※2、3、4	○	○	△※2、3、4
	テレビ電話	発信	×	×	○※8	×	×
		着信	△※2、3、4	△※2、3、4	△※9	△※2、6	△※2、3、11
	ｉモード	接続	○	×	△※10	×	×
	ｉモードメール	送信	○	×	○	×	×
		受信	○※5	×	○	×	×
	SMS	送信	○	×	○	○	×
		受信	○※5	○※5	○	○	○※5
	データ通信（パケット）	発信	○	×	×	×	×
		着信	○	×	×	×	×
	データ通信（64K）	発信	×	×	×	×	×
		着信	△※3、6、7	△※3、6、7	△※6、7	△※6、7	△※6、7

※1　キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3　通話中着信設定が開始の場合、通話中の着信動作選択に従います。
※4　キャッチホンが開始の場合、現在の通話や通信を切断して応答できます。
※5　着信音は鳴りません。
※6　不在着信として記録されます。
※7　転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※8　ｉモードが切断されます。
※9　パケット通信中着信設定に従います。
※10　ｉコンシェルの接続が可能です。
※11　キャッチホンが開始の場合、不在着信として記録されます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタ F04※
- 車載ハンズフリーキット 01
- 電池パック F20
- 車内ホルダ 01
- クレードルセット F01
- USBケーブル F01
- イヤホン変換アダプタ F01
- リアカバー F58
- キャリングケース 02
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02

※ ACアダプタの充電方法について→P43

動画をFOMA端末／パソコンなどで再生する

パソコンなどで作成した動画（MP4形式）をmicroSDカードに保存してFOMA端末で再生できます。また、FOMA端末で撮影した動画（MP4形式）をmicroSDカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P191
- FOMA端末で再生可能なMP4形式→P281
- microSDカード内データの再生→P292

※ 対応外部機器については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→動画再生機能の対応状況

- microSDカード内の動画を再生するには、FOMA FシリーズSDユーティリティなどを使って決められたフォルダに保存します。
  microSDカードのフォルダ構成→P288
  microSDカードの情報更新→P294

※ FOMA FシリーズSDユーティリティについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

❖動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P430
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P41
- 電池切れになっていませんか。→P43、45

●充電ができない（充電中のランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P41
- ACアダプタ F04とUSBケーブル F01、FOMA端末が正しくセットされていますか。→P44
- クレードル（別売）をご使用の場合、クレードル用ACアダプタ F01の接続端子をクレードルの電源端子に、クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の接続端子をクレードル用ACアダプタ F01にそれぞれしっかりと接続されていますか。→P44
- アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。→P44
- クレードル（別売）を使用する場合、FOMA端末のクレードル接続端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電が行われない場合があるため、ご使用後にFOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●キー操作やタッチ操作をしても動作しない

- 次の機能を起動していませんか。
  - オールロック→P104
  - おまかせロック→P105
  - 誤操作防止ロック→P112
  - 画面オフロック→P113

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモUIMカードが認識されない

- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P39
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。→P39

●キーをタッチしたとき／押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらｉアプリやテレビ電話、Windows 7モードなどを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイが暗い（見えにくい）

- 次の設定を変更していませんか。
  - 照明／キーバックライト設定の画面オフ時間設定→P92
  - 照明／キーバックライト設定の明るさ調整→P93
  - ecoモード→P93

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にして電波のよい所で電源を入れ直してください。→P47

■ 通話・音声

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 次の設定を変更していませんか。
  - 通話中の受話音量→P60
  - 音量設定の受話音量→P84
- 次の機能をONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。
  - はっきりボイス→P61
  - ゆっくりボイス→P61
- 市販の保護シートで受話口をふさいでいませんか。
- 受話口を耳でふさいでいませんか。

●通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ドコモUIMカードを入れ直してください。→P39
- 電池パックを入れ直してください。→P41
- 電源を入れ直してください。→P46
- 電波の性質により圏外ではなく、電波状態はを表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 次の設定を変更していませんか。
  - メモリ別着信拒否／許可→P116
  - 発番号なし動作設定→P117
  - メモリ登録外着信拒否→P118
  - 3G/GSM切替→P366
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 音量設定の電話着信音量を「Silent」にしていませんか。→P84
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→P64
  - マナーモード→P86
  - セルフモード→P106
  - プライバシーモード→P108
- 次の設定を変更していませんか。
  - メモリ別着信拒否／許可→P116
  - 発番号なし動作設定→P117
  - 呼出動作開始時間設定→P117
  - メモリ登録外着信拒否→P118
- 次の設定を「0秒」にしていませんか。
  - 伝言メモ応答時間設定→P65
  - オート着信設定の自動着信機能時間→P329
  - 留守番電話サービスの呼出時間→P350
  - 転送でんわサービスの呼出時間→P351

●キーをタッチしても／押しても発信できない

- 次の機能を起動していませんか。
  - オールロック→P104
  - おまかせロック→P105
  - セルフモード→P106
  - ダイヤル発信制限→P108
  - 親子モードの各種利用制限の電話発信／メール送信設定→P115

■ ｉモード・メール

●ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない

- 接続先設定を「ｉモード」以外にしていませんか。→P178
- ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

●メールを自動で受信しない

メール選択受信設定を「ON」にしていませんか。→P149

●ｉモード中のアイコンが点滅したまま消えない

ｉモード（センター）問い合わせ・メール送受信などの後や途中でｉモード接続が途切れたときは、は点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、を押せばすぐに終了できます。

●添付ファイルが削除されて画像を見ることができない

- メール受信添付ファイル設定を確認してください。→P152
- メールサイズ制限を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ カメラ

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 自動シーン認識を利用してください。→P196
- フルオート撮影が「OFF」のときは、次の機能を利用してください。
  - タッチオートフォーカス→P197
  - キー操作でオートフォーカス→P197
  - トラッキングフォーカス→P197
- 人物を撮影するときは、顔検出を利用してください。→P198
- 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→P202
- 手ぶれ補正を「オート」にして撮影してください。→P204

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない

- ICカード内データを削除した後、ｉアプリを削除してください。なお、iD 設定アプリは削除できません。→P244
- 削除したいｉアプリが利用しているICカード内データを削除しないと、ｉアプリを削除できない場合があります。削除できなかった場合は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。

●おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。→P41
- 次の機能を起動していませんか。
  - おまかせロック→P105
  - ICカードロック→P252
- FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P251

■ 海外利用

●海外でFOMA端末が使えない（アンテナマークが表示されている場合）

- WORLD WINGのお申し込みはされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外でFOMA端末が使えない（圏外が表示されている場合）

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  3G/GSM 切替を「自動」に設定してください。→P366
  ネットワークサーチ設定を「オート」に設定してください。→P365
- FOMA端末の電源をOFFにした後、再びONにすることで回復することがあります。

●海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

- ローミング時着信規制を開始に設定していませんか。→P367
- パケット通信中着信設定を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。→P69
- GSM／GPRS ネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理・データ表示

●microSDカードに保存したデータが表示されない

- パソコンなどでデータを保存したときは情報更新を行ってください（WMAファイルを除く）。→P294
- microSDカードのデータの修復を行ってください。→P295
- 他の携帯電話でmicroSDカードにパスワードを設定していませんか。→P295

●データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- Windows 7を起動していませんか。Windows 7を起動中／スリープ中は、接続したパソコンとのデータの送受信ができません。

●各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されていますか。→P39

●画像を表示しようとすると斜線の入ったアイコンが表示される

画像が壊れている場合は が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

- FOMA端末にBluetooth機器を登録していますか。登録するときは、Bluetooth機器を登録待機状態にしてください。→P331
- Bluetooth機器が接続待機中の場合は、FOMA端末から接続を行ってください。→P331
- 登録済みのBluetooth機器から接続する場合は、FOMA端末の接続待機を開始してください。→P332

● カーナビやハンズフリー対応機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない
相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

● オートGPSサービス情報が設定できない
- 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。低電力時動作設定を「停止しない」にするか、充電をすることで設定できるようになります。→P268
- オートGPS動作設定が「OFF」になっていませんか。→P268
- オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。→P267

■ その他

● タッチパネルの反応が悪い
- 次の場合は、タッチパネルに触れても動作しない場合があります。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

● ディスプレイがちらつく
照明／キーバックライト設定の明るさ調整を「自動調整」にすると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P93

● 通話中、自分の声が相手に届きにくい
マイクを指でふさいでいませんか。

● ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある
FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● オートローテーション機能が動作しない
- モーションセンサー設定のモーションセンサーを「OFF」にしていませんか。→P38
- モーションセンサー設定のオートローテーションを「OFF」または「設定項目のみ有効」にしていませんか。→P38
- 使用している機能がオートローテーションに対応していますか。→P38

● FOMA端末の電源が切れない
- を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
- Windows 7がフリーズ状態などで動作していない場合は、を2秒以上押しても電源を切ることができません。その場合は、を4秒以上押してWindows 7を強制終了できます。

● ディスプレイに残像が残る
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● ランプの点灯色や明るさに差異がある
- 次の現象はランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
  - ランプの点灯色名はLEDの主たる光源色を記載していますが、各機能によって光源の設定が微妙に異なるため、同じ点灯色名でも異なる色に見えることがあります。
- 次のいずれかの色が点灯しない場合は、ドコモショップなど窓口にご連絡ください。
  - イルミネーション設定のイルミネーションカラー「カラー 1」「カラー 7」「カラー 10」→P97

● FOMA端末を閉じているとき、ランプが点滅する
- 次の設定を変更していませんか。
  - 不在着信お知らせ→P97
  - USBモード設定→P295

● Windows 7モードに切り替えができない
FOMA端末が、Windows 7モードへの切り替えができない状態になっていませんか。→P49

エラーメッセージ一覧

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(xxx)」は、iモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●アドレスをご確認ください
メールグループのメールアドレスに不正がある、または入力されていません。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした(561) Mails could not be sent to following address.(561)○○@△△△.ne.jp
以下の宛先にiモードメールを送信できませんでした。「OK」をタッチすると送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。メッセージ内に表示されるメールアドレスは送信先により異なります。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした(408)
サイトやホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●オールロック中
オールロック中です。→P104

●同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか?
既に登録しているおサイフケータイ対応iアプリを削除しないと、同様のおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできません。「はい」をタッチして、登録済みのおサイフケータイ対応iアプリを削除してください。

●同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか?
既に登録しているおサイフケータイ対応iアプリを削除しないと、同様のおサイフケータイ対応iアプリをバージョンアップできません。「はい」をタッチして、登録済みのおサイフケータイ対応iアプリを削除してください。

●おまかせロック中です
おまかせロック中です。→P105

●画像に誤りがあり正しく動作しません
画像に誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●起動中の機能が多いため実行できません。他の機能終了後、再度実行してください
メモリが不足したため機能が起動できません。他の機能を終了した後に再度実行してください。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●現在お使いのドコモUIMカード(FOMAカード)がICオーナーではないため起動できません。詳細はおサイフケータイメニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるドコモUIMカードに差し替えておサイフケータイ対応iアプリを起動しようとした場合に表示されます。→P250

●現在お使いのドコモUIMカード(FOMAカード)がICオーナーではないためダウンロードできません。詳細はおサイフケータイメニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるドコモUIMカードに差し替えておサイフケータイ対応iアプリをダウンロードしようとした場合に表示されます。→P250

●現在お使いのドコモUIMカード(FOMAカード)がICオーナーではないためバージョンアップできません。詳細はおサイフケータイメニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、異なるドコモUIMカードに差し替えておサイフケータイ対応iアプリをバージョンアップしようとした場合に表示されます。→P250

●現在お使いのUIMカードがICオーナーではないため起動できません。詳細はおサイフケータイメニューのICオーナーをご確認ください
ICオーナーの登録後に、他社のカードに差し替えておサイフケータイ対応iアプリを起動しようとした場合、またはICオーナー確認をしようとした場合に表示されます。

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

●このカードでは本機能は利用できません
FOMA端末に他社のカードを取り付けている状態で、使用できない機能を起動しようとした場合に表示されます。

●このカードは使用できません
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、使用できないカードが挿入されています。なお、本FOMA端末ではFOMAカード(青色)はご使用できません。→P39

●この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDカードからFOMA端末に移動/コピーしたり、検索したりできません。

●このサイトとのSSL/TLS通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか?
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです（→P179）。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→P47

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書が有効期限切れです（→P179）。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→P47

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このソフトは最新です
既に最新のｉアプリにバージョンアップされています。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

●サービス未契約です
- ｉモードが未契約です。利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●サービス未提供です
SMSが未提供です。

●再起動しました。電源ON時の電池の抜き差しや、電池パックの金属部分の汚れは再起動の原因となります 金属部分は定期的な清掃をお勧めします
電源が入っている状態で電池パックを取り外し、すぐに取り付け直した場合に表示されます。また、電池パックの金属部分が汚れている場合にも表示されることがありますが故障ではありません。電池パックの金属部分は定期的に清掃してください。

●再生可能日前です。再生できません
- Music&Videoチャネルに設定されている再生期間より前のため再生できません。番組情報を確認してください。→P213
- 音楽データに設定されている再生期間より前のため再生できません。詳細情報を確認してください。→P221
- ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。詳細情報を確認してください。→P299

●再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
ミュージックプレーヤーで音楽を再生する際に再生期限切れのうた・ホーダイがあると表示されます。「はい」をタッチすると、音楽データを更新します（データを更新する際のパケット通信料は有料です）。「いいえ」をタッチすると、再生期限切れのうた・ホーダイは利用できません。→P219

●再生制限に達したため、取得できません
Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生制限が超過している場合は、取得を再開できません。→P213

●再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し転送元ソフトを起動して更新してください
音楽データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができない、またはFOMA端末の故障や修理、電話機の変更などによってFOMA端末固有の情報が変更されたため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると、再生できます。→P215

●サイトが移動しました（301）
サイトやホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

●作業領域が不足しています。他のアプリケーションを終了してください
作業に必要なメモリが不足しているため、他の機能を終了してください。

●削除しますか？ ICカード内データも削除されます
ｉアプリを削除するとICカード内データも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内データを削除するときは「はい」をタッチします。

●時刻がリセットされたため、このデータを再生できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正をONに設定し電源を入れ直してください
日付時刻設定の自動時刻・時差補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P47

●時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正をONに設定し電源を入れ直してください
日付時刻設定の自動時刻・時差補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P47

●指定サイトがみつかりません（404）
URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定されたソフトが起動できませんでした
ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。ｉアプリToで起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題があると起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

●しばらくお待ちください
- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問い合わせを行ってください。→P159

●既にメッセージをお預かりしています
既にSMSは送信済みです。

●正常に接続できませんでした（400）
サイトやホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

●積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました
積算通話料金をリセットしてください。→P323

●積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました
積算通話料金をリセットしてください。→P323

●積算料金が既定の上限に達しているため発信できません
積算通話料金をリセットしてください。→P323

●セキュリティエラーのため、終了しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

●セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

●接続相手が見つかりません。続けますか？
通信を開始してから相手が見つからないまま一定時間が経過しました。FOMA端末を正しく配置してください。→P302、330

●接続が中断されました
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続できませんでした（562）
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●送信できませんでした（552）
ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●ソフトに誤りがあります
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください
ICカード内データを削除してから、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P108

●ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

●注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。
スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました（moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません）。

●中断されました
通信中にエラーが発生しました。データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→P302、330

●通信エラーが発生しました
「OK」をタッチしてGPS機能を終了し、しばらくたってから操作し直してください。

●次の宛先にはメール送信できませんでした（561）
次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。「OK」をタッチすると送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
「はい」をタッチしてお買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

●データ転送モードへ移行できません
FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

●データまたはmicroSDが壊れています
- microSDカードに保存しているデータまたはmicroSDカードに問題があるため、アクセスできません。次の操作を行ってください。
  - 新しいmicroSDカードの取り付け→P42
  - microSDカードの初期化→P294
  - microSDカードのデータの修復→P295
- 他の携帯電話でmicroSDカードにパスワードを設定していると表示されます。→P295

●**データまたはmicroSDが壊れています。保存先を本体に変更します**
静止画や動画の保存先を「microSD」にしているときにmicroSDカードにアクセスできない場合、自動的に「本体」に切り替わります。

●**電話帳のシークレット属性をメールに反映しますか？電話帳、メールの件数によっては、時間がかかる場合があります**
シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に表示されます。→P112

●**問い合わせできませんでした**
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●**登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？**
登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えています。「はい」をタッチすると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

●**ドコモUIMカード（FOMAカード）がいっぱいです**
ドコモUIMカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMA端末に移動するか、ドコモUIMカード内のSMSを削除してください。→P160

●**ドコモUIMカード（FOMAカード）が異なるためご利用できません**
ドコモUIMカードのセキュリティ機能により操作できません。→P39

●**ドコモUIMカード（FOMAカード）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした**
ドコモUIMカードのセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。→P39

●**ドコモUIMカード（FOMAカード）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**
受信したデータにｉアプリToが設定されていても、ドコモUIMカードのセキュリティ機能により起動できません。→P39

●**ドコモUIMカード（FOMAカード）を挿入／再確認してください**
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。→P39

●**長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません**
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。「OK」をタッチすると超過分は削除された状態で電話帳の登録画面が表示されます。

●**入力データをご確認ください（205）**
サイトやホームページの入力データに誤りがあります。

●**認証接続できませんでした**
- 認証パスワードが正しくないため、赤外線通信／iC通信でのデータの全件送信ができませんでした。→P302
- 認証パスワードが正しくないため、赤外線通信／iC通信でのデータの全件受信ができませんでした。→P303

●**認証タイプに未対応です（401）**
認証タイプに対応していないため、指定のサイトやホームページに接続できません。

●**パスワードをご確認ください（401）**
サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

●**不正なデータが含まれています**
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときは起動できません。

●**不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません**
何らかの原因でmicroSDカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDカードには、コンテンツ移行対応のデータを保存できません。

●**他の機能が起動中のため起動できません**
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

●**保存領域に誤りがあるため、パスワードマネージャーを使用できません。終了します**
パスワードマネージャーの保存領域に誤りがあるため、パスワードの登録や引用ができません。

●**無効なデータを受信しました（xxx）**
- 指定のサイトやホームページに対応していません。
- URLを確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●**メモリ不足です**
メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

●**ユーザ証明書がありません。継続しますか？**
ユーザ証明書がダウンロードされていません。

●**読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？**
「はい」をタッチし、自動読取機能設定を「ON」にしてください。

●**料金情報の読込ができませんでした**
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P39

●**料金情報のリセットができませんでした**
ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P39

●**連続撮影はできません**
保存領域が不足しているため連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

● ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続して利用するには「はい」、通信を終了して継続するには「いいえ」、終了するには「ｉアプリ終了」をタッチします。

● ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？
「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

● ｉモーション最大サイズを超えています
最大サイズを超えたため、取得を中断しました。→P184

● ｉモードセンターが混み合っています。しばらくお待ちください（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● ICカード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？
おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する際、ICカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。画面の指示に従ってICカード内データを削除後、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。→P244

● ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？
おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。画面の指示に従ってICカード内データを削除後、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。→P244

● ICカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？
おサイフケータイ対応ｉアプリをバージョンアップする際、ICカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。画面の指示に従ってICカード内データを削除後、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。→P244

● ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？
削除するｉアプリの中に、ICカード内データを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」をタッチします。

● ICカード内データにエラーがあるため削除できません
ICカード内データに不正があるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

● PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップの窓口にお問い合わせください。

● SMSセンター設定を確認してください
SMS設定のSMS Centerの設定が誤っています。→P160

● SSL／TLS通信が切断されました
SSL／TLS通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL／TLS通信が中断されました。

● SSL／TLS通信が無効です
SSL／TLS通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● SSL／TLS通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。設定を変更してください。→P179

● Windows 7モードからの応答がなくなり一定時間経過したためWindows 7モードを終了しました
何らかの理由でWindows 7からの応答が途切れると、自動的にケータイモードに切り替わります。

● Windows 7モードでmicroSDを使用中です。ケータイモードで使用しますか？（Windows 7モードでアクセスしているmicroSDのデータが破損する可能性があります）
microSDカード制御ユーティリティの設定に関わらず、Windows 7モード起動中やスリープ中に、ケータイモードでmicroSDカードにアクセスしようとすると表示されます。「いいえ」▶「OK」をタッチし、Windows 7モードを休止状態にするとアクセスを終了して、ケータイモードでアクセスができるようになります。→P382「はい」▶「OK」をタッチすると、Windows 7モードでのアクセスを強制終了してケータイモードに切り替えられます（データが破損する可能性があります）。

● Windows 7モードで高温になりましたのでケータイモードに切替ました
Windows 7モードで高い負荷がかかったときなど、FOMA端末が高温になる場合があります。一定の温度を超えると、自動的にケータイモードに切り替わります。

● Windows 7モードを長時間維持したためケータイモードに切替ました
Windows 7モード中、比較的低温であってもその状態が長時間続くとやけどの危険性が高くなるため、一定の時間を経過すると自動的にケータイモードに切り替わります。

● “○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily. (555)
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

  ※ 本FOMA端末は、電話帳やｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

  ※ 本FOMA端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→P393）と付属のUSBケーブル F01をご利用になることにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P419）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子、クレードル接続端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

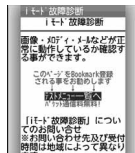
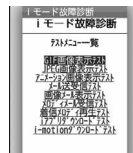
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、無線LAN用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

▲メモリダイヤル（電話帳機能）および
ダウンロード情報などについて▼

FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
ｉMenu→お知らせ→サポート情報→お問い合わせ→故障・電波状況お問い合せ先→ｉモード故障診断

サイトアクセス用
QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- 海外でのご利用は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」でご案内させていただきます。

- ソフトウェア更新には、次の3種類あります。
  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定が「ｉモード」以外の場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - ドコモUIMカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - 国際ローミング中
  - Windows 7モードが起動中／スリープ中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コードON／OFFが「ON」のときソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時には、PIN1コード入力画面が表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません（ダウンロード中は音声電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。証明書管理で証明書を有効にしてください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P179
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（→P46）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信設定が「ON」の場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P137
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

◆ ソフトウェア更新の自動更新設定

ソフトウェア更新が必要なとき、自動で更新を行うか更新が必要なことを通知するかを選択できます。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新」、曜日が「指定なし」、時刻が「03時00分」に設定されています。

1 MENU 8 7 4 ▶認証操作▶「自動更新設定」▶各項目を設定▶「確定」

- 自動更新設定を「自動で更新」にした場合は、自動で更新する曜日と時刻を設定します。「設定しない」にした場合は、自動更新不可の確認画面で「はい」をタッチします。

❖ソフトウェア更新が必要になると

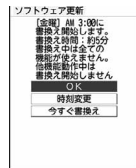
ソフトウェア更新が必要になると(書き換え予告アイコン)や(更新お知らせアイコン)が表示されます。

■ 自動更新設定を「自動で更新」にした場合

自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面に(書き換え予告アイコン)が表示されます。待受画面をタッチし、待受ランチャーの「新着／ステータス」から「ADLの書き換え予告」をタッチすると、書き換えの開始時刻を確認したり変更したりできます。

〈例〉書き換えの時刻を確認する

1 待受画面をタッチ▶待受ランチャーの「新着／ステータス」から「ADLの書き換え予告」

書き換えする曜日と時刻が表示されます。「OK」をタッチすると待受画面に戻り、(書き換え予告アイコン)が消えます。

時刻の変更：「時刻変更」▶認証操作▶各項目を設定▶「確定」

すぐに書き換える：「今すぐ書換え」▶認証操作▶約5秒後に自動的に書き換え開始▶書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」

■ 自動更新設定を「更新の通知のみ」にした場合

(更新お知らせアイコン)を選択して起動してください。→P432

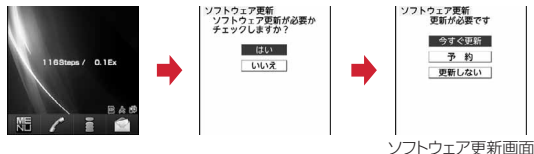
✔お知らせ

- (書き換え予告アイコン)は次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了した場合
  - 他の機能が起動していて書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合や書き換えの開始時刻を変更した場合
- (更新お知らせアイコン)は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合
  - 予約更新に失敗した場合や予約更新を取り消した場合
  - 予約が解除された場合（データ一括削除を行った場合を除く）

◆ソフトウェア更新の起動

ソフトウェア更新を起動するには待受画面で（更新お知らせアイコン）を選択する方法とメニューの項目番号を選択する方法があります。

〈例〉更新お知らせアイコンを選択して起動する

1 決定▶（更新お知らせアイコン）を選択▶「はい」▶認証操作

ソフトウェア更新画面

- 「いいえ」をタッチすると更新お知らせアイコン消去の確認画面が表示されます。
- 更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます（ソフトウェア更新画面）。「今すぐ更新（→P432）」または「予約（→P433）」をタッチします。
- 更新が必要ない場合は「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。「OK」をタッチしてそのままご利用ください。
- 待受画面をタッチし、待受ランチャーの「新着／ステータス」から「ADLの更新通知」をタッチしても、ソフトウェア更新を起動できます。

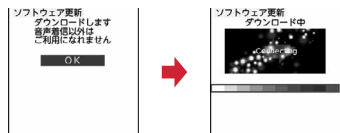
メニューからの起動：MENU 8 7 4▶認証操作▶「更新実行」

◆ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

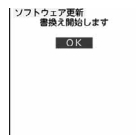
1 ソフトウェア更新画面（→P432）で「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始

「OK」をタッチすると、すぐにダウンロードを開始します。

- ダウンロードを中止するときは「中止」をタッチします。

サーバが混み合っているとき：「予約」
予約更新→P433

2 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換え開始

「OK」をタッチすると、すぐに書き換えを開始します。

- 書き換え中は、を8秒以上押して電源を切る操作のみ可能ですが、電源を切った場合は更新が中止されます。

3 書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」

◆ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 ソフトウェア更新画面（→P432）で「予約」

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選択▶「はい」

表示されている候補以外から予約：

①「その他の日時」▶希望日を選択

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。「説明」をタッチすると、説明を表示できます。

② 希望時間帯を選択

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

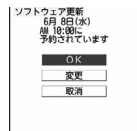
③ 希望日時を選択▶「はい」

3 「OK」

予約の設定が完了すると、待受画面に(予約アイコン)が表示されます。

❖ソフトウェア更新の予約確認

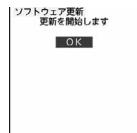
予約した日時の確認や変更などを行います。

1 MENU 8 7 4 ▶認証操作▶「更新実行」

2 内容を確認▶「OK」

予約の変更：「変更」▶希望日を選択▶希望時間帯を選択▶希望日時を選択▶「はい」▶「OK」

予約の取り消し：「取消」▶「はい」▶「OK」

❖予約の日時になると

予約日時になると次の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新が開始されます（「OK」をタッチすると、すぐにソフトウェア更新が開始されます）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

- ソフトウェア更新を中止する場合は、を押して「はい」をタッチします。

✔お知らせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外した場合や電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき

- ソフトウェア更新の設定中、または他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。パケット通信中に予約日時になったときは、パケット通信終了後にソフトウェア更新を開始します。

スキャン機能

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P434
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。

◆ パターンデータ更新

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

自動更新設定が「無効」のときや、待受画面に（最新パターンデータの自動更新失敗）が表示されたときには、パターンデータを手動で更新してください。

1 MENU 8 4 7 1 ▶「はい」▶「はい」

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

2「OK」

- パターンデータの更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままご利用ください。

✔お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新が中断されます。

◆ 自動更新設定

スキャン機能で利用するパターンデータを自動的に更新するように設定できます。

- パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面にが表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」をタッチしてください。

1 MENU 8 4 7 2

2「有効」▶「はい」▶「はい」▶「OK」

自動更新設定を無効にする：「無効」▶「はい」▶「OK」

◆ スキャン機能設定

本設定を「有効」にすると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。SMSにスキャン機能を実行するかを設定することもできます。

- 障害を引き起こすデータを検出すると、5段階の警告レベルで表示されます。→P435

1 MENU 8 4 7 3 ▶各項目を設定▶「登録」▶「はい」

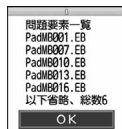
スキャン機能：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。
メッセージスキャン：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

◆ スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示

① **警告レベル画面表示中に「詳細」**

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
PadMB001.EB
PadMB007.EB
PadMB010.EB
PadMB013.EB
PadMB016.EB
以下省略、総数6
OK

■ スキャン結果の表示

警告レベル	対応方法
警告レベル0	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル1	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル2	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル3	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル4	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する

✔お知らせ

- Music&Videoチャネルの番組取得中に問題要素が検出され、警告メッセージを確認しないままFOMA端末の電源が切れた場合、次回Music&Videoチャネル画面を表示した際に、警告レベル画面が表示されます。
- 待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては、「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

◆ パターンデータのバージョン表示

パターンデータのバージョンを確認します。

1 MENU 8 4 7 4

主な仕様

■本体

品名		F-07C
サイズ		高さ約125mm×幅約61mm× 厚さ約19.8mm
質量		約218g
連続待受時間 ※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約600時間 移動時（自動）：約420時間 移動時（3G固定）：約460時間
	GSM	静止時（自動）：約400時間
連続通話時間 ※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約370分 テレビ電話時：約170分
	GSM	約440分
充電時間※5		ACアダプタ：約170分
ディスプレイ	方式	TFT262,144色
	サイズ	約4.0inch
	画素数	614,400画素（600ドット×1,024ドット）
撮像素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/4.0inch インカメラ：1/10.0inch
	有効画素数	アウトカメラ：約510万画素 インカメラ：約32万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	アウトカメラ：約500万画素（ケータイモード時のみ利用可） インカメラ：約31万画素（Windows 7モード時約17万画素）
	ズーム（デジタル）	アウトカメラ：最大約16.0倍 インカメラ：最大約2.0倍
記録部	静止画記録枚数※6	最大約1,300枚（お買い上げ時）
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※7	最大約13分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約180分（microSDカード2GB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約1,234分※8 着うたフル®：約1,306分※8、9 WMAファイル：約1,279分※9 Music&Videoチャネル（音声）：約1,306分※9 Music&Videoチャネル（動画）：約332分
保存容量	着うた®／着うたフル®	約74MB
Windows 7モード	OS※10	Windows® 7 Home Premium 32ビット正規版（SP1適用済み）
	CPU	インテル® Atom™ プロセッサー Z600（HTテクノロジー対応）（1.20GHz）※11
	メインメモリ	標準1GB／最大1GB（LPDDR400）
	SSD※12	約32GB（eMMC）
	無線LAN※13	IEEE 802.11b/g/n準拠（通信速度：最大65Mbps）※14
	バッテリー駆動時間	約2時間※15

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。

※3 iモード通信、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリの起動やiアプリ待受画面設定、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、オートGPS機能の利用、Bluetooth接続、Windows 7モードなどを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。
※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
※5 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
※6 静止画記録枚数とは、画像サイズが「QVGA（320×240）」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが25Kバイトの場合です。
※7 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズが「VGA（640×480）」、品質が「STD（標準）」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※8 AAC形式のファイルです。
※9 バックグラウンド再生に対応しています。
※10 日本語版です。
※11 CPUは1.20GHzの動作周波数のものが搭載されていますが、実際は50%の周波数で動作します。
※12「NTFS」を採用しています。Windows RE領域とリカバリ領域に約8.2GB使用しており、残りをCドライブに割り当てています。
※13 ケータイモードでは利用できません。
※14 FOMAでのデータ通信との同時利用はできません。なお、規格による理論値であり、実行速度は通信環境により異なります。IEEE 802.11nでは、20MHz帯域幅システム（HT20）2.4GHzモードに対応しています。
※15 JEITA測定法Ver.1.0による測定値です。バッテリー駆動時間は、動作環境・液晶の輝度・システム設定などにより変動します。

■電池パック

品　名	電池パック F20
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1400mAh

❖静止画の保存枚数

保存できる静止画の枚数は、画像サイズやサイズ制限、画質、保存先の設定（→P202）、撮影状況によって変わります。
- 次の表は、静止画撮影画面のカウンタに表示される枚数を記載しています。

■ F-07C本体、microSDカードに保存できる静止画の枚数（画質別の目安）

- 保存先の「本体」は、削除可能なプリインストールデータを削除した場合です。また、「microSD」は容量が2Gバイトの場合です。

画像サイズ	保存先	エコノミー	スタンダード	ファイン
QCIF（176×144）	本体	約1375	約1375	約1375
	microSD	約9999	約9999	約9999
QVGA（320×240）※	本体	約1375	約1300	約1375
	microSD	約9999	約9999	約9999
VGA（640×480）※	本体	約1331	約1025	約570
	microSD	約9999	約9999	約9999
待受用（1024×600）※	本体	約807	約607	約358
	microSD	約9999	約9999	約9360
WXGA（1280×768）※	本体	約527	約397	約215
	microSD	約9999	約9999	約5637
フルHD（1920×1080）※	本体	約345	約263	約133
	microSD	約9019	約6890	約3499
3.9M（2592×1520）※	本体	約164	約115	約55
	microSD	約4295	約3006	約1459
5M（2592×1944）※	本体	約133	約106	約50
	microSD	約3487	約2783	約1316

※ 横長と縦長の切り替えができます。

❖動画の撮影時間

動画の撮影時間はサイズ制限や品質、画像サイズ、撮影種別、保存先の設定（→P202）、撮影状況によって変わります。

- 次の表は、動画撮影画面のカウンタに表示される時間を記載しています。

■ 1回あたりの撮影時間（品質別の目安）

- メール添付用（大／小）の制限サイズ→P202
- 保存先に関わらず1回あたりの撮影時間は同じです。
- サイズ制限が「制限なし」のとき、1回あたりの撮影時間は制限時間（→P195）と同じになります。ただし、合計撮影時間が制限時間に満たないときは合計撮影時間と同じになります。

サイズ制限	画像サイズ	※	LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	QCIF（176×144）	[画像＋音声]	約50秒	約28秒	約18秒	約10秒
		[画像のみ]	約63秒	約32秒	約21秒	約11秒
	QVGA（320×240）	[画像＋音声]	約28秒	約15秒	約10秒	約4秒
		[画像のみ]	約32秒	約16秒	約11秒	約4秒
	VGA（640×480）	[画像＋音声]	約10秒	約5秒	約3秒	約1秒
		[画像のみ]	約11秒	約5秒	約4秒	約1秒
	（音声のみ）	[音声のみ]	―	約242秒	約121秒	―
メール添付用（大）	QCIF（176×144）	[画像＋音声]	約205秒	約114秒	約74秒	約40秒
		[画像のみ]	約258秒	約129秒	約86秒	約43秒
	QVGA（320×240）	[画像＋音声]	約115秒	約61秒	約40秒	約16秒
		[画像のみ]	約129秒	約65秒	約43秒	約17秒
	VGA（640×480）	[画像＋音声]	約42秒	約21秒	約14秒	約5秒
		[画像のみ]	約43秒	約22秒	約14秒	約6秒
	（音声のみ）	[音声のみ]	―	約16分	約495秒	―
制限なし 保存先：本体（お買い上げ時）	QCIF（176×144）	[画像＋音声]	約126分	約70分	約45分	約24分
		[画像のみ]	約159分	約79分	約53分	約26分
	QVGA（320×240）	[画像＋音声]	約71分	約37分	約24分	約598秒
		[画像のみ]	約79分	約40分	約26分	約10分
	VGA（640×480）	[画像＋音声]	約25分	約13分	約521秒	約204秒
		[画像のみ]	約26分	約13分	約537秒	約206秒
	（音声のみ）	[音声のみ]	―	約613分	約306分	―

サイズ制限	画像サイズ	※	LP	STD	HQ	XQ
制限なし 保存先：microSDカード（2GB時）	QCIF（176×144）	[画像＋音声]	約180分	約180分	約180分	約180分
		[画像のみ]	約180分	約180分	約180分	約180分
	QVGA（320×240）	[画像＋音声]	約180分	約180分	約180分	約180分
		[画像のみ]	約180分	約180分	約180分	約180分
	VGA（640×480）	[画像＋音声]	約180分	約180分	約180分	約80分
		[画像のみ]	約180分	約180分	約180分	約80分
	（音声のみ）	[音声のみ]	―	約720分	約720分	―

※ 画像種別（[画像＋音声]：画像＋音声　[画像のみ]：画像のみ　[音声のみ]：音声のみ）

■ F-07C本体、microSDカードに保存できる動画の合計撮影時間（品質別の目安）

- サイズ制限を「制限なし」に設定した数値です。サイズ制限を設定した場合、保存可能な合計撮影時間が変わることがあります。
- 保存先の「本体」は、削除可能なプリインストールデータを削除した場合です。また、「microSD」は容量が2Gバイトの場合です。

保存先	画像サイズ	※	LP	STD	HQ	XQ
本体（お買い上げ時）	QCIF（176×144）	[画像＋音声]	約126分	約70分	約45分	約24分
		[画像のみ]	約159分	約79分	約53分	約26分
	QVGA（320×240）	[画像＋音声]	約71分	約37分	約24分	約598秒
		[画像のみ]	約79分	約40分	約26分	約10分
	VGA（640×480）	[画像＋音声]	約25分	約13分	約521秒	約204秒
		[画像のみ]	約26分	約13分	約537秒	約206秒
	（音声のみ）	[音声のみ]	―	約613分	約306分	―
microSDカード（2GB時）	QCIF（176×144）	[画像＋音声]	約3318分	約1848分	約1187分	約642分
		[画像のみ]	約4169分	約2087分	約1394分	約697分
	QVGA（320×240）	[画像＋音声]	約1856分	約985分	約643分	約260分
		[画像のみ]	約2087分	約1047分	約698分	約268分
	VGA（640×480）	[画像＋音声]	約670分	約343分	約226分	約88分
		[画像のみ]	約699分	約350分	約233分	約89分
	（音声のみ）	[音声のみ]	―	約16050分	約8000分	―

※ 画像種別（[画像＋音声]: 画像＋音声　[画像のみ]: 画像のみ　[音声のみ]: 音声のみ）

保存・登録・保護件数

種別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	―
ドコモUIMカード電話帳		最大50件	―
きせかえツール※1		最大50件	―
メール	受信メール※1、2	最大2500件	最大1250件
	送信メール※1、2	最大500件	最大250件
	未送信メール※1、2	最大200件	最大100件
	デコメアニメ®テンプレート※1	最大300件	―
	デコメール®テンプレート※1	最大300件	―
エリアメール		最大30件	最大15件
ドコモUIMカードのSMS※3		最大20件	―
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
Bookmark※4		最大200件	―
画面メモ※1、4		最大100件	最大100件
ダウンロード辞書		最大10件	―
ダウンロードしたフォント※5		最大5件	―
Music&Videoチャネルの番組※1		最大12件	―
ミュージック	着うたフル®※1	最大100件	―
	うた文字※1	最大100件	―
	プレイリスト	最大20件	―
ｉアプリ※1、6		最大100件	―
トルカ※1		最大200件	―
画像※1		最大3000件	―
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大200件	―
動画／ｉモーションのプレイリスト		最大100件	―
メロディ※1		最大500件	―
PDFデータ※1		最大100件	―
マチキャラ※1		最大50件	―

種　別	保存・登録件数	保護件数
キャラ電※1	最大50件	―
スケジュール帳※7	最大2600件	―
テキストメモ	最大50件	―
Bluetooth機器	最大10件	最大10件

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 iモードメールとSMSの合計件数です。
※3 受信SMSと送信SMSの合計件数です。送達通知は含まれません。
※4 iモードとフルブラウザの合計件数です。
※5 お買い上げ時に登録されている「プリティー桃」を含みます。
※6 iアプリ、メール連動型iアプリの合計件数です。メール連動型iアプリは最大5件保存できます。
※7 スケジュール、iスケジュール内の予定の合計件数です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-07Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.796W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年5月現在）

◆ Declaration of Conformity

The product "F-07C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.944W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required

to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.730W/kg, and when worn on the body, is 0.521W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F07C).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.
※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Wi-Fiとは

無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という設定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

◆ 認証取得内容

■ IEEE Standard※1
- IEEE 802.11b
- IEEE 802.11g
- IEEE 802.11n

■ Security※2
- WEP（WEPキー：64／128ビット）
- WPA™－パーソナル（WPA-PSK）（TKIP/AES）
- WPA2™－パーソナル（WPA2-PSK）（TKIP/AES）
- WPA™－エンタープライズ（WPA）（TLS/PEAP）（TKIP/AES）
- WPA2™－エンタープライズ（WPA2）（TLS/PEAP）（TKIP/AES）
- IEEE 802.1X（TLS/PEAP）

※1 無線LAN規格IEEE802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。
※2 **WEPキー**
データ通信を行う際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。データの暗号化／復号化ともに同一のセキュリティキー（WEPキー）を用いるため、通信する相手と同一のセキュリティキー（WEPキー）を設定する必要があります。

WPA™（Wi-Fi Protected Access）
Wi-Fi Alliance®が策定したセキュリティ規格です。従来のネットワーク名（SSID）やセキュリティキー（WEPキー）に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。
WPA2™（Wi-Fi Protected Access2）
Wi-Fi Alliance®が新たに策定したWPAの新バージョンです。WPAと比べ、より強力なAES暗号に対応しています。
WPA－パーソナル／WPA2－パーソナル
あらかじめ設定した文字列が無線LANアクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証を行う簡易認証の方式です。
WPA－エンタープライズ／WPA2－エンタープライズ
IEEE 802.1Xサーバーと連携し、機器やユーザーのRADIUSによる認証を行なう方式です。
TKIP
WPAで使用される、暗号化方式の1つです。暗号化アルゴリズムはWEPと同じRC4ですが、1パケットごとに暗号化に使用する暗号化キーを変更することで、セキュリティレベルが高くなっています。
AES（Advanced Encryption Standard）
暗号化アルゴリズムには、ベルギーの暗号開発者が開発した「Rijndael（ラインダール）」が採用され、データを固定のブロック長で区切ってそれぞれ暗号化を行います。データ長は128、192、256ビット、鍵の長さは128、192、256ビットがサポートされていて暗号強度は非常に高く設計されています。
TLS
IEEE 802.1Xの認証プロトコルの1つです。TLSでは、電子証明書を使って認証を行います。
PEAP（Protected Extensible Authentication Protocol）
IEEE 802.1Xの認証プロトコルの1つです。PEAPでは、電子証明書およびID／パスワードを使って認証を行います。
IEEE 802.1X
ネットワークでのユーザー認証方式を定めたIEEE標準プロトコルです。クライアントは、RADIUSサーバーとの相互認証が成功しない限り、ネットワークにアクセスすることはできません。クライアントとRADIUSサーバーとで相互認証が成功すると、セッションごとにセキュリティキーが自動的に生成され、クライアントに配信されます。このため、無線LANクライアントで個々にセキュリティキーを設定する必要がありません。また、通信中にもセキュリティキーを自動的に変更するためセキュリティが高まります。認証の種類には電子証明書を使ったTLS、電子証明書とユーザー名／パスワードを使用したPEAPなどがあります。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモーション」「iモード」「iアプリ」「iモーションメール」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「着モーション」「デコメ®」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「デコメアニメ®」「ビジュアルネット」「iエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「iアプリDX」「iチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「公共モード」「トルカ」「メッセージF」「iD」「マルチナンバー」「2in1」「おまかせロック」「ケータイデータお預かりサービス」「DCMX」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「OFFICEED」「IMCS」「うた・ホーダイ」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「直感ゲーム」「マチキャラ」「iコンシェル」「iウィジェット」「iアプリコール」「iスケジュール」「i Bodymo」「spモード」「ドコモ地図ナビ」および「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Live、Windows Vista、Internet Explorer、Windows Media、Silverlight、Excel、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。 ACCESS™ NetFront®
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

-

  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player、Adobe® Flash® Lite® および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash Liteは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT（Advanced Prediction Optimization Technology）」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「丸ゴシック」、「レイミン」、「丸フォーク」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。また「レイミン」、「丸フォーク」の名称は、同社の商標です。
- Google、Googleカレンダー、モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「ｉアバター」は、株式会社ディーツーコミュニケーションズの登録商標です。
- @niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
- Facebookは、アメリカ合衆国または他国々におけるFacebook,Inc.の登録商標です。
- Twitterは、アメリカ合衆国または他国々におけるTwitter,Inc.の登録商標です。
- Symantec、SymantecロゴはSymantec Corporationの登録商標であり、各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。
- デジタルアーツ／DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター／ｉ-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Blu-ray Discおよびロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

◆ その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。

- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」「今日は何の日」「今日の歴史」は、学研編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

〈例〉キャラ電をダウンロードしたいとき

キャラ電
移動……297
削除……300
詳細情報参照／変更……299
ソート……301
ダウンロード……174

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから	**i Menu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き** パケット通信料無料
パソコンから	**My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き**

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）→P64
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
● 伝言メモ→P65
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。
● バイブレータ→P84
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。
● マナーモード／オリジナルマナーモード→P86、87
キー／タッチ確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモード中の伝言メモの設定や、バイブレータ・着信音量などの変更もできます（オリジナルマナーモード）。※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P350）、転送電話サービス（P351）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　ｉモードサイト　ｉMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-07Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-07Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

'11.5（1.1版）
CA92002-6361